

科目名	大学教育と地域（人間）		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	研究室	学生セグ
担当者	住吉 廣行		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー		
関連資格					履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）			
			A	B	C	2019年度～ ～2019年度			
授業概要									
本講義は、初年次教育の意味合いを持たせています。大学のミッション、大学・学部・学科の3ポリシーについて確認します。大学生の特徴を捉えた教育手法を説明し、課題解決型の学びを展開しようとしていること、学生支援についての大学側の考え方がCSの向上にあるのではなく学生をパートナーと見なすというパラダイムシフトを考えていることを説明します。各種センターの機能について説明し、それらを大学生活の中で活かせるようにします。									
学修到達目標									
大学の教育に対する考え方、大学側が用意している学修支援システムの種類や場所やその機能等について理解すること。そしてそれらを活用するためにも、学生一人一人がこれからの大学生活をどのように送るべきかを十分に考え、カリキュラムの組み方、取得すべき資格、地域連携・ボランティア活動等学生の自主的な活動への参加などについてプランニングが出来るようになること。									
授業の進め方									
配布したプリントに基づき、パワーポイントを使いながら進めます。大学の「自主独立の精神」に基づいて、それぞれの学部に適した内容で前向きな姿勢で講演して下さるゲストをお招きし、熱く語っていただきます。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	長野県、松本市等の特徴 大学設立の経緯と残留率 学校法人・大学の組織	本学が立地する松本市がどのような特色を持った地域であるか、地勢、文化、歴史の視点から概観する。県・松本市・学校法人松商学園が資金を出し合って本学が設立された経緯を述べる。				長野県や松本市の自然・文化を探索する。(2時間)			
2	松本大学の教育手法いくつかの具体例。理論化された帰納的教育手法の説明	本学における地域連携を取り入れた学習方法を具体例に基づいて紹介する。本学の各学科の特徴を活かした、アクティブ・ラーニングを取り入れた、PBL型・課題解決型教育のイメージを把握する。				本学のパンフレットを見る。学び終えた時点で、自分なら何が出来るか考える。(2時間)			
3	松本大学の学生支援システムのあり方の背景にある哲学を考える。	学生生活、就職活動、クラブ活動など、松本大学の学生支援活動を概観する。入学前から卒業後までを時系列で追いかけると共に、どのような考え方でこの活動が実施されているかを紹介する。				事後学習：学友会室やキャリアセンターを訪問し、質問する。(2時間)			
4	松本大学と地域活性化 各種GP、COC、研究プラン ディング事業の採択の紹介	「人や経済の地域内循環」の実現に対し、大学が持っている人的資源、ハード的資源を活かして、外部団体や人材と協働することで活力ある地域社会の実現に貢献していることを理解する。基礎教育1回目。				本学の競争的資金獲得状況を調べる。事後に他大学も調べて見る。(2時間)			
5	各種センターの紹介 国際交流センター 健康安全センター	グローバル化対応を担う国際交流センター、English Cafe等について説明する。心と体の健康に対応する健康安全センターの現状と喫煙防止などを解説する。教職センターを紹介する。基礎教育センター2回目。				基礎教育センターを訪問する。事後に健康安全、教職センターを訪問する。(2時間)			
6	各種センターの紹介 地域づくり考房『ゆめ』 公務員講座委員会など	学生の地域活動の窓口である地域づくり考房『ゆめ』の活動を説明する。公務員試験対策の現状について報告すると共に、図書館の利用案内も実施する。基礎教育センター3回目。				考房『ゆめ』を訪問しておく。事後に興味ある部署を訪問・見学する。(2時間)			
7	ゲストによる特別講義	総合経営、人間健康それぞれの学部ゲストを招いて、これからの大学生活において前向きに取り組んでいけるようなテーマで講演していただく。				事前にゲストについて調べる。事後にゲストに質問する。(2時間)			
8	基礎教育センター試験	前半30分を基礎教育センターによる4回目の学修活動に当てる。残りの60分を使って試験を実施する。				学修内容をまとめておく。(2時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
講義用プリントが配布されます。		定期試験：100% S:大学の使命、教育手法等を正しく理解したうえで、大学生活に意欲を持ち、卒業に向けた準備学修の計画を立て、試験で特に優れた結果を出すことができる。A:大学の使命、教育手法等を理解したうえで、今後の大学生活に意欲を持ち、卒業に向けた準備学修の計画ができ、試験で80点以上である。B:大学の使命、教育手法等を概ね理解したうえで、卒業に向けた準備学修の計画ができ試験で70点以上である。C:大学の使命、教育手法等を踏まえ、準備学修の計画がある程度でき、試験で60点以上である。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
本学が発行する各種パンフレットなど。		講義は前の席で聞きたい学生を予め募集し、席を2列ほど確保します。残りの学生は座席指定とします。シラバスをよく読んで、講義に臨んで下さい。受講票に記入された感想、質問、要望には次の時間に答えたいと思います。							

科目名	松本大学と地域（スポーツ）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL11101	研究室	学生セカ
担当者	住吉 廣行・大蔵 真由美		必修選択	選択	科目種別	講義	ワイズワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C	~2018年度 2020年度~				
授業概要										
これからの松本大学での学びの基礎となる松本大学の理念や地域の基本的な概念・地域づくりの具体的な実践事例を学び、「地域とは何か」という理解を深めていくこととします。特に、本講義は地域について学ぶ入門的な講義であることを踏まえて、自分自身の経験や関心とのかかわりの中で地域のことを深く考えていくことが出来るようになることを目指します。またこれから地域と関わっていく上で重要となってくる視点についても学んでいきます。										
学修到達目標										
1.松本大学の教育に対する考え方、学修支援システムの種類や場所、その機能等について理解することができる。 2.地域の多様な実践について理解を深め、それらについて自分の考えをもつことが出来る。 3.講義全体を通して自分自身の今後の大学での学びと地域とのかかわりのあり方について考えようとする事が出来る。										
授業の進め方										
各教員からの講義内容や提示する関連資料を基にして、地域に関する理解を深めていきます。必要に応じてグループでディスカッションをし、その成果をフィードバックします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	長野県、松本市等の特徴 大学設立の経緯と残留率 学校法人・大学の組織	本学が立地する松本市がどのような特色を持った地域であるか、地勢、文化、歴史の視点から概観する。県・松本市・学校法人松商学園が資金を出し合って本学が設立された経緯を述べる。				長野県や松本市の自然・文化を探索する。(2時間)				
2	松本大学の教育手法いくつかの具体例。理論化された帰納的教育手法の説明	本学における地域連携を取り入れた学習方法を具体例に基づいて紹介する。本学の各学科の特徴を活かした、アクティブ・ラーニングを取り入れた、PBL型・課題解決型教育のイメージを把握する。				本学のパンフレットを見る。学び終えた時点で、自分なら何が出来るか考える。(2時間)				
3	松本大学の学生支援システムのあり方の背景にある哲学を考える	学生生活、就職活動、クラブ活動など、松本大学の学生支援活動を概観する。入学前から卒業後までを時系列で追いかけると共に、どのような考え方でこの活動が実施されているかを紹介する。				事後学習：学友会室やキャリアセンターを訪問し、質問する。(2時間)				
4	松本大学と地域活性化 各種GP、COC、研究プラン ディング事業の採択の紹介	「人や経済の地域内循環」の実現に対し、大学が持っている人的資源、ハード的資源を活かして、外部団体や人材と協働することで活力ある地域社会の実現に貢献していることを理解する。基礎教育1回目。				本学の競争的資金獲得状況を調べる。事後に他大学も調べて見る。(2時間)				
5	各種センターの紹介 国際交流センター 健康安全センター	グローバル化対応を担う国際交流センター、English Cafe等について説明する。心と体の健康に対応する健康安全センターの現状と喫煙防止などを解説する。教職センターを紹介する。基礎教育センター2回目。				基礎教育センターを訪問する。事後に健康安全、教職センターを訪問する。(2時間)				
6	各種センターの紹介 地域づくり考房『ゆめ』 公務員講座委員会など	学生の地域活動の窓口である地域づくり考房『ゆめ』の活動を説明する。公務員試験対策の現状について報告すると共に、図書館の利用案内も実施する。基礎教育センター3回目。				考房『ゆめ』を訪問しておく。事後に興味ある部署を訪問・見学する。(2時間)				
7	ゲストによる特別講義	総合経営、人間健康それぞれの学部ゲストを招いて、これからの大学生活において前向きに取り組んでいけるようなテーマで講演していただく。				事前にゲストについて調べる。事後にゲストに質問する。(2時間)				
8	地域とどう向き合うか	本講義を履修する上で、一人ひとりが自分の問題として地域を考えるきっかけとして、担当教員の地域とのかかわりについて紹介します。あわせて、前半部分に関わる中間テストを行います。				自分自身の地域との向き合い方について考えをまとめる。(2時間)				
9	地域とはなにか～地域の概念と定義	地域の基本的な概念について学びます。				地域の基本的概念に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
10	地域の現状と課題～事例研究	地域の現状やその課題について、これまでの地域づくりの取り組みなどを事例として考えます。				地域の現状と課題に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
11	松本大学と地域～大学での学びにおける地域の意義	松本大学と地域とのつながりや大学における地域と連携する意義について、特に地元の新村地区とのこれまでの関係を中心に学びます。				松本大学の地域連携に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
12	学校教育と地域～地域で育つ子ども・若者	子どもや若者を育てるために地域が果たすべき役割や学校教育が地域で求められる役割について学びます。				学校教育と地域に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
13	地域づくりとはなにか～小さな経済の創出の取り組み	信州のむらづくりの事例を基に地域の風土を活かした小さな経済を創出するアプローチを学びます。				信州のむらづくりに関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
14	まちづくりについて考える～都市計画の観点から	県内外の事例をもとにまちづくりの目的や意義、問題や今後の課題について学ぶ。特に、都市計画のアプローチや長野県小布施町の取り組みなどを紹介します。				都市計画の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
15	まとめ～大学の学びを通じて地域とどう関わるか	各学科の専門性を踏まえて、今後の大学での学びの中で、地域とどう関わっていくのかについて具体的な地域の事例を踏まえて考えます。				大学の学びを通して地域とどう関わるかを考える(2時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
講義用プリントが配布されます。			出席レポート：40% 定期試験：60% 講義回ごとに感想・質問などを記入して提出する出席レポートと、定期試験を総合して評価を行います。 <評価基準> S:授業内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に説明でき、自分自身の学びに生かせる。A:授業内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に説明できる。B:授業内容を理解し、説明できる。C:授業内容を理解している。							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「まちが変わる 若者が育ち、人が元気になる 松本大学生がかかわった」白戸洋著（松本大学出版会） ISBN：4902915138 「小布施 まちづくりの奇跡」川向正人著（新潮社） ISBN：4106103540			これから松本大学での学びを深めていくうえで重要となる地域についての入門的な内容を扱う講義となります。本講義の内容と、自己の経験やこれから学びたいことを関連付けて下さい。皆さんの積極的な参加を求めます。							

科目名	知の技法	学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL11102	研究室	A-16
担当者	守 一雄	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日5限、木曜日5限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)							
	A B C								
授業概要									
<p>教養ある大人となるための「知の技法」を実習します。「知の技法」は広範囲に及びますが、この授業では言語の活用技術に絞って「読み・書き・聞き・話す」という4つの技能について実習を通して学びます。具体的には、3冊の課題図書を読み、レポートを6回書き、本の内容について6回ディベート(聞き、話す)をします。なお、最終試験の受験資格が与えられるのは「ディベートに5回以上出席し、すべての読後レポートを提出」した者としてします。</p>									
学修到達目標									
<p>1) 本を決められた期間内に読めるようになる。2) パラグラフ・ライティングで文章が書けるようになる。3) ディベートで相手の主張を正しく聞き取ることができるようになる。4) ディベートで自分の意見を決められた時間内に話すことができるようになる。</p>									
授業の進め方									
<p>15回の授業のうち、6回を講義と実習、6回を小グループによるディベートにあてます。講義を聞くだけでなく、課題図書を読み、読後レポートを書き、ディベートで聞き、話すことで、言語の4つの機能をフル活用する授業となるようにします。</p>									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	この授業の進め方/ディベートのやり方と利点について説明し、学びます。				課題図書(1)を読む。(4時間)			
2	パラグラフライティング	レポートの書き方実習(三論点意見文章法)/パラグラフライティングについて説明し、学びます。				課題図書(1)の読書(4時間)			
3	ディベート	ディベート導入の是非についてディベートします。				読後レポート(1)の作成、提出(4時間)			
4	相互添削実習	レポート(1)の返却と相互添削実習 文章推敲の意義と方法について学びます。				レポート(1)の書き直し(4時間)			
5	ディベート	ディベート導入の是非について再度ディベートします。				レポート(1)の完成版提出(4時間)			
6	意見と感想	レポート(1)完成版返却とコメント 絶対評価と相対評価について学びます。				課題図書(2)の読書(4時間)			
7	ディベート	課題図書(2)に関するテーマについてディベートします。				課題図書(2)のレポート(3)提出(4時間)			
8	レポート(3)の相互添削実習	レポート(3)の相互添削実習/三論点文章法の応用について説明し、学びます。				読後レポート(3)の推敲、完成版作成(4時間)			
9	ディベート	課題図書(2)に関するテーマについてディベートします。				レポート(3)の書き直しと完成版(4)の提出(4時間)			
10	英語を学ぶことの意義	レポート(4)返却とコメント/科学的思考方法について説明し、学びます。				課題図書(3)の読書(4時間)			
11	ディベート	課題図書(3)に関するテーマについてディベートします。				課題図書(3)のレポート(5)提出(4時間)			
12	英語学習の実際	レポート(5)の相互添削実習/三論点文章法の応用について説明し、学びます。				読後レポート(5)の推敲、完成版(6)作成(4時間)			
13	ディベート	課題図書(3)に関するテーマについてディベートします。				読後レポート(6)の作成、提出(4時間)			
14	知の技法まとめ	レポート(6)を返却しコメントについて説明します。				総合的復習(4時間)			
15	最終試験・授業アンケート	最終試験(=定期試験)・解答について解説をします。				総合的復習(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
<p>「ザ・ディベート」茂木秀昭著(ちくま新書) ISBN:978-4480058928(生協で購入してください。) 課題図書  「残念ながら、その文章では伝わりません」山口拓朗著(たいわ文庫) ISBN:978-4479306597(生協で購入してください。) 課題図書  「英語を制するライティング」キム ジョンキユ著(講談社現代新書)(別途、指示します。) 課題図書</p>		<p>定期試験:100%  S:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の3つ以上において優れた成果を示した。A:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の2つ以上において優れた成果を示した。B:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習において優れた成果を示した。C:課題すべてを基準レベルで達成した。なお、定期試験として行う最終試験では、知識を問うような試験はしません。</p>							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特になし。		<p>楽な授業ではありませんが、本を読む習慣が付き、文章を書く力がつくはずですが、また、ディベートを通して、自分の主張をわかりやすく話し、相手の主張をしっかりと聞き取れるようになると思います。</p>							

科目名	基礎ゼミナール			学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL11103	研究室	S-15
担当者	山本 薫			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A B C									
<b>授業概要</b> 意義ある大学生活を送り、多くのものを学び、それを社会に出た時に発揮できるようにするためにはどうするればよいかについて修得することが、本ゼミナールの学習の目的であると同時に、大学生活の根本的課題です。本ゼミナールでは、そのための具体的方法を、講義、事例研究、実践演習など、様々な学習方法を通して学んでいきます。1年目の大学生活をスムーズに行うための学習方法、時間管理、大学施設・組織の活用方法などを学び、自ら学ぶ姿勢を身につけます。											
<b>学修到達目標</b> 大学の仕組みを理解し、勉強の仕方を修得し大学生活をスムーズに送ることができることを目標とします。また、本講座での学びが、社会に出た時に必要なスキルの基礎となることを意識し、自ら学ぶ姿勢を身につけることをめざします。											
<b>授業の進め方</b> テキストを使用し各ゼミ担当の指導より大学生としての学習方法を学びます。また、教養を身につけるための基礎学習、グループ演習形式、研究発表会形式など様々な形態もあります。学習のねらいや年間計画をきちんと理解して取り組むことが必要です。											
<b>授業計画(各回のテーマ等)</b> 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	本授業のねらいと進め方について確認します。ゼミ内で自己紹介を行い大学生活の目標を明確にします。大学の授業の形式などを示し、大学での学び方を考えます。単位について説明し、授業のとり方について確認					シラバスを熟読しておくこと(1時間)				
2	大学での学び方(1)文章の書き方	1週間講義を受けてみて、大学での講義の受け方やノートのとり方などを確認しながら情報交換を行い、今後の講義の受け方に役立てていきます。					「履修登録の手引き」を読み、各自の履修を確認する。テキストの1章を読んでおく。(1時間)				
3	大学での学び方(2)ノートの取り方	2週間講義を受けてみて、大学での講義の受け方やノートのとり方などを確認しながら情報交換を行い、今後の講義の受け方に役立てていきます。					テキストの2章を読み、各自の講義ノートの整理を行う。(1時間)				
4	PROGテスト	PROG検査を実施します。					事前説明に基づき、実施内容を把握する(1時間)				
5	大学での学び方(3)レポートの書き方	学術書や専門分野の入門書、学術的な文章を読む必要性と読み方について学びます。読む前に、難しそうと拒否せず取り組めるように考えます。					テキストの3章を読みレポート作成のポイントを把握する。(1時間)				
6	大学での学び方(4)レポートの書き方	作成したレポートを添削し、客観的に評価します。内容の構成や表現、言葉使いなどを修正します。					期日までにレポートを作成しておく(1時間)				
7	スポーツ大会企画準備	スポーツ大会のための準備を行います。					講義の内容を含めてレポートをまとめる(1時間)				
8	スポーツ大会(企画と運営)	スポーツ大会を企画し、準備、運営を学び実践します。スポーツ大会に必要な準備物、役割、プログラム作成などを考えます。					スポーツ大会に必要な準備物、役割などを話し合う(1時間)				
9	スポーツ大会(運営と振り返り)	スポーツ大会を企画し、準備、運営を学び実践します。スポーツ大会に必要な準備物、役割、プログラム作成などを考え、実施後に振り返りを行います。					スポーツ大会に必要な準備物、役割分担などを確認する(1時間)				
10	基礎学習	高校までに学習した基礎分野の知識を深めるため、英語、数学、国語、社会、時事などを中心に学力の向上を目指し学習します。					事前に配布された資料に目を通しておくこと(1時間)				
11	スポーツ大会(企画と運営)	スポーツ大会を企画し、準備、運営を学び実践します。スポーツ大会に必要な準備物、役割、プログラム作成などを考えます。					スポーツ大会に必要な準備物、役割などを話し合う(1時間)				
12	スポーツ大会(運営と振り返り)	スポーツ大会を企画し、準備、運営を学び実践します。スポーツ大会に必要な準備物、役割、プログラム作成などを考え、実施後に振り返りを行います。					スポーツ大会に必要な準備物、役割分担などを確認する(1時間)				
13	基礎学習	基礎学習の振り返りを実施し、応用問題へ進めていきます。					事前に配布された資料に目を通しておくこと(1時間)				
14	PROGテスト結果説明	PROG検査の結果について説明を実施します。					事前に配布された資料に目を通しておくこと(1時間)				
15	大学での学び方(5)試験、評価。前期ふりかえり	大学の定期試験と成績評価、単位について概要を解説します。実際に試験に向けての試験勉強の方法、試験対策などについて意見交換をします。					テキストを読み、試験に向けての疑問点を書きだす(1時間)				
<b>テキスト</b>						<b>成績評価の方法・基準</b>					
「大学生・短大生のための 大学での学び方」長尾佳代子、谷川裕穂、中國篤典著(株式会社 旺文社)(別途、指示します。) 基礎学習 基礎学習を踏まえ、試験問題に取り組み課題を見つけます。事前に配布された最初の講義までにテキストを購入して持参してください。必要に応じてプリント資料も配布して学習を進めます。						課題：70% レポート：30% S：B評価の要件に加え、ゼミ活動において特に優れたリーダーシップを発揮している A：B評価の要件に加え、ゼミ内での活動に積極的に参加している B：情報検索やレポート作成を自立して実行できる C：大学での学び方を習得し実践できる					
<b>参考書</b>						<b>履修上の注意(学生へのメッセージ)</b>					
「事前に配布された資料に目を通しておくこと(1時間)」 必要な場合はプリントなどで配布します。						大学生活が充実したものになるかどうかは自分自身に懸かっていることを忘れずに、大学生活の基本を学ぶという姿勢で本授業に取り組んでください。					

科目名	基礎ゼミナール			学年学期	1年後期	単位数	1	ナパ'リング	UL11104	研究室	S-15
担当者	山本 薫			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A B C									
授業概要											
意義ある大学生活を送り、多くのものを学び、それを社会に出た時に発揮できるようにするためにはどうするればよいかについて修得することが、本ゼミナールの学習の目的であると同時に、大学生活の根本的課題です。本ゼミナールでは、そのための具体的方法を、講義、事例研究、実践演習など、様々な学習方法を通して学んでいきます。1年目の大学生活をスムーズに行うための学習方法、時間管理、大学施設・組織の活用方法などを学び、自ら学ぶ姿勢を身につけます。											
学修到達目標											
大学の仕組みを理解し、勉強の仕方を修得し大学生活をスムーズに送ることができることを目標とします。また、本講座での学びが、社会に出た時に必要なスキルの基礎となることを意識し、自ら学ぶ姿勢を身につけることをめざします。											
授業の進め方											
テキストを使用し各ゼミ担当の指導より大学生としての学習方法を学びます。また、教養を身につけるための基礎学習、グループ演習形式、研究発表会形式など様々な形態もあります。学習のねらいや年間計画をきちんと理解して取り組むことが必要です。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	後期オリエンテーション	後期の講義予定と進め方について説明します。夏期課題の回収と確認テストまでの勉強の仕方について説明します。					シラバスを熟読し、夏期課題で分からなかった部分をまとめておく。(1時間)				
2	キャリア談話	資格取得や就職活動などについて先輩と対話を重ね、それぞれの専門について知識を深めていきます。					資格取得に必要な講義などの履修状況を振り返る。(1時間)				
3	野外活動報告会とスポフェスの企画プレゼン	2年生が経験した野外活動の報告を聞き、自分たちが行く野外活動のイメージを抱き、夢と心構えを養います。また、2年生が企画するスポフェスのプレゼンテーションを聞き、大学祭への関心を高めます。					スポフェスに参加する。(1時間)				
4	スポーツ大会(1)	企画したスポーツ大会を運営します。					スポーツ大会に必要なものを準備する。(1時間)				
5	スポーツ大会(2)	企画したスポーツ大会を運営します。					スポーツ大会に必要なものを準備する。(1時間)				
6	スポーツ大会の振り返り	企画したスポーツ大会を振り返ります。お互いに意見交換を行います。					スポーツ大会に必要なものを準備します。(1時間)				
7	薬物防止講座	薬物乱用防止のための講座を開講します。					薬物について調べてくる。(1時間)				
8	基礎学習	時事問題についての理解を深めます。					新聞を読んでくる。(1時間)				
9	基礎学習	時事問題についての理解を深めます。					新聞を読んでくる。(1時間)				
10	基礎教養確認テスト	今まで大学入門ゼミで学習してきたことを総合的に振り返ります。					今までに配布された資料に目を通すこと。(1時間)				
11	大学生の学び ゼミ発表の仕方(1)	ゼミ発表とはどのようなことかを学び、方法についての基本を学びます。テーマを決めてゼミ発表のレジュメを作成します。					ゼミ発表のレジュメを作成する。(1時間)				
12	大学生の学び ゼミ発表の仕方(2)	レジュメをもとにゼミ発表を行います。お互いの発表を聞き、意見交換を行います。					講義内容をまとめる。(1時間)				
13	大学生の学び ゼミ発表の仕方(3)	レジュメをもとにゼミ内で発表を行います。お互いの発表を聞き、意見交換を行います。					お互いのゼミ発表を聴き、内容を振り返る。(1時間)				
14	大学生の学び ゼミ発表の仕方(4)	各ゼミの代表グループが学年全体の前で発表を行います。お互いの発表を聞き、意見交換を行います。					お互いのゼミ発表を聴き、内容を振り返る。(1時間)				
15	まとめ	1年間の学習の復習を行い、大学での学びを振り返りながら、2年次に向けての動機づけを行います。					テキストを読み返し、1年間の学習の復習をする(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「大学生・短大生のための、大学での学び方」長尾佳代子、谷川裕穂、中園篤典著(株式会社旺文社)(別途、指示します。) 最初の講義までにテキストを購入して持参してください。 必要に応じてプリント資料も配布して学習を進めます。					課題:70% レポート:30% S:B評価の要件に加え、ゼミ活動において特に優れたリーダーシップを発揮している A:B評価の要件に加え、ゼミ内での活動に積極的に参加している B:情報検索やレポート作成を自立して実行できる C:大学での学び方を習得し実践できる						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要な場合はプリントなどで配布します。					大学生活が充実したものになるかどうかは自分自身に懸かっていることを忘れずに、大学生活の基本を学ぶという姿勢で本授業に取り組んでください。						

科目名	総合英語 (INT) Aクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	イサー フィリップ		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業では、実際に使える英語の習得を目指しコミュニケーションを重視しながら4技能をバランスよく身につけます。TED talksのプレゼンテーションを通じて単語学習、リスニング問題、ディスカッション、ライティング課題に取り組むことで、英語でのプレゼンテーション能力も養います。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。</p>										
学修到達目標										
<p>オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりして会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって淀みなく英語を発話することができる。4技能5領域においてCEFR A2レベル同等の知識とスキルを習得している。</p>										
授業の進め方										
<p>外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&amp;A、グループでのディスカッション等、学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。中間、期末テストでは一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。				自分に合った学習計画を立てロードマップに記入(1時間)				
2	Spending Habits	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking				単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読(1時間)				
3	Spending Habits	テクスTREEディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks 視聴				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)				
4	Spending Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills				単語 TED talksスクリプト音読 Writing(1時間)				
5	Career Paths	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep				単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write)(1時間)				
6	Career Paths	テクスTREEディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep(1時間)				
7	Career Paths	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep				単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing(1時間)				
8	中間テスト Presentation	Presentation "Introducing someone you know"				Unit6 Challenges PRE-READING, UNDERSTANDING, VOVABULARY(1時間)				
9	Talents	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking				単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読(1時間)				
10	Talents	テクスTREEディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)				
11	Talents	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills				単語 TED talksスクリプト音読 Writing(1時間)				
12	Techonology	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep				単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write)(1時間)				
13	Techonology	テクスTREEディング Questions for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep(1時間)				
14	Techonology	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep				単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing(1時間)				
15	Presentation	Presentation "Introducing a new piece of technology"				期末試験範囲の学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Keynote 1 Student Book with My Keynote Online」David Bohlke著(センゲ・ジラーニング) ISBN:9781337104104 (生協で購入してください。)				<p>受講態度：10% 定期試験：30% 課題：30% 小テスト：30%          受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應えず積極的に取り組んで下さい。						

科目名	総合英語 (INT) Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	タチ イミ-	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業では、実際に使える英語の習得を目指しコミュニケーションを重視しながら4技能をバランスよく身につけます。TED talksのプレゼンテーションを通じて単語学習、リスニング問題、ディスカッション、ライティング課題に取り組むことで、英語でのプレゼンテーション能力も養います。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。</p>										
学修到達目標										
<p>オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりして会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって淀みなく英語を発話することができる。4技能5領域においてCEFR A2レベル同等の知識とスキルを習得している。</p>										
授業の進め方										
<p>外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&amp;A、グループでのディスカッション等、学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。中間、期末テストでは一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップに記入(1時間)			
2	Spending Habits	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)			
3	Spending Habits	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks 視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)			
4	Spending Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)			
5	Career Paths	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write) (1時間)			
6	Career Paths	テキストリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep (1時間)			
7	Career Paths	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing (1時間)			
8	中間テスト Presentation	Presentation "Introducing someone you know"					Unit6 Challenges PRE- READING, UNDERSTANDING, VOVABULA RY (1時間)			
9	Talents	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)			
10	Talents	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)			
11	Talents	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)			
12	Techonology	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write) (1時間)			
13	Techonology	テキストリーディング Questions for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep (1時間)			
14	Techonology	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing (1時間)			
15	Presentation	Presentation "Introducing a new piece of technology"					期末試験範囲の学習(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「Keynote 1 Student Book with My Keynote Online」David Bohke著(センゲ・ジラーニング) ISBN:9781337104104 (生協で購入してください。)		<p>受講態度：10% 定期試験：30% 課題：30% 小テスト：30%          受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。		インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應えず積極的に取り組んで下さい。								

科目名	総合英語 (スポーツ) Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	平島 江利	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に着け海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。										
授業の進め方										
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)			
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文					Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現					Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文					Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文					Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認					期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)					受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。					



科目名	総合英語 (スポーツ) Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	中田 順	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に付けて海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。										
授業の進め方										
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)			
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文					Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現					Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文					Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文					Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認					期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)					受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。					

科目名	総合英語 (スポーツ) Cクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	櫻井 智子	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に付けて海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。										
授業の進め方										
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)			
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文					Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現					Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文					Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文					Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認					期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)					受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。					

科目名	総合英語 (スポーツ) Dクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	N-03
担当者	藤原 隆史	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限、金曜日2限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
	A	B	C						
授業概要									
実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。									
学修到達目標									
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。									
授業の進め方									
アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレースメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク(CL)」を登録。				ゴールの設定、自己学習計画を立ててロードマップへ記入する。(1時間)			
2	現在形(Be動詞) First Day of Class	現在形(Be動詞) am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方				P14 A, P16 C (CL) 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる(1時間)			
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介				P20 A, P22 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方				P26 A, P28 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞(主格、所有格、目的格、所有代名詞) アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう				P32 A, P34 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞(過去形)の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう				P38 A, P40 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
7	中間テスト	中間テスト: 2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間: 進行形				P44 A, P46 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう				P50 A, P52 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現(will, be going to) 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう				P56 A, P58 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形(経験、継続、完了) ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう				P62 A, P64 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
11	比較級と最上級 It's Nice...And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう				P68A, P70 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう				P74 A, P76 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう				P80 A, P82 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類(5W1H) ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう				P86 A, P88 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう				P92 A, P94 C (CL) 会話練習、単語(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著(金星堂) ISBN: 9784764740365 (生協で購入してください。)		受講態度: 10% 定期試験: 30% 課題: 30% 小テスト: 30% S: 授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
参考書は授業内で紹介します。		インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。							

科目名	総合英語 (スポーツ) Eクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	大岩 裕子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
			A	B	C					
授業概要										
Eクラス スポーツの世界でも、良い結果を得るためには基礎を大切に地道な練習を毎日続けていくことが求められます。英語の学習もこれと似ています。高校までに学んだ基礎文法をもう一度確認・整理することで、「読む、聞く、書く、話す」につながる土台作りを目指します。										
学修到達目標										
基本的な英文法を理解すること。辞書を使い英文の内容を読み取る力をつけること。運動とスポーツに関する英語の表現・語彙を増やすことが目標です。										
授業の進め方										
テキストとプリント教材を使って授業を進めていきます。プレイズメントテスト成績に基づく人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	This is My Classmates/be動詞(現在)	英文を支える大黒柱は動詞。その意味と使い方を理解することが英語の学習の第一歩です。まずはbe動詞から確認していきましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
2	I Was Sleepy/be動詞(過去形)	be動詞の過去形をいろいろな状況で使い分けてみましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
3	I Work Part-time on Weekdays/一般動詞(現在形)	一般動詞の現在形の使い方のルールを復習しましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
4	I Bought a New Shirt/一般動詞(過去形)	英語では動詞の形を変えることで「~した」と過去のことを表します。現在形と比較しながら、過去形の使い方を整理しましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
5	Are You Goin to Study Abroad?/未来表現	実際にはまだ起こっていないことや、不確実なこと、予想、予定などを伝えるいろいろな表現を学びます。				講義後、サブノート用プリントを完成させる(1時間)				
6	Is He Running?/進行形	今まさに目の前で進行している動作を表す現在進行形。実際の場面を想像しながら、進行形の役割を学習します。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
7	It's Yours/代名詞	同じ単語の繰り返しを避けるため、すでに話題に上がった人や物を代名詞を使って表します。頻繁に登場するので、代表的な代名詞の意味と働きを理解しておきましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
8	It's on Your Desk/場所を表す前置詞	場所を表す基本的な前置詞を整理しましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
9	Where Are You Going?/疑問詞	誰が、何を、どこで、など具体的な情報を尋ねたいときの疑問文を復習します。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
10	Have You Ever Played the Piano?/現在完了	過去の出来事と現在を結びつける現在完了形。 have + 動詞の過去分詞形 の形に慣れましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる(1時間)				
11	Shall We Go?/助動詞	代表的な助動詞の意味を整理し、実際に使って英文を作ってみましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
12	Three Cups of Coffee, Please?/名詞の数と量	英語の名詞は「数えられるもの」と「数えられないもの」という基準で分類されます。日本語との違いを確認しながら、名詞を使うときのルールを学びます。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
13	Who Is the Tallest?/比較	英語で二つ以上のものを比較する際には、形容詞や副詞の形を変化させて表します。比較の三つの形を整理しましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
14	The Door Was Closed/受動態	動作を受ける側を主体とし「~される」と表す受動態(受け身)の文の復習をしましょう。 be動詞 + 動詞の過去分詞形 の形に慣れましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
15	I Like Cats and Dogs/接続詞	接続詞は文と文、語と語を結び働きをします。時、理由、条件などを表す代表的な接続詞の使い方を復習しましょう。				講義後、サブノート用プリントを完成させる。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「English Illustrated」Kazumi Namiki, Kaori Noro, Susan Adams Yamada著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4063-1(生協で購入してください。) テキストの他にプリント教材、資料を配布します。		受講態度:20% 課題:20% 定期試験:60% 受講態度は、授業への意欲(予習・発言)、課題の提出状況と内容などで、総合的に評価します。S:授業内容をほぼ100パーセント理解し、意欲的に課題に取り組み優秀な成績をおさめている。A:授業内容をよく理解し、積極的に課題に取り組み目標を十分に達成している。B:授業内容をおおよそ理解し、真面目に課題に取り組み目標を達成している。C:授業内容の60%程度を理解し、目標にほぼ達している。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし		辞書は授業中にも使いますから、必ず用意してください。また、毎回の講義終了前に次回講義の概要や予習等について説明をします。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。								

科目名	総合英語 (INT) Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	イサー フィリップ		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
総合英語 で身につけた4技能を発展させ、自分の考えをさらに自由に表現できるようになることを目指します。前期に引き続きTed talksのプレゼンテーションを視聴しながらより掘り下げた内容でペアやグループでの意見交換を行います。また、より洗練された英語でのプレゼンテーションができるよう力をつけていきます。プレイスメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。										
学修到達目標										
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりしてスムーズに会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって英語を話すことができる。4技能5領域においてCEFR A2以上の知識とスキルを習得している。										
授業の進め方										
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループディスカッション、意見を書き表す等の活動を通じて学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。授業内で一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	Confidence	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking				単語 Dialogue 音読トレーニング Pre-reading サイトラ・音読(1時間)				
2	Confidence	テクスツリーディング Qns for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Writing Task メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)				
3	Confidence	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills Small Quiz#1				単語 TED talksスクリプト音読 Writing(1時間)				
4	Achievements	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 1				単語, Writing Task, PRE-READING サイトラ・音読(1時間)				
5	Achievements	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking. Presentation #1 Part 2				単語, TED talks視聴 Writing Tasks(1時間)				
6	Achievements	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation #1 Part 3				単語 TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
7	Creative Cities	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 4				単語 re-reading スラッシュリーディング Writing Task・音読(1時間)				
8	Creative Cities	テクスツリーディング Questions for deeper understanding. Small Quiz #2 Words & Phrases Critical Thinking				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)				
9	Creative Cities	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases				単語, TED talks視聴 Writing Task(1時間)				
10	Healthy Habits	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Pre-reading, Writing Task(1時間)				
11	Healthy Habits	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation #2 part 1				単語, TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Writing Task(1時間)				
12	Healthy Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation #2 part 2				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
13	Picture Perfect	Guess chapter, Critical Thinking activity, Listening				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
14	Picture Perfect	テクスツリーディング Questions for deeper understanding, Critical Thinking				単語, Reading, Writing Task(1時間)				
15	Picture Perfect	TED talks視聴 Comprehension Questions, Small Quiz #3, Semester Review Activity				単語 TED talksスクリプト音読 Exam Study(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Student Book with My Keynote Online」David Bohlke著(センゲ-ジラニング) ISBN:9781337104104 前期のテキストを引き続き使用します。				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。						

科目名	総合英語 (INT) Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	タチ イミ-		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
総合英語 で身につけた4技能を発展させ、自分の考えをさらに自由に表現できるようになることを目指します。前期に引き続きTed talksのプレゼンテーションを視聴しながらより掘り下げた内容でペアやグループでの意見交換を行います。また、より洗練された英語でのプレゼンテーションができるよう力をつけていきます。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。										
学修到達目標										
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりしてスムーズに会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって英語を話すことができる。4技能5領域においてCEFR A2以上の知識とスキルを習得している。										
授業の進め方										
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループディスカッション、意見を書き表す等の活動を通じて学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。授業内で一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	Confidence	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking				単語 Dialogue 音読トレーニング Pre-reading サイトラ・音読(1時間)				
2	Confidence	テクスツリーディング Qns for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Writing Task メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)				
3	Confidence	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills Small Quiz#1				単語 TED talksスクリプト音読 Writing(1時間)				
4	Achievements	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 1				単語, Writing Task, PRE-READING サイトラ・音読(1時間)				
5	Achievements	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking. Presentation #1 Part 2				単語, TED talks視聴 Writing Tasks(1時間)				
6	Achievements	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation #1 Part 3				単語 TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
7	Creative Cities	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 4				単語 re-reading スラッシュリーディング Writing Task・音読(1時間)				
8	Creative Cities	テクスツリーディング Questions for deeper understanding. Small Quiz #2 Words & Phrases Critical Thinking				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING(1時間)				
9	Creative Cities	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases				単語, TED talks視聴 Writing Task(1時間)				
10	Healthy Habits	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Pre-reading, Writing Task(1時間)				
11	Healthy Habits	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation #2 part 1				単語, TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Writing Task(1時間)				
12	Healthy Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation #2 part 2				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
13	Picture Perfect	Guess chapter, Critical Thinking activity, Listening				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task(1時間)				
14	Picture Perfect	テクスツリーディング Questions for deeper understanding, Critical Thinking				単語, Reading, Writing Task(1時間)				
15	Picture Perfect	TED talks視聴 Comprehension Questions, Small Quiz #3, Semester Review Activity				単語 TED talksスクリプト音読 Exam Study(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Student Book with My Keynote Online」David Bohlke著(センゲ-ジラニング) ISBN:9781337104104 前期のテキストを引き続き使用します。				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。						

科目名	総合英語 (スポーツ) Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤	
担当者	平島 江利	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-				
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
総合英語 で学んだ日常会話や基礎文法の知識を活用しながら、ディスカッション、プレゼンテーション、シンプル・ディベートまで段階的に学習していきます。授業ではペアワークやグループワークを通して自らの意見を英語で発話する機会を多く設けます。										
学修到達目標										
自己紹介、趣味、日常生活について英語で淀みなく相手に伝えることができる。基礎文法の知識を使って簡単なディスカッションを行うことができる。また、プレゼンテーションやディベートの構造を元に、自分の意見を英語で簡潔にまとめ書き表すことができる。										
授業の進め方										
授業はペアワークやグループワークが中心の参加型です。プレゼンテーション発表を行う場合にはパワーポイントの資料作成にも取り組みます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Unit1: Conversation 1	初対面の挨拶 Reading Conversation練習					単語学習 初対面の挨拶の会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
2	Unit2: Conversation 2	出身地について話す Reading Conversation練習					単語学習 出身地についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
3	Unit3: Conversation 3	普段の習慣とその頻度について話す Reading Conversation練習					単語学習 日常生活の習慣についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
4	Unit4: Conversation 4	過去の出来事について話す Reading Conversation練習					単語学習 修学旅行の思い出についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
5	Unit5: Conversation 5	未来やこれからの予定について話す Reading Conversation練習					単語学習 この夏の予定についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
6	Unit6: Discussion 1	自分の意見を述べる 海外留学についてのDiscussion					単語学習 海外留学についてのディスカッションを練習してくる Readingのサイトラ(1時間)			
7	Unit7: Discussion 2	理由と度合いを示して同意・反論する 一人暮らしについてのDiscussion					単語学習 一人暮らしについてのディスカッションを練習してくる Readingのサイトラ(1時間)			
8	口述テスト	中間テスト: 口述テスト					単語学習 Reading サイトラ(1時間)			
9	中間テスト Unit8: Presentation 1	口述テストのフィードバック 中間テスト: 筆記テスト 自分の意見を述べる					単語学習 Readingのサイトラ(1時間)			
10	Unit9: Presentation 2	プレゼンテーションの具体的な内容 ボディの書き方について パワーポイント資料の作成の仕方 プレゼンの原稿作成					単語学習 タイムテーブルを作成 英語での発表練習(1時間) Readingのサイトラ(1時間)			
11	Unit10: Presentation 3	グラフを使ったプレゼンテーション グラフや数値を提示する時の表現 注目を求める時の表現					単語学習 Readingのサイトラ(1時間)			
12	Unit11: Simplified Debate 1	主張や理由や具体例を示す 「ファーストフードを食べるのは良いことである」というテーマについてのシンプルディベート					単語学習 ファーストフードについてのディスカッション練習 Readingのサイトラ(1時間)			
13	Unit12: Simplified Debate 2	理由や具体例を示して立論する 「田舎より都会に住む方が良い」というテーマについてのシンプルディベート					単語学習 田舎に住むことについてのライティングを完成する Readingのサイトラ(1時間)			
14	Unit15 / Unit12: Simplified	立場や見方を変えて反論を発送する 聴衆の立場で評価する 「インターネットを使うのは良いことである」というテーマについての					単語学習 インターネットに関する意見をまとめる。Readingのサイトラ(1時間)			
15	口述テスト	口述テスト 残りのユニットを確認					期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「Speak Easy From Basic Conversation to Simplified Debate」(金星堂) ISBN:9784764740846 (生協で購入してください。)		受講態度: 10% 定期試験: 30% 課題: 30% 小テスト: 30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S: 授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。		PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。英語環境に臆せず積極的に取り組んで下さい。								

科目名	総合英語 (スポーツ) Bクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤	
担当者	山内 志野	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-				
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
総合英語 で学んだ日常会話や基礎文法の知識を活用しながら、ディスカッション、プレゼンテーション、シンプル・ディベートまで段階的に学習していきます。授業ではペアワークやグループワークを通して自らの意見を英語で発話する機会を多く設けます。										
学修到達目標										
自己紹介、趣味、日常生活について英語で淀みなく相手に伝えることができる。基礎文法の知識を使って簡単なディスカッションを行うことができる。また、プレゼンテーションやディベートの構造を元に、自分の意見を英語で簡潔にまとめ書き表すことができる。										
授業の進め方										
授業はペアワークやグループワークが中心の参加型です。プレゼンテーション発表を行う場合にはパワーポイントの資料作成にも取り組みます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Unit1: Conversation 1	初対面の挨拶 Reading Conversation練習					単語学習 初対面の挨拶の会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
2	Unit2: Conversation 2	出身地について話す Reading Conversation練習					単語学習 出身地についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
3	Unit3: Conversation 3	普段の習慣とその頻度について話す Reading Conversation練習					単語学習 日常生活の習慣についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
4	Unit4: Conversation 4	過去の出来事について話す Reading Conversation練習					単語学習 修学旅行の思い出についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
5	Unit5: Conversation 5	未来やこれからの予定について話す Reading Conversation練習					単語学習 この夏の予定についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
6	Unit6: Discussion 1	自分の意見を述べる 海外留学についてのDiscussion					単語学習 海外留学についてのディスカッションを練習してくる Readingのサイトラ(1時間)			
7	Unit7: Discussion 2	理由と度合いを示して同意・反論する 一人暮らしについてのDiscussion					単語学習 一人暮らしについてのディスカッションを練習してくる Readingのサイトラ(1時間)			
8	口述テスト	中間テスト: 口述テスト					単語学習 Reading サイトラ(1時間)			
9	中間テスト Unit8: Presentation 1	口述テストのフィードバック 中間テスト: 筆記テスト 自分の意見を述べる					単語学習 Readingのサイトラ(1時間)			
10	Unit9: Presentation 2	プレゼンテーションの具体的な内容 ボディの書き方について パワーポイント資料の作成の仕方 プレゼンの原稿作成					単語学習 タイムテーブルを作成 英語での発表練習(1時間) Readingのサイトラ(1時間)			
11	Unit10: Presentation 3	グラフを使ったプレゼンテーション グラフや数値を提示する時の表現 注目を求める時の表現					単語学習 Readingのサイトラ(1時間)			
12	Unit11: Simplified Debate 1	主張や理由や具体例を示す 「ファーストフードを食べるのは良いことである」というテーマについてのシンプルディベート					単語学習 ファーストフードについてのディスカッション練習 Readingのサイトラ(1時間)			
13	Unit12: Simplified Debate 2	理由や具体例を示して立論する 「田舎より都会に住む方が良い」というテーマについてのシンプルディベート					単語学習 田舎に住むことについてのライティングを完成する Readingのサイトラ(1時間)			
14	Unit15 / Unit12: Simplified	立場や見方を変えて反論を発送する 聴衆の立場で評価する 「インターネットを使うのは良いことである」というテーマについての					単語学習 インターネットに関する意見をまとめる。Readingのサイトラ(1時間)			
15	口述テスト	口述テスト 残りのユニットを確認					期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「Speak Easy From Basic Conversation to Simplified Debate」(金星堂) ISBN:9784764740846 (生協で購入してください。)		受講態度: 10% 定期試験: 30% 課題: 30% 小テスト: 30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S: 授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。		PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。英語環境に臆せず積極的に取り組んで下さい。								



科目名	総合英語 (スポーツ) Cクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	櫻井 智子	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C					
授業概要									
総合英語 で学んだ日常会話や基礎文法の知識を活用しながら、ディスカッション、プレゼンテーション、シンプル・ディベートまで段階的に学習していきます。授業ではペアワークやグループワークを通して自らの意見を英語で発話する機会を多く設けます。									
学修到達目標									
自己紹介、趣味、日常生活について英語で淀みなく相手に伝えることができる。基礎文法の知識を使って簡単なディスカッションを行うことができる。また、プレゼンテーションやディベートの構造を元に、自分の意見を英語で簡潔にまとめ書き表すことができる。									
授業の進め方									
授業はペアワークやグループワークが中心の参加型です。プレゼンテーション発表を行う場合にはパワーポイントの資料作成にも取り組みます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	Unit1: Conversation 1	初対面の挨拶 Reading Conversation練習				単語学習 初対面の挨拶の会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
2	Unit2: Conversation 2	出身地について話す Reading Conversation練習				単語学習 出身地についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
3	Unit3: Conversation 3	普段の習慣とその頻度について話す Reading Conversation練習				単語学習 日常生活の習慣についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
4	Unit4: Conversation 4	過去の出来事について話す Reading Conversation練習				単語学習 修学旅行の思い出についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
5	Unit5: Conversation 5	未来やこれからの予定について話す Reading Conversation練習				単語学習 この夏の予定についての会話練習 Readingのサイトラ(1時間)			
6	Unit6: Discussion 1	自分の意見を述べる 海外留学についてのDiscussion				単語学習 海外留学についてのディスカッションを練習してくる Readingのサイトラ(1時間)			
7	Unit7: Discussion 2	理由と度合いを示して同意・反論する 一人暮らしについてのDiscussion				単語学習 一人暮らしについてのディスカッションを練習してくる Readingのサイトラ(1時間)			
8	口述テスト	中間テスト: 口述テスト				単語学習 Reading サイトラ(1時間)			
9	中間テスト Unit8: Presentation 1	口述テストのフィードバック 中間テスト: 筆記テスト 自分の意見を述べる				単語学習 Readingのサイトラ(1時間)			
10	Unit9: Presentation 2	プレゼンテーションの具体的な内容 ボディの書き方について パワーポイント資料の作成の仕方 プレゼンの原稿作成				単語学習 タイムテーブルを作成 英語での発表練習(1時間) Readingのサイトラ(1時間)			
11	Unit10: Presentation 3	グラフを使ったプレゼンテーション グラフや数値を提示する時の表現 注目を求める時の表現				単語学習 Readingのサイトラ(1時間)			
12	Unit11: Simplified Debate 1	主張や理由や具体例を示す 「ファーストフードを食べるのは良いことである」というテーマについてのシンプルディベート				単語学習 ファーストフードについてのディスカッション練習 Readingのサイトラ(1時間)			
13	Unit12: Simplified Debate 2	理由や具体例を示して立論する 「田舎より都会に住む方が良い」というテーマについてのシンプルディベート				単語学習 田舎に住むことについてのライティングを完成する Readingのサイトラ(1時間)			
14	Unit15 / Unit12: Simplified	立場や見方を変えて反論を発送する 聴衆の立場で評価する 「インターネットを使うのは良いことである」というテーマについての				単語学習 インターネットに関する意見をまとめる。Readingのサイトラ(1時間)			
15	口述テスト	口述テスト 残りのユニットを確認				期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Speak Easy From Basic Conversation to Simplified Debate」(金星堂) ISBN:9784764740846 (生協で購入してください。)		受講態度: 10% 定期試験: 30% 課題: 30% 小テスト: 30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S: 授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。		PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。英語環境に臆せず積極的に取り組んで下さい。							

科目名	総合英語 (スポーツ) Dクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバ'リング	UL12102	研究室	N-03
担当者	藤原 隆史	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日5限、木曜日4限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
	A	B	C						
授業概要									
総合英語を受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語に続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。									
学修到達目標									
ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。 基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。 簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。									
授業の進め方									
リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞, 挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞, 注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
7	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト: 1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間: 形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
8	Scene8: I'm not feeling well 助動詞, 体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
9	Scene9: Tickets for a Yankee Game 進行形, 誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞, 誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形, 聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「フロードウェイ」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形, 予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞, 提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
14	Scene14: You're my friend, 比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文					単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写(1時間)		
15	まとめ	口述テスト: グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリートーク					期末試験に向けての準備(1時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)		受講態度: 10% 定期試験: 30% 課題: 30% 小テスト: 30% S: 授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C: 授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
参考書は授業内で紹介します。		インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。							

科目名	総合英語 (スポーツ) Eクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナパ・リッジ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	大岩 裕子	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
前期で一通り基本的な文法を復習しました。後期は日常的な場面をイメージして英語を使うトレーニングをします。日本人留学生ユカと一緒に夏のロサンゼルスでの学生生活を体験しましょう。「読む、書く、聞く」を「使う」につなげます。また、健康とスポーツについての最新情報を英文で読み、ポキャブラリーの強化も狙います。									
学修到達目標									
基礎文法の復習、大学生として相応の英語表現と基礎知識を身につけること、実際のコミュニケーションで遭遇する場面をイメージしながら短い英語表現を使えることが目標です。									
授業の進め方									
テキストとプリント教材を中心に授業を進めます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	Welcome to L.A.	日本人留学生のYukaがホームステイ先に到着しました。自己紹介はコミュニケーションの第一歩です。英語で自分のことをいえるようにしましょう。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
2	I Love Fruits!/可算名詞と不可算名詞	キッチンでの会話です。Yukaと Lindaがアメリカのいろいろな食べ物について話しているようですが、ちょっと注意が必要です。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
3	Campus Life/一般動詞	アメリカの大学生活はどのようなものなのでしょう。Andyの説明を聞いてみましょう。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
4	Lunch Time/代名詞	YukaがKenのアルバイト先のカフェにやってきました。アメリカの大学生は講義以外の時間をどのように過ごしているのでしょうか。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
5	First Date/一般動詞の過去形	LindaはビーチでYukaにボーイフレンドのAndyとの初めてのデートの思い出を話します。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
6	Where's Linda?/ 進行形	Yukaは公園でローラースケートの練習中。AndyとKenは電話で何やら話しています。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
7	Andy's News/willと be going to	Lindaに電話中の Andy。何か重要なニュースがあるようです。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
8	Shopping in Santa Monica/助動詞	YukaはLindaはサンタモニカで買い物をしています。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
9	Moving Day/前置詞	KenはAndyの引っ越しの手伝いをしています。家具をどこに置いたらいいか相談中です。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
10	A Beautiful Day/ 現在完了	YukaとKenはロサンゼルスを一望できる眺めのいい場所に来ています。Kenはなぜか、心ここにあらずといった様子です。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
11	Sunday Fun/比較	YukaとLindaは海辺の遊園地に遊びに来ています。ロサンゼルスで一番大きな観覧車があります。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
12	Seeing Stars/疑問詞をつかった疑問文	YukaとKenはハリウッドにある有名な『ウォーク・オブ・フェイム』に来ています。YukaはKenにいろいろな質問をします。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
13	Buying Food/to不定詞と動名詞 ~ing	KenとAndyはバーベキューの材料の買い出しの準備をしていますが、予算との兼ね合いが難しそうです。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
14	Putting on a New Face/接続詞	ミュージカルのオーディションを受けるLindaのためにYukaがメイクをしてあげています。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
15	Nice Surprise/ 受動態	バーベキューパーティを楽しんでいるYukaたちにうれしいサプライズが。				サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「We Love L.A.」 Robert Hickling / Misato Usukura著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4049-5(生協で購入してください。) テキストの他にプリント教材を配布します。		受講態度:20% 小テスト:20% 定期試験:60% 受講態度は、授業への意欲(予習・発言)、課題の提出状況とその内容、プレイスメントテストの結果などで、総合的に判断します。S:授業内容をほぼ100%理解し、意欲的に課題に取り組み優秀な成績をおさめている。A:授業内容をよく理解し、積極的に課題に取り組み目標を十分に達成している。B:授業内容をおおよそ理解し、真面目に課題に取り組み、目標を達成している。C:授業内容を60%程度理解し、目標にほぼ届いている。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
なし		辞書は必ず用意してください。毎回の講義終了前に次回講義の概要や予習等について説明をします。必ず予習をしてから講義に臨んでください。							

科目名	総合英語 (人間)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ'リング	UL22103	研究室	非常勤
担当者	大岩 裕子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
音読は苦手ですか。読めない単語聞き取れませんし、覚えられないものです。遠回りなようで英文を聞き、声に出して読むことが、英語力のアップにつながります。この授業では、単純に声を出すだけでなく、英文の意味、内容に応じた英語らしい音と読み方をトレーニングします。メッセージを相手にしっかり伝えるためにも、まず自分の声を意識することからスタートしましょう。										
学修到達目標										
日常的な表現の確認、基本的な文法事項の復習、日本語との違いを意識して「相手に届く声」で正確に相手に伝わる英語で表現できること。										
授業の進め方										
声を出す機会をできる限り多く設けます。予習してあることを前提にテキストを進めますので、CDの音声を聞き、音読の練習をしてきてください。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス/発声練習	自分の呼吸、口形を意識して英語の子音を発音してみましょう。音読しやすい短文で、まずはしっかり声を出すことから始めます。					ウォーミングアップのテキストの発声練習をしてください。(1時間) Unit1の練習問題の予習、音読			
2	The Atkins Diet	アトキンスダイエットって有効?それとも.../英文を構成している要素をもう一度整理します。					Unit1の練習問題の予習、音読。(1時間)			
3	REM vs.NREM Sleep	レム睡眠とノンレム睡眠/間違いやすい冠詞の使い方をまとめます。					Unit3の練習問題と音読。(1時間)			
4	Typhoon in Japan, Hurricane in America	日本では台風、アメリカではハリケーン、違いは?/定冠詞 theの用法を整理します。					Unit4の練習問題と音読。(1時間)			
5	Pet Boom in Japan:A Dog Treated Like Human Being	ペットブーム:犬は王様?/名詞の用法をまとめます。					Unit5本文の練習問題と音読。(1時間)			
6	A friend in Need Is a Friend Indeed	必要な時の友こそ真の友/ to不定詞の3つの用法を復習しましょう。					Unit6の練習問題と音読。(1時間)			
7	The Growing Population of Older People	高齢化する社会/現在分詞 -ing と過去分詞 -ed の用法を復習しましょう。					Unit7の練習問題と音読。(1時間)			
8	Job-Hunting	就職活動、厳しい.../動名詞 -ing の復習をしましょう。					Unit8の練習問題と音読。(1時間)			
9	Drug Use Increase Among the Young	広がる若者の薬物使用/現在完了形 have+過去分詞 の4つの用法を整理しましょう。					Unit9の練習問題と音読。(1時間)			
10	Sushi Bars Popular in America Now	アメリカの寿司人気/関係代名詞を使った文を書いてみましょう。					Unit10の練習問題の音読。(1時間)			
11	Blood Type	血液型は性格を表す?/関係副詞を復習しましょう。					Unit11の練習問題と音読。(1時間)			
12	Japanimation Sweeps the World	日本製アニメ、世界を制覇/知覚動詞と使役動詞の用法を整理しましょう。					Unit12の練習問題と音読。(1時間)			
13	Internet Shopping Is Risky	インターネットの買い物は危ない?/分詞構文の復習をしましょう。					Unit13の練習問題と音読。(1時間)			
14	How Often Do You Say "I Love You"?	「愛してる」って何回いいますか?/条件を表すifを使った文を作ってみましょう。					Unit14の練習問題と音読。(1時間)			
15	Independent Films More Active Than Hollywood	独立プロ映画、ハリウッドをしのぐ/仮定法を復習しましょう。					Unit15の練習問題と音読。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「READ ALOUD」Shigeyuki Sakakibara, Masuko Sakakibara著(MACMILLAN LANGUAGEHOUSE) ISBN:978-4-7773-6111-3(生協で購入してください。) 開講が決まってから購入してください。					定期試験:80% 受講態度:20% 受講態度は、課題の提出状況、授業への意欲(予習、発言)等で総合的に判断します。S:授業内容をほぼ100%理解し、意欲的に課題をこなし優秀な成績をおさめている。A:積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し、目標を十分に達成している。B:授業をおおよそ理解し、真面目に課題に取り組み目標を達成している。C:授業内容を60%程度理解し、基本目標をほぼ達成している。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
なし					自宅で音読の練習をすること。辞書を持参すること。必ず予習をして講義に臨んでください。					

科目名	総合英語（人間）		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパ'リング	UL22104	研究室	非常勤
担当者	大岩 裕子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
英語を書いたり話したりするときのルールとして、英文法の知識は不可欠です。この授業では、基本的な文法事項を再確認しながら、語彙を広げ、自分の言いたいことを表現するための「引き出しの中身」を充実させます。日常的な表現の確認と英作文、音読を通して「読む、聞く、書く」力を鍛えます。										
学修到達目標										
表現に必要な基本文法や語法を理解し、会話や作文で応用できること。										
授業の進め方										
テキストとプリント教材を使って授業を進めます。予習してあることが前提です。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス/Welcome to the Party!	友人へメールを書いてみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
2	I'm Planning to Study Abroad	先輩や先生にメールを書いてみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
3	I'm Afraid That It Was Damaged	苦情のメールを書いてみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
4	Let Me Introduce Myself	自分の紹介文を書いてみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
5	My Hobby Is ...	自分の趣味を書いてみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
6	This Is My Dream	自分の夢について書いてみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
7	Isn't It Exciting to Go Out?	出来事について書いてみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
8	My Memorial Pictures	写真や絵を説明してみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
9	What I Experienced	印象的な思い出を説明してみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
10	How Long Did You Sleep?	グラフや図を説明してみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
11	I Like Tennis the Best	アンケートをまとめてみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
12	in My Opinion...	調査の結果から、自分の意見を言ってみましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
13	Do You Agree with My Idea?	賛成・反対を表明しましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
14	I'd Like to Have a Free Space	自分の要望を述べましょう。				テキストの練習問題（1時間）				
15	講義全体のまとめ	テーマに沿った短い作文を書いてみましょう。				プリント教材（1時間）				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「Have Fun Writing!」工藤洋路 / Dean Poland著（金星堂） ISBN:978-4-7647-4040-2（生協で購入してください。） 開講が決まってから購入してください。		定期試験：80% 受講態度：20% 受講態度は、課題の提出状況、授業への意欲（予習、発言）等で総合的に判断します。S:授業内容をほぼ100%理解し、意欲的に課題をこなし優秀な成績をおさめている。A:積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し、目標を十分に達成している。B:授業をおおよそ理解し、真面目に課題に取り組み目標を達成している。C:授業内容を60%程度理解し、基本目標をほぼ達成している。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
なし		自宅で音読の練習をすること。辞書を持参すること。必ず予習をして講義に臨んでください。								

科目名	英会話 Aクラス (総経・人間)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12105	研究室	非常勤	
担当者	フレデリック 加ース	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度 (読替科目)								
	A B C									
<b>授業概要</b>										
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>										
<b>学修到達目標</b>										
<p>日常的な英会話を修得し、自信を持ってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>										
<b>授業の進め方</b>										
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。										
<b>授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</b>										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Preparation for a test.(1h)			
2	Getting to know each other(1)	Get to know each other game					Write a self-introduction.(1h)			
3	Getting to know each other(2)	Teacher interview					Report on an English reading book.(1h)			
4	Dates and Ordinal Numbers(1)	Japanese holidays and events; Birthdays					Write Japanese holidays.(1h)			
5	Dates and Ordinal Numbers(2)	Describing weather around the world					Write about the weather in your hometown.(1h)			
6	Personal Information(1)	Ask and answer questions about yourself					Write about yourself.(1h)			
7	Personal Information(2)	Japanese celebrities					Write about a Japanese celebrity.(1h)			
8	Likes and Dislikes(1)	Ask about likes and dislikes					Write about something you like.(1h)			
9	Likes and Dislikes(2)	Interviews about likes and dislikes; favorites					Write about your favorite.(1h)			
10	Counters and Singular/Plural(1)	Ogui contest; Review singular/plural					Report on an English reading book.(1h)			
11	Counters and Singular/Plural(2)	Card activity to practice singular/plural					Write about "What 's in my refrigerator." (1h)			
12	Wh- Questions(1)	Question formation; Adverbs of frequency					Write about something you like.(1h)			
13	Wh- Questions(2)	Discussion about interests					Write about a T.V. show or movie you like.(1h)			
14	Can and Can ' t	Talk about abilities					Write about some of the things you can do.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
<b>テキスト</b>		<b>成績評価の方法・基準</b>								
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著 (EFL Press) ISBN:4580244425068 (生協で購入してください。)		<p>課題: 25% 定期試験: 25%  授業への参加度: 25% 努力点: 25%  Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude:25%, Assignments: 25%. S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>								
<b>参考書</b>		<b>履修上の注意 (学生へのメッセージ)</b>								
辞書 Any dictionary		いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.								

科目名	英会話 Bクラス (総経・人間)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12105	研究室	N-02
担当者	マレット ショーン	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
どんな状況でも自信を持って英語を使えるようにすることがこのコースの目的です。特に、物事を表現したり、意見を述べたり、説明やプレゼンの仕方を学びます。異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、ポキャブラリーの増強、正確な文法、流暢な会話を目指してください。									
学修到達目標									
本コースではスピーキング力を伸ばすために、個人的かつ学術的に興味深いトピックについてディスカッションを行います。「TED Talks」からスピーチを学び、実際に自分のTED Talksを作り上げましょう。様々なトピックについて自然で文法的に正しい会話ができるような教材を準備しますので、教員の指示に従い、グループディスカッションやプレゼンで使用するツール持参してください。									
授業の進め方									
積極的に授業に参加する。教員およびクラスメートの話を注意して聞く。全ての授業に出席すること。クラスを休むと宿題が出ます。宿題の内容について教員または級友に連絡する。予習をして遅刻をせずに授業に参加してください。									
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション。	Orientation to this "English Speaking" class. Introduction to the evaluation of this class, as well as to the textbook.				Purchase the textbook, and then become familiar with its format. Study ユニット 1.			
2	ユニット 1- Friends and Family (Lesson 1)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson 1)				Study ユニット 1.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
3	ユニット 1- Friends and Family (Lesson2)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson2)				Study ユニット 1.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
4	ユニット 1- Friends and Family (Lesson3)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson3)				Study ユニット 1.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
5	ユニット 1- Friends & Family (Lesson 4)- Test.	ユニット 1- Friends & Family (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 1.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
6	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 1)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 1)				Study ユニット 2.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
7	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 2)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 2)				Study ユニット 2.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
8	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 3)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 3)				Study ユニット 2.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
9	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 4)- Test.	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 2.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
10	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 1)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 1)				Study ユニット 3.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
11	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 2)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 2)				Study ユニット 3.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
12	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 3)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 3)				Study ユニット 3.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
13	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 4)- Test.	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 3.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
14	ユニット4: Possessions (Lesson 1)	ユニット4: Possessions (Lesson 1)				Study ユニット 4.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
15	ユニット4: Possessions (Lesson 2)	ユニット4: Possessions (Lesson 2) ~The final class of this semester .				Study ユニット 4.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「 " World English Intro: Combo Split A + My World English Online " (Third Edition) 」 John Hughes著 http://cengagejapan.com/elt/CoreProgram/page/?no=15705065476uyku編 (National Geographic Learning - Cengage ) ISBN:978-0-35-713027-8 (生協で購入してください。) 978-1-305-08955-6		定期試験 : 30% 各回のプレゼンテーションに対する評価 70% S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を十分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。							
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)							
「Any English language dictionary. 」		Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.							

科目名	英会話 Bクラス (総経・人間)	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12106	研究室	N-02	
担当者	マレット ショーン	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度 (読替科目)								
	A B C									
授業概要										
どんな状況でも自信を持って英語を使えるようにすることがこのコースの目的です。特に、物事を表現したり、意見を述べたり、説明やプレゼンの仕方を学びます。異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、ポキャブラリーの増強、正確な文法、流暢な会話を目指してください。										
学修到達目標										
本コースではスピーキング力を伸ばすために、個人的かつ学術的に興味深いトピックについてディスカッションを行います。「TED Talks」からスピーチを学び、実際に自分のTED Talksを作り上げましょう。様々なトピックについて自然で文法的に正しい会話ができるような教材を準備しますので、教員の指示に従い、グループディスカッションやプレゼンで使用するツール持参してください。										
授業の進め方										
積極的に授業に参加する。教員およびクラスメートの話を注意して聞く。全ての授業に出席する。クラスを休むと宿題が出ます。宿題の内容について教員または級友に連絡する。予習をして遅刻をせずに授業に参加してください。										
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション。	Orientation to this "English Speaking II" class. Introduction to the evaluation of this second semester class, as well as to the latter half of the textbook.					Refresh yourself with the textbook. Study the latter half of ユニット 4.			
2	ユニット4: Possessions (Lesson 3)	ユニット4: Possessions (Lesson 3)					Study ユニット 4.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
3	ユニット4: Possessions (Lesson 4) ~ Chapter Test.	ユニット4: Possessions (Lesson 4) ~ Chapter Test.					Study ユニット 4.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
4	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 1)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 1)					Study ユニット 5.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
5	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 2)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 2)					Study ユニット 5.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
6	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 3)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 3)					Study ユニット 5.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
7	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 4) ~ Chapter Test.	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 4) ~ Chapter Test.					Study ユニット 5.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
8	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 1)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 1)					Study ユニット 6.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
9	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 2)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 2)					Study ユニット 6.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
10	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 3)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 3)					Study ユニット 6.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
11	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 4) - Chapter Test	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 4) - Chapter Test					Study ユニット 6.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
12	ユニット 7: Free Time (Lesson 1)	ユニット 7: Free Time (Lesson 1)					Study ユニット 7.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
13	ユニット 7: Free Time (Lesson 2)	ユニット 7: Free Time (Lesson 2)					Study ユニット 7.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
14	ユニット 7: Free Time (Lesson 3)	ユニット 7: Free Time (Lesson 3)					Study ユニット 7.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
15	ユニット 7: Free Time (Lesson 4) - Chapter Test.	ユニット 7: Free Time (Lesson 4) - Chapter Test.					Study ユニット 7.(1時間) せらは、クラスで公表します。			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「"World English 1: Combo Split A + My World English Online" (Third Edition)」 John Hughes著 http://cengagejapan.com/elt/CoreProgram/page/?no=15705065476uyku編 (National Geographic Learning - Cengage) ISBN:978-0-35-713029-2 (生協で購入してください。)		定期試験: 30% 各回のプレゼンテーションに対する評価 70% S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を十分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。								
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)								
「Any English language dictionary.」		Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.								



科目名	英会話 Aクラス (総経・人間)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバ'リング	UL12106	研究室	非常勤
担当者	フレデリック ガース		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>										
学修到達目標										
<p>英会話 で修得した英語能力をさらに向上させ、さまざまな日常的话题について自信をもってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>										
授業の進め方										
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。										
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Preparation for a test.(1h)			
2	Simple Present and Describing Things(1)	Listen and guess the creature; Simple present					Report on an English reading book.(1h)			
3	Simple Present and Describing Things(2)	Describing food; Food crossword					Write a description of an animal or insect.(1h)			
4	Family(1)	Talk about relatives					Bring family pictures.(1h)			
5	Family(2)	Ask and answer questions about family and pets					Report on an English reading book.(1h)			
6	Simple Past: Questions and Stories(1)	Ask and answer questions about what you did yesterday, last weekend					Write about what you did last weekend.(1h)			
7	Simple Past: Questions and Stories(2)	Telling a story					Finish the story on page 33.(1h)			
8	Jobs(1)	Talk about jobs and what they are like					Report on an English reading book.(1h)			
9	Jobs(2)	Talk about jobs					Describe a job.(1h)			
10	Making Comparisons(1)	Study comparison forms, then play the Comparison Game					Write a comparison of two things.(1h)			
11	Making Comparisons(2)	Ask and answer comparison and superlative questions					Write about the most ____ in your life.(1h)			
12	Numbers(1)	Numbers: pronunciation, bingo, math game, tell time					Write about your daily schedule.(1h)			
13	Numbers(2)	Ask and answer questions about your daily schedule					Write about what you did today.(1h)			
14	Present and Past Progressive	Ask and answer questions about actions					Be ready to play the Action Game.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著 (EFL Press) ISBN:4580244425068 (生協で購入してください。)					<p>課題: 25% 定期試験: 25%  授業への参加度: 25% 努力点: 25%  Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude: 25%, Assignments: 25%。  S: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>					
参考書					履修上の注意 (学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	英会話 (人間・教育)	学年学期	2年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL22107	研究室	非常勤
担当者	フレッドリック ガース	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
これまで積み上げてきた英文読解の知識を活かし、リーディング力とスピーキング力の強化を行います。身近な時事問題などの簡単なニュース記事を題材に、英文の要点を素早くつかみ、それを基に自分の意見をどう発するか、その方法や伝え方、質問の仕方を学んで、実践の中で読む・話す・聞く力を強化します。									
学修到達目標									
英会話 で修得した英語能力をさらに向上させ、さまざまな日常的な話題について自信をもってコミュニケーションをとることができる。									
授業の進め方									
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。少人数クラス(原則20名以下)で行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	Guidance	Introduction to the class					Useful language; Getting started.(1h)		
2	Getting to know each other(1)	Ask and answer questions about yourself					Write about yourself.(1h)		
3	Getting to know each other(2)	Get to know your classmates and teacher					Write about a classmate.(1h)		
4	Talking about interests(1)	Ask and answer questions about things you like/dislike					Write about things you like/dislike.(1h)		
5	Talking about interests(2)	Discuss interests; talk about abilities					Write about your abilities.(1h)		
6	Talking about family(1)	Ask and answer questions about families					Bring some pictures of your family.(1h)		
7	Talking about family(2)	Ask and answer questions about families					Prepare to talk about English reading.(1h)		
8	Talking about people(1)	Match descriptions with pictures of people					Write a description of a friend.(1h)		
9	Talking about people(2)	Practice describing people					Write a description of a famous person.(1h)		
10	Talking about work(1)	Describe a job					Write a description of a job.(1h)		
11	Talking about work(2)	Telling time; describing jobs					Write a description of your dream job.(1h)		
12	Talking about past experiences(1)	Talk about what you did yesterday					Write about what you did yesterday.(1h)		
13	Talking about past experiences(2)	Talk about a vacation; Play the Past Tense Game					Write about what you did on vacation.(1h)		
14	Telling stories	Tell a story (based on the T.V. talk show Gokigenyou)					A story about something that happened to you.(1h)		
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Talk a Lot, Book One, Second edition」David Martin著 (EFL Press) (生協で購入してください。)		課題: 25% 定期試験: 25% 授業への参加度: 25% 努力点: 25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude: 25%, Assignments: 25%。S: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
辞書 Any dictionary		いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.							

科目名	英会話 (人間・教育)	学年学期	2年後期	単位数	1	ナバ'リング	UL22108	研究室	非常勤
担当者	フレデリック 加ース	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
総合英語 で学ぶ英文ライティングの知識を活かし、英会話 で学んだ内容をさらに応用して、自分の意見を英文で書いてまとめ発話するスキルを養っていきます。グループワークを通じて、自分の趣味や興味のあることを題材に簡単に英語にして発話、それに対して質問をする形式を繰り返し、英語の4技能の全てを定着させていきます。									
学修到達目標									
英会話 . . . で修得した英語能力をさらに向上させ、さまざまな日常的な話題について自信をもってコミュニケーションをとることができる。									
授業の進め方									
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。少人数クラス(原則20名以下)で行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	Guidance	Introduction to the class					Useful language: Getting started.(1h)		
2	Talking about sports(1)	Pronunciation, discussion about sports					Explain your feelings about sports.(1h)		
3	Talking about sports(2)	Q&A and listening about sports					Prepare to talk about a reading book.(1h)		
4	Talking about other countries(1)	Discuss foreign countries, people and food.					Extensive reading.(1h)		
5	Talking about other countries(2)	Talk about foreign countries and languages.					Write about foreign food.(1h)		
6	Talking about experiences(1)	Talk about things you have done or haven't done.					Extensive reading.(1h)		
7	Talking about experiences(2)	Interview classmates about their experiences; listening					Write about an interesting experience.(1h)		
8	Talking about places(1)	Talk about indoor places.					Extensive reading.(1h)		
9	Talking about places(2)	Giving subway and street directions.					Write about how to get somewhere.(1h)		
10	Traveling to Hawaii(1)	Making restaurant and airplane reservations.					Extensive reading.(1h)		
11	Traveling to Hawaii(2)	Plan to visit other Hawaiian islands.					Write about a trip.(1h)		
12	Talking about Japanese things(1)	Describing Japanese places and things					Extensive reading.(1h)		
13	Talking about Japanese things(2)	Talk about Japanese New Year and prices in Japan.					Write about what you do for New Year.(1h)		
14	Talking about future events	Making plans					Extensive reading.(1h)		
15	Review	Review course. Prepare for final examination.					Prepare for final examination.(1h)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Talk a Lot, Book One, Second edition」David Martin著(EFL Press)(生協で購入してください。)		課題:25% 定期試験:25% 授業への参加度:25% 努力点:25% Reports:25%, Final examination:25%, Class Attitude:25%, Assignments:25%。S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
辞書 Any dictionary		いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.							

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	櫻井 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で500点以上の取得を目指します。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で450点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングで弱点克服や学習方法についてフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micuael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	上條 美香		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で450点以上の取得を目指します。プレイスメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で400点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。					自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)			
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)			
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習					音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)			
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)			
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)			
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)			
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習					音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)			
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)			
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)			
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル					Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)			
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル					Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)			
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)			
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル					音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)			
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習					音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)			
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ`リング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で420点以上の取得を目指します。プレイスメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で370点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ`リング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。プレイズメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで340点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。					自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)			
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)			
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習					音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)			
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)			
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)			
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)			
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習					音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)			
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)			
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)			
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル					Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)			
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル					Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)			
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)			
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問いかけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル					音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)			
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習					音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)			
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで55点程度取得できる。      自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬 98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版)      ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。)      「TOEIC L&amp;Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク)      ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30%      受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						



科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	中田 順		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで50点程度取得できる。          自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版)          ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。)          「TOEIC L&amp;Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク)          ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30%          受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Gクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	小沼 さつき		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで45点程度取得できる。      自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版)      ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。)      「TOEIC L&amp;Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク)      ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30%      受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。      TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Hクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	中野 麻里		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで40点程度取得できる。          自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版)          ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。)          「TOEIC L&amp;Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク)          ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30%          受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤	
担当者	宮坂 るみ		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で500点以上の取得を目指します。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&R で480点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える					学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習					音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習					音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル					音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル					音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試					音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ					音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習					音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習					音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&R TEST 標準模試 2」神崎 正哉、Daniel Warriner著(やどかり出版) ISBN:978-4-7946-0466-8(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	上條 美香		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で450点以上の取得を目指します。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で430点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える				学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習				音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習				音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル				音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試				音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ				音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習				音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習				音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&R TEST 標準模試 2」神崎 正哉、Daniel Warriner著(やどかり出版) ISBN:978-4-7946-0466-8(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Cクラス			学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	山内 志野			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で420点以上の取得を目指します。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&R で400点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える					学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習					音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習					音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル					音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル					音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試					音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ					音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習					音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習					音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。TOEIC より継続使用です。TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。TOEIC より継続使用です。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。							

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で370点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える				学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習				音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習				音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関係語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル				音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ				音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習				音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習				音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。			受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。			受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。							

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで60点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						



科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	中田 順		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで55点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Gクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	小沼 さつき		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで50点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。					

科目名	TOEIC Hクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	中野 麻里		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで45点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで600点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで520点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。長めの文章の概要を把握でき、詳細情報を瞬時に読み取ることができる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とIP結果に基づくカウンセリング				Eラーニング(EL) 英単語中級 U001~U004, テスト01 学習計画を完成させてくる(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ				EL 英単語中級 U005~U008, テスト02 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ				EL英単語中級 U009~U012, テスト03 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ				EL英単語中級 U013~U016, テスト04 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ				EL英単語中級 U017~U020, テスト05 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ				EL英単語中級 U021~U024, テスト06 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ				EL英単語中級 U025~U028, テスト07 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ				EL英単語中級 U029~U032, テスト08 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ				EL英単語中級 U033~U036, テスト09 音読 問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ				EL英単語中級 U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語中級 U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ				EL英単語中級 U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ				EL英単語中級 U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ				EL英単語中級 U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE」 番場 直之、小山 克明著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4090-7(生協で購入してください。)		受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。		今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。								

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで550点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC &Rで420点程度取得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎文法が理解できる。やや長めの文章の概要が理解できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel					Eラーニング(EL) 英単語中級 U001~U004、テスト01 問題演習(1時間)			
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out					EL英単語中級 U005~U008、テスト02 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media					EL英単語中級 U009~U012、テスト03 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment					EL英単語中級 U013~U016、テスト04 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing					EL英単語中級 U017~U020、テスト05 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients					EL英単語中級 U021~U024、テスト06 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting					EL英単語中級 U025~U028、テスト07 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel					EL英単語中級 U029~U032、テスト08 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising					EL英単語中級 U033~U036、テスト09 音読 問題演習(1時間)			
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings					EL英単語中級 U037~U040、テスト10 音読 問題演習(1時間)			
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL英単語中級 U041~U044、テスト11 音読 (1時間)			
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance					EL英単語中級 U045~U048、テスト12 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices					EL英単語中級 U049~U052、テスト13 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life					EL英単語中級 U053~U056、テスト14 音読 問題演習(1時間)			
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	三浦 藍子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで450点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC L&Rで390点程度取得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel				Eラーニング(EL) 英単語初級 U045～U048、テスト12、音読、問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out				EL英単語初級U049～U052、テスト 13、音読、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media				EL英単語初級U053～U056、テスト 14、音読、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment				EL英単語初級U057～U060、テスト 15、音読、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing				EL英単語初級U061～U064、テスト 16、音読、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients				EL英単語初級U065～U068、テスト 17、音読、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting				EL英単語初級U069～U072、テスト 18、音読、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel				EL英単語初級U073～U076、テスト 19、音読、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising				EL英単語初級U077～U080、テスト 20、音読、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings				EL英単語初級U081～U084、テスト 21、音読、問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語初級U085～U088、テスト 22、音読、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance				EL英単語初級U089～U092、テスト 23、音読、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices				EL英単語初級U093～U096、テスト 24、音読、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life				EL英単語初級U097～U100、テスト 25、音読、問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)		受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。		今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。								

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで420点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学習到達目標										
「TOEIC L・」で学習した内容を復習しながら、TOEIC R&Lで360点程度取得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel				Eラーニング(EL) 英単語初級 U045～U048、テスト12、音読、問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out				EL英単語初級U049～U052、テスト 13、音読、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media				EL英単語初級U053～U056、テスト 14、音読、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment				EL英単語初級U057～U060、テスト 15、音読、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing				EL英単語初級U061～U064、テスト 16、音読、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients				EL英単語初級U065～U068、テスト 17、音読、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting				EL英単語初級U069～U072、テスト 18、音読、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel				EL英単語初級U073～U076、テスト 19、音読、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising				EL英単語初級U077～U080、テスト 20、音読、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings				EL英単語初級U081～U084、テスト 21、音読、問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語初級U085～U088、テスト 22、音読、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance				EL英単語初級U089～U092、テスト 23、音読、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices				EL英単語初級U093～U096、テスト 24、音読、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life				EL英単語初級U097～U100、テスト 25、音読、問題演習(1時間)				
15	まとめとリスニング	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組む				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。 TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC E クラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤	
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで380点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC330点程度修得できる。 リスニングでは、自然なスピードの会話を聞き、おおまかな内容が理解できる。文法事項において品詞問題が解ける。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで総合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					Eラーニング 500点突破 Stage 1,2 U001, U002 単語初級U001, U002 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL 500点 Stage 1,2 U003, U004 単語初級U003, U004 テスト1 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL 500点 Stage 1,2 U005, U006 単語初級U005, U006 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U007, U008 単語初級U007, U008 テスト2 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U009, U010 単語初級U009, U010 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U011, U012 単語初級U011, U012 テスト3 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U013, U014 単語初級U013, U014 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U015, U016 単語初級U015, U016 テスト4 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U017, U018 英単語初級U017, U018 音読 問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U019, U020 単語初級U019, U020 テスト5 音読 問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 500点 Stage1,2 U021, U022 単語初級U021, U022 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U023, U024 単語初級U023, U024 テスト6 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL 500点 Stage1,2 U025, U026 単語初級U025, U026 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Personnel 語彙の結びつき(名詞・形容詞)					EL 500点 Stage1,2 U027, U028 単語初級U027, U028 テスト7 音読 問題演習(1時間)				
15	まとめとリスニング	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組む					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BEGINNER」早川幸治、岸 洋一著 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4088-4(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						



科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤	
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで600点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで550点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。長めの文章の概要を把握でき、詳細情報を瞬時に読み取ることができる。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC IPの結果に基づくカウンセリング					EL 英単語中級U057~U060 テスト15 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 人物の動作表現 品詞・代名詞					EL 英単語中級U061~U064 テスト16 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 疑問詞で始まる疑問文 態・分詞					EL 英単語中級U065~U08 テスト17 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 店・ホテルでの会話 読解の基礎を身に付ける					EL 英単語中級U069~U072 テスト18 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 留守番電話 詳細情報の特定					EL 英単語中級U073~U076 テスト19 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 物に関する描写 話の展開を読み取る					EL 英単語中級U077~U080 テスト20 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Yes/No疑問文・選択疑問文 接続詞・前置詞					EL 英単語中級U081~U084 テスト21 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 日常生活における会話 内容把握問題に挑戦する					EL 英単語中級U085~U088 テスト22 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 アナウンス・宣伝 語彙問題・その他					EL 英単語中級U089~U092 テスト23 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 英単語中級U093~U096 テスト24 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 ステートメント・付加疑問文 時制・代名詞・語彙					EL 英単語中級U097~U100 テスト25 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 オフィスでの会話 マルチプルバッセージ					EL 英単語中級U101~U104 テスト26 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 トーク(会議・イベント) Part 5の復習					EL 英単語中級U105~U108 テスト27 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Officeでの会話 つなぎ語・文選択					EL 英単語中級U109~U112 テスト28 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in one advanced (Target 650)」早川幸治著(桐原書店) ISBN:978-4-342-55022-5(生協で購入してください。)(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。							

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで550点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで460点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大まかな意味を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とIPの結果に基づくカウンセリング					EL英単語中級 U057~U060, テスト15 問題演習(1時間)			
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					EL英単語中級 U061~U064, テスト16 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL英単語中級 U065~U068, テスト17 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL英単語中級 U069~U072, テスト18 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL英単語中級 U073~U076, テスト19 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL英単語中級 U077~U080, テスト20 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL英単語中級 U081~U084, テスト21 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL英単語中級 U085~U088, テスト22 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL英単語中級 U089~U092, テスト23 音読 問題演習(1時間)			
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL英単語中級 U093~U096, テスト24 音読 問題演習(1時間)			
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL英単語中級 U097~U100, テスト25 音読 問題演習(1時間)			
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL英単語中級 U101~U104, テスト26 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL英単語中級 U105~U108, テスト27 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL英単語中級 U109~U112, テスト28 音読 問題演習(1時間)			
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE」 番場 直之、小山 克明著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4090-7(生協で購入してください。)(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。					

科目名	TOEIC Cクラス			学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	三浦 藍子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで450点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで420点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大まかな意味を把握できる。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC IPの結果に基づくカウンセリング					EL 英単語中級U001~U004, テスト1 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					EL 英単語中級U005~U008, テスト2 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL 英単語中級U009~U012, テスト3 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL 英単語中級U013~U016, テスト4 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL 英単語中級U017~U020, テスト5 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL 英単語中級U021~U024, テスト6 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL 英単語中級U025~U028, テスト7 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL 英単語中級U029~U032, テスト8 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL 英単語中級U033~U036, テスト9 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 英単語中級U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL 英単語中級U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL 英単語中級U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL 英単語中級U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL 英単語中級U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE」溝口 優美子 柳田 真知子著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4089-1(生協で購入してください。)						受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。						今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。					

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで420点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで390点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大まかな意味を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC模試の結果に基づくカウンセリング				EL 英単語中級U001~U004, テスト1 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ				EL 英単語中級U005~U008, テスト2 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ				EL 英単語中級U009~U012, テスト3 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ				EL 英単語中級U013~U016, テスト4 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ				EL 英単語中級U017~U020, テスト5 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ				EL 英単語中級U021~U024, テスト6 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ				EL 英単語中級U025~U028, テスト7 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ				EL 英単語中級U029~U032, テスト8 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ				EL 英単語中級U033~U036, テスト9 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL 英単語中級U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ				EL 英単語中級U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ				EL 英単語中級U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ				EL 英単語中級U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ				EL 英単語中級U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE」溝口 優美子 柳田 真知子著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4089-1 (生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで400点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで360点程度修得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要をおおまかに把握できる。基礎的な文法問題にある程度対処できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成と模試の結果に基づくカウンセリング				Eラーニング(EL) 500点コース U001,U002 Stage3 英単語初級 U029~U030 (1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 1 オフィスで 自動詞と他動詞				EL U003,U004 Stage3 英単語初級 U031~U032 テスト8 音読 問題 演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 買い物 形容詞・副詞・前置詞				EL U005,U006 Stage3 英単語初級 U033~U034 音読 問題演習 (1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 食事 名詞と冠詞				EL U007,U008 Stage3 英単語初級 U035~U036 テスト9 音読 問題 演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 4 観光 進行形				EL U009,U010 Stage3 英単語初級 U037~U038 音読 問題演習(1時 間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 5 宣伝・広告 完了形				EL U011,U012 Stage3 英単語初級 U039~U040 テスト10 音読 問 題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 数字 不定詞				EL U013,U014 Stage3 英単語初級 U041~U042 音読 問題演習 (1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 日常生活 動名詞				EL U015,U016 Stage3 英単語初級 U043~U044 テスト11 音読 問 題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 8 エンターテイメント 関係代名詞と関係副詞				EL U017,U018 Stage3 英単語初級 U045~U046 音読 問題演習(1時 間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL U019,U020 Stage3 英単語初級 U047~U048 テスト12 音読 問 題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ				EL U021,U022 Stage3 英単語初 級 U049~U050 音読 問題演習 (1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ				EL U023,U024 Stage3 英単語初級 U051~U052 テスト14 音読 問 題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ				EL U025,U026 Stage3 英単語初級 U053~U054 音読 問題演習 (1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ				EL U027,U028 Stage3 英単語初級 U055~U056 テスト14 音読 問 題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説				定期試験に向けて自己学習(4時 間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 350」田辺 正美/湯本 久美子 /Geoffrey Tozer/George W. Pifer著(センゲージ・ラーニング) ISBN:978-4-86312-257-4(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は授業中の発言回数や意欲等を評 価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って取り組み、難し い応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解 し、積極的に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそ を理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程 度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解 ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講 経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれ かが必要です。						

科目名	中国語（基礎）（人間）		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22113	研究室	非常勤
担当者	中島 暉		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本講義は中国語の発音と簡単な会話を学び、中国語の基礎を身に付けることを目的とします。  本講義はテキストを用いて、その内容を「聴く、話す、読む、書く」という練習を繰り返すことによって、標準的な発音および会話能力の定着をはかります。</p>										
学修到達目標										
受信するだけではなく発信にも使えるような基礎的な文法と会話表現を身に付けることを目標とします。										
授業の進め方										
<p>声を出すことを大切に、ロールプレイ形式で練習します。  授業に合わせて中国の食文化、習慣などを紹介していきます。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、中国語とは	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明をします。中国語の特徴を紹介します。				テキストP6とP7を事前に予習する。（1時間）				
2	発音「単母音」、声調	中国語の発音（ピンイン）と声調（四声）について説明をします。発音練習を行います。				テキストP8を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
3	発音「子音」、挨拶	発音「子音」と簡単な挨拶について説明をします。発音練習を行います。				テキストP9を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
4	発音「子音」、自己紹介	発音「子音」と名前の言い方について説明をします。発音と会話練習を行います。				テキストP9とP14を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
5	発音「複合母音」、自己紹介	発音「複合母音」と「出身地、職業」の言い方について説明をします。発音と会話練習を行います。				テキストP14とP15を事前に読み、P16の問題練習をする。（1時間）				
6	発音「複合母音」、物事の尋ね方（指示代名詞、疑問詞）	発音「複合母音」と「これは何ですか？」の使い方について説明をします。発音と会話練習を行います。				テキストP19を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
7	発音「鼻母音」	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。				テキストP10とP18を事前に読み、P20の問題練習をする。（1時間）				
8	動詞の文	「動詞の文」について説明をします。会話練習を行います。				テキストP22とP23を事前に読み、P24の問題練習をする。（1時間）				
9	量詞、形容詞の文、買い物	「量詞」、「形容詞の文」と「買い物」をする時に使う表現について説明をします。会話練習を行います。				教科書P26とP27を事前に読み、P28の問題練習をする。（1時間）				
10	数字、日付、時刻	「数字」、「日付」と「時刻」の使い方について説明をします。会話練習を行います。				教科書P30とP31を事前に読み、P32の問題練習をする。（1時間）				
11	完了、助動詞、食事	「完了」、「助動詞」と「食事」の時に使う表現について説明をします。小テストを行います。				テキストP33～P35を事前に読み、P36問題練習をする。（1時間）				
12	所在	「所在」を表す表現について説明をします。「～は～にある・いる」と「～したい」を使い、会話練習を行います。				テキストP35を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
13	介詞、反復疑問文、家族名称	「介詞」、「反復疑問文」と「家族名称」の呼び方について説明をします。				教科書P39を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
14	存在、家族構成	「存在」と「家族構成」の言い方について説明をします。会話練習を行います。				教科書P38を事前に読み、P40の問題を練習する。（1時間）				
15	講義全体まとめ	これまで学習した内容をまとめます。				テキストP8～P40の内容について目を通し、全体の復習をする。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「中国語はじめの一步」竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅著（白水社） ISBN:978-4-560-06925-7（生協で購入してください。） 必要に応じて、プリントを配布します。				受講態度：30% 小テスト：30% 定期試験：40% S:各回の授業内容を十分理解するとともに、自ら意欲的に課題を取り組み、授業で学んだことを95%以上ができる。A:各回の授業内容を理解するとともに、積極的に課題を取り組み、授業で学んだことを80%以上ができる。B:授業内容について概ね理解し、課題を取り組み、授業で学んだことを70%以上ができる。C:授業内容について理解し、授業で学んだことを60%以上ができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
特にありません				授業中恥ずかしくがらずに声を出して、練習をしましょう。予習と復習を行ってください。						

科目名	中国語（展開）（総経・人間）		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22114	研究室	非常勤
担当者	中島 暉		必修選択	選択	科目種別	講義	カイスマー			
関連資格					履修条件	中国語 を修得していること				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、学習した中国語 をベースに、さらに具体的、実践的な場面での会話能力を習得します。本講義はテキストを用い、その内容を「聴く、話す、読む、書く」という練習を繰り返すことによって、標準的な発音および会話能力の習得を目指します。										
学修到達目標										
受信するだけでなく発信にも使えるような会話能力を身に付けることを目標とします。										
授業の進め方										
声を出すことを大切に、ロールプレイ形式で練習することを重視します。中国文化についても紹介し、異文化への理解を深めていきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、発音（ピンイン）の確認	授業概要、学習目標、授業の進め方、成績評価の仕方について説明をします。発音（ピンイン）の確認をします。				学習した「中国語」の内容について復習をする。（1時間）				
2	時間量、助動詞、介詞	「時間量」、「助動詞」と「介詞」について説明をします。				テキストP43を事前に読む。授業内容について復習をする。（1時間）				
3	アルバイト	前回学習した内容を使い、「一週間に何回アルバイトがありますか？」などの会話練習を行います。				テキストP41とP42を事前に読む。P44の問題を練習する。（1時間）				
4	過去型、強調	「過去形」と「強調」について説明をします。				テキストP47を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
5	介詞、応用	「介詞」、「～したことがある」と「～が～に」の使い方について説明をします。				テキストP47を事前に読み、P48の問題を練習する。（1時間）				
6	旅行	「あなたは旅行が好きですか?」、「アメリカに行った事がありますか?」などの会話練習を行います。				テキストP46を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
7	動作の様態、助動詞	「動作の様態」と「助動詞」について説明をします。				テキストP51を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
8	動詞の重ね型	「動詞の重ね型」について説明をします。				テキストP51を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
9	できる（能力的・条件的・習得する）	「できる」を使い、会話練習を行います。				テキストP50を事前に読み、P52の問題を練習する。（1時間）				
10	動作の進行、選択疑問	「動作の進行」と「選択疑問」について説明をします。				テキストP55を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
11	趣味	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。小テストを行います。				テキストP53～P55を事前に読み、P56の問題を練習する。（1時間）				
12	比較、2つの目的語をもつ文	「比較」と「2つの目的語をもつ文」について説明をします。				テキストP59を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
13	予定	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。				テキストP57～P59を事前に読み、P60の問題を練習する。（1時間）				
14	作文（自己紹介）	学生自身が実際に中国語で「自己紹介」の作文を書いてみます。				テキストP61を事前に読んでください。（1時間）				
15	講義全体まとめ	これまで学習した内容をまとめます。				テキストP43～P60の内容について復習をする。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「中国語ははじめの一步」竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅著（白水社） ISBN:978-4-560-06925-7（生協で購入してください。） 必要に応じて、プリントを配布します。				受講態度：30% 小テスト：30% 定期試験：40% S:各回の授業内容を十分理解するとともに、自ら意欲的に課題を取り組み、授業で学んだことを95%以上ができる。A:各回の授業内容を理解するとともに、積極的に課題を取り組み、授業で学んだことを80%以上ができる。B:授業内容について概ね理解し、課題を取り組み、授業で学んだことを70%以上ができる。C:授業内容について理解し、授業で学んだことを60%以上ができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
特にありません。				授業中恥ずかしがらずに声を出して、練習を行いましょう。予習と復習を行ってください。						

科目名	ハングル (基礎) (人間)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22115	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
ハングルとは、元来朝鮮半島で使われている言語 (韓国語・朝鮮語) を表記するために用いられている文字のことを示しますが、この授業では科目の名称として使用しています。この科目では韓国語・朝鮮語の文字と発音を習得します。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を身につけることを目的とします。										
学修到達目標										
履修生は、ハングルの文字の発音の基礎について学び、読み書きができるようになることを目的とします。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を話せるようになることを目的とします。										
授業の進め方										
主にテキストの内容に沿って授業を進めます。書き取り・聞き取り・カードゲームなど様々なミニテストを実施し、会話練習にも取り組みます。ハングル歌・映画・ドラマ等を紹介するほか、朝鮮半島の文化風習についても紹介します。										
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス ハングル・韓国語・朝鮮語について	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。ハングルで用いられている記号の説明をし、韓国語・朝鮮語がどのような言語であるのかを紹介します。					テキスト第1課1と2を読んで、授業内容の復習をする。(1時間)			
2	単母音、ヤ行	単母音、ヤ行について学びます。					テキストP10～18の復習と予習をする。(1時間)			
3	ワ行	ワ行について学びます。					テキストP14～17の復習と予習をする。(1時間)			
4	平音	平音について学ぶ。					テキストP18～25の復習と予習をする。(1時間)			
5	激音・濃音	激音と濃音について学ぶ。					テキストP18～27の復習をする。(1時間)			
6	有声音化	平音の有声音化について学ぶ。					テキストP26～32の復習をする。(1時間)			
7	これまでのまとめ	テキスト第1課と第2課のまとめをする。					テキストP10～32の復習をし、P33～35までの予習をする。(1時間)			
8	パッチム(1)	鼻音について学ぶ。					テキストP33～39の復習と予習をする。(1時間)			
9	パッチム(2)	流音について学ぶ。					テキストP33～39の復習と予習をする。(1時間)			
10	パッチム(2)	口音について学ぶ。					テキストP36～39の復習と予習をする。(1時間)			
11	日本語のハングル表記	日本語のハングル表記について学ぶ。					テキストP36～39の復習と予習をする。(1時間)			
12	発音規則(1)	連音化について学ぶ。					テキストP40～41の予習と復習をする。(1時間)			
13	鼻音、流音、口音、流音のまとめ	鼻音、流音、口音、流音化を復習する。					テキストP33～41の復習をする。(1時間)			
14	メディア学習	メディア学習を通じて韓国語とそれにまつわる文化的理解を深める。					メディア学習に関するレポートを書く。(1時間)			
15	講義全体まとめ	前期で学んだ事項を復習する。					テキストP10～49の復習をする。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「おはよう韓国語1」崔柄珠著 (朝日出版社) ISBN:978-4-255-55632-1 (生協で購入してください。)					小テスト: 20% レポート: 10% 定期試験: 40% 出席レポート: 30% S: 授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100%である。 A: 授業内容を理解しており、成績評価の合計が80%～99%である。 B: 授業内容を概ね理解しており、成績評価の合計が70%～79%である。 C: 授業内容の60%程度を理解しており、成績評価の合計が60%～69%である。					
参考書					履修上の注意 (学生へのメッセージ)					
「おはよう韓国語1」崔柄珠著 (朝日出版社) ISBN: 978-4-255-55632-1 適宜お知らせいたします。					平日頃から韓国や朝鮮のドラマ・映画、ニュースに興味を持ち、ハングルに親しみましょう。この科目は受講人数を四十名に制限します。					



科目名	ハングル (展開) (総経・人間)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22116	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件	ハングル を修得していること				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
前期に学んだハングルの文字と発音のルールをベースにして、今期では主に簡単な会話表現・文法について学ぶことを目的とします。										
学修到達目標										
ハングルの基本的な読み書きを習得している受講生が、語彙、文法、発音に関する知識を深め、日常会話に役立つ表現を学ぶことを目的とします。ハングル能力検定試験5級及び韓国語能力試験1級受験相応の知識習得を目標とします。										
授業の進め方										
対話練習を重視し、語彙・文法・発音を身につけられるようにします。会話・筆記試験を定期的実施し、習得状況を確認します。映画鑑賞や異文化学習、アウトキャンパススタディによる実践練習を取り入れた楽しい学習方法を伝授します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、文字と発音	文字と発音について学びます。				テキストP10-41を復習する。(1時間)				
2	第5課自己紹介(1)	第5課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。				テキストP58~67を復習する。(1時間)				
3	第5課自己紹介(2)	第5課のまとめ学習をする。第4課発音規則「2」を学習する。				テキスト42~43を予習し、P58~67を復習する。(1時間)				
4	第6課~ではありません(1)	第6課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。第4課発音規則「3」を学習する。				テキストP44~45を予習し、P68~77を復習する。(1時間)				
5	第6課~ではありません(2)	第6課のまとめ学習をする。				テキストP68~77を復習する。(1時間)				
6	第5~6課のリスニングと会話	第5~6課のリスニングと会話学習をする。第4課発音規則「4」を学習する。				テキストP46~47を予習し、P58~77を復習する。(1時間)				
7	第7課~が好きです(1)	第7課の発音と語彙、文法について学ぶ。第4課「5」について学ぶ。				テキストP48~49を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
8	第7課~が好きです(2)	第7課の重要表現について学ぶ。第4課「6」について学ぶ。				テキストP50を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
9	第7課~が好きです(2)	第7課のまとめ学習をする。第4課「7」について学ぶ。				テキストP50を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
10	第8課お誕生日(1)	第8課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。第4課「8」について学ぶ。				テキストP52~53を予習し、P92-105を復習する。(1時間)				
11	第8お誕生日(2)	月と曜日、時を表す語を学ぶ。第4課「9」について学ぶ。				テキストP54~56を予習し、P92-105を復習する。(1時間)				
12	第8お誕生日(2)	へヨ体を学び、第8課のまとめ学習をする。				テキストP92-105を復習する。(1時間)				
13	第9課予定と時間	固有数詞と時刻について学ぶ。				テキストP110-114を復習する。(1時間)				
14	アウトキャンパススタディ	学習理解を深めるためのアウトキャンパススタディを松本市近郊で実施する。				アウトキャンパススタディ参加レポートを作成する。(1時間)				
15	全体のまとめ	第5課から第9課を復習する。				テキストP58~114を復習する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「おやよう韓国語1」崔柄珠著(朝日出版社) ISBN:978-4-255-55632-1(生協で購入してください。)				小テスト:30% 定期試験:30% レポート:10% 受講態度:30% S:授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100%である。A:授業内容を理解しており、成績評価の合計が81%~99%である。B:授業内容を概ね理解しており、成績評価の合計が71%~80%である。C:授業内容の60%程度を理解しており、成績評価の合計が61%~70%である。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
適宜お知らせいたします。				ハングルIIを履修する学生は、ハングルIを受講していることが条件です。今期から受講を希望する場合、文字の読み書きができることが必須条件です。						

科目名	ICTと情報倫理（人間・教育）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL12201	研究室	非常勤	
担当者	松澤 みわ子・國府田 祐子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
			A	B	C						
授業概要											
インターネット利用が日常化し、メディアの特性や価値を理解することなく情報の受発信を行うことにより、著作権侵害、個人情報の漏洩、不正アクセス、ネット詐欺などで、意図せずに法令に違反するなどの例があります。このような情報化社会に対応できる情報活用能力を養成するため、情報モラルに関する教育、課題解決に必要な情報を探索するための図書館利用法・文献検索、情報のアウトプットに関するレポート・論文の書き方等を扱います。											
学修到達目標											
情報化社会の現状を理解し、情報セキュリティの重要性や情報倫理（情報モラル）についての知識を修得している。データベースやインターネットを活用し、必要な情報を検索・探索することができる。文献を正しく利用し、自身の論文作成に情報活用ができる。											
授業の進め方											
各回のテーマに応じて、授業教材（動画教材含む）・事前事後学修指示をポータルサイト等を通じて双方向型で行います。到達目標ごとの確認テストやレポート作成、ディスカッション、グループワークも取り入れます。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンスと学内ICT環境	この科目のねらい、学修到達目標を解説します。また、松本大学のICT環境とその利用方法についても説明します。					学生便覧および新入生オリエンテーション資料を事前に読む（4時間）				
2	情報セキュリティとさまざまな脅威	インターネットの様々な脅威について知識を深め、被害にあわないための対策について学びます。					事前チェックシートに必要な事項を記入して持参する（4時間）				
3	情報倫理とネット利用の心得	安全・快適なネット利用のルール・マナーを知りましょう。また、知らなかったでは済まされない法令などについても学びます。					情報倫理に関する事前課題に取り組み、発表準備を行う（4時間）				
4	メディア・リテラシーの必要性	大量のデジタルデータが溢れる時代。自分にとって必要な情報を探し出す力、選別する力を身につけましょう。					メディア・リテラシーに関する事前課題に取り組み、発表準備を行う（4時間）				
5	ソーシャルメディアとどう付き合うか	新しいコミュニケーション空間であるソーシャルメディアのメリットとデメリットについて考えましょう。					ソーシャルメディアへに関する事前課題に取り組み、発表準備を行う（4時間）				
6	知的財産権およびコンテンツの著作権	情報の持つ経済価値が高まっています。そこで著作権を中心に自分の権利、他人の権利について学びましょう。					知的財産権に関する事前課題に取り組み、発表準備を行う（4時間）				
7	個人情報やプライバシーの漏洩	ネット上のビッグ・データの活用と個人情報の漏洩リスクについて考えましょう。					個人情報に関する事前課題に取り組み、発表準備を行う（4時間）				
8	情報を伝える基本的な型	レポート・論文の書き方に通底する基本的な構成を知り、文章を書きます。					テキストを事前に読み、重要事項にマークをしておく。（4時間）				
9	情報を伝える基本的な型	レポート・論文の書き方に通底する基本的な構成を踏まえ、各部分の役割と働きを知り、文章を書きます。					課題提出の下準備をする。（4時間）				
10	情報を伝える基本的な型	レポート・論文の書き方に通底する各部分の役割と働きを知り、テーマに沿って文章を書きます。					課題を執筆して提出する。（4時間）				
11	図書館の活用法	図書館には膨大な数の資料があります。その中から自分が必要としている情報にいち早くたどり着く方法について学びます。					事前課題で、大学図書館で本を1冊借り書誌情報を書き出す。借りた本は11回授業に持参。（4時間）				
12	情報の正確な伝え方	情報を正確に伝えるには守るべき作法があります。倫理的な視点から学び、文章を書きます。					テキストを事前に読み、ふせん等でまとめる。（4時間）（4時間）				
13	情報の正確な伝え方	情報を正確に伝えるには守るべき作法があります。それを書き手と読み手の双方の視点から学び、文章を書きます。					テキストを事前に読み、付箋等でまとめる。（4時間）				
14	情報の正確な伝え方	情報を正確に伝えるには守るべき作法があります。書き手と読み手の双方の視点から学び、テーマに沿って文章を書きます。					これまでの課題を踏まえ試験に向けて準備する。（4時間）				
15	電子的な情報源を用いた文献探索法	図書館だけでなく、電子的な情報源を活用することで文献探索の幅は広がります。電子的な情報源を用いた探索法について学びます。					事前課題で、OPACへログインする。Ciniiでゼミ担当教員の論文を検索、書誌情報を書き出す。（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準								
「大学での学び方」（株式会社旺文社）（別途、指示します。） 教育学部は入学前課題として利用したテキストです。「わかりやすく伝える技術」池上彰著（講談社現代新書）ISBN:9784062880039（生協で購入してください。）			レポート：20% 課題：10% 定期試験：20% テーマごとに到達度を確認するレポートや課題を課します。第2回～第7回は上記評価とは別に、授業ごとの課題レポートで評価します（割合50%） S:各回の授業内容を超越して理解し、適切な情報活用・表現ができる。 A:各回の授業内容をほぼ理解し、適切な情報活用ができる。 B:各回の授業内容を理解し、大学生として求められる情報活用ができる。 C:各回の授業内容の概要を理解し、大学生として最低限の情報活用ができる。								
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）								
講義内で適宜、紹介します。			情報社会において真偽が定かでない情報が氾濫しています。この時代に生きて未来を創造する学生の皆さんは、情報に流されないように、どう生きるかしっかりと自己確立しコミュニケーション能力の向上を目指してください。								

科目名	情報処理 (WORD)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12202	研究室	非常勤	
担当者	内川 小百合	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスワ-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
<p>情報処理を学ぶことは、ひとつはコンピュータ・リテラシーを学ぶこと、つまりコンピュータを使いこなしていくことです。文字を入力することは、その基礎です。さまざまな文書をコンピュータで作成し、編集し、そして保存し、また再利用することは、現代社会の中で、必須の技能といえるでしょう。本講義では、ワープロソフトWordを使った正しく速い入力技術の習得、ビジネス文書・図形・表などを作成していくための機能、クラウド上の文書管理やビジネスメールの送り方を学んでいきます。</p>										
学修到達目標										
<p>正しいキータッチを習得し、ワープロソフトWordを使ってビジネス文書・表作成・図形挿入・クリップアートや写真の挿入と編集ができ、日本情報処理検定協会ワープロ検定3級～2級を取得できる力を身につけます。Office365の機能を習得し、ファイルの送受信などビジネスで使えるスキルを身につけます。</p>										
授業の進め方										
<p>演習形式で進めます。特に正確で素早いキータッチの技術を身につけるために、毎回スピードテストを行います。Wordの機能を知り、その機能を使いこなせるように多くの演習をこなしていきます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Office365の概要	Office365の機能と操作方法を学びます。Office365でメールを送る手順を学び、テストメールを送受信します。					Office365の操作方法、メール機能について復習する。(1時間)			
2	レポート送信、クラウド機能	レポート送信の手順やマナーについて学び、送信練習をします。クラウド機能について学びます。					レポート送信方法について復習する。(1時間)			
3	キータッチについて	Wordの画面構成について学習します。正しいキータッチについて学び、英語文章の入力を練習します。					テキスト第1講のキータッチ練習、英文入力を練習する。(1時間)			
4	日本語入力基礎	日本語変換モード、IMEパッド、ファンクションキーについて学習します。キータッチ練習・日本語の入力練習を行います。					テキスト第1講のキータッチ練習、日本語入力を練習する。(1時間)			
5	漢字変換について	漢字変換(変換、文節区切り、文字の修正)について学び、短文入力・記号の入力を練習します。					キータッチ練習、テキスト第2講の短文入力を練習する。(1時間)			
6	特殊文字の入力	特殊文字の入力を学びます。アルファベット、カタカナ、特殊文字を含む文章の入力演習を行います。					テキスト第2講の特殊文字入力、第2講、第3講の短文入力を練習する。(1時間)			
7	文書の保存・編集機能	文書の保存、読み込み、再保存について学びます。文字の修正、移動、コピーの方法を学び、日本語および英語文章の入力を練習します。					テキスト第1講～第4講の入力を練習する。(1時間)			
8	文字の書式	文字の書式(フォント・サイズ・ボールド体・イタリック体・下線・囲み・網掛け)について学び、入力練習を行います。					テキスト第5講の練習問題を行う。(1時間)			
9	文字の書式	文字の書式(拡大縮小・下付き文字・上付き文字・取り消し線・影付きなど)について学び、入力練習を行います。					テキスト第5講の練習問題を行う。(1時間)			
10	ページレイアウト	ページ設定と右詰め、中央揃え、インデント、段落番号、箇条書きなどについて学び、ビジネス文書を作成します。					テキスト第6講の文書入力を練習する。(1時間)			
11	表作成	罫線機能、表挿入、線種変更、列幅行高変更、セルの結合と分割、列や行の挿入と削除について学びます。					テキスト第7講の表入力を練習する(1時間)			
12	ビジネス文書	前付けや本文、付記事項のほか時候のあいさつ・敬称のつけ方などを学び、ビジネス文書を作成します。					テキストの検定練習問題を入力し、保存してレポートを提出する。(1時間)			
13	図形描画	図形描画機能および図形の塗りつぶしや線などの編集について学びます。図形機能を使った地図の作成を練習します。					テキスト第9講の練習問題を行う。(1時間)			
14	画像編集	画像の挿入(ワードアート、スマートアート、オンライン画像)について学び、画像の入った文書を作成します。					テキスト第10講の画像を含む文書の入力を練習する。(1時間)			
15	ビジネス文書	会社見学礼状や、内定時の礼状など、学生として出す文書の作成と留意点について学びます。					さまざまな文書を自分の立場で作成してみる。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
<p>「Wordの基礎」内川小百合著(丸の内ハイデ出版)(生協で購入してください。)  「日本語ワープロ検定問題模擬問題集」(日本情報処理検定協会)(生協で購入してください。)</p>		<p>受講態度:40% 定期試験:60%  受講態度は、授業への参加度(授業への取組、発言等)で評価します。  S:9割以上の理解度+授業への参加度+実技点が100点。  A:8割以上の理解度+授業への参加度+実技点が80点以上。  B:8割程度の理解度+授業への参加度+実技点が70点以上。  C:8割程度の理解度+授業への参加度+実技点が60点以上。</p>								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
<p>「逆引き Wordパワーテクニック601+66Tips」西上原裕明著(技術評論社) ISBN:4774171158,978-4774171</p>		<p>コンピュータの入力技術は本講義でしっかりと身につけてください。講義以外の時間を利用してできるだけキーボードに慣れ、Wordの機能についてよく復習してください。日本語ワープロ検定をぜひ受験しましょう。</p>								

科目名	情報処理 (EXCEL初級) (スポーツ)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12203	研究室	非常勤
担当者	松澤 みわ子・駒村 明子・永田 綾子	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
Microsoft Excelを用いた数値情報の加工・分析は、大学における研究分野のみならず、ビジネスシーンでも幅広く用いられています。身の回りの数値データを的確に処理し、自分に必要な情報を加工する道具としてExcelを使いこなせるようにしていきます。入力や計算式の作り方の基本から、セル参照の種類やよく使う算術・論理関数、グラフ作成、印刷の方法などについて学びます。									
学修到達目標									
日本情報処理技能検定協会が実施している「表計算検定2級」の資格を取得します。または、それと同等の実力を養い、Excelを用いて素早く数値データの集計・加工、グラフ作成ができるようにします。									
授業の進め方									
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードも重要な要件となるため、時間外にも繰り返し操作練習が必要です。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス 基本操作と計算式	授業の進め方、評価方法について説明し、確認します。 Excelのデータ入力の基本、演算記号を使った計算、書式設定について学習します。(表計算検定4級レベル)					配布された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
2	IF関数と端数処理	IF関数や端数処理を行うROUND系関数について学習します。 (表計算検定3級レベル)					配布された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
3	セルの相対参照・絶対参照	セルの参照方式(相対参照・絶対参照)の違いについて学習します。					配布された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
4	判断文の処理(2分岐と3分岐)	IF関数による条件判断、IF関数のネストや順位付け関数について学習します。					配布された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
5	表計算検定3級レベルのまとめ	これまで学習してきた表計算検定3級のまとめの回です。次回から2級の内容となるため、その準備学習も行います。					3級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく。(2時間)		
6	表検索とセル証明・グラフ作成	Vlookup関数を用いた表検索やセル証明、グラフ作成について学習します。(表計算2級レベル)					指定された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
7	高度なグラフ作成	グラフ作成方法(特に円グラフ)とデータラベル、凡例の設定方法について学習します。					指定された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
8	論理演算子を使った判定	論理関数AND関数、OR関数を理解し、IF関数と組み合わせた複雑な処理について学習します。					指定された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
9	論理演算・平均との比較	論理関数AND関数、OR関数の復習と、平均との比較の方法を学習します。					指定された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
10	論理演算子を使った判定	論理関数AND関数が2回登場するIF関数と組み合わせた複雑な処理について学習します。					指定された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
11	2分岐と端数処理の組み合わせ	IF関数と端数処理を組み合わせた処理2パターンについて学習します。					指定された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
12	文章による評価の指示	評価の方法が文章によって指示されるパターンについて学習します。 IF関数による2分岐に、AND関数、OR関数を組み合わせるパターンです。					指定された類似問題を次回までに復習しておく。(1時間)		
13	表計算検定2級対策	過去問題を使って規定時間内に解答できるよう練習します。					2級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく。(2時間)		
14	表計算検定2級対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるよう練習します。					時間を計りながら課題を解き、次の授業で提出する。(1時間)		
15	表計算検定2級対策	時間内に解答を行うためのポイントや試験の注意事項を説明します。					時間を計りながら課題を解き、次の授業で提出する。(1時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「情報処理技能検定模擬問題集・表計算2・準2級編」日本情報処理技能検定協会編(生協で購入してください。)		課題:20% 定期試験:80% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級を取得した。 A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる。 B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる。 C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「情報処理技能検定試験・表計算検定対策問題集(過去問題集)」日本情報処理技能検定協会編		収集した数値データや膨大な情報をいかに正確に効率よく取り扱えるかで、今後の問題解決のスピードが大きく変わります。ぜひともExcel操作に精通してほしいと思います。							

科目名	情報処理 (EXCEL上級)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22204	研究室	非常勤
担当者	松澤 みわ子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
Microsoft Excelの本格的な使い方を身につけ、研究・調査やビジネスシーンで実際に活用できるようにしましょう。身の回りに溢れたビッグデータの集計、解析にExcelは欠かせない道具です。「情報処理」では登場しなかった文字列関数や特殊関数、データベース関数、並べ替え(ソート)や抽出(フィルター)についても学びます。										
学修到達目標										
日本情報処理検定協会が実施している「表計算検定1級」の資格を取得する。または、それと同等の実力を養い、Excelを用いて複雑な条件を指定しながら、数値データの集計・加工ができる。										
授業の進め方										
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードがかなりのウエイトを占めます。時間外にも繰り返し操作練習が必要です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 基本操作の復習	授業の進め方、評価方法について説明し、確認します。 Excel操作の確認と表計算3級~2級レベルの復習を行います。				2級レベルに不安がある場合は、同じ問題を何度も繰り返し練習する。(2時間)				
2	多重判断文の復習	2級レベルのIF関数とAND関数を組み合わせた多重判断の復習を行います。また新しくIF関数とVLOOKUP関数のネストについて学びます。				IF関数とVLOOKUP関数のネストについて復習をする(2時間)				
3	データベース関数	表全体から指定した条件に一致するデータだけを計算対象とするデータベース関数について学びます。セルの絶対参照についても復習します。				データベース関数と絶対参照について、類似問題で復習しておく(1時間)				
4	データベース関数	DSUM関数、DAVERAGE関数などの具体的なデータベース関数の活用方法を学びます。				DSUM関数、DAVERAGE関数を、類似問題で復習しておく(1時間)				
5	データベース関数	DMAX関数、DMIN関数、DCOUNT関数などの具体的なデータベース関数の活用方法を学びます。				DMAX関数、DMIN関数、DCOUNT関数を、類似問題で復習しておく(1時間)				
6	データベース関数	様々な場面で利用できるデータベース関数ですが、集計表の形式以外に文章で条件が指定された場合の使い方について学びます。				文章で条件が指示されたデータベース関数を、類似問題で復習しておく(1時間)				
7	VLOOKUP関数の応用	計算式内でVLOOKUP関数を用いたり、列番号の指定に計算式を用いるなど、VLOOKUP関数の応用的な使い方を学びます。				VLOOKUP関数の列番号の指定方法を、類似問題で復習しておく(1時間)				
8	高度な抽出と並べ替え	膨大なデータから必要なものだけを抽出するフィルター機能や、高度な並べ替え処理について学びます。				フィルター機能と高度な並べ替えについて、類似問題で復習しておく(1時間)				
9	文字列関数	セルから特定の文字を取り出すLEFT関数やRIGHT関数について新しく学びます。				文字列関数について、類似問題で復習しておく(1時間)				
10	文字列を連結する演算子	セル同士を連結して1つの情報として扱う"&"演算子について新しく学びます。				連結演算子について、類似問題で復習しておく(1時間)				
11	絶対値を求める関数	セルの値が負であってもそこから絶対値を取り出すABS関数について新しく学びます。				絶対値を取り出すABS関数について、類似問題で復習しておく(1時間)				
12	表計算検定1級対策	過去問題を使って既定時間内に解答できるように練習します。				1級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく。(2時間)				
13	表計算検定1級対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるように練習します。				時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)				
14	表計算検定1級対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるように練習します。				時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)				
15	表計算検定1級対策	時間内に解答を行うためのポイントや試験の注意事項を説明します				時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「情報処理技能検定模擬問題集・表計算1・準1級編」日本情報処理技能検定協会編 ISBN:978-4-900086-26-6(生協で購入してください。)				定期試験:80% 課題:20% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級を取得した。 A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる。 B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる。 C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「カラー図解Excel「超」効率化マニュアル」立山 秀利著(講談社) ISBN:978-4062579995 なし				定期試験は、表計算検定1級と同等の問題を予定しています。「情報処理」を履修する学生は「情報処理」を履修し、2級を取得していることが望ましい。Excelの幅広い分野への応用力を養いましょう。						

科目名	情報処理（パワーポイント）	学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22205	研究室	非常勤	
担当者	松澤 みわ子・永田 綾子	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスワ-				
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
	A	B	C							
授業概要										
プレゼンテーションは、研究発表や教育現場、ビジネスシーンなどで幅広く用いられています。本講義ではプレゼンテーションの特色をよく理解し、企画立案の段階から訴求力の高い視覚資料の作成、内容が伝わる発表技法など、プレゼンテーション全般を扱います。										
学修到達目標										
効果的なプレゼンテーションのために一連の作業(企画立案～視覚資料の作成～発表まで)ができる。また、PowerPointの操作技能としては、デザインに重点を置き、視覚効果を多様化した資料作成ができる。日本情報処理検定協会が実施している「プレゼンテーション作成検定2級」に合格する。										
授業の進め方										
講義は主にパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。使用ソフトは「Microsoft PowerPoint」です。検定試験の日程によっては、授業計画の順番が前後することがあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明します。PowerPointの基本的な機能を使用して、プレゼンテーション資料の作成方法を確認します(プレゼンテーション作成検定4級レベル)。					シラバスの内容を事前に確認する。事後は類似問題で復習を行うこと(1時間)			
2	プレゼンの企画立案	プレゼンテーションの初期段階で最も重要な企画立案について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の企画立案を進める(1時間)			
3	わかりやすいストーリー構成	論理的でわかりやすいストーリー構成の組み立て方や情報収集の手法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のストーリー構成を考える(1時間)			
4	レイアウト・デザイン	視覚資料のデザイン決定において重要なことや、テーマの活用方法を学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のチャート化を進める(1時間)			
5	視覚に訴えるチャート化	目に見えない概念や考え、手順などを説明する際にチャートを活用する方法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のカラー化を進める(1時間)			
6	訴求力を上げるカラー化	カラーの基礎知識や配色の基本テクニック、カラー化によってプレゼン資料の訴求力を上げるためのポイントを学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のカラー化を進める(1時間)			
7	数値のビジュアル化とイメージ伝達	数値を目的に合わせてビジュアル表現するため、表やグラフの活用方法や具体的なイメージを伝える手段について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のビジュアル化を進める(1時間)			
8	効果的なアニメーション	アニメーション効果、画面切り替えなど特殊効果の活用方法と、事前に行っておくべきさまざまな準備作業について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の特殊効果設定を進める(1時間)			
9	プレゼン3級対策	プレゼンテーション作成検定3級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードを向上させます。					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく(1時間)			
10	プレゼン3級対策	プレゼンテーション作成検定3級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードを向上させます。					3級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく(2時間)			
11	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、アニメーションや画面切り替えなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく(1時間)			
12	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードの向上と適切なスライド作成技能を磨きます					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく(1時間)			
13	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードの向上と適切なスライド作成技能を磨きます					2級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく(2時間)			
14	プレゼン準備とリハーサル	実際にプレゼンする場合、その当日までに必要な準備や配布資料、発表者用ノートの印刷方法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の配布資料の準備を進める(1時間)			
15	発表スキルと質疑応答	内容を効果的に相手に伝えるための様々なテクニックや質疑応答の進め方について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料課題を完成させ、期限までに提出する(2時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「情報利活用 プレゼンテーション PowerPoint 2016対応」山崎 紅著(日経BP社) ISBN:9784822297978(生協で購入してください。)教科書は全員が購入してください。		課題:40% 定期試験:60% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級の取得を行った A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「プレゼンテーション検定模擬問題集1・2級編」(日本情報処理技能検定協会) 検定受験を予定している方は購入をしてください。		プレゼンテーションとPowerPointの精通することで、円滑なコミュニケーション能力の向上も期待できます。他の授業などでも積極的にプレゼン資料の作成や発表の機会を得るように心がけてください。								

科目名	情報処理 (ホームページ)	学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	UL32206	研究室	非常勤	
担当者	河西 文子	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
ホームページは情報の取得と発信の強力なツールであり、高度情報社会における重要な情報メディアと言えます。本講義では、ホームページ作成における初中級レベルの知識と技術を習得することを目的とします。ホームページの基礎であるHTML・CSSを学び、さらにホームページ内で用いるWebコンテンツ(画像、ロゴ、アニメーション)の作成についても学びます。										
学修到達目標										
ホームページビルダーを使った一連の作業(サイト作成～Webページやコンテンツ類作成まで)ができる。日本情報処理検定協会が実施している「ホームページ作成検定2級」に合格する。										
授業の進め方										
本講義はコンピュータ教室での実習となります。使用ソフトは「ホームページ・ビルダー」、「Webアートデザイナー」、「Webアニメーター」です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明します。ホームページビルダーを使って初歩的なホームページの作り方を学びます。まずはホームページ作成検定4級レベルの内容を見ていきます。					4級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと(1時間)			
2	ホームページビルダー基本操作	ホームページビルダーの基本操作を習得します。この回はホームページ作成検定3級レベルの内容を紹介します。					3級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと(1時間)			
3	ページの属性	教科書に従い、トップページの作成、およびページ属性について学びます。また、ホームページ作成検定3級の出題範囲について学習します。					ページの属性に関する復習をしておくこと(1時間)			
4	書式の設定	教科書に従い、さまざまな書式設定やWebで扱うカラーや画像の特徴について学びます。また、ホームページ検定3級の出題範囲について学習します。					書式設定や画像の特長について復習をしておくこと(1時間)			
5	表の作成	教科書に従い、表挿入や表編集の方法を学びます。この回からホームページ検定2級に挑戦します。					表の作成や編集方法について復習をしておくこと(1時間)			
6	リンクの設定	教科書に従い、各ページにリンクを設定する方法を学びます。また、ホームページ検定2級の出題範囲について学習します。					リンク設定の基本について復習をしておくこと(1時間)			
7	リンクの応用	教科書に従い、ラベルリンク、ロールオーバー、イメージマップなど、リンクの応用を学びます。また、ホームページ検定2級の出題範囲について学習します。					リンク設定の応用について復習をしておくこと(1時間)			
8	HP作成検定2級対策	よく出題されるプロパティを含むHP2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと(1時間)			
9	HP作成検定2級対策	ボーダーなどのプロパティを含むHP検定2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと(1時間)			
10	HP作成検定2級対策	ラベルリンクなどを用いた難易度の高いHP検定2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習をしておくこと(1時間)			
11	HP作成検定2級対策	検定模擬を実施し、弱点の抽出を行います。					時間を計りながら課題を解き、次の授業で提出する(1時間)			
12	HP作成検定2級対策	検定模擬を実施し、弱点の抽出を行います。					時間を計りながら課題を解き、次の授業で提出する(1時間)			
13	Webコンテンツの制作	Webアートデザイナーを利用し、写真の加工や合成の方法、タイトルロゴやボタンなど、個人課題で使用する素材を制作していきます。					課題の中で利用するオリジナル素材をWebアートデザイナーを用いて作成する(2時間)			
14	Webコンテンツの制作	Webアニメーターを利用した文字バナー広告など、個人課題で使用するアニメーション素材を制作します。					課題の中で利用するオリジナル素材をWebアニメーターを用いて作成する(2時間)			
15	Webコンテンツの制作	ホームページ「京都物語」に対して、各自で作成したオリジナルの画像コンテンツを配置し、課題を完成させます。HP作成検定2級に関する復習も行う予定です。					Web用の画像コンテンツ課題を期限までに提出する(2時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「よくわかるホームページ・ビルダー19」(FOM出版) ISBN:978-4-86510-207-9(生協で購入してください。)教科書に従って演習を進めていきますので、必ず購入してください。		課題:40% 定期試験:60% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級の取得を行った A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「ホームページ作成検定試験模擬問題集2級編」日本情報処理検定協会編 検定試験を受験する方はできる限り購入してください。		パソコン操作に慣れていることが前提ですが、複雑な操作は多くありませんので誰でも受講可能です。今後、「ホームページ実践」の履修、またはHP作成検定1級取得を目指す人はぜひ履修をしてください。								

科目名	日本語入門（異文化理解基礎）		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12301	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	留学生限定科目				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>大学で学ぶためには、講義を理解し、教科書、参考文献を読み、レポートを作成する能力が必要です。本講義は教科書、参考文献を読むための読解力、レポート作成のための基礎を学びます。まず、論理的な文章に触れ、読解力を養います。それとともにレポートの文体、論理的な文章構成、論理的な表現を学びます。最後に学んだことをもとにテーマを決めて、レポートを作成します。</p>										
学修到達目標										
<p>1、論理的な文章の読解、レポートの作成ができるようになる。2、語彙、表現の幅を広げ、文章の構成、段落の構成に配慮できるようになる。3、学生同士でレポートをチェックすることで、互いの意見を理解し、自分の意見を表明できるようになる。</p>										
授業の進め方										
<p>読解に必要な技能、表現などを演習形式で学んでいきます。さらに、レポートを書くために必要な文体、構成、表現について講義をし、実際に学んだことを基にレポートを作成してもらいます。作成後、学生同士で互いの文を評価し合い、フィードバックを受けます。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	読解：語のまとめり 作文：表記の仕方 作文「国の有名人」	読解のストラテジーとして、語を意味のまとめりでもとらえる観点を学びます。作文では、縦書き、横書き、文体と書き言葉について学び、実際に「国の有名人」について作文を書いてもらいます。				文体、書き言葉に注意し、作文を書く(1時間)				
2	読解：語のまとめり復習 作文：段落の構成	読解は前回と別の文を使い、語のまとめりでもとらえるエクササイズをします。また、作文では段落の構成について学びます。中心文、支持文について説明します。				「使役」について復習をし、教科書のP8～15までを読んで、予習をする(1時間)				
3	読解：使役 作文：助詞相当語 作文「国の有名人」	読解は使役、使役受身、授受表現に注意し、「する」側、「される」側の関係をつかむストラテジーについて学びます。作文は助詞相当語について学びます。作文の合評会を行い、フィードバックを受けます。				使役、使役受身、授受表現を含んだ他の文の読解をする(1時間)				
4	読解：使役復習 作文：引用表現	「する」側、「される」側の関係をつかむストラテジーを使って、読解練習をします。作文は「引用表現」について学びます。最後に引用表現文型を使って「各国の国民性」についての作文を書きます。				「各国の国民性」についての作文を完成させる。小テストに備え、復習をする(1時間)				
5	読解：文の構造 小テスト	読解では文の修飾関係を正しく理解するストラテジーについて説明します。さらに今までの読解、作文の書き方について小テストを行い、フィードバックをします。				小テストの結果のフィードバックをもとに理解できていない点を復習する(1時間)				
6	読解：文の構造復習 作文：間接疑問 作文「日本人の不思議」	読解は文の構造の復習をします。作文は間接疑問文について作り方を確認したあと、その文を使って、作文「日本人の不思議」について書いてもらいます。「各国の国民性」のフィードバックをします。				作文「各国の国民性」の清書。作文「日本人の不思議」を完成させる(1時間)				
7	読解：前件と後件 作文：接続表現	読解は前件と後件の関係をつかむことを学びます。作文は接続表現について学びます。小テストに備えて、前回までの復習をします。				小テストに備えて該当箇所を復習する(1時間)				
8	読解：前件と後件の復習 作文：「日本人の不思議」合評会、小テスト	読解は前件と後件の復習を行います。作文は「日本人の不思議」の合評会とフィードバックです。また読解と作文の小テストを行います。				小テスト結果フィードバック、理解できていない点を復習する。作文の清書をする(1時間)				
9	読解：指示詞 作文：レポート作成 レポート文を読む	読解は指示詞のさすものを見つけるストラテジーを身につけます。作文は調査をもとにしたレポート作成の準備をします。まず、参考になるレポート文の読解をし、到達目標をつかみます。				インターネット、図書館を利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
10	読解：指示詞復習 作文：資料の引用	読解は指示詞の復習を行います。作文は資料の引用の仕方について、説明します。また、参考文献の書き方についても学んでもらいます。				インターネット、図書館を利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
11	読解：省略 作文：レポートのテーマ 決定・構成	読解は省略されているものはなにかを見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートのテーマの決定、構成を練ります。図表の書き方も学びます。				レポートのテーマについて図書館、インターネットを利用し、調査する(1時間)				
12	読解：「省略されているもの」復習 作文：文献調査	読解は省略されているものはなにかを見つけるストラテジーの復習をします。作文は仮アウトラインを作ります。仮説も立てます。				レポートのテーマについて、調査する。レポート下書きをする(1時間)				
13	読解：関連のある言葉 作文：レポート下書チェック	読解は関連のある言葉を見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートの下書きをして、チェックを受けます。				レポートを執筆する(1時間)				
14	読解：関連ある言葉復習 作文：レポート校正	読解は関連ある言葉を見つけるストラテジーの復習をします。作文はレポートの校正を行います。				レポートを完成させる(1時間)				
15	レポート合評会	レポートの合評会を行い、学生同士の作文から様々な視点を学びます。フィードバックを受けて、さらに校正を行います。				レポートを清書する(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
<p>「留学生の日本語 作文編」アカデミック・ジャパニーズ研究会編著（アルク） ISBN:4-7574-0500-6（別途、指示します。）  「留学生のための読解トレーニング」石黒圭他著（凡人社） ISBN:978-4-89358-780-0（別途、指示します。）</p>		<p>受講態度：15% 小テスト：25% 課題：60%  受講態度(合評会などでの発言回数と内容) S:適切な表現で論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、適切かつ正確に伝えられる。A:書き言葉で論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、適切に伝えられる。B:ほぼ適切な表現である程度論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、ほぼ適切に伝えられる。C:ある程度論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、伝えられる。</p>								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
<p>「留学生のための論理的文章の書き方」二通信子著（スリーエーネットワーク） ISBN：978-4-88319-257-1</p>		<p>作文は時間外にやらなければならないことが多いです。講義計画に沿って準備してきてください。質問はオフィスアワーに対応します。</p>								



科目名	日本語応用(異文化理解応用)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12302	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	留学生限定科目				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本授業は、大学のテキスト、参考文献を理解するための読解力を養うことと、場面に合わせた文章を作成することを扱います。具体的には、手紙文、スピーチ原稿、自身および母国の状況をテーマにした作文を扱い、最後に社会問題に関するレポートを作成をします。また、必要な語彙、表現、文法なども学んでいきます。										
学修到達目標										
1、場面に合わせた適切な文章を作成することができるようになる。2、文章の目的に合わせて、適する語彙、表現の選択のほか、文体、構成にも配慮できるようになる。3、互いの作文のチェック、ディスカッションを通して、様々な視点を学び、自分の意見を表明できるようになる。										
授業の進め方										
読解と作文を行います。読解は読解のためのストラテジーを学んでいきます。作文は事例に触れながら、様々な文章の特徴を理解してもらい、その特徴を踏まえ、様々な文章を作成してもらいます。作成後、学生同士、フィードバックも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 読解:筆者の意見 作文:はがきの書き方	授業の目的、概要、評価の仕方を説明します。読解では文末に注意し、筆者の意見を見抜くストラテジーを学びます。作文では、eメール、はがきの書き方について学び、実際に書く練習をします。				実際にeメールを教員に出す。また、はがきは実際に書き、投函する(1時間)				
2	読解:「筆者の意見」復習 作文:手紙文の書き方	読解は筆者の意見を見抜くストラテジーについて復習をします。作文は手紙文の書き方を学び、実際に書く練習をします				手紙文の下書きをしてくる(1時間)				
3	読解:筆者の立場 作文:スピーチ原稿	読解は筆者の立場を見分けるストラテジーを学びます。作文は過去の留学生の書いたスピーチ原稿を参考にし、ブレインストーミングをします				スピーチのテーマを考え、下書きをする(1時間)				
4	読解:「筆者の立場」復習 作文:スピーチ原稿の発表の仕方	読解は筆者の立場を見分けるストラテジーの復習をします。作文はスピーチ原稿の下書きをチェックし、フィードバックをします。よいスピーチとは何かを考えます。				スピーチ原稿の清書、スピーチの練習をする(1時間)				
5	読解:大切なことのサイン 作文:スピーチ発表会	読解は大切なことのサインをつかむストラテジーを学びます。スピーチの発表をし、他学生、教員からフィードバックを得ます。				小テストに備え、復習をする(1時間)				
6	読解:「大切なことのサイン」復習 作文:アジア賞応募原稿構成	読解は「大切なことのサイン」の復習をします。作文はアジア賞に向けて、テーマを考え、構成を練ります。前回のアジア賞応募原稿を読み、到達目標を把握します。				アジア賞の応募原稿の下書きを書く(1時間)				
7	読解:速読 作文:アジア賞応募原稿作成	読解は速読のストラテジーを学びます。作文は、作文評価の観点の説明を受けたのち、アジア賞応募原稿の下書きを学生同士、チェックします				アジア賞応募原稿の清書をする(1時間)				
8	読解:「速読」復習 作文:アジア賞応募原稿完成、合評会	読解は速読の復習、作文はアジア賞原稿の合評会を行い、学生同士、互いの考え方を理解します。				アジア賞応募原稿校正をする(1時間)				
9	読解:話題を見抜く 作文:調査をしてレポートを書く	読解は文章の話題を見抜くストラテジーを身につけます。作文は社会問題もとにしたレポートの作成をします。テーマ決定のためのブレインストーミングを行います。				インターネット、図書館などを利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
10	読解:「文章の話題を見抜く」復習 作文:仮アウトライン	読解は「文章の話題を見抜く」ストラテジーの復習をします。作文はレポートのテーマ、構成を決め、仮アウトラインを作成します。				小テストのための復習をする。レポートのテーマについて調べる(1時間)				
11	小テスト 読解:ストーリーを読む	小テストをします。読解はストーリーを読むためのストラテジーを学びます。作文は仮アウトラインにのって、下書きをします。				レポートの下書きを完成させる(1時間)				
12	読解:「ストーリーを読む」復習 作文:賞状の書き方	読解は「ストーリーを読む」の復習をします。作文は賞状の書き方について学びます。				レポートの下書きを完成させる(1時間)				
13	読解:読み間違いを見つける 作文:下書きチェック	読解は読み間違いを見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートの下書きを学生同士観点に沿って、チェックし、フィードバックを得ます。				フィードバックをもとにレポートの校正、清書をする(1時間)				
14	読解「読み間違いを見つける」復習 作文:レポート合評会	読解は「読み間違いを見つける」ストラテジーの復習をします。作文はレポート合評会を行い、学生同士、互いの考え方を理解し、ディスカッションを行います。				定期試験に備え、復習をする(1時間)				
15	総復習 作文:合評会	定期試験に備え、総復習をします。作文はレポートの合評会の続きを行い、学生同士、考え方を理解しディスカッションを行います。				定期試験に備え、復習をする(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「留学生のための読解トレーニング」 石黒圭著(凡人社) ISBN:978-4-89358-780-0(別途、指示します。) 日本語入門と同じ教科書です。				受講態度:15% 小テスト:20% 課題:45% 定期試験:20% 受講態度(合評会などでの発言回数と内容)S:場面に合わせた文章を適切、かつ正確に作成できる。自分の意見を適切かつ正確に表明できる。A:場面に合わせた文章を適切に作成できる。自分の意見を適切に表明できる。B:場面に合わせた文章をほぼ適切に作成できる。自分の意見をほぼ適切に表明できる。C:場面に合わせた文章を作成できる。自分の意見を表明できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「日本語Eメールの書き方」築晶子他著(ジャパンタイムズ) ISBN:4-7890-1184-4				留学生の物の見方、考え方を表明する場でもありますので、日頃より見聞を広げてほしいと思います。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	日本事情 (異文化理解基礎)		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL22303	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	留学生限定科目				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
この授業は日本人学生と留学生が共に学び合い、異文化コミュニケーションを実践する授業です。地域のグローバル化に伴って、異文化の人との円滑なコミュニケーション力の養成は重要な課題となっています。この授業では、理論として異文化コミュニケーションの特徴、異文化コミュニケーションに対する態度を学び、さらにトレーニング、実際の異文化交流を通して、異文化に対する意識の変革を目指します。										
学修到達目標										
1、異文化コミュニケーションの特徴、異文化コミュニケーションに対する態度を学び、実際に異文化の人との円滑なコミュニケーションをとれるようになる。 2、テーマに沿ってディスカッション、発表をし、留学生と日本人学生が互いの意識改革を行い、多文化共生社会の礎を築く。										
授業の進め方										
講義形式で異文化コミュニケーションに関する理論を説明します。その理論をもとに様々な事例を取り上げ、日本人学生と留学生がディスカッション、発表をし、互いの考え方、価値観、文化が理解できるようにします。また、国際交流活動に参加してもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 異文化を理解する	授業の目的、概要、評価の仕方を説明します。異文化コミュニケーションとは何かを考えます。				身近にあった異文化コミュニケーションの経験をレポートにまとめる(2時間)				
2	異文化体験発表 新しい常識の発見	異文化体験を発表し、異文化が身近であることを理解します。異文化の人と常識が違うことを様々な例を用いて説明します。自分の価値観を絶対正しいと思わない態度を身につけます。				自分の体験で、異文化でなくても、常識の通じなかった経験をレポートにまとめる(2時間)				
3	常識が通じなかった体験発表 ステレオタイプ	常識の通じないというのは異文化だけではないことを理解します。ステレオタイプの定義、要因、そして自らのステレオタイプを考えます。さらに自分、自分の国がどう見られているかを考えます。				世界の様々な国のステレオタイプを調べて、レポートにまとめる(2時間)				
4	「ステレオタイプ」発表 文化とコミュニケーション	ステレオタイプについて発表を行い、ステレオタイプの弊害について考えます。文化とコミュニケーションについて考え、誤解を受けるメカニズムを考えます。				誤解を受けた経験を客観的に振り返り、その要因を分析し、レポートにまとめる(2時間)				
5	「誤解」レポート発表 コミュニケーションスタイル-誘い方と断り方	人間がコミュニケーションをとるとき、異文化ならずとも誤解がおこることをメカニズム的に理解します。さらに、コミュニケーションスタイルの違う文化では誤解が起こりやすいことを学びます。				誘い方と断り方の自分のコミュニケーションスタイルについて、分析的に考え、まとめる(2時間)				
6	「誘い方と断り方」発表 コミュニケーションスタイル-謝罪と感謝	自分の誘い方と断り方のコミュニケーションスタイルを客観的に知る。謝罪と感謝のコミュニケーションスタイルの文化による相違について考える。				スタイルが異なるとどんな摩擦が起きやすいかをレポートにまとめる(2時間)				
7	松本国際ふるさと祭り 「こいこい松本」への参加準備	「こいこい松本」の目的、概要を説明します。松本の外国籍住民についての理解を深め、自分なりのスタッフ参加の目的を決めます。				スタッフ会議も含め当日スタッフとして参加する。参加後、レポートを書く(16時間)				
8	「こいこい松本」に参加して学んだことを発表	「こいこい松本」に参加しての自分の目的に合わせた成果を発表します。発表の後、ディスカッションをします。				ディスカッションの内容も含め、レポートをまとめ直す(4時間)				
9	非言語コミュニケーション タッチング・空間距離	非言語コミュニケーションとは何か。非言語の文化的影響を説明します。本授業ではタッチング、空間距離の文化的差異を取り上げます。				他者を観察し、非言語を使ったコミュニケーションの実例をレポートにまとめる(4時間)				
10	非言語コミュニケーション 表情・アイコンタクト・ジェスチャー	非言語コミュニケーションの表情、アイコンタクト、ジェスチャーを取り上げ、文化的差異について説明します。最後に非言語コミュニケーションが摩擦を生む例について考えていきます。				非言語コミュニケーションを分類し、摩擦の多いタイプは何かをレポートにまとめる(4時間)				
11	多文化共生の意義と課題	多文化共生の意義、課題を考えます。まず、カナダ、日本の実例について紹介します。課題についてディスカッションをします。				多文化共生の意義と課題について調べてレポートにまとめる(4時間)				
12	多文化共生の意義と課題 -発表	多文化共生の意義、課題について調べてきたことを発表します。お互いの発表を聞いて、ディスカッションをします。				外国人(異文化の出身者)にインタビューする。テーマを考える(4時間)				
13	外国人にインタビュー	学習してきたことをもとに自分でテーマを決めて、外国人にインタビューします。本授業ではテーマについて理解を深め、調査項目を決定します。				仮調査票を完成させる(4時間)				
14	外国人にインタビュー-パイロット調査	調査項目をもとにパイロット調査を行います。学生同士質問をし合い、調査項目を見直します。				調査票を完成させ、調査を行い、PPTでスライドを作る(4時間)				
15	発表原稿チェック 発表シミュレーション	お互いに発表原稿のチェックをします。よい発表の観点を説明し、シミュレーションを行います。				シミュレーションでのフィードバックをもとに発表原稿を完成させ、発表練習をする(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「異文化コミュニケーション・ワークブック」矢代京子他著(三修社) ISBN:978-4-384-01851-6(講義にて配布します。)				受講態度:30% レポート:40% 発表30% 受講態度(ディスカッションでの発言回数と内容)S:異文化コミュニケーションの特徴を深く理解し、円滑なコミュニケーションがとれる。A:異文化コミュニケーションの特徴を理解し、円滑なコミュニケーションがとれる。B:異文化コミュニケーションの特徴をほぼ理解し、のコミュニケーションがとれる。C:異文化コミュニケーションの特徴をある程度理解し、コミュニケーションができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「異文化理解入門」原沢伊都夫著(研究社) ISBN:978-4-327-37734-2				異文化の人と交流をして互いの価値観を知り、理解できるようにしてください。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	日本事情（異文化理解応用）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL22304	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	留学生限定科目				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
地域のグローバル化にともない、日本の事情を客観的に知ること、さらにそれを他に伝えることが必要となっています。この授業はまず日本を大きく3つの地域に分け、その文化、歴史、宗教等を学んでいきます。そして、地域ごとに自分が興味を持ったテーマを見つけ、発表します。発表は3回行います。留学生と日本人学生がともに日本事情について学ぶことにより、互いの文化、歴史、宗教等を比較し、日本事情の特徴に対する理解を深めます。										
学修到達目標										
1、日本の事情を知り、さらにそれを他に伝えられるようになる。 2、日本と留学生の母国との比較により、それぞれの文化に対する理解を深める。 3、発表のスキルを学ぶ。										
授業の進め方										
授業の前半は講義形式で、地域ごとの文化、歴史、宗教等を学びます。後半は学生がテーマを選び、発表します。その内容について学生同士質問したり、話し合ったりしてもらいます。最後に発表のコメントを書き、提出します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 日本の地理 北部（北海道）について	授業の目的、授業概要、授業評価について説明を受けます。日本の地理の概要をつかんだ後に、北海道について学びます。北海道は主にアイヌの歴史について学びます。					復習及び発表準備（2時間）			
2	北部（岩手県）について	柳田國男の「遠野物語」を中心に学びます。日本の民俗学について理解を深めます。方言についても考えます。					復習及び発表準備（4時間）			
3	北部（仙台、奥の細道）について	東北の3大祭りについて学びます。さらに俳句について学び、「奥の細道」について理解を深めます。また句会の準備をします。					俳句を実際に作る。 復習及び発表準備（4時間）			
4	句会 北部（福島・茨城）について	句会を体験します。さらに東日本大震災について学びます。また、白虎隊、日光東照宮についてそれぞれの歴史についても理解を深めます。					発表準備まとめ。北部小テスト準備（6時間）			
5	中部（東京・富士山）について 学生発表 小テスト（北部）	東京、下町文化、富士山とそこから生まれた芸術について、学びます。東北地方に関する小テストを受け、知識を定着させます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					発表準備（2時間）			
6	中部（信州）について 学生の発表	桜と日本人の美意識について学びます。また、江戸時代の人々の暮らしについて絵島事件を通して学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					日本人の美意識に対する本を読み、レポートを書く（4時間）			
7	中部（奈良、京都） 学生の発表	奈良時代、平安時代を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
8	中部（滋賀、大阪） 学生の発表	戦国時代を中心に学びます。また、茶道の概要、精神についても学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					発表準備 茶道の歴史と茶掛けを調べる。（4時間）			
9	茶道体験	茶道を体験します。その際茶道の精神がどのように実際に活かされているかを探ります。					茶道体験をレポートにまとめる。 発表準備 小テスト準備（6時間）			
10	南部（島根県出雲・松江）について 小テスト（中部）	神話、怪談などを中心に学びます。また、中部地方について知識定着のための小テストを行います。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					神話、怪談の中から、好きなものを選び、あらすじをまとめる。（4時間）			
11	南部（岡山・広島）について 学生の発表	日本の城、および安芸の宮島を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
12	南部（四国）について 学生の発表	坂本竜馬、正岡子規を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
13	南部（福岡・長崎・大分）について 学生の発表	原爆、鎖国、温泉を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
14	南部（熊本・鹿児島）について 学生の発表	熊本、鹿児島の自然、歴史を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					復習及び発表準備（4時間）			
15	沖縄について 学生の発表	戦争、自然、歴史を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。					小テスト（南部）準備及び発表準備（4時間）			
テキスト					成績評価の方法・基準					
(講義にて配布します。) パワーポイントによる資料を配布					受講態度：10% レポート：20% 小テスト：20% 発表50% S:授業内容の高度な理解の上に立ち、自らテーマを発見、探求し、他に伝えることに優れている。A:授業内容を理解し、自らテーマを発見、探求し、他に伝えることができる。B:授業内容をほぼ理解し、テーマにそって探求し、他に伝えることができる。C:授業内容の60%程度を理解し、テーマについて他に伝えることができる。					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
「日本人と日本文化」司馬遼太郎 ドナルド・キーン著（中公新書 285） ISBN：4-12-100285-7					日本人学生、留学生が互いの国の事情を積極的にし合うことが必要です。質問はオフィスアワーで対応します。					

科目名	子どもの育ちと教育（人間・教育）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13101	研究室	A-02
担当者	大蔵 真由美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限、水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
<b>授業概要</b> 子どもの成長発達には連続しています。そのことの理解が十分でないと、子どもの育ちが円滑に進まないことがあります。そこで本授業では、小学校へとつながる幼児期に着目し、その成長発達の特徴及びその時期の子どもの成長発達のために重要である教育の基本を理解することを目的とします。具体的には、映像資料を活用して3歳から5歳までの子どもの成長発達の特徴を考えます。さらに、幼児教育の基本を、映像資料や幼稚園教育要領等を資料として考えます。										
<b>学修到達目標</b> 1. 幼児期の子どもの成長発達の特徴を理解し、説明できる。 2. 幼児期の子どもの育ちのために重要な教育の基本を理解し、説明できる。 3. 子どもの育ちをめぐる今日の課題に興味関心を持ち、その一つについて自分の意見を表明できる。										
<b>授業の進め方</b> 講義形式を主として進め、適宜、グループワーク等を行います。必要に応じて資料を配布しますが、資料は授業内容の理解を助け、さらに発展的内容を示していますので、該当する授業前に必ず読み、持参して授業に臨んで下さい。										
<b>授業計画（各回のテーマ等）</b> 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業内容や進め方を説明します。				シラバスを読む、幼稚園教育要領解説等を読む。(4時間)				
2	子どもの育ち1	3歳児の成長の様子を映像を通して確認します。				第1回授業で配布した資料の該当箇所を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
3	子どもの育ち2	3歳児の成長とその特徴を説明します。				前時の復習、第1回授業で配布した資料の該当箇所を読む(2時間)。ワークを完成させる。(2時間)				
4	子どもの育ち3	4歳児の成長の様子を映像を通して確認します。				前時の復習、第3回授業で配布した資料の該当箇所を読む。(2時間)ワークを完成させる。(2時間)				
5	子どもの育ち4	4歳児の成長とその特徴を説明します。				前時の復習、第3回授業で配布した資料の該当箇所を読む。(2時間)ワークを完成させる。(2時間)				
6	子どもの育ち5	5歳児の成長の様子を映像を通して確認します。				前時の復習、第5回授業で配布した資料の該当箇所を読む。(2時間)ワークを完成させる。(2時間)				
7	子どもの育ち6	5歳児の成長とその特徴を説明します。				前時の復習、第5回授業で配布した資料の該当箇所を読む。(2時間)ワークを完成させる。(2時間)				
8	ここまでの授業のまとめ	第7回までの授業内容を振り返り、総括します。				第7回までの授業内容を復習する、幼稚園教育要領解説等を再読する。(4時間)				
9	子どもの育ちのために1	子どもの今と子どもの最善の利益について考えます。				第8回授業で配布した資料を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
10	子どもの育ちのために2	養護と教育について説明します。				前時の復習、第9回授業で配布した資料を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
11	子どもの育ちのために3	環境を通して行う教育について説明します。				前時の復習、第10回授業で配布した資料を読む。(4時間)				
12	子どもの育ちのために4	遊びを通して行う教育について説明します。				前時の復習、第11回授業で配布した資料を読む。(4時間)				
13	子どもの育ちのために5	主体的活動の展開について説明します。				前時の復習、第12回授業で配布した資料を読む、授業時に指示した内容を行う。(4時間)				
14	子どもの育ちのために6	子どもの育ちをめぐる今日の課題について説明します。				前時の復習、第13回授業で配布した資料を読む。(4時間)				
15	まとめ	第9回から第14回の授業を振り返り、総括します。また、授業全体のまとめを行います。				これまでの授業の復習をする。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
必要に応じて資料を配布します。			出席レポート：50% 課題：30% 定期試験：20% 出席レポート(毎時間後の感想・質問)、課題(授業内容の理解度や考察の深まりを知る為の授業内での課題の取り組み)、定期試験を総合して評価します。 <評価基準>S:正しく理解された授業内容に加え、資料やデータを活用しつつ、論理的に自分の考え、意見を述べている。A:授業内容を正しく理解し論理的に説明できる。B:授業で取り上げた事柄を理解し説明できる。C:授業で取り上げた事柄を理解している。							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「幼稚園教育要領解説」文部科学省著（フレーベル館） 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府・文部科学省・厚生労働省著（フレーベル館）			家族や家庭、その中で子どもに対して行われる教育的営みは身近な事柄です。自分の経験と比較しながら聴講して下さい。また、積極的な授業参加を期待しています。受講者数により参加型の授業を取り入れていきます。							

科目名	心理学概論（人間・教育）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13102	研究室	A-18
担当者	川島 一夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
心理学は科学であることを中心テーマに、心理学全般について学びます。心理学についてのビデオをみて、その領域についての説明を行います。また、授業の途中での小テストや、課題の本を読みテーマを決めての討論を行います。一般に考えられている心理学に対する誤解を解くことが授業の目的です。なお、締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。レポートを期日どおりに出すこともこの授業の目的です。										
学修到達目標										
心理学について、幅広い知識を習得し、一般に考えられている心理学に対する誤解を解くことができる。また、人間関係を含めた社会的な事象について客観的なデータをもとに解釈することができる。										
授業の進め方										
ビデオ心理学への招待(DISCOVERING PSYCHOLOGY)を視聴し、その中で出てくる内容についての講義を行います。また、小テスト、討論も行います。さらに質問に回答すること。レポートは、それぞれ2000文字以上です。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	研究を理解する	研究を理解する Understanding Researchを資料による説明とDVD視聴を行います。				資料を参照して心理学の研究についてレポートする。（4時間）				
2	反応する脳	反応する脳 The Responsive Brain資料による説明とDVD視聴を行います。				宿題の小テストを資料を見て回答する。（4時間）				
3	子供の発達	子供の発達 The Developing Childを資料による説明とDVD視聴を行います。				宿題の小テストを資料を見て回答する。（4時間）				
4	感覚と知覚	感覚と知覚 Sensation and Perceptionを資料による説明とDVD視聴を行います。				「面白いほどよくわかる」前半を読んでレポート 2000文字で書き提出する。（4時間）				
5	学習理論	学習 Learningを資料による説明とDVD視聴を行います。				「面白いほどよくわかる」後半を読んでレポート 2000文字で書き提出する。（4時間）				
6	討論と質問回答 「心理学ってどんなもの」	「面白いほどよくわかる！」心理学の本について討論と質問回答を行います。				「面白いほどよくわかる！」心理学の本 討論の感想文を提出する。（4時間）				
7	記憶と忘却	記憶と忘却 Remembering and Forgettingを資料による説明とDVD視聴を行います。				宿題の小テストを資料を見て回答する。（4時間）				
8	判断と意思決定	判断と意思決定 Judgment and Decision Makingを資料による説明とDVD視聴を行います。				アリエー教授の「行動経済学」前半を読んでレポートを作成する。（4時間）				
9	動機づけと情動	動機づけと情動 Motivation and Emotionを資料による説明とDVD視聴を行います。				アリエー教授の「行動経済学」後半を読んでレポートを作成する。（4時間）				
10	討論と質問回答 アリエー教授の「行動経済学」	アリエー教授の「行動経済学」について討論と質問回答を行います。				アリエー教授の「行動経済学」討論の感想文を提出する。（4時間）				
11	認知過程	認知過程 Cognitiveを資料による説明とDVD視聴を行います。				宿題の小テストを資料を見て回答する。（4時間）				
12	成熟と老化	成熟と老化 Maturing and Agingを資料による説明とDVD視聴を行います。				身体が生み出すクリエイティブ前半を読んでレポートを作成する。（4時間）				
13	状況の力	状況の力 The Power of the Situationを資料による説明とDVD視聴を行います。				身体が生み出すクリエイティブ後半までを読んでレポートを作成する。（4時間）				
14	討論と質問回答「脳科学より心理学」	身体が生み出すクリエイティブの討論と質問回答を行います。				「脳はなにかと言い訳する」討論の感想文を提出する。（4時間）				
15	心理療法	心理療法 Psychotherapyを資料による説明とDVD視聴を行います。				宿題の小テストを資料を見て回答する。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「面白いほどよくわかる不思議な心理学」ライフ・エキスパート著（河出書房新社） ISBN:978-4309498300（生協で購入してください。） 「アリエー教授の「行動経済学」入門（ハヤカワ・ノンフィクション文庫）」ダン・アリエー著（早川書房） ISBN:978-4150505011（生協で購入してください。） 「身体が生み出すクリエイティブ 新書」諏訪正樹著（ちくま新書） ISBN:978-4480071248（生協で購入してください。） レポート課題対象となる新書・文庫3冊は別途指示する。				小テスト：70% レポート：30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートに取り組み、小テストでは、全問題に正解できる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもってレポートに取り組み、殆どの小テストが正解できる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
参考図書は、授業時に紹介します。				締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。						

科目名	健康管理論（総経・人間）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13103	研究室	S-19
担当者	中島 節子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	実践指導者（栄養）				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
生活習慣病や高齢化などを背景に、健康志向の考え方が社会に広まっています。このような時代背景にいったいどんな健康を害する要素が潜んでいるのか、健康の現状と関連要因を学びながら「健康ではない状態」を回避するため、または、改善するために何をすべきなのかについて考えていきます。										
学修到達目標										
「健康」の概念を理解し、「健康」を害する要因と「健康」を維持するための方法について学び、説明することができる。										
授業の進め方										
講義形式で、基本的な事項については、配布プリントに沿って説明します。現代社会の健康関連要因などについて、統計を分析した結果や健康施策について個々の考え方をまとめ、お互いにディスカッションし、発表します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会と健康	健康の定義、概念を理解する。生活習慣と健康との関係や環境が健康に及ぼす影響について理解し、公衆衛生とその歴史について学びます。				健康の定義や、健康と生活習慣、環境との関係についてまとめます。（4時間）				
2	疫学	疫学の定義と疫学のさまざまな指標、疫学的研究方法について学びます。				データの見方、統計を分析してまとめます。（4時間）				
3	人口統計	統計の基本事項について学び、人口統計、国勢調査、平均寿命、健康寿命について学びます。				人口統計を読み取り、考察してまとめます。（4時間）				
4	健康づくり	日本の健康づくり施策（第一次健康づくり対策からの歴史的意義、運動指針）、食生活関連施策、運動関連施策について学びます。				健康づくりの施策について調べてまとめます。（4時間）				
5	健康管理	健康管理の原則と考え方、健康教育の定義とその方法、その計画と実施、事例について学びます。				健康管理の方法や生活習慣病の予防についてまとめます。（4時間）				
6	生活習慣と健康	生活習慣病、メタボリックシンドロームについて学び、特定健診、保健指導について学びます。				自己の生活習慣、健康管理について見直します。（4時間）				
7	生活習慣病の疫学、予防、健康管理 1	循環器疾患、糖尿病、脂質異常、がんとその予防について学び、運動による予防効果と運動を始める前のメディカルチェックの重要性と検査項目、基準値について学びます。				運動と健康の関連についてまとめます。（4時間）				
8	生活習慣病の疫学、予防、健康管理 2	骨粗鬆症、慢性閉塞性肺疾患、ロコモティブシンドロームについて学び、運動による予防効果と運動を始める前のメディカルチェックの重要性と検査項目、基準について学びます。				自分の健康管理について確認し、まとめます。（4時間）				
9	地域の保健予防システム	保健所の歴史とその役割、保健師の役割、災害・危機管理対策、感染症法について学びます。				地域の保健予防システムについてまとめます。（4時間）				
10	社会保障制度	社会保障の概念、医療制度、福祉制度について学びます。				現代の社会保障制度の現状を調べます。（4時間）				
11	高齢者の健康管理	高齢者の医療確保に関する法律、健康増進事業、介護保険法と制度、認知症、サルコペニアについて学びます。				高齢者の健康課題をまとめ、考察します。（4時間）				
12	母子の健康管理	母子保健事業、保健指導、児童虐待、子育て支援制度について学びます。				母子保健について健康課題をまとめ、考察します。（4時間）				
13	学校の健康管理	健康診断と保健指導、学校給食、児童生徒の問題行動について学びます。				学校における健康管理についてまとめ、考察します。（4時間）				
14	職場の健康管理	一般健康診断、職業病と特殊健康診断、メンタルヘルスについて学びます。				職場の健康管理の方法についてまとめ、考察します。（4時間）				
15	健康づくり	講義の中での学びから、さまざまな対象、場所における健康づくり対策について考えまとめます。				現代の健康課題について整理し、解決策を考えまとめます。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じて資料を配布します。				定期試験：90% 出席レポート：10% S:授業内容を高度に理解するとともに、探究心をもって積極的に健康課題に取り組み、応用問題が解ける。出席レポートに学びが丁寧に書かれている。A:授業内容を理解し、積極的に課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。出席レポートの内容に学びが書かれている。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、自分の意見を持つことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、身近な健康課題を理解することができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「基礎から学ぶ健康管理概論(改訂第4版)」柳川 洋（編集）、尾島 俊之（編集）編（南江堂） ISBN：978-4524254750 「社会・環境と健康 健康管理概論 第3版(栄養科学シリーズNEXT)」東 あか				自己の健康管理を実践しながら、健康についてさまざまな角度から考えられるように情報のアンテナを高めてください。この講義は、実務経験のある保健師が担当します。						

科目名	こころと体の健康			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL13106 UL13104	研究室	S-02
担当者	青木 雄次・廣田 直子・中島 節子・矢崎 久・田邊 愛子			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>大学生生活を送る上で、また卒業後の社会生活を送る上で、学生自身が自分の心や体について十分な知識を持ち、健康で安全な日常生活を営むことが必要です。そのため、健康日本21の標語にもなっている「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、5にクスリ」のそれぞれに対応して、専門的な視点からその基礎的知識を学び、自らの生活に結びつけて実践し、健康で安全な学生生活が送れることを目的とします。</p>											
学修到達目標											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活を送るために必要な運動、栄養、休養の必要性について理解し、実践できる。</li> <li>・生活習慣病の発症について理解し、予防策を説明することができる。</li> <li>・安全な生活を送るために必要な知識と技術を説明することができる。</li> </ul>											
授業の進め方											
各専門分野の教員がオムニバス形式で進めます。講義、演習・実習を含めて実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション 健康とは	講義の進め方のオリエンテーションを行います。健康の概念、健康日本21の取り組みについて学びます。健康長寿についてDVDを上映します。					健康の概念について予習復習する。(4時間)				
2	飲酒、喫煙について がんの発症と予防	飲酒、喫煙のからだへの影響について学び、がんなどの病気との関連について学びます。					飲酒、喫煙、がんについて予習復習する。(4時間)				
3	生活習慣に関連する病気	生活習慣と関連の深い高血圧、高脂血症について、疾病の症状や要因、予防方法、治療方法について学びます。					生活習慣病について予習復習する。(4時間)				
4	生活習慣病IIとまとめ	糖尿病、肥満など異常の早期発見のための健康診断の必要性や項目について学びます。1~4回のまとめのプリントを配布します。					健康診断や検査について予習復習する。(4時間)				
5	メンタルヘルス	代表的な精神疾患の特徴について学び、それらの対応について学びます。					精神疾患について予習復習する。(4時間)				
6	メンタルヘルス	現代社会の精神的な課題やストレスへの対応などを学び、予防と相談方法について学びます。					メンタルヘルスについて予習復習する。(4時間)				
7	栄養・食生活	栄養についての基礎知識を学び、健康的な食生活について考えます。					栄養・食生活について予習復習する。(4時間)				
8	健康と食生活	食生活と疾病との関連を学び、食事についての現代的な課題について解決策を考えます。					食生活と疾病についてレポートを作成する。(4時間)				
9	健康と食生活 休養	健康的な食生活について考えます。健康づくりのための休養指針について学び、健康づくりのための休養について考えます。					休養について予習、復習する。(4時間)				
10	健康づくりと運動	運動と健康の関連について学びます。					運動と健康との関連について予習復習する。(4時間)				
11	健康づくりと運動の実際	運動不足に起因する生活習慣病を予防するために必要な体力要素について学びます。					体力測定項目について予習復習する。(4時間)				
12	健康づくりと運動の実際	効果的な運動についての課題と対応策を考え、健康づくりのための運動を行います。					健康づくりのための運動について予習復習する。(4時間)				
13	安全と救急法について	安全について考え、けがの予防と応急手当について学びます。救命救急法について学び、演習を行います。					けがの予防と応急手当、救急法について予習復習をする。(4時間)				
14	生と性について	生と性について考えます。性の多様性LGBT、妊娠、出産について学びます。					生と性について予習復習する。(4時間)				
15	感染症と予防について	感染症と感染予防について学びます。					感染症について予習復習する。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
必要な資料をその都度配布します。						<p>定期試験：100%</p> <p>S：授業内容を高度に理解し、自己の健康課題を解決する方法に応用することができる。</p> <p>A：授業内容を理解し、自己の健康課題を明確にし、解決する方法を見出すことができる。</p> <p>B：授業内容のおおよそを理解し、自己の健康課題を明確にすることができる。</p> <p>C：授業内容の60%は理解でき、健康の重要性を説明できる。</p>					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「大学生の健康ナビ キャンパスライフの健康管理 2018」山本真由美著(岐阜新聞社) ISBN: 978-4877972240						大学生生活を健康で安全に送る基礎を学び、実践に結びつけられるように努力してください。この講義は、医師、臨床心理士、管理栄養士、健康運動指導士、保健師等それぞれ実務経験のある教員が担当します。					

科目名	哲学			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	UL23107 UL23105	研究室	非常勤
担当者	護山 真也			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
私たちの常識的な世界の見方に対して、一歩ひいたところから、その価値を疑い、批判的な考察をくわえることで、その真価を見極めていくことが「哲学」の実践です。そのような哲学は、古今東西、さまざまな場所、さまざまな時代で行われてきました。この授業では、西洋哲学のみならず、東洋哲学にも目を配り、それらに共通するテーマを設定し、それに対する異なるアプローチの仕方を学んでいきます。											
学修到達目標											
哲学・倫理学・宗教学で問われる諸問題を理解し、それらに対して批判的に考えることのできる力を身につける。											
授業の進め方											
プリントを用いて講義形式で進めます。映像資料を利用する回もあります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	哲学への招待	授業全体の見取り図を示し、授業のガイダンスを行います。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
2	プラトンと愛の哲学	プラトンの『饗宴』を素材として、ギリシア哲学の特質について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
3	キリスト教の愛とフロムの『愛するということ』	キリスト教のアガペーとフロムが説く愛の技法について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
4	アリストテレスと幸福の哲学	アリストテレスの思想と幸福についての考え方を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
5	デカルトが見出した自己	デカルトの思想とコギトの哲学について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
6	観念論の系譜	ロックの観念論とパークリの観念論について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
7	マトリックスの世界	観念論の世界を描いた映画『マトリックス』を通して観念論の復習をします。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
8	カントとコペルニクスの転回	カントの認識論についてコペルニクスの転回を中心に学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
9	ニーチェのニヒリズムの思想	ニーチェのニヒリズムの思想とデカルト以来の哲学への批判を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
10	現代哲学の課題 自己	現代の哲学的課題として、人格の同一性(アイデンティティ)の問題を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
11	現代哲学の課題 自由	現代の哲学的課題として、決定論と自由意志の問題を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
12	現代哲学の課題 心のありか	現代の哲学的課題として、AIに心は宿るのか、心の謎について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
13	ブッダの教えたこと	仏教思想の基礎をブッダの言葉から学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
14	『般若心経』と空の思想	大乘仏教の空の思想を『般若心経』から学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
15	日本哲学の可能性	西田幾多郎の思想を中心に日本哲学の可能性を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
授業中にプリントを配布します。						定期試験:90% 受講態度:10% 定期試験で授業の理解度を問います。試験の論述では、(1)与えられた哲学的問題を正しく理解し、(2)自らの考えを、(3)論理的に、(4)独自の考察を加えて、表現することができる。(1)のみはC、(2)まででB、(3)まででA、すべて満たせばS評価とします。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
『愛するということ』エーリッヒ・フロム著(紀伊国屋書店) 『しぶん・この不思議な存在』鷲田清一著(講談社) 『観念論の教室』富田泰彦著(筑摩書房)						今学期の最後の13-15の3回分は補講で開講します。授業計画については初回で説明します。					



科目名	生活習慣病と予防（総経・人間）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UA23108 UA23106	研究室	S-02
担当者	青木 雄次		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
食事・運動をはじめとする生活習慣は、さまざまな病気の発症に深くかかわっています。生活習慣を見直すことで、病気の発症を 방지健康長寿を達成することも可能となります。本講義では、生活習慣が関係して発症するさまざまな疾患について学び、生活習慣病を防ぐための生活習慣改善の実践や指導法について体験しながら学習します。										
学修到達目標										
自分の生活習慣と健康状態を知り、自らの生活習慣病のリスクを把握することによって、より健康的な学生生活を送ることができ、かつ、生活習慣病とそれを予防するための知識を教えることができるようになることです。										
授業の進め方										
教科書、プリント、スライド、DVDを使いながら授業を進めます。質問票や動画を適宜利用します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	イントロダクション	生活習慣病とは？ 成人病から生活習慣病へ 生活習慣病の低年齢化について学びます。				教科書13-36ページを読んで、自分の生活習慣を考えてください。（4時間）				
2	肥満と肥満症	ヒトはなぜそんなに食べるのか？ 肥満の定義とBMI の計算方法について学びます。				教科書37-72ページを読んでください。（4時間）				
3	糖尿病（1）	糖尿病の定義、分類（1型、2型）、血糖値とHbA1c測定の意義について学びます。グルコーススパイクとその意義について学びます。				教科書73-87ページを読んでおいてください。（4時間）				
4	糖尿病（2）	糖尿病の合併症、運動療法、食事療法について学びます。				教科書88-102ページを読んでおいてください。（4時間）				
5	脂質異常	脂質異常症の種類と原因、動脈硬化との関係、脂質異常の予防法について学びます。				教科書125-130ページを読んでおいてください（4時間）				
6	メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームの定義とその意義について学びます。国別基準のプリントを配布します。				メタボリックシンドローム国別の違いをみておいてください。（4時間）				
7	高血圧と動脈硬化	高血圧、動脈硬化、臓器障害の関係を学びます。				教科書103-124ページを読んでおいてください。（4時間）				
8	虚血性心疾患、まとめ1	虚血性心疾患の分類（狭心症、心筋梗塞）、運動療法について学びます。1～8回のまとめのプリントを配布します。				教科書133-158ページを読んでおいてください。（4時間）				
9	アンチエイジング医学(1)	理想の予防医学としてのアンチエイジング医学について学びます。				アンチエイジング医学について調べておいてください。（4時間）				
10	アンチエイジング医学(2)	アンチエイジングと抗酸化栄養やホルモン補充について学びます。				アンチエイジングについて調べておいてください。（4時間）				
11	呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患（COPD）と禁煙指導について学びます。				禁煙指導について調べておいてください。（4時間）				
12	がん	がんの成因、がん検診と一次予防について学びます。がんの予防のプリントを配布します。				がん検診について調べておいてください。（4時間）				
13	運動器疾患	変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症についてとその予防と運動について学びます。骨密度の測定方法の種類とその特徴を学ぶ。				教科書233-256ページを読んでおいてください。（4時間）				
14	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームの構成概念、サルコペニアやフレイルの定義、高齢者の運動障害の特徴について学びます。				ロコチェックとロコトレについて調べておいてください。（4時間）				
15	認知症、まとめ2	認知症の病態、認知症症状と症状に対する運動療法（コグニサイズ）について学びます。9～15回のまとめのプリントを配布します。				教科書211-232ページを読んでおいてください。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Q & A 生活習慣病の科学 Neo」中尾 一和編（京都大学学術出版会） ISBN:978-4-8140-0050-0（別途、指示します。） 希望者のみ購入（授業で説明します）。				定期試験：100% 評価の基準 S：積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し定期試験が90点以上。A：積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し定期試験が80点以上。B：与えられた課題に取り組み、授業内容を理解し定期試験が70点以上。C：与えられた課題に取り組み、授業の内容を理解し定期試験が60点以上。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「健康読本もっと もっと健康！ず～っと元気！」日本人間ドック検診協会編（日本人間ドック検診協会） ISBN：4-9901978-1-X				毎日の生活習慣が病気の発症に影響し、栄養・運動・睡眠・ストレスの自己管理が大切であることを学びましょう。						

科目名	生命倫理		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23109 UL23107	研究室	C-7
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
生命をめぐる倫理(道徳・規範)的諸問題をさまざまな視点から考察し、医療領域における今日的かつ具体的問題に対処できる思考力を養います。生命倫理学の歴史的背景と今日の課題について理解し、具体的な倫理的問題を包括的な観点から把握することを目標とします。1960年代以降、医療領域において生じた倫理的諸問題を個別に取り上げ考察します。										
学修到達目標										
生命科学、医療領域における具体的な倫理的問題に、一個人として対峙し、個別の倫理的判断を導き出すことができる。										
授業の進め方										
授業内容に応じてグループ報告(プレゼンテーション)、グループ討論(ディスカッション)を実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	生命倫理学の成立背景	生命倫理学の歴史と現状について概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
2	健康と病気	健康と病気、正常と異常、それぞれの概念について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
3	治療と人体実験	医療の目的と人体実験の歴史について学びます。					事前配布資料を読んで下調べをする。(4時間)			
4	Quality of LifeとSanctity of Life	Quality of Life(生命の質)とSanctity of Life(生命の神聖性)について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
5	生殖技術	生殖技術の発展とそれに伴う倫理的問題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
6	脳死と臓器移植	脳死と臓器移植の関係について、現状と課題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
7	安楽死と尊厳死	安楽死・尊厳死と治療停止の現状と課題について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
8	ケアの倫理	医療福祉分野におけるケアの倫理について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
9	医師 患者関係	医師-患者関係の変容と今日的課題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
10	インフォームド・コンセントと情報開示	インフォームド・コンセントの歴史と医療領域における情報開示について概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
11	医療資源の配分	医療資源の配分における公正さと正義について考えます。					事前配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
12	パーソン論	パーソン(人格)とは何かについて学びます。					配布資料の要点をまとめる。(4時間)			
13	老人介護と世代間倫理	少子高齢化と介護問題について概説します。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
14	生命倫理学の比較考察	諸外国と日本における生命倫理学の比較をします。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
15	まとめ	講義全体のまとめ。					総復習。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
学生が選択するグループディスカッションのテーマによって、使用テキストは異なりますので個別に指定します。					受講態度:30% 出席レポート:20% レポート:50% 受講態度にはグループディスカッションへの参加状況が含まれます。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「生命倫理とは何か」市野川容孝編(平凡社) 「生命倫理学を学ぶ人のために」加藤尚武・加茂直樹編(世界思想社)					ひとつひとつの事例について、学生自身考えることが要求されます。毎回の講義終了前に、次回講義の概要について説明します。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。					

科目名	スポーツとノーマライゼーション(人間・教育)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL23110 UL23108	研究室	A-10
担当者	小林 敏枝		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日3限、木曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
健		ス								
授業概要										
スポーツは誰もが享受することのできる権利です。その上で、誰もが参加できるユニバーサルスポーツについて学修し、スポーツがノーマライゼーション社会の実現にどのように貢献するか考えます。さらに身近なユニバーサルデザインを調査し、「障がい者は人に帰属するのではなく、人と環境の間に存在する」ことの意味について理解を深めます。ボランティアを含めた「支えるスポーツ」について学修し、「我々にできること・行動するための要因」について考えます。										
学修到達目標										
障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)の実際について理解し、ノーマライゼーション社会の実現とスポーツについて説明できる。さらに「共にスポーツを楽しむこと」への理解を深め、「我々にできること・行動するための要因」について柔軟で幅の広い考え方を身につけている。										
授業の進め方										
基本的には配布資料を基に授業を展開し、視聴覚教材を使用し障がいのある方々のスポーツへの理解を深めます。その上で、ノーマライゼーション社会の実現とスポーツについて考えを深めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)とは何か。	授業概要・学修目標・授業の進め方・評価の仕方などについて説明します。「障がい者スポーツ」ではなく「アダプテッドスポーツ」の意味を学びます。				アダプテッドスポーツ関連の書籍・記事を読み事前学習する。授業の内容を復習する。(1時間)				
2	アダプテッドスポーツの基本理念	アダプテッドスポーツの基本理念を学習します。基本的な「障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)」に関連する言葉を解説します。				アダプテッドスポーツの基本理念について予習する。関連語句を復習する。(1時間)				
3	パラリンピックの歴史・変遷と発展の背景	視聴覚教材を使用し、パラリンピックについて学びます。その開催意義や発展を支えた社会的背景について理解し、人間とスポーツについての考えを深めます。				パラリンピックについて事前学習する。パラリンピックの歴史について復習する。(1時間)				
4	障がいとは	WHOの障害分類を学習し、人間が心身共に健康で、生きがいをもち豊かに暮らす上での各因子の相互作用について考えます。				障害分類について事前学習する。WHOの障害分類について復習する。(1時間)				
5	ノーマライゼーションについて	ノーマライゼーションの概念について学びます。さらに、現在の福祉政策についての理解を深めます。				共生社会についての基礎知識を事前に学習する。共生社会の考え方について復習する。(1時間)				
6	障がいのある人を取り巻く障壁について	障がいのある人々が地域で暮らす上での障壁について考えます。その上で、誰もが豊かに暮らせる環境について考えを深めます。				身近な環境のバリアについて事前学習する。障がい者にとっての障壁とは何か復習する。(1時間)				
7	アダプテッドスポーツを支える人々について	アダプテッドスポーツに関わっている人々を紹介します。アダプテッドスポーツにおけるボランティアの意味を考え、私たちにできることを見つけ、行動計画をたてます。				支援の内容について事前学習する。スポーツを支える人々について復習する。(1時間)				
8	障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)の魅力について	アダプテッドスポーツの目的は多岐にわたります。地域でスポーツを楽しむ障がいのある方々について学び、スポーツを行うことの魅力について考えます。				アダプテッドスポーツ選手について事前学習する。スポーツの魅力について復習する。(1時間)				
9	視覚障害とスポーツについて	視覚障害者のサポートの方法、スポーツの実際、ルールや用具の工夫について学びます。その上で、共に楽しむための工夫を考え理解を深めます。				視覚障害者の困難性を事前学習する。視覚障害者のスポーツのルール等復習する。(1時間)				
10	ユニバーサルスポーツルール用具の工夫	現在行われているユニバーサルスポーツについて学びます。その理念、実施方法などについて理解を深め、共にスポーツを楽しむ要因について考えます。				アダプテッドスポーツ種目の事前学習を行う。ユニバーサルスポーツについて復習する。(1時間)				
11	重症心身障害児・者のスポーツの意義について	重度の障がいのある方にとってのスポーツとは何か考える。またどのようなことができるのか、その可能性について理解を深めます。				重度障がいの方のスポーツ種目を調べる。重症心身障害者のスポーツについて復習する。(1時間)				
12	インクルーシブ教育とアダプテッドスポーツについて	ノーマライゼーションの思想を背景に行われる教育「インクルージョン」について学びます。学校におけるアダプテッドスポーツについての理解を深めます。				スポーツと共生社会について事前学習を行う。インクルージョン教育の復習をする。(1時間)				
13	障がい者スポーツ(アダプテッドスポーツ)とボランティアについて	アダプテッドスポーツは支援者によって競技が成立する要素が高いことから、ボランティアの在り方について理解を深めます。				自分が行ったボランティアをまとめる。スポーツとボランティアについて復習する。(1時間)				
14	アダプテッドスポーツ体験	車いすバスケットを体験します。車いす操作、ルールを理解し、簡易ゲームを行います。方法やルールを工夫することで誰もが楽しめることへの理解を深めます。				車いすバスケットのルールについて事前に調べる。体験を通じて感じたことをまとめる。(1時間)				
15	スポーツとノーマライゼーション社会の実現について	現代社会の問題点を明らかにし、ノーマライゼーション社会実現のための行動計画をたてよう。				共生社会における課題を事前学習する。共生社会とスポーツの関わりについて復習する。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
随時資料を配布します。		レポート:70% 出席レポート:30% S:基本的な概念や理論を正確に把握し説明できる。探求姿勢を持ち課題に取り組み、高い意欲を示している。A:授業内容を理解し、基本的な概念を正確に把握している。B:授業内容をおよそ理解し、与えられた課題に誠実に取り組みほぼ説明できる。C:授業内容の60%を理解し説明できる。与えられた課題をすべて行っている。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「障害者スポーツの環境と可能性」藤田 紀昭著(創文企画) ISBN: ISBN978-4-86413-043-1		体験を通じて学ぶことが沢山あります。積極的にボランティアなどに参加しながら学習を進めてください。								

科目名	対人関係の心理学（人間・教育）	学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33111 UL33109	研究室	A-17
担当者	岸田 幸弘	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限、木曜日2限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
		A	B	C					
授業概要									
対人行動や集団とのかかわりかたなどを、個人の特性や環境の面から考察し、人との関係で悩んだり、喜びを感じたりする心理的なメカニズムや、人の行動の生成について学びます。講義を中心に進めますが、グループワークやグループラーニングを取り入れ、演習形式での学びも体験します。									
学修到達目標									
対人行動を心理学的に理解し、知識として自己と他者およびその関係性を理解します。実際に討論や演習なども行いながら、自己理解や他者理解の促進、人との関係のあり方の理解がどれほど促進されたかを、客観的に理解できるようにします。併せて自分の人との付き合い方やその傾向について新たな気づきが生まれることを目標とします。									
授業の進め方									
1回から9回までは講義を中心に対人関係を心理学的に理解します。10回以降は実生活や人生で出会うであろう問題に対処するために、スキルを身につけることを目標にして、体験的な演習や討論を取り入れます。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	自己と対人行動（授業ガイドランスを含む）	人は人の中に生まれ、人の中で育ち成長します。多くの人間関係の中で心理や行動に影響を与えているのが対人行動です。また自分の対人行動のあり方が人間関係を築いていることを事例を通して理解します。				シラバスを熟読し、自分の対人行動についての特徴を整理する。（4時間）			
2	自己開示とコミュニケーション	自分を語ることで得意な人と苦手な人がいる。自己開示の方法や心理学実験などを通して自己開示の理論を学び、自己開示（自己紹介）の演習を通して、自分の対人行動の特徴を理解します。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、時間内で自己紹介する訓練を行う。（4時間）			
3	自己評価と対人行動	他者への評価や他者からの評価も含め、自己評価の高低は対人行動に大きな影響をもたらすことを、実験事例をとおして学びます。また自己評価のコントロールが人付き合いを変えてしまうことを学びます。				配布資料を熟読しまとめるとともに、質問項目を考える。前回の自己紹介の練習をする。（4時間）			
4	対人魅力と好意	好意の感じ方によって人との付き合い方は変わります。外見の魅力なども含めて互いの好意の持ち方と対人行動の関係を学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、課題「魅力的な人」をレポートする。（4時間）			
5	援助の心理と対人行動	援助行動は個人的特性だけではなく、周囲の人の様子や状況によって変化します。また自分に利益をもたらすという理由から、自己犠牲を払うという援助行動もあることを学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、対人援助の体験をレポートする。（4時間）			
6	攻撃的な対人行動	いじめや暴力、体罰などは大きな社会問題になっています。しかし世の中からなくなることはありません。人はなぜ攻撃するのかを、4つの心理的メカニズムから学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、自分や人の攻撃行動を観察しレポートする。（4時間）			
7	同調的な対人行動	自分の考え（認知）と行動が不協和状態のとき、あるいは自分の行動と周囲の人の行動とが違ふときに、その矛盾を解消しようとして起こる心理的メカニズムを学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、自分（他者）の同調行動をレポートする。（4時間）			
8	リーダーシップと対人行動	PM理論を中心にリーダーのあり方を理解し、効果的なリーダーシップの発揮の仕方と集団の特性について、具体的な事例をもとに学びます。				配布資料を熟読しまとめるとともに、自分のリーダーシップについて分析しレポートする。（4時間）			
9	社会的ジレンマ	人との関わりの中でジレンマに陥ることはよくあります。個人の利益追求が全体の不利益になるような事例では、どのように行動すればよいのでしょうか。対人行動を円滑にするための方法を学びます。				配布の資料を熟読しまとめるとともに、ジレンマに陥った体験を考察しレポートする。（4時間）			
10	本音で交流できる対人関係づくり	安心できる不安のない集団に属したいと願いつつも、集団の中では様々な葛藤や困難が起きる。構成的グループエンカウンター（SGE）を体験してよりよい対人関係の築き方を学ぶ。				SGEの配布資料を熟読する。事後はエンカウンター体験をレポートする。（4時間）			
11	本音で交流できる対人関係づくり	構成的グループエンカウンター理論と方法を学び、実際に体験と照らし合わせて自己理解の促進と、本音の交流のあり方を学びます。				理論的背景を実際の体験と照らし合わせて考察し、レポートする。（4時間）			
12	不安や緊張のない集団づくり	不安や緊張を感じない、安心できる集団を築くための理論と方法を対人関係ゲーム（SIG）を、実際に体験しながら学びます。				SIGの配布資料を熟読する。事後は体験したことをレポートする。（4時間）			
13	不安や緊張のない集団づくり	対人関係ゲームの「交流」「協力」「折り合い」のゲームを中心に実際に行い、自己を振り返りながら、人との付き合い方を学びます。				第12回と第13回をまとめて体験したことをレポートする。（4時間）			
14	さわやかな自己主張	相手を尊重しながら、自分の言いたいことをしっかりと主張できる「アサーション」の理論と方法を学び、対人関係の中での自分の特性を理解します。				アサーションの配布資料を熟読し、自分のアサーションの特性を分析する。（4時間）			
15	さわやかな自己主張	アサーショントレーニングの方法を身につけ、実際に体験することで相手も自分も大切に自己表現の大切さを学びます。				アサーショントレーニングの体験をレポートする。（4時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準							
授業中に適宜配布する。		レポート：30% 課題：70% S：知識的理解に優れ、期待以上に体験から教育分析（自己分析）ができる。 A：知識的理解がおおむね可能で、積極的に体験参加ができ、レポートが充実している。 B：知識的理解がおおむね可能で、体験内容をレポートできる。 C：学んだ知識をもとにして、積極的にSGEやSIGに参加でき、学修到達目標を達成している。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「徹底図解 心理学 生活と社会に役立つ心理学の知識」青木紀久代・神宮英夫 編著（新星出版社） ISBN：978-4-405-10675-8 「性格は変えられない、それでも人生は変えられる」アルバート・エリス著		講義のみならず、参加体験型のグループワークを含んだ内容です。人と関わること（対人関係）を知識と体験から学びます。							

科目名	日本国憲法（人間）			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ <sup>®</sup> リング	UL13201	研究室	W-04
担当者	眞次 宏典			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	第一種衛生、中一（保体）、高一（保体）、養教一、栄教一、中一（保健）、高一（保健）					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義は、日本国憲法についての基本的な知識を獲得することを目的としています。日本国憲法の基本的な枠組、背景、その意義などを理解するために、近代憲法の基本原理（基本的人権の保障と権力分立制）、日本における二つの憲法（明治憲法と日本国憲法）の異同、日本国憲法の基本原理（国民主権、基本的人権の尊重、平和主義）などを明かにした上で、具体的な政府の仕組みと人権保障のあり方についての基本論点を検討しながら理解を深めて行くことにします。</p>											
学修到達目標											
<p>日本国憲法を近代立憲主義の歴史の中に位置づけた上で、日本における憲法学説・判例を手がかりにしながら、日本国憲法の人権および統治機構（政府の仕組み）の基本的なあり方を理解すること。</p>											
授業の進め方											
<p>講義は、六法（毎時間必携）で条文（憲法、関連諸法令）を参照しながら進めていきます。なお、ほぼ毎時間、講義テーマまたは人権、憲法に関連した新聞・雑誌などの記事を配布し、解説を加えることにします。</p>											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	近代憲法の成立と構成	ガイダンス、憲法の諸概念					テキストUnit1を読む（4時間）				
2	統治総論と国民主権	統治機構の理論と国民主権の概念					テキストUnit2を読む（4時間）				
3	国民主権と天皇	日本国憲法の成立過程と象徴天皇制					テキストUnit3,4を読む（4時間）				
4	国会と選挙制度	国会、議院、議員、選挙制度					テキストUnit5を読む（4時間）				
5	内閣	内閣、首相、議院内閣制					テキストUnit8を読む（4時間）				
6	裁判所1	裁判所の組織、司法権					テキストUnit9を読む（4時間）				
7	裁判所2	違憲審査制					テキストUnit10を読む（4時間）				
8	戦争放棄と自衛隊	憲法9条と自衛隊					テキストUnit12を読む（4時間）				
9	基本的人権1	基本的人権の観念					テキストUnit13を読む（4時間）				
10	基本的人権2	思想・良心の自由					テキストUnit14を読む（4時間）				
11	基本的人権3	信教の自由、政教分離					テキストUnit15を読む（4時間）				
12	基本的人権4	表現の自由					テキストUnit17を読む（4時間）				
13	基本的人権5	集会・結社の自由					テキストUnit20を読む（4時間）				
14	職業選択の自由と財産権	職業選択の自由、財産権					テキストUnit21, 22を読む（4時間）				
15	まとめ	平等原則とプライバシーの権利					テキストUnit27, 28, 29を読む（4時間）				
テキスト						成績評価の方法・基準					
<p>「一歩先への憲法入門」片桐直人・井上武史・大林啓吾著（有斐閣） ISBN: 978-4641131965（生協で購入してください。）  「ポケット六法 令和2年度版」（有斐閣） ISBN: ISBN 978-4-641-00920-2（生協で購入してください。）</p>						<p>定期試験：90% 受講態度：10%  S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。  B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>					
参考書						履修上の注意（学生へのメッセージ）					
なし						<p>講義の中では、授業の受け方、ノートの取り方、六法の使い方など大学で学ぶために必要な技術についても教えます。学生諸君は、講義内容そのものだけでなく、学ぶための技術についても学ぶと考えるとください。</p>					

科目名	経済入門（人間・教育）		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>経済学は大きく「マルクス経済学」と「近代経済学」に分けることができます。また、「近代経済学」はマクロ経済学とミクロ経済学に分けることができます。本授業では、資本主義的な生産様式の生成と資本の蓄積体制の成立について講義し、マクロ経済学とミクロ経済学の基礎概念について整理します。特に、マクロ経済学は失業問題や通貨価値の安定など、皆さんの経済生活に直結する内容ですので、本授業の中心テーマになります。また、本授業では、授業の理解を確認するため「出席レポート」の提出を求めます。</p>										
学修到達目標										
<p>本授業の学修到達目標は、「『出席レポート』の提出を通して、文章力や理解力、論理的思考などの汎用的能力（コンピテンス）を高めるとともに、テレビや新聞などでの経済問題について考え、自分の意見を持ち、これを表現することができるようになること」、です。</p>										
授業の進め方										
<p>授業内容は下記の計画に従って展開されますが、授業内容は相互に関連性があり、積み重ねながら全体が理解できるようになっています。したがって、一方方向の授業に加えて、必要に応じて質疑応答やテーマについての議論も行います。</p>										
<p>授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	経済学の概要説明	マルクス経済学と近代経済学の特徴について整理します。また、マクロ経済学とミクロ経済学の特徴にも言及します。				マルクス経済学と近代経済学の特徴を「出席レポート」に整理します。（4時間）				
2	資本主義的生産様式の生成（ ）	人類の歴史における生産体制を概観するとともに、資本主義的な生産体制の特徴について理解します。特に、資本の蓄積を可能にした宗教改革を中心に整理します。				ルネサンス以降の欧州の歴史について、特に宗教改革と資本の蓄積について学ぶ。（4時間）				
3	資本主義的生産様式の生成（ ）	資本主義の成立に必要な“土地と労働力の分化”と“土地と労働力の再結合”について整理します。				欧州における農奴制の特徴、産業革命や市民革命の経済学的な意味を整理します。（4時間）				
4	資本の蓄積と銀行制度	資本主義的生産体制の下では、資本の蓄積手段として銀行制度と株式会社制度が生まれ出されました。授業では、銀行制度について説明します。				宗教改革以後の欧州における資本主義の発展について復習し、授業を整理して提出する。（4時間）				
5	資本蓄積と株式会社制度	株式会社制度の仕組みについて整理します。また、所有と経営の分離についても説明し、今日の経営統合や企業合併等についても講義します。				「出席レポート」で資本の蓄積制度を整理する。事前のプリントを読み、予習する。（4時間）				
6	マクロ経済学の基礎概念	マクロ経済学の理論を理解するために、基礎的な概念について理解します。具体的には、ストックとフロー、三面等価の原則などの概念を説明します。				「出席レポート」に授業内容を整理します。ICTを活用して三面等価について調べる。（4時間）				
7	自由貿易の利益	保護貿易主義に対する自由貿易主義の利益について、余剰概念を用いて整理します。				余剰概念について調べ、「出席レポート」に整理します。（4時間）				
8	有効需要の原理とセイ法則	産業の発展に伴う市場調整メカニズムについて、価格調整（ワルラス的安定）と数量調整（マーシャル的安定）について学修します。				図を用いてワルラス的安定条件とマーシャル的安定条件について調べ、整理します。（4時間）				
9	労働市場分析	労働市場における屈折供給曲線について説明し、自発的失業と自発的失業の概念を整理します。また、労働組合の役割や非自発的失業対策としての財政金融政策の役割についても説明します。				ICTを用いて非自発的失業を調べ「出席レポート」に整理する。（4時間）				
10	有効需要の原理と消費関数	有効需要の原理とセイ法則について説明します。また、ケインズの絶対消費関数について解説し、限界消費性向や限界貯蓄性向の役割について整理します。				ICTを用いて、消費関数について調べる。「出席レポート」で45度線分析を整理する。（4時間）				
11	投資関数と財政政策の効果	ケインズの乗数理論について説明します。また、財政政策の波及メカニズムや、限界消費性向の差異による財政政策の効果の違いについて整理します。				ICTを活用して乗数理論について調べる。財政政策の有効性について整理する。（4時間）				
12	租税乗数と貿易乗数	租税政策の効果について、また貿易依存度の違いによる財政政策の効果について整理します。				ICT等により乗数理論について調べ「出席レポート」に財政政策の効果を整理する。（4時間）				
13	貨幣の機能	貨幣の機能と貨幣数量説について説明します。また、貨幣需要理論としての貨幣数量説についても整理し、ケンプリッジ現金残高数量説を説明します。				ICTを用いて貨幣数量説を調べる。「出席レポート」に貨幣数量説について整理する。（4時間）				
14	流動性選好理論	貨幣需要動機について整理し、確定利付債券について説明します。そして、ケインズの流動性選好利子論について説明します。				「出席レポート」で貨幣需要理論としての貨幣数量説について整理する。（4時間）				
15	信用創造論	預金準備制度について整理し、信用創造について説明します。また、預金準備率が通貨供給量に与える影響や、金融政策が実体経済に波及するメカニズムについて説明します。				「出席レポート」で信用創造について整理し、ICTを活用して金融政策について調べる。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。				<p>出席レポート：30% 小テスト：20% 定期試験：50%          評価は、出席レポート、小テスト、定期試験での総合評価を基本としますが、定期試験が特に優れている場合には、定期試験の得点を重視して評価します。また、評価の目安は、「S」：授業内容を良く理解し、授業内容を他者に説明できる、「A」：授業内容を理解し、自分の考えを表明できる、「B」：授業内容を理解し、「出席レポート」などで整理できる、「C」：授業内容を重要な点を理解し、重要な点については「出席レポート」などで整理できる、です。</p>						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
開講時に指示します。				<p>授業外学修の「出席レポート」は、文章力や表現力などのコンピテンスを育成し、「論理的思考力」も高めますので、積極的に取り組んでください。</p>						

科目名	新聞に見る社会の動き			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL23203	研究室	非常勤
担当者	江成 康明			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>新聞を使って社会の動きを考えていきます。インターネットの普及により活字離れが目立ち、読書や手書きの習慣が薄れてきました。一番身近なはずの新聞も無読層の増加によって、読まれなくなっています。新聞には政治、経済、外交や社会の動向などが凝縮されており、情報の収集だけでなく、どう読みこなすかが必要になってきます。記事の内容を読み、理解したうえで自分の考えをまとめるという習慣をつけるための授業です。乱れ始めた日本語の良さや文章の作り方も授業の中で実施していきます。</p>											
学修到達目標											
<p>4年間の大学生活中に就職活動という社会人への第一歩が始まります。社会の動きを知っていることは企業側へ有利な評価を与えるとともに、面接でも自信を持って臨むことができます。情報収集、読解力、理解力、筆記力を高め、最終的には学生自らがひとつのテーマを選んで「私の考察」をまとめられることが可能になります。</p>											
授業の進め方											
<p>主に新聞のコピーを資料とします。新聞にはニュースの情報発信のほか解説、コラムなども掲載されており、一つの出来事に対して幅広い知識が得られます。今起きているニュースの問題点や価値判断などの理解度が深まります。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	総論 新聞の価値と役割	新聞には多くの情報が詰まっています。1面から最終面までにどのようなものが載っているかなど新聞の全体像を紹介しながら、トップ記事の意味やベタ記事、焦点、解説、コラム記事とは、などを説明します					この1週間の新聞の中から興味があったニュースを取り上げ、感想を書く。(4時間)				
2	新聞を読む必要性	ネット社会の中で、新聞は不要という若者が多くいます。しかし、ネット情報だけだと偏りがちで、幅広い知識は得られません。社会を知る意味では新聞を読み、「なぜ」「どうして」を考えることが必要です。					疑問の沸いたニュースを選び、疑問を持ちながらまとめてみる。(4時間)				
3	各論 硬派記事についての考察	政治、経済、国際外交などは硬派記事と呼ばれます。授業のころに起きている問題を取り上げ、硬派面を騒がしているニュースを検証します。					この日に取り扱った記事の感想や意見を書く。(4時間)				
4	各論 軟派記事についての考察	社会の動きやスポーツ、暮らしなどを軟派記事と呼びます。社会ではいったい何が起きているのかを新聞をもとに検証します。					この日の話題に対して、どう思ったかをまとめる。(4時間)				
5	グループ討論	ひとつのテーマについての新聞記事を読み、そのあとのグループ討論でその話題について話し合ってみましょう。自分の気付かなかったことを知るはずですよ。					グループ討論を経験して、という内容でレポートを提出する。(4時間)				
6	グループ討論	5回目と違ったテーマで、同様に進めます。考えながらしっかり読むことは、書くことが上達に必ずつながります。					読んだ記事に対してどう感じたかをレポートに書き、提出する。(4時間)				
7	新聞社見学	地元紙で伝統のある信濃毎日新聞社(予定)を訪ね、編集局などを見学。政治(県政担当)、社会部記者などの話を聞き、新聞作りに携わる人たちの意識などを学びます。					見学の感想や意見を書く。(4時間)				
8	日本語の美しさ	最近は日本語が乱れている、と言われます。若者が普段使っている言葉が正反対の場合もあります。正しい日本語の意味を考えてみましょう。					テキストにある例と普段の自分の言葉が適切かどうか考える。(4時間)				
9	文章の書き方	新聞は中学生にも理解できるような平易な言葉で書いてあります。文章を書くときには難しい言葉はいりません。相手が読みやすいような文章を書くにはどうしたらよいかを学びます。					気に入ったコラムを探してみる。(4時間)				
10	特別講演	2012年、年間ただ一人に送られる「日本記者クラブ大賞」に輝いた毎日新聞・萩尾信也氏を招き、講演していただきます。記者として頂点に立った取材力、執筆力に興味はわくはずですよ。					事前配布の萩尾氏の記事を読み、質問を考えておく。(4時間)				
11	社会現象の自由研究	過去1年間の政治、経済、国際、社会問題などの動きの中で、自身が最も注目すべき課題をひとつ決めて下さい。どうしてそれを選んだのかをグループ討論で意見発表しましょう。					自分の選んだテーマの記事を集める。(4時間)				
12	社会現象の自由研究	新聞に書いてあることを鵜呑みにするのではなく、疑問や幅広い考え方を持って問題点を探して下さい。いくつもの新聞や新聞コピーを読んでまとめる力をつけましょう。					800字にまとめられるように準備と整理をする。(4時間)				
13	社会現象の自由研究	自分のテーマについて、800字にまとめてみましょう。問題を深く掘り下げて書く習慣を身につけるだけでなく、しっかりとした言葉遣いも重要なポイントです。					自分の書いた文章を思い出し、再考してみる。(4時間)				
14	自由研究の成果と課題	受講生がまとめた内容についての考察をします。同じテーマで臨んだ人々たちによるグループ討論も行い、足りなかった点などさらにテーマを深めることに努めて下さい。					この科目に対する感想を書く。(4時間)				
15	まとめ	新聞の役割や機能と必要性をもう一度再確認します。ネット社会に慣れていても、「新聞を読む習慣」を持ち続けてほしいものです。					15回目のまとめのテキストを熟読する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
毎回、テキストを配布します。				<p>受講態度：20% 定期試験：50% 課題：30%</p> <p>S:授業内容の理解度、考察力、文章の読解力、書き力が秀でている。A:積極的に授業に臨み、課題に対しても自分の意見をしっかりと書ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に対しても自らの主張ができる。C:授業内容を60%ほど理解でき、与えられた課題にも誠実に取り組んでいる。</p>							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
毎回、テキストを配布します。				<p>毎回の授業で感じるものが必ずあるはずですよ。受講票には名前だけでなく、感想や意見を書いて下さい。書き慣れることが頭の整理につながります。図書館などで普段から新聞に接するようにしましょう。</p>							

科目名	食の社会学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL23204	研究室	C-7
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	水曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
身体的な経験は社会的に生みだされ、食べ物と食べる行動にも社会的な関係が深くかかわっています。本講義では「食(食べ物や食べること)」についての意味や信念、社会構造について社会学の観点から考察します。扱うテーマは 1) 社会のマクドナルド化、2) 食と文化、3) フード・ポリティクス、4) 食と身体とします。										
学修到達目標										
本講義の目的は、人間が普段何気なく行っている「食べる」という行為を相対化し、「食」に関する様々な見方、考え方に慣れ、自分自身に対する理解を深めることです。										
授業の進め方										
講義形式とします。異なる4つのテーマについて、3~4回の講義を行います。テーマ毎に小レポートを課す予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会のマクドナルド化	マクドナルド化とは何かについて概説します。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
2	社会のマクドナルド化	ファストフードとスローフードについて概説します。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
3	社会のマクドナルド化	事例研究としてドキュメンタリー映像を鑑賞します。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
4	食と文化	フードとノン・フードについて学びます。				配布資料の読み、下調べをする(4時間)。				
5	食と文化	宗教的戒律とノン・フードについて学びます。				英文の配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
6	食と文化	事例研究として反捕鯨運動を取り上げます。				ドキュメンタリー映像についての意見をレポートにまとめる(4時間)。				
7	フード・ポリティクス	食品偽装の歴史について学びます。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
8	フード・ポリティクス	食品の安全性と国による規制について概説します。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
9	フード・ポリティクス	機能的食品の政治学について概説します。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
10	フード・ポリティクス	階級と食行動の関係について概説します。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
11	食と身体	「食べない」という選択として断食(不食)を取り上げます。				ドキュメンタリー映像についての意見をレポートとしてまとめる(4時間)。				
12	食と身体	「食べない」という選択として「摂食障害」を取り上げます。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
13	食と身体	「食べない」という選択と胃ろうの功罪について考えます。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
14	食と身体	食と身体 ~ のまとめをします。				小テストに向けて、これまでの講義の内容をまとめる(4時間)。				
15	まとめ	講義全体のまとめ				総復習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
日本語で読めるまとまったテキストは存在しないため、数冊の日本語文献と英語文献を組み合わせ使用します。その都度コピーを配布します。				出席レポート:15% 定期試験:60% 小テスト:25% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
A Sociology of Food & Nutrition, J. Germov & L. Williams(ed.), Oxford University Press.				普段の学習や既知の概念を相対化することが求められます。講義内容は一般教養に等しいですから、他学部他学科からの履修も歓迎します。英文資料の読解もありますので、事前の学習時間を確保してください。						



科目名	日本地理（人間・教育）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23205	研究室	非常勤
担当者	川上 浄明		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
地理的に地域を見る目・方法が身につくように、日本全体・各地域の地理的特徴を世界的視点も持ちながら学習します。										
学修到達目標										
日本全域や各地域を地理的視点を持つてみるができる。										
授業の進め方										
作業学習やグループ討議などアクティブ・ラーニングを取り入れます。テレビ番組の視聴・フィールドワークも行う予定です。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	日本という地域の概要をつかもう	プリント資料の作業をしながら、日本の位置・領域・標準時・地域区分を理解します。				プリントの作業内容を確認して、理解を深める。（4時間）				
2	世界の地形を学ぼう	世界の地体構造の特徴をプリント作業をしながら学びます。				プリントを復習して学習を深める。（4時間）				
3	日本の地形を学ぼう	日本列島のでき方の番組の視聴と作業を通して日本の地形の特徴を学びます。				番組の視聴メモをまとめる。（4時間）				
4	世界と日本の気候を学ぼう	ケッペンなどの気候区分とそれに基づく気候区分の特徴を学びます。				選んだ地点のハイサ グラフを作成する。（4時間）				
5	日本の人口の特徴とその変化を学ぼう	日本の人口の特徴・変化・構成・移動などを人口ピラミッドを作成するなどして理解します。				自分の出身地域の人口の特徴を調べ理解する。（4時間）				
6	地理院地図の読み方を学ぼう	テキストの作業・大学周辺の地理院地図の作業を通じて、地形図読図の基本を学びます。				地理院地図の興味ある地域を閲覧して、地図の見方を学ぶ。（4時間）				
7	地域を見る目を「プラタモリ」を視聴することによって養おう	「プラタモリ」を視聴して、地表面の現象から地域を理解する方法を学びます。				「プラタモリ」の視聴メモをまとめる。（4時間）				
8	大学周辺を巡検し、地域を見る目を養おう	松本の扇状地をテーマに巡検します。				巡検で気づいたことを整理する。（4時間）				
9	大学周辺を巡検し、地域を見る目を養おう	安曇野の扇状地と河岸段丘をテーマに巡検します。				巡検で気づいたことを整理する。（4時間）				
10	大学周辺の地域的特色を理解しよう	大学周辺の地域的特色を巡検を経た視点で理解します。				討議を経て、巡検レポートを完成させる。（4時間）				
11	地域を見る目を養おう	黒部ダム・安曇野の特徴を取り上げた番組視聴を通して、大学周辺地域を理解します。				対象地域を地理院地図を閲覧して理解する。（4時間）				
12	中部地方を理解しよう。	中部地方のある地域を取り上げた番組視聴、関連するテキストによって中部地方を理解します。				関連する作業学習をする。（4時間）				
13	近畿地方を理解しよう	近畿地方のある地域を取り上げた番組視聴、関連するテキストによって近畿を理解します。				関連する作業学習をする。（4時間）				
14	東北地方を理解しよう	東日本大震災関連番組の視聴、関連するテキストによって東北地方を理解します。				地域調査レポートをまとめる。（4時間）				
15	日本の地域的特色を考えよう	その他の地域の作業学習などもしながら、日本の地域的特色を考えてみます。				日本の地域的特色をまとめる。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「グラフィックワイド地理日本2019」東京法令出版教育事業推進部編（東京法令出版）（別途、指示します。） 「最新基本地図帳」（帝国書院） ISBN:978-4-8071-6418-9（生協で購入してください。） 高等学校の地理の授業で使った地図帳がある人はそれで可				レポート：40% 定期試験：60% S：授業内容を高度に理解し詳細なレポートを作成した。特に高い地理的思考力を身につけた。A：授業内容を理解していいレポートを作成した。高い地理的思考力を身につけた。B：授業内容をおおよそ理解しレポートを作成した。地理的思考力をおおよそ身につけた。C：授業内容を60%程度理解した。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「東京学芸大学地理学会シリーズ 日本を学ぶ」（古今書院） 「はじめの自然地理学」吉田英嗣著（古今書院） ISBN：978-4-7722-7148-6				高校生用の副教材をテキストとします。高校で地理を学んでいない人にも理解できるように心がけたいと思います。また地図などを作業する学習も行います 12色程度の色鉛筆を持参してください。						

科目名	国際経済（人間・教育）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ`リング	UL23206	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
今日の国際経済は様々な分野で相互依存関係が深化し、一国経済が他国に強い影響を与える経済に変質してきています。本授業では、経済のグローバル化の背景やその方向性について講義します。また、授業は「経済入門」を受講していることを前提としますが、必要に応じて「経済入門」の内容を復習しながら進めます。また、「出席レポート」の提出により様々なコンピテンスを育成するとともに、「論理的思考力」についても高めていきますので、新聞等で積極的に実社会を確認してください。										
学修到達目標										
授業内容の理解を通して実社会に興味を持ち、特に国家間の経済的な結びつきを理解することを通して、国際経済の構造を自分なりに理解する。特に、長野県は海外拠点を持つ企業が多く、外国為替市場の動向に収益が左右される企業が多いため、外国為替市場の動向と地域経済との関係が理解できるようになる。										
授業の進め方										
授業は講義形式で実施しますが、「出席レポート」等を通して受講者の理解を確認しながら授業を進めます。また、人数が少ない場合、双方向型のアクティブ・ラーニング授業を行い、その場で理解を確認しながら進めます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	国際経済と国際通貨制度	国際通貨制度について、19世紀に確立した金本位制度について説明します。また、貨幣の機能についても整理します。				ICT等を活用して金本位制について調べ、「出席レポート」に整理する。（4時間）				
2	戦後の国際通貨制度	戦後の「ブレトン・ウッズ体制（通称「IMF・GATT体制」）」について説明します。また、固定相場制と変動相場制についても説明します。				ICT等を活用して「ブレトン・ウッズ体制」などを調べ、整理する。（4時間）				
3	国際通貨制度の矛盾とニクソン・ショック	外国為替制度について説明します。また、今日の国際通貨制度の矛盾についても説明します。				ICT等を活用して「ニクソンショック」などを調べ、整理する。（4時間）				
4	金融経済の進展と要因	拡張的な財政金融政策の功罪について説明し、金融経済の進展が意味することを説明します。				ICT等を活用して「財政金融政策」の手法などを調べ、整理する。（4時間）				
5	プラザ合意と国際的政策協調体制の成立	グローバルな国際経済における「インバランス」の問題と、それに対する国際的な協調体制成立の背景等について説明します。				ICT等を活用して「プラザ合意」などを調べ、整理する。（4時間）				
6	アジア通貨危機	1990年代のアジア通貨危機の背景や、この危機に対する各国の対応、さらにはIMFの対応等について説明します。				ICT等を活用して「アジア通貨危機」などを調べ、整理する。（4時間）				
7	各国の財政金融政策と世界経済	今日の世界経済は、外国為替市場の変動を通して各国の経済に強い影響を与える経済に変質してきていますが、その影響について説明します。				ICT等を活用して「欧州信用不安」などを調べ、整理する。（4時間）				
8	後期金融経済と金融機関規制	今日、金融機関の破綻の影響を最小限に抑えるため、金融機関行動を国際的に規制するBIS規制が導入されています。ここでは、この規制について説明します。				ICT等を活用して「BIS規制」などを調べ、整理する。（4時間）				
9	日本企業の海外進出	戦後の高度経済成長期以後の日本企業の海外進出について、外国為替市場の変動の側面を中心に説明します。				ICT等を活用して円高・円安の進行に伴う日本企業の行動変化について調べ、整理する。（4時間）				
10	企業活動のグローバル化と国際分業	今日の各国企業のグローバル化と、ビジネスモデルの変化について説明します。				ICT等を活用して、1990年以降の日本企業の行動変化について調べ、整理する。（4時間）				
11	企業活動のグローバル化と労働	企業活動のグローバル化に伴って労働力も国境を越えて移動しますが、その状況について説明します。				ICT等を活用してわが国の労働力受入等について調べ、整理する。（4時間）				
12	多文化共生社会と企業経営	外国人労働者の増加など、多様化する社会において求められる「ダイバシティ・マネジメント」について説明します。				ICT等を活用して「ダイバシティ・マネジメント」について調べ、整理する。（4時間）				
13	自由主義と保護主義	貿易自由化と保護貿易主義の歴史について説明し、今日の世界経済における貿易の方向性について説明します。				ICT等を活用して「貿易戦争」について調べ、整理する。（4時間）				
14	世界経済の拡大と日本経済	世界経済の動向が日本経済にどのような影響を与えるのかについて説明します。				ICT等を活用して世界経済について調べ、整理する。（4時間）				
15	全体のまとめ	14回の授業のまとめをします。また、まとめを通して、今後の国際経済の動向や課題についても説明します。				各自で国際経済の方向性について整理する。（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準							
プリントや資料を配布します。			出席レポート：30% 課題：10% 小テスト：20% 定期試験：40% 評価の目安は、「S」：事前事後学修の成果を含めて授業内容を理解し、その内容を文章等を含めて他者に分かりやすく説明できる、「A」：事前事後学修の成果を含めて授業内容を理解し、その内容を文章等で明確に整理できる、「B」：事前事後学修の成果を含めて授業内容の要点を理解し、文章等で整理できる、「C」：授業内容を理解し、その内容を文章等で整理できる、です。							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
国際経済、国際金融関係の図書を開講時に指示します。			本授業は、経済学関係の基礎科目を履修しているという前提で展開されます。授業中に経済学に関する復習等も行いますので、受講者は、経済学関係の基礎科目のノートを持って出席することをすすめます。							

科目名	現代社会論（人間）			学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13207	研究室	W-04
担当者	眞次 宏典			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C	2020年度～						
授業概要											
様々な論題を取り上げて現代社会についての知識や視点を獲得するための講義を行います。20世紀と21世紀の社会事象を取り上げて複数の角度から検討を加えます。											
学修到達目標											
現代社会の多様な論点についての理解を獲得して、自分なりの評価や意見を持つことができるようになること。											
授業の進め方											
指定テキストを用いて講義を行います。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	「現代社会」の意味	現代社会が、それ以前の社会とどう異なるのか。その特質は何かを講義する。					講義で取り扱った題材について自分で図書館やネットで情報を収集する（4時間）				
2	産業社会論（1）	産業社会の概念と資本主義社会との関係について解説する。					指定テキスト128ページから132ページを読む（4時間）				
3	産業社会論（2）	産業社会の実際とそのパラドックスについて解説する。					指定テキスト132ページ以下を読む（4時間）				
4	市民社会論（1）	市民社会と市民の概念について解説する。					指定テキスト134ページ以下を読む（4時間）				
5	市民社会論（2）	市民社会の変容と近代国家の関係について解説する。					配布した資料を読む（4時間）				
6	大衆社会論（1）	大衆社会と大衆の概念について解説する。					指定テキスト136ページから139ページを読む（4時間）				
7	大衆社会論（2）	大衆社会と現代国家の関係について解説する。					指定テキスト140ページから141ページを読む（4時間）				
8	大衆社会論（3）	大衆社会とその文化状況について解説する。					指定テキスト142ページから145ページを読む（4時間）				
9	国家論	近代国家、現代国家など多様な国家の概念について解説する。					指定テキスト146ページから149ページを読む（4時間）				
10	世界システム論	世界システム、グローバリズムなどについて解説する。					指定テキスト150ページから151ページを読む（4時間）				
11	現代社会の諸問題（1）	少子化、高齢化、人口減少化などについて解説する。					指定テキスト190ページから201ページを読む（4時間）				
12	現代社会の諸問題（2）	孤独と自由など現代社会の日常生活の問題について解説する。					指定テキスト204ページから213ページを読む（4時間）				
13	宗教と現代社会	宗教が現代社会に占める地位と影響について解説する。					指定テキスト214ページから224ページを読む（4時間）				
14	犯罪と現代社会	犯罪が発生する素地としての現代社会について解説する。					指定テキスト228ページから235ページを読む（4時間）				
15	全体のまとめ	現代社会の全体像と問題点について振り返る。					これまで読んできた指定テキストと講義ノートを読む（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「社会学がわかる事典」森下伸也著（日本実業出版社） ISBN:9784534031730（生協で購入してください。）					定期試験：90% 受講態度：10% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「なし」					現代社会の多様な事件や事例について関心を持って講義に参加してください。						

科目名	政治学(人間)		学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	UL13208	研究室	W-04	
担当者	眞次 宏典		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスター	火曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	2020年度～						
授業概要											
社会学の基本科目の一つである政治学の入門的な講義を行います。法学や経済学、社会学などの科目との関連もありますが、国家、政治体制、選挙、政党、政治制度、政策過程など政治と政治学についての知識が得られるように配慮して講義します。											
学修到達目標											
政治と政治学の基礎概念について学び、現代社会における政治についての新聞や雑誌の論説や著書などを読むことができることを目標とする。											
授業の進め方											
基本的にテキストを使い、講義形式で行います。適宜、新聞記事や動画などを素材として活用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	政治のとらえ方(1)	政治の定義、分析枠組み、政治的秩序と権力など					指定テキスト第1章を読むこと(4時間)				
2	国家	国家の概念と歴史、国家の役割、国家と市民の関係など					指定テキスト第2章を読む(4時間)				
3	政治体制	政治体制の概念、政治体制の分類、民主化と近代化など					指定テキスト第3章を読む(4時間)				
4	選挙と投票	民主主義と選挙、選挙と選挙制度、投票行動など					指定テキスト第4章を読む(4時間)				
5	政権とアカウンタビリティ	立法と行政による政府、国民主権の憲法の下で選挙によって選ばれた立法部と行政部、政権の構成					指定テキスト第5章を読む(4時間)				
6	政治のとらえ方(2)	政治を考える枠組み、民主主義論としての多数決型民主主義と合意型民主主義					指定テキスト第1章と第5章を読む(4時間)				
7	執政・立法・司法(1)	大統領制と議院内閣制、一院制と二院制、司法部の独立					指定テキスト第6章を読む(4時間)				
8	執政・立法・司法(2)	権力分立制とその意義、司法部の独立の意義					指定テキスト第6章を読む(4時間)				
9	政策過程と官僚制・利益団体	政策過程の意義、民主主義と政策過程、民主主義的政策過程における協調と競争					指定テキスト第8章を読む(4時間)				
10	連邦制と地方制度	単一国家と連邦国家、地方制度と地方自治、日本の地方自治					指定テキスト第9章を読む(4時間)				
11	安全保障と平和(1)	戦争と平和のミクロ分析、安全保障の選択肢、					指定テキスト第10章を読む(4時間)				
12	安全保障と平和(2)	戦争と平和のマクロ分析、戦争論と平和論					指定テキスト第10章を読む(4時間)				
13	国際政治経済	自由貿易と政治、ヒト・カネ・モノの移動の類似性と異質性					指定テキスト第11章を読む(4時間)				
14	国際社会と集団・個人	主権国家の相対化、国際社会の社会性、個人と国際社会					指定テキスト第12章を読む(4時間)				
15	まとめと補足	14回の講義で触れられなかった部分について講義する。特に指定テキストの「Column一覧」にある論点からテーマを選ぶ。					指定テキスト「Column一覧」などから前回講義で指定した部分を読む(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「政治学の第一歩」砂原庸介・稗田健志・多胡淳著(有斐閣) ISBN:978-4-641-15025-6(生協で購入してください。)				定期試験:9% 受講態度:1% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「教養としての政治学入門」成蹊大学法学部編著(筑摩書房) ISBN:978-4480072115				政治学は高等学校の政治経済を基礎として、その上の大学教育の教養レベルの知識の習得を目標とします。高校時代のテキストの復習はしておいてください。講義は指定テキスト中心で進めます。							

科目名	死と死につつあることの社会学		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23209	研究室	C-7
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
現在、いわゆる「先進国」では病院で死を迎える人びとが大半を占めています。18世紀末の臨床医学の誕生から、近代医学が人間のライフサイクルに関する機会は増加したといわれています(たとえば出産や死)。本講義では、近代医学が人間の死にいかに関わってきたのか、その歴史を概観し、その関わり方の変容および持続について解説します。										
学修到達目標										
現代社会における「死」の様々な側面を学び、自らの問題として捉えることを目標とします。										
授業の進め方										
講義形式で行います。課題プリントや小テストについて、返却後に解説・補足説明を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	現代社会における死	現代社会における死の諸相を紹介します。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
2	近代医学の成立	近代医学の成立についての歴史を学びます。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
3	臨床医学と監視医学	臨床医学の誕生から監視医学の興隆までを概観します。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
4	医療政策	先進国における医療政策の変化について解説します。				配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
5	ホスピス緩和ケア	死にゆく人びとを支えるケアの誕生について学びます。				小テストを実施するのでこれまでの授業内容を復習する(4時間)。				
6	ホスピス運動	ホスピス運動とは何かを学びます。				小テストでできなかった問題の復習をする(4時間)。				
7	死ぬ権利を求める運動	死ぬ権利を求める運動とホスピス運動の共通点を考えます。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
8	自己決定権	医療における自己決定権について、死ぬ権利を含めて考えます。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
9	告知の現状	病名と予後に関する告知の各国の現状を紹介します。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
10	医療制度(1)	医療制度の英米・伊・日本の比較をします。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
11	医療制度(2)	英米・伊・日本の比較をします。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
12	ホスピス緩和ケアの実際	ホスピス緩和ケアの実際を質的調査の結果とともに紹介します。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
13	ホスピス緩和ケアの実際	ホスピス緩和ケアの実際を質的調査の結果とともに紹介します。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
14	現代社会における死と文化	文化と死の関係について考えます。				授業中に配布する課題プリントをする(4時間)。				
15	まとめ	講義全体のまとめ				総復習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
1冊にまとめたテキストは存在しないため、いくつかの文献から論文を選んで提示します。				定期試験：60% 課題：40% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業内容のおおそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「先端医療の社会学」黒田浩一郎編(世界思想社) 「現代医療の社会学」黒田浩一郎編(世界思想社)				生あるものは必ず死を迎えます。あなたにとって大切な他者の死を看取することもあろう。現代社会における「死」について知り、真摯に向き合う姿勢をもって講義に臨んでください。						

科目名	近代日本の歴史（人間・教育）		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33210	研究室	非常勤
担当者	小松 芳郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、地域にのこる身近な歴史に触れながら、幕末期以降の日本の歴史を見ていきます。いつ、どこで、何が起きたかといった網羅的な日本史ではなく、日本の歴史事象をいくつか選び、当時の人物、記録、時代をとらえていきます。										
学修到達目標										
歴史をみる眼、歴史観を新たに構築できる。										
授業の進め方										
今ものこる歴史資料などを紹介しながら、毎回10頁のレジメをもとに講義を進めます。講義は教室で行います。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	歴史像と歴史理論	日本史の時代区分、歴史を学ぶにあたって（小さな歴史から大きな歴史へ）				シラバスを熟読したうえで講義にのぞむこと。（4時間）				
2	幕末から明治へ	佐久間象山、赤松小三郎、松尾多勢子、近藤茂左衛門らの信濃の人物をとおして、幕末維新期の日本をみる。				これらの人物を調べておくこと。（4時間）				
3	藩から県へ	廃藩置県以降の県の時代への推移をみる。県歌「信濃の国」を読み解く。				自分の出身地が、どこの藩、どこの県であったか調べておくこと。（4時間）				
4	自由民権運動と秩父事件	松本の自由民権運動、佐久での秩父事件を主導した人物をとおして、その全体像にせまる。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。（4時間）				
5	普選の父、中村太八郎	日本の普通選挙運動発祥の地は松本。中村太八郎・木下尚江らの活動をさぐる。				普通選挙運動について調べておくこと。（4時間）				
6	養蚕・製糸業の発展	日本一の蚕糸王国長野県の製糸業と工女の生活。				なぜ製糸業が長野県で栄えたのかを事前に調べておくこと。（4時間）				
7	日清・日露戦争	福島安正、河原操子という人物をとおして戦争を考える。				ふたりの人物について調べておくこと。（4時間）				
8	松本からみた「大逆事件」	事件の発端は松本平から。信州との関わりの深い人物をみながら「大逆事件」を考える。				養蚕・製糸業について調べておくこと。（4時間）				
9	大正期の教育	川井清一郎訓導が関わった学校での事件から信州教育を考え、鳩山春子と沢柳政太郎をとおして日本の教育をみる。				「信州教育」とは何かを調べておくこと。（4時間）				
10	鉄道網の発展	長野県の明治期の鉄道、大正期の私鉄の敷設の歩みをみる。				身近な鉄道敷設の歩みを調べておくこと（4時間）				
11	戦時下の日本(1)	「15年戦争」と「満洲移民」				昭和6年から20年までの日本の戦争を調べておくこと。（4時間）				
12	戦時下の日本(2)	工場疎開・学童疎開・「きけわだつみの声」				戦争の時代の話を書いておくこと（4時間）				
13	変わる生活	高度経済成長期の前と後の変容を、ひとりの女性の日記から読み解く。				昭和期からの身近な生活の変化を整理しておくこと。（4時間）				
14	戦後75年の日本	昭和20年以降の日本の首相と米国の大統領の動きから、戦後の日本をふりかえる。				記憶に残る日本の首相を整理しておくこと。（4時間）				
15	歴史的文化財の保護	文化財の保護・保存、歴史文書の保存・利用について考える。				地元にどのような文化財があるか、事前に調べて来ること。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
担当者が作成したレジメを、講義ごとに出席者に配布します。				出席レポート：30% 定期試験：50% 講義後のコメント：20% S:出席レポートを全回提出し、講義後のコメントの密度が非常に高く、講義の内容のほぼすべてを修得している。A:出席レポートを全回提出し、講義後のコメント内容が充実しており、講義内容を深化させて修得している。B:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容を理解し、自分なりの史観を表現できる。C:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容をある程度理解している。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
なし				講義ごとに感想を受講票に記入して提出してください。質問があればあわせて記入してください。次回の講義で答えます。						

科目名	地域入門(スポーツ)		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	研究室	A-02
担当者	大蔵 真由美		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限、水曜日3限	
関連資格					履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C	2019年度～ ～2019年度				
<b>授業概要</b>									
これからの松本大学での学びの基礎となる地域の基本的な概念や地域づくりの具体的な実践事例を学び、「地域とは何か」という理解を深めていくこととします。特に、本講義は地域について学ぶ入門的な講義であることを踏まえて、自分自身の経験や関心とのかかわりの中で地域のことを深く考えていくことが出来るようになることを目指します。またこれから地域と関わっていく上で重要となってくる視点についても学んでいきます。									
<b>学修到達目標</b>									
1,地域の基本概念や定義について理解し、説明することが出来る。 2,地域の多様な実践について理解を深め、それらについて自分の考えをもつことが出来る。 3,講義全体を通して自分自身の今後の大学での学びと地域とのかかわりのあり方について考えようとする事が出来る。									
<b>授業の進め方</b>									
各教員からの講義内容や提示する関連資料を基にして、地域に関する理解を深めていきます。必要に応じてグループでディスカッションをします。									
<b>授業計画(各回のテーマ等)</b> 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	はじめに～地域とどう向き合うか	本講義を履修する上で、一人ひとりが自分の問題として地域を考えるきっかけとして、担当教員の地域とのかかわりについて紹介します。				自分自身の地域との向き合い方について考えをまとめる。(2時間)			
2	地域とはなにか～地域の概念と定義	地域の基本的な概念について学びます。				講義の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)			
3	地域の現状と課題～事例研究	地域の現状やその課題について、これまでの地域づくりの取り組みなどを事例として考えます。				講義の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)			
4	松本大学と地域～大学での学びにおける地域の意義	松本大学と地域とのつながりや大学における地域と連携する意義について、特に地元の新村地区とのこれまでの関係を中心に学びます。				講義の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)			
5	学校教育と地域～地域で育つ子ども・若者	子どもや若者を育てるために地域が果たすべき役割や学校教育が地域で求められる役割について学びます。				講義の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)			
6	地域づくりとはなにか～小さな経済の創出の取り組み	信州のむらづくりの事例を基に地域の風土を活かした小さな経済を創出するアプローチを学びます。				講義の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)			
7	まちづくりについて考える～都市計画の観点から	県内外の事例をもとにまちづくりの目的や意義、問題や今後の課題について学ぶ。特に、都市計画のアプローチや長野県小布施町の取り組みなどを紹介します。				講義の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)			
8	まとめ～大学の学びを通じて地域とどう関わるか	各学科の専門性を踏まえて、今後の大学での学びの中で、地域とどう関わっていくのかについて具体的な地域の事例を踏まえて考えます。				講義の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)			
<b>テキスト</b>					<b>成績評価の方法・基準</b>				
「地域入門テキスト」(別途、指示します。)					出席レポート:80% レポート:20% 講義回ごとに感想・質問などを記入して提出する出席レポートと、講義内で出された課題について考えをまとめて記入し提出するレポートとを総合して評価を行います。 <評価基準> S:授業内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に説明でき、自分自身の学びに生かせる。A:授業内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に説明できる。 B:授業内容を理解し、説明できる。C:授業内容を理解している。				
<b>参考書</b>					<b>履修上の注意(学生へのメッセージ)</b>				
「まちが変わる 若者が育ち、人が元気になる 松本大学生がかかわった」白戸洋著(松本大学出版会) ISBN:4902915138 「小布施 まちづくりの奇跡」川向正人著(新潮社) ISBN:4106103540					これから松本大学での学びを深めていくうえで重要となる地域についての入門的な内容を扱う講義となります。本講義の内容と、自己の経験やこれから学びたいことを関連付けて下さい。皆さんの積極的な参加を求めます。				

科目名	地域の歴史（人間・教育）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13301	研究室	非常勤
担当者	小松 芳郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
			健 ス							
授業概要										
政治・教育・文化・諸産業・交通運輸等々にわたる。長野県の歴史上の人物の生き様や業績をとおして、その生きた時代を、日本の歴史上に位置付けながら検証していきます。古代・中世・近世・近代・現代と、それぞれの時代の群像を取り上げます。そのなかで、地域の歴史の学び方を、歴史資料の所在・調査・研究などの面から、自分なりにどのように取り組んでいくのかを考えていきます。										
学修到達目標										
地域で、何をどのように学び、それを様々な教育等の場でいかに生かせていったらよいのか、自分なりに課題をみつけ、具体的に調べ、伝えていくことができる。										
授業の進め方										
具体的にいくつかの資料を紹介しながら、レジュメをもとに講義をすすめます。講義は教室で行ないます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	小さな歴史と大きな歴史	日本史の時代区分、歴史を学ぶにあたって（小さな歴史から大きな歴史へ）				今まで学んできた日本の歴史を振り返り、この講義の全体の流れを把握しておくこと。（4時間）				
2	旧石器・縄文の時代	野尻湖人、縄文時代の人びとなどをとおして、その時代の生活をみていく。				地元の遺跡や遺物を調べておくこと。（4時間）				
3	物くさ太郎の時代	御伽草子「物くさ太郎」を読み解きながら、中世の人びとの暮らしを考える。				大学近くにある「物くさ太郎」の碑を事前に見ておくこと。（4時間）				
4	真田氏・小笠原氏三代	真田氏三代と小笠原氏三代をとおして、戦国時代をみる。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。（4時間）				
5	江戸時代の領主たち	松本の領主をもとに、その時代背景をみる。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。（4時間）				
6	江戸時代の村びとたち	百姓一揆の多田加助、この時代の村びとの暮らしをみる				加助騒動の身近な史跡を調べておくこと。（4時間）				
7	藩から県へ	廃藩置県以降の県の時代への推移をみる。県歌「信濃の国」を読み解く				自分の出身地が、どこの藩、どこの県であったか調べておくこと。（4時間）				
8	自由民権運動と秩父事件	松本の自由民権運動、佐久での秩父事件を主導した人物をとおしてその全体像にせまる。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。（4時間）				
9	普選の父、中村太八郎	日本の普通選挙運動発祥の地は松本。中村太八郎・木下尚江らの活動をさぐる。				普通選挙運動について調べておくこと。（4時間）				
10	製糸王国長野県	製糸王今井五介と工女の生活をとおして、日本一の長野県の養蚕製糸業の発展をみる。				養蚕・製糸業について調べておくこと。（4時間）				
11	松本からみた「大逆事件」	事件の発端は松本平から。信州との関わりの深い人物をみながら「大逆事件」と日本を考える。				これまで学んだことのある左記テーマについて整理しておくこと。（4時間）				
12	大正期の教育	川井清一郎訓導が関わった学校での事件から信州教育を考え、鳩山春子と沢柳政太郎をとおして日本の教育をみる。				「信州教育」とは何かを調べておくこと。（4時間）				
13	戦争の時代（1）	「15年戦争」と「満洲移民」				昭和6年から20年までの日本の戦争を調べておくこと。（4時間）				
14	戦争の時代（2）	工場疎開・学童疎開・「きけわだつみの声」				左記テーマについて調べておく事。（4時間）				
15	戦後の日本	戦後75年間の日本の首相と米国の大統領をとおして、日本の政治史をみる。				記憶にのこる日本の首相を整理しておくこと。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義ごとに担当者が作成したレジュメを、出席者に配布します。				出席レポート：30％ 定期試験：50％ 講義後のコメント：20％ S:出席レポートを全回提出し、講義後のコメントの密度が非常に高く、講義の内容のほぼすべてを修得している。A:出席レポートを全回提出し、講義後のコメント内容が充実しており、講義内容を深化させて修得している。B:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容を理解し、自分なりの史観を表現できる。C:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容をある程度理解している。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
なし				講義ごとに感想や質問を受講票に記入して提出してください。質問については、次回の講義で答えます。						



科目名	地域と文学（人間・教育）		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ <sup>®</sup> リング	UL13302	研究室	A-07
担当者	國府田 祐子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
			健 ス							
授業概要										
信州にゆかりのある文学者や研究者を取り上げ、出身地や歴史的背景、代表作等を紹介し、担当者が実際に代表作品を紹介したことをもとに、表現の味わいを学びます。各自で選択した作品や分担した箇所について調べ学習を行ったものを元にして発表を行い、解釈を共有して自分の読みを確立していきます。ゲストティーチャーによる講義やアウトキャンパススタディによる実体験を通して力を高め、まとめとして自分の興味・関心に沿って学生がさまざまな作家を調査し発表し共有します。										
学修到達目標										
1 信州の主たる代表作を知り、その実際を広く理解する。 2 文学作品に対する知見を深め、文学に関する考察力や研究力を身につける。 3 作品に対する自分の考察を持ち、わかりやすく発表、論述することができる。										
授業の進め方										
講義、発表、演習です。教員が文学作品の読み方講義をします。その後作品を自分の力で読み進めプリントを作成し発表します。最後に各自が自分の興味・関心に応じて調べ学習をし発表します。週末にアウトキャンパススタディに出かける予定です。（日程は初回に提示）										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス 文学の読み方	文学作品の読み方について基本的な観点を講義します。発表方法を知ります。				シラバスから全体を概括する。読み方の基本の視点をまとめ、担当箇所を調査する。（4時間）				
2	信州の作家(1)	島崎藤村『千曲川のスケッチ』を読み作品の背景を学びます。各自が読んだ内容を発表し合います。交流を通して各自が考察を持ちます。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。（4時間）				
3	信州の作家(2)	『千曲川のスケッチ』を読み進めます。各自が読んだ内容を発表し合い、互いの読みを交流し各自が考察を持ち、自分の読みに生かします。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。（4時間）				
4	信州の作家(3)	『千曲川のスケッチ』を読み、同時代作家との関係等を知ります。互いの読みを交流し、各自考察を持ちます。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。（4時間）				
5	信州の詩人	信州にゆかりのある詩人についてその特色を学びます。各自で考察を持ちます。（ゲストティーチャーによる授業を予定）				授業内容を考察しまとめる。（4時間）				
6	信州の作品(1)	『夜明け前』の時代背景を理解します。互いの読みを共有しながら自分の読みの確立を目指します。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。（4時間）				
7	信州の作品(2)	『夜明け前』を読み、互いの読みを共有しながら自分の読みを確立して行きます。各自で考察を持ちます。				授業内容を考察しまとめる。分担箇所について発表準備をする。（4時間）				
8	信州の作品(3)	『夜明け前』と外国作品との関連を知り読み進めます。互いの読みを共有しながら自分の読みの確立を目指します。各自で考察を持ちます。				授業内容をまとめる。分担箇所について発表準備をする。（4時間）				
9	信州の歌人(1)	窪田空穂の業績を知り、いくつかの作品を取り上げ読み味わいます。（ゲストティーチャーによる授業を予定）				授業内容をまとめる。窪田空穂の業績の概略をまとめる。（4時間）				
10	信州の歌人(2)	窪田空穂の業績を知り、いくつかの作品を取り上げ読み味わいます。（アウトキャンパススタディを予定。詳細は別途）				アウトキャンパススタディをまとめ、レポートを書く。（4時間）				
11	信州の歌人(3)	窪田空穂の生きざまを知り、いくつかの作品を取り上げ読み味わいます。（アウトキャンパススタディを予定。詳細は別途）				アウトキャンパススタディをまとめ、レポートを書く。（4時間）				
12	信州の童話・昔話(1)	信州にゆかりのある童話作家について学びます。各自で考察を持ちます。				授業内容をまとめ、発表準備をする。（4時間）				
13	信州の童話・昔話(2)	信州にゆかりのある童話作家について、自分の地元の昔話や伝承を紹介し合います。各自で考察を持ちます。				講義内容についてまとめる。（4時間）				
14	信州の童話・昔話(3)	信州にゆかりのある童話作家について学びます。（ゲストティーチャーによる授業を予定）				講義内容についてまとめる。発表の準備をする。（4時間）				
15	信州ゆかりの作品、総括	各自が自分の興味・関心に応じて調べ、その内容や作品解釈、作品研究結果を発表します。				15回を総括する。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「千曲川のスケッチ」島崎藤村著（新潮文庫） ISBN:9784101055138（生協で購入してください。） 「夜明け前 第1部（上）」島崎藤村著（新潮文庫） ISBN:9784101055084（生協で購入してください。）				受講態度：20% 課題：60% レポート：20% S:基本的な概念や理論を正確に説明でき、適切に表現し高い意欲を示している。 A:基本的な概念や理論をほぼ正確に説明でき適切に表現している。B:基本的な概念や理論を一部説明できるものがあり表現している。課題を全て行っている。C:基本的な概念や理論を説明できるものがあり表現している。課題を全て行っている。受講態度には毎回出すシートの出来映え、発表等を含む。欠席4回で単位を認定しません。遅刻・早退2回で1回の欠席とし、30分以上の遅刻・早退は欠席1とみなします。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「島崎藤村 吉田精一著作集6」吉田精一著（桜楓社） 「新しい国語表記ハンドブック 第7版」三省堂編修所編編（三省堂） 「漢字筆順ハンドブック 第3版」江森賢治著（三省堂）				その他参考書は講義で適宜紹介します。レポートや課題は手書きによる提出が主です。用具等は第1回授業で指示します。アウトキャンパススタディが企画できた際は必ず出席してください。						

科目名	地域の伝統行事（人間・教育）		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL23303	研究室	非常勤	
担当者	小松 芳郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
			A	B	C						
			健 ス								
授業概要											
日頃から体験している年中行事から始まり、各地に伝わる伝統行事について学びます。長野県内の代表的な行事を、それぞれの地域ごとに扱い、地域に残る歴史と民俗事象を掘り下げていきます。さらに、身の回りの暮らしのなかでの伝統行事を、今日までの変容を追いながら、どのように調べて記録としてのこしていくのか、それを後世にどのように伝えていったらよいのかを、具体的な事例を挙げながら考えていきます。											
学修到達目標											
地域で、何をどのように学び、それを様々な教育等の場でいかに生かしていったらよいのか、自分なりに課題をみつけ、具体的に調べ、伝えていくことができるようになる。											
授業の進め方											
いくつかの資料を紹介しながら、レジメをもとに講義をすすめます。講義は教室で行ないます。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	変わる生活	昭和30年代からの高度経済成長期を境にして変わる生活のなかでの年中行事を、ひとりの女性の日記をもとにみます。					三世代のお話を聞いて、暮らしの変容の一部を調べておくこと。（4時間）				
2	年中行事（1）	信州の春のさまざまな年中行事をみます。					自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。（4時間）				
3	年中行事（2）	信州の夏のいろいろな年中行事・祭りをみます。					自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。（4時間）				
4	年中行事（3）	信州の秋の各地の年中行事・祭りをみます。					自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。（4時間）				
5	年中行事（4）	信州の冬のいくつかの年中行事をみます。					自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。（4時間）				
6	人の一生（1）	誕生から成人までの儀礼をみていきます。					誕生から今日までの自分の儀礼を調べておくこと。（4時間）				
7	人の一生（2）	成人からの人の一生をみます。					親の世代などの儀礼の例を聞いておくこと。（4時間）				
8	人の一生（3）	一生を終える儀式とその変容を、時代とともにみていきます。					葬儀の変容について調べておくこと。（4時間）				
9	善光寺	善光寺仏の流転、善光寺信仰、御開帳などを調べます。					左記のテーマについて調べておくこと。（4時間）				
10	御柱	信州各地の御柱のようす、歴史などを調べます。					自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。（4時間）				
11	石造物を調べる	石仏、道祖神などを調べます。					自分の住む地域の左記テーマについて調べておくこと。（4時間）				
12	伊那谷の芸能	伊那地域にのこる様々な芸能、それをいかにのこしていくかを考えます。					左記のテーマについて調べておくこと。（4時間）				
13	家と女	時代とともに変わってきた女性の暮らし、生き方を学びます。					左記のテーマについて調べておくこと。（4時間）				
14	民俗知識	昔から伝えられてきた人びとの民俗知識には、どのようなものがあるか調べます。					左記のテーマについて調べておくこと。（4時間）				
15	伝説	信州の各地に伝わる伝説には、どのようなものがあるか調べます。					左記のテーマについて調べておくこと。（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準								
担当者が作成したレジメを、講義ごとに出席者に配布します。			出席レポート：30％ 定期試験：50％ 講義後のコメント：20％ S:出席レポートを全回提出し、講義後のコメントの密度が非常に高く、講義の内容のほぼすべてを修得している。A:出席レポートを全回提出し、講義後のコメント内容が充実しており、講義内容を深化させて修得している。B:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容を理解し、自分なりの史観を表現できる。C:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容をある程度理解している。								
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）								
なし			講義ごとに感想や質問を受講票に記入して提出してください。質問については、次回の講義で答えます。								

科目名	地域社会と学校教育（人間・教育）		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ <sup>®</sup> リング	UL33304	研究室	A-01
担当者	征矢野 達彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
		健 ス								
授業概要										
<p>学校教育では、新学習指導要領で「生きる力」を育成するという基本理念が継承され、「確かな学力」や「豊かな人間性」などを育むことが求められています。知識・技能を実生活で活用する力や、異なる文化や背景を持つ人々との関係を構築する力が、今後必要とされています。それらの力を育成するには、外部の力を有効に活用していく必要があります。地域社会における学校の意味を問い直し、「信州型コミュニティスクール」の取り組みを研究すると共に、地域社会に根ざした学校づくりを追究していきます。</p>										
学修到達目標										
<p>地域社会における教育計画の理念や背景を学び、地域社会に支えられた学校や教師のあり方の理解を深め、豊かな人間観、教育観、教師観を形成する。地域社会と学校との関わり方について学び、教員としての資質を身につける。</p>										
授業の進め方										
<p>学校と地域との関わりについての歴史や変容、展望を講義で学び、小・中学校の実際の教育現場でのアウトキャンパスを通して、地域と共にある学校づくりを学びます。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	学校と地域社会との関わりについての学び方を理解します。				地域社会の概念を理解する。（4時間）				
2	近代学校の成立	学校の成立と学校統合、通学区の再編について学びます。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
3	開かれた学校	地域社会に「開かれた学校」の動向と展望について理解します。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
4	学校と家庭	少子化社会における家庭の教育機能の変容について理解します。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
5	国・県の教育計画	国及び県の教育計画、長野県の求める教師像について理解します。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
6	信州型コミュニティスクールの取り組み	信州型コミュニティスクールの理念と取り組みについて学びます。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
7	松本市の教育行政	松本市の教育行政と学校の教育計画について学びます。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
8	アウトキャンパス	信州型コミュニティスクールの取り組みを小学校で参観します。				参観観点別評価表に記入する。（4時間）				
9	アウトキャンパス	信州型コミュニティスクールの取り組みを中学校で参観します。				参観観点別評価表に記入する。（4時間）				
10	参観報告会	小・中学校の地域と共にある学校づくりの成果と課題を話し合い、共有します。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
11	アウトキャンパス	地域社会の特性を生かした特別支援学校の取り組みの様子を参観します。				参観観点別評価表に記入する。（4時間）				
12	参観報告会	地域社会と特別支援学校との関わり方の成果と課題を話し合い、共有します。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
13	教師像	保護者や地域社会が求める学校と教師像を学びます。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
14	まとめ	地域社会と学校との関わり方をみんなでシェアします。				本時の学習内容の整理をする。（4時間）				
15	まとめ	これまでの総括として、地域社会と学校教育の将来像を明らかにします。				総合レポートをまとめる。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「コミュニティ・スクール入門」貝ノ瀬 滋著（一藝社） ISBN:978-4-86359-124-0（生協で購入してください。）				<p>受講態度：30% レポート：70%</p> <p>S:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現することができる。A:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、授業で学んだことを理解し、正しく文章で表現することができる。B:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、授業で学んだことについて概ね理解し、文章で表現することができる。C:到達目標達成を理解して、課題に取り組み、授業で学んだことを表現できる。</p>						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「小・中一貫コミュニティ・スクールのつくりかた」貝ノ瀬 滋著（ポプラ社） ISBN：978-4-591-11748-4 必要に応じて提示します。				外部での授業があるので、学校現場に入るときに諸注意を遵守してください。						

科目名	地域経済史（人間・教育）		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33305	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、火曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
わが国が工業化される過程で発展あるいは衰退した地域（地場）産業の全体像を踏まえた上で、地域経済の形成に大きな影響を与えた地域産業を取り上げ、それらの歴史的展開について講義します。特に、本学が立地する信州の地域産業については、工場形態での発展によりわが国最大の外貨獲得産業となった器械製糸業、および、一時期は地域経済に大きな比重を占めながらも戦後の経済発展のなかで産業としての影響力を失い、伝統工芸としての業態で存続した他の絹関係品生産を対比しながら、地域産業の動きを理解します。										
学修到達目標										
明治以降の日本がたどった歴史を、地域産業を通じて理解し、最終的には地域産業の持つ強さ・弱さ、そしてその将来像を把握する。地域に展開した産業（特に長野県では製糸業）がどのような発展の仕方をしてきたか、そしてそれがいまま地域で展開する産業とどのような関係にあるかを理解する。										
授業の進め方										
基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	ガイダンスと講義に向けての基礎知識について説明します。				テキスト1～5頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
2	繊維産業と日本経済	繊維産業、特に製糸業が日本経済にどのように位置づけられるかを詳述します。				テキスト6～13頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
3	地主制と製糸業	器械製糸の中心地は長野県であることを踏まえ、地主制との関連を詳述します。				テキスト13～18頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
4	器械製糸業	長野県が器械製糸の中心になった背景と要因について詳述します。				テキスト20～23頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
5	田中組の金融活動	長野県にも大きな政商が（小野組と田中組）関わっていたことを詳述します。				テキスト23～26頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
6	洋銀取引との関係	「金の国」日本（小判とドル銀貨）と銀貨の関係について述べます。				テキスト26～29頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
7	外国為替相場の出現	日本初の相場師が長野県出身の商人である事実と長野県の機械製糸業との関係を詳述します。				テキスト29～32頁を熟読する(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
8	片倉製糸	日本最大の生糸メーカー、片倉製糸の成長過程について詳述します。				テキスト34～35頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
9	蚕網の生産	重要な養蚕具として江戸期から信州で使われていた蚕網が全国に普及してゆく過程を詳述します。				テキスト35～39頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
10	戦時下の製糸業	戦時下で切り捨てられる製糸業の姿を詳述します。				テキスト40～42頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
11	戦時下の地域経済	戦争直後の混乱のなか日本経済がどう変わったかを基礎に、地域産業の変貌について詳述します。				テキスト48～53頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
12	戦後の農地改革	戦争直後の混乱を経て日本の農業はどう変わったかを詳述します。				テキスト55～58頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
13	戦後の軽工業と重工業	戦後、地域産業として何が製糸業に取って替わったかについて詳述します。				テキスト58～60頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
14	地域経済の転換	戦前と比較して大変貌を遂げた信州の経済構造について詳述します。				テキスト60～61頁を熟読する。(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べる。(2時間)。				
15	総括	信州の地域産業が軽工業から精密工業へと転換するまでの流れを詳述します。				テキスト全体を通読する。(3時間)。事後、授業での総括を復習する(3時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「地域経済史」木村晴壽著松本大学総合経営学部編（松本大学）(生協で購入してください。)				レポート：30% 定期試験：70% S:授業内容を十分に理解し、地域産業について解説ができる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「長野県史（各巻）」長野県編（長野県）				期末の試験は、難易度がかなり高く設定されているので、普通の講義で集中して理解しようとする姿勢が必要です。						

科目名	地域課題研究Aクラス		学年学期	1年通年	単位数	2	ナパ <sup>®</sup> リング	UL13306	研究室	W-34
担当者	白戸 洋		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：金曜日3限 後期：金曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		健 ス								
授業概要										
<p>学生が地域の直面する課題について、その現状を学ぶとともに、実験的なまちづくりの実践活動を通じて具体的に課題解決を図るうえで重要なことを理解し、履修者同士で議論を行い、今後の地域における取り組みのきっかけづくりを目的とします。</p>										
学修到達目標										
<p>地域課題について理解をするとともに、実験的な実践活動の成果を分析・評価し、その成果を踏まえて具体的な解決にむけたアクションを自ら計画し実施する技術及び能力を身に付ける 活動を通じコミュニケーション能力や課題解決能力、社会的課題に対する関心、地域に向き合う意識などを身に付ける グループで議論を行いまちづくりに関すな視点や価値観の中で自らの視野を広げていく</p>										
授業の進め方										
<p>地域についての講義、実態把握のための調査、その解決を図るための実験的な実践活動、成果に関するディスカッションによって構成されます。テーマとなる地域課題については履修学生が決定した後、それぞれの問題意識を踏まえて教員と相談して設定を行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	講義の内容及び進め方を説明し履修者シートの作成し、各自の問題意識を共有します。				小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
2	地域課題に関する講義	まちづくりをめぐる地域課題について講義します。				小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
3	地域課題に関する講義	まちづくりと高齢者の問題(買い物弱者問題など)について講義します。				高齢者の問題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
4	地域課題に関する講義	まちづくりと子育て・子どもをめぐる問題について講義します。				子育て・子どもをめぐる問題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
5	地域課題に関する講義	居場所とまちづくりについて講義します。				居場所とまちづくりについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
6	地域課題に関する講義	その他のまちづくりに関わる地域課題について講義します。				まちづくりに関わる地域課題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
7	地域課題の把握	地域での実態の把握(現地踏査)を行います。				現地踏査について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
8	地域課題の把握	地域での実態の把握(現地踏査)を行います。				地域での実態の把握について復習				
9	地域課題の把握	地域における課題を整理し、地域課題を把握します。				地域課題に関する小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
10	地域課題解決事業の実施準備	地域課題について討論し実験的事業のイメージを考えます。				実験的事業のイメージについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
11	地域課題解決事業の実施準備	地域において実施する実験的な事業について検討を行います。				実験的な事業について検討し小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
12	地域課題解決事業の実施準備	地域において事業を実験的な事業について準備を行い、地域において実験的な事業を実施します。				事業の報告の小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
13	地域課題解決事業の実施準備	地域において事業を実験的な事業について準備を行います。				事業の概要について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
14	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
15	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
16	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
17	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
18	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				小レポートを含む事後学習を1時間行う。				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	事業の中間評価	実験的な事業についてその成果等について振り返りを行います。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
20	事業の中間評価	事業について地域住民にインタビューし成果と課題を把握します。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
21	事業の中間評価	実験的な事業についてディスカッションを通じて評価し今後の計画を策定します。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
22	地域課題解決事業の実施	事業の内容を見直し今後の取り組みについて検討を行い計画を策定します。	事業の内容を見直しについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。
23	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
24	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
25	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
26	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
27	事業の成果分析	対象地区等での成果と課題の把握（ヒアリング調査等）を行います。	ヒアリング調査等について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
28	事業の成果分析	対象地域における事業の効果の検証を行い今後の取り組みを検討します。	小対象地域における事業の効果の検証を行い今後の取り組みについて事後学習を1時間行う。
29	講義全体の振り返り	ディスカッションを通じて講義での全体の成果と課題を検討します。	全体の成果と課題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
30	まとめ	個人別学修達成目標の評価を行います。	個人別学修達成目標の評価について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
テキスト		成績評価の方法・基準	
「買い物難民を救え!移動スーパーとくし丸の挑戦」村上 稔著（緑風出版） ISBN:978-4-8461-1411-4（生協で購入してください。）		レポート：60% 課題：40% S:講義の成果を活かして持続的に課題解決のために具体的な活動を行うことができる A:実践活動を通じて地域課題を把握し有効な解決策を提言し解決を試みた B:実践活動を通じて地域課題を把握し有効な解決策を提言 C:実践活動を通じて地域課題を把握し概ね具体的な解決策を提言	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
そのつど資料配布します。		PBL（問題解決）型の授業として、みなさんの身近な社会問題に対して実践的にアプローチし、解決方法を学びます。積極的に参加してください。	

科目名	地域課題研究Bクラス		学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13306	研究室	C-5
担当者	廣田 直子		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-	前期：水曜日3限 後期：水曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		健 ス								
授業概要										
この授業では地域全体を学びの場とし、フィールド活動により地域課題を見出し、その解決に向けて皆でディスカッションし、提案という形にまとめます。Bクラスでは人の一生を「健康」の視点で概観し、まずは、乳幼児期、学童・青年期、壮年期、高齢期といったライフステージごとの特徴をとらえます。その上で、地域活動に参画して生活者である地域の人々が直面する健康課題を発見し、グループ討議を経て解決に向けて考え合い、提案をまとめます。										
学修到達目標										
フィールド活動において学習課題に応じて対象者を観察する力、課題について自らの考えをまとめ、積極的にディスカッションする力の修得をめざします。健康を栄養と運動、社会生活の視点からとらえ、近隣社会の現状を踏まえて地域が抱える健康問題・課題への認識を深めて自分たちの提案をまとめることを具体的到達目標とします。										
授業の進め方										
前半はオムニバス形式で、講義を中心に進めます。後半は、周辺地域で行なわれている「健康」への取り組みを、実習体験を通じて学び、グループで地域課題に向けた解決法を探り、提案をまとめます。(履修者数を制限することがあります。)										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業の進め方と、後半に行く実習参加について実習先や実習内容の説明をします。決定している範囲で参加実習の情報を提示します。					各自で、予定されている実習に参加するための日程を調整し、参加意欲を高める。(1時間)			
2	社会生活と健康	4~5人のグループをつくり、自己紹介に加え、自身の健康観について自由に語ることで互いの考えを知り、その後「社会生活と健康」を考える次回以降の講義の意味について学びます。					健康観について、自身の健康に対する受け止め方や考え方をまとめて記述する。(1時間)			
3	ライフステージと健康 (1) 乳幼児期	乳幼児期の発育発達の大枠を捉え、生涯にわたって健康な生活を送るための基盤となる育ちの環境について、栄養・運動の両面から学びます。					身近に暮らす乳幼児に関心を寄せ、乳幼児期に重要な育ちの環境についてまとめる。(2時間)			
4	ライフステージと健康 (2) 学童・青年期	長野県内の児童の生活習慣の実態について学びます。生活習慣が子どもの発育発達に及ぼす影響について県内の実態からとらえ、改善に向けた栄養と運動両面からの支援の可能性を探ります。					学童期の生活時間、生活習慣の実態を知り、問題の所在について考えレポートを作成する。(2時間)			
5	ライフステージと健康 (3) 壮年期	体力をはじめ諸機能の衰えを感じ始めるのが壮年期です。健康上の様々な問題を感じるようになるこの年代は、健康への関心が高まる時期でもあります。栄養・運動の両面からの指導や支援の表情を学びます。					身近な大人との会話から、働き盛り世代の健康への意識・関心を聞き取りまとめてみる。(2時間)			
6	ライフステージと健康 (4) 高齢期	元気な高齢者、支援が必要な高齢者など、「高齢期」とひとくくりにしてもその幅は広く、人生における喜・哀のイベントが健康に影響を及ぼす年代でもあります。様々な観点から健康維持について学びます。					高齢期に生じる体の生理的衰えを知り、健康であることの価値について考え、まとめる。(2時間)			
7	地域課題 (健康と栄養)	これまでの学習で得た知識を基に、地域に目を向けます。実際に行われている栄養指導の場面やその内容、また対象に関する地域の実情を知り、アウトキャンパスでの学習目標に向けて考えます。					これまでの学習内容を振り返り、生活実態に合った「食」のあり方を考え、まとめる。(2時間)			
8	地域課題 (健康と運動)	これまでの学習で得た知識を基に、地域に目を向けます。実際に行われている運動指導の場面やその内容、また対象に関する地域の実情を知り、アウトキャンパスでの学習目標に向けて考えます。					これまでの学習内容を振り返り、生活実態に合った「運動」の必要性を考え、まとめる。(2時間)			
9	松本市の健康づくりの取り組み	健康寿命延伸都市松本の制度や健康づくりに関する様々な取り組みについて知り、若者(学生)の視点からの行政への要望・提案についてディスカッションし、その中から自分たちで対応可能な課題を発見します。					市の活動内容をまとめ、行政が取り組みにくい課題に関するレポート執筆の準備をする。(3時間)			
10	市民運動としての健康づくりの取り組み	NPOや地域の自主運営による健康の取り組みについての実態を学びます。実際の事業例を参考に、健康に関する地域課題について考えます。					前回に続き、地域の健康課題を、実際の事例からとらえてレポートを作成させる。(3時間)			
11	情報収集の方法	これまでの学習で健康に関する様々な情報を、さらに幅広く収集するための方法とその活用方法について学びます。その際、今後の活動で必要とされるルール、マナーについても学修します。					以後の報告や発表資料に役立てるための健康情報、地域情報などの情報を収集する。(3時間)			
12	プレゼンテーションの方法	本講義後半では、グループで「地域における健康課題(仮)」を発表するので、収集した資料や実習での体験をまとめる際に必要となるプレゼンテーションの方法として、パワーポイントの作成技法を学びます。					パソコンの操作に慣れ、パワーポイントを活用し、プレゼンファイル作成の練習をする。(3時間)			
13	地域課題を探る	3~4人のグループになり、健康観について話し合いを持ちます。初回講義でそれぞれが感じていた健康観を振り返り、あらためて地域の健康課題について考え、ディスカッションを通してメンバーと共有します。					グループで共有した問題について地方紙などから情報を収集し、次回講義時に持ち寄ります。(2時間)			
14	地域課題を提起1	前回授業に続き、KJ法やブレインストーミングなどで情報を出しあい、グループワークを通してグループの関心事をまとめて発表します。グループで収集した地域課題について問題の所在を探ります。					グループで決めたテーマを咀嚼し、実習の際のモチベーションの向上を図る。(1時間)			
15	地域課題を提起2	グループで決めた地域課題(テーマ)を再確認します。何が問題で、どうしていくことが求められるのか、自分たちにはできないことは何かなど具体化させ、グループワークを通してグループの意思決定を図ります。					後期に行う実習を意味あるものにするため、積極的に必要な準備を整える。(3時間)			
16	オリエンテーション(後期)	グループワークにより進めます。前半の学習やグループの課題・目標を再確認します。今後実施する実習参加について説明を受け、実習記録ノートを配布します。					実習記録ノートを確認し、実習参加の準備と心構えを確固としたものにする。(1時間)			
17	実習事前指導	実習の事前指導を受けます。実習に臨む姿勢、記録の取り方、事後報告について理解するとともに、実習先や対象者によって参加時の配慮や参加姿勢が異なることを理解します。					実習先について事前に情報収集し(1時間)、実習ごとの目標を定めて臨みます。(1時間)			
18	実習(栄養指導場面1)	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。					実習記録ノートをまとめる。(3時間)			

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	実習（栄養指導場面1-2）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
20	実習（栄養指導場面1-3）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
21	実習を振り返る（栄養）	グループ毎、体験から得た学びを共有します。互いの実習記録を振り返り、それぞれの場面での気づきを話題提供し、地域社会に求められている健康づくりの課題を探ります。	実習での振り返りや気づきを次回実習に活かすために、自身の課題目標を明確にする。（1時間）
22	実習（運動指導場面1）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
23	実習（運動指導場面1-2）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
24	実習（運動指導場面1-3）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習での振り返りや気づきを報告会に活かすため、自分の考えや意見をまとめる。（2時間）
25	実習を振り返る	前期講義で得た学びや地域活動での実習体験をふまえ、グループで話し合い、報告会での発表を前提にした討議をします。地域社会に求められている健康づくりの課題と解決方法を探ります。	自分の考えや意見を、体験と理論の両面から語れるように準備を進める。（2時間）
26	報告会の準備	グループワークにより、お互いの実習記録を振り返り、各場面での気づきとして話題提供し、地域社会に求められる健康づくりの課題とその解決方法に向けた提案をまとめ、報告会での発表資料を作成します。	発表の準備・練習（2時間）、自分の考えや意見を体験と理論の両面から語れるようにする。
27	実習報告会（1）	互いの報告・発表を聞き、自分の実習体験と重ね、他のグループの発表に対して質問や感想を述べるなど、関心を持って聞き、互いに学び合います。	「健康問題」を、個人の問題としてではなく、地域が抱える課題として再考する。（2時間）
28	実習報告会（2）	互いの報告・発表を聞き、自分の実習体験と重ね、他のグループの発表に対して質問や感想を述べるなど、関心を持って聞き、互いに学び合います。	「健康問題」を、個人の問題としてではなく、地域が抱える課題として再考する。（2時間）
29	実習報告会のまとめ	報告会での発表を受けて、地域課題解決に向けた方途についてグループディスカッションをします。	ディスカッションを踏まえて地域課題解決のための方途についてまとめる。（3時間）
30	地域課題 まとめ	一人ひとりが本講義の学びをまとめ、それをお互いに聴取し合い多様な考えがあることを知ります。それを通して個々の学生が大学生活及び将来の健康課題について、地域という視点で考え続ける姿勢を培います。	記録ノートや発表から、地域社会における健康課題解決の方途に関するレポートを作成する。（3時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
(別途、指示します。) 配布資料(プリント)で進めます。		出席レポート：50% 課題：50% S:積極的な地域活動参加を通じ、多角的な観察による気づきや提案を的確に文章表現できる。集団討議ではリーダーシップを発揮できる。A:積極的な地域活動での観察から、気づきや提案を文章表現できる。集団討議での確かな意見を述べることができる。B:地域活動での観察による気づきを文章表現できる。集団討議で自分の意見を述べることができる。C:地域活動に参加して学修した内容を文章表現できる。グループワークで自分の意見を述べることができる。	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
配布資料で進めます。		学生だから体験できる地域社会との交流を通じ、誰もが大切にしたい「健康」への認識を深め、自身の健康についても考えください。また、地域に目を向け、学修を通して社会の健康課題と向き合い、その解決方法を考えましょう。	



科目名	地域課題研究Cクラス		学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13306	研究室	W-19
担当者	矢崎 久		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：月曜日5限、火曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		健 ス								
授業概要										
買い物難民、老老介護、孤独死など高齢化社会に共通した課題に加えて、豪雨や地震など近時増加する自然災害への対処など地域が抱える課題は少なくありません。これら諸課題から今年度は「防災」「減災」をテーマとして、地域における防災の現状と課題について学ぶとともに、具体的な活動を通じた課題解決能力の獲得を図ります。										
学修到達目標										
地域における「防災」をテーマに、課題の発見、解決目標の設定、目標達成にむけた実践計画の立案と実行、評価までの流れを学修します。										
授業の進め方										
火災、地震、豪雨などの災害や防災初動と地域連携のありかたについての座学、グループワーク、社会資源の活用、災害支援ボランティア体験、さらに地域防災組織や地域住民との関わりから得られるフィードバックは貴重な学びになるものと考えます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	地域課題とはなにか	地域社会とはなにか、地域社会の課題とは何かを学びます。				事前：配布資料(地域社会と課題)を講読する(2時間)事後：研究の概要をまとめる(2時間)				
2	地域と防災	地域社会における防災の意義、その現状と課題を学びます。				事前：配付資料(地域防災)を講読する(2時間)事後：課題を作成する(2時間)				
3	地域と防災	地域社会における防災の実情を知り、その課題を抽出します。				事前：実情を調査する(3時間)事後：課題抽出表を作成する(3時間)				
4	地域課題としての防災	抽出された地域社会における防災の課題と、その解決策を検討します。				事前：解決目標を絞り込む(2時間)事後：解決計画を検討する(2時間)				
5	地域課題としての防災	課題ごとの解決策の決定、解決策を実践するための計画を作成します。				事前：課題の整理と解決策を研究する(4時間)事後：実践計画案を作成する(2時間)				
6	防災と社会資源	地域防災に求められる資源とはなにかを調べます。				事前：求められる資源を調査する(4時間)事後：資源マップを作成する(2時間)				
7	防災と社会資源	地域災害の想定規模を知り、災害発生時に活用可能な資源を調べます。				事前：災害想定を調査する(3時間)事後：社会資源を調査する(3時間)				
8	災害と危機管理	危機管理とはなにか。何を、どのように管理すべきなのか。そのポイントを学びます。				事前：危機管理について調べる(3時間)事後：管理ポイントを整理する(2時間)				
9	災害と危機管理	災害の予防、災害の状況把握、防災と減災の対策検討、対策の実施計画を策定します。また実施計画書の実現可能性を検討します(図上訓練の準備)。				事前：訓練の手順を調査する(4時間)事後：訓練計画書を作成する(4時間)				
10	災害と危機管理	実施計画書に基づいた図上訓練を実施します。				事前：訓練手順を確認する(2時間)事後：訓練報告書を作成する(3時間)				
11	地域住民の防災意識	地域に住む人々の防災意識を知るための調査準備(アンケート作成)について学びます。				事前：アンケートの内容を検討する(4時間)事後：アンケートの作成と調査依頼をする(5時間)				
12	地域住民の防災意識	地域住民の防災意識を知るためのアンケート調査をおこないます。				事前：アンケート手順表を作成する(5時間)事後：結果の分析と集計をおこなう(5時間)				
13	地域住民の防災意識	アンケート調査の結果集計と分析をおこないます。				事前：集計と分析をおこなう(5時間)事後：報告書を作成する(5時間)				
14	地域防災組織との交流	アンケートの集計結果に基づいた地域防災組織の必要性、果たす役割、望まれる体制、防災訓練の実際について学びます(消防団の見学準備・訪問依頼)。				事前：消防団を調べる(4時間)事後：報告書を作成する(3時間)				
15	地域防災組織との交流	消防団を訪問して防災訓練の実際を学びます。				事前：見学依頼書を作成し依頼する(4時間)事後：報告書を作成する(3時間)				
16	地域防災組織との交流	消防団以外の地域防災組織、自治防災組織について学びます。				事前：防災組織を調査し報告書を作成する(4時間)事後：調査結果をまとめる(3時間)				
17	防災訓練	地域防災組織、自治防災組織による防災訓練に企画段階から参画します。				事前：訓練企画に参画する(5時間)事後：訓練計画案を作成する(3時間)				
18	防災訓練	防災訓練との協働と防災訓練に係る部門との調整について学びます。				事前：計画案を修正する(3時間)事後：計画書を作成する(3時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	防災訓練	防災訓練計画書に基づいた防災訓練を実施します。	事前：訓練計画を確認する（2時間）事後：報告書を作成する（3時間）
20	災害とボランティア	被災後の地域で何が求められるのかを調べます。	事前：調査をおこなう（5時間）事後：報告書を作成する（3時間）
21	災害支援とボランティア	被災地のニーズに基づいた災害支援ボランティア活動の実際を学びます（東日本大震災派遣松本大学ボランティア活動）。	事前：実践報告書を読む（2時間）事後：ボランティア活動をまとめる（3時間）
22	災害支援とボランティア	日本各地の被災地支援がどのようにおこなわれたのかを調べます。	事前：実践報告書を読む（4時間）事後：報告書を作成する（3時間）
23	災害支援とボランティア	被災地支援ボランティアを体験します（参加可能な場合）。	事前：支援を準備し活動計画書を作成する（5時間）事後：活動報告書を作成する（3時間）
24	災害と自治防災組織	防災士の果たす役割、地域防災組織との連携・協働による地域防災をありかたを調べます。	事前：地域防災組織を調査する（5時間）事後：報告書を作成する（3時間）
25	災害と自治防災組織	地域防災における防災士の果たす役割とそのあり方を研究します。	事前：防災士の役割を検討する（3時間）事後：役割をまとめる（3時間）
26	自治防災組織と防災士	自治防災組織と防災士の連携について研究します。	事前：連携を研究する（3時間）事後：防災組織案を作成する（3時間）
27	災害と地域防災組織1	災害時に機能する地域防災組織のあり方、防災訓練のあり方を研究します。	事前：地域防災組織と活動案を作成する（4時間）事後：防災訓練計画書を作成する（4時間）
28	災害と地域防災組織2	地域防災組織と協働した防災訓練（図上・実践）を実施し、その結果を分析します。	事前：訓練計画書の見直しと確認をおこなう（3時間）事後：実施報告書を作成する（3時間）
29	実践の検証	地域課題の解決にむけた一連の学び・実践を検証します。	事前：報告書を見直す（4時間）事後：研究報告書を作成する（4時間）
30	実践の検証	これまでの地域課題研究の成果をまとめます。	事前：研究報告書を作成する（4時間）事後：まとめ（5時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
適宜配布します。		出席レポート：30% 実技：30% 定期試験：40% 「防災士」資格の理念である自助・共助・協働の姿勢があるか、演習および訓練に求められる知識と技能を發揮しているかを総合的に判定します。 成績評価基準「S」レポート、演習と実技、定期試験のすべてが90%以上 「A」" 80%以上 「B」" 70%以上 「C」" 60%以上	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
適宜プリントを配布します。		履修は「防災士養成講座」を受講し認証試験に合格している者、あるいは地域防災に関心があり「防災士」の取得を目指している者に限定します。	

科目名	地域課題研究Dクラス		学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13306	研究室	A-02
担当者	大蔵 真由美		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：火曜日5限、水曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		健ス								
<b>授業概要</b>										
地域社会を支える人材の育成は地域社会の存続や発展にとって大きな課題です。地域の様々なひとづくり(教育)に関わる活動に参加することを通して、地域が抱える教育課題を発見することを目的とします。さらに、現在そして将来にわたり、教育を巡る課題の解決のためにできることは何かを考えることも目的とします。										
<b>学修到達目標</b>										
1.地域のひとづくり(教育)の活動に参加し、コミュニケーション力を高めようとする事ができる。2.地域のひとづくり(教育)の実際を知り、その意義や役割、特徴を理解することができる。3.地域のひとづくり(教育)を巡る課題について考えることができる。4.地域のひとづくり(教育)を巡る課題の解決に向けた取り組みの方法を考え、実行に結びつけていくことができる。										
<b>授業の進め方</b>										
講義とフィールドワークで学んだ内容を基にして課題を発見し、グループワークでは課題解決に向けた取り組み方法について考え、それらを実行に結び付けていきます。またプレゼンテーションや報告書などを通して学んだ内容を発信することも重視していきます。										
<b>授業計画(各回のテーマ等)</b> 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス1	授業内容及び授業の進め方を説明します。				シラバスを読み、授業全体のイメージを持つ(1時間)。				
2	地域とひとづくり(1)	松本市の地域における教育活動の現状について学びます。				松本市のHPを読む(1時間)。				
3	地域とひとづくり(2)	地域教育の意義や役割、特徴について学びます。				前時の復習、関連する資料を読む(1時間)。				
4	地域とひとづくり(3)	地域教育の意義や役割、特徴について体験を通して理解を深めます。				前時の復習、体験のまとめ(1時間)。				
5	地域とひとづくり(4)	地域のひとづくりを巡る課題について考察します。				前時の復習、課題のまとめ(1時間)。				
6	地域とひとづくり(5)	地域のひとづくりに関わる環境と歴史について学びます。				関連する資料を読む、学習内容をまとめる(1時間)。				
7	地域とひとづくり(6)	地域のひとづくりに関わる環境と歴史について学んだことをまとめ、考察を深めます。				前時の復習、関連する資料を読む(1時間)。				
8	地域とひとづくり(7)	地域と学校、家庭の連携の実践例を調べます。				前時の復習、実践例をまとめる(1時間)。				
9	地域とひとづくり(8)	信州型コミュニティ・スクールの実践例を調べます。				前時の復習、実践例をまとめる(1時間)。				
10	地域とひとづくり(9)	これまでに学んだことをもとに地域のひとづくりを巡る課題について考えを深め、今後の学習課題について話し合います。				これまでの学習内容をまとめる。(1時間)。				
11	地域とひとづくり(10)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組み方法を考えます。				前時の復習、課題解決の方法をまとめる(1時間)。				
12	活動参加の準備(1)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組みの準備をします。				前時の復習、準備が十分にできたかどうかの確認する(1時間)。				
13	活動参加の準備(2)	活動に参加する時に配慮する事項について学びます。				前時の復習、配慮事項についての確認する(1時間)。				
14	地域の自然環境を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。				活動の事前設定と片づけを行う(1時間)。				
15	地域の自然環境を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。				お礼状の作成と送付、活動メモの作成をする。(1時間)。				
16	地域の文化資源を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。				活動の事前設定と片づけ(1時間)。				
17	地域の文化資源を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。				お礼状の作成と送付、活動メモの作成(1時間)。				
18	中間報告の準備	これまでの活動内容についてまとめ、プレゼンテーションの準備をします。				前時の復習、プレゼンテーション内容の確認(1時間)。				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	中間報告会	これまでの活動内容についてまとめたことを発表します。	プレゼンテーションの役割分担、発表の振り返り(1時間)。
20	地域とひとづくり(11)	地域のひとづくりの巡る課題についての聞き取り調査を行います。	聞き取り調査を行うための注意点の確認、調査メモの整理(1時間)。
21	地域とひとづくり(12)	聞き取り調査の内容についてグループでまとめます。	前時の復習、調査内容のまとめ(1時間)。
22	活動参加の準備(3)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組みの準備をします。	体験の振り返り(1時間)。
23	地域の伝承文化を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	活動の事前設定と片づけ(1時間)。
24	地域の伝承文化を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	活動の事前設定と片づけ(1時間)。
25	地域の伝承文化を生かした取り組み(3)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	お礼状の作成と送付、活動メモの作成(1時間)。
26	報告書作成に向けた準備	これまでに地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなど、報告書にまとめる内容を考えます。	これまでの活動メモや調査メモの整理、報告書作成の見直しをもつ(1時間)。
27	報告書の作成(1)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめます。	報告書作成作業の進捗確認(1時間)。
28	報告書の作成(2)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめます。	報告書作成作業の進捗確認(1時間)。
29	報告書の作成(3)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめ、完成させます。	報告書作成作業の進捗確認、点検作業(1時間)。
30	まとめ	完成した報告書を読みあい、これまでの授業を総括します。	これまでの授業の復習(1時間)。
テキスト		成績評価の方法・基準	
必要に応じて適宜資料を配布します。		受講態度：50% 課題：50% 受講態度(授業・活動への意欲、理解度)、課題(中間報告、報告書等)を総合して評価します。 <評価基準> S:授業や体験に意欲的に参加し、地域の教育課題とその解決方法について自分なりの考えを論理的に説明できる。A:授業や体験に意欲的に参加し、地域の教育課題を説明できる。B:授業や体験に積極的に参加し、体験で学んだことを整理して説明できる。C:授業や体験に参加し、体験で学んだことを説明できる。	
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)	
「まちが変わる 若者が育ち、人が元気になる 松本大学がかかわった」白戸洋著(松本大学出版会) 「ローカルメディアのつくりかた」影山裕樹著(学芸出版社)		地域の教育に関する課題を解決する方法などについて、体験を通して考える授業ですので、意欲的な授業参加を期待しています。	

科目名	日本文化		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13401	研究室	W-26	
担当者	山根 宏文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>本授業では、日本で培われてきた芸能・文化芸術・自然観・食生活・住生活・建築・武道・宗教などを全般にわたって学び、日本文化の基礎知識を総合的に養います。ジャポニズムからディスカバー・ジャパン、クール・ジャパンなど日本文化ブームになっています。一過性ではなく、総合的に日本文化の豊かさ、真の魅力の理解を深めていきます。</p>											
学修到達目標											
<p>日本の文化、美意識を学び、暮らしの中に息づいている多くの文化に気付き、それを享受でき、説明することができる。さらに、日本人としての誇りを感じ、外国人にも伝えることができる。</p>											
授業の進め方											
<p>授業の最初に前回の講義のフィードバックをし理解を深めます。市販のテキストは用いず、独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。教室での講義になります。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価について案内します。					日本文化で魅力を感じるものとその要因について考える。(4時間)				
2	日本の美(自然・建築)	後世に残したい日本の美について扱います。(自然・建築・伝統文化・工芸など)					後世に残したい日本の美について考える。(4時間)				
3	日本の美(伝統文化)	後世に残したい日本の美について扱います。(自然・建築・伝統文化・工芸など)					後世に残したい日本の美について考える。(4時間)				
4	日本の伝統文化 華道	いけばなと日本人の自然観について述べます。					日本の伝統芸能についてどのようなものがあるか考える。(4時間)				
5	日本の伝統文化 茶道	「茶の文化 利休の心・42の教え」とホスピタリティについて述べます。					茶道から学ぶおもてなしの心について考える。(4時間)				
6	日本の伝統工芸と民藝	日本の工芸品と柳宗悦によって提唱された民藝運動について述べます。					身の周りにある生活雑器を探し、魅力を考える。(4時間)				
7	和食「和食の魅力とは」	古代から現在までの食文化と食生活を解説します。					食生活についての課題について考える。(4時間)				
8	日本の宗教 仏教と神道	仏教と神道についての考え方や日々の暮らしにある宗教行事について解説します。					各家庭の宗教と教えについて考える。(4時間)				
9	江戸文化と武士道	武士道と城下町・国宝の城について講義します。武士道では、今も息づいている日本人の精神性についてあるいは、ビジネスに活かせる宮本武蔵の思考を説明します。					武士道と言われ思いつくものを考える。(4時間)				
10	浮世絵とジャポニズム	なぜ、西洋画家が浮世絵を愛したのか 日本の美と文化について、モネやゴッホやエミール・ガレの作品をみながら解説します。					モネ・ゴッホについて調べる。(4時間)				
11	現代の日本文化 大衆文化	大衆文化として漫画文化について歴史から読み解きます。					漫画の魅力を考える。(4時間)				
12	現代の日本文化 農村文化	現代日本の生活文化 農村文化の魅力 について理解を深めます。					日々の生活文化について考える。農村文化の魅力について考える。(4時間)				
13	現代の日本文化 芸術振興(文化の活かし方)	文化の活かし方、楽しみ方について解説し、暮らしの中で文化芸術が活きるための施策について解説します。					自分自身の暮らしの中に活きている文化芸術についてあるものを考える。(4時間)				
14	現代の日本文化 芸術振興(芸術の活かし方)	文化の活かし方、楽しみ方について解説をし、暮らしの中で文化芸術が活きるための施策について解説します。					自分自身の暮らしの中に活きている文化芸術についてあるものを考える。(4時間)				
15	まとめ	日本文化の魅力についてのまとめをします。					全講義の復習をする。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
特になし。			<p>定期試験：70% 課題：30%</p> <p>S：授業内容を高度に理解し、提案力が特に優れている。</p> <p>A：授業内容を高度に理解し、探究心・提案力が優れている。</p> <p>B：授業内容をおおよそ理解し、探究心・提案力がある。</p> <p>C：授業内容をおおよそ理解し、探究心・提案力が60%程度である</p>								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特になし。			<p>あたりまえのような暮らしの中に、日本人の美意識が宿っています。この講義でそれらの多くからいくつかを選択して日本人としての美しい心と伝統芸能、伝統工芸について講義します。皆さんも日本の魅力を探してください。</p>								

科目名	異文化理解		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13402	研究室	A-08
担当者	和田 順一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業では、自分自身の文化と他者の文化を比べ、それらを意識することによって、どのように文化間において差が見られるか、英文等を通して理解していきます。その際に、それらの異文化間での違いについての事象を分類化して理解したり、その事象を具体化して自分自身のケースと比較することで理解していきます。これらにより、自身の文化をさらに意識していくと共に、他の文化に対し自文化の観点からのみ理解していくことを避ける考え方を身につけます。授業は全て英語で行われます。</p>										
学修到達目標										
異なる文化においてお互いを理解しあうために、英語で様々なことが理解できる。また文化を理解するために、自分自身の文化を考えながら、それとは異なる文化を知り、その価値観等を理解できる。										
授業の進め方										
学習内容に応じ、グループワークや講義形式、英語による発表など様々な形態で行います。また授業は英語で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス・文化とは	授業の進め方、異文化理解の考え方について。				異文化理解の概要について理解する。(4時間)				
2	文化とは 1	英文を読み、文化におけるMaterial CultureとNon-Material Cultureを理解します。				自身の文化におけるのNon-Material cultureについて具体的に理解を深める。(4時間)				
3	文化とは 2	英文を読み、文化におけるMaterial CultureとNon-Material Cultureを理解し、まとめます。				自身の文化におけるのNon-Material cultureについて具体的に理解を深める。(4時間)				
4	文化のルールと許容される行動 1	文化におけるnormsの考え方とその変化について例を取り上げ理解します。				自身の文化のNormsについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
5	文化のルールと許容される行動 2	文化におけるnormsの考え方とその変化について例を取り上げ理解し、まとめます。また調べたものについて発表します。				自身の文化のNormsについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
6	ステレオタイプ 1	ステレオタイプとはどのようなものであるかを例等から理解します。				ステレオタイプについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
7	ステレオタイプ 2	ステレオタイプとはどのようなものであるかを例等から理解し、まとめます。				ステレオタイプについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
8	メディアと文化 1	メディアによる考え方への影響について理解します。				メディアの自身の考え方、文化への影響を深く理解する。(4時間)				
9	メディアと文化 2	メディアによる考え方への影響について理解し、まとめます。				メディアの自身の考え方、文化への影響を深く理解する。(4時間)				
10	非言語コミュニケーション 1	非言語によるコミュニケーションの例を取り上げ、その影響等について理解をします。				非言語コミュニケーションの自文化と多文化の違いを深く理解する。(4時間)				
11	非言語コミュニケーション 2	非言語によるコミュニケーションの例を取り上げ、その影響等について理解をし、まとめます。				非言語コミュニケーションの自文化と多文化の違いを深く理解する。(4時間)				
12	時間の考え方 1	文化において時間に対する考え方が違うということについて例を取り上げ理解します。				文化間での時間の感覚の違いを深く理解する。(4時間)				
13	時間の考え方 2	文化において時間に対する考え方が違うということについて例を取り上げ理解し、まとめます。				文化間での時間の感覚の違いを深く理解する。(4時間)				
14	接触と空間 1	文化における空間と取り方や身体的接触について例を考え理解します。				身体的接触と空間の使用の仕方の文化差について深く理解する。(4時間)				
15	接触と空間 2	文化における空間と取り方や身体的接触について例を考え理解し、まとめます。				身体的接触と空間の使用の仕方の文化差について深く理解する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「This Is Culture」梶浦麻子・Gregory Goodmacher著TA/YK編(南雲堂) ISBN:978-4-5231-7489-9(生協で購入してください。)				<p>受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50%</p> <p>S:授業を高度に理解し、テーマに関し探究し課題に取り組み、教科書より難しい英語とテーマが理解できる。A:授業をよく理解し、テーマに関し探求し課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語とテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題を誠実にやり、教科書レベルの英語やテーマが理解できる。C:授業が理解でき、課題を誠実にやり、教科書の英語とテーマが理解できる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
特になし。				<p>授業は全て英語で行われます。復習とまとめ課題をして下さい。異文化の例等に対し偏見を持たないようにして下さい。原則、欠席は2回までです。授業では自分の意見を英語で言うなど積極的に取り組んでください。</p>						

科目名	比較文化			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	UL13403	研究室	E-18
担当者	松原 健二			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件	履修者が100名を大きく超えた時は抽選となる場合があります				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読書科目)						
		A	B	C							
授業概要											
アメリカ文化を代表とする欧米文化と日本文化を比較することによって、欧米的な考え方や欧米文化への理解を深めると共に、我々が親しんでいる日本文化を客観的に見直していくことをめざします。題材として、贈答・挨拶・食事・住居・買物など、日常生活上の身近なものを取り上げて進めていきます。											
学修到達目標											
自分たちが慣れ親しんでいる日本文化が、唯一絶対のものではないことを理解できる。また、言葉と文化の密接なつながりや、言葉の探求によって人々の生活様式や文化を類推できる。											
授業の進め方											
まず、「日米異文化間適応訓練」のクイズに取り組みます。その後、プリント教材を用いて講義を進めていきます。学習内容の理解を助けるために、スライドやビデオなどの視聴覚教材も利用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	文化とは/贈答習慣	人々の暮らしの中で、贈答というものが人間関係の潤滑油として機能している実態を学びます。そして日本人に多く見られる旅行土産について、その歴史的な成立過程を踏まえて考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
2	おごりと食事習慣	「おごる」行為の背後にある人間関係について考えます。また日常生活の中で非常にありふれた食事習慣の中に、異文化が潜んでいる事実を検証します。食器とプライバシーについても、考察します。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
3	挨拶	挨拶というものが、文化により、性別により、また時代により違いが認められるものであることを学びます。日本語と英語の挨拶言葉の違いから、その背後にある、社会における人間関係の違いを考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
4	客/人格構造の比較	社会における人間関係や、家族間の人間関係を、「人間関係のベクトル」の観点から考えます。そして三重の同心円のモデルを使って、日本人とアメリカ人の人格構造の違いを比較します。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
5	家と住まいの文化論	アメリカ開拓史についてその概要を学び、17世紀初頭に開拓者たちがどのようにして住宅建築をしたのかを学びます。そして、伝統的な日本の住宅とどのような違いがあるのかを、検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
6	家と住まいの文化論	建築工法や建築材料によって、窓の造形に違いが生まれることを学びます。石造りの建築においてアーチ様式が生まれた理由や、ドームへの発展、気候風土と建築様式の関連性についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
7	エチケット/羞恥心	羞恥心の感じ方は、文化の影響を受けていることを学びます。そしてその違いがエチケットという社会規範に影響していることを検証して行きます。中国に生まれた纏足という珍しい文化についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
8	事故と謝罪(1)	謝罪言葉と責任の所在という問題について、日米を比較しながら考えます。題材として「えひめ丸事故」を取り上げ、米側からの謝罪がなぜ長い期間行われなかったのかという問題を、文化的視点から考えます。					えひめ丸事故について調べる/授業プリントの復習(4時間)				
9	事故と謝罪(2)	謝罪行動の日米での違いを、「ファイアストンタイヤ破裂事故」を題材にして考えます。フォード社とプリヂストン社の対応の違いは、深い文化的な問題に根ざすものであることを学びます。					「ファイアストンタイヤ破裂事故」について調べる/授業プリントの復習(4時間)				
10	結婚と離婚の国際比較	初婚年齢や婚姻率の国際比較から、結婚というものを取り巻く諸文化を学びます。また日本における結婚は伝統的に「家と家」の結びつきである歴史が長かった実態も検証します。また離婚についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
11	おつりの比較文化論	日本では、おつりは引き算で渡されますが、欧米では足し算で渡されていることを学びます。そしてこの社会習慣の違いの背景には、売り手と買い手の間の信用関係が深く関係していることを検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
12	決済方法の比較文化論	決済方法の選択にも、売り手と買い手の間の信用関係が深く関係していることを学びます。そして、この問題が小切手や口座振替の普及率と密接に関連していることを検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
13	広告の比較文化論	同じメーカーの洗顔クリームを題材にして、日米の広告を比較します。広告の仕方やキャッチフレーズの違いの背景には、売り手側の会社と買い手側の消費者との人間関係の捉え方の違いがあることを学びます。					Culture Assimilatorの予習/同一商品の広告を、日米で比較する。(4時間)				
14	個人と集団の関係	童話「アリとキリギリス」を題材に、日本では従来、異文化的改変が施された翻訳が広く読まれていた実態を検証します。そして、社会における個人と集団の関係が、日本と欧米では大きく異なることを学びます。					家にあるインソップ童話を調べる/意図的な改変が施された翻訳事例を調べる。(4時間)				
15	まとめ	今までの14回の講義の中で最も印象に残った講義の一つを取り上げ、「講義前の考え」「講義で学んだこと」「講義の後の考え」という構成でまとめる。					授業で配布されたプリントを見直し、半期で学んだことを整理しておく。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
独自のプリント教材を作成し、毎回の授業で配布します。						受講態度:30% レポート:70% S:探求心を持って授業に参加し、各回の講義で学んだことを正しく理解し、課題に対して自分なりの解決方法を見つけ出すことができる。A:探求心を持って授業に参加し、各回の講義で学んだことを正しく理解し、課題に対して解決方法を見つけ出すことができる。B:授業に参加し、各回の講義で学んだことを理解し、課題に対して解決方法を考えることができる。C:授業に参加し、講義で学んだことを理解し、課題に対して解決方法を探ることができる。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
なし						この講義では、異文化衝突の場面において、どのような問題があり、いかなる解決方法があるかを考えてもらいます。「課題解決能力」					

科目名	文化人類学	学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL33404	研究室	C-7	
担当者	福島 智子	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日2限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
	A	B	C							
授業概要										
異文化を知ることで自らを確認し、その上で両者を相対化しうる感受性を多少でも身につけること。これが本講義のめざすところです。あたりまえの世界を疑い、文化とは何かを考えます。文化人類学は難しい学問ではありません。抽象度の高い理論についても触れますが、基本的には身近にある(「理由はわからないけど、そうなっている」)事例を捉えなおしてみることが重要です。内容については講義計画を参考にしてください。										
学修到達目標										
自身が属する集団(地域社会、日本)の文化を理解し、異文化を学ぶことで自文化を相対化できる。										
授業の進め方										
講義形式で行います。講義で学んだ視点から各自の生活を振り返ってもらうため、講義後に小レポートを課す場合があります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	文化人類学とは	文化人類学とは何か概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
2	文化相対主義と自文化中心主義	文化の捉え方である文化相対主義と自文化中心主義について概説します。					事例研究として各自リサーチする。(4時間)			
3	文化相対主義とFGM	事例研究としてFGM(Female Genital Mutilation)を取り上げます。					ドキュメンタリー映像に対する意見をまとめる。(4時間)			
4	神話(1)	神がこの世を作る話である神話(物語)の構造について学びます。					具体的な神話を取り上げ、調べる。(4時間)			
5	神話(2)	神話の具体的な事例を紹介します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
6	信仰と世界観(1)	世界宗教と民族宗教、一神教と多神教など、宗教の分類について学びます。					配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
7	信仰と世界観(2)	呪術とは何か、その定義、分類、目的を学びます。					配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
8	信仰と世界観(3)	妖術とは何か、その定義、分類、目的を学びます。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)			
9	信仰と世界観(4)	日本人の宗教観の特徴について概説します。					配布資料の要点をまとめる。(4時間)			
10	通過儀礼	人が一生のうちに経験する通過儀礼とは何かを学びます。					授業中に配布する課題プリントを取り組む。(4時間)			
11	文化と身体(1)	葬送儀礼について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
12	文化と身体(2)	事例研究として特定の地域の葬送儀礼を取り上げます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
13	病気と治療の文化人類学：総論	病気と治療をテーマとした文化人類学について概説します。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
14	病気と治療の文化人類学：各論	特定の地域の治療実践を、文化人類学の観点から紹介します。					授業中に配布する課題プリントを取り組む。(4時間)			
15	まとめ	講義全体のまとめ					総復習(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
さまざまな具体的事例を通して考えるという科目の特性からテキストは指定せず、プリントと資料を配布します。		定期試験：60% 課題：40% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「文化人類学」波平恵美子編(医学書院)		同一テーマで講義が続いている場合は欠席しないように心がけてください。毎回の講義終了前に、次回講義の概要について説明します。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。								



科目名	音楽の歴史と鑑賞			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33405	研究室	A-19
担当者	安藤 江里			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日5限、木曜日2限、木曜日5限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A B C									
授業概要											
西洋音楽史を中心にどのように音楽文化が発展してきたのか、また日本の伝統文化や西洋から影響を受けた現代日本の音楽界の現状について各回のテーマを取り上げます。邦楽と洋楽の音律や様式、楽器の違いなど、講義と鑑賞及び実演体験を通して音楽の多様性について理解し感じ取り学んでいく授業です。さらにグループで興味ある作曲家や楽曲を紹介し合い共有します。											
学修到達目標											
各回のテーマに沿ってそれぞれの時代や地域を代表する楽曲を鑑賞したり演習したりしながら、時代の流れと共に音楽がどのように発展し人間の生活と関わっているのかについてまとめレポートすることができることです。また自分の興味のある作曲家や楽曲について紹介することができることです。											
授業の進め方											
毎回テーマに沿ってパワーポイントで時代背景や楽曲様式の特徴、聴く観点等を説明し、課題ワークシートにキーワードを記入しながら鑑賞します。歌ったり楽器に触れたり能動的な活動も取り入れます。作曲家新聞の作成とプレゼンテーションを行います。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス 音楽の始まり	授業の進め方についての説明と自己紹介を含めたアンケートを記入します。音楽の始まりとして古代ギリシャから中世、ルネッサンスの音楽を紹介し、グレゴリア聖歌を歌います。					自分の生活における音楽の意味について考えてくる。（4時間）				
2	バロックの音楽	楽器の発達やバロック期の作曲技法について学び、ピバルディ、バッハ、ヘンデルの楽曲を取り上げ鑑賞します。					バロック音楽を聴き感想をまとめる。（4時間）				
3	ウィーン古典派の音楽	ハイドン、モーツァルトの器楽曲からソナタ形式について学びます。またオペラについても触れます。					ウィーン古典派の音楽を聴き、感想をまとめる。（4時間）				
4	古典派の音楽～交響曲	ベートーベンの交響曲を鑑賞し、第九の合唱部分をドイツ語で歌います。					第九の練習と古典派の音楽を聴き感想をまとめる。（4時間）				
5	ロマン派の音楽～歌曲	ロマン主義について取り上げシューベルト、シューマン等の歌曲を中心に鑑賞します。					ロマン派の歌曲を聴き、感想をまとめる。（4時間）				
6	ロマン派の音楽～器楽曲	標題音楽と交響詩や、サロン文化などに触れ、ブラームス、リスト、ショパン等の器楽曲を中心に鑑賞します。					ロマン派の音楽を聴き、感想をまとめる。（4時間）				
7	オペラ	イタリアオペラからワーグナーの楽劇までを概観します。					作曲家新聞の構想を練り資料を集める。（4時間）				
8	バレエ音楽	チャイコフスキーの3大バレエ曲を中心に鑑賞します。					作曲家新聞を作成する。（4時間）				
9	国民楽派その他	様々な国を代表する国民楽派や民族主義の作曲家と代表曲を紹介します。作曲家新聞をグループで発表します。					国民楽派の音楽を聴き、感想をまとめる。（4時間）				
10	印象派 フランス音楽	ドビュッシーを中心に、フォーレ、ラベルの楽曲を絵画や文学と関連させて鑑賞します。作曲家新聞をグループで発表します。					印象派の音楽を聴き、感想をまとめる。（4時間）				
11	20世紀の音楽 無調音楽	新ウィーン楽派やストラヴィンスキーなどから調性の崩壊と12音技法の音楽を紹介し、					現代音楽を聴き、感想をまとめる。（4時間）				
12	アメリカ音楽	ジャズ、ポップ、ロック、ラテン音楽を鑑賞し体験します。					ジャズやロックを聴き、感想をまとめる。（4時間）				
13	日本の伝統文化について (1)古代から安土桃山	雅楽、能、狂言と宗教や政治との関わりについて概観し鑑賞します。笙、箏などの和楽器体験や謡いにも挑戦します。					最終レポートの準備、資料を集める。（4時間）				
14	日本の伝統文化について (2)江戸時代	琴、尺八、三味線などの和楽器の体験と共に文楽や歌舞伎を鑑賞し簡単な場面の演習を行います。					最終レポートを作成する。（4時間）				
15	現代の日本音楽とまとめ	明治以降の西洋音楽の影響を受けた日本の音楽教育や現代曲を鑑賞し、総括します。					総復習と最終レポートを完成させる。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準							
適宜プリントを配布します。				受講態度：50% レポート：50% S:意欲的に課題に取り組み、学習内容をすべて理解し文章表現できる。A:意欲的に課題に取り組み、学習内容を概ね理解し文章表現できる。B:意欲的に課題に取り組み、学習内容をまとめることができる。C:課題に取り組み学習内容をまとめることができる。							
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「音楽史を学ぶ 古代ギリシャから現代まで」久保田慶一 他著久保田慶一編（教育芸術社） ISBN：948-4-87788-788-9 「もう一度学びたいクラシック」西村理 監修著（西東社）				CDやDVDを鑑賞しながら、実際歌ったり演奏もします。私語を慎み、意欲的に読んでください。毎回プリントを配布しますので自己管理してください。							

科目名	海外研修		学年学期	1・2・3・4年通年	単位数	2	ナパリング	UL13406	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：火曜日3限 後期：火曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
本授業は、事前学修、現地研修、事後学修から構成されています。事前学修では、「研修目的」、「研修先調査」、「わが町紹介」の3つのテーマでのプレゼンや英語集中学修(Survival English)を行います。なお、プレゼンは日本語と英語で行います。現地研修先は、神奈川県湘北短期大学との共催によるニューカッスル大学(オーストラリア)での語学・文化体験研修です。また、授業外学修では「English Cafe」や「E-Learning」での学修、現地研修終了後の事後学修では報告書とレポートを作成します。										
学修到達目標										
学修到達目標は、異文化について学び、異文化の相手を尊重しつつ自分の考えを明確に相手に伝えることができる。また、プレゼンテーションや英語学修を通して、コミュニケーション能力を育成する、です。										
授業の進め方										
事前学修と事後学修は、座学による授業と双方向型授業を組み合わせで行います。また、授業日時は不規則で、外部講師による土曜・日曜授業もあります。下記の授業計画は参考です。現地研修の内容や費用は開講時に提示しますが、人数制限をする場合があります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要と現地研修先の紹介	本授業の特徴と、現地研修先であるオーストラリアのニューカッスル大学のプログラムに関して説明します。				各自の留学目標や抱負についてまとめ、プレゼンテーションの準備をします。(1時間)				
2	プレゼンテーション(留学の目標)	履修者各自の留学の目標を設定し、整理する。また、各自の留学目標をレポートにまとめるとともに、パワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。(1時間)				
3	プレゼンテーション(留学の抱負と期待)	履修者各自の留学への抱負を整理する。また、各自の留学の抱負と期待をレポートにまとめるとともに、パワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。(1時間)				
4	プレゼンテーション(研修先の政治・経済)	各自で研修先の政治、経済などについて調べ、10分程度の報告に整理してパワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。(1時間)				
5	プレゼンテーション(研修先の社会・文化)	各自で研修先の社会や文化などについて調べ、10分程度の報告に整理してパワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。(1時間)				
6	渡航準備と危機管理	渡航の準備状況を確認し、渡航時と留学先での様々なリスクについて説明します。				外務省のホームページで海外のリスク状況を確認し、「たびレジ」等に登録します。(1時間)				
7	プレゼンテーション(日本社会の紹介)	10分程度で日本社会についてを英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。(1時間)				
8	プレゼンテーション(長野県の紹介)	10分程度で長野県の産業や文化について英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。(1時間)				
9	プレゼンテーション(わが町紹介)	10分程度、自分が住んでいる町を英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。(1時間)				
10	サバイバル・イングリッシュ(挨拶)	挨拶などの会話能力をアクティブラーニングにより育成します。また、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
11	サバイバル・イングリッシュ(買い物)	アクティブラーニングを通して、買い物の際に必要な会話を学修します。また、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
12	サバイバル・イングリッシュ(交通)	アクティブラーニングを通して、目的地に行くための会話について学修します。また、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
13	サバイバル・イングリッシュ(病気)	アクティブラーニングを通して、病気になった場合の会話について学修します。また、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
14	サバイバル・イングリッシュ(各種テーマ)	アクティブラーニングを通して様々なテーマで会話し、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
15	体験報告	日誌、報告書の提出と、それに基づく各自の課題・研修目的、成果についてのパワーポイントでの発表。相互に評価をおこない、発表力の向上を図ります。				日誌、報告書の提出準備と発表準備。体験報告を英語で準備する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。また、適宜、プリント等の資料を配布します。				受講態度：50% レポート：30% 実技：20% 「受講態度」にはプレゼンテーション等、「レポート」には課題レポートや報告書、「実技」には現地研修の修了書が含まれます。また、評価「S」は、外国語と日本語で円滑なコミュニケーションや発表ができる。評価「A」は、外国語と日本語で伝えたいことを明確に伝えることができる。評価「B」は、外国語と日本語で伝えたいことを伝えることができる。評価「C」は、外国語と日本語で簡単な内容を伝えることができる。以上が目安です。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
現地の教室で配付されるプリント、各種案内パンフレットなどを使用します。				本授業では、海外での研修も行われることから多くのリスク(危険)が想定されます。そこで、現地研修の参加の可否については、受講状況に加えて、必要に応じてゼミ担当教員や語学教員等の意見を参考に決定します。						

科目名	海外研修		学年学期	1・2・3・4年通年	単位数	2	ナパリング	UL13407	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：火曜日3限 後期：火曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります) 海外研修				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本授業は、「海外研修」同様、事前学修、現地研修、事後学修の3つの部分で構成されています。事前・事後学修については「海外研修」を参照してください。現地研修先は、英国(Aberystwyth Uni.)、カナダ(Thompson Rivers Uni.)、オーストラリア(Australian Catholic Uni.)、台湾(義守大学)などです。研修では2~5週間程度現地の家庭や大学寮に滞在し、語学力の向上と異文化理解を深めます。また、事前学修では、English CafeやE-Learningでの学修を必修とします。										
学修到達目標										
本授業では、異文化の相手を尊重しながら自分の考えを明確に伝えることを教育目的にします。また、外国人との交流を通してプレゼンテーション力やコミュニケーション力の向上を図り、企業が求めるグローバル・コンピテンスの育成を目指します。したがって、到達目標は、下記の評価基準に従って「英語と日本語で異文化の人たちと円滑なコミュニケーションがとれる」です。										
授業の進め方										
事前学修と事後学修は、座学による授業と双方向型授業を組み合わせで行います。また、授業日時は不規則で、外部講師による土曜・日曜授業もあります。下記の授業計画は参考です。現地研修の内容や費用は開講時に提示しますが、人数制限をする場合があります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要と現地研修先の紹介	本授業の特徴と、現地研修先である大学等のプログラムに関して説明します。				各自の留学目標や抱負についてまとめ、プレゼンテーションの準備をします。(1時間)				
2	プレゼンテーション(留学の目標)	履修者各自の留学の目標を設定し、整理する。また、各自の留学目標をレポートにまとめるとともに、パワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。(1時間)				
3	プレゼンテーション(留学の抱負と期待)	履修者各自の留学への抱負を整理する。また、各自の留学の抱負と期待をレポートにまとめるとともに、パワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。(1時間)				
4	プレゼンテーション(研修先の政治・経済)	各自で研修先の政治、経済などについて調べ、10分程度の報告に整理してパワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。(1時間)				
5	プレゼンテーション(研修先の社会・文化)	各自で研修先の社会や文化などについて調べ、10分程度の報告に整理してパワーポイントで報告します。				各自がパワーポイントでの報告の準備をします。(1時間)				
6	渡航準備と危機管理	渡航の準備状況を確認し、渡航時と留学先での様々なリスクについて説明します。				外務省のホームページで海外のリスク状況を確認し、「たびレジ」等に登録します。(1時間)				
7	プレゼンテーション(日本社会の紹介)	10分程度で日本社会についてを英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。(1時間)				
8	プレゼンテーション(長野県の紹介)	10分程度で長野県の産業や文化について英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。(1時間)				
9	プレゼンテーション(わが町紹介)	10分程度、自分が住んでいる町を英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。				各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。(1時間)				
10	サバイバル・イングリッシュ(挨拶)	挨拶などの会話能力をアクティブラーニングにより育成します。また、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
11	サバイバル・イングリッシュ(買い物)	アクティブラーニングを通して買い物の際に必要な会話を学修します。また、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
12	サバイバル・イングリッシュ(交通)	アクティブラーニングを通して目的地に行くための会話について学修します。また、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
13	サバイバル・イングリッシュ(病気)	アクティブラーニングを通して病気になった場合の会話について学修します。また、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
14	サバイバル・イングリッシュ(各種テーマ)	アクティブラーニングを通して様々なテーマで話し、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。				授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。(1時間)				
15	体験報告	日誌、報告書の提出と、それに基づく各自の課題・研修目的、成果についてのパワーポイントでの発表。相互に評価をおこない、発表力の向上を図ります。				日誌、報告書の提出準備と発表準備。体験報告を英語で準備する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。また、適宜、プリント等の資料を配布します。				受講態度：50% レポート：30% 実技：20% 「受講態度」にはプレゼンテーション等、「レポート」には課題レポートや報告書、「実技」には現地研修の修了書が含まれます。また、評価「S」は、外国語と日本語で円滑なコミュニケーションや発表ができる。評価「A」は、外国語と日本語で伝えたいことを明確に伝えることができる。評価「B」は、外国語と日本語で伝えたいことを伝えることができる。評価「C」は、外国語と日本語で簡単な内容を伝えることができる。以上が目安です。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
現地の教室で配付されるプリント、各種案内パンフレットなどを使用します。				本授業では、海外での研修も行われることから多くのリスク(危険)が想定されます。そこで、現地研修の参加の可否については、受講状況に加えて、必要に応じてゼミ担当教員や語学教員等の意見を参考に決定します。						

科目名	海外事情	学年学期	1・2・3・4年前期	単位数	2	ナバリング	UL13408	研究室	E-10	
担当者	糸井 重夫	必修選択	選択	科目種別	講義	ワイズア-	火曜日3限			
関連資格				履修条件	(集中講義となります)					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
	A	B	C							
授業概要										
本授業は、海外の協定校等の教員が、自国の政治・経済・社会・文化などについて講義する授業です。今年度は、中山大學(中華人民共和国)の先生、義守大学(台湾)の先生が講義する予定です。現代社会は、他国との相互依存関係が政治的にも経済的にも、また文化的にも深化してきていますので、隣国の社会や日本とのかかわりを理解することはとても重要です。開講時期は8月5日(月)~10日(土)を予定しています。また、授業内容の詳細は開講時に提示します。										
学修到達目標										
本授業の到達目標は、「国際社会に目を向け、国際社会の一員としての日本の立場について学ぶとともに、特に中国や韓国などのアジア地域における日本の立場について自分の意見を説明できる」ことです。授業では、毎回簡単なレポートを提出しますので、文章力や表現力、「論理的思考」や「コミュニケーション力」の育成も図ります。										
授業の進め方										
授業は日本語による集中講義形式で行われます。また、時期は夏休みの1週間程度を予定しています。授業は、授業計画に従って進められますが、担当者や内容、順番等については変更になる可能性があります。変更等については随時連絡します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業の概要	授業の概要説明と講師紹介、並びに協定校の嶺南師範学院と台湾の協定校の義守大学、韓国の東新大学等の紹介を行います。					ICTを活用し、指示されたプリントで講義内容を予習すること。(4時間)			
2	中国社会(歴史)	前半の7回は「中国の事情」を講義します。ここでは、中国社会の現状を歴史的な視点を含めて解説します。					配布プリント等を参考に中国近代史について把握する。(4時間)			
3	中国社会(現状)	ここでは、中国社会の現状を説明します。特に、生活、流行、等、文化的な面を取りあげます。					配布プリントやインターネット等により授業内容の理解を深め、発表の準備する。(4時間)			
4	中国経済(現状)	中国の経済状況について説明します。中国の経済は成長著しい状況にありますが、格差の問題等、様々な経済的な問題を抱えています。これらについて説明します。					配布プリントやインターネット等により授業内容を確認し、日本の状況も整理する。(4時間)			
5	中国経済(将来)	中国の人口は今後減少に転じ、日本以上の少子高齢化社会になることが懸念されています。ここでは、中国経済の将来について考えていきます。					現存する日中間の課題について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
6	中国の教育(制度)	中国の教育制度について解説します。また、中国の高等教育改革の現状について説明します。					わが国の高等教育についてその課題を調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
7	日中の教育比較	中国と日本の教育制度や教育内容の比較を通して、高等教育の在り方を考えます。また、受講者にも学生時代に何をしておくべきかを考えてもらいます。					受講者各自が、学生生活に関するレポートを作成する。(4時間)			
8	まとめ	これまでの講義のまとめを行います。また、質疑応答を通して中国の実情の理解を深めます。					中国について理解したこと、考えたことについてレポートにまとめる。(4時間)			
9	台湾の歴史	台湾と日本との関係史について講義します。また、台湾と中国との関係についても言及します。					配布プリント等で授業内容を確認し、理解を深める。(4時間)			
10	日本統治以後の台湾	日清戦争以後の台湾の歴史について概観し、日本との結びつきについて考えます。					台湾社会の歴史について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
11	台湾社会の現状と将来	戦後の対中関係を踏まえた歴史について概観し、今後を展望します。					台湾と中国との関係について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
12	台湾の社会と教育	現代の台湾社会や若者の動向について概観するとともに、台湾の教育について整理する。					台湾は親日派が多い国として有名だが、その理由について考える(4時間)			
13	多様性の台湾	台湾は10を超える部族が共存する社会であるが、このような他部族国家台湾の部族政策等について考える。					台湾部族の独自性の維持、保護・支援政策について調べ、整理する(4時間)			
14	台湾の文化と宗教	台湾は原住民の文化、日本の文化、中国の文化が混在する国であるが、台湾文化の独自性や生活に溶け込んでいる宗教観について調べ、整理する。					日本のアイヌ民族や沖縄の問題について調べ、レポートに整理する。(4時間)			
15	日台中の諸問題	これまでの授業内容を参考にして、中国、台湾、日本の教員と学生諸君がいくつかのテーマを出し合い、議論をします。					議論内容をレポートとして提出する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
プリント等を配布します。		出席レポート：50% レポート：20% 受講態度：30% 本授業での受講態度は、留学生等との積極的な意見交換や、自分の意見の発表を含みます。評価の目安は次のようになっています。「S」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて論理的に整理した内容で意見交換ができる。「A」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて意見交換ができる。「B」は、授業内容を理解し、自分の意見を述べる事ができる。「C」は、授業内容をある程度理解して、自分の意見を述べる事ができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
プリント等を配布します。		本授業は海外の大学の教員との連携授業です。従って、本務校の事情や本学の学生の事情により、お願する講師の変更や開校日の日程が変更になることもあります。日程変更等は掲示等で随時連絡します。								

科目名	海外事情		学年学期	1・2・3・4年後期	単位数	2	ナパリング	UL13409	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本授業は、本学の教員と海外の協定校等の教員が、自国の政治・経済・社会・文化などについて講義する授業です。今年度は、協定校である台湾の義守大学の教員2名が担当する予定です。授業は、1名が観光関連の内容の授業を英語で、1名が台湾の歴史や文化、社会についての授業を日本語で行います。英語での授業は、ゆっくりとした分かりやすい授業で、必要に応じて英語の言い回しや文法等も学修します。										
学修到達目標										
本授業の到達目標は、「国際社会に目を向け、国際社会の一員としての日本の立場について理解することと、日本と国際社会の関係について自分の意見を持ち、これを表現できること」です。また、アジアの諸国の歴史を通して米国や欧州の知識を深め、興味を持つことも目標としています。授業では、毎回簡単なレポートを提出しますので、「論理的思考」の育成も図ります。										
授業の進め方										
授業は集中講義形式で行われます。また、時期は2月上旬の1週間を予定しています。授業は、授業計画に従って進められますが、担当者や内容、順番等については変更になる可能性があります。変更等については随時連絡します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	台湾の歴史(概論)	原住民時代、オランダ占領時代、明鄭統治時代、滿清支配時代、日本統治時代、中華民国統治時代、南京国民政府、台湾国民政府、民主化後について説明します。				講師が所属する国や大学、台湾の歴史等について調べ、整理します。(4時間)				
2	日本統治後の台湾	台湾が本格的に開発された日本統治時代以降について説明します。特に、「農業は台湾、工業は日本」と分担することを目的にした台湾農業振興策について説明します。				授業内容を整理し、レポートにまとめるとともに、日本と魚地時代を調べます。(4時間)				
3	台湾社会の現在と将来	台湾は日本以上の少子高齢化が進んでおり、その対策として多くの外国人労働者を受け入れてきた。現在は中国の影響が増してきており、国際的な独立国としての存続が難しい状況にある。				台湾社会を調べ、他国との国際関係について整理します。(4時間)				
4	台湾の教育	台湾の教育制度について説明します。台湾では172大学院校が高等教育を提供しており、毎年14万人が1~2月の全国統一試験を経て高等教育を受けます。このような台湾の現状を説明します。				台湾の教育制度と状況を調べ整理します。(4時間)				
5	多様性の台湾	台湾は移民国家です。多くの台湾人は、400~500年もの間助け合い、互いに学びあう精神移民の精神を大切に、原住民と共に「フォルモア(癒しの島)」を築いてきました。これを説明します。				台湾の原住民について調べ、整理します。(4時間)				
6	台湾の文化と宗教	台湾では、様々な民族が共存していることから多くの宗教があり、また多くの文化が根づいています。授業では、台湾の様々な宗教と文化について説明します。				台湾の宗教について調べ、整理します。(4時間)				
7	総まとめ	これまでの授業内容である、台湾の歴史と文化、民族多様性について再整理し、台湾についての印象等、受講者相互で発表し、意見交換します。				これまでの授業を振り返り、自分の意見をまとめます。(4時間)				
8	観光とホスピタリティ	観光とホスピタリティについて概念的な説明をします。				観光業とホスピタリティについて調べ、整理します。(4時間)				
9	台湾の観光地と世界遺産	世界遺産について考えます。問題点、課題について整理するとともに台湾の観光地を紹介します。				世界遺産の制度について調べ、整理します。(4時間)				
10	台湾の観光地の魅力	台湾の観光地の魅力を写真、スライドなどを使用して説明します。				台湾の観光地について調べ、整理します。(4時間)				
11	台湾の原住民と博物館	台湾には10を超える原住民が暮らしています。原住民の文化を知らせる博物館などの施設は台湾の文化を理解するうえで大変重要です。授業では、台湾の博物館や美術館について説明します。				台湾の原住民について調べ、整理します。(4時間)				
12	台湾の博物館と美術館	台湾には中国大陸の文化を継承した文化が台湾の北部を中心に残っています。授業では、台湾における中国大陸の文化を継承している博物館や美術館について説明します。				大陸文化の継承について、台湾北部の博物館や美術館について調べ、整理します。(4時間)				
13	台湾の寺院と宗教	台湾は多宗教社会であり、様々な寺院が混在しています。この寺院も重要な観光資源です。授業では、このような台湾を代表する寺院について説明します。				台湾の宗教と寺院の特徴について調べ、整理します。(4時間)				
14	台湾の映画産業と観光	台湾には映画撮影で使用されたり題材になる場所が数多くあります。授業では、そのような場所と観光について整理します。				どのような映画で台湾が使用されたのかを調べ、整理します。(4時間)				
15	総まとめ	これまでの授業を振り返り、再度ポイントを整理します。				議論内容についてレポートに整理する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
プリント等を配布します。				出席レポート：50% レポート：20% 受講態度：30% 本授業では、提出された出席レポートを中心に総合的に評価します。評価の目安は次のようになっています。「S」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて論理的に整理した内容で意見交換ができる。「A」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて意見交換ができる。「B」は、授業内容を理解し、自分の意見を述べるができる。「C」は、授業内容をある程度理解して、自分の意見を述べるができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
プリント等を配布します。				本授業は、台湾の義守大学の教員2名が担当する授業です。授業は英語と日本語で実施されますので、台湾や海外に興味があり、留学前や留学後で英語のスキルアップを図りたい学生は是非参加してください。						

科目名	数学の基礎（人間・教育）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13501	研究室	S-03
担当者	木藤 伸夫・丸山 文男		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格					履修条件	履修者上限数を80名とします。				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
どちらかという数学は苦手だったという学生を対象に、数学に興味を持てるような、論理的にものを考える習慣を身につけることができる講義にしたいと考えています。管理栄養士として必要とされる数学力は、濃度計算やモル計算など基本的な数と式の計算、データを分析する力、そして統計学とされています。例題の解説と演習形式の授業を通して、実践的な計算力やデータの解析力を身につけるとともに、後期に開講される基礎統計学の基礎となる数学力を身につけます。										
学修到達目標										
数学に対する苦手意識の克服と、数学に興味を持ち、論理的に考える習慣を身に付けることを講義の目的、到達目標とします。また、演習問題として、SPIの非言語分野の問題や、就職時に課せられる数理系の試験問題を選んでるので、これらの問題を解くことによって就職試験に対応できる力も身につけましょう。										
授業の進め方										
紙に書いて考える、問題を解く、得意な問題は他の人に教えるなど、学生が能動的に関与する演習型講義です。配布するプリントの問題を解きながら、論理的思考に慣れ、あわてずに完全に理解、納得してから先に進むようにします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	数と式(1)	基本的な計算問題を解きます（平方根、累乗根、指数、対数の計算など）。				授業プリントを復習し、課題を行う。（4時間）				
2	数と式(2)	基本的な計算問題を解きます（式の計算と展開、因数分解、分式・無理式の計算など）。				授業プリントを復習し、課題を行う。（4時間）				
3	方程式と不等式	基礎的な1次、2次方程式、不等式を解きます。				授業プリントを復習し、課題を行う。（4時間）				
4	計算力を身につける（1）	身近な問題・課題を自分の言葉で言い換えて数式にする。実際にSPI問題（割合と比の計算、濃度計算）を解いてみよう。				授業プリントを復習し、課題を行う。（4時間）				
5	計算力を身につける（2）	身近な問題・課題を自分の言葉で言い換えて数式にする。実際にSPI問題（損益計算、分割払い、料金割引など）を解いてみよう。				授業プリントを復習し、課題を行う。（4時間）				
6	計算力を身につける（3）	身近な問題・課題を自分の言葉で言い換えて数式にする。実際にSPI問題（仕事算、水槽問題、表の読み取り問題など）を解いてみよう。				授業プリントを復習し、課題を行う。（4時間）				
7	計算力を身につける（4）	身近な問題・課題を自分の言葉で言い換えて数式にする。実際にSPI問題（速さの計算、旅人算、流水算、通過算など）を解いてみよう。				授業プリントを復習し、課題を行う。（4時間）				
8	集合と論理的な考え方	集合の考え方を復習し必要条件、十分条件、命題の真偽など、集合を使った論理的な考え方に対するアレルギーを克服しましょう。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直す。（4時間）				
9	データの分析	データの散らばりやデータの相関など、データ分析の基本を学び、統計処理に必要な基礎力を身につけます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直す。（4時間）				
10	場合の数	数え上げの基本、樹形図を使えるようになりましょう。また、集合を使った数え上げにも慣れてもらいます。SPIに出題される問題を解き、苦手意識をなくしましょう。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直す。（4時間）				
11	順列・組合せ	順列の公式、組合せの公式の使い方を習得します。また、順列・組合せを応用した、様々な問題の解法に取り組みます。SPIに出題される問題も解いてみます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直す。（4時間）				
12	確率の基本	確率とは何か、確率の意味や考え方とその基本的な法則を復習し、実際に問題を解いてみます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直す。（4時間）				
13	確率	SPIに出題される問題を例に、確率問題の解法に慣れます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直す。（4時間）				
14	確率と統計	確率分布や確率変数に慣れ、統計学の基礎を身につけます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直す。（4時間）				
15	推論・資料解釈の実際	SPIで出題される推論、資料解釈の問題を解き、これら問題の実践的な解法を身につけます。				数学の教科書や参考書で関連するところを復習しておく。配布プリントの添削と見直す。（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準							
必要な資料等は授業時間に配布します。			定期試験：100% 基礎的な計算力が身につけており、シンプルな計算問題がすらすら解ければC、文章問題を理解し、数式を立てて問題が解ければB、集合の考え方を理解し、確率計算まで展開できればA、実験や実習などで必要となる溶液や試薬の調製に必要な計算、実験データの統計学的処理ができるようになればS。							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「Ability大学生の数学リテラシー」（共立出版株式会社） 「SPI3能力テスト対応必出問題完全攻略」伊坂孝史著（学研メディコン） 3年生はキャリアセンターから配布されます。			大学までに、数学をあまりやってこなかった学生を前提とした授業です。積極的に授業に参加することを期待しています。誰でも得手、不得手な分野があります。得意なところは伸ばし、苦手なところを減らしましょう。							

科目名	生物学の基礎（人間・教育）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13502	研究室	S-03
担当者	木藤 伸夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格	食品衛生					履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
現代を生きるには、生物学の知識は必須です。生物学の進歩は急速で、マスコミなどで報道される健康や病気に関わるニュース、さらには環境問題などの内容を正しく理解するために、生物学に関する知識の重要性は増しています。特に人間健康学部で学ぶ学生は、生物としての人間を理解することが求められます。本講義ではヒト（生物として人間を扱うときはカタカナで表す）の生物学に重点を置き、食品、医療、環境といった複数の視点から、「ヒトの生物学」を学修します。										
学修到達目標										
生物の基本単位である細胞の構造や、細胞の中で起こる様々な化学反応を、私たち自身の体や私達の日常生活に関わる食品を通じて理解する。さらに、医療に関する諸問題を通じて、感染症、免疫、生殖について学び、ゲノム情報の活用と倫理面での課題についての理解を深める。また、環境汚染とその対策について学び、私達を取り巻く環境問題についての考え方の基礎を身につける。										
授業の進め方										
教科書と配布資料を使って講義を行います。また、毎回小テストを行い理解度を確認します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	微生物と食品生産	微生物を利用した食品を紹介し、それに関わる微生物を材料に、細胞の基本的な構造と、細胞を構成する分子や小器官について学習します。				教科書の第1章の1を予習するとともに、高校教科書の細胞の構造を復習する。（2時間）				
2	食品生産における発酵技術	発酵食品を通じて、発酵とは何か、それに関わる代謝について学びます。				教科書の第1章の2を予習するとともに、解糖系を復習する。（2時間）				
3	遺伝子組換え食品	遺伝子組換え食品とは何か、どのような遺伝子が「組換え」られているのか、私達や身の回りの生態系にどのような影響を与えるのか考える。				教科書の第1章の3を予習するとともに、遺伝子について復習し要点をまとめる。（4時間）				
4	抗生物質	感染症の治療薬である抗生物質とはどのような物質か学ぶ。また、抗生物質を使うことで細菌は退治できるのに、どうして私達の体は平気なのかを理解するために、いくつかの細胞構造を比較する。				教科書の第2章、29～40ページを予習し、細胞の構造を復習する。（4時間）				
5	ワクチンと臓器移植	ワクチン接種でどうして病気を予防することができるのか学び、私達の体を守る免疫に関する知識を身につける。また、体を守る免疫が作用することで起こる拒絶反応やアレルギーについても学ぶ。				教科書の第2章、40～54ページと、85～89ページを予習する。（4時間）				
6	第5回目までのまとめと確認テスト	第5回目までに学習した内容のまとめと、内容をどの程度理解しているか確認するために、確認テストを行います。さらに、解答例の説明を通して、学習内容の要点を確認します。				教科書54ページまでのまとめと、確認テスト対策を行う。（6時間）				
7	遺伝子の構造と突然変異	全ての生物がもつ遺伝子の構造について学び、遺伝子のどのような変化が、がんや遺伝病などの原因となる突然変異となるか理解する。				高校の教科書などで遺伝子の構造、DNA二重らせんなどを復習しておく。（4時間）				
8	遺伝子の発現とタンパク質合成	遺伝情報の流れ、いわゆるセントラルドグマについて学び、遺伝子に記録された情報がどのようにして機能分子となるか学修する。				高校の教科書などで、遺伝子の転写、タンパク質の合成について復習しておく。（4時間）				
9	遺伝病の検査と治療	遺伝子の発現や遺伝の法則について学び、遺伝子の変異が病気の原因となることについて学ぶ。また、遺伝病の検査技術や、治療法の最前線についても学ぶ。				教科書第2章の3、4を予習し、高校の教科書などで遺伝の法則を復習しておく。（4時間）				
10	生物の生殖、発生、成長、老化	ヒトの受精から誕生について学習します。さらに、生物の成長と老化について学習し、生命の連続性について考えます。また、先端技術を応用した生殖補助医療に関する課題について考えます。				教科書第2章の5を予習しておく。（4時間）				
11	第7回～第10回までのまとめと、学習内容の整理	第7回～第10回で学習した内容のまとめと、内容をどの程度理解しているか確認するために、確認テストを行います。さらに、解答例の説明を通して、学習内容の要点を確認します。				教科書54～90ページまでのまとめと、確認テスト対策を行う。（6時間）				
12	生態系と外来種の侵入	生態系とは何か、また外来種によって生態系がどのように変化するかを学びます。また、地球における炭素循環、窒素循環についても学習します。				教科書第3章の1を予習するとともに、高校の教科書で生態系を復習しておく。（4時間）				
13	環境汚染物質	いくつかの環境汚染物質と、それらが引き起こした環境問題、公害について学習し、これ以上環境破壊を行わないためにはどのような対策が必要か考えます。				教科書第3章の2を予習する。（4時間）				
14	地球温暖化とバイオ燃料	地球温暖化の原因と地球の表面温度を決めているメカニズムに対する理解を深め、対策としてどのようなことが考えられ、実行されているか学修します。				教科書第3章の3を予習する。（4時間）				
15	学修のまとめ	これまで学習した14回の内容について、理解が不十分なところを各自で補います。また、自信のある分野については、受講者の前で説明して、さらに理解を深めます。				これまでの学修内容を復習し、理解できた所、できなかった所を明らかにしておく。（6時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「高校で教わりたかった生物」趙大衛（編著）松田良一（監訳、編著）著（日本評論社） ISBN:978-4-535-60033-1（生協で購入してください。）			定期試験：100% 生物の基本単位である細胞の構造と各細胞小器官の機能を説明できればC、細胞を構成する各種物質の基本構造、機能、特徴を説明できればB、それらの基礎知識をもとに、生物によるエネルギー産生や多細胞生物の恒常性維持など、複雑な生命現象が説明できればA、マスコミなどで話題となった生物に関わるトピックを正確に説明できればS。							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「ヒューマンバイオロジー、人体と生命」坂井建雄、岡田隆夫 監訳著（医学書院）坂井建雄ほか監訳別送紹介します。			高等学校で生物学を履修していない人や苦手だった人は、必ず受講してください。							

科目名	化学の基礎			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ`リング	UL13503	研究室	S-03
担当者	木藤 伸夫・丸山 文男			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
私達の体を作る細胞は、他の生物、動物や植物、細菌と共通の構造・機能をもっています。私達は食べた物を材料にしてエネルギーを作り出し、物事を考えたり体を動かしたりしています。この時、体のいろいろな細胞で起こっている反応は化学反応です。また、身体を動かすときはもとより、音を聞いたり物を見たりするときには、様々な物理現象が起こっています。この講義では、化学だけに限定せず、人間健康学部で学ぶ学生に必要な生物、化学、物理の視点から人体のしくみを考えます。											
学修到達目標											
人体で起こる様々な現象を、生物、化学、物理の視点から考える。自分が食べているものはどんな物質か、食べたものが体内でどのように変化していくか説明できる。息を吸うときどうやって肺は膨らむのか、コンタクトレンズで視力矯正はどうしてできるのかなど、普段なにげなく行っている行為を、科学の言葉で説明できる。											
授業の進め方											
教科書と配布資料を使って講義を行います。高校時代、生物、化学、物理、地学などを勉強しなかった人、理系科目が苦手だった人は是非講義を聞いて下さい。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生物の基本単位	生物の基本単位である細胞の基本構造を学修します。また、最初は受精卵という一つの細胞が、どのようにして一人の人間になっていくか、発生と細胞分裂について学びます。					教科書の第1章、1.1~1.4を予習してから講義に出席してください。(2時間)				
2	遺伝と遺伝子	遺伝の法則や遺伝子の構造について学びます。遺伝子がどのような物質でできていて、遺伝情報はどのような形で子孫に伝わっていくのか理解しましょう。					教科書の第1章、1.5~1.7の予習をしてください。(4時間)				
3	エネルギー産生	生命活動を営むにはエネルギーが必要です。そのエネルギーを生み出すのは栄養素です。三大栄養素からエネルギーを生み出すしくみを学修します。					教科書の第1章、1.8と1.14を予習してください。(4時間)				
4	体内環境と恒常性	春夏秋冬、暑い時も寒い時も体の中は一定の状態に保たれています。体内環境を一定に保つための神経系やホルモンののはたらきについて学修します。					教科書の第1章、1.9の予習をしてください。(4時間)				
5	微生物と免疫	目には見えないけれどいたるところにいる微生物、それらが引き起こす感染症と、私達の体が抵抗するしくみについて学びます。また、私たちの生活に役に立つ微生物についても紹介します。					教科書の第1章、1.10~1.11の予習をしてください。(4時間)				
6	刺激への反応と内臓の機能	外部からの刺激、情報を私たちの体はどのように処理しているのか、神経系について学びます。また代表的な内臓の役割についても学習します。					教科書の第1章、1.12~1.13の予習をしてください。(4時間)				
7	物質の構成粒子	私たちの体は様々な物質でできあがっています。それらの物質を化学の目で見るための基礎を学修します。					教科書の第2章、2.1の予習をしてください。(5時間)				
8	化学結合	化学結合の種類を最初に学修し、体内の主な化学結合について学びます。また、エネルギー産生や細胞構造の、化学的基盤を学修します					教科書の第2章、2.2~2.7の予習をしてください。(4時間)				
9	体内の無機化学	酸・塩基や体内の無機物質に関する基礎知識を修得し、ヒトの病気との関連を学修します。					教科書の第2章、2.8~2.10の予習をしてください。(3時間)				
10	有機化合物	生物の体を構成する主要な物質である有機物について、その複雑さと系統的な考え方を学びます。また、体内の化学反応を邪魔する物質が医薬品として利用されていることにも目を向けます。					教科書の第2章、2.11~2.15の予習をしてください(4時間)				
11	圧力と気体	大気圧を理解し、さらに人体や疾病との関係を学びます。					教科書の第3章3.1を復習し、課題を行ってください。(4時間)				
12	波、光、音	波の性質を理解し、光や音について学びます。レンズのしくみを理解します。					教科書の第3章3.7を復習し、課題を行ってください。(4時間)				
13	電気	電気の性質、電流の回路について理解します。さらに電力量を学びます。					教科書の第3章3.9を復習し、課題を行ってください。(4時間)				
14	水圧と浮力	水圧を理解して浮力が生じることを学びます。さらに人体や疾病との関係を理解します。					教科書の第3章3.11を復習し、課題を行ってください。(4時間)				
15	力	力の基本を理解し、人体の動きのしくみを考えます。					教科書の第3章3.12を復習し、課題を行ってください。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「人体の中の自然科学 生物学・化学・物理学から学ぶヒト」川畑龍史著(東京教学社) ISBN:978-4-8082-6057-6(生協で購入してください。)					定期試験:100% 自然科学の考え方や方法論を身につけることを目標とします。自然科学は積み上げる学問ですから、人体で起こる諸現象に関係する基礎的な用語を記憶し使いこなせば、それらの内容を説明できれば、専門用語を用いて人体で起こる基礎的な諸現象を説明できればA、免疫や体外からの刺激の認知などの代表される高次の生命現象を科学的に説明できればS。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新しい高校物理の教科書」山本明利 左巻健男編(講談社) ISBN:4-06-257509-4					高校時代に使った生物、化学、物理学の教科書を復習しておいてください。また、理解できないところがあったら、積極的に教員に質問しましょう。						



科目名	力学の基礎		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	UA13503 UA13504	研究室	S-24
担当者	丸山 文男		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-	火曜日3限		
関連資格					履修条件	「運動と物理学」を受講する学生は履修してください。				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康運動指導士や健康運動実践指導者のバイオメカニクス(運動の力学的な視点からの研究)分野(2年前期開講の「運動と物理学」)を理解するために必要な力学の基本的な知識を学ぶ科目です。運動の表し方(等速度直線運動、等加速度直線運動)、力のつりあい、運動の法則を学び、繰り返し問題を解くことで、基本的な力学の考え方を理解できるようにします。										
学修到達目標										
基本的な力学の知識を習得し、関連する問題を解くことによって理解を深めることです。特に、等速度直線運動、等加速度直線運動、力のつりあいなどの基本的な問題を解けるようになることです。										
授業の進め方										
テキストにそって力学の基本的な知識と、基本的な例題を説明した後、実際に関連する問題を解きます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	速さと速度	「速さ」と「速度」の違いを理解して計算します。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
2	等速直線運動	グラフを書きながら理解を深めます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
3	速度の合成と分解	ベクトルである速度の合成、分解を作図をしながら理解を深めます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
4	等加速度直線運動	加速度とは何かをしっかりと理解し、計算ができるようにします。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
5	等加速度直線運動	グラフを書きながら理解を深めます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
6	自由落下運動	自由落下運動を図を書きながら理解を深めます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
7	鉛直投げ下ろし運動等	鉛直投げ下ろし運動、鉛直投げ上げ運動を図を書きながら理解を深めます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
8	水平投射	水平投射を図を書きながら理解を深めます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
9	斜方投射	斜方投射を図をかきながら理解を深めます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
10	力の表し方	力の表し方を学びます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
11	力のつりあい	力のつりあいについて学びます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
12	作用反作用の法則	作用反作用を力のつりあいとのちがいに注意しながら学びます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
13	運動の法則	物体に力がはたらいた場合の速度の変化を考えます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
14	運動方程式	運動方程式を導き使ってみます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
15	いろいろな力	摩擦力、圧力、浮力について学びます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「総合物理1-力と運動・熱」 國友正和著(数研出版) ISBN:978-4-410-81203-3(別途、指示します。) 「フォローアップドリル物理基礎 運動の表し方・力・運動方程式」数研出版編集部編(数研出版) ISBN:978-4-410-26522-8(生協で購入してください。) その他必要に応じプリントを配布します。					定期試験:100% S:授業内容を深く理解し、複雑な応用問題を解くことができる。 A:授業内容をよく理解し、応用問題を解くことができる。 B:授業内容を理解し、簡単な問題を解くことができる。 C:授業内容をほぼ理解し、例題を解くことができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「新しい高校物理の教科書」山本明利 左巻健男編(講談社) ISBN:4-06-257509-4					授業では、三角関数や連立方程式の知識が必要になります。数学や物理をあまり学んでいない人は、自ら問題を解き理解することが必要です。質問はいつでも受け付けますので、積極的に学んでください。					

科目名	基礎統計学(スポーツ)		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL23505	研究室	S-24
担当者	丸山 文男		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格	ト指				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
様々なデータの記述方法を学び、その一部から全体を推測する方法を学びます。統計を使って、現状を知ること、予測すること、原因を見つけることができることを実際に経験しながら学びます。										
学修到達目標										
基本的な統計方法を理解し、統計学の重要な分析方法である、推定と仮説検定の基本を理解することです。最も広く応用されている2つ以上の変数の変化を分析する相関分析と回帰分析を理解することです。										
授業の進め方										
演習を繰り返しながら学習していきます。統計学はテキストを読むだけでは何も身につけません。演習が重要になります。レポートをやりながら理解を深めてください。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	統計学とは(1)	統計学の考え方を学びます。				教科書第1章を復習し、課題を行います。(4時間)				
2	統計学とは(2)	度数分布表とヒストグラムを学びます。				教科書第1章を復習し、課題を行います。(4時間)				
3	標本分布の特性値(1)	分布の位置の特性値(中央値、最頻値、平均)を計算します。				教科書第2章を復習し、課題を行います。(4時間)				
4	標本分布の特性値(2)	変動の特性値(分散、標準偏差、変動係数)を計算します。				教科書第2章を復習し、課題を行います。(4時間)				
5	確率と確率分布(1)	確率と確率分布を学びます。				教科書第3章を復習し、課題を行います。(4時間)				
6	確率と確率分布(2)	二項分布を学びます。				教科書第3章を復習し、課題を行います。(4時間)				
7	一様分布と正規分布(1)	一様分布と正規分布を学びます。				教科書第4章を復習し、課題を行います。(4時間)				
8	一様分布と正規分布(2)	正規分布を学びます。				教科書第4章を復習し、課題を行います。(4時間)				
9	標本平均の分布と母平均の推定	統計的有意性を学びます。				教科書第5章を復習し、課題を行います。(4時間)				
10	t分布と母平均の推定	t分布を学びます。				教科書第6章を復習し、課題を行います。(4時間)				
11	カイ二乗分布と母標準偏差の推定	カイ二乗分布を学びます。				教科書第7章を復習し、課題を行います。(4時間)				
12	仮説検定	推定と並んで、統計学の重要な分析方法の仮説検定を学びます。				教科書第8章を復習し、課題を行います。(4時間)				
13	相関分析	2つ以上の現象の変化を分析します。				教科書第9章を復習し、課題を行います。(4時間)				
14	回帰分析	原因と結果の関係を法則性としてとらえるための方法を学びます。				教科書第10章を復習し、課題を行います。(4時間)				
15	まとめ	授業のまとめをします。				教科書を復習し、課題を行います。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめての統計学」鳥居泰彦著(日本経済新聞出版社) ISBN:978-4-532-13074-9(生協で購入してください。)必ず購入してください。				定期試験:70% レポート:30% レポートを課すことがあります。 S:授業内容を深く理解し、複雑な応用問題を解くことができる。 A:授業内容をよく理解し、応用問題を解くことができる。 B:授業内容を理解し、簡単な問題を解くことができる。 C:授業内容をほぼ理解し例題を解くことができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「統計学入門」東京大学教養学部統計学教室編(東京大学出版会) ISBN:978-4-13-042065-5 適宜紹介します。				毎回電卓を使用します。「」記号がある電卓を持参して下さい。計算をする上で数学の知識も必要となります。演習がとても重要です。						

科目名	地球環境と人間生活(人間)		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL23505 UL23506	研究室	S-03
担当者	木藤 伸夫・丸山 文男		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
ビッグバン宇宙、地球の生成、生命の誕生と進化のおおよその流れを把握します。その中でオゾン層の出現やその破壊と克服の過程について学びます。次に地球温暖化のメカニズムを学び、産業革命以降人類の生活の進歩・発展とその裏側で進んでいた二酸化炭素の大量発生に伴う地球温暖化現象を概観します。エネルギー源の変遷(木炭・石炭・石油・原子力)を理解し、それぞれの長所・短所を調べながら、生活水準を維持できるだけの自然エネルギーの可能性があるかについても検討していきます。										
学修到達目標										
環境問題、エネルギー問題についての新聞報道、TV報道に接して自分なりの視点でそれらを解釈でき、求められれば見解を述べるができるようになります。										
授業の進め方										
配布したプリントに基づく講義、ビデオ鑑賞、グループに分かれてのディスカッションなどを交えることで、各学生が自分の意見を纏めていけるようなプロセスを予定しています。毎回クイズ形式の受講票を配付します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	宇宙・元素合成、地球形成の道筋	授業の狙いを説明します。ビッグバン宇宙論、元素合成、地球の形成など、自分達が住む地球の生成について大まかな道筋を理解します。受講票は環境問題に関するクイズ付きです。				事前：シラバスを読む。(2時間) 事後：クイズに解答、疑問・質問を受講票に記入する。(2時間)				
2	生命の進化、オゾン層の形成	生命の誕生・進化と植物の発生、酸素、オゾン層の形成を考えます。オゾン層がどれくらいの時間を掛けて、どの様に出来てきたのか、破壊の原因は何かについて考えます。				事前：前回の講義の復習(2時間) 事後：クイズに答える。疑問・質問をまとめる。(2時間)				
3	オゾン層破壊とそれへの対応	オゾン層が果たす役割と、その破壊のメカニズムとフロンガスへの配慮の必要性を理解します。オゾン層の破壊による影響を知る。モントリオール議定書について知ります。				事後：前回クイズの解答を配布するのでもそれを読み理解を深める。(4時間)				
4	温暖化機構理解とCO2増加の原因	温室効果の機構を理解し、温室効果ガスの種類を把握します。産業革命で文明の発達が加速化し、その結果大気中のCO2が急激に増加していることを理解します。				事前：配布のプリント(温暖化のメカニズム)を読む。(2時間) 事後：疑問点を整理する。(2時間)				
5	COPなど人類の温暖化への取組	地球温暖化対応の国際的な動きを把握します。リオデジャネイロでの地球サミット、京都議定書、パリ協定などIPCCやCOPの動きについて知ります。グループディスカッションを取り入れます。				事前：IPCCをネットで調査する。(2時間) 事後：COPのこれまでの流れをネットで調べる。(2時間)				
6	フィードバックシステムとしての地球	循環系としての地球の特徴を理解します。可逆、不可逆の意味と地球温暖化についてIPCCからの警告の意味を理解します。臨界点という考え方を提示します。				事後：IPCCの活動を再度調査し、理解を深める。(4時間)				
7	大量生産・消費・廃棄の生活の実態	大量生産、大量消費、大量廃棄の生活スタイルがいかに現代人の生活に浸透しているかを実感してみます。グループワークによるアクティブラーニング形式を採用します。				事後：自分の生活を振り返り、是正できる点をまとめレポート提出する。(4時間)				
8	地球温暖化の影響を考える	地球温暖化が人類や地球上の生命に与える影響を考えます。絶滅危惧種の存在、熱帯生物の北上、海面上昇、砂漠化などなどについて考えます。新聞記事の読み合わせを実施します。				事前：前回配布のプリントを読む。(2時間) 事後：温暖化の実情をネットでも調査する。(2時間)				
9	ビデオ鑑賞	地球温暖化の影響を被っている世界で見られる実態を、映像によって、視覚にも訴えながら理解します。				事後：鑑賞した感想を受講票に記入する。仲間と話し合う。(4時間)				
10	日本の発電量の現状をつかむ	火力、原子力、水力、風力など多様な発電様式があるが、その原理を理解します。ファラデーの電磁誘導などにも簡単に触れ、発電様式による違いはどこにあるかを知ります。				事後：電力の節約について考えておく。(4時間)				
11	石油の使用量と埋蔵量	全て石油で火力発電を行った場合の必要量を、百万トンタンカーを単位として考えます。化学製品の製造にも利用しており、その量の膨大さを知り地球の有限性を認識します。				事前：プラスチック製品の投棄とそこから生じる問題点をネットで調査する。(4時間)				
12	太陽エネルギーの利用を考える	太陽から地球上に降り注ぐ太陽エネルギーの膨大さを考え、再生可能エネルギー、自然エネルギーの在り方をみんなで考えます。アクティブラーニング方式とします。				事後：世界的に見た自然エネルギーの利用状況を調査する。(4時間)				
13	原子力発電と原爆の違いを知る	原子力発電のメカニズムを知ります。アインシュタインのE=mc <sup>2</sup> の有名な式の意味を説明し、実際の発電様式について説明します。				事前：配布のプリントを読む。(2時間) 事後：原子と原子核のサイズの違いを認識する。(2時間)				
14	原子力発電の利点と問題点を知る	温室効果ガスを出さないが、放射性廃棄物の処理について問題があること、地震やテロからどう護るかなど、考えられる課題を取り上げます。				事前：配布している新聞記事を読む。(2時間) 事後：家族・友人等と話し合う。(2時間)				
15	日本のエネルギー政策を考える	これまでの学びを通じて得た知識を基に、日本のこれからのエネルギー政策の在り方についてグループディスカッションで深めます。				事前：グループディスカッションの準備(2時間) 事後：試験に備えた学習する。(2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義用プリントを配布します。				定期試験：100% S:定期試験において90点以上。 A:定期試験において80点以上。 B:定期試験において70点以上、80点未満。 C:定期試験において60点以上、70点未満。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「グリーン経済最前線」井田徹治・末吉竹二郎著(岩波新書) 「低炭素経済への道」諸富徹・浅岡美恵著(岩波新書)				講義を聞き、自分の見解を述べ、多くの学生と意見交換する中で、環境問題の本質を掴めるようにして欲しい。そのためにも、配布したプリント、新聞記事等に目を通し、自分なりの意見を纏めるように努力して下さい。						

科目名	地域環境と生態			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL33506 UL33507	研究室	S-03
担当者	木藤 伸夫・丸山 文男			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この講義の前半では、地球の環境がどのように形成されたか、現在の地球環境問題はどのような原因で生じているかなどを解説します。さらに、生態系の構成と、生態系がどのように維持されているかを学修し、環境の維持に微生物が果たす役割について考えます。後半では人間活動と環境問題を考えます。人間活動が原因で進む地球温暖化問題をじっくり考えていきます。さらに、異常気象のしくみを理解するために、大気と海洋の相互作用、テレコネクションについても学びます。											
学修到達目標											
前半では、地球における物質循環を理解するとともに、それに関わる微生物が地球環境の維持にいかに関与しているかという点に気がつくようにします。後半では、天気や気候の変化における大気と海洋の役割を理解し、人間の活動と地球環境の変化の関係を理解します。											
授業の進め方											
配布資料に基づいて講義形式で授業を行います。講義内容を理解するには物理学、化学、生物学、地学などの理系基礎科目の知識が必要です。毎回小テストを行い、授業の理解度を確認します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生物の進化と環境形成	46億年前に誕生した地球の環境がどのように変化して現在の環境になったかを解説します。「地球と生命の共進化」ともよばれる、地球環境の変化と生物進化の密接な関係を理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
2	地球環境の変化	近年問題になっている地球環境の変化、すなわち地球温暖化や、水質、大気、土壌などの環境汚染の原因物質は何か、汚染はどのようにして起こるのかを学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
3	生態系と環境の維持	生態系がどのように構成されているか、生態系による物質循環やエネルギー循環が環境保全にいかに関与するか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
4	物質循環と微生物	地球レベルでの物質循環を知るために、炭素循環と窒素循環を取り上げて解説します。物質循環には生物が関与しない無機物的な循環と、生物が関与するものがあります。違いを明確に理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
5	極限環境微生物	微生物は地球上の様々な環境に生息していますが、特に変わった環境(高温、強酸・強アルカリなど)で生きている微生物がいること、私達の日常生活でこれらの微生物がどのように利用されているか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
6	微生物による有害物質除去・分解の原理	微生物を使った環境浄化の方法、特に排水処理法、重金属汚染や有機塩素化合物などの除去、分解法などを理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
7	バイオレメディエーション	微生物による環境浄化(バイオレメディエーション)について学習します。原油や界面活性剤の汚染除去への応用、土壌や地下水の汚染除去が実際どのように行われているか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
8	確認テスト	第1回~7回までの内容の理解度を筆記試験で確認します。					これまでに配布された資料などに基づき、講義内容を振り返っておく。(6時間)				
9	太陽系の中の地球	地球大気の起源と進化について学びます。					配布資料を復習する。課題を課し提出を求める場合があります。9回~15回まで。(4時間)				
10	大気の鉛直構造	対流圏、成層圏とオゾン層、中間圏、熱圏について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
11	地球のエネルギー収支	地球のエネルギー収支を理解し温室効果について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
12	地球をめぐる大気の流れ	風の吹き方を理解し大気の大循環を学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
13	海水の循環	海水の流れを理解し海洋と気候について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
14	気候変動	エルニーニョ、異常気象について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
15	地球環境	都市気候、酸性雨、地球温暖化について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「絵でわかる地球温暖化」渡部雅浩著(講談社) ISBN:978-4-06-511946-4(生協で購入してください。)						定期試験:100% 地球環境を決める複数の要因をあげることができればC、それらが地球環境にどのような影響を与えるか説明できればB、地球における物質循環やエネルギー収支について説明できればA、現代起こっている様々な環境問題や環境保全、環境改善などについて、自分の考えを述べることであればS。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「地球環境46億年の大変動史」田近英一著(化学同人) ISBN:978-4-7598-1324-1 他にも講義の内容に合わせて適当な参考図書を紹介いたします。						物理、化学、生物学、地学のどれか1科目でも良いので、高校で学んだ理系科目を復習しておいて下さい。					

科目名	ごみ処理と循環型社会		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	UL33508	研究室	S-24
担当者	丸山 文男・木藤 伸夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
持続可能な社会にするために、地球科学を学び、環境問題を科学的に学びます。さらに、一番身近な環境問題であるごみ問題を考えます。										
学修到達目標										
人間生活と環境の関りを科学的に理解し正しく対処できることを目標とします。										
授業の進め方										
教科書と配布資料を用いて授業を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	地球環境をどうとらえるか	自然と人間の関係を整理します。				教科書1章の問題を解き復習します。(4時間)				
2	物質の循環と資源	ミクロな世界から宇宙に至る自然の組み立てを理解し、固体地球の姿を学びます。				教科書3章の問題を解き復習します。(4時間)				
3	地球と月について	地球と月のユニークな関係を学びます。				配布資料を復習します。(4時間)				
4	惑星について	太陽系天体が液体を持つ条件を学びます。				配布資料を復習します。(4時間)				
5	松本市のごみ処理施設	松本市の一般廃棄物の中間処理施設(松本クリーンセンター)と最終処分場(エコトピア山田)について学びます。				中間処理施設と最終処分場の設置の目的と現状を整理します。(4時間)				
6	ごみ処理施設整備の課題について	ごみ処理施設整備の問題と課題について学びます。				ごみ処理施設整備に対する問題点を調べます。(4時間)				
7	エネルギーと環境	エネルギーの種類とその役割を学びます。				教科書4章の問題を解き復習します。(4時間)				
8	生命の誕生と環境形成	地球上で生命が誕生し、現在の環境ができるまでを概説します。生物の進化と共に地球環境も変わってきたことを学びます。				教科書第2章を予習するとともに、配布資料を復習する。(4時間)				
9	生態系と物質循環	生態系はどのように構成されているか学び、生態系で行われる物質循環やエネルギー循環について具体的に学修します。				教科書81~84ページを予習し、配布資料を復習する。(4時間)				
10	環境問題と物質循環	これまで問題になった公害や、現在の環境問題を素材とし、物質循環の停滞や障害が、地球に生きる様々な生物の外になることを学修します。				教科書128~136ページを予習し、配布資料を復習する。(4時間)				
11	ごみや産業廃棄物の処理	ごみや産業廃棄物の処理について、物質循環の視点からもう一度見直します。自分たちが今日から取り組める活動について考えてみましょう。				自分が今行っている環境に関わる取り組みを考えてみましょう。(4時間)				
12	水と大気循環	地球規模の大気循環や気候の変化を学びます。				教科書5章の問題を解き復習します。(4時間)				
13	光と環境	太陽光と環境との関りを学びます。				教科書6章の問題を解き復習します。(4時間)				
14	人間活動と環境問題	地球温暖化問題について学びます。				教科書7章の問題を解き復習します。(4時間)				
15	核エネルギー	原子力の問題を学びます。				教科書8章の問題を解き復習します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「地球と環境の科学」木下紀正 八田明夫著(東京教学社) ISBN:ISBN978-4-8082-5014-0(生協で購入してください。)教科書は必ず購入してください。必要に応じて資料を配布します。				定期試験:80% レポート:20% S評価は、定期試験、レポートが特に優秀な場合です。A評価は、成績評価の合計が80以上の場合で、レポートが良好な場合です。B評価は、成績評価の合計が70以上80未満の場合で、C評価は、成績評価の合計が60以上70未満の場合です。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「絵でわかる地球温暖化」渡部雅浩著(講談社)				循環型社会を構築するために、私たちが何をなすべきがしっかり考えてみましょう。叢智を結集して青く美しい地球とともに生き延びる努力をしなければいけません。						

科目名	環境社会学		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ`リソ`	UL33508 UL33509	研究室	非常勤
担当者	江成 康明		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
人々が生きて行くうえで欠かせないのは周囲の環境です。一番身近な家族や仲間、そして自治体や日本、世界、宇宙と環境は広がっていきます。それらと関連しながら生活するには、世の中の動向を意識しなければなりません。今の社会に何が起きているのか、どう対応しなければならぬのかを考え、自分を高めていくことが求められています。殺伐とした事件の増加やネット社会にまつわる犯罪などを例に社会学を学び、多層的に研究、発表するのが目的です。										
学修到達目標										
社会を営む時代背景やその国の環境などに自分がどう対応したらいいのかを学び、その中で自らの立ち位置を心がける。みんなが心地よく生活し、生きていくためには一人一人の思いやりや気配りが必要なことを知ることで、社会構成員の一人であることを自覚する。										
授業の進め方										
講義は毎回配布するプリントを基に教室でのディスカッションを中心に進めます。グループ討論やクロスロード(分岐点)のほか、受講生全員で創作する「ネット社会で守るべき10か条」を完成させます。見分を広めるためのアウトキャンパススタディも実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	環境社会学とは何か?	環境といっても、「地域」だけを考えるのではなく、それを支える「人間」や「自然」にまで興味を持って対応する必要があります。授業全体の基本となる環境社会学を幅広い視点で学びます。				思い浮かべる環境社会学のイメージを事前に考えておく。(4時間)				
2	地域環境と民度の関係性	第一回授業で提出したレポートから様々な意見や提案をピックアップし、学生自身が社会の一員として環境社会学をどう捉えているかを探ります。そのうえで、人間としての役割を考えていきます。				新聞のコピーを読んで、事後に感想を書く。(4時間)				
3	ネット社会で変化する社会	日本人は思いやりや気配りのある人種と言われています。しかし、ネット社会の到来で変化してきました。社会の動きに真剣に向き合わなければなりません。ネットで隔りやすい犯罪や危険性を学びます。				ネット関連の事件事故について、一番気になったものを考える。(4時間)				
4	ネット社会の危険性についての研究	現状では、生活や仕事をするうえでネットは欠かせません。しかし、ネットを使った犯罪が増え、反面、人との直接対話が少なくなっています。過激派組織ISやネット犯罪の愚かさを研究します。				安易にネットを使ってないかを見直す。(4時間)				
5	それぞれ違う民度のあり方	グループに分かれ、クロスロード(分岐点)をそれぞれの班で討論します。それをもとに、全体でディスカッションします。				クロスロードでの自分の意見、考え方と人の意見の相違を改めて振り返る。(4時間)				
6	続クロスロード	社会は人それぞれの民度によって安全、安心な暮らしが保たれています。しかし、クロスロードで体験するように、考え方はまちまちです。幅広い民度の意識を持つために、前回に続き話し合いを継続します。				自分の考え方による民度が正しいのかどうかを推量する。(4時間)				
7	学外専門家の特別講演	簡単で便利なネットには様々な落とし穴があります。著作権について詳しい学外専門家を招き、特別講演及び討論会を実施します。				事後に講演会の感想レポートを提出する。(4時間)				
8	(野外実習)場所は未定	地域全体が民度の高い場所を訪ね、地域環境を守るためにどのような戦略が図られているかを体験します。				事後にレポートを書く。9回目に提出する。(4時間)				
9	地球温暖化に見る人類の危機	近年の地球温暖化は異常な速度で進んでいます。今の学生が世の中の中心となり、子供を育てるころには考えられないほど自然環境が変化すると考えられます。異常気象について熟考することは必要不可欠です。				授業でのコピー以外のテーマに沿って、レポート提出する。(4時間)				
10	ネット社会を生き抜くための10か条づくり	ネットが欠かせない現実の中で、自ら犯罪に巻き込まれたり、他人に迷惑をかけるためにはどうしたらいいのかをグループで話し合い、10か条を作成します。				授業終了と同時に、当日の担当はグループ10か条を書いて提出する。(4時間)				
11	各グループの10か条発表	前回作ったグループ10か条を班の代表が発表。それをもとに、受講生全体の10か条を作り上げますので、各グループによるプレゼンが大事になってきます。				全員で作った10か条を自分なりに実践する意識を高める。(4時間)				
12	10か条の絞り込み	各グループから出てきた10か条は相当数に上ります。その中から、受講生による10か条を選択していきます。創作する難しさや楽しさを実感できるはずで。				10か条は常に心掛けておく必要があります。人にも言えるほど反復して覚える。(4時間)				
13	学外専門家の特別講義	受講生が作ったネット社会と民度10か条について、専門家の意見を聴きます。				感想をレポートにまとめて提出する。(4時間)				
14	政治の変化	国を動かすのは「政治」です。ところが政治家そのものが弱体化し、国会で討論すらしっかりできない状況です。民主主義の意義を考えながら政治の大切さを学びます。				これまでの自分と政治の関わりを考え、政治家に求める自分の意見をまとめる。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	講義全体を振り返って総括します。				社会の中で生きていくために必要なテーマを自分なりに見つける。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
毎回プリントまたは資料を配布します。			受講態度：20% 定期試験：50% 課題：30% S:授業内容の理解度、考察力、文章の読解力、書力が秀でている。A:積極的に授業に臨み、課題に対しても自分の意見をしっかりと書ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に対しても自らの主張ができる。C:授業内容を60%ほど理解でき、与えられた課題にも誠実に取り組んでいる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
毎回プリントまたは資料を配布する。			講義ではグループ別に分けた学生の皆さんとのディスカッションを中心に進めますので積極的な参加を期待します。受講票には、名前だけでなくその日の感想や意見を必ず書いて下さい。							

科目名	キャリア入門	学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	UL14101	研究室	S-12	
担当者	上野 隆幸	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-	木曜日2限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A	B	C							
授業概要										
本授業ではキャリア教育の初歩的段階として、自らのキャリアを考える上で必要となる情報を提供し、併せてこれらの情報を基に「考えてもらう」ことを目的としています。具体的には「自らのキャリアを考える上での情報提供」「実際に自らのキャリアを考える」「就職活動の基礎事項の情報提供」の3点に焦点を絞って展開します。学習到達目標に示す通り、働くことに対する初期ビジョン形成が目的のため、1年次生及び2年次生のための履修とし、教員の許可がない場合の3年次生以降の履修は認めません。										
学習到達目標										
現在の若年者の就職・労働に関する知識を修得し、大学生の就職活動の流れを理解した上で、自らの「働くこと」への初期ビジョンを形成できること。										
授業の進め方										
配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。毎回の講義においてメソフィアを用いて出席確認と小テストを実施しますのでスマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかを持参して下さい。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	導入 - キャリアとは何か、そしてなぜ重要か -	キャリアという言葉の説明を行うとともに、本講義で扱う内容等について説明します。					「キャリア」とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
2	企業における人事管理の基盤 - 企業の社員区分制度の概要 -	人事管理の基盤システムの一つである社員区分制度について解説します。					社員区分制度とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
3	企業における人事管理の基盤 - 社員区分制度の詳細と学歴との関係 -	社員区分制度が学歴別管理とリンクしている点について説明します。					学歴別の賃金カーブについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
4	フリーターとしての働き方 - フリーターのタイプと所得の問題 -	フリーターの現状やタイプを説明した後、フリーターと正社員の生涯所得について説明します。					フリーターのデメリットについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
5	フリーターとしての働き方 - 雇用・能力開発・年金の問題 -	フリーターと正社員の違いについて、雇用の安定や老後など、所得以外の面から比較し、説明します。					国民年金と厚生年金の違いについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
6	産業研究 - どのような産業・業種があるのか -	社会にはどのような産業(業界)があるのかを紹介します。					自らが興味を抱く産業を理由とともに5つ考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
7	職種研究 - どのような職種・仕事があるのか -	社会にはどのような職種(仕事)があるのかを紹介します。					自らが興味を抱く職種を理由とともに5つ考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
8	転職のメリットとデメリット	転職した場合に有利になる点、不利になる点について解説します。					転職した場合に不利になる点について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
9	ライフデザイン - 人生設計 -	人生の節目のイベントを経済的側面からみることで、生涯にどれだけのお金が必要かを解説します。					自らのライフデザインについて考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
10	働く上でのリスク	会社の倒産やリストラ、病気など、働く上でのリスクについて説明します。					企業の人員整理に関する事例を調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
11	大学生の就職活動 - 大学生の就職活動の流れ -	大学生の就職活動の大きな流れについて説明します。					就職活動に関する新聞記事を探し、読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
12	大学生の就職活動 - データでみる大学生の就職活動 -	大学生の就職活動について、就職支援企業の調査結果を基に、その概要を説明します。					企業の採用活動に関する新聞記事を探し、読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
13	松本大学生の就職活動	松本大学生の就職活動をデータを用いて説明します。					就職活動の流れを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
14	先輩たちから学ぶ就職活動	就職活動を終えた先輩方の経験談を聞きます。					先輩方に対する質問を考えて下さい。講義後、先輩方の就活成功の秘訣を考えて下さい。(4時間)			
15	講義全体のまとめ	これまでの講義内容を簡単にレビューします。					これまでの講義での不明点を確認して下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
プリントを配布します。		小テスト: 55% 出席レポート: 45% 小テストと出席レポートの合計点が90点以上の場合にS、80点以上の場合にA、70点以上の場合にB、60点以上の場合にC、59点以下の場合にDとなります。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「キャリアデザイン入門 1 基礎力編」大久保幸夫著(日経文庫)		実務経験を持つ教員が担当。実務経験の内容: 民間企業において、人事担当者として採用をはじめとする人事施策全般に携わった。都道府県職員として自治体の労働政策立案に携わった。								

科目名	キャリアデザイン (人間)	学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL24102	研究室	非常勤	
担当者	道幸 俊也・内川 小百合	必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスワ-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
前半:「キャリアとは何か」社会に出てから自ら主体的に活動していくために「自分を知る」、「社会を知る」という2つの観点から自己理解を促進し自分の動機付けは何かを考えます。後半:社会人の基礎スキルとなるマナーと接遇について学びます。話し方、態度、ビジネスマナーは、よき人間関係を築くうえで、欠かすことのできないビジネススキルです。授業では知識を得るだけでなく、一つ一つ具体的に実行できるようにロールプレイやケース研究をします。										
学修到達目標										
前半:自分の動機付けとなるやる気の根っこは何かを見出し、社会に出ていくうえで自分にとってのやりがいや充実感はどのようなことなのかを言語化できるようにします。後半:人間関係を築く話し方や聞き方を理解し、適切な敬語を交えた会話や電話対応ができ、席次等のビジネスマナーの知識を学び、実践できることとします。										
授業の進め方										
前半:実際の具体的な社会における事例を踏まえて講義します。その理解を深めるために、個人ワーク、グループワーク、を組み合わせながら進めます。後半:テキストにより、まず学習したのち、ロールプレイ等を通じて、実践力を付けていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	キャリアデザインとは	キャリアデザインの考え方、卒業後の進路選択や就職試験に向けた準備について学びます。					本日の講義で学んだ知識を講義資料をもとに復習してください。(1時間)			
2	自分史作成・自己成長チェック	大学生生活1年間の振り返りを行います。学び、部活やサークル活動など大学生生活で何を学んだかを書き出し「自分史」を作成します。					講義で実施した演習の続きを行い「自分史」を完成させてください。(1時間)			
3	バリューカードと1年間の振り返り	前回の自分史からライフラインチャートを作成し、一年間を振り返ります。自分にとっての人生の価値観を見出します。					講義の演習の続きを行い「ライフラインチャート」からの気付きを書き出してください。(1時間)			
4	社会人基礎力とは	コミュニケーションスキルについて学びます。12の要素から成る社会人基礎力についての理解を深めます。					本日の講義で学んだ知識を日常生活の中で実感したことを書き留めておきましょう。(1時間)			
5	自己分析	心理学タイプ論から自己理解を深めます。自分の中にある動機付けとなっている思いを見出します。					本日の講義で学んだ知識を元に普段の日常生活で気づいたことを整理しておいてください。(1時間)			
6	業界・業種・職種研究	社会を知り、自分のタイプと重ねて目指す進路について考えます。					社会人インタビューから発表の準備をします。(1時間)			
7	社会人インタビューから発表の準備をします。(1時間)	社会人インタビューの共有					社会人インタビューに取り組み、共有内容から働くことについて自分なりの意味づけをする(1時間)			
8	就職活動の準備について	2年生後期から3年後期までの就職活動スケジュールや、そのための準備について学びます。					配付された資料をもとに卒業までのキャリアスケジュールを作成します。(1時間)			
9	マナーと接遇とは	これから学ぶ「マナーと接遇」についての概要と学ぶ意味についてを学習します。授業で取り扱ったことについては、テキストに書き入れながら進めましょう。					本日の復習。次回は身だしなみを学ぶので、「社会人としてよい印象」を持つ服装を選ぶ。(1時間)			
10	第一印象	第一印象の大切さについて学びます。感じの良い態度、服装、姿勢、動作、あいさつ、表情についてのよい第一印象は、相手との人間関係構築の第一歩です。身だしなみを整えて出席してください。					自分の身だしなみでよかったところ、今後直したいところについてまとめておきましょう。(1時間)			
11	人間関係を築く話し方	敬語の使い方について学習し、尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使えるようにしましょう。					敬語に関する学びを復習し、実践してみよう。(1時間)			
12	人間関係を築く話し方	社内のコミュニケーションを良好にするための慣例やルールを学び、実践できるようにしましょう。					コミュニケーションに関する課題をまとめ、自分の良いところ改善すべきことを書いておく(1時間)			
13	ビジネス電話	ビジネス電話のかけ方、受け方について学び、その流れと注意事項について理解します。					ビジネス電話に関する復習をし、実際に声に出して練習しておきましょう。(1時間)			
14	ビジネスマナー	席次の知識、面会予約の取り方、名刺交換等のマナーについて学び、実践します。					面会予約の取り方について、復習し実際に声に出して練習してみよう。(1時間)			
15	ビジネスマナー	来客の受付、取次ぎ、案内、見送りについて学ぶ。また慶事・弔事の交際の知識について学びます。					今までのテキストに記入したものを整理しておきましょう。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「『マナーと接遇』(2019改訂版)」内川小百合著(丸の内ハイデ印刷社) ISBN: ISBNコードなし(生協で購入してください。) 上記のテキスト以外にも必要に応じて、資料・プリントを配布します。		出席レポート:45% 課題:25% 定期試験:30% 定期試験は9回目以降の講義内容を範囲とします。出席レポートは毎回講義終了時提出します。授業時の態度も評価します。また、授業内で提示した課題(提出必須)の内容も評価します。 S:授業への取り組みがすばらしくよく、毎回の授業内容を高度に理解し、実践できる。 A:授業への取り組み態度が大変よく、授業の内容を80%以上理解している。 B:授業への取り組み態度がよく、授業の内容を70%以上理解している。 C:授業の内容を60%理解できている。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし		後半の講義では、授業時からマナーを意識し、社会に出て自信をもってふるまえるように、実践しましょう。								



科目名	キャリアデザイン (人間)		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	UL34103	研究室	非常勤
担当者	濱野 裕貴子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、大学卒業後の自分のキャリアを主体的に考え、それを実現していくための手法を応用的に学んでいくことを目的としています。納得のできる進路を選択するには、自己理解を深めること、社会や職業に対する知識と自分なりの考えを持つこと、またそれらをわかりやすく他者に伝えるスキルを身に付けることなどが重要となります。本講義では、これらの知識やスキルを身に付けるために、これまでの大学生活での経験を振り返り、自己のキャリア形成のための具体的計画を行います。										
学修到達目標										
自己の将来のキャリア形成について向き合い、卒業後の進路選択や目標を実現するための計画を立て、実行に移すためのスキルを身に付けることを目標とします。特に、言語による自己表現、進路選択に伴う就職活動のための情報収集の仕方を学び得るものです。										
授業の進め方										
講義形式を主としながらも、「セルフワーク」や「解説」、さらに「社会人による講演」や「ロールプレイ」などを組み合わせながらアクティブに授業を進めます。また、毎回授業の振り返りを行い、次回の授業でフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	自律的なキャリア形成に向けて(ガイダンス)	本講義の流れやねらい、自己のキャリア形成への向き合い方について説明します。そのうえで、就職活動準備についても概観します。				キャリアデザイン で学んだことを見直し、卒業後の目標について考えて臨んでください(1時間)				
2	自分について深く知る コンピテンシー分析	適性検査の結果を確認し、自身のコンピテンシーを把握します。キャリア形成に役立つ自己分析法のレクチャーに基づき、実際にワークに取り組みます。				自身のコンピテンシー及びワークについて周囲の社会人1名以上と意見交換してください(1時間)				
3	職業世界を知る 産業(業界)・仕事(職種)の理解	日本における産業(業界)や仕事(職種)について概観し、それぞれの調査方法を解説します。				授業内で紹介した情報源に実際に当たり、業界・職種についての理解を深めてください(1時間)				
4	職業世界を知る 企業調査方法の理解	企業調査を行うにあたって確認する項目や参照すべき情報源等について、解説します。				<事後課題> 自身が興味を持っている企業について、詳しく調査を行ってください(1時間)				
5	日本の社会情勢と雇用・採用慣行	近年の日本の社会情勢および雇用・採用慣行を解説します。そのうえで、Webを活用した情報収集の方法について説明します。				授業後、紹介したWebツールを閲覧してください(1時間)				
6	職業世界を知る 就業体験を通じた仕事への理解	インターンシップについて学び、就業意識を高め、進路選択を明確にします。				インターンシップフェア冊子を読み、5社以上の企業研究を行ってください(1時間)				
7	自分について深く知る 強みの把握とPR	ペアワーク(他者との対話)を通して、自己の強みを客観視します。そのうえで、自身の強みを文章化する際のポイントを学びます。				<事後課題> 履歴書フォーマットの自己PR欄を完成させ次週持参してください(1時間)				
8	職業世界を知る 志望意思の把握とPR	社会で求められる、文書でのコミュニケーションについて、履歴書の作成を通して実践的に学びます。				<事後課題> 履歴書フォーマットの志望動機を含めた全ての欄を完成させてください(1時間)				
9	これからの社会におけるキャリア形成	これからの社会においてキャリア形成をしていくにあたり、重要な考え方や情報について解説します。その上で、職業キャリア形成の第一歩としての就職活動において学生に求められることについて説明します。				受講前に、新聞等で現在の社会情勢について調べてください(2時間以上)				
10	職業世界を知る 企業が求める人材の理解	企業の人事担当者から、社会が求める人材像、および大学時代に身につけておいてほしいことなどについて、お話を伺います。				<事後課題> 講演の感想、および自身の成長展望を、400字でまとめてください(1時間)				
11	自分について深く知る 能力	自身の言語面および非言語面に関する「能力」を把握するために、能力適性テスト(SPI)の模擬試験を受験します。				SPIの授業外学修を振り返り、苦手分野の対策を十分に行って臨んでください(1時間以上)				
12	職業世界を知る コミュニケーション	口頭	模擬面接を通して、仕事や就活での口頭コミュニケーション(自己プレゼン)について実践的に学びます。			第7回、第8回の授業を振り返り、自己PRと志望動機の準備をしてください(1時間)				
13	職業世界を知る コミュニケーション	口頭	模擬GDを通して、仕事や就活での口頭コミュニケーション(合意形成)について実践的に学びます。			第12回で指示する事前課題に取り組んで授業に臨んでください(1時間)				
14	自分について深く知る 力の分析と向上対策	能	能力適性テスト模擬試験の結果を振り返り、自身の能力の現状を把握します。試験解説に基づき、さらなる能力向上のための演習に取り組みます。			分野別に弱点を分析し、テキストの復習・基礎教育センターの活用を行ってください(2時間以上)				
15	まとめ	講義内容を振り返り、今後キャリア形成に向けてどのような行動を取っていくか考え、ポートフォリオを作成します。				ポートフォリオの指定箇所を完成させてください(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
レジュメ・資料を配布します。ポートフォリオファイルに綴って活用してください。なお、SPIの授業外学修用テキストとして、「SPI必出問題完全攻略」を配布します(購入は不要です)。			受講態度:30% 課題:40% 出席レポート:30% 受講態度は、授業への取り組み意欲、リアクションペーパーへの感想・質問内容で評価します。課題点は提出期限を遵守(社会人マナーの実践)し遅れた場合の評価は内容に問わず加減半とします。 S:職業観を十分養い自己分析が明確に伴い、他の学生への手本ともなる社会人マナーが身についている。 A:職業観を養い、自己分析が明確で社会人マナーを理解している。 B:職業観を理解し、自己分析がある程度進み社会人マナーを理解している。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「マイナビ2021就職活動がまるごと分かる本」(マイナビ出版) 「キャリア心理学ライブデザイン・ワークブック」(ナカニシヤ出版) 「働き方の哲学」(Discover21) ほか			社会に出るための準備をする授業です。主体的に取り組むことが大切です。授業の一環として夏季就職対策講座への参加が必要です。また、ポートフォリオファイルを配布します。授業の資料などを綴って保管してください。							

科目名	インターンシップ		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリング	UL34104	研究室	S-12	
担当者	上野 隆幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2018年度～					
授業概要											
<p>企業・自治体・団体等が実施する5日間のインターンシップに参加し、実際のビジネスの現場に触れてもらいます。またインターンシップ前に事前研修を行い、企業研究やビジネスマナー等について学習してもらいます。インターンシップ終了後は事後研修として自らの経験を振り返ってもらい、その成果や自らの成長を報告会にて発表してもらいます。これらを通じて社会人基礎力の向上を目指します。</p>											
学修到達目標											
<p>事前研修、インターンシップ実習、事後研修を通じて、自らのキャリアについて深く考えるための情報や知識、また社会人としてのマナーやプレゼンテーション等のビジネススキルを身につけている。</p>											
授業の進め方											
<p>事前研修、インターンシップ実習、事後研修の3つに分けて実施します。本講義は前期開講科目ですが、インターンシップ実習は夏季休業中に、事後研修は後期初めに実施します。インターンシップ実習は5日間となります。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	事前研修	インターンシップ実習先の企業等に提出する自己紹介書の自己PRについて、自己分析を実施した上で、自己PR文の作成方法を学びます。					講義内容に従い、自己PR文を作成してください(7時間)				
2	事前研修	インターンシップ実習先の企業等に提出する志望動機について、企業研究を行うとともに、志望動機文の作成方法を学びます。					講義内容に従い、志望動機文を作成してください(7時間)				
3	事前研修	ビジネスマナー、特に身だしなみ挨拶について学びます。					テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読して下さい。(6時間)				
4	事前研修	ビジネスマナー、特にメールや電話での対応も含めたコミュニケーションスキルについて学びます。					テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読するとともに、課題を作成して下さい。(6時間)				
5	直前研修	インターンシップ中の課題、インターンシップ後の課題について学びます。併せてインターンシップに参加する上での注意点についても説明します。					テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読するとともに、課題を作成して下さい。(6時間)				
6	インターンシップ実習	インターンシップの派遣先企業等において、5日間、実際の業務に従事し、「ビジネス」について学びます。					担当した仕事を振り返り、反省を日報に記入し、企業等へ提出してください(5日×2時間=10時間)				
7	事後研修	インターンシップを振り返り、学び得たことを確認します。また報告会向けのPPT資料の作成方法を学びます。					報告会に向けての資料(PPT)を作成し、大学へ提出してください。(6時間)				
8	事後研修	インターンシップを振り返り、学び得たことを確認します。また大学が発行する報告書向けの資料の作成方法を学びます。					報告書向けの資料(WORD)を作成し、大学へ提出してください。(6時間)				
9	インターンシップ報告会への参加	インターンシップ報告会に出席の上、発表またはポスター展示のいずれかの形でインターンシップの成果を報告します。					報告会に向けての資料準備、報告準備を行って下さい(6時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義内で必要に応じてプリント、テキスト等を配布します。					<p>課題：100% P：インターンシップ先での実習、事前研修・直前研修・事後研修への参加、報告会での発表または展示、のすべてがなされ、併せて学修到達目標を達成している。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じてプリント、資料等を配布します。					<p>本授業の性格から、すべての授業に参加することを履修の条件とします。また講義とは別に実施する説明会(4月上旬開催予定)に参加していない場合は履修できません。【主として実践的教育から構成される授業科目】</p>						

科目名	行政キャリア論（人間）		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリング	UL34105	研究室	W-04	
担当者	眞次 宏典		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
			A	B	C						
授業概要											
都道府県庁、市町村役場、警察官、消防官など地方公務員、さらに各種国家公務員を志望する学生のための情報提供と志望動機・志望理由確立を助ける講義を行います。											
学修到達目標											
地方公務員または国家公務員の志望動機・志望理由の確立すること。											
授業の進め方											
担当教員の講義中心で行う。適宜、グループワークやディスカッションも取り入れます。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	講義の狙いや全体の構成について説明します					各自の志望する公務員についてイメージを持つ努力をする（4時間）				
2	公務員の種類と仕事	国家公務員、地方公務員、さらに警察官、消防官などの公務員の種類と仕事について説明します					指定した資料を読む（4時間）				
3	国家公務員と地方公務員の違い（1）	国家公務員と地方公務員の違いについて説明します					指定した資料を読み、前回の講義内容について復習する（4時間）				
4	国家公務員と地方公務員の違い（2）	国家公務員と地方公務員の違いについて説明します					指定した資料を読み、前回の講義内容について復習する（4時間）				
5	小論文作成	これまでの講義内容を踏まえた小論文を作成します					これまでの講義内容の復習をする（4時間）				
6	小論文答案の返却と解説	前回作成提出した小論文答案を返却し解説を加えます					返却された答案と添削文を読み、書き直しをする（4時間）				
7	警察官と消防官（1）	警察官と消防官の仕事について説明します					配布された資料を読み、警察官と消防官の仕事についてのイメージをつかむ（4時間）				
8	警察官と消防官（2）	警察官と消防官の仕事について説明します					配布された資料を読み、警察官と消防官の仕事についてのイメージをつかむ（4時間）				
9	市町村職員の仕事（1）	地方自治制度の中での自治体職員の仕事について説明します					配布された資料を読み、市町村職員の仕事についてのイメージをつかむ（4時間）				
10	市町村職員の仕事（2）	市町村の仕組みについて説明します					配布された資料を読み、市町村職員の仕事についてのイメージをつかむ（4時間）				
11	市町村職員の仕事（4）	市役所、町村役場の政策とその意義について説明します					配布された資料を読み、市町村職員の仕事についてのイメージをつかむ（4時間）				
12	都道府県職員の仕事（1）	地方自治制度の中での都道府県の仕組みについて説明します					配布された資料を読み、都道府県庁のイメージをつかむ（4時間）				
13	都道府県職員の仕事（2）	都道府県庁職員の仕事について説明します					配布された資料を読み、都道府県庁職員の仕事のイメージをつかむ（4時間）				
14	都道府県職員と市町村職員の仕事の違い	都道府県庁と市町村役場の職員の仕事の違いを説明します					配布された資料を読み、都道府県庁職員の仕事と市町村役場職員の仕事の違いをつかむ（4時間）				
15	自治体職員の仕事	これまで見てきた都道府県庁職員と市町村役場職員の仕事の違いを踏まえたうえで、両者に共通する自治体職員の仕事についての説明をします					配布された資料を読み、都道府県庁職員と市町村役場職員の仕事について理解する（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準								
「なし」			定期試験：60% 出席レポート：30% 受講態度：10% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）								
「なし」			定期試験と講義途中での小論文が成績評価の大半を占めます。日常的な講義での積極的な参加を求めます								

科目名	行政キャリア論（人間）		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	UL34106	研究室	W-04
担当者	眞次 宏典		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
この講義に参加するためには、時間外での小論文作文作成が必要です。時間外学習（課題作成）ができない学生には向きません。また、担当教員が毎週の添削コメントを付けるため、この講義の定員は10名程度とします。履修希望人数がこれを超えた場合は、面接および小論文作文試験などによって選抜を行います。なお、その際には所属する学科によって有利または不利に扱うことはありません。あくまでも本人の志望の強さと資質によって選抜します。										
学修到達目標										
この科目は、公務員（都道府県、市町村、警察官、消防官などの職員）を志望する学生のために公務員試験に必要な小論文作文の知識と技術を習得する。										
授業の進め方										
学生による小論文作文の作成～担当教員による添削・コメント～学生による書き直し～担当教員による添削コメントといった流れを中心に進めます。さらに小論文作文のテーマに関連した知識についての講義を含みます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	イントロダクション	ガイダンス&課題その1					小論文答案の作成（4時間）			
2	課題その1の返却と解説	前回の小論文に添削を加えて返却し、解説をします					答案の作成（4時間）			
3	課題その1書き直し答案の返却と解説	課題その1の書き直し答案に添削を加えて返却し、解説をします。また、課題その2を提示します					答案作成（4時間）			
4	課題その2の返却と解説	課題その2の答案に添削を加えて返却し、解説をします。					答案作成（4時間）			
5	課題その2の書き直し答案の返却と解説	課題その2の書き直し答案に添削を加えて返却し、解説をします。また、課題その3を提示します。					答案作成（4時間）			
6	課題その3の答案の返却と解説	課題その3の答案に添削を加えて返却し、解説をします。					答案作成（4時間）			
7	課題その3の書き直し答案の返却と解説	課題その3の書き直し答案に添削を加えて返却し、解説をします。また、課題その4を提示します。					答案作成（4時間）			
8	課題その4の答案の返却と解説	課題その4の答案に添削を加えて返却し、解説をします。					答案作成（4時間）			
9	課題その4の書き直し答案の返却と解説	課題その4の答案に添削を加えて返却し、解説をします。また、課題その5を提示します。					答案作成（4時間）			
10	課題その5の答案返却と解説	課題その5の答案に添削を加えて返却し、解説をします。					答案作成（4時間）			
11	課題その5の書き直し答案返却と解説	課題その5の答案に添削を加えて返却し、解説をします。また、かだいその6を提示します。					答案作成（4時間）			
12	課題その6の答案返却と解説	課題その6の答案に添削を加えて返却し、解説をします。					答案の作成（4時間）			
13	課題その6の書き直し答案の作成と提出	課題その6の書き直し答案に添削を加えて返却し、解説をします。また、課題その7を提示します。					答案の作成（4時間）			
14	課題その7の答案返却と解説	課題その7の答案に添削を加えて返却し、解説をします。					答案作成（4時間）			
15	課題その7の書き直し答案返却と解説およびまとめ	課題その7の書き直し答案に添削を加えて返却し、解説をします。また、最後に全体を振り返ってまとめの講義を行います。					自己点検（4時間）			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「なし」 指定テキスト等はありません。適宜、プリントを配布します。					出席レポート：90％ 受講態度：10％ S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60％程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
「なし」 なし					週1コマの講義は公務員試験合格のためのほんの一部に過ぎません。時間外に自分で勉強する時間を多く取るようにしてください。					

科目名	ワークインフォメーション(人間・教育)	学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	UL44107	研究室	非常勤	
担当者	野村 尚	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、これから「社会人として、そして労働者として働く」学生が、働く上での諸問題をきちんと克服し、より良い働き方を実現できるための授業です。大きく「働く上での中心的な法律の説明」、「仕事と生活のバランスの取り方」、「社会保険の説明」、「働くことで問題が生じた際の解決方法」、「万が一転職や失業した際の手続などを学びます。										
学修到達目標										
働くうえで知っておくべき法律の一般的知識について習得している。										
授業の進め方										
基本的には講義形式で進めますが、授業の内容によりグループワークの形態で行うこともあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	自己紹介、働く場面で生じるあらゆる問題を紹介し、労働法の基本的枠組みについて解説します。					話題となっている身近な法律問題を調べておく。(4時間)			
2	労働法の歴史	労働法の背景、歴史について学びます。					基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
3	労働法総論	労働法の基本構造、労働法上の当事者、労働法の法源について学びます。					基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
4	労働基本権	労働基本権の性格、内容について学びます。					基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
5	労働関係の成立	募集、採用等労働関係の成立の際に発生する諸問題をとりあげます。					基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
6	労使関係	労使関係の基本的枠組み、労働者、使用者と労働組合との集団的な関係を規律する法律について学びます。					労働基準法・労働組合法の条文を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
7	雇用関係の展開	人事、職場規律と懲戒について学びます。					配付する就業規則等のサンプルを読む。授業後は振り返りをする。(4時間)			
8	雇用関係の終了	解雇、解雇以外の終了事由について学び、その際に発生する諸問題についてとりあげます。					配付する就業規則等のサンプルを読む。授業後は振り返りをする。(4時間)			
9	賃金	賃金の種類と体系、賃金の法規制について学びます。					基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
10	労働時間	労働時間制度の基本的枠組み、特則について学びます。					労働基準法等の条文を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
11	労働者の安全	労災補償制度の枠組み、内容について学びます。					基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
12	労働組合	労働組合の組織と運営、その限界について学びます。					労働組合法の条文を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
13	団体行動権、不当労働行為の禁止	労働者の団体行動についてその概念や法的枠組みを学ぶとともに、不当労働行為の救済について学びます。					労働者の権利についての条文を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
14	雇用保険制度と失業給付	雇用保険制度の概要、失業給付の概要について学びます。					基本書の該当部分を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
15	労働紛争の解決	労働審判、訴訟等労使関係における紛争解決手段について学びます。					該当法令を事前に学習し、授業後は振り返りをする。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「労働法入門(有斐閣双書)」外尾健一著(有斐閣)(生協で購入してください。)		受講態度:50% レポート:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、授業では誠実に取り組み、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートを作成できている。A:授業内容を理解し、授業では誠実に取り組み、積極的な探求姿勢をもってレポート作成ができている。B:授業内容のおおよそを理解し、授業では誠実に取り組み、レポート作成ができている。C:授業の内容の60%程度を理解し、授業では誠実に取り組み、レポート作成ができている。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「労働法」水町勇一郎著(有斐閣) 本格的なものなので、深く知りたい人が参考書等として利用してください。		戦後労働者が権利を確立するまでの歴史を知り、それに基づき、正当な労働者の権利及び義務とは何かを知る手がかりとなれば幸いです。								

科目名	体育原理	学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	SL15001	研究室	S-13
担当者	岩間 英明	必修選択	必修	科目種別	講義	ワイスア-	火曜日5限		
関連資格	レ・コ・デ・イ(教育)、中一(保体)、高一(保体)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
	A	B	C						
授業概要									
本講義は体育・スポーツを哲学的に思考し、「現代社会において体育とは何か」といった体育・スポーツの概念や、「人間とスポーツの関係はいかにあるべきか」などの基本的な人間と体育・スポーツとの関連について考察して、その存在意義について明らかにしていくことを目的としています。そのため、私たちの身近にある体育・スポーツ関連の課題や、最近の事象など、具体的な体育・スポーツをめぐる諸問題を幅広い視点から探究し、その根本にある原因や背景について自分なりに解釈していきます。									
学修到達目標									
体育・スポーツの諸問題について、多方向からの見方や多様な意見に触れ、考察を深めていくことを通して、これまで偏りがちであった考え方をこれからの体育・スポーツ指導者にふさわしい柔軟で幅広い見方や考え方ができるようになる。また、そのための明確な問いの立て方、文章表現力、論理的思考力、批判的思考力などを身に付けることができる。									
授業の進め方									
講義はテーマについて、これまでの自分の経験や行動に基づき、自分の考え方を明確にすることから始めます。その後、他の受講生の意見や資料、教員からの問いについて考えていき、自分自身の思考の変化を捉えて、レポートにまとめていきます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	ガイダンス	講義計画・展開及び評価方法等の確認をします。また、体育原理とはどんな学問かをなぜ学ぶのかといったことにも触れていきます。				事前にシラバスを読んでくる。自分のスポーツ経験を整理しておく。(1時間)			
2	体育・スポーツへの問い直し(社会全体と活動領域)	これまでスポーツを学んだ経験に基づき、自分にとってスポーツとは何かを考察します。また、社会全体においてスポーツ活動とはどのような意味があるのかを考えます。				事前に自分のスポーツ経験を整理し、スポーツがもたらすモノをレポートをまとめる。(5時間)			
3	スポーツの楽しさとは何か	「できない、できる」「つまらない、おもしろい」といったスポーツの結果や感情に基づき、スポーツの楽しさやなぜスポーツをするのかという根源的な問いに取り組んでいきます。				事前にテーマについて自分なりの考えをまとめておく。教科書の関連項目を読む。(1時間)			
4	運動部活動を考える	運動部活動によって「得たもの」、「失ったもの」を改めて考え、学校期における運動部活動のあり方を考える機会とします。				事前にテーマについて自分なりの考えをまとめておく。教科書の関連項目を読む。(2時間)			
5	スポーツにおける競争と共同の矛盾	スポーツの「勝利至上主義」「礼儀」「チームワーク」といった内容に焦点を当て、スポーツに存在する矛盾を考察します。				事前にテーマについて自分なりの考えをまとめておく。教科書の関連項目を読む。(2時間)			
6	スポーツと郷土愛・ナショナリズム	オリンピックやサッカーワールドカップなどの国際試合や、高校野球の甲子園などを例に、スポーツにおける「郷土愛」や「ナショナリズム」について考えます。				テーマに関する資料を集め、スポーツのナショナリズムについてレポートにまとめる。(5時間)			
7	スポーツマンシップとは何か	フェアプレイ、アンフェア(ドーピングなど)といった事例を通して、スポーツにおけるルールやスポーツマンシップといったものについて考察していきます。				テーマに関する資料を集め、フェアプレイについてレポートにまとめる。(5時間)			
8	スポーツと体育は同じか	明治以降の体育の変遷やスポーツクラブの指導と学校体育の違いを通して「スポーツと体育」はどこが違うのか、どこを違えるべきかについて考えます。				テーマに関する資料を集め、体育教育の問題点についてレポートにまとめる。(5時間)			
9	スポーツの多様性	近年の「観る」「創る」といったスポーツの関わり方や、「障がい」「性別」「年齢」「人種」などによるスポーツにおける差別などを例に、スポーツの多様性の問題に取り組んでいきます。				テーマに関する資料を集め、多様なスポーツのあり方についてレポートにまとめる。(5時間)			
10	スポーツにおける暴力	運動部活動の指導者による体罰問題や上級生による暴力問題などを例に、スポーツが抱える暴力性について考察していきます。				テーマに関する資料を集め、スポーツと暴力についてレポートにまとめる。(5時間)			
11	スポーツにおけるハラスメント	指導者によるセクシャルハラスメントや『監督絶対』といわれるパワーハラスメントの実態を考え、スポーツにおけるハラスメントについて考えていきます。				テーマに関する資料を集め、スポーツのハラスメントについてレポートにまとめる。(5時間)			
12	社会から影響を受けるスポーツ	オリンピックのボイコットやテロ事件などを事例に、スポーツと「政治」「宗教」「経済」「環境」「文化」などの社会とスポーツの関係について考察していきます。				テーマに関する資料を集め、スポーツと社会についてレポートにまとめる。(5時間)			
13	体育授業は必要か	子どもの体力低下問題や体育嫌いといった事例を通して、学校教育において体育という教科は必要かどうかを考えます。				テーマに関する資料を集め、体育授業についてレポートにまとめる。(5時間)			
14	スポーツの新しい役割	複雑化する現代社会においてスポーツにはどのようなことが期待されているのかを考察し、これまでとは違ったスポーツの新しい役割を考えていきます。				テーマに関する資料を集め、スポーツへの期待についてレポートにまとめる。(5時間)			
15	スポーツは必要か	「人間にとってスポーツとは何か」「現代社会におけるスポーツの役割」といった難解で根源的な問いに正面から取り組んでみます。				テーマに関する資料を集め、スポーツの価値と意味についてレポートにまとめる。(5時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「教養としての体育原理 新版」友添・岡出 共編編(大修館書店) ISBN:9784469267976(生協で購入してください。)		定期試験:70% レポート:30% ここで示しているレポートは、講義時間内で書く課題レポートを指します。Sは定期試験が9割以上で、レポートに自分の考えが資料を踏まえ論理的にまとめられている場合です。以下、Aは定期試験が8割以上で、レポートは資料に基づき、自分の考えがまとめられている場合。Bは定期試験が7割以上で、レポートは自分の考えに近い資料の内容が書かれている場合。Cは定期試験が6割以上で、レポートの内容がテーマに即したものであった場合です。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「スポーツ倫理学講義」川谷茂樹著(ナカニシヤ出版) ISBN:9784888489232		運動・スポーツの指導者として必須の内容です。原理(哲学)という難解な部分もありますが、「学校現場での実務経験を生かした」講義展開をします。で、過去の運動経験や実際の運動場面を意識して講義に臨むと理解できます。							

科目名	スポーツ心理学		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ・リング	SL15002	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日2限		
関連資格	実践指導者、指導士、レ・コデーイ(通常)、ト指、日本スポーツ協会指導、スポーツレク指、中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、運動・スポーツ心理学領域の中でも、健康にかかわる心理学に関する理論を中心に学んでいきます。具体的には、「心の健康」(適応と不適応)に関する様々な理論、「ストレスマネジメント」に関する理論(心理学的ストレスモデル(認知的評価)や対処方法等)、及び「行動変容理論」(「トランスセオレティカル・モデル」等)について学びます。										
学修到達目標										
受講者各自が、健康運動の指導現場へ応用できる実践的知識及び技能(ストレスマネジメントの方法や行動変容のための働きかけ等)を修得することを到達目標とします。また、日常生活においても自分自身の心の状態に興味を持ち、自らの生活に役立てられることが望まれます。										
授業の進め方										
講義が中心となりますが、授業内容に即したビデオ、DVD等の視聴覚教材等を適宜提示活用しながら、作業や討論を交え授業を進めます。また、心理テスト等の体験を通して、その内容の理解と同時に、自分の心の状態についても知ることができます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	心理テストを体験した後、本講義において何を学ぶのか、ガイダンスを行います。				シラバスを熟読し、講義内容について理解しておく。(4時間)				
2	スポーツと「心」	心について学ぶとはどういうことなのか、という根本的な問題についてについて考えます。スポーツと「心」の関わりや心理学における基礎的な理論について、具体的な事例を提示しながら学びます。				「心」とはどのような構造をしているのか考えておく。(4時間)				
3	心の健康とは?	健康な人とはどのような人を言うのか、あなたは健康なのか、健康の反対語は何であろうかといった素朴な疑問について考えながら、健康の定義について考えていきます。				精神的に健康な人とは具体的にどのような人か、各自が考えを持ち授業に参加する。(4時間)				
4	心の健康とは?	心の健康とは「心が病んでいないばかりではなく、個人が社会の中で快適に適応している状態」であると定義されています。この「適応している」状態(あるいは「不適応」)について掘り下げて考えていきます。				事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読してくる。(4時間)				
5	心の健康とは?	心の健康について、様々な研究者の理論に共通するポイントについて学びます。また、高齢者の心理的特徴を子どもや青年の心理と比べながら理解します。				事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読してくる。(4時間)				
6	ストレスマネジメントの理解	ストレスの定義、ストレス反応に関する基本的な理論、及びアセスメント(社会再適応評価尺度)等について学びます。				事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読してくる。(4時間)				
7	ストレスマネジメントの理解	ラザルスの心理学的ストレスモデル(認知的評価)や、認知的再体制化について学びます。また、ストレス対処の必要性や、一般的なストレスへの対処方法(ストレスコーピング)について学びます。				日常から自分が用いているストレスへの対処法について実体験と照らし合わせて考える。(4時間)				
8	ストレスマネジメントの理解	ストレスを修飾する要因である性格や行動パターン(タイプA行動パターンやアレキシサイミア等)、及び楽観主義や悲観主義について、アセスメントを行いながら学びます。				講義内で行ったストレスのアセスメント結果について、各自が考察を行う。(4時間)				
9	ストレスマネジメントの理解	交流分析の理論について学びます。実際に交流分析を体験することを通して、自分自身の交流のパターンを理解し、ストレスマネジメントに役立てます。				交流分析の結果について、自分なりの分析を行い、レポートを作成する。(4時間)				
10	ストレスマネジメントの理解	ストレス対処法について、カウンセリングを中心に専門的に学びます。				日常から自分が用いているストレスへの対処法について考えてみる。(4時間)				
11	運動実践に伴う社会・心理・環境的效果	運動実践に伴う心理社会的効果(気分の改善や抑うつ改善等)、及び一般人の健康増進への活用について学びます。				運動実践に伴う心理社会的効果、及び活用方法について考えてみる。(4時間)				
12	スポーツにおける動機づけ	スポーツにおける動機づけに関する様々な理論について学びます。				事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読してくる。(4時間)				
13	スポーツにおける動機づけ	引き続きスポーツにおける動機づけに関する様々な理論について学び、運動継続や実際のスポーツ指導場面にどのように応用すればよいか考えていきます。				自分が実際に指導者になった際、理論をどのように応用できるか考えてみる。(4時間)				
14	行動変容理論の理論	「トランスセオレティカル・モデル」について、行動変容プロセス、行動変容ステージ、及び構成概念間の関係(ステージマッチド介入)について学びます。				事前に配布されたテキスト(コースパケット)の該当部分を熟読してくる。(4時間)				
15	行動変容理論の実践的適用	指導者と受講者のミスマッチに気づき、それを解決する方法について考えます。また、個別指導における動機づけや面接の方法について、受講者同士のディスカッションを取り入れながら学びます。				自分が実際に指導者になった際、理論をどのように応用できるか考えてみる。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
コースパケット(参考文献等の資料を集めた冊子)を授業の中で配布します。		定期試験:80% 受講態度:20% S:授業に対して積極的かつ探究的に参加し、授業内容を様々な事象に対して応用ができるレベルにまで理解している。A:授業に対して積極的に参加し、授業内容を理解している。B:授業に対して積極的に参加し、授業内容をおおおよそ理解している。C:授業内容について最低限理解している。 なお、受講態度は授業における課題等に取組む姿勢により評価します。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「健康運動指導士養成講習会テキスト下」(健康・体力づくり事業財団) 「スポレク活動で健康寿命を延伸」(日本レクリエーション協会)		競技スポーツ及びコーチングに関する内容は、2年次後期開講のスポーツカウンセリングおよび3年次前期開講のスポーツコーチング論で扱うため、これらの講義を併せて受講することを奨励します。								

科目名	運動学		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ リング	SL25003	研究室	S-13
担当者	岩間 英明		必修選択	必修	科目種別	講義	ワイスア-	火曜日5限		
関連資格	日本スポーツ協会指導、中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
	A	B	C							
授業概要										
本講義はスポーツ指導の手がかりとなる基礎的理論を学ぶことを目的としています。運動指導における課題発見や解決の仕方を学び、自らの力で指導方法を組み立てることができるようにしていきます。講義内容はマイネルの「スポーツ運動学」の理論を基礎として、運動構造、運動発達、運動学習、運動質、運動観察 などについて講義してきます。さらに、運動指導に関する実際の問題を探り上げ、指導者や学習者の両方の視点から検討を加えることで、実践的な指導力向上を目指します。										
学習到達目標										
運動を「構造的」に理解し、運動の「質」を見極めることのできる観察力や、その解決方法に関する基礎的な理論を理解することができる。さらに、学校体育や健康運動指導、競技スポーツの現場等において、学習者の運動課題を見つけ出し、その解決につながる指導方法を自らの力で組み立て、実践的な指導力の向上を図ることができる。										
授業の進め方										
基本的にはテキストや配付資料を基に講義を展開していきます。さらに、具体的な事例として実際の指導場面で直面する様々な問題を取り上げ、その解決方法を考えることでスポーツ運動学の基礎的知見をより明確化して理解を深め、実践に結びつけていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス。運動学は何を問題とし、何を学ぶ学問なのか。	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。スポーツ運動学の概念、研究目的・方法などの概略について解説を行い、運動学の視点から捉えた運動研究のいくつかを紹介していきます。				テキストP1~11を事前に読む。授業内容の運動学の概略、専門用語について復習する。(3時間)				
2	運動の学習とは何か。運動学習の意味と、その基本的な見方を学ぼう。	運動指導におけるモルフォロジーの基本的考え方を理解し、運動学習の意味を改めて問い直し、これからの運動学習で求められるものは何かを学びます。				テキストP14~31を事前に読む。運動学習の基礎理論について復習する。(3時間)				
3	学習者が意欲的な運動学習をするために必要なことは何かを考えよう。	学習者が意欲的に運動に取り組むための学習方法を、健康運動指導、学校体育、競技スポーツなどの指導場面ごとに具体的な指導事例を挙げながら検討していきます。				テキストP32~57を事前に読む。「新しい運動学習」に関する課題レポートを作成する。(6時間)				
4	動きを構造的に考えることの必要性とその方法を理解しよう。	運動指導に必要な運動の仕組み「構造」との考え方を、動きの意味によって構造化される「価値構造」と、動きの中に存在する様々な条件や「局面構造」を包含した「全体構造」の2つの視点から考えます。				テキストP60~68を事前に読む。運動を構造化する必要性とその方法を復習する。(4時間)				
5	運動を洗練させるなめらかな動き、運動の先取りについて考えよう。	なめらかな動きをするために重要な役割を果たす「運動の先取り」について運動構造からとらえ、局面構造およびそれぞれの局面をスムーズに組み合わせた動きの特徴をとらえます。				テキストP69~77を事前に読む。局面構造の特徴と、先取りについて復習する。(4時間)				
6	力動感としての動きのリズム、運動観察ならびに運動共感について学ぼう。	運動指導では身体の空間的・図形的な内容だけでなく、身体の内部感覚である力動感としての「動きのリズム」が大切な視点であることを理解し、指導における運動観察、運動共感について学びます。				テキストP78~85を事前に読む。運動リズム、運動観察、運動共感について復習する。(4時間)				
7	動きの系統性をふまえた段階的な指導、発達段階に応じた指導について学ぼう。	動きの系統性を動きの類縁性から理解し、習熟の程度に応じた段階的な指導について実践事例から学びます。また、年齢による運動の特徴を捉え、発達段階に応じた指導について解説します。				テキストP86~93を事前に読む。動きの系統性、発達段階に応じた指導の仕方を復習する。(4時間)				
8	運動の習熟の仕方と、運動修正の基本的な考え方や方法について考えよう。	運動の習熟の程度の違いについて学習し、そうした違いが生まれる原因や背景を考えます。同時に、運動の修正方法の見つけ方や、運動修正に関する基本的な知識や考え方について学びます。				テキストP94~109を事前に読む。「動きの構造」に関する課題レポートを作成する。(6時間)				
9	動き方を覚える、うまくするのはどういふことか、その過程で大切なことは何?	運動学習の習熟位相(動きを覚える段階)理論について学習し、動きを覚える過程について理解します。また、動きを覚えるために必要な条件について学びます。(運動スキル獲得とその獲得の過程)				テキストP112~126を事前に読む。事例に基づき、習熟位相について復習する。(4時間)				
10	良い指導とは何か、指導者によって運動結果に差が生ずる理由を考えよう。	指導者が学習者の運動を修正する4つの指導レベルについて学習し、指導効果を上げるために必要な情報や、よりよい指導者を目指すための視点や条件などについて考えます。(人や集団のメカニズムと支援対象)				テキストP127~133を事前に読む。指導者の4つの指導レベルについて復習する。(4時間)				
11	ポイントをとらえた指導や、意欲的に学習させるために必要なことを学ぼう。	運動技術の特性や学習者の欠点の把握の仕方などの指導ポイントのとらえ方を理解した上で、学習者が意欲的に運動学習するために、指導者はどうすればよいかを学びます。(競技力向上のための情報とその活用)				テキストP134~147を事前に読む。運動指導のポイントのとらえ方を復習する(4時間)。				
12	学習者の動きの可能性を拓き、新しい動き方を覚えさせる方法を理解しよう。	学習者の動きの可能性を引き伸ばし、新しい動きを覚えさせるために必要な動きの発生順序に基づく動きの覚え方について理解します。また学習者自身の観察力を高める指導の仕方について考えます。				テキストP148~162を事前に読む。「動き方を覚える」に関するレポートを作成する。(6時間)				
13	運動指導の実際 運動理論に基づく器械運動の指導について考えよう。	器械運動の特性や系統性を踏まえ、器械運動のいくつかの技を挙げて、効果的な指導をするためにはどのような指導をすればよいか、自分の経験と照らし合わせながら具体的に考えます。				テキストP172~195を事前に読む。器械運動の指導を技の系統性から復習する。(3時間)				
14	運動指導の実際 運動理論に基づく陸上競技の指導について考えよう。	陸上競技の特性や系統性を踏まえ、短距離走と走り幅跳びを例に、効果的な指導をするためにはどのような指導をすればよいか、自分の経験と照らし合わせながら具体的に考えます。				テキストP196~220を事前に読む。陸上競技のハードル走の指導をまとめてみる。(3時間)				
15	運動指導の実際 運動理論に基づく球技の指導について考えよう。	球技の特性や系統性を踏まえ、ゴール型、ネット型、ベースボール型それぞれについて、効果的な指導をするためにはどのような指導をすればよいか、自分の経験と照らし合わせながら具体的に考えます。				テキストP229~254を事前に読む。球技の特性に応じた指導をまとめてみる。(3時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「教師のための運動学」金子明友監修、吉田茂、三木四郎編(大修館書店) ISBN: 9784469263350 (生協で購入してください。)		定期試験: 70% レポート: 30% レポートは学習のまとめりごと定着度の評価として3回に分けて実施します。レポートは学習のまとめりごと定着度の評価として3回に分けて実施します。Sは定期試験は9割以上得点し、レポートが資料の内容を正しく理解してまとめられている場合です。以下、Aはテスト8割以上で、レポートは資料に基づいてまとめられている場合。Bは両テストが7割以上で、レポートは資料の内容が書かれている場合。Cはテストが6割以上で、レポートの内容が資料の内容が概ね書かれている場合です。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「スポーツ運動学」マイネル、K. 金子明友訳著(大修館書店) ISBN: 9784469260663 「運動学講義」金子 朝岡 共編 ISBN: 9784469261776		運動・スポーツの指導者として必須の実践的な科目です。難解な用語もありますが、「学校現場における運動指導の実務経験を生かした」講義展開をしますので、実際の運動場面を意識しながら学習を進めると理解が深まります。								



科目名	医学概論(スポーツ)		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL15004	研究室	S-02
担当者	青木 雄次		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	指導士、第一種衛生、養教一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>人の健康づくりに携わる職種は、医学や医療と密接な関係があります。したがって、医学や医療の正しい知識や現状を学ぶことにより、健康の増進や疾病の予防をいかにするかを知ることが目的です。</p> <p>医学は、人の健康と疾病について学ぶ学問であり、この講義では、医学の定義、構成分野、発達の歴史、さらに健康や疾病の基礎的知識を学びます。その上で、倫理上の点も含めて、今日の医療の課題や問題点も学びます。</p>										
学修到達目標										
医学や医療体制、疾病など、医療全般についての概要が理解できることを到達目標とします。										
授業の進め方										
教科書に沿って説明し、適宜、スライド、DVD、プリントを使用します。医学の歴史についてのDVD上映します。医療における倫理的臨床倫理問題を症例を通じて考えます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	医学概論とは何か、何を学び何が要求されるのかについて講義します。医学の歴史DVD上映1。				講義で話された内容を復習してください。(4時間)				
2	医学の歴史	医学史を学ぶ意義、古代から現在までの医学の流れ、日本における医学の発展について講義します。医学の歴史DVD上映2。				教科書p.1~14を予習しておいてください。(4時間)				
3	病気とその治療、予防	健康の定義、病気の定義と分類、医療の目的、療養施設の種類と目的について講義します。医学の歴史DVD上映3。				教科書p.15~23を予習しておいてください。(4時間)				
4	患者の診察と検査	診療の流れ、病歴聴取、診察の目的・所見、検査の目的・種類・意義について講義します。				教科書p.24~36を予習しておいてください。(4時間)				
5	社会保険と医療保険	制度のあゆみ、社会保障の概念と制度、健康保険、各国の医療制度について講義します。				教科書p.37~47を予習しておいてください。(4時間)				
6	日本の医療の現状と国民の意識	健康寿命、国民の自己評価、受診行動、医療機器、予防医療、国民医療費について講義します。				教科書p.48~61を予習しておいてください。(4時間)				
7	わが国の医療の問題点と対策	医師不足、無医地区、救急医療、国の対策、5疾病5事業について講義します。				教科書p.62~73を予習しておいてください。(4時間)				
8	生活習慣病、健康日本21と特定健診、まとめ1	生活習慣病の概念と意義、健康日本21、特定健診、特定保健指導について講義します。2回から8回のまとめのプリントを配布します。				教科書p.74~80を予習しておいてください。(4時間)				
9	高齢者医療、健康長寿と介護保険	高齢者、高齢化社会、健康長寿、老化防止、介護保険について講義します。				教科書p.99~113を予習しておいてください。(4時間)				
10	リハビリテーション	概念と定義の変遷、ノーマライゼーション、関係法規、国連の取り組み、リハビリテーションの種類と諸段階について講義します。				教科書p.114~128を予習しておいてください。(4時間)				
11	医療職の役割とチーム医療	医療従事者の職種と業務内容、チーム医療の歴史と現状について講義します。				教科書p.129~145を予習しておいてください。(4時間)				
12	医療安全	医療事故、前事故事象(ヒヤリハット)、事故の原因と対処、院内感染予防、安全管理体制について講義します。				教科書p.146~154を予習しておいてください。(4時間)				
13	医の倫理・患者の権利1	医療の倫理的側面、時代による変遷、自己決定権、リスボン宣言、患者の権利と責務、インフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて講義します。				教科書p.170~176を予習しておいてください。(4時間)				
14	医の倫理・患者の権利2	生殖医療、人工受精、代理出産、遺伝子診断、母体保護法、脳死、臓器移植、緩和ケア、終末期医療、安楽死と尊厳死について講義します。				教科書p.176~187を予習しておいてください。(4時間)				
15	医学研究、まとめ2	ヘルシンキ宣言、国の倫理指針、疫学研究、コホート研究、EBM、臨床試験、先端的研究(ヒトゲノム計画、幹細胞の利用と再生医療)について講義します。9回から15回のまとめのプリントを配布します。				教科書p.194~208を予習しておいてください。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「現代医学概論 第2版」柳澤、信夫著(医歯薬出版) ISBN:978-4-263-73164-2(生協で購入してください。)				定期試験:100% S:医学・医療の歩みと、日本の医療の特徴、種々の歴史的・社会的・経済的・倫理的・医療的課題を十分に理解している;定期試験で90点以上 A:上記をほぼ理解している;定期試験で80点以上 B:上記を8割程度は理解している;定期試験で70点以上 C:6割程度は理解している;定期試験で60点以上						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「医学概論」北村 論著(中外医学社) 「医学概論」日野原 重明著(医学書院)				医学史や現代医学の概要、医療体制を知ることにより、わが国の医療の概要を理解し、いかに疾病を予防するかを自ら考えてください。講義前には、教科書に目を通しておいてください。【実務経験のある教員】病院で内科医師勤務。						

科目名	安全・救急法(含実習)		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	SL15005	研究室	非常勤
担当者	百瀬 能成		必修選択	必修	科目種別	講義	ホワイト			
関連資格	実践指導者、指導士、第一種衛生士指、日本赤十字協会指、日本赤十字協会アスマネ、赤十字指、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
救命救急について、特に心肺蘇生とAEDの使い方について学ぶとともに救急を要する様々な状況と対処の仕方を学びます。応急手当の手法を学び、日常遭遇するケガに対処する方法を身につけます。										
学修到達目標										
救命しなければならぬ場面に遭遇してもあわてず必要な行動と処置ができるようになること。										
授業の進め方										
教室での講義と、消防隊および普及員による一次救命処置の実習を組み合わせで行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	安全救急法についてのガイダンス、学ぶにあたってのところがまえや態度を学びます。				事前に自分が過去に学んだ救命救急法を復習する。(4時間)				
2	心肺蘇生	心肺蘇生とAEDの方法と心肺蘇生の必要性(特に倒れた人の身近にいる人が行う心肺蘇生の必要性)を学びます。				テキスト1-9ページを読み、救命の4つの連鎖を暗記する。(4時間)				
3	虚血性心疾患	心臓の働きと狭心症、心筋梗塞の病態と症状を学ぶ。心臓が原因で突然死することが多いことを学びます。				心臓の解剖と機能、冠状動脈について学ぶ。(4時間)				
4	呼吸困難	肺の働きと病気、呼吸困難の原因を学びます。				肺の解剖と呼吸のメカニズムを学ぶ。(4時間)				
5	低体温症	低体温について、低体温になった場合の対処の仕方を学びます。				最近の低体温症の事例について調べる。(4時間)				
6	溺水	乳幼児から高齢者までの各年代における溺水の特徴、溺水の予防について学びます。				テキスト38ページを読む。最近おきた溺水の事例を調べる。(4時間)				
7	救急蘇生(1)	松本広域消防署による実習 救急蘇生法 呼吸のチェック 呼吸停止の確認の実習をします。				テキスト10-24ページを読む。(4時間)				
8	救急蘇生(2)	松本広域消防署による実習 救急蘇生法 AEDの使い方 人工呼吸法の実習をします。消防署で行われる口頭指導のDVDを見ます。				事後にシチュエーションを変えて口頭指導の問答を考える。(4時間)				
9	救急蘇生(3)	窒息、気道異物除去法、アナフィラキシーショックへの対処の仕方、エピペンの使い方の実習をします。蜂刺されによるアナフィラキシーショックのDVDを見ます。				事後に蜂刺され以外の原因によるアナフィラキシーショックの事例を調べる。(4時間)				
10	応急手当(1)	応急手当の実習:体位と移動、RICE処置について学びます。				テキスト25-30ページを読む。さまざまな救急の場面を想定したシナリオを作る。(4時間)				
11	応急手当(2)	応急手当の実習:三角巾の使い方、止血法、骨折、捻挫に対する処置、テーピングについて学びます。				テキスト33-36ページを読む。身の回りで三角巾に代わるものを捜し、試してみる。(4時間)				
12	やけど	やけどの種類と分類、やけどの面積を推定するための9の法則について学びます。				テキスト36-37ページを読む後に自分の住む地域の最近の火災事故の頻度について調べる。(4時間)				
13	中毒	食中毒、ガス中毒、たばこ中毒の種類とその対処法について学びます。				いろいろな中毒の事例を調べる。(4時間)				
14	熱中症	熱中症の種類と対処法、脱水について学びます。				テキスト33ページを読む。経口補水液を作成し、脱水のメカニズムについて調べる。(4時間)				
15	災害	災害への対応、リスクマネジメント、救護法について学びます。				過去に起きた大きな災害の事例について調べる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「応急手当講習テキスト救急車がくるまでに(改訂5版)」(東京法令出版)(講義にて配布します。)必要な時はプリント、資料を配布します。				実技:20% 定期試験:80% S: 授業内容を高度に理解し、実技に積極的に取り組みかつ質問し、レポートの内容が特に優れ、定期試験も9割以上。A: 授業内容をよく理解し、実技に積極的に取り組み評価が優れ、レポートの内容が優れ、定期試験が8割以上。B: 授業内容を理解し、実技に誠実に取り組み、レポートの評価が良く定期試験が7割以上。C: 授業の内容を理解し、実技に取り組み、レポートの評価が可で定期試験が6割以上。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「アトラス応急処置マニュアル」(南江堂) 「応急手当指導者標準テキスト ガイドライン2015対応」(東京法令出版) 「改訂第3版 BLS写真と動画でわかる一次救命処置」小林立直著(学研)				一刻を争う救命救急の処置をしっかりと学びましょう。いつ、どこで、ケガや病気に突然、遭遇するか分かりません。救急時の最低限の応急手当の仕方を身につけよう。						

科目名	養護概説		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	SL15006	研究室	S-19
担当者	中島 節子・早川 維子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	養教一				履修条件	教職課程履修者				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
この科目は、養護教諭1種免許取得を目的とする科目の1つです。養護教諭の沿革や職務内容等の基本的な事項を学び、養護教諭に必要な知識や求められる能力について、体系的に理解することを目的としています。保健室の機能、学校保健情報の把握、保健指導・保健学習、救急処置および救急体制、健康診断、健康相談活動、学校環境衛生、感染症の予防、学校保健に関する各種計画および組織活動の企画と運営への参画等、養護教諭の職務についての基本的な事項を学びます。										
学修到達目標										
学校における養護教諭の役割と養護教諭の専門性を説明できる。 養護教諭の基本的な職務内容を実践と結びつけ理解し、理想の養護教諭像を描くことができる。										
授業の進め方										
養護教諭職の基礎、基本を中心に置きながら、学校現場の養護教諭の講義を交えて具体的な実践事例を取り上げて講義していきます。現代の学校現場に求められる養護教諭の専門性についてディスカッションやグループワーク等で考え、実践できる能力を学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	養護教諭の職務	養護教諭の歴史の歴史について学びます。養護教諭の免許と養成制度について学びます。				テキストの第1章を予習復習する。養護教諭の歴史についてまとめる。(4時間)				
2	学校教育と学校保健	教育の目的、学校保健に関連する法律について学びます。学校保健計画について実例を交えて考えます。				テキストの第2章を予習復習する。(4時間)				
3	子どもの現代的な健康課題とその対応、養護教諭の職務	こどもの健康問題の推移や現状を学び、現代的な健康課題への対応を考えます。そこで求められる養護教諭の専門性、職務内容、養護教諭の新たな役割について学びます。				テキストの第3、4章を予習、復習する。現代の子どもの健康課題を考える。(4時間)				
4	保健管理：学校における救急処置	救急処置の目的、学校内の救急体制の確立、学校管理下の事故発生への対応について学びます。				テキストの第5章の1節の救急処置についてまとめる。(4時間)				
5	保健管理：健康診断	健康診断の法的根拠や定期健康診断の流れ、事後処置について学びます。				テキストの第5章2節の健康診断についてまとめる。(4時間)				
6	保健管理：健康観察	健康観察の目的や重要性を学びます。健康観察の視点、フィジカルアセスメントを活用した健康観察の実践について学校での実際を聞きながら学びます。				テキストの第5章の3節の健康観察についてまとめる。(4時間)				
7	保健管理：疾病管理	疾病管理の目的と留意点、学校における感染症の予防と管理、学校におけるアレルギー対応について学びます。				テキストの第5章の4節の疾病管理についてまとめる。(4時間)				
8	保健管理：学校環境衛生	学校環境衛生基準と環境検査について学び、学校環境衛生活動における養護教諭の役割を考えます。				テキストの第5章第5節、学校の環境衛生についてまとめる。(4時間)				
9	保健教育	保健教育のめざすもの、教科保健(保健学習)と保健指導の機会とそれぞれの特質について学びます。学校で実際に行われている保健指導の実践を交えて学びます。				テキストの第6章の保健教育についてまとめる。(4時間)				
10	健康相談	健康相談の基本的な考え方、健康相談の進め方と実施上の留意点について、実際に学校で行われている事例を含めて学びます。				テキスト第7章の健康相談についてまとめる。(4時間)				
11	精神保健、PTSDの理解とその予防	メンタルヘルスに対応するための基礎知識、PTSDの理解とその予防について学びます。				テキストの第8章、第9章をまとめて子どもの心の問題解決についてまとめる。(4時間)				
12	学校教育相談、特別支援教育と養護教諭	学校における教育相談での養護教諭の役割を学びます。アセスメントの重要性、学校における教育相談で期待される養護教諭の役割と校務分掌について学びます。				テキストの第10章をまとめる。(4時間)				
13	保健室経営、保健組織活動	学校保健活動のセンターとしての保健室の役割、保健室経営計画の作成から評価までを学びます。学校における保健組織活動、保健主事や地域の関係機関との連携について学びます。				テキストの第11章、第12章をまとめる。(4時間)				
14	安全管理と危機管理	学校と子どもをめぐる安全の現状を考え、危機管理の進め方を考えます。危機管理における養護教諭の役割について学びます。				テキストの第13章をまとめる。災害時の養護教諭の役割についてまとめる。(4時間)				
15	調査、研究、プレゼンテーションの進め方	養護教諭が行う実践的研究とその進め方 プレゼンテーションの仕方について学び、実践研究について考えます。				テキストの第14章をまとめる。養護教諭の関する論文を検索し、解説する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「新養護概説<第11版>」采女智津江著(少年写真新聞社) ISBN:978-4879816764(生協で購入してください。)				定期試験：80% 課題：20% 定期試験と課題で評価します。S:養護教諭に必要な法的根拠や知識を理解できる。A:養護教諭に必要な法的根拠や知識を説明できる。B:養護教諭に必要な知識や専門性について基礎的なことは説明できる。C:養護教諭に必要な知識や養護教諭の専門性について6割以上理解できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「養護教諭のための現代の教育ニーズに対応した養護学概論」岡田加奈子 河田 史宝編(東山書房) 「四訂養護概説」三木とみ子著(ぎょうせい)				養護教諭1種免許取得を目指す学生は必ず履修してください。なお、この講義は、実務経験のある養護教諭、保健師が担当します。						

科目名	発育発達論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ・リング	SL25007	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日5限		
関連資格	実践指導者、指導士、日本スポーツ協会指導、レ・コディ(教育)、日本スポーツ協会アシメ、中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
スポーツ指導者や教育現場では、子どもたちの身体がどのような過程を経て大人へと成長していくかを理解することは重要なことです。そこでは単に遺伝的な素質が変容する過程としての変化ではなく、どのように子どもたちの才能を開花させるかといった視点による発育発達理解が重要となります。ヒトが誕生してから思春期、そして成人以降の老化と体力や運動能力などの関連を理解するとともに、体力と遺伝的要因や運動の実践の有無など後天的要因との関連についても学習します。										
学修到達目標										
ヒトが誕生し、乳児期、思春期を向かえやがて加齢とともに老化します。その過程における発育発達の理解を深め、それぞれの年齢による身体の変化と性差における差異が説明できるようになること。										
授業の進め方										
発育・発達に関して思考し、講義、作業、討論等を行う中で、学生同士の考え方を理解し、ディスカッションを重ねながらその認識を深めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	「発育」「発達」の概念	ガイダンス：発育発達研究の基礎と概念・方法論を説明します				シラバスを熟読すること(4時間)				
2	生理学的年齢	発達をどう捉えるか遺伝的な影響要因の理解を深めます				年齢についての定義を調べること(4時間)				
3	出産と乳幼児	ヒトの誕生と乳児期の運動能力および栄養について知識を深め、議論を行います				事前の配布されるプリントを読むこと(4時間)				
4	身体運動発現の順序性	幼児の運動能力の測定の問題点について課題を検討し測定方法について理解できるようにします				幼児の基礎運動技能について、測定方法や評価方法など予習しておくこと(4時間)				
5	成長期における骨格の発達	発育・発達期の身体的特性 身長・体重・骨格の発育および子どものけがについて理解できるようにします				骨格の構造と成長について予習しておくこと(4時間)				
6	成長期における技術の発達	発育・発達期の身体的特性 スキャモンの発育曲線と神経・筋コントロール能力について説明できるし、コーチング方法について知識を深めます				スキャモンの発育曲線を予習しておくこと(4時間)				
7	運動能力構造の変化	発育・発達期の身体的特性 筋と筋力の発達について筋肉の種類や特徴などを理解し説明できるようにします				プリントの復習すること(4時間)				
8	身体発達に影響する要因と問題	発育・発達期の身体的特性 エネルギー代謝量と最大酸素摂取量の発達について理解し説明できるようにします				最大酸素摂取量の定義についてプリントを復習すること(4時間)				
9	女性における発育発達	発育・発達期の身体的特性 女性の身体発達について性差の違いを理解できるようにします				女性の特徴について予習しておくこと(4時間)				
10	性差による疾病やスポーツ障害について	性差における疾病やスポーツ障害の特徴について学び、その対処方法を理解できるようにします				スポーツ障害の発生活因などを予習しておくこと(4時間)				
11	老化メカニズム	老化と運動 高齢者の身体的特徴について理解を深め実習授業を行います				高齢者の特徴を調べておくこと(4時間)				
12	老化メカニズム	老化と運動 高齢者の体力と効果的な運動処方について理解を深めます				授業で実施した内容を復習および、高齢者の体力基準値を調べ、レポートにまとめる(4時間)				
13	高齢者の心身機能	老化と運動 高齢者の運動に対する応答について説明します				細胞・組織における老化について予習しておくこと(4時間)				
14	「健康とは」を考える	運動・栄養・休養からヒトにおける健康を総合的に理解できるようにします				事前課題について資料作成しておくこと(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめと試験に向けて注意点を説明します				今まで使用したプリントを熟読しておくこと(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
コースバケット(参考文献等の資料を集めた冊子)を授業の中で配布します				レポート：10% 定期試験：90% 授業内レポートを評価し、定期試験では授業のプロセスの中で身につけた知識を評価します。90%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康運動実践指導者用テキスト」財団法人健康・体力づくり事業財団編				・授業の中で行う共同作業、および討論への積極的な参加を望みます。 ・健康運動実践指導者用テキストを事前に読んでおくことが望ましい。【実務経験のある教員が担当】病院に勤務、健康運動指導士として運動指導の実務。						

科目名	衛生・公衆衛生学概論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	SL25008	研究室	C-1
担当者	弘田 量二		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格	第一種衛生、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
公衆衛生とは「地域社会の努力によって、疾病予防、寿命延長、身体的・精神的健康の増進を図る科学・技術である」と定義されています。社会や環境との関連において特に健康と疾病を集団の事象としてとらえ、個人はもとより集団レベルにおける疾病の予防と健康の保持・増進を図るためにはどうするかを学びます。人間集団の健康状態を把握するために国内外における保健統計、健康水準の定義と意義、人口問題が健康指標に及ぼす意味などを理解します。										
学習到達目標										
衛生管理者、保健体育の教諭資格の取得を目指すために必須要件となる健康と疾病を基盤とする公衆衛生学に関する知識を理解することを目指す。公衆衛生学はその学修領域は広範で複雑であることから、日常時から社会問題についても関心を持ち極力身近な学問と認識して、具体的に説明することができる。										
授業の進め方										
健康と疾病との関係について、その予防対策を考慮した上で、年ごとに変化する関連統計情報や社会的報道等を資料として、身近な学問としての公衆衛生学を展開していきます。授業は、配布資料およびプロジェクターを用いて進めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス・健康とは何か	授業概要、学習到達目標、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明、質問します。公衆衛生学の概念として、健康の概念、公衆衛生の概念、定義を学修します。				事前にシラバスを読み、確認事項を整理しておく。授業後は履修事項をとりまとめる。(4時間)				
2	食生活と疾病	糖尿病・高血圧などは、乱れた生活習慣に起因すると考えられています。さらにがんも食生活を改善することである程度予防できると考えられています。どのような食生活が疾病予防に望ましいのか学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
3	がん予防	がんは生活習慣病の一種ととらえられています。どのような食事習慣や運動習慣をすれば、健康寿命を延ばすことにつながるのか、学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
4	健康づくり対策	健康作り政策の変遷、健康増進法、健康日本21(第二次)、健康管理の進め方とその方法について学びます。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
5	保健機能食品制度(トクホ)のはなし	生理学的機能や生物学的活動に影響を与える保健機能成分を含み、疾病リスクの軽減が期待できると表示できる制度について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
6	心の健康づくり	社会生活の変化に伴って仕事や生活に強い不安や悩みを持つ労働者が増えてきました。健康的な生活を営むための心の健康作りについて学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
7	小テストの実施と解説、質疑応答	第1回から6回までの授業の理解度をテストで確認し解説します。学生の主体的な授業参加を促すため質疑応答を随時受け付けて進めます。				配付資料とテキストをもとにテスト対策や質問を準備してくる。(4時間)				
8	生活習慣病予防	肥満は、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こす原因となります。さらに動脈硬化、心筋梗塞や狭心症などのリスクを高めます。どうして肥満になるのかについて学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
9	健康格差を考える	寿命が短かった時、その人の自己責任といえるだろうか。所得や住んでいる地域によって寿命が異なるのはなぜだろうか。社会疫学の観点から学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
10	統計資料	健康、疾病、行動に関わる統計資料の中から、人口動態統計(国勢調査)、人口動態統計、生命表、平均寿命などについて学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
11	環境保健	疾病のひきがねとなる環境要因にはどのようなものがあり、健康的・文化的な生活をおくるためにはどのようにしたらいいだろうか、学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
12	食塩と高血圧	食塩の取り過ぎは高血圧の原因になります。健康寿命を延ばす食事に求められるものについて学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
13	食事の役割	私達は何のために食事をするのだろうか。食事の一次機能、二次機能、三次機能について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
14	産業保健	私たち労働者は、職場において労働安全衛生法により健康学修職場災害から守られています。どのようにして守られているのか、学習します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
15	全体のまとめ、国試関連	授業の総括として、これまでの内容の要点を復習し、質疑応答を行います。管理栄養士国家試験の必須科目としての衛生・公衆衛生を概観します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要に応じて、講義に応じたプリントをその都度配布します。		定期試験：70% 小テスト：20% 受講態度：10% 受講態度：各種資格取得に必要な科目であることから、受講態度としては能動的で真摯であり、努力して、一定以上の試験成績を得ることを評価します。 評価：S：公衆衛生活動を非常によく理解し、私達、有資格者が果たす役割を俯瞰的に論じられる。A：公衆衛生活動を活動をよく理解し、私達が果たす役割を論じられる。B：公衆衛生活動をおおむね理解し、私達が果たす役割を論じられる。C：公衆衛生活動を60%程度理解し、私達が果たす役割を論じられる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「シンプル衛生公衆衛生学」鈴木庄亮著(南江堂) ISBN: 978-4-524-2553-5		座席指定です。健康寿命の延伸には、どのような取り組みが考えられるだろうか。健康の根幹である、衛生・公衆衛生、保健に関わる者として常に考えて欲しい課題です。								

科目名	薬理学			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	SC25009	研究室	非常勤
担当者	鈴木 仁志			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	養教一					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>いろいろな医薬品が、人の病気の治療にどのような作用で効果を発揮するのか、生化学や薬理学、生理学的な基本的原理を基盤に理解していきます。身近な薬の使い方にも言及します。なお、健康食品などについても、栄養学的、薬理的側面からその効果について触れます。また、これら医薬品等を取り巻く法的規制や社会的事象についても取り上げ、薬と人との関わり方についても学びます。</p>											
学修到達目標											
薬に関する基礎知識を習得し、薬物の特徴・作用機序・生体への影響について理解し、説明できる。医薬品と健康食品等との違いを理解し、説明できる。											
授業の進め方											
基本的に教科書に準じて進めますが、プリントなどの資料を配布して、内容をよく理解できるように進めていきます。また、身近な薬を取り上げたり、新しいトピックや現代的課題を取り上げたりして、わかりやすく講義を展開していきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	薬理学総論1:薬の生体内動態 薬理学各論1:抗アレルギー薬と花粉症	薬理学の概要と薬の生体内での挙動について学びます。また、アレルギーの発症機序とそれを抑える薬について解説します。					事前:薬の投与方法について調べてみる。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
2	薬理学総論2:薬と受容体 薬理学各論2:抗炎症薬と痛み止め	薬が生体内で作用を現すしくみについて、受容体との関係をとおりて理解し、薬の相互作用のしくみも学びます。また、炎症の発生機序とそれを抑える薬について解説します。					事前:教科書を予習しておく。事後:受容体の種類と特徴をまとめる。(4時間)				
3	薬理学各論3:抗感染薬とかぜ、インフルエンザ	抗感染薬の作用機序を学びます。また、かぜやインフルエンザに有効な薬について解説します。					事前:細菌、真菌、ウイルスの違いを調べてみる。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
4	薬理学各論4:神経伝達物質と抹消神経作用薬	人の生命活動の重要な要素である神経系の情報伝達の担い手である伝達物質について学び、特に末梢神経系に作用する薬について解説します。					事前:神経系を構成する細胞について調べてみる。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
5	薬理学各論5:中枢神経系に作用する薬	中枢神経系の生理活性物質について学び、代表的な疾患と抗精神病薬について解説します。					事前:教科書を予習しておく。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
6	薬理学各論6:中枢神経系に作用する薬	気分障害の治療薬や抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬について解説します。					事前:教科書を予習しておく。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
7	薬理学各論7:循環系に作用する薬	心不全治療薬や抗高血圧薬について解説します。					事前:心房細動について調べてみる。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
8	薬理学各論8:血液に作用する薬。	血液凝固と血栓溶解のしくみについて学びます。また血液の異常を治療する薬について解説します。					事前:アスピリン・ジレンマとは何か調べておく。事後:血液凝固因子についてまとめる。(4時間)				
9	薬理学各論9:代謝性疾患治療薬	糖尿病治療薬、脂質異常症治療薬、甲状腺疾患治療薬などについて解説します。					事前:糖尿病の症状について調べてみる。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
10	薬理学各論10:抗がん薬	抗がん薬について解説します。					事前:教科書を予習しておく。事後:抗がん薬の種類と特徴をまとめる。(4時間)				
11	薬理学各論11:皮膚科用薬、眼科用薬	皮膚疾患や眼疾患の治療薬について解説します。					事前:教科書を予習しておく。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
12	薬理学各論12:呼吸器・消化器系に作用する薬	喘息、咳嗽の治療薬、消化器疾患治療薬について解説します。					事前:ヘリコバクター・ピロリ菌について調べてみる。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
13	小児・妊産婦・高齢者における薬物動態	主要臓器の成熟度が刻々変化する小児や生理学的に特殊な状況にある妊産婦、加齢による薬力学的変化のある高齢者の薬物療法について解説します。					事前:高齢者の服薬管理・支援の方法を調べてみる。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
14	健康食品、サプリメントの役割、それらと薬物と法令	健康食品、サプリメントなどについて、医薬品との違いやその目的、役割について解説します。また、それらと薬物を規制する法令について学びます。					事前:身近にある健康食品などの成分内容表示を調べてみる。事後:履修事項を復習する。(4時間)				
15	薬の副作用、薬理学のまとめ	薬の副作用について解説し、まとめとして、今までの講義の重要ポイントの整理を行います。					事前・事後:今までの学習を通じて重要なことを説明できるように復習する。				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 薬理学 3」吉岡充弘著(医学書院) ISBN:978-4-260-03184-4(生協で購入してください。)				小テスト:40% レポート:30% 受講態度:30% 受講態度:授業への取組、質疑応答、事前事後学修のことを指します。S:授業内容を高度に理解し批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し積極的な探求姿勢をもって課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し与えられた課題に誠実に取り組み授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「標準薬理学」飯野正光・鈴木秀典編(医学書院) ISBN:978-4-260-01750-3 「NEW薬理学」田中千賀子、加藤隆一編(南江堂) ISBN:978-4-524-24071-				薬理学は薬物と生体内の酵素や受容体との相互作用がもたらす現象をあきらかする面白い学問です。事前学修にあっては、ネット検索や文献検索などのような方法で行っても良いです。							

科目名	養護教諭と看護		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	研究室	S-19
担当者	中島 節子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日3限	
関連資格	養教一				履修条件	教職課程履修者			
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C	2018年度～				
授業概要									
学校で行われる養護教諭の看護活動について、その重要性を学び、さらに養護教諭が必要とする基礎的な看護技術を習得することが目的です。学校において遭遇する可能性の高い健康障害に共通な看護方法を学びます。バイタルサインの測定、滅菌・消毒等の感染予防対策関連の技術、フィジカルアセスメントについて習得します。実践方法に関する演習中心の科目であることから、取り上げる項目については技術獲得レベルまで達するように学びます。									
学修到達目標									
学校に必要な看護技術を理解し実践することができる。 実施した自分の技術について評価することができ、改善向上することができる。 技術を実施する際に安全に配慮し、相手に対しても声掛けや気配りを行うことができる。									
授業の進め方									
講義で根拠と方法を理解し、演習で技術を習得しながら進めます。演習をした項目については振り返りレポートを作成し、技術の向上に努めます。一人ひとりプレゼンテーションの実施の機会も設けます。演習室での授業が中心です。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	養護教諭にとっての学校看護、学校看護のライフサイクル	オリエンテーションを行い授業方法を説明します。養護教諭に必要な看護技術について学び、ライフサイクルの各段階の健康課題を考えます。学校における看護の必要性と養護教諭に必要な倫理を学びます。				テキストの第 章について予習復習をする。(4時間)			
2	養護実践のプロセス、緊急度の判断、学校の安全	養護教諭の行う養護実践についてのプロセスを学びます。プロセスにおける緊急度の判断について考えます。				テキストの第 章について予習復習をする。(4時間)			
3	学校におけるヘルスアセスメントの考え方	学校におけるヘルスアセスメントの視点とプロセスについて学びます。フィジカルアセスメントに用いる技術、バイタルサインの測定を行います。				テキストの第 章(1)～(4)について予習復習する。(4時間)			
4	フィジカルアセスメントの技術:バイタルサインの測定	バイタルサインの測定、呼吸、脈拍、血圧、体温測定の方法を学び、実際に測定します。				テキストの第 章(3)についてまとめる。バイタルサインの測定を演習する。(4時間)			
5	フィジカルアセスメントの技術:意識、各部位の測定	意識、身体各部の測定方法を学びます。身長、体重、胸囲、腹囲、視診、触診、聴診について学び、実際に行います。				テキストの第 章(4)についてまとめる。測定や聴診ができるように練習する。(4時間)			
6	フィジカルアセスメントの技術:顔面、頸部、眼、耳、鼻	フィジカルアセスメントの実際について演習を行います。顔面、頭頸部、眼、耳、鼻についてのアセスメントの方法を学び、実際に行います。				テキストの第 章(4)についてまとめる。測定やアセスメントができるように練習する。(4時間)			
7	フィジカルアセスメントの技術:口腔	フィジカルアセスメントの実際について演習を行います。口腔のアセスメントの方法と歯科検診の方法を学び、実際に行います。				テキストの第 章(4)についてまとめる。歯科検診の方法についてまとめる。(4時間)			
8	フィジカルアセスメントの技術:胸部、腹部、脳神経	フィジカルアセスメントの実際について演習を行います。胸部、腹部、脳神経のアセスメントの方法を学び、実際に行います。				各部位のアセスメントの方法についてまとめ、実際にできるように練習する。(4時間)			
9	コミュニケーション・安楽	コミュニケーションの基礎と実際を学びます。コミュニケーションのプロセス、技術の向上のために演習を行います。安楽のためのタッチングやリラクゼーションについて学びます。				テキストの第 章(2)(4)についてまとめる。(4時間)			
10	感染予防の基礎と学校における感染予防と対策	感染の基礎的な知識を学びます。感染予防の実際として手洗い、ガウンテクニック、滅菌操作について行います。				テキストの第 章2の様々な技術感染予防について予習復習をする。(4時間)			
11	学校における感染予防と対策	学校における感染予防と発生時の対応について学びます。学校において特に注意する感染症の病態、予防方法、発症時の対応について学びます。				学校感染症について一覧表にまとめる。自己の感染症状況を調べる(4時間)			
12	学校の環境調整	学校の環境衛生検査の方法や法的根拠を学びます。実際に大学内の環境検査を行い実践力をつけます。				テキストの第 章保健室等環境への活動をまとめ、実際に環境調査したものを分析する。(4時間)			
13	保健室の機能を活かす環境調整、ベッドメイキング	保健室の機能を活かす環境整備や備品について学びます。環境整備の基礎技術としてベッドメイキングを行います。				環境整備のための基礎技術を復習し、ベッドメイキングができるようにする。(4時間)			
14	身体的ニーズの対応する技術:体位と移動	基本体位と安楽な体位について学び、ボディメカニクスを活用した体位変換を行います。移動の介助が必要な人のベット上の移動、車いす移動、ストレッチャー移動の介助方法を学び実施します。				テキストの第 章3) 身体のニーズに対する技術について予習復習する。(4時間)			
15	身体的ニーズの対応する技術電法・包帯法 まとめ	包帯法に関する基礎知識を学び、三角巾や包帯を使用して包帯法を行います。本講義の全体のまとめを行います。				電法と包帯法についてまとめ、実際にできるように練習する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「改訂 養護教諭、看護師、保健師のための学校看護」岡田加奈子他著(東山書房) ISBN:978-4-8278-1551-1(生協で購入してください。)'学校の看護'と共通で使用します。		定期試験:60% 実技:20% レポート:20% 知識と技術の実際を含めて評価する。S:基礎的な技術を根拠について説明でき、技術も確実に実施できる。レポートは自己の実施を分析でき確実に提出している。A:基礎的な技術を根拠について説明でき、反復練習を行い相手に配慮して確実に実施できる。レポートは自己の実施を分析でき確実に提出している。B:基本的な技術の根拠を説明でき実施できる。レポートを確実に提出している。C:基本的な技術を指導のもとで実施できる。レポートを確実に提出している。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「すぐに使えてよくわかる養護教諭のフィジカルアセスメント」北垣毅著(少年写真新聞社) 「保健室で役立つステップアップフィジカルアセスメント」山内豊明著		看護学概論及び養護概説を履修済みの学生が履修してください。確実な技術の習得のために、規定時間外にも反復練習を行う必要があります。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:病院、看護学校で学生指導を行った。							

科目名	衛生管理学		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	SL25011	研究室	C-1
担当者	弘田 量二		必修選択	選択	科目種別	講義	ワイスア-	火曜日3限		
関連資格	第一種衛生、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
本授業は、作業・労働従事におけるこれら要因が及ぼす身体面ならびに精神面への作用とその対策と管理について学び、労働従事者の健康障害の予防と健康の保持増進に寄与することの出来る人材の養成を目的とします。労働安全衛生法等を基盤として職域の健康管理体制や健康影響について、作業環境管理、健康診断、作業関連疾患、労働災害などについて学修します。また、食物の安全と健康障害について、どについて学習します。また、食物の安全と健康障害について、リスク分析の視点から食品衛生管理について講義します。										
学修到達目標										
任用資格としての食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員資格の取得を目指します。これら資格取得のために必須要件となる労働安全衛生管理全般に関する知識と理解を深めることを目的とします。その上で、食品衛生管理に特化した法的、事例的事項について学び、資格取得後の実務において有効となる知識と能力を身につけることを目標とします。										
授業の進め方										
様々な産業分野と食品分野における作業上の衛生管理や健康管理のあり方とその実状について、労働安全衛生の法的基盤や物理的、化学的ならびに生物学的な有害因子の影響を理解するために、多様な配布資料およびプロジェクターを用いた授業を展開します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス・健康とは何か	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明、質問します。公衆衛生学の概念として、健康の概念、公衆衛生の概念、定義を学修します。				事前にシラバスを読み、確認事項を整理しておく。授業後は履修事項をとりまとめる。(4時間)				
2	労働安全衛生法	労働安全衛生法における産業医や衛生管理者の役割、労働者の健康を損なう有害業務から守る仕組み(関係法規)について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
3	有害業務の健康障害	作業環境における有害因子の種類や、健康障害の発生機序と典型的な症状、作業環境測定法、労働衛生の三管理、について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
4	衛生管理体制と労働者の健康管理	安全衛生委員会、健康診断、医師による面接等、労働安全衛生法・労働基準法に従った職場環境の衛生管理体制や労働者の健康管理について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
5	労働基準法(平均賃金・解雇等)	健康作り政策の変遷、健康増進法、健康日本21(第二次)、健康管理の進め方とその方法について学びます。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
6	VDT作業・重量取り扱い作業	技術革新、IT化が急速に進みVDT(PCモニター)が広く導入されていますが、VDT作業の労働衛生管理、および肉体に大きな負荷のかかる重量取り扱い作業における健康診断について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
7	小テストの実施と解説、質疑応答。	第1回から6回までの授業の理解度をテストで確認し解説します。学生の主体的な授業参加を促すため質疑応答を随時受け付けて進めます。				配付資料とテキストをもとにテスト対策や質問を準備してくる。(4時間)				
8	職場における受動喫煙の防止策等	職場における安全衛生法において重要な課題である、受動喫煙の防止措置やシックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドの濃度軽減対策について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
9	心の健康作り	社会生活の変化に伴って仕事や生活に強い不安や悩みを持つ労働者が増えてきた。健康的な生活を営むための心の健康作りについて学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
10	統計資料	健康、疾病、行動に関わる統計資料の中から、人口動態統計(国勢調査)、人口動態統計、生命表、平均寿命などについて学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
11	有害物質の安全衛生管理体制	事業場の規模により選任人数が法律で決まっている、衛生管理者や衛生工学衛生管理者の役割について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
12	有機溶剤などの取扱と対策	職場で使用する有機溶剤や危険な化学薬品を、極力人体に悪影響を及ぼさないよう取り扱うための対策(マスク・換気設備)について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
13	特化物、粉じんなどの対策	職場で使用する粉じん、酸素欠乏、特定化学物質を法令に基づいた取り扱い方について学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
14	環境保健	喫煙の害にはどのようなものがあるのだろうか。健康日本21(第二次)においてもCOPDの認知度を80%に向上させることが数値目標として掲げられている。喫煙の害にはどのようなものがあるのか、学修します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
15	全体のまとめ、国試関連	授業の総括として、これまでの内容の要点を復習し、質疑応答を行います。各種資格試験の必須科目としての衛生管理学を概観します。				配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
必要な場合には、講義に応じたプリントをその都度配布します。			定期試験：80% 小テスト：10% 受講態度：10% 受講態度：衛生管理者取得等に必要科目であることから、受講態度としては能動的で真摯であり、努力して、一定以上の試験成績を得ることを評価します。評価：S：衛生管理活動を非常によく理解し、衛生管理者等が果たす役割を俯瞰的に論じられる。A：衛生管理活動をよく理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。B：衛生管理活動をおおむね理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。C：衛生管理活動を60%程度理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「シンプル衛生公衆衛生学」鈴木庄亮著 ISBN：978-4-524-2553-5 「衛生管理者試験問題集」(中央労働災害防止協会) ISBN：978-4-8059-1494-6			働きやすい職場環境を提供することは、企業にとって義務です。安全に働ける職場環境作りに必要な法律や仕組みをよく知り、改善を通して労働意欲を高めてまいりましょう。							



科目名	医療社会学		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	SL25012	研究室	C-7
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格	指導士、第一種衛生				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
医療を対象とする社会学的観点から、組織構造・役割関係・価値体系・儀礼・行動システムに関する理解を深めます。保健・医療を取り巻く諸問題を、文化・社会的視点から考察します。										
学修到達目標										
人間の生命や身体に深くかかわる保健・医療が、社会学ではどのようにとらえられているかを学びながら、「社会学」的な発想ができる柔軟性を養うこと。										
授業の進め方										
医療社会学の中心的概念を学び、保健医療領域における行動変容理論については実習を含め、本講義で扱います。また、職場における健康増進への組織的ならびに個人的取組強化に、個人の行動変容がどのように影響するかを考察します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会学とは何か	医療を対象とする社会学の視座について概説します。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
2	文化現象としての医療	医療を「文化」として捉えるとはどのようなことかを説明します。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
3	病者と患者	病者と患者の違いについて、医療社会学の概念である「病気行動」と「病人役割」について学びます。				教科書(2-5頁)・配布プリントの復習をする(4時間)。				
4	医師 患者関係	医師-患者関係の歴史の変遷と今日的課題について概説します。				小テストに向け、教科書(2-13頁)の復習をする(4時間)。				
5	医療施設	病院の成立から在宅ケアまでの歴史について学びます。				事前配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
6	医療制度	医療制度の違いについて、国別に概説します。				事前配布資料を読み、下調べをする(4時間)。				
7	スティグマ(烙印)	ラベリング理論(逸脱の社会学)を概説します。				小テストに向け、教科書(26-29頁)の復習をする(4時間)。				
8	精神医療(1)	精神医療の歴史について学びます。				教科書(22-24頁)・配布プリントの復習をする(4時間)。				
9	精神医療(2)	精神医療の具体的事例について、イタリアの精神医療を取り上げます。				授業時に提示する課題をする(4時間)。				
10	医療社会学と生命倫理学	医療社会学と生命倫理学の関係について説明します。				小テストに向け、これまでの講義内容を復習する(4時間)。				
11	医療化論:総論	医療化論に関する全体的な概説をします。				教科書(64-67頁)・配布プリントの復習をする(4時間)。				
12	医療化論:各論(1)	医療化の具体的事例として子どもの医療化について取り上げます。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
13	医療化論:各論(2)	医療化と脱医療化の具体的事例として同性愛について取り上げます。				配布プリントの要点をまとめる(4時間)。				
14	専門職と感情労働	保健医療領域における行動変容理論について学びます。				小テストに向け、これまでの講義内容を復習する(4時間)。				
15	まとめ	講義全体のまとめ				総復習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「よくわかる医療社会学」黒田浩一郎・中川輝彦編(ミネルヴァ書房) ISBN:978-4-623-05821-1(生協で購入してください。)				出席レポート:15% 小テスト:25% 定期試験:60% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「医療社会学を学ぶ人のために」進藤雄三・黒田浩一郎編(世界思想社) 「現代医療の社会学」黒田浩一郎編(世界思想社)				社会学は言葉の定義に非常に厳格な学問です。最初は難しく感じるかもしれませんが、分からないときには積極的に質問してください。						

科目名	精神保健論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	SL25013	研究室	W-19
担当者	矢崎 久			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日5限、火曜日4限		
関連資格	指導士、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
人間の発達と課題、ストレスとストレス反応、ストレスマネジメントと回復、精神の疾患とその治療、健康の確保・増進としての運動の影響について学びます。											
学修到達目標											
私たちは、生物学的要因と社会的要因が輻輳することでメンタルヘルスが損なわれ、日常生活に影響を及ぼすことも少なくありません。本講義では、こころの問題を引き起こす要因、症状、対処のしかたを概観し、受講者が精神保健の意義と重要性を学修することを目標とします。											
授業の進め方											
テキストの解説と、理解を助けるための映像教材を適宜併用します。理解度を確認するための中間アンケートや授業評価中間アンケートの結果を履修者にフィードバックするなど、双方向型の講義を目指します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	発達課題と疾患(障害)	胎児期、乳児期、幼児期とダイナミック・システムズ・アプローチ、知的障害					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
2	発達課題と疾患(障害)	児童期、青年期とアイデンティティ、行動および情緒障害、心理的発達の障害					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
3	発達課題と疾患(1)	統合失調症、パーソナリティ障害、生理的障害、ストレス関連障害ほか					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
4	発達課題と疾患(2)	成人期とその課題、中年期の危機、感情障害、ストレス関連障害					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
5	発達課題と疾患(3)	老年期とその課題、社会的役割の変化、加齢と生理的・心理的变化					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
6	発達課題と疾患(4)	症状性を含む器質性精神障害(認知症)と支援					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
7	社会とストレス(1)	ストレス学説、ストレスとストレス反応、ストレス反応のプロセス小テスト(講義前半部分の理解度を確認するための中間試験)実施					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
8	社会とストレス(2)	ストレスアセスメントの実際(POMSもしくはCES-D受験)					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
9	社会とストレス(3)	ストレスマネジメント、ストレスコーピング、レジリエンス(回復)					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
10	ストレスマネジメント(1)	相談とコンサルテーション、カウンセリング理論と技法					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
11	ストレスマネジメント(2)	カウンセリング理論と技法					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
12	ストレスマネジメント(3)	カウンセリングの実際(演習)					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
13	ストレスマネジメント(4)	行動変容を意図したカウンセリング					事前: 配布資料による予習(2時間) 事後: 資料再読、ノートまとめ(2時間)				
14	メンタルヘルスの確保増進	心理療法(リラクゼーション)の実際 メンタルヘルス確保増進の意義、モチベーションの確保と維持、健康行動の獲得					事前: テキスト講読(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(2時間)				
15	精神保健の意義	発達段階と課題、発達と疾患(障害)、社会とストレス、ストレスマネジメントのまとめ					事前: テキスト予習(2時間) 事後: テキスト再読、ノートまとめ(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「精神医学・精神疾患とその治療」精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編(へるす出版) ISBN:978-4-89269-750-0(生協で購入してください。)					小テスト: 40% 定期試験: 60% 小テスト(講義7回目でおこなう中間試験)と期末試験を総合して成績判定します。 成績評価基準 「S」: 中間試験および期末試験の平均が90%以上 「A」: " 80%以上 「B」: " 70%以上 「C」: " 60%以上						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし					こころとからだの双方を配慮できる健康運動指導者、教諭を目指してください。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容: 病院の精神科及び心療内科で臨床心理士として業務に携わった。						

科目名	学校の看護			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	SC25014	研究室	S-19
担当者	中島 節子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	中一(保健)、高一(保健)、養教一、中一(保健)、高一(保健)					履修条件	教職課程履修者				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C	2018年度～						
授業概要											
養護教諭の看護活動に必要な学校における看護技術を習得することが目的です。学校生活で発生しやすい疾病や外傷の救急処置技術、児童生徒が保健室で休養する場合に必要な看護技術を中心に習得します。また、それらの技術には家庭での日常生活上における援助技術も含まれます。あわせて、小児期(児童・生徒)によくみられる疾患に対する看護の方法を学びます。											
学修到達目標											
学校における看護技術を理解し実践することができる。 小児期に多い急性症状と慢性疾患を理解し、対処する方法を理解できる。 医療的ケアについて法的根拠と技術を理解することができる。											
授業の進め方											
講義と演習を組み合わせて実施します。演習レポートを元にグループワークを行い、振り返りをしながら、技術の向上をはかります。小児期に多い急性期症状は、原因を想定し対処できる方法を考え、個々で分担しプレゼンテーションを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション セルフケアについて	オリエンテーションを行い授業方法を説明します。セルフケアについて学びます。					セルフケアについて予習復習をします。(4時間)				
2	セルフケアと支援技術	健康課題を持つ子どものセルフケアについて学び、演習を行います。食事と栄養の必要性について学びます。					食事と栄養について予習復習をします。(4時間)				
3	生活支援技術 食事介助	食事の意義、基礎知識、子どもの栄養について学びます。食事支援や援助が必要な場合の援助方法を学び、演習します。					栄養について予習復習し、実施レポートをまとめ分析する。(4時間)				
4	生活支援技術 排泄	排泄の意義、基礎知識を学びます。排泄支援や援助が必要な場合の援助方法(おむつ交換やトイレ介助)を学び、演習します。					排泄について予習復習し、実施レポートをまとめ分析する。(4時間)				
5	生活支援技術 排泄	排泄の意義、基礎知識を学びます。排泄支援や援助が必要な場合の援助方法(車いすトイレ介助)を学び、演習します。					排泄について予習復習し、実施レポートをまとめ分析する。(4時間)				
6	生活支援技術 休息と睡眠、活動	休息と睡眠、活動の意義、基礎知識を学びます。睡眠や活動への支援や援助が必要な場合の援助方法を学び、演習します。					休息と睡眠、活動について予習復習し、実施レポートをまとめ分析する。(4時間)				
7	こどもに多い急性期の症状と支援 頭痛、腹痛、嘔気嘔吐	こどもに多い急性期症状と理解、アセスメントについて基礎を学びます。頭痛、腹痛、嘔気嘔吐について原因と支援方法について学びます。					頭痛、腹痛、嘔気、嘔吐についてレポートをまとめる。(4時間)				
8	こどもに多い急性期の症状と支援 発熱、便秘、下痢、意識障害	こどもに多い発熱、意識障害、便秘、下痢の急性期症状の原因と支援方法について学びます。					発熱、意識障害、便秘、下痢についてレポートをまとめる。(4時間)				
9	慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	慢性疾患と共に生きる子どもと家族の理解と支援方法を考えます。心臓病、腎臓病についての基礎を学び支援方法を考えます。					各疾患について病態、治療法、日常生活の留意点をレポートにまとめる。(4時間)				
10	慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	慢性疾患と共に生きる子どもと家族の理解と支援方法を考えます。糖尿病についての基礎を学び支援方法を考えます。					糖尿病について病態、治療法、日常生活の留意点をまとめ、集団・個別指導を考える。(4時間)				
11	特別な支援を要する子どもと家族の支援	特別支援教育について学びます。慢性疾患と共に生きる子どもと家族の理解と支援方法を考えます。気管支ぜんそくとアレルギーについての基礎を学び支援方法を考えます。					気管支ぜんそくとアレルギーについて実態を調査し、病態などをレポートをまとめる。(4時間)				
12	学校における医療的ケア	インクルーシブ教育と医療的ケアについて学びます。排泄支援(導尿、洗腸など)と呼吸管理(吸引、人工呼吸器など)について学び、技術の演習を行います。					医療的ケアについて予習復習し、実施レポートをまとめる。(4時間)				
13	医療的ケアの方法と与薬管理	医療的ケアについて学びます。食事支援(経管栄養など)について学び、技術の演習を行います。薬剤の管理と服薬方法について学びます。					医療的ケア、薬について予習復習し、実施レポートをまとめる。(4時間)				
14	ショック症状の対応と救急処置	ショックについての原因と対応について学びます。子どもの救急処置について心肺蘇生、気道異物除去の方法、熱傷の対処方法などを行います。					安全救急法について予習復習し、実施についてレポートし分析する。(4時間)				
15	まとめ 総合演習	養護教諭として必要な知識と技術を総合して、事例を通して実践演習を行います。					講義内容を復習しておく。実施について分析しレポートにまとめる。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「改訂 養護教諭、看護師、保健師のための学校看護学」岡田加奈子他著(東山書房) ISBN:978-4-8278-1551-1(生協で購入してください。)					定期試験:70% 実技:15% 課題:15%						
養護教諭と看護」と共通で使用します。					S:授業内容を理解し、対象に配慮して養護教諭としての技術を根拠に基づいて確実に実施することができる。A:授業内容を理解し、対象に応じて養護教諭としての技術を根拠に基づいて実施することができる。B:授業内容を理解し、養護教諭としての基本的な技術を実施することができる。C:授業の内容を60%程度理解し、養護教諭としての技術を一応実施することができる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「基礎看護学 基礎看護技術」藤崎郁他著(医学書院)					看護学概論及び養護概説、養護教諭と看護を履修済みの学生が履修してください。確実な技術の習得のために、規定時間外にも反復練習を行う必要があります。【実務経験のある教員が担当】内容:病院、看護学校で学生指導を行った						
「最新看護学 学校で役立つ看護技術」中桐佐智子他著(東山書房)											

科目名	健康情報処理			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL35015	研究室	S-15
担当者	山本 薫			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	指導士、養教一、中一(保健)、高一(保健)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、健康づくり指導等を実施するに当たり、体力測定やメディカルチェックから得られたデータを例に出しながら解析を行い、その解析結果を基に表やグラフを作成して評価する方法や活用方法について学びます。基礎的な統計知識を学習するとともに、身近にあるデータを実際に集めて、その結果の解釈やまとめを理解実践できるようになるよう練習課題をこなします。											
学修到達目標											
健康・スポーツ及び教育現場で得られたデータを解析し、その解析結果の解釈を理解することで、科学的根拠に基づいた運動処方や健康づくり指導を実践できるようになることが目標です。											
授業の進め方											
前半は教室での講義、中盤以降はパソコンを使用した演習となります。基礎的な統計手法について講義した後、演習では身近なデータを例に用いて解析方法を学習し、解析結果の解釈について学びます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス：統計の概要	統計解析の概要、学習目標、授業の進め方についての説明をします。					基礎統計の復習(4時間)				
2	統計の基礎知識1：統計の基礎用語	統計処理を行う上で知っておきたい基礎的な用語やエクセル使用方法の基本について説明をします。					事前配布資料を読む。基礎的な用語を復習する(4時間)				
3	統計の基礎知識2：検定の考え方	得られたデータから統計解析を行う検定方法について学びます。					事前配布資料を読む。検定方法について復習する(4時間)				
4	統計の基礎知識3：検定の種類	健康・スポーツに関する例題を出しながら、検定の種類を紹介します。					事前配布資料を読む。例題を見て検定の種類を理解(4時間)				
5	Excelでデータ解析1：Excelの基本的な操作	Excelでデータを入力し、データを分析しやすいように整理、加工の仕方を学びます。					事前に配布資料を読む。データ入力に慣れておく(4時間)				
6	Excelでデータ解析2：関数の利用	数学(平均値など)に関する関数を紹介します。基本的なデータのまとめ方を学びます。					関数の復習をしておく(4時間)				
7	Excelでデータ解析3：グラフ、表作成	入力したデータをまとめて、棒グラフや表などの作成を学びます。					グラフや表の作り方を復習する(4時間)				
8	基本統計量と正規性の検定	収集したn個のデータ分布が正規分布とみなされるかどうかを検定する方法を例を挙げながら理解を深めます。					健康・スポーツに関して興味ある情報を調査する(4時間)				
9	独立した2群の差の検定	2つの母集団の平均値が等しいかどうかを、別々の母集団から独立に取られたデータに基づいて検定する方法を例を挙げながら理解を深めます。					例題を見て検定方法を復習する(4時間)				
10	関連ある2群の差の検定	2つの母集団の平均値が等しいかどうかを、それぞれの母集団から対応をつけて取られたデータに基づいて検定する方法を例を挙げながら理解を深めます。					例題を見て検定方法を復習する(4時間)				
11	1元配置分散分析	「3つ以上のデータの平均に差があるかどうか」を検定する方法を例を挙げながら理解を深めます。(4時間)					例題を見て検定方法を復習する(4時間)				
12	相関関係	「データ間の関係を検定する」方法を例を挙げながら理解を深めます。					9~11回で使用した例題を見て、その結果の解釈方法について復習する(4時間)				
13	回帰分析	直線的な因果関係にある2つの量的データに対して、両データの関係を表す方程式を求める統計手法の理解を深めます。					例題を見て検定方法を復習する(4時間)				
14	カイ二乗検定	行・列2方向データの各要因がYes/Noなどの2つに分かれているときの関連性を検定する手順を学びます。					事前事後に資料を読む(4時間)				
15	講義全体のまとめ	これまでの学習を振り返りながら、データから得られた結果のまとめ方、解釈の仕方について理解を深めます。期末試験に向けて練習問題に取り組みます。					全ての配布資料を読み試験勉強をする(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「4Stepエクセル統計 第4版」柳井久江著(星雲社) ISBN:978-4-434-21162-1(生協で購入してください。)CDがついています。自分のPCにインストールして下さい。 「健康スポーツ科学のための やさしい統計学」出村 慎一著(杏林書院) ISBN:978-4-7644-1118-0					出席レポート：30% 課題：10% 定期試験：60% 総合評価(S:全ての講義実習に積極的に参加して質問をし、課題について適切な回答が出来、試験は90%以上得点している。A:14回以上の講義実習に積極的に参加し、課題について適切な回答が出来、試験は80%以上得点している。B:13回以上の講義実習に積極的に参加して、課題について回答が出来、試験は70%以上得点している。C:11回以上の講義実習に積極的に参加して、課題に回答し、試験は60%以上得点している。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「バイオサイエンスの統計学」市原 清志著(南江堂) ISBN:978-4524220366 「Excelによる健康・スポーツ科学のためのデータ解析入門」出村 慎一著					指導・教育現場で利用頻度が高まる実践的なデータ解析を学びます。分からないことは随時質問して下さい。欠席したらその講義の資料を自ら取りに来て下さい。毎回USBを持参して実習内容を保存して下さい。						

科目名	学校保健学(含小児保健)		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	SA35016	研究室	S-19
担当者	中島 節子・根本 賢一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
学校において、学校保健及び安全管理はすべての教職員により推進されています。現代的な子ども達の健康課題への対応ができる能力を身につける必要があります。子ども達の健康や安全を守り育てるための基礎的な知識を学習し、自己や他者の健康の保持増進や安全を図ることができるような能力を身につけます。また、子どもの成長・発達や小児期に多い疾病やけがなどの小児保健の領域も含めて学習します。										
学修到達目標										
子ども達の心身の健康や発達を保障するための学校保健活動に必要な事項を説明できる。 子ども達の発育、発達、疾病等の健康課題を把握・分析する方法を知り、対応策を理解できる。 学校の安全管理について学び、説明することができる。										
授業の進め方										
教員による一方通行の講義ではなく、ディスカッションや学生によるプレゼンテーションを含めた講義を展開します。現代の学校における健康問題などを含めて考えていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学校保健とは	ガイダンスを行います。学校保健の意義と目的、内容、学校保健の歴史について学びます。				学校保健の制度、目的について復習する。(4時間)				
2	保健組織活動・保健室の機能	学校保健関係職員、学校保健組織活動、学校保健安全計画、保健室の役割について学びます。				学校保健関連職員、学校保健組織活動について復習する。(4時間)				
3	子どもの健康づくりと運動	子どもの身体活動量と体力の現状を知り、体力向上及び生活習慣病予防についての方法を考えます。				小中学生、高校生の体力と運動能力についてまとめる。(4時間)				
4	健康教育・保健学習1	飲酒、喫煙、薬物乱用の健康への影響と現状を知り、予防教育について学修します。				保健学習における小、中、高校でのとらえ方を考えレポートする。(4時間)				
5	健康教育・保健学習2	思春期の2次性徴、性教育の現状、性感染症の予防、エイズ予防について学びます。現状から課題解決の方法を考えます。				授業内容の復習をし、課題解決についてレポートする。(4時間)				
6	食育	食育の推進をどのように行っているか学びます。学校給食の意義と役割、給食の内容、給食施設と衛生管理について栄養教諭から学びます。				栄養学概論での学びと照らし合わせ講義内容を復習する。(4時間)				
7	児童生徒の健康状態の把握	児童生徒の健康観察の方法と分析の仕方を学びます。児童生徒の健康診断の目的と種類、事後措置の方法を学び、分析します。				子どもの健康問題に関する新聞記事を収集し分析する。(4時間)				
8	健康診断	就学時の健康診断、教職員の健康診断の法的根拠や方法について学びます。保健調査や学校安全について学びます。				学校における健康診断について復習する。(4時間)				
9	学校環境衛生	学校環境衛生の法的根拠・意義について学びます。学校環境衛生検査の実施方法を学びます。				学校における環境衛生について復習する。(4時間)				
10	学校安全	子どもの事故災害の現状を知り検討します。学校管理下の負傷、疾病、学校事故についての具体例を学習し法的責任等を考えます。災害時の対応について考えます。				子どもの安全に関する記事を収集し分析する。(4時間)				
11	子どもの病気1	子どもの病気の特徴、健康観察、子どもに多い疾患(龋歯、視力低下、心疾患、腎疾患、糖尿病、気管支ぜんそくなど)について学習します。				子どもに多い疾患を取り上げ、予防策を考える。(4時間)				
12	子どもの病気2	学校における感染症、予防接種、予防対策について学習します。				学校における感染症と予防について復習する。(4時間)				
13	救急処置、保健指導	急病の種類、アレルギー疾患、けいれん、発熱、嘔吐下痢、過換気症候群について基礎的な知識を学び対応について考えます。				応急手当について安全救急法で学んだことを含め復習する。(4時間)				
14	子どもの心の健康	精神保健の意義、非社会的行動と反社会的行動について学びます。子どものこころの健康問題を事例を通して考えます。				子どものこころに関する新聞記事を収集し分析する。(4時間)				
15	障害のある児童生徒への健康上の支援	特別支援教育、障害のある児童生徒のための支援体制について学びます。講義のまとめを行います。				障害のある児童生徒の健康支援について復習する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要なものはプリントを配布しますが、参考書の中で自分の使いやすいものを1冊購入することを勧めます。				定期試験：70% 課題：30% S：授業内容を高度に理解し、各発達段階の健康課題を解決する方法に応用することができる。A：授業内容を理解し、健康課題を明確にし、解決する方法を見出すことができる。B：授業内容のおおよそを理解し、健康課題を明確にすることができる。C：授業内容の60%は理解でき、学校における健康と安全の重要性を説明できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「学校保健マニュアル」衛藤 隆(編集)岡田加奈子(編集)編(南山堂) 「学校保健の動向、平成30年度版」(日本学校保健会) 参考資料は随時紹介します。				学校保健と小児保健の内容の多い講義になるため自主的に学習してください。子どもを取り巻く健康課題は多様化し、日々変化しているため最新の情報を入手してください。本講義は自治体等に勤務し、現場経験のある保健師が担当。						

科目名	労働と法（人間）		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	SB35017	研究室	S-12
担当者	上野 隆幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	第一種衛生				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
皆さんの多くは大学卒業後、「就職」することとなります。つまり「労働」に携わることとなります。しかし、この労働にかかわる詳しい法的な知識を皆さんが持ち合わせていないのも現状です。この知識は自らを企業から守るうえで欠かせないものであり、また将来、管理的立場に就いた際にも欠かすことのできないものです。この講義では「働く（＝労働）」上での様々な局面で必要とされる、法律について詳細に学びます。										
学修到達目標										
皆さんが社会に出て働く時はもちろん、現在のアルバイト先でも活用することができる、働く上で「自分を守る」ための知識を身につけてもらい、労働者の権利を深く理解してもらうことを学修到達目標とします。										
授業の進め方										
配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。毎回の講義においてメソフィアを用いて出席確認と小テストを実施しますのでスマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかを持参して下さい。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス - 労働法とは -	労働法とは何か、どのような就業者が対象となるのか、実際にどのような法律があるのかを学びます。				配布したプリントを復習して下さい。また最も気になる労働法を調べて下さい（4時間）				
2	労使関係と法	労使関係に関連して、労働組合法、労働関係調整法を学びます。またこれらの法律と憲法の関係についても学びます。				労働三権、労働三法について調べてください。配布したプリントを復習して下さい。（4時間）				
3	労働契約と法	労働契約（雇用契約）に関連して、労働契約法と労働基準法について学びます。				労働契約の重要6項目について調べてください。配布したプリントを復習して下さい。（4時間）				
4	社会保険・労働保険と法	健康保険法、厚生年金法、雇用保険法、労働者災害補償保険法など、社会保険や労働保険に関連する法律について学びます。				社会保険と労働保険について調べてください。配布したプリントを復習して下さい。（4時間）				
5	職業安定行政と法	固定残業代、試用期間、公正な選考、障害者雇用など、職業安定行政に関連する法律（例：職業安定法）について学びます。				職業安定行政とは何か調べてください。配布したプリントを復習して下さい。（4時間）				
6	労働契約の変更と法	労働契約の変更に関連して、労働契約法と労働基準法について学びます。				労働契約の変更とは何か調べてください。配布したプリントを復習して下さい。（4時間）				
7	賃金と法	賃金の支払い原則、最低賃金、休業手当、減給等に関連して、労働基準法、最低賃金法を学びます。				賃金支払い原則と最低賃金について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
8	労働時間と法	労働時間や残業、または労働時間制度等に関連して、労働基準法、過労死防止対策推進法について学びます。				労働時間と過労死の関係について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
9	休憩・休日と法	休憩時間や年次有給休暇等に関連し、労働基準法について学びます。				「働き方改革」について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
10	快適な職場環境と法	快適な職場環境の整備（安全やハラスメントへの対応等）に関連し、労働基準法、労働安全衛生法、男女雇用機会均等法、女性活躍・ハラスメント規制法について学びます。				ハラスメントの種類とタイプについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
11	ワークライフバランスと法	ワークライフバランスに関連して、育児・介護休業法、女性活躍・ハラスメント規制法等について学びます。				「くるみん」と「えるぼし」について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
12	ワークライフバランスと法	ワークライフバランスに関連して、男女雇用機会均等法、次世代法、労働基準法等について学びます。				母性保護と母性健康管理について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
13	多様な働き方と法	正社員以外の働き方に関連して、労働基準法、労働契約法、労働者派遣法、パートタイム・有期雇用労働法について学びます。				派遣労働者について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
14	正社員の解雇と法	正社員の解雇に関連して、労働基準法、労働契約法、労働組合法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等について学びます。				整理解雇の4法理について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
15	非正規社員の解雇・雇止めと法	非正規社員の解雇や雇止めに関連して、労働基準法、労働契約法等について学びます。				解雇と雇止めの違いについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準							
プリントを配布します。			出席レポート：45% 小テスト：55% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「労働法入門」水町勇一郎著（岩波新書） ISBN：9784004313298			【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：民間企業において、人事担当者として採用をはじめとする人事施策全般に携わった。都道府県職員として自治体の労働政策立案に携わった。							

科目名	労働安全衛生法		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	SB35018	研究室	非常勤	
担当者	松田 裕成		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-				
関連資格	第一種衛生			履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、まず労働安全衛生法が社会に対してどのような役割を担った法律であるのかについて、世の中の動向や関連する報道等を紹介しながら解説します。次に、労働基準法など労働安全衛生法と関連する法律との関係性について解説し、法律が定義する主な用語について講義します。そのうえで、事業者の講ずべき措置や確立すべき安全衛生管理体制等、事業者が果たすべき法的な義務並びに労働者の法律上の権利及び義務について講義を進めます。											
学修到達目標											
細かな知識の丸暗記は必要ありませんが、労働安全衛生法の大枠をつかみ、この法律の目的をしっかりと理解できるようにすることを目標とします。											
授業の進め方											
講義は指定したテキストを用います。法律科目なので法律用語や専門用語が頻繁に出てきますが、講義の中ではそれらの意味や定義はテキストに示されたものを用います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	法体系を理解する	法体系の中の労働法 労働法体系の中の労働安全について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
2	事業場と業種	業種は事業場単位で個別に、事業者と労働者 事業者の責務と労働者の責務について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
3	労働災害防止計画	政府が作る基本対策、計画の公表と変更、中高年齢労働者の安全対策について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
4	安全衛生管理体制その1	全体像、衛生管理者、安全管理者、産業医について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
5	安全衛生管理体制その2	作業主任者の選任、下請混在事業場での安全管理体制、安全委員会等について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
6	労働者の危険と健康障害を防止するために	事業者がすべきこと、建設業における救護措置について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
7	機械等及び有害物に関する規制	危険な作業をする機械等に関する規制、有害物質に関する規制、有害物質の譲渡、提供について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
8	派遣労働者の安全衛生	派遣労働者の安全衛生はどうなっているのか、派遣元・派遣先の責任について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
9	安全衛生教育	安全衛生教育の目的、能力向上教育、教育の時間と費用について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
10	健康の保持増進のための措置	健康診断は会社の義務か、健康診断の時間と費用、自発的健康診断、職場のメンタルヘルスケアについて講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
11	快適な職場環境の形成のための措置	快適な職場とは、職場環境推進計画の認定制度、VDTの作業時間と作業管理について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
12	安全衛生管理計画等	安全衛生改善計画の作成、労働安全コンサルタントと労働衛生コンサルタント、厚生労働大臣などへの届出について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
13	事業者の責任等	事業者の四重責任、違反行為に対する罰則 安全配慮義務について講義します。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
14	近年の法制度改革	法改正のあった部分を、フォローします。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
15	まとめ	全体をもう一度見直し、法体系をつかみます。					事後学修として講義の際に指摘したテキストの該当部分を、しっかりと読み込むこと。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「ここからはじまる早わかり労働安全衛生法」近藤恵子、小林浩志、中山寛之著(東洋経済新報社) ISBN:978-4-492-27058-5(生協で購入してください。)				定期試験:80% 小テスト:20% S課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現することができる。A 授業で学んだことを理解し、正しく文章で表現することができる。B 授業で学んだことを概ね理解し、文章で表現することができる。C 最低限押さえてほしい事項(授業で指示します)について、理解し表現できる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
なし				人間健康学部の学生諸君にとって、将来の職場の安全衛生は、密接にかかわる事柄です。快適な環境の中で働くことを考える人は是非受講して下さい。							

科目名	働く人の健康			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	SB15019	研究室	S-12
担当者	上野 隆幸			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	木曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	2020年度～						
授業概要											
<p>皆さんは生活を営むとともに、今後、働き始めることとなります。つまり、健康を考える上で、プライベートでの健康だけではなく、働く上での健康への配慮が重要となります。そこでこの講義では、「働く」こと、つまり企業の人事管理の中でも皆さんの心身の健康に影響を与える可能性のある、「配置と異動(転勤)」、「賃金」、「福利厚生」、「労働時間」、「休憩・休暇」、「ワークライフバランス」、「正社員以外の働き方」、「退職・解雇」、「労使関係」に焦点を当て、その実際について学びます。</p>											
学修到達目標											
<p>皆さんの心身の健康に影響を与えるかもしれない日本企業の人事管理に関し、その基礎的な仕組みや実態を深く理解するとともに、従業員の心身が不健康に陥らないために、人事管理に今後何が求められるのかを考察するための基礎的知識を身に付けることを学修到達目標とします。</p>											
授業の進め方											
<p>配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。毎回の講義においてメソフィアを用いて出席確認と小テストを実施しますので、スマートホン、タブレット、パソコンのいずれかを持参して下さい。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	人事管理とは何か、人事管理がなぜ心身の健康に関係するのか、労働者の健康がなぜ重要なのかについて説明します。					人事管理にはどのような施策があるか調べてください。プリントを復習してください。(4時間)				
2	配置と異動	日本の人事施策の特徴のひとつである配置・異動(含む転勤)について、また日本固有の施策である出向・転籍について学びます。					出向と転籍について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
3	賃金	日本の賃金の概略と、定期昇給やベースアップといった昇給について学びます。					定期昇給とベースアップについて調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
4	賃金	賞与(ボーナス)や各種手当について学びます。					手当の種類と内容について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
5	福利厚生と退職金	各種福利厚生と退職金について学びます。					退職金と転職の関係について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
6	労働時間	日本の総実労働時間数、所定労働時間数、所定外労働時間数について学ぶとともに、その法律上の背景についても学びます。					日本の各労働時間数と景気の関係について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
7	労働時間	三十六協定について学ぶとともに、例題による残業代の計算方法についても学びます。					三六協定について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
8	労働時間	労働時間制度について学ぶとともに、裁量労働制などの新しい働き方について学びます。					裁量労働制やフレックスタイム制について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
9	休憩・休暇	休憩時間や有給休暇について、その法的根拠とともに学びます。また例題を用いて、有給休暇の残日数の計算方法について学びます。					休憩時間や有給休暇の法的根拠について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
10	ワークライフバランス	育児介護休業を学ぶとともに、ワークライフバランスの重要性について学びます。					育児介護休業について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
11	ワークライフバランス	短時間勤務制度や母性健康管理・母性保護など、育児介護休業以外のワークライフバランス施策について学びます。またくるみんやえるぼし等の各種認定マークについて学びます。					「くるみん」と「えるぼし」について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
12	正社員以外の働き方	非正規労働や派遣労働といった、正社員以外の働き方の特徴やメリット・デメリットについて学びます。					非正規労働や派遣労働の長所について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
13	退職・解雇	普通解雇・整理解雇・懲戒解雇について学びます。また退職時の手続きについても学びます。					整理解雇と懲戒解雇について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
14	退職・解雇	定年退職について学びます。また高齢者雇用安定法に基づく、継続雇用についても学びます。					定年制度について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
15	労使関係	企業内における労使関係について学びます。また企業内組合等の労働組合、使用者団体について学びます。					労働三権について調べて下さい。プリントを復習してください。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
プリントを配布します。				<p>出席レポート：45% 小テスト：55%</p> <p>S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「人事管理入門」今野浩一郎・佐藤博樹著(日本経済新聞出版社)				<p>【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：民間企業において、人事担当者として採用をはじめとする人事施策全般に携わった。都道府県職員として自治体の労働政策立案に携わった。</p>							



科目名	生理学		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	SL16001	研究室	C-2
担当者	河野 史倫		必修選択	必修	科目種別	講義	オイスア-	月曜日5限		
関連資格	第一種衛生、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康とはどんな状態か?病気になる時、体の中ではいったい何が起きているのか?それらを理解するためには、人間の体の正常な機能を知っておく必要があります。本科目では、血液や心循環、筋収縮、神経伝達、内分泌、免疫、呼吸、消化・吸収など、身体機能の仕組みについて幅広く講義を行います。運動や食習慣による健康づくりについて科学的に考えるための基盤となる知識を習得するのが目的です。										
学修到達目標										
ヒトの各身体機能について、それぞれの主な仕組みを説明できるようになることが目標です。										
授業の進め方										
講義は指定のテキストに沿って進めていきます。必要な部分は、テキストにはない写真やデータも参考にしながら、よりイメージしやすくなるように解説していきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	血液	血液組成と血液の機能、貧血について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第2章を読み、全体の内容を把握しておくこと。授業ノートをまとめ直す。(4時間)				
2	免疫	免疫反応とは何か?生体の防御機構とその害について、配布資料とスライドを使って解説します。				授業後は授業ノートを再度まとめ直す。(4時間)				
3	循環器1	心臓の仕組みと心電図の見方について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第3章(p37まで)を読み全体の内容を把握しておくこと。(4時間)				
4	循環器2	血管と血圧調節の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第3章(後半)を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
5	呼吸	肺の構造と酸素取り込み、肺活量とは何か?について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第4章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
6	消化・吸収	各消化器官で水分や栄養がどのように吸収されるのか、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第5章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
7	腎機能と尿	腎臓の作りと尿の生成、利尿作用について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第6章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
8	前半のまとめ	第1回~第7回までの講義内容に関する試験を実施し、解答と解説を行います。				授業前半の内容をまとめ、理解しておくこと。(4時間)				
9	代謝	全身の代謝量を知る方法について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第7章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
10	体温調節	熱の産生と放散、発汗のメカニズムについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第8章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
11	骨格筋	筋肉の種類と収縮の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第11章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
12	神経伝達	神経細胞の作りと神経伝達の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第12章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
13	自律神経	交感神経と副交感神経、体の機能を維持するための様々な反射について、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第13章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
14	脳機能	部位と役割、記憶、睡眠、情動が起こるメカニズムについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第14章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
15	感覚器	視覚、聴覚、平衡感覚の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。				テキストの第15章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「解剖生理学」多久和典子、多久和陽著(南山堂) ISBN:978-4-525-12162-4(生協で購入してください。)				小テスト:30% 定期試験:70% S:各種生理機能について深く理解しているだけでなく、それらの知識を活用し実際に生体内で起こる事象についての確かな説明および考察ができる。A:授業内容を細部まで理解し、毎時間のまとめの内容以外の問題も解ける。B:毎時間のまとめの内容を完全に理解し、問われ方が変わっても正解できる。C:毎時間のまとめの内容を理解し、それらに関する試験問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要な場合は、プリントなどで配布します。				単に専門用語を覚えるだけではなく、自分の体に日頃起こることをイメージしながら講義を聞いてください。用語よりも"仕組み"全体を理解しようとすることで、より理解しやすくなります。						

科目名	機能解剖学		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	SL26002	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助		必修選択	必修	科目種別	講義	ホワイト			
関連資格	実践指導者、指導士、ト指、日本スポーツ協会指、指導、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>人体を構成する、骨・筋肉・神経について基礎医学の知識を深める。さらに、骨・筋肉・神経については、その一つ一つを単に覚えるのではなく、「関連付け」を重要視していきます。その統合によって「運動学」へ展開できるようにします。日常生活動作やスポーツ動作における骨・関節・筋の運動性についても学習を深めていきます。さらに、「トレーニング」「コンディショニング」「スポーツ傷害」などとの関連性を示しながら履修を進めます。</p>										
学修到達目標										
<p>講義終了時には、学生が「体のつくり」について十分理解できており、人に説明する能力を持っている事を目指していきます。身体運動に関係する骨・筋肉の名称と機能を中心に理解を深めていきます。筋骨格系の学習を進めながら、力学的な背景を理解し、トレーニングの理論的背景を形成できるようにしていきます。</p>										
授業の進め方										
<p>本授業においては、人間の筋骨格系の機能解剖を取り上げ、本分野を専門に著した教科書をベースとして授業を進める形態です。授業内容の復習を行うレポート学習を通して習得度を高めていくようにします。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	身体の仕組みと働き「筋肉の仕組み」	筋肉の構造と機能についてテキストを用いて解説します。				配布資料にて事後に復習(4時間)				
2	身体の仕組みと働き「骨と関節の仕組み」	全身の骨の名称を覚えることと、関節の構造についての学習をします。				テキスト「身体運動の機能解剖学」p1-3 p10-17を事前予習(4時間)				
3	身体の仕組みと働き「呼吸循環器の構造と役割」	呼吸循環器系の構造について学習し、エネルギー供給についての理解も深めます。				配布資料にて事後復(4時間)				
4	脊柱の構造と役割	脊柱を構成する頸椎・胸椎・腰椎の中心に骨・関節・筋・その機能について学習します。				テキスト「身体運動の機能解剖学」p197-226を事前予習(4時間)				
5	肩甲帯及び肩関節の構造と役割	肩甲骨、及び肩甲上腕関節を中心に骨・関節・筋・その機能について学習します。				テキスト「身体運動の機能解剖学」p27-64を事前予習(4時間)				
6	上腕・前腕・手指及び肘関節の構造と役割	上腕・前腕・手指及び肘関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。				テキスト「身体運動の機能解剖学」p65-108を事前予習(4時間)				
7	骨盤及び股関節の構造と役割	骨盤及び股関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。				テキスト「身体運動の機能解剖学」p125-154を事前予習(4時間)				
8	大腿の構造と役割	大腿部の骨・関節・筋・その機能について学習します。				配布資料にて事後復習(4時間)				
9	膝関節の構造と役割	膝関節及び周囲の骨・関節・筋・その機能について学習します。				テキスト「身体運動の機能解剖学」p155-168を事前予習(4時間)				
10	下腿及び足関節の構造と役割	下腿及び足関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。				テキスト「身体運動の機能解剖学」p169-195を事前予習(4時間)				
11	足部の構造と役割	足部の骨・関節・筋について学習します。				配布資料を事後復習(4時間)				
12	日常生活動作及びスポーツ動作時の機能解剖学	日常生活動作及びスポーツ動作時における骨・筋・関節の機能について学習します。				配布資料にて事後復習(4時間)				
13	バイオメカニクス1「力学の基本」	バイオメカニクスの基礎について用語やこの原理を中心に学習します。				配布資料にて事後復習する。(4時間)				
14	バイオメカニクス2「スポーツ動作と力学」	スポーツ動作時におけるバイオメカニクスを中心に学習、陸上・水中・回転など、また道具(ボール)についての基礎的な力学的特徴も学習します。				配布資料にて事後復習(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめをします。				テキスト・配布資料にて事前事後学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「身体運動の機能解剖(改訂版)」(医道の日本社) ISBN:4-7529-3063-3 (生協で購入してください。) \ 4,300				<p>定期試験：90% レポート：10%</p> <p>S：授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。  A：授業内容を理解し、積極的な姿勢で課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。  B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。  C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「ボディ・ナビゲーション」(医道の日本社) ISBN:4-7529-3078-1 \ 3,800 「筋・骨格系のキネシオロジー」(医歯薬出版) ISBN:4-263-21287-8				<p>学習内容は膨大で、記憶しなければならない事が多いですが、健康に関わる仕事をやる上で基礎となる知識です。スポーツ外傷学・障害、トレーナー実習・リハビリテーション概論の基礎学習に有効です。</p>						

科目名	スポーツ外傷・障害学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナハリング	SA26003	研究室	非常勤
担当者	百瀬 能成		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	実践指導者、指導士、ト指、日本スポーツ協会指導、日本スポーツ協会アソシ				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本講義の目的は、スポーツ外傷や運動を起因とする疾病について、それらの発生メカニズムを知り、運動中のケガと疾病の予防およびその対処方法について知ることです。</p> <p>講義内容は次の通りです。受傷頻度が高い整形外科的疾患（四肢の外傷、腰痛、捻挫や打撲、靭帯損傷、オーバーユースによる痛み）リハビリテーションの実際 特異的な環境で発生する傷害（熱中症や凍傷）心臓突然死および貧血など</p>										
学修到達目標										
スポーツ現場で受傷、発症する疾病について理解をした上で、それぞれに対する基礎的な対処方法やリハビリテーションについての知識を整理することができることを目標とします。										
授業の進め方										
教官の経験や学生諸君の体験を活かし、運動中に発生しやすい事例を紹介していきます。外傷および疾病について病態を解説し、その予防と治療、リハビリテーションについて解説します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	スポーツ医学総論	スポーツ医学の概論について説明します。				テキストP1～27の概要を整理する（4時間）。				
2	スポーツ外傷と障害について	スポーツ外傷・障害の概論について説明します。				テキストP29～39の概要を整理し、スポーツ外傷と障害の違いについて整理する（4時間）。				
3	部位別スポーツ外傷と障害（頭部・頸部）	頭部・頸部の外傷・障害について説明します。				テキストP55～61の概要を整理し、頭部・頸部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する（4時間）。				
4	部位別スポーツ外傷と障害（肩関節）	上肢の外傷・障害：肩関節について説明します。				テキストP62～72の概要を整理し、肩関節部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する。4時間				
5	部位別スポーツ外傷と障害（肘関節）	上肢の外傷・障害：肘関節について説明します。				テキストP72～83の概要を整理し、肘関節部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する（4時間）。				
6	部位別スポーツ外傷と障害（手関節）	上肢の外傷・障害：手・指関節について説明します。				テキストP83～89の概要を整理し、手関節部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する（4時間）。				
7	部位別スポーツ外傷と障害（体幹部）	体幹の外傷・障害について説明します。				テキストP89～100の概要、体幹・骨盤部のスポーツ外傷と障害の違いを整理する（4時間）。				
8	部位別スポーツ外傷と障害（股関節）	下肢の外傷・障害：股関節について説明します。				テキストP100～105の概要、股関節部のスポーツ外傷と障害の違いについて整理する（4時間）。				
9	部位別スポーツ外傷と障害（膝関節）	下肢の外傷・障害：膝関節について説明します。				テキストP105～123の概要、膝関節部のスポーツ外傷と障害の違いについて整理する（4時間）。				
10	部位別スポーツ外傷と障害（足関節）	下肢の外傷・障害：足部・足関節について説明します。				テキストP123～139の概要、足関節部のスポーツ外傷と障害の違いについて整理する（4時間）。				
11	アスレティックリハビリテーションの概要	アスレティックリハビリテーション：理論について説明します。				テキストP39～55の概要を整理し、アスレティックリハビリテーションについて整理する。4時間				
12	アスレティックリハビリテーションの概要（応急処置）	アスレティックリハビリテーション：実際について説明します。				テキストP39～55の概要を整理し、応急処置方法について整理する（4時間）。				
13	アスレティックリハビリテーションの実際	アスレティックリハビリテーション：実際について説明します。				テキストP39～55の概要を整理し、具体的方法について整理する（4時間）。				
14	内科的スポーツ障害の概要	暑さと寒さによる障害/疲労などについて説明します。				テキストP147～185の概要を整理し、急性障害について整理する（4時間）。				
15	内科的スポーツ障害の概要	急性障害（疾患）/突然死などについて説明します。				テキストP147～185の概要を整理し、慢性障害について整理する（4時間）。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「スポーツ指導者のためのスポーツ医学 改訂第2版」小田清一、福林徹、河野一郎 編集編（南江堂） ISBN:978-4-524-24034-0（生協で購入してください。） \3,360				小テスト：20% 定期試験：80% S:各回の内容を理解（小テスト）し、定期試験において9割程度の理解をしていること。A:各回の内容を理解（小テスト）し、定期試験において8割程度の理解をしていること。B:各回の内容を理解（小テスト）し、定期試験において7割程度の理解をしていること。C:各回の内容を理解（小テスト）し、定期試験において6割程度の理解をしていること。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「わかる！スポーツ傷害 第1版」 ISBN:978-4-524-26487-2 \3,240 「種別別スポーツ傷害の診療」 ISBN:978-4-524-23886-6 \6,700				スポーツ現場での実体験を通しながら講義を進めていきます。傷害や病気により運動を中断せざるを得ない状況を想定し、予防や対処法について学んで欲しいと願います。運動学や解剖学の知識を整理しておくこと、理解しやすいです。						

科目名	運動適応論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ`リング	SA26004	研究室	S-15
担当者	山本 薫			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	指導士			履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
ヒトは運動およびトレーニング時の様々な環境や刺激に対して適応能をもっています。例えば暑熱環境下での運動における発汗や皮膚血流の増加、高地環境での運動に対する赤血球の増加や肺動脈圧の上昇および心肥大、寒冷環境下での運動に対する酸素消費量の増加など、それぞれの環境下での運動に対して適応的变化がみられます。この講義ではさまざまな環境刺激(高圧、低圧、低酸素、暑熱、寒冷、水中)に対する生体の適応およびそのしくみと運動能との関係についての講義を行います。											
学修到達目標											
身体活動は日常生活や競技スポーツの場で重要な効果をもたらします。健康運動の指導やスポーツトレーニングに際しては運動の生理学的適応課程を見ながら目標のレベルに到達することが可能です。本講座は、運動およびトレーニングに対する身体の様々な適応メカニズムを理解し、日常生活や運動を行い自分の身体をよい状態に持っていけるようになることが目標です。											
授業の進め方											
パワーポイントを活用した講義を基本に進めます。関連資料・スライド資料等は可能なものについて随時配布します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション・概論	講義の進め方、注意事項、身体適応について説明します。					自分の身長・体重・心拍数・血圧(測定時間も)を測定して記録し、初回に持参する(4時間)				
2	運動と筋肉(骨格筋)	運動・トレーニングに対する筋肉の適応について学びます。					運動が筋肉に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
3	運動とエネルギー代謝	運動・トレーニングに対するエネルギー代謝の適応について学びます。					運動が代謝に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
4	運動と呼吸器系	運動による呼吸機能の適応変化について学びます。					運動が呼吸器に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
5	運動と循環器系	運動による循環器系(心臓から動脈、毛細血管静脈に至るまで)の適応変化について学びます。					運動が循環器に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
6	運動と神経系	運動・トレーニングが神経系の運動調節の適応について学びます。					運動が神経系に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
7	運動と内分泌系(ホルモン)	運動によって分泌されるホルモンにはどんな種類があるか学びます。					運動がホルモン分泌に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
8	運動と血液・尿、免疫系	運動によって血液・尿・免疫系はどんな影響をうけるか、運動との関係について学びます。					運動が血液動態に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
9	運動と暑熱環境	高温に対して体はどう適応してゆくのか、暑熱馴化のメカニズムについて学びます。					暑い地域や国にいる人の体の特徴について調べてみる(4時間)				
10	運動と寒冷環境	寒冷に対して体はどう適応してゆくのか、寒冷馴化のメカニズムについて学びます。					寒い地域や国にいる人の体の特徴について調べてみる(4時間)				
11	運動と水中環境	水中環境、水の特性、潜水のメカニズムについて学びます。					水中運動が身体に及ぼす特徴について調べてみる(4時間)				
12	運動と高所・低酸素環境	高地や低酸素環境に対して体はどう適応してゆくのかについて学びます。高地トレーニングについて、最近の傾向(トレーニングは低地で、生活は低酸素環境で行う)についても学びます。					人が運動もしくはトレーニング地として活用している高所はどんな地域にあるか調べてみる(4時間)				
13	持久性トレーニングと身体適応	持久性トレーニングに対する筋・血管の形状や機能の適応について学びます。					持久性トレーニングが身体に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
14	筋力トレーニングと身体適応	筋力系トレーニングに対する筋・血管の形状や機能の適応について学びます。					筋力系トレーニングが身体に及ぼす影響について調べてみる(4時間)				
15	加齢と運動	加齢によって起こる身体の生理的な変化について学びます。					加齢が身体に及ぼす影響について多面的に調べてみる(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
(講義にて配布します。)必要に応じて参考資料のプリントを配布します。				定期試験:70% 課題:20% レポート:10% S:授業内容をきわめて高度に理解するとともに探求姿勢をもって課題レポート等に取り組み高度な活動成果を示す。A:授業内容を理解し積極的な探求姿勢をもって課題レポートに取り組み良好な活動を示す。B:授業内容を概ね理解するとともに与えられた課題レポートに取り組み授業のねらいで求める活動成果の2/3程度の達成が認められる。C:授業内容を部分的に理解し授業のねらいで求める活動成果の1/2程度の達成が認められる。期日に遅れて提出したレポートは1/2以下の評価とする。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「運動適応の科学」竹宮 隆著(杏林書院) ISBN:978-4-7644-1036-7 「改訂版 運動生理学の基礎と発展」春日規克・竹倉宏明著(フリースペース) ISBN:9784434075698				体重・心拍数・血圧はなるべく毎週同じ時間帯に測定してください。							

科目名	運動生理学			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバ'リング	SA26005	研究室	C-2
担当者	河野 史倫			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日4限		
関連資格	実践指導者、指導士、第一種衛生、ト指、ホ'レ指、中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
健康になるため、または健康を維持するために運動を行います。運動は様々な生理的刺激となり、カラダはそれに対して適応する過程で運動効果が表れます。スポーツの場面においてパフォーマンスを向上するためにトレーニングを行うことは、カラダの適応能力をさらに引き出しているということになります。本科目では、運動がどのような生理的刺激となり、身体機能にどのような影響を与えるのかについて講義を行います。											
学修到達目標											
運動がどのような生理的刺激となるのか、運動によってカラダはどんな反応を示すのか、それらを結びつけるメカニズムを理解し的確に説明できること、運動がなぜ健康づくりに重要なのかを科学的に考察できるようになることを目標とします。											
授業の進め方											
講義は指定のテキストに沿って進めていきます。板書やスライドも必要に応じて併用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	運動と疾病	生活習慣や加齢に伴う疾病について、若年期の生理機能と比較しながらテキストとスライドを使って解説します。					テキストの14章を読んでおくこと(4時間)				
2	代謝	運動中のエネルギー代謝について、テキストとスライドを使って解説します。					授業ノートをまとめ直し、テキストの5章を読んでおくこと(4時間)				
3	骨格筋1	筋の構造と収縮の仕組み、テキストとスライドを使って解説します。					授業ノートをまとめ直し、テキストの1章を読んでおくこと(4時間)				
4	骨格筋2	筋の種類と性質の違いについて、テキストとスライドを使って解説します。					テキストの1章を読んでおくこと。前回の講義内容を復習しておくこと。(4時間)				
5	神経1	骨格筋がどのように神経支配を受けているのか、テキストとスライドを使って解説します。					授業ノートをまとめ直し、テキストの2章を読んでおくこと。(4時間)				
6	神経2	筋力調節、神経筋で起こる反射について、テキストとスライドを使って解説します。					テキストの2章を読んでおくこと。前回の講義内容を復習しておくこと。(4時間)				
7	神経・筋の可塑性	運動・トレーニングによる神経・筋の変化について、テキストとスライドを使って解説します。					授業ノートをまとめ直し、テキストの1章-2章を読み直しておくこと。(4時間)				
8	前半のまとめ	前半の講義内容に関する試験を実施し、解答と解説を行います。					第1回~第7回の授業で作成したノートを復習し、重要な点は説明できるようにする。(4時間)				
9	呼吸	酸素の取り込みと消費、運動強度による酸素消費量の変化について、テキストとスライドを使って解説します。					テキストの3章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。(4時間)				
10	循環	心機能と運動による血圧変化について、テキストとスライドを使って解説します。					テキストの4章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。(4時間)				
11	体温	体温と体水分調節、運動や暑熱による脱水や熱中症について、テキストとスライドを使って解説します。					テキストの6章と10章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。(4時間)				
12	運動と栄養	栄養によるエネルギー代謝やトレーニング効果の変化、サプリメントの効果について、テキストとスライドを使って解説します。					テキストの8章と12章を読んでおくこと。(4時間)				
13	骨	骨の構造と運動負荷の影響、宇宙飛行士の骨密度低下について、テキストとスライドを使って解説します。					テキストの11章を読んでおくこと。(4時間)				
14	免疫	運動による免疫機能の変化、筋損傷した時の免疫システムについて、テキストとスライドを使って解説します。					テキストの9章を読んでおくこと。(4時間)				
15	老化	加齢に伴う身体機能の変化や運動による老化予防の仕組みについて解説します。					授業後はノートをまとめ、重要な点は説明できるようにすること。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「運動生理学 生理学の基礎から疾病予防まで」小山勝弘、安藤大輔、山北満哉、北川淳、小野悠介、藤田諒著 小山勝弘、安藤大輔編(三共出版) ISBN:978-4-7827-0687-9(生協で購入してください。)					小テスト:50% 定期試験:50% S:各種生理機能について深く理解しているだけでなく、それらの知識を活用し実際に生体内で起こる事象についての確かな説明および考察ができる。A:授業内容を細部まで理解し、毎時間のまとめの内容以外の問題も解ける。B:毎時間のまとめの内容を完全に理解し、問われ方が変わっても正解できる。C:毎時間のまとめの内容を理解し、それらに関する試験問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じてプリント等を配布します。					生体機能の可塑性は複雑な仕組みであり、まだ分かっていないこともたくさんあります。本講義で得た知識を使って、実際に運動やトレーニングの方法や妥当性を科学的に考えることができるようになってほしいです。						

科目名	スポーツ医学		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバ <sup>®</sup> リング	SA36006	研究室	非常勤
担当者	池川 茂樹		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア <sup>®</sup>			
関連資格	実践指導者、日本ｽﾎﾟｰﾂ協会ｽﾎﾟｰﾂ指導、日本ｽﾎﾟｰﾂ協会ﾌﾟﾗｽ				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
ヒトでは安静時に比べ運動時には代謝レベルは最大8倍に、トップアスリートでは16倍にまで上昇しますが、それに伴い生体は各種恒常性調節系の能力をその最大限にまで発揮させます。一方、トレーニングや栄養摂取はそれら調節系能力を改善しますが、ヒトの恒常性維持能力の可塑性や環境適応能力には限界があり、それらを理解し現場での問題解決に生かします。										
学修到達目標										
エネルギーの摂取、燃焼、運動、酸素摂取、運搬、排泄のメカニズムについて理解します。 そのメカニズムを向上させるための運動トレーニングおよび食事摂取方法について理解します。 トップアスリートに加え中高年を中心とした一般人の健康維持および疾患治療としての運動トレーニング方法を理解します。										
授業の進め方										
講義はスライドとプリントを用いて行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	スポーツ医科学とは?	イントロダクション				シラバスを読み、スポーツ医学に関することについて調べておく(4時間)				
2	運動時のエネルギー消費	基質代謝、呼吸商、アシドーシス、エネルギー供給系についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配付プリントの復習(4時間)				
3	運動時のエネルギー回復	筋グリコーゲン回復、エネルギー摂取のタイミング、アスリートの健康管理についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
4	運動と骨格筋	骨格筋の形状と特性、筋収縮、筋繊維タイプ、随意最大筋力についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
5	運動と呼吸	換気の基本、運動中の換気亢進についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
6	運動と循環	心電図、心拍出量、運動時の血圧、循環調節についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
7	運動と神経、内分泌	脳の運動中枢、運動時のホルモン分泌・制御についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
8	運動と体温調節	熱産生・放散経路、体温調節中枢と効果器、高温化の運動、暑熱馴化とトレーニングについてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
9	筋力トレーニング(1)	等尺性・等張性収縮、神経系の適応についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
10	筋力トレーニング(2)	筋力トレーニングの方法、測定方法についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
11	持久性トレーニング(理論編)	最大酸素摂取量、Fickの法則についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
12	持久性トレーニング(実践編)	最大酸素摂取量、トレーニング不可の算出、血流量、トレーニング効果を上げる方法についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
13	運動処方(1)	体力、モチベーション、介護予防、スポーツと健康についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
14	運動処方(2)	実際に行われている運動処方についてスライドとプリントにもとづき解説します。				配布プリントの予習・復習(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめ				疑問点の整理(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
プリントを配布します。		受講態度:30% 受講態度は、授業への参加度(発言・取組み・小テスト)で評価します。 課題レポート・試験:70%で評価します。 Sは90%以上の場合、Aは90点未満~80点以上の場合、Bは80点未満~70点以上の場合、Cは70点未満~60点以上の場合、Dは60点未満不合格								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「やさしい生理学【改訂第6版】」彼末一之、能勢 博編(南江堂) ISBN:978-4-524-26229-8 看護師、理学療法士などパラメディカルスタッフを対象とした教科書です。		「まず、自分自身がより強くなりたい」という体育系の部活に属する学生に受講してほしい、と思います。生理学などの本を読んで、人間の身体の基本的な構造、役割などを把握しておくようにしてください。								

科目名	リハビリテーション概論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	SA36007	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	指導士、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康増進領域に関わる主要疾患のリハビリテーションを中心に進めていきます。リハビリテーションにおける医学的背景を学び、社会的活動・教育の現場指導に役立つように学習していきます。本講義では、医学的リハビリテーションにおける対象者について学び、疾病・障害がどのように発生し、どのように回復または進行していくのか理解を深めるようにします。										
学修到達目標										
医学的リハビリテーションの基礎を理解し、その後につながる介護予防や健康増進におけるリハビリテーションの重要性を整理することができることを目標とします。										
授業の進め方										
主要疾患の講義を進めながら、障害別身体的特徴を学び、健康増進や教育およびスポーツ指導の現場における障害者との関わりの理解を深めていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	リハビリテーション概論	リハビリテーション概論について説明します。				リハビリテーションの理念について整理する(4時間)。				
2	リハビリテーション概論	医療と保健・福祉との関わりについて説明します。				テキストP5～9の概要を整理し、医療と保健・福祉との関わりについて整理する(4時間)。				
3	リハビリテーション概論	コメディカルとの関わりについて説明します。				テキストP35～73の概要を整理し、医療チームについて整理する(4時間)。				
4	障害別リハビリテーション	関節拘縮について説明します。				テキストP136～141の概要を整理し、関節拘縮について整理する(4時間)。				
5	障害別リハビリテーション	筋力低下について説明します。				テキストP142～148の概要を整理し、筋力低下について整理する(4時間)。				
6	障害別リハビリテーション	運動麻痺について説明します。				テキストP149～156の概要を整理し、運動麻痺について整理する(4時間)。				
7	障害別リハビリテーション	失語・失認・失行について説明します。				テキストP168～177の概要を整理し、失語・失認・失行について整理する(4時間)。				
8	障害別リハビリテーション	高次脳機能障害・嚥下障害について説明します。				テキストP178～187の概要を整理し、高次脳機能障害・嚥下障害について整理する(4時間)。				
9	疾患別リハビリテーションの概要	脳卒中のリハビリテーションについて説明します。				テキストP204～213の概要を整理し、脳卒中のリハについて整理する(4時間)。				
10	疾患別リハビリテーションの概要	パーキンソン症候群のリハビリテーションについて説明します。				テキストP214～229の概要を整理し、パーキンソン症候群のリハについて整理する(4時間)。				
11	疾患別リハビリテーションの概要	神経・筋疾患のリハビリテーションについて説明します。				テキストP231～242の概要を整理し、神経・筋疾患のリハについて整理する(4時間)。				
12	疾患別リハビリテーションの概要	脊髄損傷のリハビリテーションについて説明します。				テキストP243～248の概要を整理し、脊髄損傷のリハについて整理する(4時間)。				
13	疾患別リハビリテーションの概要	四肢切断のリハビリテーションについて説明します。				テキストP255～261の概要を整理し、切断のリハについて整理する(4時間)。				
14	疾患別リハビリテーションの概要	関節リウマチのリハビリテーションについて説明します。				テキストP268～274の概要を整理し、関節リウマチのリハについて整理する(4時間)。				
15	疾患別リハビリテーションの概要	小児疾患のリハビリテーションについて説明します。				テキストP279～283の概要を整理し、小児疾患のリハについて整理する(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「リハビリテーション総論 改訂第3版」 椿原彰夫編(診断と治療社) ISBN:978-4-7878-1160-8(生協で購入してください。)				小テスト:20% 定期試験:80% S:各回の内容を理解(小テスト)し、定期試験において9割程度の理解をしていること。A:各回の内容を理解(小テスト)し、定期試験において8割程度の理解をしていること。B:各回の内容を理解(小テスト)し、定期試験において7割程度の理解をしていること。C:各回の内容を理解(小テスト)し、定期試験において6割程度の理解をしていること。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「入門リハビリテーション概論【第7版】」中村隆一・佐直彦 編編(医歯薬出版) ISBN:978-4-263-21326-1 \ 6,264 「リハビリテーション基礎医学」(医学書院) ISBN:978-4-260-24348-3				医学的リハビリテーションを中心に講義を進めるため、機能解剖学を復習した上で受講が理解を深めます。						

科目名	運動と遺伝子			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	SA36008	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワー	火曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
遺伝子を扱う学問である分子生物学は、1953年にワトソンとクリックによりDNAのらせん構造が打ち立てられて以来急速に発展を遂げています。遺伝子は、私たちの身体をつくる設計図であり、運動能力も遺伝子に影響を受けることが明らかになってきています。本講義では、遺伝子が運動、健康とどの様に関わっているのかについて学習します。具体的には、遺伝子とは何かから始まり、運動と遺伝子との関わり、また運動のDNAに及ぼすエピジェネティクス効果についても触れます。											
学習到達目標											
分子生物学視点から運動、健康に関わる事象を考えることができる基礎的知識を修得します。											
授業の進め方											
基本的には教科書を用いて授業を進めます。必要に応じて資料としてプリントも配布します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生命とは何か	地球における生物の誕生から自己保存、自己複製能と種の多様性を持ち、進化してきたことを学びます。					遺伝子と多様性の関係について復習する。(4時間)				
2	遺伝するとは	遺伝子が種々の性質を作り出す設計図であることを学びます。運動能力と遺伝子の関係、放射線による遺伝子への影響とうについても考えてみましょう。					遺伝子の重要性について復習する。(4時間)				
3	遺伝子の本体とDNAの構造について	遺伝子の本体とは何か、DNAの構造はどの様になっているのかについて学びます。					遺伝子の構造について復習しておく。(4時間)				
4	一流スプリンターのACTN3遺伝子のタイプにつ	一流スプリンターとACTN3遺伝子のタイプの違いとその仕組みについて解説します。					ACTN3遺伝子の働きについて復習しておく。(4時間)				
5	持久力と遺伝子との関係について	エリスロポイエチン受容体 (EPOR) 遺伝子を取り上げ、持久力と遺伝子の関係について解説します。					EPOR遺伝子の働きについて復習しておく。(4時間)				
6	筋持久力、高山病と遺伝子の関係について	アンギオテンシン 変換酵素 (ACE) 遺伝子を取り上げ、筋持久力トレーニングに対するトレーニングと遺伝子の関係について解説します。					ACE遺伝子の働きについて復習しておく。(4時間)				
7	筋肥大と遺伝子との関係について	筋肥大にかかわる成長因子を取り上げ、遺伝子がどのようにかかわっているかについて解説します。					筋肥大と遺伝子との関係について復習しておく。(4時間)				
8	運動と免疫機能について	運動と上気道感染リスクについてJカーブ、Sカーブについて解説すると共に自然免疫と獲得免疫について解説します。					Jカーブ、Sカーブについて復習しておく。(4時間)				
9	運動と自然免疫、老化との関係について	運動とASC遺伝子の働き、自然免疫との関係について解説します。					運動と自然免疫との関係について復習しておく。(4時間)				
10	運動とエピジェネティクスについて	運動がDNAのメチル化に及ぼす効果について解説します。					エピジェネティクスの意義について復習しておく。(4時間)				
11	運動の脳機能への影響について	運動が脳機能にどのように影響するか、脳機能にかかわる遺伝子を取り上げ解説します。					運動の脳機能への効果について復習しておく。(4時間)				
12	運動と寿命との関係について	運動と寿命との関係についてと長寿遺伝子について解説します。					運動の寿命への効果について復習しておく。(4時間)				
13	遺伝子ドーピングについて	今まで学習してきた運動にかかわる遺伝子を振り返りながら、ゲノム編集と遺伝子ドーピングの可能性について解説します。					遺伝子ドーピングが何をもたらすのかについて復習する。(4時間)				
14	運動のがん予防効果について	運動によるがんに対する効果と抑制モデルについて解説します。					運動のがん予防のメカニズムについて復習しておく。(4時間)				
15	まとめ	遺伝子診断、遺伝子操作について考えます。					遺伝子操作、遺伝子診断に対しての考えを復習する。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「Q&A運動と遺伝」大野秀樹他編(大修館書店) ISBN:4-469-26474-1(生協で購入してください。)						レポート:10% 定期試験:90% レポートと定期試験を総合評価し、95点以上をS評価、80点以上をA評価、70点以上をB評価、60点以上をC評価とします。基本的事項を最低限修得しているレベルをCとします。授業内容を修得しているレベルをBとします。授業内容をしっかりと修得しているレベルをAとします。授業内容をしっかりと修得し、更なる発展が認められるレベルをSとします。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「細胞の分子生物学(第4版)」アルバート他著(株)ニュートンプレス 中村桂子他監訳 「運動分子生物学」(有限会社ナップ) 大日方昂監修						講義計画に該当する内容をテキストなどから探し、読んでおいてください。					



科目名	メディカルチェックの理論と実習		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	SA36009	研究室	S-15	
担当者	山本 薫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限、火曜日4限			
関連資格	指導士			履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
健康運動指導士は運動のための内科的メディカルチェックの重要性を理解し、その内容を説明できることが求められています。本講義では、メディカルチェックの内容とその流れ及び結果を踏まえたリスク層別化の説明、問診や各種検査の実施方法と測定値の基準、心肺運動負荷検査の必要性と実施方法の理解、を中心に解説するとともに重要な項目について実習を行います。											
学修到達目標											
運動におけるメディカルチェックの重要性と内容を理解し、その内容と流れを説明することができるようになる。運動負荷試験の目的を理解し、内容と方法を説明することおよび評価することができる。心肺運動負荷検査の心電図測定における電極装着部位を理解し安全対策をとれるようになる。以上のことを目標とします。											
授業の進め方											
教室でのスライド、DVDなどの視聴覚教材やプリントを用いた講義、及び検査室での各種検査実習と心肺運動負荷検査実習を組みあわせて行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	メディカルチェックについて	メディカルチェックの重要性とその意義について説明します。					メディカルチェックの効果についての資料等を読む。テキストp587(4時間)				
2	臨床検査について	臨床検査の種類と読み方、血液、心臓、肝臓、腎臓などの各臓器の変化に特有な検査データとデータの読み方について学びます。					臨床検査の主要なマーカーを覚える。テキストp573(4時間)				
3	心臓の解剖と働きについて	心臓の構造とポンプ機能、循環機能について学びます。					心臓の解剖、特に冠状動脈について予習する。テキストp159(4時間)				
4	血圧の特徴と仕組みについて	安静時の血圧を測定します。様々な測り方での測定値を比較し、その原因を考えます。					血圧の仕組みを調べます。テキストp579(4時間)				
5	呼吸機能の測定について	肺の働きと病気(COPD、肺がん、肺炎)について学びます。スパイロメーターの使い方、パルスオキシメーターの原理を学びます。					一秒量と努力性肺活量を測る。テキストp579(4時間)				
6	ドーピング・服薬と治療薬について	ドーピングの歴史と定義、JOCでの検査方法、服薬者への注意点について学びます。					最近のドーピングの事例を調べる。テキストp602、JADAのHP(4時間)				
7	心電図(1)	心電図の基礎と記録法 読み方(1) 正常心電図の特徴と読み方について学びます。					心電図の決まりを復習する。テキストp580(4時間)				
8	心電図(2)	心電図の基礎と記録法 読み方(2) 異常心電図の特徴と読み方について学びます。					正常と異常心電図を読み、レポートする。テキストp580(4時間)				
9	心電図(3)	心電図記録法(実習) 心電計の電極を取り付け心電図をとります。					自分の心電図を読みレポートする。テキストp580(4時間)				
10	突然死と救命救急法	運動中突然死の死因およびその救命救急法を学びます。(演習)					突然死の事例を調べる。テキストp533(4時間)				
11	心肺運動負荷検査(1)	心肺運動負荷検査の意義、方法と適応、禁忌 心電図でチェックすべき変化について学びます。					心電図のST変化の意義を学ぶ。テキストp631(4時間)				
12	心肺運動負荷検査(2)	自転車エルゴメーターを使って心肺運動負荷検査実習を行います。(演習)					自転車エルゴメーター負荷の特徴を学ぶ。テキストp631(4時間)				
13	心肺運動負荷検査(3)	トレッドミルを使って心肺運動負荷検査実習を行います。(演習)					事前にトレッドミル負荷の特徴を学ぶ。テキストp580~(4時間)				
14	心肺運動負荷検査(4)	心肺運動負荷検査実習で自転車エルゴメーターを使った無酸素性作業閾値の測定(呼気ガス分析によるVT測定)を行います。(演習)					事前に呼気ガス分析測定の特徴を学ぶ。(4時間)				
15	運動負荷検査まとめ	心肺運動負荷検査実習で無酸素性作業閾値の測定(呼気ガス分析によるVT測定)を行います(演習)。講義実習全体のまとめ					事前に呼気ガス分析測定の特徴を学ぶ。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「健康運動指導士養成講習会テキスト(上・下)」財団法人健康・体力づくり事業団体編(別途、指示します。) 必要な時はプリント・資料を配布する。 講義の順番は変更することがあります。				定期試験：60% レポート：30% 受講態度：10% 総合評価 S:全講義実習に積極的に参加して質問をし、レポートは指定課題について適切で十分な考察、試験は90%以上得点。A:14回以上講義実習に積極的に参加し、レポートは指定課題について適切な考察、試験は80%以上得点。 B:13回以上講義実習に積極的に参加して、レポートは指定課題について考察、試験は70%以上得点。C:11回以上講義実習に積極的に参加して、レポートは指定課題に回答し、試験は60%以上得点。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「新スポーツのためのメディカルチェック」(南江堂) ISBN:978-4524220519 村山正博監修 「心臓リハビリテーション必携」日本リハビリテーション学会 編著(日本				運動生理学、運動処方論を履修済みか履修中であることを前提とします。運動前に体の状態を知ることの意義を考えながら講義実習に臨みましょう。実習には動きやすい服装で体調を整えて参加して下さい。							

科目名	バイオメディカル文章理解		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	NL35021 SL36010	研究室	S-01
担当者	山田 一哉		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
自然科学分野では、最新の情報は英文で報告されます。したがって、高い専門性を持った管理栄養士や健康運動指導士になるとすると、世界の最新情報に目を配り、必要な情報とそうでない情報を見極め、自己の知識をつねに更新していく必要があります。本講義では、専門分野の英文を輪読しながら、自然科学文献の読み方を学びます。										
学修到達目標										
本講義は、バイオメディカル系の文章を輪読していくことで、まずは専門用語・英文になれることを目的とします。										
授業の進め方										
少人数(8人以内)での輪読形式で行います。希望者が8人を超える場合は、大学院進学を考えている人・病院への就職を考えている人など優先順位の高いもの順に選抜します。毎回、英文を読んでもらいますので、徹底的な予習が必要です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	本講義のガイダンス	本講義の進め方や達成目標を説明します。輪読する文献について意見を集約します。				シラバスをよく読んで内容を理解したうえで、受講すること。(1時間)				
2	バイオメディカル文献検索法	パソコンを用いて、PubMedからの文献検索等の方法について学びます。				いくつか自分が関心のある文献を検索してみることに。(4時間)				
3	自然科学論文の構成	自然科学論文は、要約・序論・材料と方法・結果・考察・引用文献など定型的な構成を持っています。それぞれの項目の内容について解説します。				レポートを課します。(4時間)				
4	バイオメディカル英文輪読：一般科学系	自然科学一般に関する文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
5	バイオメディカル英文輪読：一般科学系	自然科学一般に関する文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
6	バイオメディカル英文輪読：一般科学系	自然科学一般に関する文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
7	バイオメディカル英文輪読：一般科学系	自然科学一般に関する文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
8	バイオメディカル英文輪読：バイオ系	生命科学系の文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
9	バイオメディカル英文輪読：バイオ系	生命科学系の文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
10	バイオメディカル英文輪読：バイオ系	生命科学系の文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
11	バイオメディカル英文輪読：バイオ系	生命科学系の文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4時間)				
12	バイオメディカル英文輪読：メディカル系	医学系の文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
13	バイオメディカル英文輪読：メディカル系	医学系の文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
14	バイオメディカル英文輪読：メディカル系	医学系の文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
15	バイオメディカル英文輪読：メディカル系	医学系の文献を輪読します。				文献を読んでくること。事後は、内容を的確に反映した文章にまとめ直すこと。(4.5時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
課題とする文献を配付します。		受講態度：100% 受講態度とは、輪読時の準備状況・読み方や訳しかたの程度を指す。間違いながらも読めるとC。少ない間違いで読めるとB。正確に読めるとA。内容まで踏み込んで読めるとS。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特になし。		かなりの努力が必要です。自分で自分を伸ばすための機会ととらえて、積極的に講義に臨んでください。将来必ず役に立ちます。大学院進学や専門分野で英文理解を必要とする就職先を考えている学生は、ぜひ受講して下さい。								

科目名	栄養学概論			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバ`リング	SL16011	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	水曜日1限		
関連資格	指導士、ト指、養教一、中一(保健)、高一(保健)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
単に栄養素という物質を理解するのではなく、摂取した食品が身体の中でどのように動き、どのように働くのか一連の栄養代謝と健康と食生活の関係について学習します。											
学修到達目標											
五大栄養素の役割と消化、吸収の過程などの基礎栄養学を理解すること、健康の保持、増進、疾病予防に関する栄養素や食事の役割、食に関する健康課題を説明できることとします。											
授業の進め方											
基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。また、学習の理解度の確認を行うとともに、各テーマの理解を深めるために自由討論できる時間を設けます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション、栄養と健康	授業ガイダンス(本講義の狙い、進め方)を行います。栄養の概念、健康の考え方、健康と栄養の関係について学びます。					第1章を予習し、栄養の定義、栄養素の概要、健康の定義を復習します。(4時間)				
2	消化と吸収、栄養と疾病、食物の摂取	消化と吸収、栄養素の不足、過剰による疾病、食事リズムと健康への影響について学びます。					第2章を予習し、欠乏症、過剰症、摂取が望ましい、控える栄養素を整理します。(4時間)				
3	エネルギーの科学	エネルギー代謝と栄養素の関係、エネルギー収支バランスについて学びます。					第10章を予習し、エネルギー消費量の測定、エネルギーと体重変化の関係を復習します。(4時間)				
4	糖質の働き	糖質の代謝、糖質の働きについて学びます。					第5章を予習、糖質の代謝、働きを復習し、糖質を豊富に含む食品を整理します。(4時間)				
5	脂質の働き	脂質の代謝、脂質の働きについて学びます。					第6章を予習、脂質の代謝、働きを復習し、脂質を豊富に含む食品を整理します。(4時間)				
6	タンパク質の働き	タンパク質の代謝、タンパク質の働きについて学びます。					第4章を予習、タンパク質の代謝、働きを復習し、タンパク質を豊富に含む食品を整理します。(4時間)				
7	脂溶性ビタミンの働き	ビタミンの種類と疾病、脂溶性ビタミンの働きについて学びます。					第7章を予習、脂溶性ビタミンの働きを復習し、脂溶性ビタミンを豊富に含む食品を整理します。(4時間)				
8	水溶性ビタミンの働き	水溶性ビタミンの働きについて学びます。					第7章を予習、水溶性ビタミンの働きを復習し、水溶性ビタミンを豊富に含む食品を整理します。(4時間)				
9	多量ミネラルの働き	ミネラルの種類と疾病、多量ミネラルの働きについて学びます。					第8章を予習、多量ミネラルの働きを復習し、多量ミネラルを豊富に含む食品を整理します。4h				
10	微量ミネラルの働き	微量ミネラルの働きについて学びます。					第8章を予習、微量ミネラルの働きを復習し、微量ミネラルを豊富に含む食品を整理します。(4時間)				
11	水・電解質の働き	水の出納、電解質の代謝について学びます。					第9章を予習し、水の働き、電解質バランスを復習します。(4時間)				
12	熱中症と水分補給	熱中症の発生機序と熱中症予防と熱中症時の対策について学びます。					熱中症予防と水分補給の方法について復習します。(4時間)				
13	一般人の栄養と健康課題	現在の食事に寄与する健康課題と食事のあり方について学びます。					健康寿命を阻害する三大因子について復習します。(4時間)				
14	競技者の栄養と競技力	競技者の食事の現状と課題、競技力向上の関係について学びます。					競技者の食事の意義、栄養評価、食事の基本的な形について復習します。(4時間)				
15	栄養と健康のまとめ	これまでの講義のまとめとして、自身の健康と食事について考えます。					これまでの講義の資料や教科書を復習して講義に臨みます。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「イラスト 基礎栄養学」田村明、小野廣紀、大口健司著(東京数教社) ISBN:978-4-8082-6036-1(生協で購入してください。)					定期試験:90%、受講態度:10% 受講態度は、受講票での積極的な質問と授業中の発言を得点化して評価し、定期試験と総合的に評価します。60点以上でC評価、70点以上でB評価、80点以上でA評価とし、90点以上でS評価とします。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし					身近な食をテーマにより専門的な身体の仕組みを学びます。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:スポーツ現場でトップアスリートから運動愛好家まで幅広い栄養指導の実務経験を有します。						

科目名	トレーニング科学の理論と実際		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	SA26012	研究室	S-15
担当者	山本 薫		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	実践指導者、指導士、ト指、日本ｽﾌﾟｰﾂ協会ｽﾌﾟ指導、日本ｽﾌﾟｰﾂ協会ｱｽﾈ				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
トレーニング科学に関する情報の蓄積に伴い、トレーニング現場に必要な知識も増えています。この授業では、トレーニングの目的に応じた負荷と量を設定し、正確な方法で指導できる実践力を身につけることを目的とします。トレーニングを安全でかつ効果的に行うための手順と方法を理解し、トレーニングの必要性と、実践する際の留意点をも各部位別に学びます。										
学修到達目標										
筋力や持久力を安全で効果的に向上させるための原則や留意点を理解し、各種のトレーニング実習を通して、その具体的な組み立て方を修得することを目標とします。										
授業の進め方										
講義室とトレーニングルームを併用しながら理論演習という形式で授業を進めていきます。講義はこちらが用意したプリント及びスライドを使用しながら授業を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、トレーニング概論	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。トレーニングの意義と目的、トレーニング効果を決定する要因について解説します。				健康づくりと運動の講義に実施した内容を復習しておくこと(4時間)。				
2	トレーニングの原理・原則	効果的にトレーニングを実施するための条件について解説します。				各自が行っているトレーニング目的及び内容をまとめておく(4時間)。				
3	体力とトレーニング	体力の概念、運動トレーニングの有益性について解説します。				体力要素の分類を各自でまとめておくこと(4時間)。				
4	トレーニングと安全管理	安全にトレーニングを実施するための諸条件について解説します。				配布したプリント及び内容を復習しておくこと(4時間)。				
5	ウォーミングアップとクーリングダウン及び体操	ウォーミングアップ、クーリングダウンの方法、目的別の準備運動実施法及び指導法(理論と実習)について解説します。				ウォーミングアップ、クーリングダウンの必要性について事前に調べておくこと(4時間)。				
6	トレーニング理論と方法	持久性体力トレーニングについて解説します。				持久力体力を規定する要因、持久性体力を計測する方法について事前に調べておくこと(4時間)。				
7	トレーニング理論と方法	レジスタンストレーニングについて解説します。				レジスタンストレーニングの名称について事前に調べておくこと(4時間)。				
8	トレーニング理論と方法	パワー・スピードトレーニングについて解説します。				パワー、スピードの体力テストの方法について事前に調べておくこと(4時間)。				
9	トレーニング理論と方法	ストレッチングと柔軟性トレーニングについて解説します。				柔軟性を規定する要因について事前に調べておくこと(4時間)。				
10	トレーニング計画	目標設定と形態計測方法と手順について解説します(実習)。				カウンセリングした内容を基に、パートナーのトレーニング目標をまとめておくこと(4時間)。				
11	トレーニング計画	体力テストの有効活用方法について実際に体験します(実習)。				パートナーの形態計測結果、体力測定の結果を活用できるように整理しておくこと(4時間)。				
12	トレーニング計画	測定データを基に、トレーニングメニューを作成します(実習)。				作成したトレーニングメニューの内容がトレーニングに適当なものが再確認しておく(4時間)。				
13	トレーニングの実践と指導	13,14回でトレーニング実施者と指導する者を入れ替えて、トレーニング又はパートナーの指導をします(実習)。				トレーニング実施した者、指導した者それぞれの立場での感想、反省をまとめておく(4時間)。				
14	トレーニングの実践と指導	13,14回でトレーニング実施者と指導する者を入れ替えて、トレーニング又はパートナーの指導をします(実習)。				トレーニング実施した者、指導した者それぞれの立場での感想、反省をまとめておく(4時間)。				
15	実習の振り返りとまとめ	パートナーのトレーニング指導実習を振り返り、第1から14回までの講義のまとめをします。				これまでの講義及び実習で使用したプリントを中心に復習しておくこと(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
テキストは指定せず、必要に応じてプリント資料を用意します。資格取得希望者は参考書を必ず購入し資格試験に備えて熟読すること。				定期試験：70% レポート：20% 課題：10% S:授業内容をききわめて高度に理解するとともに、探求姿勢をもって課題演習等に取り組み高度な活動成果を示している。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題演習に取り組み良好な活動を示している。B:授業内容のおおよそを理解するとともに、与えられた課題演習等に誠実に取り組み、授業のねらいで求める活動成果の2/3程度の達成が認められる。C:授業内容の一部を理解するとともに、授業のねらいで求める活動成果の1/2程度の達成が認められる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康運動指導士養成講習会テキスト(下)」健康・体力づくり事業財団著(南江堂) 「JATIトレーニング指導者テキスト」(大修館書店)				実習時には運動着、室内シューズを必ず持参してください。毎回の講義終了前に、次回講義の概要や予習等、準備について連絡をします。【実務経験のある教員が担当】内容:病院に勤務し、健康運動指導士として運動指導を行った。						

科目名	運動と物理学			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	SA26013	研究室	S-24
担当者	丸山 文男			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスター	火曜日3限		
関連資格	指導士、日本スポーツ協会指導					履修条件	1年後期「力学の基礎」を受講しているもしくは高校で「物理」を履修していること				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
<b>授業概要</b> 力学の基礎で学んだ内容を大きさを持った物体の運動に発展させ、具体的な競技や運動に適用して、運動のメカニズムをよりよく理解できるようにします。基礎科学的な視点から現象を理解すれば、運動そのものの見方や視点もそれまでとは変化し、競技の技術をアップするポイントの明確化や、さらなる競技力向上が期待されます。競技時の体の動きを、物理的な視点から理解し説明できるようになることが、この講義のねらいであり到達目標でもあります。											
<b>学修到達目標</b> 運動を力学的に考えられるようになることです。											
<b>授業の進め方</b> 競技の内容を説明し、どのような原理でそれが実現するのか物理学の視点から理解します。講義の中でどのような力が働いているのか、それがどのようなメカニズムで生じているのかなどを考えながら進めます。											
<b>授業計画(各回のテーマ等)</b> 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	力学の基礎の復習	力学の基礎の復習と本講義の内容との関係など、講義計画の概要説明。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
2	力について	力のつりあいはベクトルの作図で考えます。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
3	運動量保存則	運動量保存則・力積：野球におけるバットコントロールとグラブさばき。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
4	力学的エネルギー保存則	力学的エネルギー保存則：走り高跳び・棒高跳び。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
5	仕事とエネルギー	全身運動と仕事・エネルギー。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
6	剛体の運動	剛体の運動と質点の運動の比較。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
7	剛体の回転	剛体の運動の運動方程式と慣性モーメント、角運動量の導入。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
8	角運動量	角運動量保存則と運動：フィギュアスケートと回転運動、ハンマー投げなど。					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
9	歩く動作	陸上での運動1・動作各論：歩行					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
10	重心とバランス	陸上での運動2・動作各論：重心とバランス					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
11	ベルヌーイの定理	流体中での運動：ベルヌーイの定理					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
12	球の回転と運動	マグナス力と競技：テニス・野球など球技の変化球について					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
13	熱	水中・水泳運動1：比熱、熱容量、熱伝導					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
14	浮力、揚力、抵抗	水中・水泳運動2：浮力・抵抗					テキストを復習し、課題を行います。(4時間)				
15	運動の力学	期末試験の傾向と対策(まとめにかえて)					授業全体を振り返り、定期試験に備える。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「総合物理1-力と運動・熱」 岡友正他著(数研出版) ISBN:978-4-410-81203-3(別途、指示します。) 「フォローアップドリル物理 力と運動・熱と気体」 数研出版編集部編(数研出版) ISBN:978-4-410-26541-9(生協で購入してください。) プリント等を配布する						定期試験：100% S:授業内容を深く理解し、複雑な応用問題を解くことができる。 A:授業内容をよく理解し、応用問題を解くことができる。 B:授業内容を理解し、簡単な問題を解くことができる。 C:授業内容をほぼ理解し、例題を解くことができる。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「健康運動指導士養成講習会テキスト上巻」( (財)健康・体力づくり事業財団)						準備学習として健康運動指導士講習会教材を事前に読んでおくことを勧めいたします。現象を科学的に捉え、それを自分の言葉で説明できるようになります。【実務経験のある教員が担当】高校で理科(物理)の教科指導に携った。					

科目名	運動と栄養			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	SL26014	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格	実践指導者、指導士、ト指、日本スポーツ協会指導、日本スポーツ協会アシスタント(保健)、高一(保健)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
身体活動量の多い市民から競技者まで、最高のパフォーマンスを発揮するための食生活について学習します。運動栄養学を科学的根拠に基づき理解を促し、個人や競技特性に応じた食品選択、適切なタイミングの食事摂取について解説します。											
学修到達目標											
スポーツの競技特性と期分けに応じた栄養管理、食事選択の考え方を理解するとともに、自身への活用、他者への指導に運動栄養学の学びをアウトプットできることです。											
授業の進め方											
基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。また、学習内容の確認テストを行うとともに、各テーマの理解を深めるために自由討論できる時間を設けます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション、栄養学概論	授業ガイダンス(本講義の狙い、進め方)を行います。食物と栄養素と食品について学び、自身の食生活を振り返ります。					1章を予習し、授業までに日々の食事を記録、体重測定をしたりしておきます。(4時間)				
2	スポーツ栄養の基本的な考え方	運動と栄養の効果、競技者の三原則、競技者の食事の目的を学び、理想の食事バランスを学びます。					1章を予習し、理想の食事バランスについて復習し日々の食事選択に活用し、記録します。(4時間)				
3	運動とエネルギー	エネルギー産生、エネルギーの内訳について学び、エネルギー消費量の測定方法を学びます。					2章を予習し、エネルギー消費量の測定方法、エネルギーの算出方法を復習します。(4時間)				
4	エネルギー必要量	エネルギー収支と体重変化、推定エネルギー必要量の簡易な算出方法を学びます。					2章を予習し、推定エネルギー必要量の算出方法を復習、応用できるようにします。(4時間)				
5	運動のためのエネルギー源	エネルギー産生に重要な糖質と脂質について代謝と補給方法について学びます。					3章を予習し、講義内容を復習し、糖質の摂取量を算出できるようにします。(4時間)				
6	体づくりの栄養と食事	たんぱく質の代謝と必要量、摂取方法について学びます。					5章を予習し、アミノ酸の種類、たんぱく質の質、量を測定する方法を復習します。(4時間)				
7	スポーツとビタミン	ビタミンの種類、働き、スポーツで気をつけるビタミンについて学びます。					6章を予習し、エネルギー代謝とビタミン、抗酸化作用とビタミンを復習します。(4時間)				
8	スポーツとミネラル	ミネラルの種類と働き、スポーツで気をつけるミネラルについて学びます。					7章を予習し、骨とミネラル、貧血とミネラルについて復習します。(4時間)				
9	運動中の栄養補給	スポーツ活動中の水分補給の方法、内容について学びます。					4章を予習し、熱中症予防と対策について復習します。(4時間)				
10	体重管理、体重階級制のあるスポーツの栄養	体重管理が必要な競技の理解、望ましい体重管理、体重、身体組成の測定方法について学びます。					8章を予習し、身体組成の測定方法について復習します。(4時間)				
11	競技特性と栄養、食事	瞬発系・パワー系スポーツ、持久系スポーツの栄養と食事の特徴、現状と課題について学びます。					9章、10章を予習し、競技特性と種目を整理し講義内容を復習する。(4時間)				
12	競技特性と栄養、食事	球技、チームスポーツ、冬季スポーツの栄養と食事の特徴、現状と課題について学びます。					11章、12章を復習し、競技特性と種目を整理し講義内容を復習します。(4時間)				
13	ジュニアアスリート、女性アスリートの栄養、食事	発育、発達に関係するジュニアアスリート、特有の健康課題をもつ女性アスリートの栄養、食事管理について学びます。					13章を予習し、発育、発達と女子アスリートの3主徴を復習します。(4時間)				
14	スポーツ選手の栄養サポート	栄養サポートの現状と課題、栄養管理の具体的な方法、教育の実際について学びます。					14章、15章を予習し、講義の内容を復習して、日々の食事の改善に取り組みます。(4時間)				
15	サプリメント	サプリメントの利用とドーピング問題、サプリメントを選ぶ場合の考え方について学びます。					16章を予習し、サプリメントの種類、情報収集の方法、ドーピングについて復習します。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「市民からアスリートまでのスポーツ栄養学」岡村浩嗣、藤井久雄、河合美香、宮崎志帆、小清水孝子、横田由香里、柳沢香絵著岡村浩嗣編(八千代出版) ISBN:978-4-8429-1539-5(生協で購入してください。)					定期試験:90%、受講態度:10% 受講態度は、受講票での積極的な質問と授業中の発言を点数化して評価し、定期試験と総合的に評価します。60点以上でC評価、70点以上でB評価、80点以上でA評価とし、概ね90点以上でS評価とします。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「ジムに通う人の栄養学」岡村浩嗣著(講談社)					競技に取り組む学生、指導者を目指す学生など、それぞれの視点で学びます。 【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:スポーツ現場で選手から運動愛好家まで幅広い栄養指導の実務経験を有します						

科目名	分子生物学	学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	SL26015	研究室	S-01
担当者	山田 一哉	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスカー	月曜日1限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)							
	A B C								
授業概要									
生命現象を分子のレベルで理解しようとするのが、分子生物学です。近年の組み換えDNA技術の進歩により、分子生物学は非常に速いスピードで発展しています。また、医療や食品にも応用されるなど、数多くの関連分野への広がりを示しており、皆さんの今後の日常生活にも様々な場面で深く関与すると思われます。本講義では、特に遺伝子発現の基本的制御とホルモンや神経伝達物質などのシグナルによる発現調節メカニズムの面から詳しく紹介します。									
学修到達目標									
本講義では、分子生物学が明らかにした基本的概念・専門用語の定義・方法論を他人に説明できるようになるまで理解することを目的とします。									
授業の進め方									
基本的にはプリントと教科書を用いて座学形式で授業を進めます。課題として、演習問題を9回分課します。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	ゲノムの構造	ゲノムとは何か?その構造は?について学びます。				教科書のp250-p252を読んでおくこと。講義後、演習問題1を提出すること。(4時間)			
2	DNA の複製と修復	遺伝子の本体である DNA の精緻な複製のメカニズムについて学びます。				教科書の第17章の該当部分を読んでおくこと。講義後、演習問題2を提出すること。(4時間)			
3	遺伝子の転写と RNA プロセシング	遺伝子発現の最初の段階である DNA から RNA への遺伝情報の転写と mRNA への成熟過程のメカニズムを学びます。				教科書のp254-p257を読んでおくこと。講義後、演習問題3を提出すること。(4時間)			
4	転写促進機構	原核生物での遺伝子の転写制御機構をオペロン説をモデルとして学びます。				教科書の第17章(p261-p262)を読んでおいてください。(4時間)			
5	転写促進機構	真核生物での遺伝子の転写促進機構について時期・組織特異的発現メカニズムの観点から学びます。				教科書の第17章の該当部分を読んでおくこと。(4時間)			
6	転写抑制機構	真核生物での遺伝子の転写抑制機構について、DNA メチル化やヒストン脱アセチル化の面から学びます。				教科書の第17章の該当部分を読んでおくこと。講義後、演習問題4を提出すること。(4時間)			
7	翻訳	mRNA に写し取られた遺伝情報から、生命の表現型であるタンパク質がどのようにして作られるかについて学びます。				教科書のp257-p260を読んでおくこと。講義後、演習問題5を提出すること。(4時間)			
8	細胞内情報伝達総論	細胞同士の間で行われる環境情報分子による伝達メカニズムの全体像について学びます。				教科書のp222-p224を読んでおくこと。講義後、演習問題6を提出すること。(4時間)			
9	受容体からのシグナル伝達経路	G蛋白質共役型受容体からの 3 量体 G タンパク質を介した情報伝達について学びます。				教科書の第16章(p226-p227)を読んでおくこと。(4時間)			
10	受容体からのシグナル伝達経路	チロシンキナーゼ関連受容体のもつチロシンキナーゼ活性を介した情報伝達経路について学びます。				教科書のp228-p229を読んでおくこと。講義後、演習問題7を提出すること。(4時間)			
11	ホルモンの作用機序	ホルモン作用の階層的フィードバック調節と細胞外シグナル分子による遺伝子の転写調節について学びます。				教科書の第16章(p230)を読んでおくこと。(4時間)			
12	ステロイドホルモンとその受容体	ステロイドホルモンによる遺伝子の転写調節機構について学びます。				教科書のp261-p262を読んでおくこと。講義後、演習問題8を提出すること。(4時間)			
13	栄養素による遺伝子発現の制御	グルコースやコレステロールによる遺伝子の転写調節機構について学びます。				教科書の第17章の該当部分を読んでおくこと。(4時間)			
14	栄養素による遺伝子発現の制御	脂溶性ビタミンによる遺伝子の転写調節機構やミネラルによる転写後調節機構について学びます。				教科書第17章の該当部分を読んでおくこと。講義後、演習問題9を提出すること。(4時間)			
15	遺伝子多型、先天性代謝異常症、ゲノムインプリンティング	遺伝子変異と体質や疾患との関わりやエピジェネティックな変化が遺伝子発現にもたらす影響について学びます。				教科書のp270-p273を読んでおくこと。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
(別途、指示します。)		定期試験：95% 課題：5% 試験60-69点でC。試験70-79点でB。試験80-95点でA。演習課題をすべて期限内に提出したうえで試験90点以上でS。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「管理栄養士養成課程 化学・生化学」大村正史・本三保子・山田一哉編(理工図書) ISBN:9784844607861 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一編(南江堂)		分子生物学は、スポーツ科学においても今後より重要性が高くなる分野です。かなり専門的な授業になります。							

科目名	体力測定と評価		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ リンク	SA26016	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日5限		
関連資格	実践指導者、指導士、ト指、日本ホ <sup>®</sup> -ツ協会ホ <sup>®</sup> 指導、日本ホ <sup>®</sup> -ツ協会ホ <sup>®</sup>				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>適当な運動プログラムを提供するためにも、複数の体力要素についての測定を行い、得られた測定値を評価基準と比較して適切に評価する必要があります。形態および機能に関する種々の項目を理解するとともに得られた結果を適正に評価する手法を学びます。特に、心肺持久力の指標である最大酸素摂取量や無酸素性作業閾値や、筋力についての様々な測定法や意義を理解し得られたデータの解析法まで理解していきます。</p>										
学修到達目標										
形態および各機能に関する種々の測定方法とその意義を理解し、適正に測定・評価できる力を修得することを目標とします。										
授業の進め方										
第1回から9回までは、講義室にてこちらで用意したプリントとスライドを利用しながら授業を進め、各回課題をシートに記入してもらいます。10回以降は、実際にフィールド及びトレーニングルーム内にある機器を用いて一人ひとりが測定を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。				各自がこれまでに経験した体力測定項目を挙げ、その実施法についてまとめておくこと(4時間)。				
2	体力測定の活用法	体力測定の目的及び活用法、評価方法(平均値、標準偏差、伸び率、標準得点)について解説し、課題をシートに記入してもらいます。				標準得点を使用した評価方法についてよく復習しておくこと(4時間)。				
3	身体組織の測定法と評価	体脂肪測定法、推定誤差が生じる原因、体脂肪率を推定する種々の計算、皮下脂肪分布と男女差、身体活動量と皮下脂肪分布について解説し、課題をシートに記入してもらいます。				配布資料をよく読み、特に体脂肪測定量の原理と測定方法について理解を深めておくこと(4時間)。				
4	体力と運動能力・体力構成要素の測定法	適正な体力測定の条件、体力と運動能力の関係、年齢に伴う体力水準の変化および性差、体力を構成する項目の測定方法と評価法について解説し、課題をシートに記入してもらいます。				配布資料を読み、適正な測定条件と項目別に測定方法と評価法について理解を深めておくこと(4時間)。				
5	新体力テストの測定とその評価	新体力テストの測定項目及び評価法、健康と関連する体力要素について解説し、課題をシートに記入してもらいます。				本日配布した資料をよく読み、新体力テストの実施法を復習しておくこと(4時間)。				
6	持久性体力の測定および評価法	最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値について解説し、課題をシートに記入してもらいます。				専門用語を事前に調べ、直接法による測定方法とその判定法について復習しておくこと(4時間)。				
7	筋力測定とその評価	筋力測定の意義、筋力測定実施の留意点、筋力測定方法とその評価法について解説し、課題をシートに記入してもらいます。				専門用語を事前に調べ、筋力測定法とその評価法について復習しておくこと(4時間)。				
8	介護予防に関する体力測定とその評価	介護予防の考え方、介護予防事業とその対象者、介護保険制度(又は以外)の介護予防事業について解説し、課題をシートに記入してもらいます。				専門用語を事前に調べる。配布資料を読み、介護保険制度について理解を深めておくこと(4時間)。				
9	介護予防に関する体力測定とその評価	介護予防における体力測定の意義と測定項目、高齢者の身体活動能力について解説し、課題をシートに記入してもらいます。				高齢者の体力測定での留意点と実施法について調べておくこと(4時間)。				
10	中年者のフィールドテスト(新体力テストの実施法)	新体力テストの測定項目を実際に測定し、課題をシートに記入してもらいます。				第5回目の講義内容をよく復習しておくこと(4時間)。				
11	中年者のフィールドテスト(測定値に対する評価法)	第10回目の講義で測定したデータを基に、評価表を作成します。				前回の各自及びグループのデータを事前に整理しておくこと(4時間)。				
12	高齢者の体力測定(持久力)	持久力測定を実際に体験して、その評価法について検討します。				前回の講義後に配布した資料をよく読み、専門用語を事前に調べておくこと(4時間)。				
13	高齢者の体力測定(筋力)	筋力測定を実際に体験して、その評価法について検討します。				前回の講義後に配布した資料をよく読み、専門用語を事前に調べておくこと(4時間)。				
14	体力評価の実施・データ加工・フィードバックについて	第12、13回の講義で測定したデータを基に評価表を作成します(V02maxの推定含む)。				第12、13回で測定した各自及びグループのデータを事前に整理しておくこと(4時間)。				
15	講義全体のまとめ	第1回～14回までの講義のまとめを行います。				これまでの講義で配布した資料及び内容をよく復習しておくこと(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各回こちらでポイントを記したプリントを用意します。				<p>定期試験：70% レポート：10% 課題：20%</p> <p>S:授業内容をきわめて高度に理解するとともに、探求姿勢をもって課題演習等に取り組み高度な活動成果を示している。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題演習に取り組み良好な活動を示している。B:授業内容のおおよそを理解するとともに、与えられた課題演習等に誠実に取り組み、授業のねらいで求める活動成果の2/3程度の達成が認められる。C:授業内容の一部を理解するとともに、授業のねらいで求める活動成果の1/2程度の達成が認められる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「健康運動実践指導者用テキスト」(財団法人健康・体力づくり事業財団)</p> <p>「健康づくりのための体力測定評価法」(金芳堂)</p>				<p>運動指導者の資格取得を目指す以上、常にその自覚を持って授業に臨んでください。トレーニングルームでの実習時には運動着、室内シューズを必ず持参してください。【実務経験のある教員が担当】病院に勤務、健康運動指導士として運動指導</p>						



科目名	スポーツカウンセリング		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	SA26017	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	水曜日2限		
関連資格	ト指、日本スポーツ協会ト指導				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	~2017年度 メンタルトレーニング					
授業概要										
本講義では、スポーツ選手が抱えるであろうスランプや競技不安等の心理的な課題とどのように向き合っていくか、自分のこととして考えていきます。また、指導者のメンタルマネジメントを目的として、指導者が心理的な課題を抱えた選手とどのように関わっていくか考える際に応用できるであろう、カウンセリングの基本的な理論や姿勢について学んでいきます。										
学修到達目標										
受講者各自が、それぞれのテーマを自分のこととして考え、自らの日常生活や競技場面に応用できるようになること、また、指導者になった際に応用できるようなカウンセリングの基本的な知識や姿勢を獲得すること、が到達目標です。										
授業の進め方										
講義中心に、スポーツ選手のインタビューや競技場面を題材としたビデオ、DVD等の視聴覚教材等を活用しながら、作業や討議によって授業を進めます。また、カウンセリングの事例を提示し、それについて検討を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	競技スポーツと「こころ」の関わりについて、トップアスリート等の視聴覚教材や受講生の実体験を通して考えます。					シラバスを熟読する。心とはどのようなものか、事前に各自が図示して持参する。(4時間)			
2	ガイダンス	前回に続き、競技スポーツと「こころ」の関わりについて、トップアスリート等の視聴覚教材や受講生の実体験を通して考えます。					自身の経験に基づき、レポートを作成する。(4時間)			
3	競技力向上のためのメンタルマネジメントの方法	スポーツ競技における「こころ」の重要性、およびその鍛え方(メンタルトレーニング)について学びます。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、復習を行う。(4時間)			
4	競技力向上のためのメンタルマネジメントの方法	引き続き、メンタルトレーニングにおける基本的な考え方について学びます。また、基本的な心理技法について紹介します。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、復習を行う。(4時間)			
5	競技力向上のためのメンタルマネジメントの方法	「不安」や「緊張」等について理論的に理解し、その向き合い方について学びます。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、復習を行う。(4時間)			
6	競技力向上のためのメンタルマネジメントの方法	メンタルトレーニングとスポーツカウンセリングの違いについて考えます。また、「こころ」の構造について理解を深めます。					事例について振り返り、感想レポートを作成する。(4時間)			
7	事例検討	事例検討を通して、カウンセリングについての理解を深めていきます。					事例について振り返り、感想レポートを作成する。(4時間)			
8	指導者のメンタルマネジメント : カウンセリングの基本	河合隼雄の「心理療法(カウンセリング)のモデル」を中心に、カウンセリングの基本的な考え方について理解を深めていきます。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、復習を行う。(4時間)			
9	指導者のメンタルマネジメント : カウンセリングの基本	カウンセリングにおける「心」と「身体」の関係(「身体化」、「身体言語」、および「心身症」)について理解を深めていきます。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、復習を行う。(4時間)			
10	指導者のメンタルマネジメント : カウンセリングの基本	前回に続き、カウンセリングにおける「心」と「身体」の関係(「プラシーボ効果」等)について理解を深めていきます。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、復習を行う。(4時間)			
11	指導者のメンタルマネジメント : カウンセリングの基本	カウンセリングにおける「現実」の捉え方、および「NB(ナラティブ・ベイスト・メディスン)」とEBM(エビデンス・ベイスト・メディスン)について理解を深めていきます。					コースバケットを熟読して(4時間)から授業にのぞみ、復習を行う。			
12	指導者のメンタルマネジメント : カウンセリングの基本	カウンセリングにおける「見立て」について、具体的な事例を通して理解を深めていきます。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、復習を行う。(4時間)			
13	スポーツ指導者に必要な医学的知識	スポーツにおける様々な精神障害(心身症、摂食障害、パニック等)について、テキスト(コースバケット)をもとに理論的に学びます。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、復習を行う。(4時間)			
14	スポーツ指導者に必要な医学的知識	引き続き、スポーツにおける様々な精神障害、及びその対策についてテキスト(コースバケット)をもとに理論的に学びます。また、次回の試験に向けて、まとめと対策を行います。					コースバケットを熟読してから授業にのぞみ、試験に向けて復習を行う。(4時間)			
15	まとめ	試験の振り返り、および試験の内容を踏まえて講義のまとめを行います。					これまでの講義のまとめを各自で行い、最終課題の作成を行う。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
コースバケット(参考文献等の資料を集めた冊子)を授業の中で配布します。					定期試験:60% 課題:20% 受講態度:20% S:授業内容を様々な事象に対して応用ができるレベルに理解し、与えられた課題にも積極的かつ探究的に取り組んでいる。A:授業内容を理解し、与えられた課題にも積極的に取り組んでいる。B:授業内容をおおよそ理解し、与えられた課題すべてに誠実に取り組んでいる。C:授業内容について最低限理解し、与えられた課題にもおおよそ取り組んでいる。なお、受講態度は授業内におけるディベート等に取組む姿勢により評価します。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「心理療法序説」河合隼雄著(岩波書店) 「心理療法の第一歩:こころの臨床ファンダメンタル」中島登代子編著(創元社)					・将来的に、指導者や教員を目指していることを履修条件とします。また、15回目の講義中に試験を行い、試験期間中には試験の振り返り、および講義のまとめを行います。【実務経験のある教員が担当】県スクールカウンセラー					

科目名	バイオメカニクス		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	SA26018	研究室	S-24
担当者	丸山 文男		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスター	火曜日3限		
関連資格					履修条件	「運動と物理学」を履修していること				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
<b>授業概要</b>										
「運動と物理学」で学んだ内容を、具体的な体の動きに適用して、動きのメカニズムを理解できるようにします。										
<b>学修到達目標</b>										
競技時の体の動きを、物理的な視点から理解し説明ができるようになることです。										
<b>授業の進め方</b>										
体の動きがどのような原理によるかを物理学の視点から理解します。どのような力がはたらいているか、それがどのようなメカニズムで生じているかを考えていきます。										
<b>授業計画(各回のテーマ等)</b> 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	バイオメカニクスとは	授業の計画と内容を説明します。				教科書序章を復習し、課題を行います。(4時間)				
2	バイオメカニクスの基礎(1)	エンジンとしての筋とエネルギーの供給を学びます。				教科書1章1,2を復習し、課題を行います。(4時間)				
3	バイオメカニクスの基礎(2)	運動の指令と調節機構、体の構造と運動を学びます。				教科書第1章3,4を復習し、課題を行います。(4時間)				
4	バイオメカニクスの基礎(3)	運動と力学の法則を学びます。				教科書第1章5を復習し、課題を行います。(4時間)				
5	バイオメカニクスの実際(1)	立つ動作を分析します。				教科書第2章1を復習し、課題を行います。(4時間)				
6	バイオメカニクスの実際(2)	重心の求め方を学びます。				教科書第2章1を復習し、課題を行います。(4時間)				
7	バイオメカニクスの実際(3)	歩く動作を分析します。				教科書第2章2を復習し、課題を行います。(4時間)				
8	バイオメカニクスの実際(4)	走る動作を分析します。				教科書を復習し、課題を行います。(4時間)				
9	バイオメカニクスの実際(5)	高く跳ぶ動作を分析します。				教科書を復習し、課題を行います。(4時間)				
10	バイオメカニクスの実際(6)	遠くへ跳ぶ動作を分析します。				教科書を復習し、課題を行います。(4時間)				
11	バイオメカニクスの実際(7)	投げる動作を分析します。				教科書を復習し課題を行います。(4時間)				
12	バイオメカニクスの実際(8)	打つ動作を分析します。				教科書を復習し、課題を行います。(4時間)				
13	バイオメカニクスの実際(9)	泳ぐ動作を分析します。				教科書を復習し、課題を行います。(4時間)				
14	バイオメカニクスの実際(10)	滑る動作を分析します。				教科書を復習し、課題を行います。(4時間)				
15	バイオメカニクスの実際(11)	回転運動を分析します。				教科書を復習し、課題を行います。(4時間)				
<b>テキスト</b>				<b>成績評価の方法・基準</b>						
「スポーツ バイオメカニクス入門」金子公宥著(杏林書院) ISBN:9784764410794(生協で購入してください。)				定期試験:70% レポート:30% 課題を課すことがあります。 S:授業内容を深く理解し、複雑な応用問題を解くことができる。 A:授業内容をよく理解し、応用問題を解くことができる。 B:授業内容を理解し、簡単な問題を解くことができる。 C:授業内容をほぼ理解し、例題を解くことができる。						
<b>参考書</b>				<b>履修上の注意(学生へのメッセージ)</b>						
適宜紹介します。				動作を科学的にとらえ、自分の言葉で説明してみましょう。 【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:高等学校に教員として勤務し、理科(物理)の教科指導に携わった。						

科目名	スポーツコーチング論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	SC36019	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格	ト指、日本スポーツ協会ト指、日本スポーツ協会アシスト、中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>体育の授業やスポーツの指導場面における諸問題について、心理学的な視点から概観し、選手が力を発揮し成果をあげるためには指導者は何をすべきか考えます。また、優れた指導者のコーチングの例や、実際のコーチング場面で問題となりうるテーマを題材として取り上げながら講義を進めていきます。</p>										
学修到達目標										
<p>心理学的な理論と実際のコーチング場面を結び付けて考察することにより、各自が実際の指導場面に応用できる考え方や技法を習得することが本講義の到達目標です。</p>										
授業の進め方										
<p>講義、及び事例検討等の討議を中心に、授業内容に適した指導者のインタビューや関連する視聴覚教材等を適宜活用し、受講者同士のディスカッションも交えながら授業を進めていきます。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	スポーツ指導者とはどうあるべきか、そのあり方について具体的な事例を通して考えます。				講義で扱う実際に起こりうる事態に対する対処について考える。(2時間)				
2	指導者にとって大切なこと	指導者の心構え、視点、及び役割に関して、具体的な一流指導者の指導哲学を通して、トップアスリートを育てるために指導者が持つべき視点について学びます。				一流指導者の指導哲学に関する著作を1冊読む(レポート課題提出)(6時間)。				
3	指導者にとって大切なこと	トップアスリートを育成・強化するための方法とその評価について学ぶ。また、世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成における指導者の役割について、具体的な事例を参考にしながら学びます。				トップアスリートと指導者の関係性について、具体的な事例をもとに考えてみる。(4時間)				
4	指導者にとって大切なこと	指導哲学ワークショップを通して、指導者の心構え・視点、役割について考えます。				指導者にとって大切なことについて、自分なりの考えをまとめてくる。(4時間)				
5	指導者にとって大切なこと	スポーツ指導者の倫理(体罰問題含む)について、実際の事例を取り上げて考えます。また、指導者の「褒める」と「叱る(怒る)」という行為について、受講者がどう考えているか、ディベートを行います。				スポーツ指導者の倫理、特に体罰問題について、自分なりの考えをまとめてくる。(4時間)				
6	指導者にとって大切なこと	プレーヤーとの関係づくり(関係性)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。				「選手の心をつかむために」を読む(レポート課題提出)。(6時間)				
7	指導者にとって大切なこと	競技力を向上させるためのチームマネジメント(チーム内の問題児の扱い方)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。				配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。(4時間)				
8	指導者にとって大切なこと	競技力を向上させるためのチームマネジメント(チーム内のいじめに対する対応)について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。				配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。(4時間)				
9	指導者にとって大切なこと	ミーティングの方法の理論について、テキスト(コースパケット)をもとに学びます。				効果的なミーティングの方法について考えてくる。(2時間)				
10	指導者にとって大切なこと	効果的なミーティングの方法について、グループに分かれてディベートを行います。				より効果的なミーティングの方法についてまとめる(レポート作成)。(4時間)				
11	トップアスリートの育成・強化の方法とその評価	運動技能を指導する際に知っておきたいスポーツ科学の理論(言語による指導)について、テキスト(コースパケット)をもとに理論的に学びます。				配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。(4時間)				
12	トップアスリートの育成・強化の方法とその評価	フィードバックの種類と効果的な利用法、及び視覚的な指導・筋運動感覚的な指導及び動きのイメージを引き出す言葉(言語による指導)についてテキスト(コースパケット)をもとに理論的に学びます。				配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。(4時間)				
13	運動学習から導かれる効果的な指導	運動上達の仕組み、及び運動学習の概念について、テキスト(コースパケット)をもとに理論的に学びます。				配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。(4時間)				
14	運動学習から導かれる効果的な指導	練習の組織化と計画について、テキスト(コースパケット)をもとに理論的に学びます。				配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。(4時間)				
15	まとめ	「コーチングの心理」についてまとめを行います。				コースパケットを見直し、理解できていない点があれば明らかにしておく(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
コースパケット(参考文献等の資料を集めた冊子)を授業の中で配布します。				<p>定期試験：60% 課題：20% 受講態度：20%</p> <p>S：授業や課題に対して積極的かつ探究的に取組み、授業内容を様々な事象に対して応用ができるレベルにまで理解している。A：授業や課題に対して積極的に取組み、授業内容を理解している。B：授業や課題に対して積極的に取組み、授業内容をおおよそ理解している。C：授業内容について最低限理解している。なお、受講態度はディスカッションや課題等に取組む姿勢により評価します。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新版：運動指導の心理学・運動学習とモチベーションからの接近」杉原隆著(大修館書店) ISBN：4469266736				・授業の中で行なう共同作業や話題の提供等への積極的な参加を望みます。						

科目名	分子栄養学		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36020	研究室	S-08
担当者	沖嶋 直子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格	中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
講義担当者の前職(バイオ系実験機器メーカー技術者)での経験を踏まえ、近年研究の進展が著しい分子生物学で用いられている技術が栄養や食品の分野でどのように利用されているかについて学ぶ事、そこから自分なりの考えを持ち、それを卒業後、社会に出てから公私にわたって活かしてゆける事を目的としています。										
学修到達目標										
栄養や医療に関わる諸問題を解決できるようになるため、科学的に正しい情報を収集し、その情報をもとに自分なりの判断や選択ができるようになる事、さらに、一般の人々に対して科学的に正しい情報を伝達できるようになる事が到達目標です。										
授業の進め方										
前半数回で分子生物学の復習を行い、後半ではその技術が栄養学や医療の分野でどのように利用されているかを座学ならびに実験を通して学びます。それを踏まえてグループワークを行い、自分の考えをまとめると共に他の受講生の考えにも触れてもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	分子生物学の基礎	DNAとRNA、タンパク質について学びます。				分子生物学で学んだ核酸、たんぱく質分野を復習しておいて下さい。(4時間)				
2	分子生物学の基礎	分子生物学的研究手法について~PCRとその応用について学びます。				分子生物学で学んだ遺伝子解析法を復習しておいて下さい。(4時間)				
3	分子生物学の基礎	分子生物学的研究手法について~DNAアレイ、siRNAなどについて学びます。				分子生物学で学んだ遺伝子解析法を復習しておいて下さい。(4時間)				
4	分子生物学の基礎	ヒトゲノム計画について学びます。				分子生物学で学んだヒトゲノムに関する内容を復習しておいて下さい。(4時間)				
5	分子生物学の基礎	遺伝子多型と疾患、栄養について学びます。				基礎栄養学(遺伝子と栄養)を復習しておいて下さい。(4時間)				
6	分子生物学の栄養学への応用 遺伝子組換え農作物	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品(原理)について学びます。				食品衛生学(遺伝子組換え食品)を復習しておいて下さい。(4時間)				
7	分子生物学の栄養学への応用 遺伝子組換え農作物	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品(応用)について学びます。				第6回の講義の復習(4時間)				
8	グループワーク	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品について、まとめと討論を行います。				第6、7回の講義の復習をしておいて下さい。(4時間)				
9	グループワーク	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品について、討論と発表を行います。				第8回で討論不足のグループは討論を時間外で行って頂く事。発表準備もしておく事。(4時間)				
10	分子生物学の栄養学への応用 栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養(肥満と遺伝子多型)について学びます。				第5回および基礎栄養学(遺伝子と栄養)を復習しておいて下さい。(4時間)				
11	分子生物学の栄養学への応用 栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養(栄養素の利用と遺伝子多型)について学びます。				第5回および10回の復習をしておいて下さい。(4時間)				
12	分子生物学の栄養学への応用 栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養 ALDH一塩基多型実験を行います。				第5回、10回、11回の復習をしておいて下さい。(4時間)				
13	グループワーク	生活習慣病と遺伝子と栄養について、まとめと討論を行います。				第5回、10~12回の復習をしておいて下さい。(4時間)				
14	グループワーク	生活習慣病と遺伝子と栄養について、討論と発表を行います。				第13回で討論不足のグループは討論を時間外で行う事。発表準備もしておく事。(4時間)				
15	まとめ	これまでの講義のまとめと総括を行います。				第1~14回の復習をしてきて下さい。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「栄養科学シリーズNEXT 分子栄養学」沖嶋直子、山田一哉他著宮本賢一他編(講談社)(別途、指示します。)著者割引を利用して購入します。履修人数が確定次第、出版社へ注文します。上記のテキストの他、パワーポイント資料やプリント等を用いて講義します。				定期試験:80% 受講態度:20% 受講態度は、レポート提出やグループワークへの関わりへの積極性で判断します。グループワークで司会や発表者に自主的になるなど、特に積極的だった者をS、討論に積極的に参加した者をA、討論に加わっていた者をB、半分以上討論に加わっていないかかった者をC、全く討論に加わっていないかかった者をDとします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「バイオ食品 社会的受容にむけて」日本国際生命科学協会編(建邦社) ISBN:4-7679-6057-6 C3077 大谷明、栗飯原景昭監修 「遺伝子工学」近藤昭彦、柴崎誠司(編著)著(化学同人) ISBN:978-4-				この講義は、分子生物学を履修済みかつ理解している事が前提です。そうでない学生は受講登録前に必ず講義担当者の面談を受けてください。						

科目名	運動処方論			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	SA36021	研究室	S-21
担当者	根本 賢一			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格	指導士、ト指					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
運動は健康維持のために重要であることは間違いありません。そこで、運動の効用を最大限に引き出し、危険性を最大限に抑えることが重要で、運動の種類、強度、時間、頻度など各個人に合った運動条件を決めることが必要となります。即ち、各個人に適した運動処方を決めることが重要で、その基本的条件は「安全であること」、「効果が大きいこと」、「楽しいこと」です。最終的に、様々な生活習慣病に対する運動プログラムの立案が出来ることを目的とします。											
学修到達目標											
運動処方の目的は各個人の運動能力の維持と増進ですが、この目的達成のために、まず安全であることが最優先されるべきです。このことを理解しつつ、運動生理学やトレーニング科学等の基礎的な知識を応用しながら、運動処方を作成できることを目標とします。											
授業の進め方											
各回のテーマに沿ってこちらが用意したプリント及びスライドを使用して解説した後に、課題をシートに記入してもらいます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス、運動処方とは	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明します。さらに、運動処方が運動指導者としてもいかに重要なものかについて解説します。					運動処方を作成する上で必要となる情報は何かあるかを調べておくこと(4時間)。				
2	運動プログラム作成の理論	ケーススタディとリスク層別化について解説し、課題をシートに記入します。					ケース別に低リスク者、中等度リスク者、高リスク者を判断できるように復習しておくこと(4時間)。				
3	運動プログラム作成の理論	運動処方の基本原則、トレーニングの原則について解説し、課題をシートに記入します。					トレーニング科学の理論と実際及び体力測定と評価で行った内容を総復習しておくこと(4時間)。				
4	心拍数による運動処方	%HRmax、%HRRによる方法について解説し、課題をシートに記入します。					%HRmaxと%HRRによる方法によって計算された値の違いについて理解を深めておくこと(4時間)。				
5	代謝方程式を利用した運動処方	代謝に関する方程式の機能(歩行、走行、自転車、踏み台昇降)について解説し、課題をシートに記入します。					酸素摂取量、Metsについて復習する。また、本時間で行った計算を復習しておくこと(4時間)。				
6	代謝方程式を利用した運動処方	単位の換算、酸素摂取量・仕事量の算出(歩行、走行)について解説し、課題をシートに記入します。					公式を利用して歩行、走行時の酸素摂取量や仕事量を算出できるように復習しておくこと(4時間)。				
7	代謝方程式を利用した運動処方	酸素摂取量・仕事量の算出(自転車エルゴメーター、踏み台昇降ほか)について解説し、課題をシートに記入します。					自転車エルゴメーターなどの酸素摂取量や仕事量を算出できるように復習しておくこと(4時間)。				
8	減量に対する運動処方	エネルギーバランス、体重管理、体脂肪を減らすための運動処方について解説し、課題をシートに記入します。					講義時に配布したプリントをよく読み理解しておくこと(4時間)。				
9	持久性体力向上のための運動処方	最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値をベースとした目標運動強度の設定について解説し、課題をシートに記入します。					最大酸素摂取量の測定法及び、無酸素性作業閾値の算出方法について復習しておくこと(4時間)。				
10	生活習慣病に対する適切な運動療法	糖尿病、高血圧に対する運動処方について解説し、課題をシートに記入します。					運動が禁忌となるケースについて事前に調べておくこと(4時間)。				
11	生活習慣病に対する適切な運動療法	腰痛、膝痛に対する運動処方について解説し、課題をシートに記入します。					運動が禁忌となるケースについて事前に調べておくこと(4時間)。				
12	運動プログラム作成上の注意	リスク保有者、服薬者などに対する運動処方の作成について解説し、課題をシートに記入します。					前回の講義終了後に配布したプリントの専門用語について調べておくこと(4時間)。				
13	運動処方の実際	各自で調べたアスリートを中心とするスポーツ施設(フィールド)での、運動処方の実際を紹介してもらいます。					スポーツ施設で運動指導がされている事例について調べておくこと(4時間)。				
14	運動処方の実際	各自で調べた医療機関に併設されている健康増進施設での、運動処方の実際を紹介してもらいます。					医療機関で運動指導がされている事例について調べておくこと(4時間)。				
15	まとめ	1回～14回の講義のまとめを行います。					これまでの講義で配布したプリント及び内容をよく復習しておくこと(4時間)。				
テキスト						成績評価の方法・基準					
講義内容に応じて資料をその都度配布します。						課題：10% 定期試験：90% S:例題から難しい応用問題が解ける、高い意欲を持っている。A:やや難しい応用問題が解ける。B:応用問題が解ける。C:授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「運動生理学、エネルギー、栄養、ヒューマンパフォーマンス」(杏林書院) 田口貞義善ら監訳 「運動処方の実際」池上晴夫著(大修館書店) ISBN: 4-469-16321-X-C3375						運動処方について身近な問題として捉えるよう日頃心がけること。 【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容: 病院に勤務し、健康運動指導士として運動指導を行った。					

科目名	トレーナー実習		学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナバリング	SA36022	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助		必修選択	選択	科目種別	実習	オイスア-			
関連資格	日本スポーツ協会指導				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義ではスポーツ選手のコンディショニングとリコンディショニングについて学びます。競技力向上・障害予防・リハビリ、3つの柱のコンディショニングについて、ストレッチ・マッサージ・テーピング・ファンクショナルトレーニングといった様々なコンディショニング、その概要や方法について実技を含めて学習し、現場での活動に役立つ技術の習得を目指します。また姿勢・柔軟性の評価についても学習を深め、コンディショニングとどのようにリンクするのも学習を深めていきます。										
学修到達目標										
人間の身体の仕組みを理解することが出来、更に身体の姿勢や柔軟性や関節・筋の機能を的確に評価することで身体の特徴を理解し、その課題を克服するための手段を習得できることを目標とする。										
授業の進め方										
主に実習形式です。最初に概要を学習し、さらに具体的な方法についてスポーツ現場を意識して学習します。基礎学力として筋肉の働きや走行についての知識が必要です。資料は授業で配布します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	コンディショニング概論・リコンディショニング概論	コンディショニング・リコンディショニング概要についての説明をします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
2	評価1	身体の評価方法について姿勢・関節弛緩性を中心に説明をします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
3	評価2	評価方法、ダイナミックアライメント、柔軟性などを中心に説明をします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
4	傷害予防のためのコンディショニング概論	傷害を予防するためコンディショニングを中心に説明します。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
5	柔軟性の理論と実践	柔軟性向上のためのストレッチングについて科学的根拠を用いた手法を紹介しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
6	コアの役割と機能そしてエクササイズ演習	体幹の機能を向上させるためのコアエクササイズの概要と方法を紹介しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
7	ウォーミングアップとクールダウン演習	具体的なそれぞれの手法について、身体を動かしながら体感し学習しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
8	各種アジリティーエクササイズ演習	競技特性を考慮した様々な敏捷性改善の方法を紹介しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
9	フィールドテスト	現場で使えるフィールドテストについての概要と実践しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
10	腰痛のリコンディショニング	腰痛に対する概要とそしてその対処方法であるコンディショニングを学習しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
11	膝痛のリコンディショニング	膝痛に対する概要とそしてその対処方法であるコンディショニングを学習しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
12	肩痛のリコンディショニング	肩痛に対する概要とそしてその対処方法であるコンディショニングを学習しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
13	リハビリ概論	リハビリのための様々なコンディショニング概論を中心に紹介しします。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
14	スポーツマッサージ	スポーツ競技をする上で役に立つマッサージ方法について基本的な方法を学びます。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
15	テーピング	現場で直ぐに使えるテーピングについて学びます。				配布資料を事後に復習すること。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
随時必要な資料を配付します。				定期試験：90% レポート：10% S：授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A：授業内容を理解し、積極的な姿勢で課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。 C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「トレーナーズバイブル」(医道の日本社) ISBN: 978-4-7529-3081-5 \ 6,930				実技が毎回行われますので運動しやすい服装で参加しましょう。指導者として何を大切にしなければならないのか、運動指導がしっかり伝わる方法も身につけていきます。						

科目名	健康づくりと運動		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	SL16023	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日5限		
関連資格	実践指導者、指導士、レ・コティ(通常)、日本スポーツ協会指導、日本スポーツ協会アスレ、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C						
授業概要										
健康の維持・増進を図ることや体力の向上を目的とした場合、やみくもに身体を動かすのではなく、各個人に適した運動計画(何の目的で、どのような運動で、どのくらいの時間)を立てて実践することで、運動の効果を効率良く獲得することが出来ることです。本講義では、有酸素性運動、無酸素性運動の様式上の違い及び無酸素性作業閾値についても理解を深めるとともに、各種運動の効果的で且つ安全な実施法とその効果についても解説をしていきます。										
学修到達目標										
運動不足による生活習慣病が蔓延する現代社会に即応した、健康づくりのための運動トレーニングに関する基礎的な知識を習得して、プログラムの作成ができることを目標とします。										
授業の進め方										
基本的には教科書、配布プリント及びスライドを用いながら授業を進め、毎回課題をシートに記入します。15回目の時間は一人ひとりがプログラムを作成して発表をする機会を設定します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	なぜ健康が大切か	高齢化する我が国の現状と健康づくり施策について、健康運動指導士の社会的役割について解説します。				健康づくり施策と健康運動指導士について事前に調べておくこと(4時間)。				
2	運動基準・運動指針	身体活動基準2013とアクティブガイドについて解説します。				健康づくりのための身体活動についての理解を深めておくこと(4時間)。				
3	生活習慣病と運動	生活習慣病と生活習慣の関連、生活習慣病予防のための運動について解説します。				健康な生活習慣と、生活習慣病発症予防についてまとめておくこと(4時間)。				
4	トレーニング概論	トレーニングの原理・原則について解説します。				効果的にトレーニングを実施するためには何が必要か事前に調べておくこと(4時間)。				
5	トレーニングの基礎理論	トレーニング条件と反応・トレーニング強度について解説します。				前回講義で挙げた専門用語について事前に調べておくこと(4時間)。				
6	有酸素性運動と無酸素性運動	有酸素性運動・無酸素性運動の特徴、運動効果について解説します。				有酸素性運動・無酸素性運動の特徴を各自で調べて整理しておくこと(4時間)。				
7	有酸素性運動と無酸素性運動	最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値について解説します。				最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値が意味するもの、評価法と合わせて整理しておくこと(4時間)。				
8	身体活動強度とエネルギー	身体活動強度の違いによるエネルギー供給の仕組みについて解説します。				前回講義で挙げた専門用語について事前に調べておくこと(4時間)。				
9	ウォーキング・ジョギング	ウォーキング、ジョギングの運動特性について解説します。				配布した資料を参考に、ウォーキングとジョギングの特性をそれぞれ整理しておくこと(4時間)。				
10	ウォーキング・ジョギング	ウォーキング、ジョギングの実施法とその運動効果について解説します。				配布資料を参考に、ウォーキングとジョギングの実施法と効果について整理しておくこと(4時間)。				
11	ストレッチング	ストレッチングの種類とその目的、効果について解説します。				ストレッチングの実施法(留意点含む)について事前に調べておくこと(4時間)。				
12	レジスタンストレーニング	レジスタンス運動の分類、至適強度の設定法、トレーニングの実践について解説します。				レジスタンストレーニングの実施法(留意点含む)について事前に調べておくこと(4時間)。				
13	ウォーミングアップとクーリングダウン	ウォーミングアップ、クーリングダウンの目的とその実施法について解説します。				講義時に配布したプリントを基に理解を深めておくこと(4時間)。				
14	運動プログラムの作成	運動プログラム作成のポイントを解説し、一人ひとりがプログラムを作成します。				心拍数の計測法、推定最高心拍数の算出法を確認し、%HRR法については復習しておくこと。4h				
15	運動プログラムの発表	作成した運動プログラムをグループ内で発表します。				発表用の資料を作成して、発表がスムーズに出来るようにしておくこと(4時間)。				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「健康寿命を延ばす運動実践法 めざせ!ピン!ピン!きらり!」根本賢一著(オフィスエム社) ISBN:978-4866230290 (生協で購入してください。)		定期試験:80% 出席レポート:20% S:授業内容をきわめて高度に理解し、毎回のレポートも高度なものを提出している。 A:授業内容を良く理解し、毎回のレポートも良好なものを提出している。 B:授業内容のおおよそを理解し、毎回のレポートも提出している。 C:授業内容の2/3を理解し、毎回のレポートも提出している。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「健康運動指導士養成講習会テキスト(上・下)」(財団法人健康・体力づくり事業財団) 「健康運動実践指導者用テキスト」(財団法人健康・体力づくり事業財団)		豊かな暮らしを営む基本である「健康づくり」を学ぶ以上は、常に社会の動向に目を向け問題意識を持って授業に臨んでください。【実務経験のある教員が担当】実務の内容:病院に勤務し、健康運動指導士として運動指導に携わった								

科目名	健康運動指導実習		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	SA16024	研究室	S-15
担当者	山本 薫		必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	実践指導者、指導士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
健康寿命延伸のための生活習慣病予防において、早急な対策が求められる中高齢者を対象にした健康づくりのための運動指導の方法について学びます。ストレッチング、ウォーキング・ジョギング、自体重筋トレなどの指導上のポイント、安全で効果的な実施・指導方法について学び、特に心拍数や自覚的な感覚を踏まえた運動強度の調節方法などの実習を通して理解を深めます。また身体組成やロコモティブシンドロームについても必要な知識・技術を深め、思いやりをもった指導者になるための心構えについても学びます。										
学修到達目標										
日本や諸外国における生活習慣病予防のための健康づくり対策を理解します。中高齢者に対して健康寿命延伸のために安全で効果的な運動の指導方法を習得します。指導者として必要な生活習慣病予防のための基本的な運動理論や実践的運動指導のための技術を身につけることを目標とします。										
授業の進め方										
講義室と体育館を併用しながら理論演習という形式で授業を進めていきます。健康づくり運動の基礎的知識を習得し、専門用語の理解を深め、実際に運動プログラムも作成します。演習の内容や順番は調整変更することがあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	健康づくりと運動指導	オリエンテーション、授業の目標、展開内容について説明をします。				シラバスを熟読し健康運動について調べる(1時間)				
2	健康づくりの施策と健康増進について	健康と健康増進の概念(WHO健康の定義、オタワ憲章)、日本における健康づくりの施策(身体活動基準・指針)について説明をします。				参考書の第一章を熟読すること(1時間)				
3	ウォーミングアップ・クーリングダウン	ウォーミングアップ・クーリングダウンの実施方法と注意点を説明します。				ウォーミングアップ等について調べてくること(1時間)				
4	ウォーキング・ジョギングの特性について	ウォーキングの正しいフォームや注意点及び効果、運動強度を基にした消費カロリーの計算方法など、その運動特性を説明します。また実習を交えて指導します。				ウォーキング・ジョギングについて調べておく。計算機を用意すること(1時間)				
5	ウォーキングプログラム(実習)	ウォーキング(低/中/高強度)の消費エネルギー消費量の算出方法を理解し、強度設定や頻度などプログラムを作成する時の注意点を説明します。				前回の授業を復習しておくこと(1時間)				
6	ジョギングプログラム(実習)	ジョギングの運動効果、基本的フォーム、注意点を説明します。また、運動強度から算出する消費エネルギーと指導上の注意点について実習を交えて指導します。				ジョギングの強度とその効果について調べておくこと(1時間)				
7	ストレッチングの理論と実際	ストレッチングの種類と特性について、機能解剖学からその説明をします。また、効果や実施上のポイントについて実習を交えながら解説をします。				ストレッチングの種目について調べ、プログラムを作成する(1時間)				
8	体脂肪と除脂肪体重	体脂肪率の測定方法とそのメカニズム、メリットとデメリットを説明します。また、体脂肪率の評価方法について解説をします。				自身の体脂肪・除脂肪体重を測定すること(1時間)				
9	暑熱環境下での運動と安全管理	暑熱環境下でのウォーキング・ジョギング時の体温変化及び熱中症などについて運動指導のポイント(効果的な水分摂取タイミングなど)を説明します。				熱中症について調べておくこと(1時間)				
10	筋肉の構造と筋力発揮のメカニズム	筋線維のタイプを収縮特性と代謝特性に基づいて分類し、筋力発揮の特性と運動の関係を説明します。				事前に配布するプリントを熟読すること(1時間)				
11	健康づくり運動の実際(静的レジスタンストレーニング)	レジスタンス運動の分類を筋活動様式からみて特徴を学び、適切なプログラムの立案と目的別トレーニングの指導方法を習得します。講義を踏まえてトレーニングプログラムを作成します(課題)。				動的レジスタンストレーニングについて調べる(1時間)				
12	健康づくり運動の実際(動的レジスタンストレーニング)	自重や身近な用具を使用したトレーニング方法、サーキットトレーニングなどを理解します。トレーニングプログラムを作成します				トレーニングプログラムについて検討していただくこと(1時間)				
13	中高齢者の身体的特徴と健康づくり運動の理論	中高齢者における身体的特徴について学び、健康づくりや介護予防のための運動理論について説明をします。				中高齢者の身体的特徴について調べる(1時間)				
14	中高齢者の為の健康づくり運動の実際	中高齢者の健康づくりや介護予防のための運動プログラム作成について説明をします。				中高齢者の健康づくりの為の運動方法を調べる(1時間)				
15	まとめと振り返り及びディスカッション	本科目を振り返り、健康づくり運動を幅広い視点から指導できるよう、作成した運動プログラムについてグループディスカッションとワールドカフェ方式で討論をします。				今までに配布したプリントを復習しておくこと(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
(別途、指示します。) テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布します。			レポート:30% 定期試験:50% 受講態度:20% 総合評価(S:全ての講義実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定された課題について適切で十分な内容が来ている。A:14回以上出席し、講義実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定課題について適切な内容が来ている。B:13回以上出席し、講義実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定課題について内容が来ている。C:11回以上出席し、講義実習に積極的に参加して課題レポートは指定課題に回答している。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「健康運動指導士養成講習会テキスト(上・下)」(財団法人健康・体力づくり事業団体)編 「健康運動実践指導者用テキスト」(財団法人健康・体力づくり事業団体)			健康運動指導士や実践指導者資格希望者など、「健康づくり」を学ぶ者は、常に社会の動向に目を向け問題意識を持って授業に臨んで下さい。実習は運動着で体育館シューズを持参すること							



科目名	スポーツ実技（エアロビックダンス）	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	SL16025	研究室	S-17	
担当者	田邊 愛子	必修選択	選択	科目種別	実技	アイスア-	木曜日5限			
関連資格	実践指導者、指導士、ト指			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
		A	B	C						
授業概要										
エアロビックダンスの特性と効果についての認識を踏まえ、ダンスの一連の運動動作を実習し、その特徴や留意点を認識することを目的とします。運動を提供する相手の性別、年齢、体力、目的によって運動強度の水準に違いがあることを理解した上で、速さや動きなどにより変わってくる運動強度を、心拍数の上がり方などで確かめながら、反応の違いを実習します。										
学修到達目標										
服装、用具、シューズ、床の性質などの条件があることや音楽の特徴や指導上の注意事項を理解した上で、実際に運動プログラムを作り、実施する上での留意事項を認識しながら、指導できるようになること。										
授業の進め方										
教科書を基にエアロビックダンスの基礎を机上で学び、平行して実際に体を動かして実技実習を行います。グループワークにより体験学習を重ね、指導者として応用力を身に付けていきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。正しい姿勢を身に着け、学生同士でディスカッションを行います。					正しい姿勢を予習し、エアロビックダンスの基本知識を予習する（1時間）			
2	エアロビックダンスの特性や効果、受講者の特性	エアロビックダンスが持つ特性や効果について、さらに受講者の年代や性別の特性の違いを説明します。後半は、エアロビックダンスを体験学習します。					テキストP131、132を事前に読んでおく。特性や効果について、復習する。（1時間）			
3	基本ステップの理解	ローインパクトやハイインパクトなどのさまざまなステップの名称や、その種類を紹介し実習を行います。					ステップの種類を予習する。（1時間）			
4	動きの展開	グループに分かれ、さまざまなステップを組み合わせた、ステップに合わせて上肢の動きを組み合わせ、さらに動きを展開させていく方法を説明し体験実習します。					前回のステップを復習し、また複数のステップを組み合わせた動きを考えてくる（1時間）			
5	ウォーミングアップ	静的ストレッチングと動的ストレッチングの違いや、ウォーミングアップの重要性を説明し、エアロビックダンスのウォーミングアップに必要な動きを実践します。					ステップの種類を復習し、その組み合わせを考えてくる。安静時心拍数を計測する（1時間）			
6	強度の調整	心拍数などから運動強度を推定する方法を説明し、自分の目標心拍数を計算します。また、動きの中で運動強度を調整する方法を説明して実践します。					自分が考えた組み合わせを、反復の中で強度を上げていくものを作成する（1時間）			
7	音楽	音楽のBPMや曲調、音の構成などを説明します。BPMによっても強度が変わることも説明し、体験します。					日常に聞く音楽で、音の構成やカウントを意識する（1時間）			
8	指導の方法	声や動作で指示を出すキューイングなど、指導の技法を説明します。また、学生同士で自分が考えた動きを、グループディスカッションを通してタイミングなどに気をつけながら実践します。					動きを考えるとともに、指示を出すタイミングや声のかけ方などをシュミレーションする（1時間）			
9	筋力トレーニング	自重負荷を使った筋力トレーニングを説明し、体験します。前回に引き続き、強度アップやキューイングを意識した指導の体験も行います。					トレーニングの内容を復習。必要なものは日常に取り入れる。（1時間）			
10	クーリングダウン	運動時のクールダウンの必要性を説明し、実践します。キューイングなどを意識した指導の体験も引き続き行います。					実技発表に向け、動きを完成させていく（1時間）			
11	グループ作成、発表	個々での作成、指導も行いつつ、グループで意見を出しあって動きを作り上げます。					実技発表に向けて、動きを完成させていく（1時間）			
12	傷害、環境	エアロビックダンスによる障害や、安全に行うためのプログラミング、シューズや服装の注意などを説明します。					実技発表に向けて、動きを完成させる（1時間）			
13	実技発表（第1グループ）	第1グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省（1時間）			
14	実技発表（第2グループ）	第2グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省（1時間）			
15	実技発表（第3グループ）	第3グループの実技発表を行います。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。					発表準備及び反省（1時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「健康運動実践指導者用テキスト」財団法人 健康・体力づくり事業財団編（別途、指示します。）		実技：70% 定期試験：30% 「実技」は、授業内で行う実技発表です。90%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
なし		指導者として、見本となる姿勢など日頃から意識をして挑んでください。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：病院に勤務し、健康運動指導士として運動指導に携わった。								

科目名	看護学概論（セルフヘルスケア）		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	SA16026	研究室	S-19
担当者	中島 節子		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度（読替科目）							
			A	B	C					
授業概要										
看護は「人が健康的な日常生活をその人なりに支障なく送れるように配慮すること」で、職業としての看護実践ばかりではなく、自身の健康の維持・増進のために『看護する』ことを含めて理解します。本講義は、健康生活に必要なセルフヘルスケア能力を身につけるために、基礎的知識と実践力を獲得することをめざします。										
学修到達目標										
健康増進の基礎的知識について学び、自己の健康増進の方法を考えることができる。 疾病予防の方法を理解することができる。 自己の生活を振り返り、自身の健康に対する意識を高め、健康行動をとることができる										
授業の進め方										
基礎的な知識について講義を行います。健康観察、体力づくりは演習を実施します。また、健康課題について現状を把握し、グループワーク、発表を行います。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション 健康とは	オリエンテーションを行います。健康の定義 自己の健康管理の現状を考察します。				健康についてレポートを作成する。（4時間）				
2	健康の指標、健康づくり	健康に関する統計データ(平均寿命、死因、乳児死亡率、出生率など)を分析し、健康問題の変遷を考えます。また、現代の健康に関する課題を検討します。国や県の健康づくり施策の実施状況を学びます。				統計の分析方法や健康問題を復習する。（4時間）				
3	健康づくり食育	栄養から考える健康づくりについて学習します。自己の食生活についてチェックし健康な食生活について考えます。				栄養について復習し、自己の食生活を分析する。（4時間）				
4	健康づくり 運動	運動から考える健康づくりについて学習します。自己の体力測定を実施し、その結果について分析し、運動を取り入れた生活を考えます。				体力について調べ、自己の体力測定の結果を分析する。（4時間）				
5	健康づくり 休養	休養から考える健康づくりについて学習します。自己の休養についてチェックし健康な食生活について考えます。				休養について復習し、自己の食生活を分析する。（4時間）				
6	疾病予防 生活習慣病	糖尿病、高血圧など代表的な生活習慣病の特徴と予防法について学びます。				疾病予防についての保健だよりを作成する。（4時間）				
7	疾病予防 がん	がんについて基礎知識を学びます。部位別がん疾患の特徴、がんの治療法、がんの予防法についての現状を学びます。				がんについてまとめ、事例についてレポートを作成する。（4時間）				
8	健康観察の方法	健康観察の方法を学びます。実際にバイタルサインの測定方法を学び、バイタルサインの結果のとらえ方を学び今後の活動につなげていきます。				バイタルサインの測定方法を復習し、測定結果を分析する。（4時間）				
9	疾病予防感染症	感染症の法的根拠について学びます。また、感染症の種類と実態、感染症予防の方法について学習します。				感染症について復習し、自己の感染症の既往をまとめる。（4時間）				
10	高齢者	加齢現象と高齢化社会の課題について考えます。				高齢社会の課題について調べる。高齢者の特徴を復習する。（4時間）				
11	人の死	死について（安楽死、尊厳死、脳死などを含めて）考えます。				人の死についてレポートを作成する。（4時間）				
12	母子保健	妊娠、出産の経過について学びます。妊孕性と望まない妊娠を避けるために避妊の方法と長所、短所について学びます。				母子保健についてまとめる。（4時間）				
13	依存症	飲酒、喫煙、薬物などが健康に及ぼす影響を学び、現状を把握します。啓発活動の方法や予防する方策を考えます。				飲酒、喫煙、薬物乱用について復習する。（4時間）				
14	心の病気	現代社会の代表的な精神疾患 思春期のメンタルヘルスについて現状を学び、対応について考えます。				精神疾患の特徴と対応についてまとめる。（4時間）				
15	セルフケア不足の人への援助	セルフケアが不足している人への援助の方法について考える。健康づくりについて学んだことをまとめます。				授業で学んだことをまとめ、自己のセルフケア能力を高める方策をレポートする。（4時間）				
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要に応じて資料を配布します。		定期試験：70% 課題：30% S：授業内容を高度に理解し、自己の健康課題を解決する方法に応用することができる。 A：授業内容を理解し、自己の健康課題を明確にし、解決する方法を見出すことができる。 B：授業内容のおおよそを理解し、自己の健康課題を明確にすることができる。 C：授業内容の60%は理解でき、健康の重要性を説明できる。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
「最新看護学 学校で役立つ看護技術」中桐佐智子他著（東山書房） 「看護教諭のための看護学 改訂版」藤井寿美子他著（大修館書店） 必要時紹介していきます。		看護教諭を目指す、導入的位置付けの科目になります。日常生活を健康的に過ごすためのセルフケアの方法を学びます。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：自治体、病院等で様々な人の健康管理に携わった保健師。								

科目名	スポーツ実技（水中運動）		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	SA26027	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子		必修選択	選択	科目種別	実技	ウイスキー	木曜日5限		
関連資格	実践指導者、指導士				履修条件	集中講義。講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
水という特殊な場所での運動であることから、水の特性と水中での生理学についての理解を深める。また、運動を実施する上での安全確保、身体のバランスの取り方、動き方など、陸上とは違う注意点や特色を実習を通して習得することを目的とします。										
学修到達目標										
運動を提供する相手の性別、年齢、体力、目的によって運動強度の水準に違いがあることを理解した上で運動プログラムを作り、指導を実施するうえでの留意事項を認識しながら、実際に指導すること。										
授業の進め方										
水の特性や水中運動の基礎を机上で学び、実際にプールの中で体を動かして実技を踏まえた体験学習も行います。実技は学外のプールを使用するため、バス等で移動して実施します。4日間の学外実習を行う予定です。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方などについて説明をします。また、水という特殊な場所での授業になるため、安全面における注意点を説明します。				テキストP147を事前に読み、概略を理解しておく（1時間）				
2	実技・ウォーキング	水中歩行、水中ジョギングのバリエーションについて、説明しながら実践します。				水の特性について予習をし、水中ウォーキングの安全面について理解しておく（1時間）				
3	実技・トレーニング	水中で行うレジスタンス運動を説明し、学生同士でグループディスカッションを通して理解を深めます。				レジスタンス運動の種類について予習を行い、水中での効果について理解を深めておく（1時間）				
4	実技・ストレッチング、リラクゼーション	水中で行うストレッチングやリラクゼーションを実践します。				内容を復習・記録する（1時間）				
5	実技・アクアビクス体験	音楽に合わせて全身を動かすアクアビクスについて説明し、心拍数を計測しながら体験実習を行います。				テキストP140～144を読み、アクアビクスの基本的知識について予習しておく（1時間）				
6	座学・水、水中運動の特性	浮力、抵抗、水圧、水温など、水が持つ特性や、体に及ぼす影響について説明します。				テキストP140～144を事前に読む。水中での生理学について復習する（1時間）				
7	実技・呼吸、浮き沈み、姿勢	水が持つ特性を考えながら、水の中にもぐったり浮いたりする経験をします。また、水泳の基本になる呼吸を練習します。				内容を復習・記録する（1時間）				
8	実技・水泳（クロール、背泳ぎ）	クロールと背泳の泳ぎ方を説明し、実習を行います。				内容を復習する（1時間）				
9	実技・水泳（平泳ぎ、バタフライ）	平泳ぎとバタフライの泳ぎ方を説明し、実習を行います。				内容を復習する（1時間）				
10	座学・水中運動のプログラミングと指導方法	水中運動のプログラミングや、プールサイドからと水中からの指導のメリットとデメリットについて説明します。				テキストP144～147を事前に読んでおく（1時間）				
11	実技・水中運動のプログラミング	運動の展開方法や指導の仕方を説明し、プログラムを作成し実践を行います。				内容を復習し、作成した発表の内容を確認しておく（1時間）				
12	実技・プログラミング発展	実技発表に向けてプログラムを立案し、グループディスカッションを通して指導方法の練習を行います。				内容を復習し、発表の内容を考える（1時間）				
13	安全に対する注意、傷害など	水中運動によって起きる障害や、安全な指導の仕方を説明します。				テキストP147～148を事前に読む（1時間）				
14	実技発表（第1グループ）	第1グループの実技発表をします。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。				発表準備、反省（1時間）				
15	実技発表（第2グループ）	第2グループの実技発表をします。他のグループは発表グループの指示に従って実際に指導を受けます。				発表準備、反省（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「健康運動実践指導者用テキスト」財団法人 健康・体力づくり事業財団編（別途、指示します。）				実技：90% レポート：10% 「実技」は、授業内で行う実技発表です。レポートとは受講態度（遅刻、早退、意欲など）を評価します。90%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
なし				集中講義で特殊な環境下で行います。体調管理には気をつけてください。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：病院に勤務し、健康運動指導士として運動指導に携わった。						

科目名	健康運動指導実習		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	SA26028	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子・根本 賢一・川島 均・熊谷 麻紀		必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	木曜日5限		
関連資格	指導士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康・スポーツ科学における測定の方法の主なものを取り上げ、その測定法と評価を習得し、実際に得られたデータをどのような形で処理し活用しているのかを理解します。学んだ様々な理論について、実際に行われたそれぞれの運動と関連させて、測定出来る技術、及び、得られたデータを適切に評価しデータの加工まで出来るようにします。										
学修到達目標										
健康・スポーツ科学における測定理論と方法を理解し、得られたデータを適切に評価できるようにします。様々な測定を通して、レポートにまとめることで分析能力、論理的思考力を向上させる。										
授業の進め方										
各回、測定の意義をまずは理解し、続いてその測定手順、実際の測定、結果の整理及び評価、レポート課題作成という過程で授業を進めます。実際の測定は7~8名を1グループとして実習授業を展開していきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業のねらいと、進め方、評価方法などについて、全体説明を行った後に、各実習担当者から説明を行います					シラバスを熟読すること(1時間)			
2	体力測定	柔軟性・平衡性・敏捷性測定を体育館およびトレーニングルームにて実習授業を実施します					体調管理に配慮し、測定項目についての注意点を学習しておくこと(1時間)			
3	データ整理およびレポート作成方法について	前回測定したデータをもとに、レポートを作成する上での注意点を全体講義します					前回測定した結果を各自まとめてレポートを作成しておくこと(1時間)			
4	等尺性筋力測定と評価	等速制脚筋力測定を実施したのち、得られたデータから班員で考察をし、一人ひとりレポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
5	等速性筋力測定と評価	等速性筋力測定を実施したのち、得られたデータから班員で考察をし、一人ひとりレポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
6	無酸素パワー測定と評価	無酸素パワー測定を実施したのち、得られたデータから班員で考察し、一人ひとりレポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
7	心肺持久力測定と評価	心肺持久力を簡易法で測定したのち、得られたデータから班員の最大酸素摂取量推定値を算出し、一人ひとりレポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
8	筋力測定と評価	マシントレーニングを実施する上での1RM測定の意義と方法論を学び、実践を通して評価考察し、一人ひとりレポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
9	携帯型運動量連続測定装置を用いた歩行テスト	携帯型運動量連続測定装置を用いた歩行テスト測定を実施したのち、得られたデータから班員で考察します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
10	携帯型運動量連続測定装置を用いた歩行テストの評価	携帯型運動量連続測定装置を用いた歩行テスト測定を実施したのち、得られたデータから班員で考察しレポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
11	体組成、形態測定	インピーダンスおよびキャリパーなどを用いた体脂肪率の測定手技を習得し、得られたデータから班員で考察し、レポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
12	血圧測定	自動血圧計および水銀柱などを用いた血圧の測定手技を習得し、得られたデータから班員で考察しレポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
13	最大酸素摂取量測定	呼気ガス分析装置を使用し、最大酸素摂取量および無酸素性作業閾値を算出します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
14	最大酸素摂取量測定と評価	呼気ガス分析装置を使用し、最大酸素摂取量および無酸素性作業閾値を算出し、得られたデータから班員で考察しレポートを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。(1時間)			
15	講義全体のまとめ	講義全体のまとめを全体説明し、各担当者から試験に関する説明も行います					これまでのレポートを復習すること(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
各回こちらで実習の課題及び評価のポイントを記したプリントを用意します。					定期試験：50% 課題：50% 各実習においてレポート点(授業への取り組み姿勢を含む)を50%、試験を50%としその総合評価が90%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「健康運動指導士養成講習会テキスト(下)」(財団法人健康・体力づくり事業財団)					健康運動指導士の資格取得を目指す以上、常にその自覚を持つこと。測定を各回実際に行いますので、必ず運動着、シューズを持参で授業に臨んでください。予習の指示がある場合は、必ず予習してから講義に臨んで下さい。					

科目名	スポーツ実技（フィットネス）		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	SL26029	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスア-	木曜日5限		
関連資格	指導士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
本講座では、これまでの学習の中から健康づくり概論を理解した上で、健康づくりのための身体活動プログラムや、実際に健康教室の現場で行われている様々なエクササイズなどの体験や学びから、様々なライフステージにおける適切な運動プログラムの作成プログラムができるようになることを目的とします。										
学修到達目標										
健康づくりのための身体活動プログラムとして、ヨガや太極拳・エアロピクスなどの有酸素運動から、レジスタンストレーニングなどの運動プログラムを作成し、目的別に応じたプログラムの展開と適切な指導ができるようになること。										
授業の進め方										
体育館およびトレーニングルームを利用しながら講義、実践を交え展開します。グループに分かれ課題プログラム作成し、運動強度などプログラムの構成や安全面への配慮について班員で討論を重ねプレゼンテーション発表の実施の機会を設けます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	授業の進め方、評価方法についての全体説明を行います。					シラバスを熟読しておくこと（1時間）			
2	運動プログラム作成の基礎	健康づくりと運動プログラムの作成の基礎を説明し実践します。					運動を実施する際に安全面について予習をしておくこと（1時間）			
3	レジスタンストレーニングの基礎と応用	レジスタンストレーニングの基礎と応用、自重負荷トレーニングとチューブトレーニングの理論の理解をした後に実践を行います。					レジスタンストレーニングの基礎を事前学習を進める（1時間）			
4	有酸素運動（太極拳とは）	太極拳の歴史、基礎、応用体験し、心拍数を用いて運動強度を算出する。班分けののち発表テーマを決定します。					テーマについて自分なりに事前学習を進める（1時間）			
5	健康づくりのための体力向上プログラム(1)	中高齢者を対象とした、ストレッチング、チェロピクスの理論と実践を行う。ウォーミングアップ、クーリングダウンが身体へ及ぼす効果について全体説明します。					テーマについて自分なりに事前学習を進め、発表資料を作成する（1時間）			
6	健康づくりのための体力向上プログラム(2)	中高齢者を対象とした、エアロビックダンスとレジスタンストレーニングの運動プログラムを作成しディスカッションをとおして相互理解を深め、実践を行います。					中高齢者の身体的特性を予習し、発表資料を作成する（1時間）			
7	健康づくりのための体力向上プログラム(3)	中高齢者を対象とした、ウォーキング、ジョギングの理論を説明したのち、運動プログラムの作成と実践を行います。					ウォーキングの基本的理解を深め、発表資料を作成する（1時間）			
8	健康づくりのための体力向上プログラム(4)	中高齢者を対象とした、ボールエクササイズの運動プログラムの作成と実践を行います。					テーマについて復習を行い、対象者の安全面を考慮した発表資料を作成する（1時間）			
9	健康づくりのための体力向上プログラム(5)	後期高齢者の身体特性を理解し、体力向上のための運動プログラムの作成と実践を行います。					テーマについて自分なりに事前学習を進め、発表資料を作成する（1時間）			
10	健康づくりのための体力向上プログラム(6)	障がい者を対象とした身体特性を理解し、運動プログラムの作成と実践を行います。					テーマについて自分なりに事前学習を進め、発表資料を作成する（1時間）			
11	補助と負荷設定について	運動プログラムの進行、機械を用いない有酸素運動の指導の注意点と目的に応じた負荷設定ができるようにします。					テーマについて自分なりに事前学習を進める（1時間）			
12	有酸素運動（ボクササイズとは）	ボクササイズの種類、基礎、応用体験し、心拍数を用いて運動強度を算出します。					テーマについて自分なりに事前学習を進める（1時間）			
13	有酸素運動（ヨガとは）	ヨガの歴史、基礎、応用体験し、心拍数を用いて運動強度を算出します。					テーマについて自分なりに事前学習を進める（1時間）			
14	自己評価と全体評価	自己の発表内容を分析し評価する。また、他者の発表を相互検討し考察をまとめレポート提出します。					テーマについて自分なりに事前学習を進める（1時間）			
15	全体のまとめ	講義全体のまとめと評価方法についての説明をします					レポート提出をすること（1時間）			
テキスト					成績評価の方法・基準					
特に指定しません。					受講態度：30% 課題：70% 模擬授業においての受講態度や課題への取り組み姿勢を受講態度として評価します。「課題」は、授業内で行う実技発表です。90%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。					
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）					
「運動実践指導者養成用テキスト」（財団法人健康・体力づくり事業財団）					テキストを熟読し、運動のできる支度で挑むこと。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：病院に勤務し、健康運動指導士として運動指導に携わった。					

科目名	健康相談活動			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング		研究室	S-19
担当者	中島 節子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	養教一					履修条件	教職課程履修者				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	2018年度～						
授業概要											
近年、保健室を訪れる子ども達は、身体的な症状だけでなく心の問題やその子を取り巻く環境の問題を伴っている場合が多くなっています。ここでは養護教諭が、子ども達の様々な健康相談に対応できる基本的能力を獲得することを目的とします。子ども達の発育、発達を踏まえ、養護教諭の行う健康相談の意義や方法を学び、実践に必要な判断力、観察力やコミュニケーション能力を高めます。											
学修到達目標											
心と身体の両面への対応である健康相談の基本と一連のプロセスを説明できる。 健康相談活動を行う基本的な態度、観察力、コミュニケーション能力を身につける。 養護教諭としての実践能力を身につける。											
授業の進め方											
講義のみでなく、事例についてグループディスカッションを行い、発表し、共有します。また、個人課題についてプレゼンテーションを取り入れていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ			内容				事前事後学修			
1	ガイダンス			授業の進め方について説明します。養護教諭が行う健康相談の目的と特質について学習します。				養護教諭の健康相談について既習学習を復習する。(4時間)			
2	子どもの発達段階と健康課題の特徴			社会の変化と子どもの健康問題の変遷について学びます。子どもの発達段階に応じた心身の健康課題を取り上げて分析し討議します。				子どもの発達段階と各時期の健康問題をまとめ、対応策を考える。(4時間)			
3	健康相談の基礎			健康相談の対象の理解と問題の理解、相談の方法について学びます。事例を通して具体的な対応を考えます。				事例についての基本的な内容を予習しレポートする。(4時間)			
4	健康相談の情報とアセスメント			事例を通して基本を学びます。必要な情報とは何か、情報の分析方法、優先順位の考え方、アセスメントを考え、討議します。				事例についての発達段階と問題について基本的な内容を予習復習する。(4時間)			
5	健康相談の展開			事例を通して基本を学びます。必要な情報とは何か、それらの情報を判断し対応する過程を考え討議します。情報収集は実際にロールプレイングしながらコミュニケーションの方法を学びます。				事例についての発達段階と問題について基本的な内容を予習復習する。(4時間)			
6	健康相談における記録			相談記録の目的、記録の書き方について学習します。事例検討のためのまとめ方を学び、実際に事例検討を行います。				健康相談における記録について予習、復習する。(4時間)			
7	健康相談の実際 応急手当			身体の問題をかかえた事例(応急手当で話を聞き、対応することで終了する事例)について、情報の分析、問題解決の方法(児童生徒への支援)について討議します。				応急手当の方法の基本について復習する。事例を検討する。(4時間)			
8	健康相談の実際 保健室頻回来室児			身体の問題をかかえた事例(頻回に保健室に来室する事例)について、情報の分析、問題解決の方法(児童生徒への支援の方法)について討議します。				フィジカルアセスメントの方法について復習する。事例を検討する。(4時間)			
9	健康相談の実際 慢性疾患を抱えた児			身体の問題をかかえた事例(長期間に関わる必要がある事例)について、情報の分析、問題解決の方法(児童生徒への支援)について討議します。				疾患について復習し、事例を分析する。(4時間)			
10	健康相談の実際 精神			精神の問題(不登校、虐待の事例)の事例について、情報収集の方法、収集した情報の分析をして何が問題かをとらえます。また問題解決の方法(児童生徒、家族への支援、関連機関)について討議します。				不登校、虐待など学校における課題について学習する。(4時間)			
11	健康相談の実際 精神疾患			精神の問題をかかえた事例(心身症、精神疾患の事例)について、疾患の特徴と照らし合わせて考え、解決の方法(児童生徒、家族への支援)について討議します。				発達障害、精神疾患について予習復習する。(4時間)			
12	健康相談の実際 発達障害			精神野発達に関する健康問題をかかえた事例(発達障害、特別支援学校の児童生徒の事例)について、疾患の特徴と照らし合わせて考え、解決の方法(児童生徒、家族への支援)について検討します。				発達障害、精神疾患について予習、復習する。(4時間)			
13	健康相談の実際 養護教諭			健康相談における今日的課題と対応について、教育現場の養護教諭(外部講師)が具体的な事例を通して講義します。				授業内容を復習整理する。(4時間)			
14	健康相談の実際 臨床心理士			健康相談における今日的課題と連携について、臨床心理士が具体的な事例を通して講義します。				授業内容を復習整理する。(4時間)			
15	まとめ			関連機関との連携やコーディネーションについて整理します。養護教諭が行う健康相談についてまとめます。				授業を振り返り復習する。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準						
必要な資料は配布します。					定期試験：70% レポート：20% 実技：10% S:事前事後の課題を提出でき、内容を理解して事例に応用することができる。 演習も個別に応じた対応ができ積極的ににかかわることができる。A:事前事後の課題を提出でき、内容を理解して事例に対応することができる。演習も個別に対応ができている。B:事前事後の課題の提出ができ、事例につなげて考えることができる。演習は基本的な対応はできる。C:事前事後の課題の提出ができている。演習は指導すればできる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「養護教諭が行う健康相談・健康相談活動の理論と実際」三木 とみ子、徳山 美智子著(ぎょうせい) 「新版 養護教諭の行う健康相談(養護教諭必携シリーズ)」大谷尚子・鈴木					養護教諭専門科目の2年次配当科目の履修が終了した人が履修してください。子どもの発育、発達、疾患等の基本の上に成り立っているため関連科目の復習をしておいてください。この講義は、実務経験のある保健師が担当します。						

科目名	健康運動指導現場実習（補助実習）		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SA36031	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格	指導士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
健康運動指導者として必要とされる知識・技法を習得するとともに、健康づくりが展開されている現場で活動する他職種・関係機関の役割と連携のあり方を理解してもらいます。健康運動指導の際に必要なスキルを今一度確認し、実際に中高齢者を対象に運動指導を行います。										
学修到達目標										
指導者として、単に知識や技術を相手に伝えるのではなく、どのような形でどのように伝えれば相手に理解され、また何に配慮して行くことが必要なのかを指導の現場から学び、実践力を修得することを目標とします。										
授業の進め方										
前半は授業内でグループワークを行い、グループごとに発表します。後半は、大学近隣の地域より毎回30名程度の中高齢者の方々に来学頂き、一人ひとりが実際に運動指導を行っていきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、指導者としての心構え	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明する。運動指導者としての必要な心構えについて検討します。				2年次までに修得した健康運動指導士関連の科目について復習しておくこと(1時間)。				
2	健康づくりと運動プログラム	健康づくりのための身体活動量とそのプログラムについて検討します。				事前に、加齢変化と身体活動の必要性についてまとめておくこと(1時間)。				
3	運動指導計画	運動指導プログラム作成とそのポイントについて検討します。				前回講義で配布した運動指導プログラム例をよく見ておくこと(1時間)。				
4	生活習慣病に対する運動療法プログラムの作成	生活習慣病（肥満あるいは肥満に高血糖・糖尿病を合併した肥満症）に対する運動指導プログラムを実際に作成し、検討します。				講義前までに、プログラムを作成し設定期限までに提出すること(2時間)。				
5	生活習慣病に対する運動療法プログラムの作成	生活習慣病（高血圧あるいは高血圧に脂質異常症を合併した例）に対する運動指導プログラムを実際に作成し、検討します。				講義前までに、プログラムを作成し設定期限までに提出すること(2時間)。				
6	生活習慣病に対する運動療法プログラムの作成	生活習慣病（筋力低下例あるいはそれに膝痛・腰痛を合併した例）に対する運動指導プログラムを実際に作成し、検討します。				講義前までに、プログラムを作成し設定期限までに提出すること(2時間)。				
7	介護予防に関する体力測定の実習	機器を含めての形態及び体力測定の実施をトレーニングルームを使用して演習を行います。				体力測定と評価の講義で行った内容を復習しておくこと(2時間)。				
8	評価方法と運動処方	前回講義で得られた値からの評価と運動プログラム作成し、検討します。				前回講義で実施したデータを整理しておくこと(1時間)。				
9	現場実習	地域の中高齢者の方を大学のトレーニングルームへ招き、カウンセリング及び体力測定を実施します。				カウンセリング内容、体力測定項目を確認して測定データをプログラムに反映させておくこと(2時間)。				
10	現場実習	地域の中高齢者の方を大学のトレーニングルームへ招き、ストレッチングの指導を実際に行います。				各部位別にストレッチングのポイントを事前に復習しておくこと(1時間)。				
11	現場実習	地域の中高齢者の方を大学のトレーニングルームへ招き、ウォーキング、ジョギングの指導を実際に行います。				ウォーキング、ジョギングの指導のポイントを事前に復習しておくこと(1時間)。				
12	現場実習	地域の中高齢者の方を大学のトレーニングルームへ招き、自重負荷トレーニングの指導を実際に行います。				レジスタンストレーニングについての指導のポイントを事前に復習しておくこと(1時間)。				
13	現場実習	地域の中高齢者の方を大学のトレーニングルームへ招き、マシン筋力トレーニングの指導を実際に行います。				マシンの特徴を再度確認し、安全にトレーニング指導ができるように準備しておくこと(1時間)。				
14	指導体験発表	各自が作成した指導案と実際に行えた指導内容と比較しつつ、指導の経験から得たことについて各自に発表してもらいます。				毎回の指導後に改善点など反省をまとめておくこと(1時間)。				
15	講義全体のまとめを行います。	第1から14回までの講義のまとめを行います。				これまでの講義で配布したプリント及び内容を復習しておくこと(1時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「健康寿命を延ばす運動実践法 めざせ！ピン！ピン！きらり！」根本賢一著（オフィスエム社） ISBN:9784866230290（生協で購入してください。）				定期試験：20％ レポート：20％ 課題：60％ S:授業内容をきわめて高度に理解するとともに、探求姿勢をもって課題演習等に取り組み高度な活動成果を示している。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題演習に取り組み良好な活動を示している。B:授業内容のおおよそを理解するとともに、与えられた課題演習等に誠実に取り組み、授業のねらいで求める活動成果の2/3程度の達成が認められる。C:授業内容の一部を理解するとともに、授業のねらいで求める活動成果の1/2程度の達成が認められる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「効果的な運動の理論と指導法特定保健指導における運動指導マニュアル」（サンライフ企画）				「健康運動指導現場実習（補助実習）」を履修する学生はこれまでに展開されてきた「健康運動指導士」対応になっている科目を全て修得済みであることとします。						

科目名	健康運動指導現場実習（指導実習）		学年学期	4年前期	単位数	1	ナパリング	SA46032	研究室	S-17	
担当者	田邊 愛子		必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスア-	木曜日5限			
関連資格	指導士				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
			A	B	C						
授業概要											
近年、健康づくりが重要視され、その中でも予防医学に取り組む機関や施設は増加傾向にあります。その中で、官・民・学共同で取り組んでいる松本市熟年体育大学や民間フィットネスクラブ、健康増進施設、病院などのそれぞれの理念や概要を学ぶと共に、実施されている取り組みを現場で体験し、運動指導者の専門家としての視野を広げることを目指します。											
学修到達目標											
これまでの学習を生かして指導力を磨き、健康増進施設での研修を通して、社会との関わりの中でコミュニケーション能力（表現力）を習得し健康運動指導士の役割を確認します。最終的には、年齢や性別、疾患の有無など、幅広い対象者へ安全で効果的な運動処方ができるようになること。											
授業の進め方											
初回に本実習での注意事項を説明します。担当する健康増進施設や民間フィットネスクラブ、医療機関など提携している実習先での課題に基づき、学内で実習を行った後に、現場実習を体験学習します。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業ガイダンス					シラバスを熟読すること（1時間）				
2	実習計画について	実習中におけるマナーと現場実習での注意点を全体指導し、服装、交通手段の確認を行います					事前に配布する注意事項が書かれたプリントを熟読すること（1時間）				
3	実習課題について	現場実習先の決定と実習事前課題について説明をします					実習先についてアクセス方法などを確認しておくこと（1時間）				
4	現場実習（事前実習）	各実習先の課題に則り、指導案を作成するための全体指導を行った後に、実習先ごとのグループワークを行います					課題に対する指導案の構想を練っておくこと（1時間）				
5	現場実習（事前実習）	前回の指導案の構想を具体化し、実演を交えて実習を行います。実習先より指示された指導案を討議し完成を目指します。					指導案を修正しておくこと（1時間）				
6	現場実習	松本市熟年体育大学や民間フィットネスクラブ、健康増進施設、医療機関における現場実習に行き、安全面での管理や理念などの説明を受けたのちに実習計画と最終目標を立て発表す。					集合時間、持ち物などの確認をしておくこと（1時間）				
7	現場実習	松本市熟年体育大学や民間フィットネスクラブ、健康増進施設、医療機関における現場実習に行き、実習先の担当者の指示に従い、実習計画に沿って運動指導や運動療法について実習を進めます。					振り返りと実習先での新たな課題などを準備しておくこと（1時間）				
8	現場実習	松本市熟年体育大学や民間フィットネスクラブ、健康増進施設、医療機関における現場実習に行き、実習先の担当者の指示に従い実習計画に沿って指導者としての役割と指導方法について実習を進めます。					振り返りと実習先での新たな課題などを準備しておくこと（1時間）				
9	現場実習	松本市熟年体育大学や民間フィットネスクラブ、健康増進施設、医療機関における現場実習に行き、実習先の担当者の指示に従い、作成した指導案をもとに実習を進めます。					振り返りと実習先での新たな課題などを準備しておくこと（1時間）				
10	現場実習	松本市熟年体育大学や民間フィットネスクラブ、健康増進施設、医療機関における現場実習に行き、実習先の担当者の指示に従い、実習グループ内で指導の評価を相互にしていきます。					振り返りと実習先での新たな課題などを準備しておくこと（1時間）				
11	現場実習	松本市熟年体育大学や民間フィットネスクラブ、健康増進施設、医療機関における現場実習に行き、実習先の担当者の指示に従い対象者の特徴を的確に捉え運動指導の実習を進めます。					振り返りと実習先での新たな課題などを準備しておくこと（1時間）				
12	現場実習	松本市熟年体育大学や民間フィットネスクラブ、健康増進施設、医療機関における現場実習に行き、今までの経験と反省を生かし実習先の担当者の指示に従い実習を進めます					振り返りと実習先での新たな課題などを準備しておくこと（1時間）				
13	現場実習（振り返り）	現場実習での自己振り返りをレポートにまとめ発表し、グループごとに検討します。					実習のまとめをし、レポートにまとめておく（1時間）				
14	現場実習（振り返り）	現場実習での自己振り返りをレポートにまとめ発表し、グループごとに検討します。					実習のまとめをし、レポートにまとめておく（1時間）				
15	健康運動指導士とは	本実習を終了するにあたり、実習の全体の振り返りを行います。また、健康運動指導士の資格取得試験の説明も実施します。					実習ノートとレポートを提出できるようにまとめておくこと（1時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「ピンピンきらり」（オフィスエム） ISBN:978-4-900918-87-0（生協で購入してください。）					受講態度：30% 課題：70% 実習中および実習に向けての課題への取り組み姿勢を受講態度として評価します。90%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。						
「ピンピンきらりワークブック」（オフィスエム） ISBN:978-4-900918-94-8（生協で購入してください。）											
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
なし					現場実習とは社会に出る前の最終段階です。運動指導者としての自覚を持ち積極的に参加して下さい。服装はジャージ着用、遅刻は厳禁とします。また、学外実習となりますので、各自保険などの手続きを確認しておいてください。						



科目名	介護職員初任者研修		学年学期	1・2・3・4年前期	単位数	6	ナパリング	SA16033	研究室	S-19
担当者	中島 節子・廣瀬 豊		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格	介護職員初任者研修				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
本講義は、介護職員初任者研修の修了資格取得(長野県介護職員初任者研修課程修了)を目的としています。介護職員初任者研修は、「介護に携わるものが、業務を遂行する上で最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようにすること」を目的としています。										
学修到達目標										
基本的な介護を実践するために最低限必要な知識や技術を獲得し、介護職員初任者研修の資格を取得することを目標とします。										
授業の進め方										
講義形式による知識の取得、実技形式による介護技術の取得、そして介護施設等にて行われる実習により、実際の介護現場における実習も行います。考えの共有や意見交換のためにグループワークやディスカッションを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	説明会&試験	介護職員初任者研修に際してのガイダンスを行います。また、受講希望者多数の場合、試験によって受講者を選考します				『介護職員初任者研修講座のしおり』を事前に読んでおくこと。(4時間)				
2	職務の理解	介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に取り組むための学習を行います。				介護と介護サービスについて予習する。(4時間)				
3	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳の保持、QOLの考え方、ノーマライゼーションについて学びます。				人権と尊厳を支える介護についてまとめる。(4時間)				
4	介護における尊厳の保持・自立支援	虐待防止・身体拘束禁止、個人の権利を守る制度の概要について学びます。				介護における虐待、身体拘束等について調べまとめる。(4時間)				
5	介護における尊厳の保持・自立支援	自立に向けた介護の考え方(自立支援や介護予防)について学びます。				自立支援と介護予防について予習する。(4時間)				
6	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護従事者の倫理について学びます。				介護職の専門性、多職種との連携について予習する。(4時間)				
7	介護の基本	介護職における安全の確保とリスクマネジメント、介護職員の安全衛生について学びます。				介護職における安全の確保とリスクマネジメント、安全衛生についてまとめる。(4時間)				
8	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度について学びます。制度創設の背景や介護保険のしくみ、介護保険以外のサービスについて理解します。				介護保険制度について予習する。(4時間)				
9	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護における医療と福祉の連携、介護職と医行為、リハビリテーションとの連携について学びます。				介護と医療の連携について予習する。(4時間)				
10	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	障害者総合支援法について学びます。障害者総合支援法制度の背景やしくみ、サービスについて理解します。				障害者総合支援法についてまとめる。(4時間)				
11	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	個人の権利を守るその他の制度(生活保護制度、成年後見制度、虐待防止関連法)について学びます。				個人の権利を守る制度についてまとめる。(4時間)				
12	介護におけるコミュニケーション技術	介護における利用者や家族とのコミュニケーションの意義や目的、コミュニケーションの方法を学びます。				介護におけるコミュニケーション技術についてまとめる。(4時間)				
13	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるチーム内のコミュニケーションや、多職種との連携のためのコミュニケーションに必要な技術(記録技術など)を学びます。				介護におけるチームのコミュニケーションについてまとめる。(4時間)				
14	老化の理解	老化に伴うこととからだの変化と日常について学びます。				高齢者と健康、高齢者に多い病気と日常生活上の留意点についてまとめる。(4時間)				
15	老化の理解	高齢者と健康、高齢者に多い病気と日常生活上の留意点について、学びます。				高齢者と健康、高齢者に多い病気と日常生活上の留意点についてまとめる。(4時間)				
16	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面からみた認知症の基盤と健康管理について学びます。				認知症を取り巻く状況、認知症の基盤と健康管理についてまとめる。(4時間)				
17	認知症の理解	認知症に伴うこととからだの変化と日常生活、家族への支援の方法について学びます。				認知症に伴う変化と日常生活、家族への支援の方法についてまとめる。(4時間)				
18	障害の理解	障害の基礎的理解・障害の医学的側面の基礎的知識、家族の心理の理解について学びます。				障害の基礎的理解・障害の医学的側面の基礎的知識、家族の心理についてまとめる。(4時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	介護の基本的な考え方	介護の理論と法的根拠について学びます。	介護の理論と法的根拠についてまとめる。（4時間）
20	介護に関するところのしくみの基礎的理解	学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識について学びます。	学習と記憶、感情と意欲についてまとめる。（4時間）
21	介護に関するところのしくみの基礎的理解	自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因について学びます。	老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因についてまとめる。（4時間）
22	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識について学びます。	人体の各部の動きと運動器に関する基礎知識をまとめる。（4時間）
23	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	中枢神経系と末梢神経系に関する基礎知識、自律神経と内部器官に関する基礎知識、ところとからだを一体的にとらえることを学びます。	中枢神経系と末梢神経系、自律神経と内部器官に関する基礎知識をまとめる。（4時間）
24	生活と家事	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援について学びます。	家事援助についてまとめる。（4時間）
25	快適な居住環境整備と介護	快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法について学びます。	快適な住環境と介護についてまとめる。（4時間）
26	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	整容に関する基礎知識、整容の支援技術について講義及び演習を行います。	整容に関する基礎知識をまとめる。（4時間）
27	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	整容に関する支援技術について講義及び演習を行います。	整容に関する支援技術をまとめ演習レポートを作成する。（4時間）
28	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	移動・移乗に関する基礎知識について、講義及び演習を行います。	移動・移乗に関する基礎についてまとめる。（4時間）
29	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	さまざまな移乗・移動に関する用具とその活用方法について演習を含めて学びます。	さまざまな移乗・移動方法をまとめ演習レポートを作成する。（4時間）
30	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	介護職員にとって負担の少ない移動・移乗の支援方法、移動と社会参加の留意点と支援について、講義及び演習を行います。	移動の支援をする時の留意点と演習レポートをまとめる。（4時間）
31	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	食事に関する基礎知識、環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援について学びます。	食事に関する基礎知識、支援方法をまとめ、演習レポートを作成する。（4時間）
32	入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	入浴、清潔保持に関する基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法について学びます。	入浴、清潔の保持に関する基礎知識をまとめる。（4時間）
33	入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	さまざまな入浴・清潔を保つための方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について学び、清潔保持の支援方法の演習を行います。	清潔保持の方法を考え、演習レポートをまとめる。（4時間）
34	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法について学びます。	排泄に関する基礎知識についてまとめる。（4時間）
35	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について演習を行います。	排泄の援助方法を考え、演習レポートをまとめる。（4時間）
36	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法を学びます。	睡眠についての基礎知識を予習復習する。（4時間）
37	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について、講義及び演習を行います。	快い睡眠の支援方法を考え、演習レポートをまとめる。（4時間）
38	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援について学びます。	終末期の介護についてまとめる。（4時間）
39	介護過程の基礎的理解	専門性を活かした介護課程の展開について学びます。	介護過程の展開について予習する。（4時間）
40	総合生活支援技術演習	生活場面、障害状況の異なる事例を通して、具体的な介護内容及び介護の留意点などについて学びます。	事例についての援助の必要性を考え、介助方法を考える。（4時間）
41	総合生活支援技術演習	生活場面、障害状況の異なる事例を通して、具体的な介護内容及び介護の留意点などについて学びます。	事例についての援助の必要性を考え、介助方法を考える。（4時間）
42	総合生活支援技術演習	生活場面、障害状況の異なる事例を通して、具体的な介護内容及び介護の留意点などについて学びます。	事例についての援助の必要性を考え、介助方法を考える。（4時間）
43	実習（12時間）	介護実習（6時間）、訪問介護サービス同行訪問（6時間） 実習先・日程については講義を進めながら調整していきます。	実習場の情報収集や介護技術の復習をする。実習での学びを記録し振り返る。（6時間）

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
44	振り返り	振り返り、就業への備えと研修終了後における継続的な研修の必要性について学びます。	指定された振り返りレポートに取り組む。（2時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
「介護職員初任者研修課程テキスト（第4版）3巻+サブテキスト3巻」日本医療企画編（日本医療企画）（講義にて配布します。）費用は受講料の中からまかなわれます。		定期試験：30% レポート：20% 実技：30% 課題：20% 定期試験は資格認定の規定により正答率70%を超えない場合は資格及び単位認定はされない。S:授業内容を高度の理解し、根拠に基づき相手に配慮した技術を提供することができる。A:授業内容を理解し、相手に配慮した技術を提供できる。B:授業内容のおおよそを理解し、基本的な技術はできる。C:授業内容の70%を理解し、指導すれば基本的な技術はできる。	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
なし		専門職としての資格取得する姿勢で講義に出席してください。受講希望者は、実習、料金など説明しますので、初回ガイダンスに必ず出席してください。この講義は、医師、介護福祉士、保健師等、実務経験のある教員が担当します。	

科目名	看護実習（臨床実習）	学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング		研究室	S-19
担当者	中島 節子	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	養教一			履修条件	教職課程履修者				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C					
授業概要									
医療機関における実習を通して、疾患をもつ小児（児童・生徒）の通院治療および入院治療の実態を把握し、子どもとのかかわり方や連携方法を学びます。また、医療を受けている子どもたちがどのように教育を受けているのかを院内学級や訪問学級から学びます。母性実習を通して妊娠出産、思春期の子ども達の課題について学びます。また、「人が産まれる」ことについて考える機会とします。実習を通じて養護教諭として必要な基本的看護技術とアセスメント方法を修得します。									
学修到達目標									
1. 受け持ち患児の発達段階や治療の状況、入院中の生活を説明できる。 2. 医療が必要な子どもとのかかわり、子どもや家族の思いを把握することができる。 3. 子どものからだや心におこる問題を知り、対処方法を考えることができる。 4. 母性を取り巻く課題をあげることができる。 5. 養護教諭として必要な基本的技能を習得することができる。									
授業の進め方									
総合病院の小児科（外来、病棟）、院内学級、産科で実習を行います。また、学内で実習の事前学習、事後報告会を行います。実習では見学が主になりますが、疾患をもつ小児を受け持ち、情報収集、観察、アセスメントをかかわり方を学びます。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
	実習オリエンテーション（学内）	実習の概要説明を行い、実習の注意事項の確認をします。実習施設の概要説明と病棟の特徴を説明します。事前学習を確認をしながら疾患や患児との対応の確認をします。				実習要項を読む。小児、母性の発達段階の特徴、主な疾患について事前レポートをまとめる			
	病院実習	小児科病棟で受持ち患児を持ち、観察、情報収集を行います。小児科外来、子どもの心診療部、院内学級での実習を行います。最終日に病院内カンファレンス（指導者さんと）を行い学びの確認と共有をします。				日々の実習記録、受け持ち患児の情報を整理しアセスメントする。			
	病院実習	産科病棟でオリエンテーションを受け、助産師から母性についての講義を受けます。母親学級の参加や新生児室、分娩室などの見学をし、カンファレンスで学びの共有をします。				実習を通して学んだことレポートする。母性についての課題をまとめる。			
	実習報告会（学内）	実習での学びを養護教諭の職務に活かしていくために、実習を通して学んだことを発表し共有します。受け持ち患児のアセスメントについて意見交換し、疾患を持つ子どもの観察、対応について学びを深めます。				実習全体の学びを整理し、養護教諭に必要な資質についてまとめる			
テキスト		成績評価の方法・基準							
実習要項と必要なものを印刷し配布します。		出席レポート：50% 課題：30% レポート：20% S:事前学習の内容と照らして情報収集し、分析できている。患児やスタッフの対応ができている。A:事前課題は必要な項目が記述されている。患児、スタッフとの対応もできており、観察と記録が分析を含めて記載されている。B:事前課題は必要な項目が記述され、日々の記録、患児の観察と記録ができている。C:事前課題ができ、日々の記録、患児、スタッフとの対応もできている。患児の観察と記録は指導によりできている。実習中は、体調管理を行い欠席しないようにする。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「養護教諭のための保健・医療・福祉系実習ハンドブック」岡田加奈子他著（東山書房） 「子供の外来看護」及川郁子著（へるす出版）		看護学概論、養護概説、養護教諭と看護、学校の看護を履修済みの学生が履修できます。実習施設の規定により、実習費用の個人負担、服装の規定があります。尚、この実習は、病院、看護学校で学生指導を行った教員が担当します。							

科目名	看護実習（特別支援学校実習）	学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ`リ`ン`グ		研究室	S-19
担当者	中島 節子	必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	養教一			履修条件	教職課程履修者				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C					
授業概要									
特別支援学校における実習を通して、身体的障害又は知的障害のある児童・生徒が勉学している現状を理解します。また、心身に障害のある児童・生徒の健康管理を担う養護教諭として、必要な基礎的知識・技術を習得することが実習の目的です。子ども達一人ひとりの疾病と障害、その特性を理解し教育に携わる多種多様な人々のかかわり方や連携の中で養護教諭の役割を学ぶ機会になります。危機管理の体制や施設、整備の工夫について理解します。									
学修到達目標									
1.特別支援学校の施設、設備等を知り、勤務する教職員の役割および養護教諭の役割を説明できる。 2.児童・生徒の発達段階と障害を説明できる。 3.児童・生徒への援助活動（医療的ケアを含む）の必要性和教育における配慮について説明できる。 4.児童生徒の保護者へのかかわり方を説明できる。 5.特別支援学校における救急体制や災害時の対応方法を説明できる。									
授業の進め方									
特別支援学校において実習を行い、知識と実際を関連付けます。実習を通して、子どものかかわり方の実際を学びます。実習の事前学習、事後報告会を含めます。日々の記録及び実習経験のディスカッション等を通して学びを深めます。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
	事前オリエンテーション（学内）	特別支援学校の概要について説明します。医療的ケア、発達や障害について事前学習と合わせて復習します。実習の概要と注意事項の確認をします。					事前学習の課題（発達障害、医療的ケアなど）についてのレポートを作成します。		
	特別支援学校実習	保健室実習を行い養護教諭の職務を学びます。各学級でのこども達とかかわりや教員のかかわり方、子どもの発達段階や障害について学びます。医療的ケアと給食支援を見学し実際を学びます。					日々の記録、実習を通して学んだことをレポートにまとめます。		
	実習報告会(学内)	各実習での学びを報告し共有し学びを深めます。養護教諭の役割や専門性を考えます。今後、養護教諭になるために必要な資質と能力を考え、身につけていく術を検討します。					特別支援学校における養護教諭の役割、実習で学んだことをまとめます。		
テキスト				成績評価の方法・基準					
なし				出席レポート：40% 課題：30% レポート：30% S：日々の学びや気づきが具体的に書かれ自己の行動を振り返ることができている。A：日々の学びや気づきが書かれ自己の行動を振り返ることができている。レポートに自己の学びや今後の展望が記述されている。B：実習日誌に学びや気づきが書かれ、一通りのレポートはできている。C：実習日誌に実施したことは書かれているが課題などを見出せていない。課題等のレポートも提出しているが自分の意見が反映されていない。自己の健康管理を行い欠席をしない。					
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）					
「特別支援教育 ハンドブック」飯野順子 岡田加奈子 玉川進編（東山書房） 「医療的ケア研修テキスト」日本小児神経学会 松石豊次郎他編（クリエイ				看護学概論、養護概説、養護教諭と看護、学校の看護を履修済みの学生が履修できます。実習時には、実習の留意事項を守ってください。実習施設の規定により、実習費用の個人負担が必要になります。					

科目名	現代スポーツ論		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	SL16036	研究室	S-14
担当者	等々力 賢治		必修選択	必修	科目種別	講義	ウイスキー	木曜日3限		
関連資格	レ・コティ(通常)、ト指、日本スポーツ協会指 指導、日本スポーツ協会アスレ、中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、現代スポーツに関する基礎的な知識を修得し、それを多角的な視点から理解することを目指します。ワールドワイドな広がりを見せ、経済的・政治的・社会的諸関係を深めつつある現代スポーツについて多様な視点から理解を深め、今後の方向性についても探ります。また、現代スポーツは、テレビの強い影響によって、変化・変貌を余儀なくされています。それについて、スター・プレイヤーの海外移籍や企業スポーツの崩壊等といった身近で具体的な事例を取り上げ、その原因や背景を明らかにします。										
学習到達目標										
現代スポーツに関する基礎的な用語や概念を修得し、それを経済的・政治的・社会的な関係の中で多角的に理解できる。併せて、今後の我が国におけるスポーツの発展について、本講義での学修を踏まえ、自分なりの意見や見解、構想などをもち、政策的課題として提示できるようにする。										
授業の進め方										
本講義は、用意した印刷資料を利用し、時事的な話題等も含めて進めることを基本とします。また、ビデオを適宜使用するとともに、各時間「受講票」に質問事項などを記載してもらい、次時にはそれをめぐって討議し、理解をより深めるよう取り組みます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	本講義の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。				事前：シラバスをよく読んでおく。事後：配布資料をよく読み、理解しておく。(4時間)				
2	文化としてのスポーツ	今日のスポーツは、歴史の中で様々に変容を遂げてきており、その意味で、各時代の民族性や生活様式などを反映した文化です。それを、マス・フットボールからサッカーへの発展を一例に示します。				事前：配布資料をよく読んでおく。事後：配布資料を復習して理解を深める。(4時間)				
3	社会的に存在するスポーツ	オリンピックに顕著なように、巨額の費用や開催都市・国家の理解や協力が必要であり、当事国に大きな影響をもたらします。このように、スポーツは、社会的諸関係の中で存在するものなのです。				事前：配布資料をよく読んでおく。事後：配布資料を復習して理解を深める。(4時間)				
4	米国スポーツ界の人種問題	スポーツ大国であり平等・公平な国である(と言われる)米国ですが、その実態は必ずしもそうではありません。アフリカ系アメリカ人の三大プロ・スポーツへの進出史などを通じて、それを明らかにします。				事前：配布資料をよく読んでおく。事後：人種差別に関する新聞記事などを調べる。(4時間)				
5	ボーダレス・グローバル化	1990年代以降、世界のトップ・スポーツ界で顕著になったスター・プレイヤーの海外移籍の背景には、ビジネス化に伴って展開されてきた「グローバル化戦略」があります。具体例を挙げて実態を探ります。				事前：配布資料をよく読んでおく。事後：配布資料を復習して理解を深める。(4時間)				
6	高騰するテレビ放映権料	前時で扱った「グローバル化戦略」について、それを支えるのがテレビ放映権料であり、それが近年高騰していること及び、それがもたらすルール変更などについて、問題点なども含め概観します。				事前：配布資料をよく読んでおく。事後：近年のルールの変更事例を調べてみる。(4時間)				
7	スポーツのプロ化	1993年のJリーグ創設に象徴的なように、スポーツのプロ化が進んできました。その背景になががあったのか。長期不況下で衰退した企業スポーツと地域の大きな期待という、二つの観点から明らかにします。				事前：配布資料をよく読んでおく。事後：配布資料を復習して理解を深める。(4時間)				
8	企業スポーツの歴史と役割	我が国のスポーツ界を支えてきたのは、学校体育と共に企業スポーツです。その歴史と特徴について、「日本型経営」という観点からその優位性と問題点を概観し、今後のあり方について考えます。				事前：配布資料をよく読んでおく。事後：身近な企業スポーツを調べてみる。(4時間)				
9	企業スポーツの現状	「日本型経営」と密接な関係にある企業スポーツは、長期不況の中で休廃部を余儀なくされ、急速に衰退してきました。その状況を概観し、プレイヤーの人権及びプロ化等を含め、今後のあり方を展望します。				事前：企業スポーツの休廃部状況を調べておく。事後：資料を復習して理解を深める。(4時間)				
10	環境問題とスポーツ	環境問題とスポーツ、一見関係ないように思われますが、ゴルフ場造成と自然破壊、温暖化に伴うスキー場の閉鎖等の例は、それが間違いであることを示しています。両者の関係を知り、その共存の道を探ります。				事前：環境問題に関する国際的動向を調べておく。事後：資料を復習し理解を深める。(4時間)				
11	ドーピング問題の現状	ドーピングは、現代スポーツが抱える最大の問題の一つです。ドーピングの定義と歴史、国際的なアンチ・ドーピングの動向についても触れ、スポーツの発展方向に合致した解決策を考えます。				事前：ドーピング関係の記事を読んでおく。事後：配布資料21, 22を復習し理解を深める。(4時間)				
12	変貌する障がい者スポーツ	障がい者スポーツの歴史は比較的新しいのですが、パラリンピックやプロの出現に見られるように、その隆盛には目覚ましいものがあります。その歴史を概観した上で、今後の発展方向についても展望します。				事前：配布資料23, 24をよく読んでおく。事後：車椅子テニスについて調べ、まとめてみる。(4時間)				
13	女性スポーツの隆盛	各種テレビ中継に見られるように、今日、女性スポーツは活気を呈し全盛期にあります。とはいえ、それが順調に発展してきたわけでも、問題がないわけでもありません。そうした観点に立って概観します。				事前：スポーツ中継の男女比を調べてみる。事後：配布資料25, 26を復習し理解を深める。(4時間)				
14	広がる地域クラブスポーツ	近年、スポーツと地域の関わりが深くなっています。それを象徴するのがJリーグであり、総合型地域スポーツクラブの相次ぐ創設です。そうした動向の概要と共に、その背景を明らかにします。				事前：配布資料27, 28をよく読んでおく。事後：地域クラブを訪れ、実際に活動してみる。(4時間)				
15	国策としてのスポーツ振興	経済規模という観点からすれば、我が国のスポーツ振興は依然として貧しいと言わざるを得ません。ナショナル・トレーニングセンターの設置意義や役割なども含め、先進国と比較し振興策を考えます。				事前：配布資料29, 30をよく読んでおく。事後：配布資料29, 30を復習し、理解を深める。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
本講義は、新聞記事などの配布資料A3版30枚程度を利用して進めます。		定期試験：75% レポート：10% 出席レポート：15% 成績評価は上記3つの要素を合わせて行います。評価基準は次のとおりです。 S:各週の講義内容を関連づけて理解し、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって取り組み、講義外の諸課題も理解し高度な解決策を提示できる。 A:講義内容を理解し、積極的な探求姿勢で各課題の解決策を提示できる。 B:講義内容の大凡を理解し、課題に誠実に取り組み、講義外の課題にも関心を寄せることができる。 C:講義内容の60%程度を理解し、課題を把握できる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「グローバル化と日本のスポーツ」等々力賢治著(創文企画) ISBN: 978-4-86413-032-5 他 スポーツ関連書籍が沢山出版されていますので、講義内に適宜紹介します。		自らの経験に基づくスポーツ観に関心をもることなく、多角的で柔軟な見方や考え方で講義に臨んでください。変化・変貌著しい現代スポーツが対象なので、事前学修の一環としてテレビ・新聞報道などに常に関心を持ってください。								

科目名	近代スポーツ史			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	SL16037	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C							
授業概要											
<p>私たちが歴史を学ぶことの意義は、「自分の現在を今までの過去の経験に関連させることで、自分がどこから来たのか、どこに向けて進んでいるのかの位置確認をし、未来に向けて何ができるのかの手がかりを獲得する思考作業」です。本講義では、スポーツがどこから来たのか、どこに向けて進んでいるのかを見据えながら、私たちは、未来に向けて何ができるのかを考えてゆくための基礎的知識の獲得を目指します。ここでは、主として17世紀後半から第2次世界大戦までを主として取り扱い、概観して行きます。</p>											
学修到達目標											
<p>スポーツがどの様に行われ、発展してきたのかをその時代背景と絡め合わせながら理解してゆきます。その基礎知識をベースとしながら現代のスポーツ現象を捉え、スポーツが今後どうあるべきかを考える基礎的能力を身につけます。</p>											
授業の進め方											
教科書を用いて授業を進めます。必要に応じて資料としてプリントも配布して使用します。毎回、ミニテストを行いません。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	歴史を学ぶ意義について、スポーツ史とは何かについて理解します。					正しい選択をするためにはどうしたらよいかを考え、まとめます。(4時間)				
2	人類の進化とスポーツ	人類の進化が身体文化としてのスポーツの発生にどの様に寄与したかを考えます。文書資料が存在しない時代のスポーツ史について現住する自然民族のスポーツの状況から読み解きます。					人類の進化における4つの出来事とスポーツの発生についてまとめます。(4時間)				
3	古代の体育・スポーツ	古代ギリシア・ローマの体育・スポーツとオリンピア競技について学びます。					古代ギリシアとローマの体育・スポーツの違いについてまとめます。(4時間)				
4	中世の体育・スポーツ	中世ヨーロッパにおいてどのような身体訓練やスポーツ活動が行われていたのかをその時代背景を理解しながら学びます。					中世に行われていたスポーツと現代のスポーツとを関連させて考え、まとめます。(4時間)				
5	日本中世の体育・スポーツ	日本における古代スポーツから中世におけるスポーツの変化について概観します。					当該時期にどのようなスポーツが行われていたのか、現代行われているスポーツと比べ、まとめよう。				
6	ルネッサンスと体育・スポーツ	ルネッサンス期における体育思想を理解します。					時代の変化と体育思想の関係についてまとめます。(4時間)				
7	日本近世の体育・スポーツ	武士の体育・スポーツと近世の養生思想について学びます。					近世日本の養生論を現代と結び付けてまとめます。(4時間)				
8	国民国家の形成と近代体育の成立について(1)	近代教育思想と体育について学びます。					啓蒙思想の果たした役割についてまとめます。(4時間)				
9	国民国家の形成と近代体育の成立について(2)	汎愛主義と学校体育の実践について学びます。					汎愛主義と学校体育への影響についてまとめます。(4時間)				
10	国民国家の形成と近代体育の成立について(2)	国民国家と学校体育の関係について学びます。					国民国家の成立が学校体育にどのような影響を及ぼしたかをまとめます。(4時間)				
11	近代スポーツの発達と近代オリンピックの創始	パブリック・スクールのスポーツと近代スポーツの普及について学びます。					パブリック・スクールでスポーツが取り入れられた意義についてまとめます。(4時間)				
12	日本近代学校体育の成立	日本近代学校体育の成立過程について学びます。					時代背景と日本の近代学校体育成立過程の関係についてまとめます。(4時間)				
13	近代スポーツの移入について	欧米近代スポーツの日本への移入について学びます。					どのように日本で近代スポーツが広がって行ったかをまとめます。(4時間)				
14	近代体育・スポーツの展開	アマチュアリズムとプロフェッショナルリズムについて学びます。					アマチュアリズムの発生と影響についてまとめます。(4時間)				
15	まとめ	時代背景がスポーツに及ぼす影響を考えながら、スポーツ文化をどのように展開することが望まれるのかを考えます。					正しい判断と歴史学習の意義についてまとめます。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「体育・スポーツ史概説」木村吉次 編著(市村出版) ISBN:978-4-902109-19-1(生協で購入してください。)					定期試験:70% レポート:30% S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 基本的事項を最低限修得しているレベルをCとする。授業内容を修得しているレベルをBとする。授業内容をしっかりと修得しているレベルをAとする。授業内容をしっかりと修得し、更なる発展が見られるレベルをSとする。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「スポーツ史講義」稲垣正浩・谷釜了正著(大修館書店) ISBN:4-469-26299-4 「現代史を学ぶ」沢内謙著(岩波新書394) ISBN:4-00-430394-X					現代のスポーツ、未来のスポーツの在り方を考えながら授業に臨んでみましょう。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。						

科目名	スポーツと法			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	SL26038	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格	日本スポーツ協会指導、日本スポーツ協会アソシエイト、中一(保体)、高一(保体)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
スポーツと法は密接な関係にあり、とりわけスポーツが高度化と大衆化と二極化している現代において、その関係はより広くより深くなっています。これに伴いスポーツに関する法は増加・多様化しており、スポーツ法学の対象も多岐に渡ります。本講義では、スポーツの普及・振興に関わる基本的課題をはじめ、暴力・体罰、ジェンダーとスポーツ、障害者スポーツ等、人権に関わる現代的課題、さらにスポーツ事故の法的責任等、スポーツと法に関わるテーマを取り上げます。											
学修到達目標											
(1) スポーツと法の関わりを認識できる (2) スポーツに関する問題・課題を法的視点から捉えることができる (3) 実際に身のまわりで生じているスポーツに関する問題を法的視点から検討することができる											
授業の進め方											
本講義は、基本的に配布資料(レジメ)に沿って進めます。授業の内容によっては、個々人またはペア・グループでワークに取り組みます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、詳細な留意事項等について解説します					事前: シラバスを読む/ 事後: 本授業のルールと配布資料の内容を確認する(4時間)				
2	スポーツ法の概説	スポーツ国家法、スポーツ固有法、スポーツ国際法について解説します					事前: テキスト第1章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
3	スポーツ権と法	国際憲章、国内のスポーツ権論について解説します					事前: テキスト第2章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
4	スポーツ振興と法	スポーツ振興法、スポーツ基本法、諸外国のスポーツ振興関連法について解説します					事前: テキスト第1章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
5	スポーツ団体と法	団体自治の原則、罪刑法定主義、処分・制裁・救済について解説します					事前: テキスト第8章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
6	ドーピングと法	世界アンチ・ドーピング条約、世界アンチ・ドーピング機構、日本アンチ・ドーピング機構について解説します					事前: テキスト第14章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
7	暴力・体罰とスポーツ法	懲戒権、公務員上の責任、民事責任、刑事責任について解説します					事前: テキスト第5章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
8	小テスト	第1~7回の授業の復習として、小テストを実施します					事前: 第1~7回の授業の配布資料を復習する/ 事後: 小テストを振り返り、復習する				
9	ジェンダーとスポーツ法1	ジェンダーに関わるスポーツ国際法、スポーツ国家法及びスポーツ固有法について解説します					事前: テキスト第3章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
10	ジェンダーとスポーツ法2	セクシャリティに関わるスポーツ国際法、スポーツ国家法及びスポーツ固有法について解説します					事前: テキスト第3章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
11	障害者とスポーツ法	障害者に関わるスポーツ国際法、スポーツ国家法及びスポーツ固有法について解説します					事前: テキスト第1及び2章を読む/ 事後: 配布資料を復習する(4時間)				
12	スポーツ事故と法的責任1	スポーツ事故に関する映画を鑑賞してから、討議を通じて法的側面からその内容について理解を深めます					事前: テキスト第5章を読む/ 事後: ワークシートを完成する(4時間)				
13	スポーツ事故と法的責任2	スポーツ事故に関する映画を鑑賞してから、討議を通じて法的側面からその内容について理解を深めます					事前: テキスト第9章を読む/ 事後: ワークシートを完成する(4時間)				
14	スポーツ事故と法的責任3	スポーツ事故に関する映画を鑑賞してから、討議を通じて法的側面から映画の内容について理解を深めます					事前: テキスト第9章を読む/ 事後: ワークシートを完成する(4時間)				
15	まとめ	授業の総括として模試を実施します					事前: 試験勉強をする/ 事後: 試験勉強をする(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
適宜、資料を配布しますが、次の3冊を主要参考書とします。 小笠原正(監修)『導入対話によるスポーツ法学(第2版)』不磨書房 日本スポーツ法学会(監修)『標準テキスト スポーツ法学第2版』エイトル研究所 石堂典秀他『スポーツ法へのファーストステップ』法律文化社						定期試験: 50% 小テスト: 20% 出席レポート: 30% 出席レポート(40%)の配点は次の通りです。第1回: 1点/第2~14回: 各3点。 評価基準は次の通りです。S: 授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、難解な応用問題が解ける/A: 授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、応用問題が解ける/B: 授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、授業で出題したレベルの問題が解ける/C: 授業内容を大体理解し、課題に取り組み、基本問題が解ける					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「スポーツの法律相談」菅原哲朗・森川貞夫・浦川道太郎・望月浩一郎(監修)編(青林書院) ISBN: 978-4-417-01708-0 「学校部活動・体育活動の法律相談」白井久明他著(日本加除出版)						積極的な態度で授業に臨み、授業で学習したことを必ず復習して下さい。					



科目名	スポーツマネジメント論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	SL26039	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限		
関連資格	レク・コティ(通常)、日本スポーツ協会スポーツ指導、日本スポーツ協会アシスト、中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
スポーツマネジメントは、現場における実践との連携を重視する学問であり、スポーツの多くの場面に関係してきます。本講義では、スポーツマネジメントの基礎理論を理解し、総合型地域スポーツクラブのマネジメントと学校体育マネジメントについて検討します。										
学修到達目標										
スポーツマネジメントの理論および実践的方法について理解し、スポーツに関する事象についてマネジメントの側面から捉えることができる。										
授業の進め方										
基本的にテキストに従って講義を進めていきます。授業の内容によっては、個人またはペア・グループでワークに取り組みます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、詳細な留意事項等について解説します				事前：シラバスを読む/事後：本授業のルールと配布資料の内容を確認する(4時間)				
2	スポーツマネジメントの基礎知識1	スポーツ組織のマネジメントについて解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
3	スポーツマネジメントの基礎知識2	スポーツ組織の人材マネジメント、スポーツボランティアのマネジメント及びスポーツ組織の財務について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
4	スポーツマネジメントの基礎知識3	スポーツ組織のプロダクト、サービスの特性、スポーツサービスに特有の機能及びホスピタリティについて解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
5	スポーツマネジメントの基礎知識4	事業のマーケティング及びマーケティング調査と必要な情報分析について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
6	スポーツマネジメントの基礎知識5	マーケティングの活動手順及びマーケティング・ミックスの決定について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
7	スポーツマネジメントの基礎知識6	スポーツ事業のプロモーションについて解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
8	小テスト	第1～7回の授業の復習として、小テストを実施します				事前：第1～7回の配布資料を復習する/事後：小テスト振り返り、復習する(4時間)				
9	総合型地域スポーツクラブの育成と運営1	総合型地域スポーツクラブの育成について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
10	総合型地域スポーツクラブの育成と運営2	総合型地域スポーツクラブの運営について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
11	学校体育・スポーツのマネジメント1(課題1/4)	学校体育の目的と学校体育マネジメントのミッションについて解説してから、討議を通じて学校体育・スポーツマネジメント関連研究について理解を深めます(課題)				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
12	学校体育・スポーツのマネジメント2(課題2/4)	学校体育をめぐるマネジメントの構造と特徴について解説してから、討議を通じて学校体育・スポーツマネジメント関連研究について理解を深めます(課題)				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
13	学校体育・スポーツのマネジメント3(課題3/4)	学校体育の経営目的と経営計画について解説してから、討議を通じて学校体育・スポーツマネジメント関連の研究論文を要約します(課題)				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
14	学校体育・スポーツのマネジメント4(課題4/4)	体育授業のマネジメントについて解説してから、討議を通じて学校体育・スポーツマネジメント関連の研究論文を要約します(課題)				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
15	まとめ	授業の総括として模試を実施します				事前：試験勉強をする/事後：試験勉強をする(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目(第12刷)」公益財団法人日本体育協会編(別途、指示します。)講義にてレジュメとして配布します。				定期試験：50%、出席レポート：30%、小テスト：20% 評価基準は次の通りです。S：授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、難解な応用問題が解ける/A：授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、応用問題が解ける/B：授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、授業で出題したレベルの問題が解ける/C：授業内容を大体理解し、課題に取り組み、基本問題が解ける						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「よくわかるスポーツマネジメント」柳沢和雄ほか編(ミネルヴァ書房) ISBN: 978-4-623-08014-4 「体育・部活のリスクマネジメント」小笠原正・諏訪伸夫編(信山社)				積極的な態度で授業に臨み、授業で学習したことを必ず復習してください。						

科目名	スポーツメディア論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	SB26040	研究室	非常勤
担当者	山田 雄一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、スポーツの存在はメディア抜きには語れないという観念に立ち、スポーツメディアの功罪両面について、最新の事例も含めて具体的に検証しつつ、スポーツ・ジャーナリズムの意義や重要性について知識を深めます。本来、スポーツが持っている力や存在価値を再認識し、それに対してスポーツメディアが及ぼす影響力を考察するとともに、今日的な課題と将来的なあるべき姿を探ります。										
学修到達目標										
本講義の学習到達目標は、さまざまなスポーツと新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などの報道との関係性について、具体的な事例をもとに歴史や問題点、課題などの理解を深めるとともに、インターネット全盛時代におけるスポーツとメディアのあるべき姿について受講生が自分なりの見解を確立させることをめざします。										
授業の進め方										
本講義では、新聞記事や関係資料を用いてスポーツとメディアの歴史的な関わりや諸問題を詳細に考察します。また、インターネットの普及・拡大とスポーツの関わりについても追究します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	本講義の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。				事前：シラバスに目を通しておく。事後：各時間の講義内容を確認する。(4時間)				
2	スポーツメディアとは	メディアの定義は、大量情報とその媒介・伝達者であるとされます。スポーツとメディアの関わりについて歴史をひもとき、把握します。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：類義語を調べ、その違いについて整理する。(4時間)				
3	東京五輪の評価	2020年7～8月開催予定の東京五輪を振り返り、その成果や与えた影響、課題として残った点などを分析したうえで、オリンピックの望ましい在り方を探ります。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：五輪の在り方について自分の考えをまとめる。(4時間)				
4	東京パラリンピックの評価	2020年8月～9月開催予定の東京パラリンピックを振り返り、その成果や与えた影響、残った課題などを分析し、パラリンピックの在るべき姿を探ります。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：各自、パラリンピックの在り方をまとめる。(4時間)				
5	プロ野球とメディア	学生野球の後塵を拝していたプロ野球の歴史を把握するとともに、戦後の隆盛をもたらせたメディアとの関係性を学ぶ。また、アマチュア球界との関係断絶と修復の道のり、残る課題を理解します。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：プロアマ関係について自分の意見を持つ。(4時間)				
6	高校野球とメディア	1915年の創設から100年を超える甲子園大会の歴史をひもとき、戦争による中断や戦後の隆盛などを辿ってきた我が国独特の高校野球文化について問題点も含めて学びます。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：1世紀に及ぶ大会史を整理する。(4時間)				
7	サッカー人気とメディア	我が国ではマイナースポーツと見なされていたサッカーは、Jリーグ創設を契機とする改革で人気スポーツへと駆け上がりました。どのように実現させたのか、メディアの果たした役割は。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：サッカー人気について自分の意見をもとめる。(4時間)				
8	オリンピック報道史	オリンピックに関するメディアの歴史を的確に把握し、どのような変遷をたどり、成果をもたらせたか、また問題点を生じさせたかについて、理解を深めます。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：オリンピック報道に対する意見を持つ。(4時間)				
9	女性とスポーツ	女性とスポーツとの関わりは、以前に比べて飛躍的に高まっています。先駆者たちの足跡に光を当てるとともに、昨今の発展とそれに伴う課題の出現、対応策を学びます。				事前：配布資料をよく予習する。事後：関心のある女子選手について調べる。(4時間)				
10	マスターズスポーツ熱	社会の高齢化に伴って健康志向の機運が加速度的に高まり、メディアの取り上げ方も増えています。その現状を的確に把握するとともに、成果の一方で弊害につながる懸念についても理解を深めます。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：高齢者の身になってスポーツを考える。(4時間)				
11	スポーツ指導とバウハラ	スポーツ界の一部では暴力的な指導が後を絶たない状況があります。改善の傾向にあるとされますが、教員に対する指導者の歴史的な認識を把握し、今後の進むべき道を学びます。				事前：配布資料をよく予習しておく。事後：自分なりの改善策を考える。(4時間)				
12	IT時代のスポーツメディア	近年、技術革新が目覚ましいインターネットは、スポーツ報道に画期的な影響を与えています。速報性と双方向性です。IT時代のファン心理を学び、スポーツを見る目の変化を探ります。				事前：活字・電波両媒体の特徴をまとめておく。事後：ITのプラスマイナスを整理する。(4時間)				
13	地域スポーツ報道の意義	近年、スポーツ界はグローバル化の一方で、地域スポーツとローカルメディアの関係性にも注目が高まっています。その現状や背景、課題について、グローバル化と対比させて明らかにします。				事前：地域スポーツとメディアについて調べる。事後：その在り方を考察する。(4時間)				
14	東京五輪・パラリンピックのレガシー	56年ぶりの国内開催となった東京五輪・パラリンピックを改めて振り返り、後世に引き継ぐべき遺産について、功罪の両面から分析し、学びます。				事前：配布資料をもとに自分なりの意見をまとめる。事後：将来に向けた課題と解決策を考える。				
15	スポーツメディアの未来像	最終回にあたり、スポーツとメディアの密接な関係性について総括します。15回の講義を通じて受け取った、両者の存在意義と可能性に対する見解をそれぞれの学生が持つことが求められます。				事前：一連の講義内容をまとめる。事後：スポーツとメディアの未来像を各自で結論づける。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
テキストは使用しません。新聞記事や関係資料などを配布し、これらを使用して進めます。		定期試験：70% レポート：15% 出席レポート：15% 成績評価は上記3つの要素を合わせて行います。評価基準は次のとおりです。 S:各週の講義内容を関連づけて理解し、批判的思考力に基づく探求姿勢で取り組み、講義外の課題も理解し解決方法を示すことができる。A:講義内容を理解し、積極的な探求姿勢で課題に取り組み理解できる。B:講義内容の大凡を理解し課題に関心を寄せることができる。C:講義内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
スポーツメディア関連の書籍は数多く出版されています。能動的に手に取ってみることをお勧めします。		スポーツとメディアの関わりについてはさまざまな角度からの評価があふれており、決定版はありません。半年間の受講を通じて、自分なりのとらえ方を確立してください。ともに歩んでいきましょう。								

科目名	地域社会とスポーツ		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	SB26041	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスター	火曜日5限		
関連資格	日本スポーツ協会指導、日本スポーツ協会アスマ				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
地域社会においてスポーツのあり方は多様化している。本講義では、地域社会におけるスポーツの持つ2つの機能すなわち目的・手段的機能を理解し、地方自治体によるスポーツ行政をはじめ、地域スポーツクラブの施策と運営、地方自治体によるスポーツ産業振興等について検討します。また、具体例を通じて、地域社会におけるスポーツのあり方について検討します。										
学修到達目標										
地域社会における問題・課題の解決に繋がる運動・スポーツのあり方について検討することができる。										
授業の進め方										
本講義は、配布資料(レジメ)に沿って、一斉指導、グループワーク、個別ワークを併用して進めます。また、授業内容に関連する新聞記事等もテキストとして取り上げます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業のねらい、授業内容、評価方法、詳細な留意事項等について解説します				事前：シラバスを読む/事後：本授業のルールと配布資料の内容を確認する(4時間)				
2	地域社会におけるスポーツのあり方	地域社会におけるスポーツの機能について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
3	地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	日本におけるスポーツ振興に関わる代表的な法令、中央スポーツ行政組織および地方スポーツ行政組織について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
4	都道府県の総合計画とスポーツ政策	都道府県の総合計画および総合計画におけるスポーツ関連方策について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
5	スポーツクラブと総合型地域スポーツクラブ	スポーツクラブの種類および総合型地域スポーツクラブの必要性と社会的意義について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
6	総合型地域スポーツクラブ	「スポーツライフ」と「クラブライフ」および総合型地域スポーツクラブの設立と運営について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
7	スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブ	スポーツ少年団の組織づくり、スポーツ少年団の活動と内容およびスポーツ少年団を核とした総合型地域スポーツクラブについて解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
8	小テスト	第1-7回の授業の復習として、小テストを実施します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
9	スポーツ産業の振興策	スポーツ産業、スポーツ産業の生成と発展、スポーツ産業をめぐる法整備およびスポーツ産業の振興策について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
10	地方自治体によるスポーツ産業振興	地方自治体によるスポーツ産業振興をスポーツを用いた地域産業の振興と捉え、プロスポーツの誘致とスポーツイベントの誘致について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
11	プロジェクト1/4	討議を通じて興味のある歴史上の人物について理解を深めます				事前：興味のある歴史上の人物を調べる/事後：興味のある歴史上の人物を調べる(4時間)				
12	プロジェクト2/4	討議を通じて生まれ育った地域における問題・課題について検討します				事前：地域の問題・課題を調べる/事後：地域の問題・課題について理解する(4時間)				
13	プロジェクト3/4	討議を通じて生まれ育った地域における問題・課題を解決するためのご当地スポーツを考案します(アクティブラーニングの実施)				事前：インタビュー構成を考える/事後：インタビューを構成・執筆する(4時間)				
14	プロジェクト4/4	プロジェクト(興味のある歴史上の人物に架空のインタビュー)を発表します				事前：インタビューを完成させる/事後：プロジェクトを提出する(4時間)				
15	まとめ	授業の総括として模試を実施します				事前：試験勉強をする/事後：試験勉強をする(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
資料を配布します。		定期試験：50% 出席レポート：25% 課題：15% 小テスト：10% 評価基準は次の通りです。S：授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、難解な応用問題が解ける/A：授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、応用問題が解ける/B：授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、授業で出題したレベルの問題が解ける/C：授業内容を大体理解し、課題に取り組み、基本問題が解ける								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目」公益財団法人日本体育協会編「地方自治体のスポーツに関連する内容を扱います。」 「スポーツ政策論」菊幸一他編(成文堂) ISBN: 978-4-7923-8067-0		積極的な態度で授業に臨み、授業で学習したことを必ず復習してください。								

科目名	プロ・スポーツ論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	SB26042	研究室	S-14
担当者	等々力 賢治		必修選択	選択	科目種別	講義	ウイスキー	水曜日3限		
関連資格					履修条件	隔年開講（2019年度開講）。				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、英米両国のプロ・スポーツの歴史を辿った上で、両者を比較し特徴を明らかにします。また、今日のプロ・スポーツについて、財政的・組織的構造や特徴、問題点などについて明らかにし、それと比較しつつ我が国におけるプロ・スポーツの現状を分析し、今後の可能性について考えます。よく分からなかった内容については「受講票」に記載してもらい、次時にそれについて回答、説明し討議するのを通じていっそうの内容理解を図ります。また、提出したレポートは添削し返却するよう努めます。										
学修到達目標										
まず、プロ・スポーツ史の概略並びに英米両国の組織的相違点と、今日のプロ・スポーツにおける基本的な組織的・財政的構造などについて、関連する用語なども含め理解する。くわえて、近年著しいプロ化の背景を分析した上で、今後さらに発展していくために必要な事柄について自己の意見や見解を持ち、高度な具体策を提示できるようになる。										
授業の進め方										
本講義では、プロ・スポーツの歴史を辿った上で、今日的な状況を新聞の切り抜きなどを使って概観し、関連資料によって組織的・財政的構造について学習します。また、可能であれば、松本山雅が信濃グランセローズ関係者の話を伺う予定です。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	本講義の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。				事前:シラバスに目を通しておく。事後:配付資料をよく読み、理解しておく。(4時間)				
2	プロ・スポーツとは	プロ・スポーツとはなにか。古代オリンピックでもあった金銭の授受のみでなく、ゲームを商品とするリーグ戦など日常的・組織的な経済活動と捉えられます。プレイヤーの状況やリーグの形態も様々です。				事前:古代オリンピックを調べておく。事後:配付資料をよく復習し理解を深める。(4時間)				
3	「する者」と「みる者」の分離	産業革命の進展は大量の労働者を輩出し、その中から多数の「みる者」と「する者」を生み出しますが、やがて両者は分離し、後者はプロ成立の必要条件である観戦者化=大量消費者化へと繋がっていきます。				事前:英国の産業革命について調べておく。事後:配付資料をよく復習し理解を深める。(4時間)				
4	産業革命とサッカーの成立	英国におけるサッカーのプロ化を取り上げ、プロ・スポーツの成立過程を概観します。産業革命に伴って鉄道網が発達し、地域クラブ間交流が活発化してルールと組織が統一され今日のサッカーへと至ります。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配付資料をよく復習し理解を深める。(4時間)				
5	英国型と米国型の比較	英国のプロ・サッカーの「ホームタウン制度」に対し、米国の野球などは、当初からビジネス化し収益の確保・拡大を目指して「フランチャイズ制度」を敷いています。両者を比較し特徴を明らかにします。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:明治期の野球の成立・普及過程を調べる。(4時間)				
6	参入障壁と戦力均衡の追求	前時で扱った「フランチャイズ制度」は、ビジネスとしてのプロ・スポーツを象徴するシステムです。参入障壁によって他者の安易な参入を許さず、他方、活力維持のために戦力均衡を図らねばなりません。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配付資料をよく復習し理解を深める。(4時間)				
7	プロ・スポーツの収支構造	プロ・スポーツ組織の財政構造を、具体的な収入項目と支出項目を挙げながら分析します。その際、「リーグ分担金」と「リーグ配分金」に注目し、それを「共存共栄」及び「戦力均衡」と結び付けて理解します。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:プロ野球とJリーグの財政を比較してみる。(4時間)				
8	財としてのプロ・スポーツ	ゲームを商品とするプロ・スポーツは、基本的にはサービス財を扱うビジネスです。したがって、選択財と最終消費財という性格を免れ得ず、その収支状況もまた不安定にならざるを得ません。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配付資料をよく復習し理解を深める(4時間)				
9	プロ化の必然性と現状	これまで扱ったプロ・スポーツに関する知識を踏まえ、1990年代半ば以降の目覚ましいプロ化の動向について、国際競技力の向上を背景とする必然性という観点から分析し、我が国における可能性を探ります。				事前:近年プロ化した事例を調べておく。事後:配付資料をよく復習し理解を深める。(4時間)				
10	スポーツ発展の牽引者	近年、我が国では、サッカーのJリーグを筆頭に種々のスポーツでプロ化が進んできました。その運営は容易ではありませんが、スポーツの発展という観点から、その意義と役割を明らかにします。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:大衆化と高度化の関係を整理しまとめる。(4時間)				
11	プロ・スポーツの困難点	プロ・スポーツの維持・運営は容易ではありませんが、それを、高額の人員費と初期投資などの財政面、競合相手の増加といった面などから分析し、今後のさらなる発展を見すえて対策を考えます。				事前:プロ・プレイヤーの年俵を調べておく。事後:配付資料をよく復習し理解する。(4時間)				
12	セカンドキャリア問題	アマ・プロを問わず、プレイヤーは肉体的な限界から活動を離れることを余儀なくされます。そうした実態を、選手寿命と引退年齢から明らかにすると共に、引退後のセカンドキャリア問題について考えます。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:JリーグのCSCについて調べまとめる。(4時間)				
13	トリプルミッション	これまでの講義で扱ったように、プロ化が著しい反面、その運営には様々な困難が伴います。それを克服するには、勝利・普及・市場の三つのミッションをバランスよく追求することが不可欠です。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:GMの位置づけと役割について調べまとめる。(4時間)				
14	地域プロ・スポーツの意義	近年著しいプロ化に関わって言われるのが「地域密着」「地域貢献」です。それは、「ホームタウン制度」と「フランチャイズ制度」の両特性を持ち、地域プロ・スポーツ発展の要石なのです。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:我が国スポーツ体制についてレポートする。(4時間)				
15	フロントランナーとして	今後もスポーツのプロ化は不可避であり、その価値を高めていくことが求められます。その一環として、ドーピングや八百長の否定、社会貢献活動への取組などが、個々のプレイヤーには求められます。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:ドーピングや八百長の事例をまとめる。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
テキストは使用せず、新聞の切り抜きやビデオなどを使用して進めます。		定期試験：70% レポート：15% 出席レポート：15% 成績評価は上記3つの要素を合わせて行います。評価基準は次のとおりです。 S:各週の講義内容を関連づけて理解し、批判的思考力の基づく探求姿勢をもって講義外の課題も理解し、高度な解決策を提示できる。A:講義内容を理解し、積極的な探求姿勢で課題に取り組み、解決策についても思考できる。B:講義内容の大凡を理解し、課題に誠実に取り組み関心を寄せることができる。C:講義内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
「プロ・スポーツ論」内海和雄著（創文企画） ISBN：4-921164-25-8 他プロ・スポーツ関連書籍は、おもしろく読めるものが沢山出版されていますので、是非とも手にしてみてください。		今日のプロ化の背景にはテレビ放映権料の高騰があります。したがって、可能な限り2年前期科目である「スポーツメディア論」を履修しておいてください。また、事前に、関連するテレビ報道や新聞記事などに目を向けてください。								

科目名	スポーツビジネス論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	SB36043	研究室	S-14
担当者	等々力 賢治		必修選択	選択	科目種別	講義	ウイスキー	木曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
本講義は、各種スポーツ産業を例に、スポーツビジネスに関する基礎的な用語や概念を習得し、その現状と果たすべき役割などについて理解を深めます。また、スポーツビジネスの構造や特性を明らかにし、バブル経済崩壊後の長期不況の中で縮小・停滞を余儀なくされている現状を分析し、健闘している分野を鳥瞰し今後の発展の方策を探ります。その上で実際に、3人～5人でグループをつくり、関連企業を訪問調査しレポートにまとめ、発表し討議に付します。なお、レポート作成の過程では、適宜アドバイス、添削を行います。										
学修到達目標										
まず、スポーツビジネスに関連する基礎的な用語や概念を理解、習得し、さらに、その構造と特性について理解する。くわえて、現状を把握するために企業を訪問調査し、レポートにまとめ、それを発表し討議することを通じて理解をより深め、新たなスポーツビジネスのあり方を考察し、提示できるようになる。										
授業の進め方										
本講義は、まず、『レジャー白書』などを使ってスポーツビジネスの現状に対する理解を深め、フィットネスクラブやスポーツ観戦などの市場構造や現状を具体的に把握します。その上で、近隣のスポーツ企業をグループで訪問調査し、レポートにまとめ発表します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	本講義の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。				事前:シラバスに目を通しておく。事後:配布資料をよく読んでおく。(4時間)				
2	スポーツビジネスとは	スポーツビジネスとは、スポーツを商品として扱い利益を得ることを目的とする行為、活動です。それを具体的に担うのがスポーツ産業であり、スポーツに関わる「モノ・場・サービス」の提供者であるのです。				事前:配布資料をよく読んでおく。事後:配布資料を復習し理解を深める。(4時間)				
3	スポーツ市場規模の推移	我が国のスポーツ市場規模を見ると、1980年に3兆円でしたが90年には約6兆円に急成長し、その後は、バブル経済崩壊に伴う長期不況下で4兆円前後で推移してきました。				事前:配布資料をよく読んでおく。事後:資料の種目別規模の推移をグラフ化する。(4時間)				
4	スポーツ市場領域の広がり	スポーツビジネスとはスポーツに関わる「モノ・場・サービス」の提供者であり、それゆえ対象領域は極めて広範囲に及びます。加えて、異業種からの参入によってハイブリッド性が大きな特徴となっています。				事前:配布資料をよく読んでおく。事後:ゴルフを例に領域の多様性を図表化する。(4時間)				
5	時間消費・立地重視型産業	スポーツ活動に、一定の時間と場所が不可欠であるのは多言を要しません。したがって、関連産業(ビジネス)もまた同様であり、時間消費型・立地重視型産業という特性を不可避的に備えることとなります。				事前:配布資料をよく読んでおく。事後:配布資料を復習し理解を深める。(4時間)				
6	スポーツ財(商品)の概要	3回目に配布した資料に基づいて、スポーツ財を物財とサービス財に分類し、それぞれの規模と推移を把握します。この他に、する場所=スポーツスペースや公営ギャンブルといった領域が存在します。				事前:3回目の配布資料を確認しておく。事後:公営ギャンブルについて調べてみる。(4時間)				
7	スポーツ需要の概要	一般的に、市場を構成するのは、これまで扱った産業=供給者と商品、そして需要です。本時は、スポーツ需要=消費者の二極化とアクティブ派の増加という観点から見、前者の解決策を探ります。				事前:配布資料をよく読んでおく。事後:配布資料を復習し理解を深める。(4時間)				
8	ゴルフ市場の規模と構造	ゴルフ関連市場は、我が国のスポーツ市場の約35%を占めます。しかも、クラブなどのモノ、プレー・フィーなどのサービス、そしてゴルフ場というスペースなど多岐にわたり、大きな影響を及ぼしています。				事前:戦後のゴルフブームを調べておく。事後:配布資料を復習し理解を深める。(4時間)				
9	フィットネス市場の構造	フィットネスクラブは、1980年代に、我が国のスポーツ市場がサービス産業化を進めた際の象徴的な存在でした。それは、激化する競争環境下で、次々に新たな商品を開発し市場に投入してきました。				事前:フィットネスクラブ史を調べておく。事後:配布資料を復習し理解を深める。(4時間)				
10	スポーツ観戦市場の構造	スポーツ観戦市場は、プロ・スポーツ市場と同義です。最高のモノや場所=スペースを使い、最高のサービスを提供するプロ・スポーツは、スポーツ市場発展の牽引役ですが、現在はまだまだ小粒です。				事前:配布資料をよく読んでおく。事後:戦後のプロ・スポーツ市場の推移を調べる。(4時間)				
11	関連企業への訪問調査準備	関連企業を訪問調査するにあたって、グループ、テーマ、調査内容、訪問対象・期日などを決定する必要があります。まずグループメンバーを確定した上で、それらの確認作業を進めます。				事前:訪問企業の候補を各自考えておく。事後:対象企業にアポを取り訪問の了解を得る。(4時間)				
12	関連企業への訪問調査	前時で確認した諸項目に基づいて、訪問先にアポイントを取って説明し了解を得て訪問します。その際は、あらかじめ用意した質問内容を中心に聞き取りを行い、内容をメモ書きして後日整理します。				事前:聞き取り内容を考えまとめておく。事後:聞き取った内容を整理しまとめる。(4時間)				
13	作成要領の確認と執筆	レポート執筆にあたって、体裁や字数など必要な事項について共通に理解し、企業を訪問し聞き取った内容に基づいて実際に執筆を進めます。先立って、メンバー間で意見交換し統一性を持たせるよう努めます。				事前:聞き取った内容をまとめておく。事後:レポート執筆前に意見交換し統一性を図る。(4時間)				
14	レポート報告と討議(1)	執筆したレポートを基に、レジュメやパワーポイントを作成して発表に臨みます。発表時間10分、討議8分を目安に進め、論点を明確にして討議が積極的に進められるよう努めます。				事前:発表者、司会、タイムキーパーを決めておく。事後:討議を参考に修正を加える。(4時間)				
15	レポート報告と討議(2)	執筆したレポートを基に、レジュメやパワーポイントを作成して発表に臨みます。発表時間10分、討議8分を目安に進め、論点を明確にして討議が積極的に進められるよう努めます。				事前:前時の発表を参考に内容を修正する。事後:討議を参考に修正を加えて提出する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
テキストは使用せず、『レジャー白書』などの資料を適宜使って進めます。			レポート:70% 小テスト:15% 出席レポート:15% 成績評価は、グループレポートの出来具合を中心に行います。評価基準は次のとおりです。S:調査内容が明確で、レポートも研究論文と同等であり、報告会でも成果と課題が明示されている。A:調査内容が明確であり、一貫性が担保され、成果が明示されている。B:調査の体をなし、分担して執筆されており、報告会でも成果が明示されている。C:レポートは規定の字数を満たしているが、調査が十分でないなど準備不足が垣間見える。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「スポーツMBA」広瀬一著(創文企画) ISBN:4-921164-44-4 他 スポーツ・ビジネスに関連する運する書籍は、国内外を問わず沢山出版されています。積極的に手にしてみてください。			スポーツビジネスに対する興味・関心を大切に、グループで実際に訪問調査を行い、レポート化してもらうことを予定しています。したがって、そうしたことを厭わず、積極的に参加することを強く要望します。							

科目名	スポーツ行政・政策論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	SB36044	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格	レ・コティ(通常)、日本スポーツ協会指導、レ・コティ(教育)、日本スポーツ協会アスマ、スポーツ指、中一(保体)、高一(保体)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
日本ではスポーツの普及・振興のために国及び地方レベルのスポーツ行政組織がそれぞれのスポーツ政策を実施しています。本講義では、国および地方レベルにおけるスポーツ行政・政策に関する制度、組織および施策等について理解を深めます。また、特定領域におけるスポーツ政策に関する問題・課題についても検討します。										
学修到達目標										
スポーツ行政・政策に関する基本的知識を修得し、スポーツ行政・政策に関する問題・課題を検討することができる。										
授業の進め方										
本講義は、授業で配布するレジメに沿って進めていきます。授業の内容によっては、個々人またはペア・グループでワークに取り組みます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、詳細な留意事項等について解説します				事前：シラバスを読む/事後：本授業のルールと配布資料を確認する(4時間)				
2	スポーツ行政・政策の研究	スポーツ行政・政策に関する研究の意義、動向、課題等について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
3	スポーツ行政・政策の組織	国及び地方レベルにおけるスポーツ行政組織について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
4	スポーツ行政・政策の形成過程	国および地方レベルにおけるスポーツ政策の形成過程について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
5	スポーツ行政・政策の財政	スポーツ財政の意義、実態および課題について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
6	スポーツの振興計画	スポーツの行政計画の体系および実施について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
7	スポーツ政策の主体と構造	スポーツ政策ネットワークおよびスポーツ組織と行政のパートナーシップについて解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
8	小テスト	第1～7回の授業の復習として、小テストを実施します				事前：第1～7回の配布資料を復習する/事後：小テストを振り返り、復習する(4時間)				
9	スポーツの大衆化政策	スポーツ基本法およびスポーツ基本計画等に基づき生涯スポーツ行政・政策や健康体力行政・政策について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
10	競技スポーツ行政・政策	日本および諸外国における競技スポーツ行政・政策、競技団体のガバナンス及びアンチドーピング政策について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
11	学校体育行政・政策	日本における学校体育行政・政策をはじめ、運動部活動の政策、体育教員を巡る諸施策について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
12	地方自治体のスポーツ行政・政策	日本の地方自治体におけるスポーツ行政・政策について解説します				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
13	スポーツ行政・政策とジェンダー1	国際社会及び国内におけるスポーツとジェンダー・セクシュアリティに関する政策の動向について解説してから、討議を通じてスポーツとジェンダーに関する政策課題について理解を深めます				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
14	スポーツ行政・政策とジェンダー2	諸外国におけるスポーツとジェンダー・セクシュアリティに関する政策について解説してから、討議を通じてスポーツとセクシュアリティに関する政策課題について理解を深めます				事前：前授業の配布資料を読む/事後：本授業の配布資料を復習する(4時間)				
15	まとめ	授業の総括として模試を実施します				事前：試験勉強をする/事後：試験勉強をする(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
適宜配布します。			定期試験：50%、出席レポート：30%、小テスト：20% 評価基準は次の通りです。S：授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、難解な応用問題が解ける/A：授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、応用問題が解ける/B：授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、授業で出題したレベルの問題が解ける/C：授業内容を大体理解し、課題に取り組み、基本問題が解ける							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「スポーツ政策の現代的課題」諏訪伸夫ほか編(日本評論社) ISBN: 978-4-535-58514-0 「スポーツ政策論」菊幸一ほか著(成文堂) ISBN: 978-4-792-38067-0			積極的な態度で授業に臨み、授業で学習したことを必ず復習してください。							

科目名	スポーツ・マーケティング論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリソ	SB36045	研究室	S-14
担当者	等々力 賢治		必修選択	選択	科目種別	講義	ウイリアム	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、「スポーツのマーケティング」と「スポーツによるマーケティング」の二者について、それぞれ事例を挙げて理解を深めます。前者ではスポーツプロダクトを効率よく提供するための戦略を中心に、また、後者ではスポンサー企業の行う「スポーツ・スポンサーシップ」を中心に、それぞれ関連する諸概念・知識を学びます。その上で、マーケットリサーチの初歩であるアンケート調査をグループで行い、レポートにまとめて報告会で発表し討議に付します。なお、レポート作成の過程では適宜アドバイスを行います。										
学修到達目標										
まず、マーケティングに関する諸概念と知識を学習、修得し、さらに、それをスポーツ分野に適用した際の問題点などについて理解を深める。それを基に、実際にグループでアンケート調査を行い、レポートとしてまとめ、講義の最終版に予定している報告会で発表して討議に付し、マーケティングの実践プロセスを具体的かつより深く理解する。										
授業の進め方										
本講義では、まず、一般的なマーケティングについて理解し、スポーツ分野における具体例を挙げてその理解を進めます。その上で、グループで、近隣のスポーツニーズをリサーチするアンケート調査に取り組み、レポートにまとめ報告会で発表し討議に付します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	本講義の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。				事前:シラバスをよく読んでおく。事後:配付資料をよく読み理解しておく。(4時間)				
2	マーケティングとは	まず一般的なマーケティングの定義について学びます。それは、財をより多く売ろうと展開される、売り手の側の「仕組みづくり」を意味し、明確な意図を持って積極的に仕掛ける組織的な活動です。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配布資料を復習し理解を深める。(4時間)				
3	マーケティングの多様性	自然成長を経て成熟しつつある経済社会ではマーケティング活動が不可欠であり、そのことは、マーケティングの名称の多様さを見れば明らかです。その一つにスポーツ・マーケティングがあります。				事前:マーケティングの種類を調べておく。事後:配付資料を復習し理解を深める。(4時間)				
4	スポーツ市場の概要	スポーツ市場を対象に展開されるスポーツ・マーケティングの概要について触れます。スポーツ市場は、長期不況下で縮小・停滞を余儀なくされていますが、潜在需要は高く、今後も伸びる可能性を秘めています。				事前:配布資料をよく読んでおく。事後:配付資料を復習し理解を深める。(4時間)				
5	スポーツプロダクト	スポーツ市場に投入されるプロダクト(製品)について分析します。バットやボールのようなモノと、各種スクールのプログラムのようなサービスに大別されますが、さらにそれは競技ごとに細分化されます。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配付資料を復習し理解を深める。(4時間)				
6	スポーツ需要・消費者	マーケティング活動の前提は、そこにスポーツに対する需要があり消費者がいることです。それについて、愛好者数等を基に分析すると共に、最終・選択消費財というスポーツ財の性格を押さえ分析します。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配付資料を復習し理解を深める。(4時間)				
7	3C分析とターゲティング	前時までに学んだ内容を前提に、マーケティングをどのように展開する(実践プロセス)のか学びます。まず、3C分析を行って情報を収集、分析し把握した上で、ターゲットとするセグメントを特定します。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配付資料を復習し理解を深める。(4時間)				
8	マーケティングミックス	前時で扱った3C分析とターゲティングに基づいて、基本的なマーケティング・プランを策定することを学びます。その際利用する、4つのPの組み合わせ(マーケティング・ミックス)が極めて重要です。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:この間に扱った概念や用語を整理しまとめる。(4時間)				
9	マーケット戦略の策定	マーケティング・ミックスに応じた市場戦略の展開について学び、併せて、新製品の普及過程とPLCについて学びます。また、生産と消費の同時性など、サービス財の基本的な諸性格についても扱います。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配付資料を復習し理解を深める。(4時間)				
10	アンケートの企画・準備	スポーツ・ニーズを調査するにあたって、グループ、テーマ、調査対象・内容などを決定する必要があります。まずグループメンバーを確定し、それらについて討議し確定していきます。				事前:アンケート調査の内容を考えておく。事後:アンケート内容を検討し確定する。(4時間)				
11	アンケート用紙の作成	前時で確認した諸項目に基づいてアンケート用紙を作成します。その際、回答と集計のしやすさに留意すると共に、回答者のプライバシーに配慮したものにするなど、アンケート作成の基本も学びます。				事前:参考になるアンケートを探しておく。事後:作成したものを仮に実施してみる。(4時間)				
12	アンケート調査の実施	前時に作成したアンケート用紙を利用し調査を実施します。その際、対象者に対する説明と了解などを落着度なく行うことが必要であり、グループメンバーが相互に注意して進めることが必要になります。				事前:調査対象者と日程調整をしておく。事後:アンケート結果を手早く正確に集計する。(4時間)				
13	執筆要領の確認と執筆	レポート執筆にあたって、体裁や字数など必要な事項を共通に理解し、アンケート結果に基づいて執筆を進めます。なお、執筆に先立って、メンバー間で意見交換し統一性を持たせるよう努めます。				事前:アンケート結果を整理しておく。事後:執筆前に意見交換を行い共通理解を図る。(4時間)				
14	レポート報告と討議(1)	執筆したレポートを基に、レジュメやパワーポイントを作成して発表に臨みます。発表時間8分、討議時間7分を目安に進め、論点を明確にして討議が積極的に行われるよう努めます。				事前:発表者、司会者、タイムキーパーを決めておく。事後:討議を参考に修正を行う。(4時間)				
15	レポート報告と討議(2)	執筆したレポートを基に、レジュメやパワーポイントを作成して発表に臨みます。発表時間8分、討議時間7分を目安に進め、論点を明確にして討議が積極的に行われるよう努めます。				事前:前時の発表を参考に内容を修正する。事後:討議を参考に修正を加え、提出する。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
テキストは使用せず、種々の資料を使用して進めます。		レポート:70% 小テスト:15% 出席レポート:15% 成績評価は、グループレポートの出来具合を中心に行います。評価基準は次のとおりです。S:アンケート内容が独創的で、レポートも論文的にまとまっており、取り組み成果と課題が明示されている。A:アンケート内容が明確であり、レポートも一貫性が担保され、取り組み成果が明示されている。B:レポートが規定の字数を満たしており、成果が明示されている。C:レポートは規定の字数を満たしており、アンケートが簡易など、事前準備の不十分さが垣間見える。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「スポーツマーケティング」原田・藤本・松岡著 原田 宗彦編(大修館書店) ISBN:4-469-26546-2 他 関連した書籍が多数出版されており、講義でも適宜紹介します。		講義は、スポーツ財の普及・拡大方策を学習内容としますので、「スポーツビジネス論」を学んでおいてください。また、グループ・レポート作成のための企業訪問・調査等を厭わず積極的に行うよう強く要望します。								

科目名	スポーツと表象文化		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	SB16046	研究室	W-04
担当者	眞次 宏典		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2020年度～				
授業概要										
人間が生きていく世界としての社会の中で様々な表象が用いられています。音楽、絵画、映画、動画などから旗、歌曲、ブランドロゴなどのシンボルマーク、さらには個人や集団などの人間までが表象として位置づけられて用いられています。この講義ではスポーツの世界での表象文化について解説し、文化現象としてのスポーツについて理解を深めることができますようにします。										
学修到達目標										
スポーツやスポーツ以外の分野で用いられる表象についての理解を獲得し、表象についての言説を読解し、使用することができること。										
授業の進め方										
講義を中心に行うが、その中では映画、動画、画像などの教材を活用します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	イントロダクション	表象という言葉についての理解を持ってもらい、表象が文化一般と特にスポーツ分野でどのように用いられているかを解説する				講義後のノートの読みなおしをしておく(4時間)				
2	スポーツと表象(1)	スポーツの世界で用いられる歌曲について解説する。特定の歌がなぜある国家やクラブ、さらに一つのスポーツ種目を表すのか、実例を見ながら解説していく(4時間)				事前に指示した資料を読んでおく				
3	スポーツと表象(2)	スポーツの世界で用いられる旗やシンボルマークなど形について解説する。特定の旗やシンボルマークなどの形がなぜある国家やクラブ、さらに一つのスポーツ種目を表すのか、実例を見ながら解説していく				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
4	スポーツと表象(3)	特定の人物(個人、集団)がある国家やスポーツクラブ、スポーツ種目を表すことがある。人物が表象として現れる実例を見ながら解説していく				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
5	スポーツとナショナリズム(1)	スポーツの世界と結びついたナショナリズムと政治について解説する。特にオリンピックについて解説する				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
6	スポーツとナショナリズム(2)	オリンピック以外のナショナリズムと結びついたスポーツの例として、ワールドカップやモータースポーツについて取り上げる				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
7	スポーツと政治と表象	スポーツと政治の関係を踏まえたうえで表象がどのように作用しているかを解説していく				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
8	スポーツとコマーシャルリズム(1)	現代のスポーツはユニフォーム、シューズや機材などのスポーツ用具メーカーとの関連がきわめて深い。ここでもブランドロゴなどの表象が用いられている。コマーシャルリズムが用いられる表象について解説していく				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
9	スポーツとコマーシャルリズム(2)	現代スポーツの中で用いられるコマーシャルリズムと結びついたブランドロゴが果たす機能について解説する				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
10	近代スポーツと近代市民社会	近代スポーツ成立の背景となった市民社会とその主役であった市民階級について解説する。そして、当時の表象の用いられ方についても解説する				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
11	現代スポーツと現代大衆社会	現代スポーツの背景となる大衆社会とその主役である大衆について解説する。そして、現代の表象の用いられ方についても解説する				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
12	スポーツにおける観衆	スポーツにおける観衆の存在とその意義・機能について解説する。そして、表象がどのように用いられているかについても解説する				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
13	スポーツにおける代表	オリンピックやワールドカップなどにおける国の代表チームと表象について解説する				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
14	文化現象としての表象	スポーツ以外の文化現象(音楽、映画、アニメ、ファッションなど)における表象について解説し、それがスポーツとどのようなかわりを持つかについても解説する				事前に指示した資料を読んでおく(4時間)				
15	まとめ	スポーツと表象についての全体的な構図についてまとめる				これまでの資料やノートを復習しておく(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「なし」				定期試験：80% 受講態度：20% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「なし」				表象という言葉は分かりにくい、実は身近なところで日常的に用いられている事や物などを示す言葉であることに気づくことができると講義内容への理解がしやすくなります。広く関心を持つ姿勢で受講することを望みます。						



科目名	レクリエーション論		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバ'リング	SA16047	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日2限		
関連資格	実践指導者、レク・インスト、レク・コーディネイ(通常)、レク・コーディネイ(教育)、スポーツ・レク指、中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
現代社会は、物質的豊かさから心の豊かさを求める時代へと変化してきています。このような中においては、レクリエーションおよび余暇は人生の中で主要な位置を占め、より重要性を増してきています。ここでは、現代社会におけるレクリエーションの必要性を学ぶとともに、レクリエーション支援およびレクリエーションサービスなどについての基礎的知識の習得を目指します。また、余暇先進国を事例に取り、我が国のあり方について考えます。レクリエーションイベント企画実践の場も用意いたします。										
学修到達目標										
日本の現代社会における課題を理解し、レクリエーションを通してどのような支援ができるのかを考える能力を身につけます。また、レクリエーション支援に必要なプログラムの企画立案についても学び、企画立案し、プレゼンテーションする能力を身につけます。										
授業の進め方										
テキストを用いながら、各テーマについて説明していきます。また、その都度、テーマに対して自ら考えることを大切にしながら行くと共に、グループワークを取り入れながらそれぞれの意見を出し合い、議論を深めていきたいと思います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	本講義の概要と進め方について、また、レクリエーション資格について説明します。豊かさとは何かについて考えます。				豊かさとは何かについてまとめます。(4時間)				
2	現代社会における問題について	現代社会における問題点、QOLの時代における余暇の位置づけを通して人生・社会を豊かにするために何が重要なのかを考えます。				現代社会の問題について調べてくる。真の豊かさについて復習する。(4時間)				
3	レクリエーションの意義、必要性について	レクリエーションの語源、レクリエーションの概念の変遷について学びます。				レクリエーションの定義について調べてくる。(4時間)				
4	遊び学説について	遊びの生理学的な価値と遊びの社会的な価値について学びます。				遊びの定義について調べてくる。(4時間)				
5	レクリエーション運動の歴史について	古代ギリシャのレジャー観と古代ローマのレジャー観について学びます。				両者の違いについて復習しまとめ。(4時間)				
6	近現代におけるレクリエーションの歴史について	産業革命から米国におけるレクリエーションの広がりについて学びます。				産業革命とレクリエーションの展開について調べてくる。(4時間)				
7	レクリエーション支援について	レクリエーション支援の概念、使命、種類と方法、行動指針について学びます。				レクリエーション支援者に期待される役割について復習し、まとめ。(4時間)				
8	ライフスタイルとレクリエーションについて	ライフステージごとの課題に対して「心の元気」を目的とするレクリエーション活動を媒体として、スポーツを取り込む効果と重要性について考えます。				ライフステージごとの課題を選択し、どのようなレク支援ができるかを調べ、まとめ。(4時間)				
9	レクリエーション事業とは	レクリエーション事業の考え方、事業展開の手順(Plan-Do-See)、企画段階の実際について学びます。また、個々人のアセスメントに基づいたプログラム計画企画書の内容について学びます。				個々人のアセスメントに基づいたプログラム計画について復習する。(4時間)				
10	レクリエーションイベントの企画について	レクリエーションイベントの企画書に必要な内容及び市民を対象としたプログラムの作り方と安全管理について学びます。レクリエーション事業の展開方法				レクリエーションイベントにおける安全管理について調べてくる。(4時間)				
11	レクリエーションイベント企画の実際(1)	グループでレクリエーションイベントのアイデアを出し合い、企画書の骨子を作成します。				役割分担をして、担当部分を完成させる。(4時間)				
12	レクリエーションイベント企画の実際(2)	グループでレクリエーションイベントの企画書を作成します。				発表原稿を作成する。(4時間)				
13	レクリエーションイベント企画の実際(3)	パワーポイントでプレゼンテーション用のスライドを作成し、発表原稿を完成させ、練習をします。				より良いプレゼンテーションを実施するために練習をし、質疑応答対策を立てる。(4時間)				
14	レクリエーションイベント計画のプレゼンテーション(1)	レクリエーションイベント計画のプレゼンテーションを行います。				他者のプレゼンテーションを聞き、気づきをまとめ、復習する。(4時間)				
15	レクリエーションイベント計画のプレゼンテーション(2)	レクリエーションイベント計画のプレゼンテーションとまとめを行います。				他者のプレゼンテーションを聞き、気づきをまとめ、復習する。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「楽しさをとおした心の元気づくり」(財)日本レクリエーション協会編(財)日本レクリエーション協会) ISBN:978-4-931180-95-6 (生協で購入してください。)		課題:10% 定期試験:70% レポート:10% 出席レポート:10% 課題には、プレゼンテーションとレク現場体験を含みます。S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 基本的事項を最低限修得しているレベルをCとする。基本的な内容を修得しているレベルをBとする。授業内容をしっかりと修得しているレベルをAとする。授業内容をしっかりと修得し、血なら発展が見られるレベルをSとする。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「スポレク活動で健康寿命を延伸」公益財団法人 日本レクリエーション協会編		積極的に仲間と議論をし、テーマについて考えて行きましょう。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおきましょう。								

科目名	レクリエーション実技 (ゲーム)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SL16048	研究室	非常勤
担当者	月橋 春美	必修選択	選択	科目種別	実技	アイスワー			
関連資格	レク・インスト、レク・コーディネイ(通常)、レク・コーディネイ(教育)、ホスピタリティ			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
レクリエーション活動としてのゲームを体験する中で、参加者一人ひとりの意欲を引き出し楽しく心地良い場を創造するために、支援者がどのような姿勢で関わることが求められるのかについて学びます。また、これまでスポーツと疎遠だった人々に対し活動への参加を促し、継続に向けた意欲を引き出すための方法や関わり方について学びます。									
学修到達目標									
基本のレクリエーション活動(ゲーム)を学習し、アイスブレイク時に応用するスキルを習得します。また、自身がこれまで親しんできたスポーツの魅力とは何であったかを内省することで、スポーツもまたレクリエーションの範疇であることに気付いていきます。									
授業の進め方									
ゲームの数々を実際に体験し、自分や仲間の感情が変化することを学びます。さらに、そのプロセスで仲間と相互に影響し合っていることに気付いていきます。後半ではリーダーとして模擬体験をします。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	支援者としてのレクリエーション学を学ぶことの意味を確認します。レクリエーションゲームの数々が「財」と呼ばれていたことの意味を学びます。				自分にとってのレクリエーションとは何かを改めて考え、活動記録用紙にまとめ提出。(1時間)			
2	アイスブレイクとしてのゲーム	アイスブレイクの実際を体験し、実施前後の自分の感情の変化を、感情測定尺度POMSで測ります。POMSの集計をします。				活動を振り返り自分や仲間の感情の変化についてPOMSの結果を踏まえ感想を書き提出する。(1時間)			
3	心を解放に向けるゲームの手法	ゲームを展開する中で、参加者個々人の感情に気づいていきます。支援者として必要な「許容的雰囲気づくり」を仲間との相互作用の中で生む姿勢を学びます。				「プラスストローク」の意味と態度を学び、活動記録用紙へまとめ提出する。(1時間)			
4	勝敗が決定するゲーム	じゃんけんゲームの数々を体験します。偶然性により勝敗が決まるじゃんけんゲームで、技能に関係なく競い合える事の楽しさを知り、活用のバリエーションを考えます。				体験したことのあるじゃんけんゲームを挙げ、活動記録用紙に書き出し提出する。(1時間)			
5	ゲームの展開法	集団で行うゲームの展開とは、ゲームを羅列することではないことを知り、活動の流れと構図についてのノウハウを学びます。参加対象者の状態を洞察し、それに沿った展開法が重要な流れになることを学びます。				集団で行うゲームの展開のポイントを活動記録用紙にまとめ提出する。(1時間)			
6	ホスピタリティを学ぶ	レクリエーション活動を提供する支援者の態度や関わり方に左右されることを学びます。ホスピタリティの意味を知り、活動に参加する自分の表情や、態度、言動に気づくことを知ります。				ホスピタリティの語源を調べ、活動記録用紙にまとめ提出する。(1時間)			
7	対象理解と動機づけ(子ども)	4~5人のグループになり授業を進めます。小学生集団を例に挙げ、現代の子どもたちにはどのような課題があるかを書き出します。そのうえで対象に向けた活動プログラムの組み立てを体験します。				小学生の体力、運動能力の傾向を調べ、活動記録用紙にまとめ提出する。(1時間)			
8	活動評価と方法	運動への興味関心を促し継続するための方法として「レク式体力チェック」などを例に運動効果を評価する手法を学ぶ。				中高年の生活実態について調べ、活動記録用紙に、まとめ提出する。(1時間)			
9	対象理解と動機づけ(高齢者)	4~5人のグループになり授業を進めます。人生経験豊富な世代に向けた活動支援の工夫として、体力の衰えを感じ始める前期高齢者に向けた様々なプログラム提供の方法を考えます。				高齢者の健康運動志向を探り、活動記録用紙にまとめ提出する。(1時間)			
10	対象理解と動機づけ(支援を必要とする人)	アセスメントの重要性を学びます。特に個別のニーズが求められる障がい者や高齢者に対し、レクリエーション活動に携わる支援者としての姿勢について学びます。DVD視聴覚教材等で学びます。				尊厳・人権についての理解を深め、活動記録用紙にまとめ提出する。(1時間)			
11	異年齢交流で繋がりを創る	現代に必要とされる異年齢交流の場づくりについて、対象者の特性、多様性など個性ある対象を想定し、リーダー(支援)の在り方を考えます。				活動場面を想定し、インストラクションするゲームの言葉かけを活動記録用紙に書き出し提出する(1時間)			
12	自己紹介ゲームの手法	グループでゲームを活用した自己紹介を実施します。メンバーの自己紹介を見聞きして、全員でフィードバックしあいます。グループで、次回から実施する活動支援に向けた計画書を作成します。				ゲームの展開法を参考に、計画書を作成し提出する。(1時間)			
13	リード体験	グループでゲームの展開を実施します。CSSの活用や、参加学生からのフィードバックをもらい、指導体験後の自己評価をし、次回に生かします。				実施体験後のフィードバックで得たことを次回に生かすため、活動記録用紙に書きとめる。(1時間)			
14	リード体験	グループが順次ゲームの展開を実施します。CSSの活用や、参加学生からのフィードバックをもらい、指導体験後の自己評価をし、次回に生かします。				実施体験後のフィードバックで得たことを次回に生かすため、活動記録用紙に書きとめる。(1時間)			
15	活動企画	これまで習得したゲームを実践し、応用系や活用のバリエーションを創造的に発展させます。グループでアイデアを重ねます。				「レクゲームとその可能性について(仮)」、活動記録用紙にまとめ提出する。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「前レク財100連発カード」犬飼己紀子 監修著長野県レクリエーション協会編(龍共印刷株式会社)(講義にて配布します。)		実技:50% 出席レポート:30% 課題:20% S:レク・ゲーム活用の効果を知り、場に応じた「財」活用の組み立てと展開ができる。A:レク・ゲームいろいろを習得し、場に合わせた活動を考えることができる。B:レク・ゲームの展開法如何で、参加者の感情に起こる違いに気づくことができる。C:ゲームのルール説明を順序だてて行うことができる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「楽しさをとおした心の元気づくり」(公益財団法人)日本レクリエーション協会 ISBN:978-4-931180-95-6 「スポレク活動で健康寿命を延伸」(公益財団法人)日本レクリエーション協会		自分が楽しめていない活動は、相手にとっても楽しく感じられるものではありません。活動展開する中で、まずは自分の感情に気づいていきましょう。							

科目名	レクリエーション実技（芸術・文化）	学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	SL16049	研究室	S-22	
担当者	中島 弘毅	必修選択	選択	科目種別	実技	アイスア-	火曜日2限			
関連資格	レク・インスト、レク・コーディネ(通常)、ホム・レク指			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、レクリエーション実技としてレクリエーション財を自らが提供できるようにその活動・種目について学びます。クラフトを主として取り上げ、作成・体験を通して基礎的技能を身につけることを目的とします。個々で作品の制作を行うことを基本としますが、仲間と協力しながら作業を進めることの大切さと楽しさも感じてください。また、作品の制作過程および完成した作品を通して楽しさを味わいます。あわせて、その作品の制作指導ができるように、まとめる作業も行います。										
学修到達目標										
身近なもので様々な作品を作り上げることの感動を味わい、作品制作方法を学ぶことにより、他者に作成指導ができる基礎的知識の習得を目指します。3H (Hand,Head,Heart)を念頭におきながら制作ができるようになります。										
授業の進め方										
個々人で作品を完成させ、作品をつくる感動と達成感を味わいます。また、作品の制作過程での気づき、学びについてグループでディスカッションをし発表します。アウトキャンパススタディ（上高地）での気づき、学びをグループごとにプレゼンテーションします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	本講義の概要と進め方について					次週に向けて必要な道具の準備をする。（1時間）			
2	マイ箸を作ろう！	竹でオリジナルの世界で一つだけの思いをこめた箸を作ります。竹の特徴、ナイフの使い方も合わせてマスターします。					作品を完成させ、制作過程における気づきと学びについてまとめ、次週提出します。（1時間）			
3	マイ箸を鑑賞しよう。	オンリーワンの箸を完成させます。また、他者がどのような思いを持って作品を仕上げたかを共有し、作品の素晴らしさをお互いに評価します。					作品のまとめのレポートを仕上げます。また、焼き板について調べ、次週提出します。（1時間）			
4	部屋に飾ろう、思い出の焼き板作り！	杉板を使って焼き板を作ります。木を炙る事によって美しい木目が浮かび上がります。そこに、自らの想いを表現します。					作品の制作過程の気づきと学びについてまとめ、次週提出します。（1時間）			
5	焼き板を鑑賞しよう。	焼き板を完成させ、振り返りをおこないます。他者の作品への想いを共有して、オリジナル性と良い点を見抜く目を養います。					作品のまとめレポートを作成するとともに、上高地の自然等についてまとめ提出します。（1時間）			
6	上高地へ行こう！	自然の不思議を発見し、気づく目を養います。上高地に出かけ、動植物、地理、歴史について知識を深め、自然が学びの宝庫であることと「心の元気」を回復する場であることを学びます。					上高地へ行っての気づきをまとめ次週提出します。（1時間）			
7	上高地での発見、気づきをまとめよう。	グループで上高地での発見、気づきをまとめることによって、自然散策がスポーツレクリエーションの重要な活動種目であり、自然豊かな土地に身を置くことによる「心の元気」回復に寄与することに気づきます。					パワーポイントを完成させ、次週提出します。発表の練習をします。（1時間）			
8	上高地の自然についてのプレゼンテーション	各グループによるプレゼンテーションを通して、自然散策が「心を元氣」にするスポーツレクリエーションの有効な手段であることに気づき、その方法論と基本的知識について学修します。					プレゼンのまとめをし、オープン粘土について調べ、想いをまとめて次週提出します。（1時間）			
9	オリジナルのネックレスを作ろう！	オープン粘土を使って、自分でしてもいい、あげてもいい、そんなオリジナルなネックレス作りをします。粘土を練りながら、作品のイメージを練り上げてゆきます。					作品の制作過程での気づきと学びについてまとめ、次週提出します。（1時間）			
10	オリジナルのネックレス作り！その2	オープンでの温度調節について学びます。調節ができる紐の結び方についても学びます。					紐の結び方について調べ、次週提出します。（1時間）			
11	作品鑑賞会	作品に表れた他者の思いを共有します。実に様々な作品がたった一つの粘土から生まれることに気づきます。					まとめレポートの作成とエッグキャンドルについて調べ、次週提出します。（1時間）			
12	あなたと私のエッグキャンドル！	エッグキャンドルの作り方を学びます。様々な色の世界と香りの世界を作り出します。					土台のイメージ図と作品の制作過程をまとめ、次週提出します。（1時間）			
13	エッグキャンドルの土台作りと鑑賞会	エッグキャンドルの土台作りをします。土台に飾られた色鮮やかなエッグキャンドルを楽しみます。また、振り返りをします。					まとめレポートを作成し、アイスの作り方を調べて次回提出します。（1時間）			
14	手作りアイスに挑戦！	手作りで美味しいアイスを作ります。グループで作り方について打合せをします。身近なもので、チョット一工夫。それでまた作りたくなる美味しいアイスが出来上がることの感動と美味しさを味わいます。					完成図と作り方、準備物、役割分担をレポートにまとめ、次回提出します。（1時間）			
15	手作りアイスの感動を味わおう！&まとめ	前半：アイス作り。後半：全体の振り返り。ホム・ファーベルトとも言われる人間。3H、即ち物を使い自作する、想いを込めてオリジナルを創ることの楽しさ、素晴らしさ、その必要性について考えます。					作品を作ることの意義について考察し、まとめのレポートを作成し提出します。（1時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要に応じてプリントを配布します。		受講態度：40% レポート：60% 受講態度は、授業への積極的な参加、仲間との協力、発言、準備、片づけ等について評価します。S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 授業内容を最低限理解しているレベルをCとする。授業内容を理解しているレベルをBとする。授業内容をしっかりと理解しているレベルをAとする。授業内容をしっかりと理解し、更なる発展が見られるものをSとする。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
「レクリエーション支援の基礎」(財)日本レクリエーション協会編(財)日本レクリエーション協会) ISBN:978-4-931180-81-9		・本授業はレクリエーションインストラクターの資格を取得しようとする学生のための科目です。 ・道具、材料を各自で用意することも必要となります。								

科目名	グループワーク・トレーニング		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	SL26050	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加		必修選択	選択	科目種別	演習	アイスワー	火曜日5限		
関連資格	レ・コディ(通常)、レ・コディ(教育)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>社会生活を送る上で欠かせないのが人間関係構築力です。演習形式で進めるこの授業では、グループのメンバー間に発生する相互作用を活用して自らの「関係力」を磨くための授業です。演習を通して、人との効果的な関わり方に気づき、所属しているグループにある課題やチームの目標に向け、学びを日常化していくための演習授業です。</p>										
学修到達目標										
<p>社会に存在するあらゆるグループにおいて、他者と協働することの意味や大切さを知ることです。その上で、グループ活動においてそのプロセスに気づき、多様な価値観を持つ人同士が、対話的に交流するスキルと問題解決能力を身に付けることを目標とします。一つ上のコミュニケーション能力を体得することを目指します。</p>										
授業の進め方										
<p>毎時間、グループワークで進めます。グループに与えられる課題にメンバーで取り組みます。活動中にグループ内に起こっている事に光を当て、「ふりかえり」で気づいたことを、次回のワークに生かすラボラトリー(実験)トレーニング形式の授業です。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	「グループワーク・トレーニング」は、社会生活に必要な人間関係を構築する力を磨く学びです。本演習の場は実験室(ラボラトリー)であり、体験を積み重ね(トレーニング)自分への気づきを促します。				実験とトレーニングの体験授業であることを認識し、自己目標を立てる。(1時間)				
2	アイスブレイク	人が初めて出会う、そんな場における効果的なコミュニケーションの取り方を、自己紹介ワークの体験から学びます。				事前・事後にテキスト第 章を読み、本講義のねらいを理解すること。(1時間)				
3	コミュニケーションを学ぶ	グループに起こりがちな緊張と不安からくる身構えをほぐし、自己表現をしやすくするワークをします。体験後のミニ講義では初対面における4つの懸念を知り、自分の感情に気づいていきます。				振り返りを共有し合うことで生まれた気づきを日常に生かす。対第 章を読むこと。(1時間)				
4	コミュニケーションのズレ	他者との意思疎通の場面で起こる受け取り方の違いを学ぶ「情報伝達」のワークをします。伝え手の情報が、聞く人それぞれにどのように受け取られるかのワークの後、聞き方についてのミニ講義をします。				自分では気づいていない話し方や行動に意識を向けること。(1時間)				
5	話し方と聞き方	日常の対人関係において、相手の話しをどのように聞いてきたかに気づきます。「聞くワーク」を実施し、聞くことにも技術(スキル)があることを学びます。				場に応じた聞き方を日常で実施すること(気づきの日常化)。(1時間)				
6	コミュニケーションとは	インタビューカードによる「交流ワーク」をします。自分の行動を振り返り、日常でとりがちな行動に気づいていきます。ミニ講義では、コミュニケーションの構造を理論的におさえます。				日常での人との「やり取り」を可視化する。気づきを日常化に向けて。(1時間)				
7	協力を学ぶワーク	グループで与えられた課題を解決するワークを実施します。目標に向けて活動する一人ひとりの行動に気づき、グループ活動にはメンバーの果たす役割があることを知り、問題解決に必要な機能について学びます。				機能集団の一員として、メンバー各人の果たしていた役割に気づいておく。(1時間)				
8	他者と協働するスキルを学ぶ	集団の一員として集団の目標に参画し、その責任を分担する協働者としての姿勢を学びます。グループワーク・トレーニングにおける「ふりかえり」が否定論にならないために、「ふりかえり」の方法を学びます。				自分に気づく、次回演習に生かす。(1時間)				
9	グループ討議の仕方	グループが課題達成に向かうときの、効果的なリーダーシップのあり方など、メンバーが互いに分担して果たす役割があることを体験的に学びます。				日常に生じるリーダーシップの場面を意識化すること。(1時間)				
10	合意形成による決定	グループ内で、自分とは異なる価値観や提案を持つ他者の存在を受けとめ、メンバーと合意形成(コンセンサス)する討議の仕方を学びます。時間がかかる決定法ですが、真剣に向き合うと深い学びが得られます。				多数決やジャンケンによる決定と合意形成の決定による結果の違いを知る。(1時間)				
11	グループ内の感情に気づく	課題や目標に向け、グループ討議の中で起こるメンバーの動きや感情に気づく力を養います。自分の感情に気づいて相手と向き合います。互いに影響し合ってグループが動いていることを知ります。				メンバーとの相互作用について振り返り、そこで気づきを日常の他者交流に生かす。(1時間)				
12	グループプロセス	ロールプレイを兼ねたワークを実施します。役割討論会では、指定されたキャラクターになりきって話し合いに参加します。演じる中で自分の内面に起こる感情に気づくと、そこから自分を知ることにもなります。				メンバーから知らされる自分の行動について、これを素直に受けとめる。(1時間)				
13	ホスピタリティ	ホスピタリティとは何かを学びます。相手の関心に関心を寄せる、という他者との向き合い方や、振る舞いを学びます。他者理解・自己肯定の態度を具体的な「ふりかえり」から気づかいます。				これまでのトレーニングを見返して、日常での関係構築に生かすこと。(1時間)				
14	自己概念	「私の自画像」ワークを実施します。前半は自分と向き合い、後半はグループ内でシェアします。自分が知っている自分と、他者から見た自分の違いを知らせあい、アイスビルドとして自己肯定に向けます。				これまでのグループワークでの気づきを振り返って、自己発見と新しい目標につなげること。(1時間)				
15	日常化に向けて	様々なワークを実施した中で気づいたことを、日常化につなげます。自己成長のベクトルにのせる学習法として「今、ここ」での行動を気づきにかえ日常化するトレーニング形式の学習方法を再確認します。				気づき学習で得たことを具体的な行動に変えること。レポートの提出をすること。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
(別途、指示します。)		<p>出席レポート:70% 課題:30%</p> <p>S:自分の対人関係の在り方を知り、相手の感情・相互の間に起こっていることに気づくことで、自身の対人関係構築力を見直し成長することができる。A:自分の言動が他者に与える影響を知り、対人関係に生かすことができる。B:他者との交流において聞く力、相手に伝わる伝え方の工夫や努力ができる。C:自分の想いや考えを相手に伝わるように表現できる。</p>								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
<p>「新グループワーク・トレーニング」監修財団法人)日本レクリエーション協会著木内直男編((日本グループワークトレーニング協会) ISBN:4-89659-309-X</p>		<p>「対人関係における自分のあり方」に気づくことからスタートします。目標を定め、実験だと思ってグループ活動を楽しんでください。一部体育館で実施するので、活動しやすい服装で参加してください。レナの実務経験のある教員が担当。</p>								

科目名	レクリエーションサービス論	学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	SL26051	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	レク・コーディネ(通常)、ｽﾌﾟ・ﾌｼﾞ			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C					
授業概要									
人間の権利としての豊かな生活実現に向け、身近な地域の余暇活動支援を目指します。総合型地域スポーツクラブ・放課後児童クラブ・高齢者余暇生活支援事業などの事例を取り上げ、日常的・継続的な地域活動の場づくりについて学びます。事業の基本構想に沿った全体計画・個別企画の推進の実際に触れ、それぞれの事業評価をもとに、組織の資源であるスタッフ間における課題の共有や、意思決定の重要性に気づき、魅力ある組織づくりや事業展開について学びます。									
学修到達目標									
これまで自身が親しんできたスポーツの魅力の本質とは何かを知り、指導者としてスポーツと疎遠になりがちな人々に向け、活動への動機づけと継続に向けた事業企画力、及びレク支援技術を磨くことを目的とします。									
授業の進め方									
グループで情報収集と整理をし、各事業の基本構想についての共有を図ります。日常的・継続的活動を目標に全体計画・個別企画の作成をします。企画会議に主体参加することで意思決定に至るプロセスを学びます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	レクリエーション支援の目標と理念を再確認します。向き合う相手にとって心地よい態度を基本とする支援者の姿勢を磨くために、対象を知って発揮するホスピタリティーの姿勢について学びます。				レクリエーション支援実習の記録を持参すること。(4時間)			
2	魅力ある事業をつくる	第2期スポーツ基本計画に謳われた「一億総スポーツ社会」に向けた社会運動として、「スポーツ・レクリエーション」をテーマに取り上げる。				レクリエーション主体は誰の何を指すかを考える。(4時間)			
3	スポーツ・レクリエーションとは	スポーツを通じて人々の豊かな生活の実現を目指すという「スポレク」の定義・目的を捉え、事業を安全に運営するための安全管理の基礎・重要性を学びます。				地方新聞紙面から自身の関心事を切り取る。活動団体の資料を検索すること。(4時間)			
4	スポーツ活動への参加促進	4~5人のグループになります。スポレク事業の対象者として地域のスポーツ未実施者を掘り起し、動機づけから継続に向けた事業の企画立案を通してライフステージ毎に異なる掘り起しの手法を学習します。				対象は誰なのか、関連情報を探すこと。(4時間)			
5	地域のニーズを探る	グループで地域課題を取り上げ、解決に向けた方策を考えます。事業運営において対象者の楽しさを誘い、継続意欲につながる支援者の関わり方や展開方法について十分な討議を重ね課題の共有を図ります。				活動参加している人、活動に参加していない人双方の声を拾うこと。(4時間)			
6	効果的会議法	課題解決に向け、レクリエーション企画を作成します。スタッフ同士、グループ討議を進める中で、自分とは違う考えや刺激は自身の発想を広げ、多様なニーズへの対応を可能とすることを学びます。				課題に向け自身の企画案を作成して提案できるようにすること。(4時間)			
7	支援姿勢とファシリテート	課題解決に向け、レクリエーション企画を作成します。レク支援の対象を理解する以前に、討議し合う支援スタッフの意見や主張の受け止めあいを可能にする姿勢を学びます。				企画の提案を持ち寄ること。(4時間)			
8	事業企画	誰に向けて何を目的に、どのように進めるか、そしてその評価の視点はなど企画段階で十分な意見交換を重ねプログラム案を作成します。グループでプレゼンテーションに向け準備をします。				企画をプレゼンテーションする態度姿勢を確認すること。(4時間)			
9	事業企画	事業の短期目標・中期目標・長期目標の視点を持ち一回ずつのプログラム展開法を組み立てます。支援場面を想定してグループ内で各自の担当を決めます。				具体的支援の場でのインストラクションの方法を練習すること。(4時間)			
10	トレーナー・トレーニング	模擬体験をします。活動場面で参加者に向き合う際に、相手に伝わる話し方、行動、態度など具体的な活動について体験的に学びます。(態度・姿勢。声の大きさトーン・向きなど。)				活動を振り返り、対象者の反応を真摯に受け止め学びとすること。(4時間)			
11	危機管理	実施母体の責務としての危機管理(保険、参加者掌握、会場管理、案内内容)の重要性を学び、作成したグループの企画書を見直します。				企画案についての危険予測を挙げる。(4時間)			
12	運営財務管理	運営の管理(備品、保険、人件費、会場費、参加費)財務管理。予算、決算書の作成を体験します。様々な補助制度について情報収集し、その活用について学びます。				事業運営と経費のバランスを考えること。(4時間)			
13	事業の魅力と継続	レクリエーション支援においては、対象者(主体)が得るもののみならず、企画運営する支援者に返されるものがあることが重要です。これは、事業継続の重要なポイントであることを学びます。				支援者が得るものとは何かを、事業評価の中で考えること。(4時間)			
14	グループ発表	模擬事業について「PDCAの流れ」に沿って、まとめと発表をします。				ホスピタリティーの姿勢を随所に発揮することができたか。(4時間)			
15	個人への支援	レクリエーション支援活動は、個人支援が基本です。まずは身近な他者に目を向けてみましょう。関係性の中に、課題がきっと見つかります。				「私がレクリエーション支援で目指すこと。(仮)」レポート提出すること。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「スポレク活動で健康寿命を延伸」(財)日本レクリエーション協会編(講義にて配布します。)		定期試験:60% レポート:40% S:レクリエーションの価値を知り、身近な社会的課題に関心を持ち事業を企画推進することができる。A:身近な社会的課題に向けレクリエーション事業を企画し運営スタッフとして機能できる。B:レクリエーション活動が社会的課題に効果があることを知り企画・運営することができる。C:レクリエーション活動を通じ、スタッフとして事業運営に携わることができる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「レクリエーション支援の基礎」(財)日本レクリエーション協会編 「楽しさをとれた心の元気づくり」(財)日本レクリエーション協会編		これまでに体験したアウトキャンパススタディ等での地域活動参加体験を基に、「支援実習」に生かしてください。							

科目名	レクリエーション支援実習	学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36052	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅	必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格	レク・コーディネイ(通常)、ｽﾌﾟ・ﾚｸ指			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C					
授業概要									
身近な地域社会の課題に対し、レクリエーション支援を通じて向き合う人の状態に寄り添う活動展開の技法を学びます。これまでに学習したことを活用して、活動企画・実践・評価・課題発見まで一連の流れを体験し、魅力ある事業運営のノウハウを学び、その具体的働きかけについて見通す目を養います。									
学修到達目標									
地域に展開されているレク関連事業の情報を収集します。レク支援を必要とする対象を決定し、目標を持って支援活動に参加します。実習先でのレク資源活用の実際や財務、接遇、コミュニケーションなど、実習を重ねることで、前回の実習で課題とした自らの目標に向かいスキルアップすることを目的とします。									
授業の進め方									
3回の参加実習と企画運営の実習1回を課します。各回の実習前後に、記録ノートの提出をしてください。実習は通常授業時間外の実施ですが、終了後に学内で報告会を開きます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	これまで受講したレクリエーション関連授業で認識している、個々の「レク観」について確認しあいます。その上で、本授業において実施する支援実習の進め方や、実習の目的について知らせます。				1年次レク実技「記録ノート」を手元に置き、見直すこと。(1時間)			
2	実習先紹介	実習先を一覧にして知らせます。各自、予定に組み込み参加する実習を明確にします。実習に際し自己課題と目標の設定をします。				実習日時について各自の予定に組み込むこと。安易なキャンセルは認めません。			
3	参加実習	参加者として、実習現場(学外)に臨みます。事業名称、主催団体、参加対象、目的や活動のねらい、指導者の姿勢など記録ノートに記載不足のないよう(イン)リーダーとしての自覚を持って臨みます。				実習対象について事前調べを十分にすること。終了後は記録ノートを提出すること。(2時間)			
4	報告会・討議	事業参加の記録ノートをもとに、一人ひとり報告をします。話し合う中で、同じ事業に参加していても見聞きすること、受け止め方の違いが起こることを知り、次回の実習に生かすようにします。				次回実習について前調べをし、体験を重ねるうえで目標を再設定すること。(1時間)			
5	参加実習	参加者として、実習現場(学外)に臨みます。前回の実習経験を踏まえ、本実習での目標に向け積極的に行動し、可能な範囲でゲームリードなどインストラクションにチャレンジします。				参加事業について事前調べを十分にすること。終了後は記録ノートを提出すること。(1時間)			
6	報告会・討議法	記録ノートをもとに、実習の報告をします。初回の実習で得た学びと次回への課題を、2回目の実習に活かすことができたか、自らの目標と評価をし、仲間と討議しながら次回実習の目標を定めます。				次回実習の目標設定をすること。(1時間)			
7	参加実習	3回目の参加実習です。可能な範囲でゲームリードなどインストラクションにチャレンジします。活動への視点に加え、事業運営がどのようになされているのかへの視点を持って臨みます。				参加事業について事前調べを十分にすること。終了後は記録ノートを提出すること。(1時間)			
8	報告会・討議法	事業参加の記録ノートをもとに、一人ひとり報告をします。同じ事業に参加していても見聞きすること、受け止め方の違いを話し合う中で感じあい、気づきを次回の実習に生かすよう明確にします。				「企画運営」実習の目標設定を立てる。(2時間)			
9	体力測定の方法・実習計画	3回の参加実習で得たことをもとに、グループで1事業の企画作成をします。対象者アセスメント、体力測定の方法、運動の目的やねらい、企画運営、広報活動、スタッフ配置、危険回避など学びます。				事業運営や企画作成のための情報収集をすること。(1時間)			
10	支援実習の企画発表プレゼンテーション	グループで1つの事業の企画作成をします。対象者アセスメント、活動の目的やねらい、企画運営、広報活動、集客の方法予算決算、スタッフ配置、危険回避など、長・中・短期計画の作成をします。				地方紙等の情報から地域のニーズを探ること。(1時間)			
11	実習(企画・運営)	活動の目的やねらい、企画運営、広報活動、集客の方法予算決算、スタッフ配置、危険回避など企画内容のプレゼンテーションの作成と発表の準備をします。				対象とする事業体を明確にし、企関連情報を集める。(1時間)			
12	実習(企画・運営)	対象集団に向け企画実施に向け、運営や活動内容など具体的にイメージし事業提案を発表します。				目標に向けた実体験を記録に残すこと。(2時間)			
13	実習(企画・運営)	活動の運営スタッフとして、これまでの実習で得たことを振り返り、主体的運営への参加について明確にします。事業後はPDCAに沿ってまとめ、実習の成果とします。				記録ノートに書き、提出すること。(1時間)			
14	報告・発表の準備	実習記録ノートをもとに、グループで報告します。まとめにあたって、報告のポイントを絞ります。実習体験報告、発表。				次週、実習報告会に向けプレゼンテーションの準備をすること。(1時間)			
15	報告・発表	実習体験報告、発表会を開く。今、レクリエーションを必要とする「場」の拡大。レクリエーションを効果的に活用できる「場」や「対象」など、社会的課題についてまとめます。				社会的課題とレクリエーション支援についてまとめる。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「後レク財100連発」犬飼己紀子 監修著長野県レクリエーション協会編(龍共印刷株式会社)(講義にて配布します。)		出席レポート:30% 課題:30% レポート:40% S:習得した技術を、対象者に向けアレンジ・応用して指導展開することができる。 A:実習に向け対象者理解を軸に、PDCAサイクルで次回実習時の課題・目標を明確にし、対象に応じたレクリエーション支援ができる。 B:毎回の実習記録の提出に記した次回実習の課題を明確にし、対象に向き合うことができる。 C:活動に際し、計画通り進める努力が感じられる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「ｽﾌﾟｰﾝによる元気な若者社会を創るために 報告書」小西亘編(公益財団法人、日本レクリエーション協会)		実習計画と記録を次回実習に生かすため、各実習のねらいと目標を具体化させて臨みましょう。先修科目はレクリエーション実技「レクリエーション論」です。							
「ｽﾌﾟｰﾝ活動で健康寿命を延伸」丸山 正 他著(日本レクリエーション協会) ｽﾌﾟｰ									

科目名	体育実技 (体づくり・ダンス)	学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ'リング	SL26053	研究室	非常勤
担当者	田玉 雅美・橋爪 みつる	必修選択	選択	科目種別	実技	ワイスア-			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)			履修条件	集中講義				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
体ほぐし、体づくりの運動のねらいと基本の動きを理解します。リズムの特徴をおさえ、リズムによって体幹を使った自由な全身運動で踊ることの楽しさを体感します。フォークダンス・現代的なリズムのダンスの技能を習得し、解放された体と環境の中で身体表現し、創作ダンスをグループで創る活動プロセスを学びます。									
学修到達目標									
リズムによって全身運動の心地よさを体感し、自由な身体表現を引き出すための雰囲気づくり、指導者としての自己解放と表現力を身に着け、指導案作成と実施に向けた手法を学ぶことを目的とします。									
授業の進め方									
夏季休暇中に開講します。4日間の集中授業として体ほぐし、リズムにのり、動きを創る、指導の方法を身に着けるまで一連の流れを集中的に進めます。外部講師2名による授業です。連絡や掲示に注意して下さい。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	ガイダンス	体づくり運動を兼ねウォームアップのいろいろを学びます。イメージしながらストレッチや、2人組み・4人組・全員で輪になり動きの多様さを学ぶなど心をほぐす運動をします。					自分の体を知る。導入として有効な教材なので記録を欠かさないこと。(1時間)		
2	動きを引き出す	身近にある材料を使い、動きを自然に引き出します。個々の感じ方によってそれぞれの表現が異なる動きの面白さを学びます。					人の動きを観察する。楽しんで参加すること。(1時間)		
3	フォークダンスを学ぶ	世界の音楽と文化から土着のフォークダンスがどのようにして出来たのかや、日本の盆踊りの発祥と成り立ちを学習します。日本のフォークダンスを実際に踊って学んでいきます。					松本地区の盆踊りを覚え、地域の行事を考察しておくこと。(1時間)		
4	動きをまねる	いろいろな動きを考えます。仲間の動きをまねることで動きの多様さに気づくと同時に、自己解放に向ける動きにもチャレンジします。					楽しい動き、意外性のある動きに気づくこと。(1時間)		
5	現代的なリズムのダンス	テンポのある音楽にのせて、ダウンビートで全身で動きを刻む学習をします。体幹を使った動きを続けながら、ステップを踏みながら自由に動く踊りを楽しみます。					リズムの取り方やステップの復習をすること。(1時間)		
6	現代的なリズムのダンス	を通して自然な流れで体を動かし、ステップの完成を目指します。発表する楽しさと、見る楽しさ、サポートの大切さを学習します。					学習したステップの熟練と、アレンジを考えること。(1時間)		
7	空間を利用した動き	二人組で上下左右などの対照的な空間を学んだり、身近な素材を利用した動きと空間の美しさを学びます。					空間の美しさから、どのような感情が伝わるかを考えること。(1時間)		
8	テーマと動きの発見	花火、ジェットコースター、紙ずもう など自由なテーマを選びます。グループのメンバーでテーマにあったイメージを出しあい、動きで表現していきます。					テーマに沿った物語(流れ)を考えること。(1時間)		
9	動きから感情を表現する	これまでの動きをさらに大きく広げながら、空間イメージと動きをつなげていきます。ひとつひとつの動作から感じられる人間の情動や感情を学んでいきます。					普段の動作の中で情動と直結している動きを考える。(1時間)		
10	創作ダンス	これまで学習した内容をフィードバックしながら、ダイナミックさや感情表現にグループで挑戦します。そのためのテーマと手法を話し合い、決定していきます。					テーマに合う音楽を探しておくこと。(1時間)		
11	創作ダンス	前回決定したテーマに沿ったダンスを創作します。動きの多様さ、表現の強弱など、テーマをイメージした動きを仲間と練り上げていく力を磨きます。					自分の考えや意見を発表できるようにしておく。(1時間)		
12	創作ダンス	グループでの創作活動では、動きながら意見交換することが有効です。テーマからイメージする動きをリズムの違いや空間利用を応用することで思いがけず、豊かな表現にかわっていくことを学びます。					動きを引き出すための声掛けの工夫。(1時間)		
13	発表のための空間利用	発表に向け、魅せる動きの工夫と練習を重ねます。VTRに撮り、グループの表現(作品)や自分の動きを客観的に見ることで、工夫を試みさらに磨き上げていきます。					動きの練り上げと再構築。(1時間)		
14	発表	全グループの作品を発表をします。互いの群舞を観ることで、表現の多様さ、個性の面白さ、表現することの楽しさなどを振り返ります。					グループの発表を観る。(1時間)		
15	振り返り	「踊る」という表現に取り組む中で、各自が解放されていくプロセスを振り返ります。踊りを創る過程でメンバーとの自由で解放された交流が生まれること「それを生む指導とは」についてレポートを課します。					踊ること、体で表現することを楽しむ「ダンス」の授業展開についてレポートにまとめる。(1時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
授業時に伝えます。資料で進めます。		実技:30% 受講態度:50% レポート:20% S:活動の中心となり目標達成のために意欲的に課題に取り組み、各回の授業内容を十分理解し、豊かな発想で動きや表現につなげることができる。A:目標達成のために意欲的に課題に取り組み、各回の授業内容を理解し、動きや表現につなげることができる。B:目標達成のために課題に取り組み、各回の授業内容を理解し、動きにつなげることができる。C:目標達成を理解し、課題に取り組みすることができる。(受講態度は各基準に表記しているとおりです)							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「明日からトライ!ダンスの授業」中村恭子・宮本乙女・中村なおみ著全国ダンス・表現運動授業研究会編(大修館書店) ISBN:978-4-469-26722-8C3075		自由に体を動かすことの心地良さを体感しましょう。好きなリズム、心と響け合うリズムにのり、自分を解放させる感覚を学ぶことの意味を、生徒に伝えることのできる学習展開法を一緒に学びましょう。							

科目名	体育実技（器械運動）		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SL16054	研究室	E-13
担当者	川島 均		必修選択	選択	科目種別	実技	アイスアー	木曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
本演習は、器械運動のなかでもマット・鉄棒・跳び箱の種目において、回転・懸垂・跳躍・支持・バランスなど基本的な技の理想型を理解し、それらを習得することを目的としています。それぞれの種目の技を解説しながら紹介しますが、それに挑戦して体得を目指す過程において、自ら調べてレポートにまとめたり、お互いに教え合ったりしながら、技の出来具合について観察力を身につけることも目指します。										
学修到達目標										
器械運動の基本的な技を実施することができる。器械運動の基本的な技のメカニズムを説明することができる。器械運動の基本的な技の練習方法を説明することができる。他の受講生の技の習得を助けることができる。										
授業の進め方										
第二体育館で行います。マット・鉄棒・跳び箱の基本技について説明するので、それらを習得できるよう練習します。技の理想型や練習法などを受講生の技実施映像などからレポートにまとめ、それをもとに練習あるいはグループワークで教えあうなどして進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業内容に関するガイダンス、器具の設置、ストレッチ、倒立	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をするとともに、各器具の安全な設置について説明しながら実施します。実技課題の一つである倒立も実施します。				事前にシラバスを読んでおく。授業後、倒立を練習し、実技課題について調べておく(1時間)。				
2	マット運動の基本系 : 接地系	前転、開脚前転、伸膝前転、後転、開脚前転、伸膝後転について説明・解説します。練習のあとに技量審査をします。				倒立の練習をする。実施した技と次回実施する技について映像などを見てイメージする(1時間)。				
3	マット運動の基本系 : 倒立系	倒立前転や後転倒立、側転について解説し、練習のあとに技量審査をします。				倒立の練習をする。実施した技と次回実施する技について映像などを見てイメージする(1時間)。				
4	マット運動の基本系 : ほん転系	頭跳ね起きや前方倒立回転跳びなどについて解説し、練習のあとに技量審査をします。				倒立の練習。翌週授業日までにマット運動についてレポートを作成しておく(1時間)。				
5	マット運動の基本ト技のおさらい	すべてのマット技についておさらいし、練習のあとに改めて技量審査をします。				倒立の練習。跳び箱運動について映像などを採し、イメージをつける(1時間)。				
6	跳び箱運動の基本紹介・練習	ロイター板の蹴り方や手の着き方について説明します。また、開脚跳び、台上前転、前方倒立回転跳びについて紹介・解説します。各技にトライします。				倒立の練習。実施した技について映像などを採し、イメージをつける(1時間)。				
7	跳び箱運動の基本審査	跳び箱の開脚跳び、台上前転、前方倒立回転跳びについて練習のあと、技量審査をします。				倒立の練習。鉄棒運動について映像などを採し、イメージをつける(1時間)。				
8	鉄棒運動の基本 : 技の紹介・練習	鉄棒の基本的握り方や支持状態あるいはそこからの降り方などを紹介します。また、逆上がり、前方支持回転、後方支持回転、け上がりを紹介・解説します。各技にトライします。				倒立の練習。実施した技について映像などを採し、イメージをつける(1時間)。				
9	鉄棒運動の基本 : 技量審査	鉄棒の逆上がり、前方支持回転、後方支持回転、け上がりについて練習のあと、技量審査をします。				倒立の練習。翌週授業日までに鉄棒運動についてレポートを作成しておく(1時間)。				
10	トランポリン	トランポリンを使った基本的な技を紹介・解説します。一つ一つの技について体験し、練習します。				倒立の練習。実施した技について映像などを採し、イメージをつける(1時間)。				
11	マット、鉄棒、跳び箱の総合練習	各種目のなかでクリアしていない技について、レポートに書いた方法を駆使して練習します。適宜技量審査を受けていきます。				倒立の練習。共有フォルダの受講生の技実施映像などを見て、技の練習法を考える(1時間)。				
12	練習方法の実践・検討	レポートにあった練習方法について一つ一つ実践し、それについての意見交換をしながら効果的な練習方法について検討します。				倒立の練習。共有フォルダの受講生の技実施映像などを見て、技の練習法を考える(1時間)。				
13	グループ練習	グループを作り、そこに設定したリーダー等を中心として観察、指導、練習します。適宜技量審査を受けていきます。				倒立の練習。共有フォルダの受講生の技実施映像などを見て、技の練習法を考える(1時間)。				
14	グループ練習	グループを組み直して設定したリーダー等を中心として観察、指導、練習します。適宜技量審査を受けていきます。				倒立の練習。共有フォルダの受講生の技実施映像などを見て、技の練習法を考える(1時間)。				
15	グループ練習	少人数のグループを作り、そこに設定したリーダー等を中心として観察、指導、練習します。適宜技量審査を受けていきます。				最終講義日までにレポートを作成する(1時間)。				
テキスト			成績評価の方法・基準							
なし。必要に応じてプリントを配布します。			実技：40% レポート：50% 受講態度：10% S：実技が高い完成度ですべて実施でき、分かりやすく納得性の高いレポートが書け、他の受講生に適切なアドバイスができる。A：実技がほぼ実施でき、図解されたレポートが書け、他の受講生にアドバイスすることができる。B：実技がおおよそ実施でき、レポートに誠実に取り組み、他の受講生を助けることができる。C：実技の多くを実施でき、レポートに誠実に取り組み、他の受講生を助けることができる。(受講態度は評価基準に明記しているとおりです)							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて紹介する。			できる・できないことによる感情を伴いながら個人差が大きく生じる科目です。実際の運動場面を意識して学習を進めてください。事前事後学習をしっかり行って講義に臨んでください。							



科目名	体育実技（陸上競技）		学年学期	3年前期	単位数	1	ナバリング	SL36055	研究室	S-23
担当者	小松 茂美		必修選択	選択	科目種別	実技	アイスア-	火曜日1限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
各種目の特性について理解し、基本的な技術を身につけるとともに、競技会(記録会)運営ができる資質や能力を養うことを目的としています。学校体育で取り上げられる陸上競技の走・跳・投の種目に幅広く取り組み、各種目の初歩的な内容についての指導方法を学び、ルールや審判方法などの運営面についての理解も深めます。また、運動経験を通して陸上競技の本質的な楽しさや、安全な学習活動の指導方法の工夫についても理解し、実践できるようになることを目的としています。										
学修到達目標										
陸上競技の走・跳・投種目の基本的な身体の使い方について学び、分かり易く説明できるようになる。本講義の運動経験をとおして陸上競技の持つ本質的な楽しさに触れ、初歩的な技術や指導法について理解し、実践できるようになる。										
授業の進め方										
実技だけでなく、指導方法や競技ルールなどの基本的な知識を身につけることを同時に展開していきます。さらに、体育の授業を意識したマネジメント方法について学ぶため、競技運営上の問題点についても触れていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	基本的な身体の使い方	オリエンテーション 授業計画について概略を説明します。また、ウォーミング・アップ及び、歩と走の基本的な動きについて、実践しながら学びます。					レポート提出準備: 本時のまとめ(1時間)			
2	短距離走	短距離走の基本的な動きづくり 基本的な動きと練習法、腕振りの重要性について理解し、実践しながら学びます。スタートについても理解を深めます。					事前学習: 走運動の動き レポート提出準備: 本時のまとめ(1時間)			
3	短距離走	短距離走の基本的な組み立てについて スタートからゴールまでの走り方について理解し、実践しながら学びます。					事前学習: 100m走の走り方 レポート提出準備: 本時のまとめ(1時間)			
4	リレー	バトンパスについて バトンパスの技術と理論(タイムロスの少ないバトンパスについて)を理解し、実際にリレー競技に取り組み実践しながら学びます。					事前学習: タイムロスの少ないバトンパス/1回~4回の授業レポート作成/(2時間)			
5	中長距離走	中・長距離走の基本 短距離走との走法の違いについて、呼吸法やペース配分について理解します。また、インターバルトレーニングを実際に体験します。					事前学習: 長距離を走る時の呼吸法/レポート提出準備: 本時のまとめ/(1時間)			
6	障害走	障害走の基本 ハードリング技術の基本動作(踏切動作、着地動作、踏切から着地まで)について実践し、安全なハードル走の指導についても学びます。					事前学習: ハードリングの技術 レポート提出準備: 本時のまとめ(1時間)			
7	障害走	障害走の基本 リズムカルにインターバルを走るために必要なポイントを理解し、実践し、その指導法についても学びます。					事前学習: ハードル走で陥りやすい技術的欠点/レポート提出準備: 本時のまとめ/(2時間)			
8	障害走	リズムカルにインターバルを走るために、各自の課題克服に取り組み、具体的な指導法や練習法について学びます。					事前学習: ハードル走で陥りやすい技術作成点/5回~8回の授業レポート提出/(2時間)			
9	走幅跳	走幅跳の踏切動作 基本的な踏切動作及び跳躍走の基本について理解し、実践しながら学びます。					事前学習: 遠くへ跳ぶための踏切動作の基本/レポート提出準備: 本時のまとめ/(1時間)			
10	走幅跳	走幅跳の助走と空中姿勢 助走(踏切板で踏切るために)、空中動作及び着地動作について理解し、実践しながら学びます。					事前学習: 踏切板で踏み切るための助走法/レポート提出準備: 本時のまとめ/(1時間)			
11	走高跳	走高跳(背面跳)の助走と踏切動作 踏切動作の基本及び助走の基本的な考え方について理解し、実践しながら学びます。					事前学習: 背面跳の助走の理論 レポート提出準備: 本時のまとめ(1時間)			
12	走高跳	走高跳(背面跳)の空中動作と着地動作 空中動作と着地動作について実践しながら、その指導法も含め学びます。					事前学習: ケガをしない背面跳の着地動作/9回~12回の授業レポート作成/(2時間)			
13	砲丸投	砲丸投の基本について 基本的な投擲動作(グライド、突き出し)について理解し、身体の使い方を実践しながら学びます。					事前学習: 砲丸投の身体の使い方 レポート提出準備: 本時のまとめ(1時間)			
14	円盤投ほか	円盤投やジャベリックスローの基本について 基本的な投擲動作について理解し、身体の使い方を実践しながら学びます。					事前学習: 円盤投の基本 レポート提出準備本時のまとめ(2時間)			
15	模擬競技会(記録会)まとめ	記録会: 競技会形式での記録会の実施(選択した競技種目の自己記録の測定及び他者の記録測定)を通して、競技会運営について学ぶとともに、各種目の技術の修得状況を確認し、まとめとします。					事前学習: 記録測定の基本的なルールの確認/13回~15回の授業レポートの作成(2時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「中学校学習指導要領解説 - 保健体育編 -」文部科学省編(東山書房) ISBN: 9784827814637 (生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領解説 - 保健体育編 -」文部科学省編(東山書房) ISBN: 9784827814811 (生協で購入してください。)					受講態度: 30% 実技: 30% レポート: 40% S: 技術修得度が高く、模範を示しての指導ができ、理論的にも理解できており、期待以上に分かり易く説明・指導できる。A: 指導者として求められる技術修得度であり、基本的な身体の使い方や理論的にも理解できており、十分説明・指導ができる。B: 初歩的な技術は身につけており、基本的な身体の使い方ができ、理論的な理解もできており、説明・指導ができる。C: 理論や基本的な身体の使い方は理解できており、概ね説明・指導ができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「陸上競技指導教本アンダー16・19[初級編]基礎から身につく陸上競技」日本陸上競技連盟著(大修館書店) ISBN: 9784469267471					体調には十分留意してください。将来指導者になることを想定して授業を進めていきますので、受身ではなく、姿勢や態度にも留意して授業に臨んでください。「陸上競技選手としての経験」を講義に活かします。					

科目名	体育実技 A (バレーボール)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	SL26056	研究室	非常勤
担当者	矢崎 律子		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスター			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
バレーボールは、ネット型スポーツの代表格として、わが国においては学校体育にも組み込まれ、生涯スポーツはもとよりプロスポーツとしても人気のスポーツです。本講義では、学校体育および地域指導者としての知識とスキルの習得を目指します。										
学修到達目標										
バレーボール未経験者であっても、コート作り、審判方法、ゲームの基礎まで学修することを目指します。										
授業の進め方										
講義前半では基礎技術と練習方法を、後半ではルールと審判などを学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	バレーボールの基礎	オリエンテーション(授業の進め方)を行います。					シラバスを読んでおくこと(1時間)。			
2	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(1) ボールキャッチ・アンダーハンドパスの技術を習得します。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
3	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(2) アンダーハンドパス・オーバーハンドパスの技術を習得します。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
4	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(3) サーブの技術を習得します。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
5	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(4) サーブカット・トスの技術を習得します。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
6	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(5) スパイクの技術を習得します。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
7	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(6) スパイクの技術を習得し、ルールと審判の基礎について学びます。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
8	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(7) スパイク・ブロックの技術の修得、ルールと審判についての理解を深めます。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
9	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(8) スパイク・ブロックの技術の修得、ルールと審判の実際をゲームを通じて体験します。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
10	バレーボールの応用	ゲームの実際(1) ローテーション・チーム戦術を意識しながらゲームを行います。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
11	バレーボールの応用	ゲームの実際(2) ルールと審判を意識しながらゲームを行います。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
12	バレーボールの応用	ゲームの実際(3) ルールと審判を意識しながらゲームを行います。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
13	バレーボールの応用	ゲームの実際(4) ルールと審判を意識しながらゲームを行います。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
14	バレーボールの応用	ゲームの実際(5) ルールと審判を意識しながらゲームを行います。					事後:バレーボールノートを作成すること(1時間)。			
15	バレーボールの応用	ゲームの実際(6) ルールと審判を意識しながらゲームを行います。					事後:バレーボールノートを作成すること。まともをしておくこと(1時間)。			
テキスト					成績評価の方法・基準					
講義内で適宜プリントを配布して進めます。					実技:40% 出席レポート:30% 定期試験:30% 受講態度:実技運営協力姿勢があるか、危険行為を回避しているか、チームのメンバーとして協働しているかを問います。レポート:講義ごとに作成してもらったノートの提出、記述内容を問います。定期試験:講義内で配布する事項を理解しているかを問います。 上記ポイントについて、90%以上到達は「S」、80%以上到達は「A」、70%以上到達は「B」、60%以上到達は「C」として評価します。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
別途指示します。					積極的な学習姿勢を望みます。「できた」という体験の積み重ねにより、バレーボールをより好きになってくれたならうれしいです。					

科目名	体育実技 B1 (テニス) 中島弘クラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SL16057	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスター	火曜日2限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある。				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本授業では、テニスの基礎的技術の習得およびゲームを楽しむためのルールの理解と試合の進め方の習得を目指します。また、ゲームにおける基礎的な戦術についても理解し、「身体」でのプレーによる楽しみから、考えてプレーすることの楽しみも味わいます。										
学修到達目標										
グリップの握り方からフォアハンドストローク、バックハンドストローク、サービス、ボレーなどの技術習得と自らがゲームを進めることができるようにルールおよびコールの仕方を学習します。また、如何にコートを有効に使うか、そして、打ち方、ボールの回転、打点、ポジション等によってボールのコースがどの様に決まってくるかという法則性を学んでいきます。										
授業の進め方										
ペアー、またはグループで相互に助け合いながら、技術および知識の習得を目指します。基本技術の学習後、ゲーム形式の学習に展開して行きます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	本講義の概要と進め方について理解します。					グリップの握り方について調べてきましょう。(1時間)			
2	フォアハンドストローク	用具になれると共に、フォアハンドストロークの基礎的技術を習得します。					フォアハンドストロークのポイントについてまとめてきます。(1時間)			
3	バックハンドストローク	バックハンドストロークの基礎的技術を習得を習得します。					バックハンドストロークのグリップについてまとめてきましょう。(1時間)			
4	ボールコントロール	サービスエリア内ラリーを中心とした練習を展開し、面、打点、ボールの回転、ステップについて学んでゆきます。					面、スイング方向、スイングスピードとボールの軌道についてまとめてます。(1時間)			
5	楽にボールを打とう	半面ラリーを中心とした練習を展開し、体重移動、腰の回転を意識してボールを打つことを学習します。					力を入れなくとも楽にボールを打つためには、何が大切かを考えましょう。(1時間)			
6	サービス	サービスの基本技術を学習します。					サービスの種類と打ち方についてまとめてます。(1時間)			
7	ボレー	フォアハンドボレー&バックハンドボレーについて基礎的技術を学習します。					フォアハンドのポイントについてまとめてます。(1時間)			
8	スマッシュ	スマッシュの基本的技術について学習します。					スマッシュを打つときのグリップと打点についてまとめてます。(1時間)			
9	ミニゲーム	ゲームのすすめ方とコールの仕方について学習します。					ゲームのすすめ方についてまとめてきます。(1時間)			
10	ダブルスのミニゲーム	ダブルスでの2ゲームマッチを行いゲームに慣れます。					コールの仕方についてまとめてきます。(1時間)			
11	ダブルスのミニゲーム(2)	ダブルスでの3ゲームマッチを行いながら、ポジションと配球について考えます。					ダブルス時のポジションについて調べてきます。(1時間)			
12	シングルのミニゲーム	シングルでの3ゲームマッチを行いながら、ポジションと配球について考えます。					シングルスでのつなぎ、つくり、決め球についてまとめてます。(1時間)			
13	チーム対抗戦	チームを作り、団体戦を行います。団体戦を通してお互いにアドバイスをしながらスキルの向上を図り、目標に向かって協力しあうことの素晴らしさを味わいます。					チームで勝つためには何が必要かを考えます。(1時間)			
14	チーム対抗戦(2)	団体戦を通してお互いにアドバイスをしながらスキルの向上を図り、目標に向かって協力しあうことの素晴らしさを味わいます。					チームにはどのような役割があり、その中で自分がどのような役割を果たし方を考えます。(1時間)			
15	まとめ	スキルチェック&まとめ					打点と身体の使い方についてまとめてましょう。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「硬式テニス」丸山薫著(池田書店)(別途、指示します。)					受講態度:20% 実技:70% 小テスト:10% 受講態度は、授業への積極的参加、行動、協力的態度、準備、片付け等について評価します。実技テストを行いません。S:95点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「硬式テニスの基本と練習法」塚越巨著(東西社)					ラケットは大学で用意するが、技術の向上の為に自分のラケットを用意すると良い。服装は、運動着を着用するものとする。靴は、運動靴でそこが平らなものであればよいが、テニスシューズを用意することが望ましい。					

科目名	体育実技 B 1 (テニス) 河野クラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SL16057	研究室	C-2	
担当者	河野 史倫	必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ	月曜日5限			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある。					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読書科目)						
		A	B	C						
授業概要										
テニスの基礎的技術の習得およびゲームを楽しむためのルールの理解と試合の進め方の習得を目指します。また、ゲームにおける基礎的な戦術についても理解し、「身体」でのプレーによる楽しみから、考えてプレーすることの楽しみも味わいます。テニス未経験者に教えることができるよう、技術や練習のやり方を習得します。										
学修到達目標										
各種ショットの技術、ルール、コート上でのマナーを習得し、ゲームを楽しめるようになることを到達目標とします。また、サーブやラリーを成功させゲームやポイントの内容を高めることができるだけでなく、回転や打ち分けを使って戦術的なプレーができるようになることが最終的な達成目標です。										
授業の進め方										
クラス内でチームを作り練習ならびに団体戦形式の試合を行います。単発的な練習から徐々に対人練習や戦術パターンの展開などの練習に発展させていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	授業全体の流れと評価の説明、チーム分けを行います。					コートの名称やルールについて調べる。(1時間)			
2	ラケットワークとミニラリー	ラケットを使った基本的な操作技術を練習します。					事後学習としてラケットワークの練習を行っておく。(1時間)			
3	フォアハンドストローク	フォアハンドストロークの技術練習を行います。					事後学習として打ち方の練習を行っておく。(1時間)			
4	バックハンドストローク	バックハンドストロークの技術練習を行います。					事後学習として打ち方の練習を行っておく。(1時間)			
5	打ち分け	フォアハンド、バックハンドの両方を使って左右に打ち分ける練習を行います。					事後学習として打ち方の練習を行っておく。(1時間)			
6	ラリー	対人でのラリーおよびポイントゲームを行います。					対人でのラリーに十分に慣れるよう事後学習を行う。(1時間)			
7	サーブ	サーブのルールやグリップ、基本的な打ち方を練習します。					事後学習として打ち方の練習を行っておく。(1時間)			
8	サーブ&レシーブ	1stサーブと2ndサーブの打ち分け、レシーブからの展開を練習します。					事後学習としてサーブが入るように練習を行っておく。(1時間)			
9	ボレーとポーチ	ダブルスの基本戦術：雁行陣でのラリーとポーチのためのボレー練習を行います。					事後学習としてボレー練習を行っておく。(1時間)			
10	ダブルス	ゲーム形式でプレーし、ゲームの進め方、ポイントの取り方を習得します。					事後学習としてビデオなどで試合を閲覧しルールを確認する。(1時間)			
11	チーム対抗戦(練習)	ダブルスゲームによる団体戦を行います。					苦手なショットの練習を行っておく。(1時間)			
12	チーム対抗戦1	ダブルスゲームによる団体戦を行います。					苦手なショットの練習を行っておく。(1時間)			
13	チーム対抗戦2	ダブルスゲームによる団体戦を行います。					苦手なショットの練習を行っておく。(1時間)			
14	チーム対抗戦3	ダブルスゲームによる団体戦を行います。					苦手なショットの練習を行っておく。(1時間)			
15	技術の確認	各ショットの正確性やラリーの技術を試験します。					与えられた課題についての練習を行っておく。(1時間以上)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
使用しません。		受講態度：20% 実技：80% 受講態度は、授業への積極性、コートでの立ち振る舞い方、練習量などで評価します。テニス経験者は、チーム内での協調性や技術的サポートの姿勢も評価します。 S：Aの中でも、特に上達が著しかった者。 A：Bの条件に加え、ゲームで戦術を実践できる。 B：Cの条件に加え、ラリーを長く続けることができる。 C：基本ショットの打ち方を習得し、自立してゲームを進めることができる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
使用しません。		テニスは生涯スポーツとしての人口が多いスポーツです。楽しみ方を覚えて、健康やコミュニケーションのためのツールとして活用できるようになってほしいと考えています。								

科目名	体育実技 B2(卓球)		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SL16058	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ	火曜日2限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある。				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読習科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講は、卓球における基本的知識、技術、ルール、マナー、またその考え方について学び、卓球を指導する上での基本的技術の習得を目指します。また、ゲームするなかで自らの課題を発見し、その課題解決のための練習に取り組みながら、駆け引きができるゲームの楽しさを目指します。是非、ゲームを楽しみながら卓球の知識・技術などを習得して欲しいと思います。										
学修到達目標										
卓球における基本的知識、技術、ルール、マナーについて学び、説明できるようにします。技術的には、リズム良くドライブでのラリーが続けることができる技術の習得を目指します。										
授業の進め方										
本授業は、隔年開講です。分習法と全習法を織り交ぜながら、自らの課題を常に認識しながら、技術の向上を図ることを目指します。ペア、またはグループで相互に助け合いながら、技術および知識の習得を目指します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	本授業の進め方について説明します。					ラケットの握り方について調べてくる。(1時間)			
2	用具に慣れる	ラリーをすることによって、ボールと用具に慣れます。ラケットの握り方、構え、フットワークについて学びます。					構えとフットワークについて調べてくる。(1時間)			
3	フォアハンド	フォアハンドの基本を学びます。多球練習で多くのボールを打ち、面、打点、スイングの仕方、フットワークについて学びます。					フォアハンドのポイントについて調べてくる。(1時間)			
4	バックハンド	バックハンドショットの基本を学びます。多球練習で多くのボールを打ち、面、打点、スイングの仕方、フットワークについて学びます。					フォアハンドショットのポイントについて調べてくる。(1時間)			
5	サーブ&サーブレシーブ	サーブのルールと打ち方、サーブレシーブについて学びます。					サーブのルールについて調べてくる。(1時間)			
6	ツッツキ	ツッツキの打ち方を学びます。					ツッツキの打ち方のポイントについて調べてくる。(1時間)			
7	フォアハンドドライブ	フォアハンドドライブの打ち方を学びます。					フォアハンドドライブの打ち方のポイントについて調べてくる。(1時間)			
8	カット	カットの打ち方を学びます。					カットの打ち方のポイントを調べてくる。(1時間)			
9	スマッシュ	スマッシュの打ち方を学びます。					スマッシュの打ち方のポイントについて調べてくる。(1時間)			
10	シングルのゲーム	シングルのルールを覚え、リーグ戦を行います。3球目攻撃を意識します。					シングルのルールを調べてくる。(1時間)			
11	シングルのゲーム(2)	シングルのリーグ戦を行います。つなぎ、つくり、決め球を意識します。					つくりのパターンを復習する。(1時間)			
12	ダブルスのゲーム	ダブルスのルールを覚え、リーグ戦を行います。					ダブルスのルールを調べてくる。(1時間)			
13	ダブルスのゲーム(2)	ダブルスのリーグ戦を行います。コンビネーションを意識して行います。					パートナーの生かし方について復習する。(1時間)			
14	団体戦	チームを作り団体戦を行います。リーグ戦をします。					チームとして勝つためには何をしたら良いかを考えてくる。(1時間)			
15	団体戦&まとめ	団体戦のリーグ戦を行います。					チームの中で自分はどういう役割を果たしたか考える。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
必要に応じて資料を配布します。					受講態度:10% 実技:70% 小テスト:10% 課題:10% 受講態度は、授業への積極的参加、行動、協力的態度、準備、片づけ等について評価します。実技テストを行いません。s:95点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上。実技テストはラリーの回数、質で評価します。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「卓球 基本と練習メニュー」大江正人監修著(池田書店) ISBN:978-4-262-16323-9					授業に積極的に取り組み、課題達成に向けて、自ら楽しむことを期待します。運動服、体育館シューズを用意して下さい。					

科目名	体育実技 C (バドミントン)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	SL16059	研究室	S-15	
担当者	山本 薫		必修選択	選択	科目種別	実技	ウイスキー	火曜日3限、火曜日4限			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C							
授業概要											
本授業では多様な技術の獲得・向上を図ることを目指し、バドミントンの主要な攻撃技術であるスマッシュ、サーブやレシーブ技術についてもラリーの中で使えるようになる為の練習を中心に計画的に授業を積み重ねます。また、その成果確認のために、あるいは実践を通して相手との駆け引きを学ぶためにミニゲームを行い、学習の成果としてチーム総当たりのリーグ戦を行います。さらにチーム戦を通して各技術の練習やゲーム運営などについてグループ内で協力・協働して自ら学びます。											
学修到達目標											
本授業の学習到達目標は、まずスマッシュが打てるようになること、試合を組み立てるために必要な諸技術について獲得・向上させ試合の中で使えるようになることです。そのために、メンバー間で工夫して積極的に教え合い、練習準備を協力・協働して行うことも到達目標にします。											
授業の進め方											
授業は、前半部では技術練習を中心に、後半部ではその成果の確認とチームでの試合運びも含めゲームに重点をおいて展開します。また、準備方法や安全配慮なども含め指導者として最低限必要なルールとマナーを学習します。レポートも課します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	本授業の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。					前:シラバスをよく読んでおく。後:バドミントンの技術について調べておく。(1時間)				
2	実技の進め方の確認	体育館に集合し、コート数や用具の収納されている倉庫の場所、準備運動や教員からの連絡方法、貴重品や持ち物の扱い方に関する注意事項等を確認し、以降の授業の円滑な進行を図ります。					前:専用ウエアー・シューズを用意する。後:授業終了時に指示する。(1時間)				
3	スマッシュの練習(1)	スマッシュの打ち方について、シャトルを捉える位置と高さ、ラケットの面の作り方などを説明した上で、二人一組で打ち合います。その際、気づいたことについて積極的に声を掛け合うようにします。					前:スマッシュの打ち方について調べておく。後:スマッシュを打つ際の注意点を復習する。(1時間)				
4	スマッシュの練習(2)	ラリーの中でスマッシュを打てるようになります。その際、落ちてくるシャトルがラケットを持つ側の肩の上にくるよう、ポジショニングを重視します。上手いかわりに者にアドバイスしより多く打たせます。					前:スマッシュの打ち方をイメージしてやる。後:授業終了時に指示する。(1時間)				
5	スマッシュの練習(3)	ラリーの中でスマッシュをより上手く打てるようになるよう、繰り返し練習します。その際、シャトルの飛び方からラケット面の作り方をフィードバックし調整していきます。併せて、レシーブの練習もします。					前:シャトルの落下点と打点をイメージしてみる。後:授業終了時に指示する。(1時間)				
6	ドロップの練習	スマッシュと同じ姿勢から、打つ瞬間に力を抜くドロップを学びます。レシーブ側のタイミングを外す技術は、攻撃バリエーションを増やすので、力の抜き方とラケット面の作り方を中心に練習します。					前:ドロップの打ち方について調べる。後:ラケット面の作り方を復習練習する。(1時間)				
7	サーブ・ヘアピンの練習	次回以降の練習ゲームに備えてサーブを練習します。サーブを打つ順番、打つ場所、サーブに対する守側の位置取りなどを中心に意識して繰り返し練習します。					前:サーブの方法について調べておく。後:授業終了時に指示する。(1時間)				
8	練習・確認ゲーム	これまで練習してきたスマッシュ、ドロップ、サーブなどを実際のゲームの中で使ってみます。ダブルスゲームに慣れると共に、異なるフォーメーションを確認練習し、技術向上に取組みます。					前:ダブルスの進行方法を確認しておく。後:ゲームを基に練習課題を確認する。(1時間)				
9	グループ別練習	前回の練習・確認ゲームを基にグループ別に練習を行います。リーダーを中心にメンバー間でよく話し合っ練習内容を決めます。またバドミントンの練習方法に関するレポートを提出します					前:本時の練習内容について考レポート課題を作成。後:課題について調べる。(1時間)				
10	リーグ戦(1)	これまでの総仕上げとしてチーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのない者は、ルール学習を踏まえて審判を行います。また、ゲームの前後ではチーム別に練習します。					前:ダブルスの組み合わせを検討する。後:次時のゲーム前練習を相談しておく。(1時間)				
11	リーグ戦(2)	これまでの練習の総仕上げとしてチーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのない者は、ルール学習を踏まえて審判を行います。また、ゲームの前後ではチーム別に練習します。					前:ダブルスの組み合わせを検討する。後:次時のゲーム前練習を相談しておく。(1時間)				
12	リーグ戦(3)	これまでの練習の総仕上げとしてチーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのない者は、ルール学習を踏まえて審判を行います。また、ゲームの前後ではチーム別に練習します。					前:ゲーム前の練習内容を確認しておく。後:レポート課題の執筆を進める。(1時間)				
13	リーグ戦(4)又はトーナメント	これまでの練習の総仕上げとしてチーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのない者は、ルール学習を踏まえて審判を行います。またゲームの前後ではチーム別に練習します。					前:ゲーム前の練習内容を確認しておく。後:本時のゲームについて分析してみる。(1時間)				
14	リーグ戦(5)又はトーナメント	これまでの練習の総仕上げとしてチーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのない者は、ルール学習を踏まえて審判を行います。またゲームの前後ではチーム別に練習します。					前:ゲーム前の練習内容を確認しておく。後:本時のゲームについて分析してみる。(1時間)				
15	リーグ戦又はトーナメント(まとめ)	リーグ戦の総まとめとして自身とチームメイトのプレーについて振り返りを行います。終了後、まとめとして課すレポートの確認を含め本授業の反省を行います。					前:本実技の内容をまとめておく。後:本授業のレポートを執筆、提出する。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
テキストは使用せず、必要に応じて資料を配付して進めます。			受講態度:70% 課題:20% 実技:10% 成績評価は、上記3つの要素を中心に総合的にを行います。評価基準は次のとおりです。S:積極的に練習に取り組み、獲得技術を適切に使い、他のメンバーに教えるなど指導力を発揮できる。A:積極的に練習に取り組み、獲得技術を適切に使い、他のメンバーと協力して取り組むことができる。B:毎時積極的に練習に取り組み、獲得技術をほぼ使うことができる。C:毎時練習に取り組み、獲得技術をやや使うことができる。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特に指定しませんが、図書館で閲覧したりインターネット等を活用して積極的に調べて下さい。			不注意からの事故を防ぐために、全員が周囲に注意しつつプレーに積極的に仲間と楽しく参加して下さい。また事前学習の一端として、バドミントン動画等を意識的に視聴し、イメージを豊かにしておいて下さい。								

科目名	体育実技 A (バスケットボール)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	SL26060	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ	月曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
バスケットボールに関する基礎的な知識と基本技術(シュート、ドリブル、パス、ディフェンスなど)を獲得し、その上でチームプレーの構築と理解を図ります。まずは少人数からの練習を行い、その上で集団での戦術向上を図ります。毎回、個人技術練習とミニゲームを行いながら、仲間とのコミュニケーションを深めます。また、バスケットボールのルールを理解し、履修者全員がゲームの審判やオフィシャルを出来るようにします。										
学修到達目標										
汗をかくという爽快感を体験しながら、バスケットボールに関する基礎的な知識、技術、戦術、ルールなどを習得することを目標とします。										
授業の進め方										
個人技術の基本説明と練習と、チームプレーの構築と理解を、少人数からの練習を通して身につけていきます。各自がチーム内で積極的に動き役割を果せるように試合時間を多くとり、後半のリーグ戦の際には学生諸君が中心に審判やオフィシャルの運営を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。さらに、2回目以降のグループ分けを行い、ルール解説をします。				バスケットボールでのルールについて各自で調べておくこと(1時間)				
2	個人技能	ボールハンドリング、パス、ターンの方法を解説し実践します。				基本的なストップ&ステップ、各種パスのポイントを復習しておくこと(1時間)				
3	個人技能	ボディコントロール、パス、ドリブルの方法を解説し実践します。				ドリブル、パスを片手で左右同時にスムーズにできるようにしておくこと(1時間)				
4	シューティング	レイアップ、ジャンプシュートを中心にバリエーションドリルの方法を解説し実践します。				左右でレイアップシュートができ、ジャンプシュートが打てるようにしておくこと(2時間)				
5	オフェンス	1対1の攻防、2対2の攻防、ハーフコート・ゲームの方法を解説し実践します。				シュートでフィニッシュできるようにパスング、ドリブルのスキルを確認しておくこと(1時間)				
6	オフェンス	2対2の攻防、3対4の攻防、ハーフコート・ゲームの方法を解説し実践します。				スクリーンプレーにおけるルール、インサイド及びアウトサイドのパターンを調べる(1時間)				
7	マンツーマンディフェンス	対人防御と対人防御に対する攻撃法の方法を解説し実践します。				ディフェンスの基本姿勢について復習し、マンツーマンディフェンスの特徴を調べる(1時間)				
8	ゾーンディフェンス	地域防御と地域防御に対する攻撃法の方法を解説し実践します。				ゾーンディフェンスの各パターンの特徴を調べておくこと(1時間)				
9	ファーストブレイク	速攻攻撃法、簡易ルールによるゲームの方法を解説し実践します。				攻守の切替を素早くできるようにターン及びドリブル、パスングの練習をしておくこと(1時間)				
10	フルコートゲーム	第1リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。				ディフェンスのチーム・ルールの確認をしておくこと(1時間)				
11	フルコートゲーム	第2リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。				ディフェンスのチーム・ルールが徹底されていたか、本日のゲームを分析しておくこと(1時間)				
12	フルコートゲーム	第3リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。				前回のゲームの課題をチーム内で共有し課題克服のために何をすべきかを明らかにする(2時間)				
13	フルコートゲーム	第4リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。				オフェンス・プレーのタイミングの合わせなどをチームで練習しておくこと(2時間)				
14	フルコートゲーム	第5リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。				多彩なオフェンスパターンが展開できるようにチーム練習をしておくこと(2時間)				
15	まとめ	左右のドリブル及びターン、レイアップシュートとジャンプシュートについての個人技能の習得度についての発表の機会を設け、実技評価とします。				利き手ではないドリブル及びシューティングの練習を特に行っておくこと(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に合わせてポイントを記したプリントを用意します。				レポート:20% 実技:40% 課題:40% S:高度な技術と理論を習得するための課題等に極めて積極的に取り組み、高度な成果を示している。A:高度な技術と理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、良好な成果を示している。B:基本的な技術と理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、2/3程度の成果を示している。C:基本的な技術と理論を習得するための課題等に取り組み、1/2程度の成果を示している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「バスケットボールのルールと審判法」(大修館)				保健体育教職資格取得を目指す以上、常にその自覚を持って授業に臨んでください。第一体育館で毎回行いますが、必ず運動着に着替え、室内シューズに履き替えておくこと。						

科目名	体育実技 B(サッカー)一般クラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SL16061	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ	水曜日1限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、サッカーを通じた身体活動の面白さを体験することを目的とします。また、ボールをコントロールするために手以外の体を合理的に使うサッカー独自の運動特性を理解し、生涯にわたってサッカー(スポーツ)を楽しむことができるような下地をつくります。さらに、様々なトレーニングを自らが体験し、効果的な指導方法を学びます。なお、日本サッカー協会指導者ライセンス(公認C級コーチ)の取得を希望する学生は、別途開講されている講義を受講してください。										
学修到達目標										
パス、トラップ、リフティングおよびドリブル等の基本技術の練習から、戦術練習へ発展させ、最終的にはゲームを成立させるようになることを到達目標とします。また、サッカーに関する専門的な知識やその指導方法を身につけることも目標です。										
授業の進め方										
講義の前半は、身体を動かす練習やリフティングを行います。次に、足でボールを扱うパス、ドリブル、シュート等の技術練習を行い、講義の後半はゲームを行います。講義は大学に隣接する松商学園総合グラウンド(人工芝)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	ガイダンス:授業参加に際しての注意事項等について解説を行います。				日頃からサッカーに興味を持ち、様々なメディアを通じた情報収集を行ってください。(1時間)				
2	サッカーの動きに慣れる	サッカーの動きに慣れることを目的としたステップ練習や、様々なゲームを通じたコーディネーション能力を高めるためのトレーニングについて解説し、体験的に学びます。				各自でステップ等の復習を行う。また、学んだトレーニング方法等についてはまとめる。(1時間)				
3	インサイドパス	技術練習(1) インサイドパスの基本技術について解説し、体験的に学びます。				各自でインサイドパスの復習を行い、そのポイントをまとめておく。(1時間)				
4	トラップ	技術練習(2) トラップの基本技術について解説し、体験的に学びます。				各自でトラップの復習を行い、そのポイントをまとめておく。(1時間)				
5	インステップキック	技術練習(3) インステップキックの基本技術について解説し、体験的に学びます。				各自でインステップキックの復習を行い、そのポイントをまとめておく。(1時間)				
6	ドリブル	技術練習(4) ドリブルの基本技術について解説し、体験的に学びます。				各自でドリブルの復習を行い、そのポイントをまとめておく。(1時間)				
7	シュートの基本技術	技術練習(5) シュートの基本技術について解説し、体験的に学びます。				各自でシュートの復習を行い、そのポイントをまとめておく。(1時間)				
8	ヘディング	技術練習(6) ヘディングの基本技術について解説し、体験的に学びます。				各自でヘディングの復習を行い、そのポイントをまとめておく。(1時間)				
9	攻撃	戦術練習(1) 攻撃の方法について解説し、体験的に学びます。				様々なメディアを通じて攻撃シーンの情報収集を行う。(1時間)				
10	守備	戦術練習(2) 守備の方法について解説し、体験的に学びます。				様々なメディアを通じて守備シーンの情報収集を行ってください。(1時間)				
11	連携	戦術練習(3) サッカーにおける連携の重要性について解説し、体験的に学びます。				様々なメディアを通じて連携シーンの情報収集を行う。(1時間)				
12	制約付きゲーム	ゲーム(1) 5対5のゲームを体験します。				様々なメディアを通じて、試合観戦を行ってください。(1時間)				
13	制約付きゲーム	ゲーム(2) 5対5のゲームを発展させ、8対8のゲームを体験します。				様々なメディアを通じて、試合観戦を行ってください。(1時間)				
14	フルコートゲーム	ゲーム(3) 5対5、及び8対8のゲームを発展させ、11対11のゲームを体験します。				様々なメディアを通じて、試合観戦を行ってください。(1時間)				
15	フルコートゲーム	ゲーム(4) 第14回に引き続き、11対11のゲームを体験します。				様々なメディアを通じて、試合観戦を行ってください。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じてプリントを配布します。				受講態度:80% レポート:20% リフティングの実技試験(受講態度に含む)があります。規定された回数をクリアすることが単位修得の最低条件となります。S:強い向上心をもって積極的に授業に参加をし、技術面においても大きな成果があった。A:強い向上心をもって積極的に授業に参加をした。B:向上心を持って授業に参加をした。C:積極的に授業に参加をした。なお、受講態度は授業内における課題等に取組む姿勢により評価します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて紹介します。				運動するために適した服装(スポーツウェアやシューズ(スパイクは不可)等)を各自で用意してください。また、天候等の理由でグラウンドが使えない場合は体育館でトレーニング、もしくは教室にて座学を行うことがあります。						



科目名	体育実技V B (サッカー) 資格取得コース		学年学期	1年通年	単位数	1	ナパ'リング	SL16061	研究室	非常勤
担当者	飽田 敏		必修選択	選択	科目種別	実習	ワイスアワ-			
関連資格					履修条件	公認C級コーチ資格取得を目指す者。サッカー経験の有無、男女を問わない。				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
<p>(公財)日本サッカー協会公認C級コーチの資格取得ができるコースです。  実技14単位時間、講義14単位時間、夏休み中に集中講義方式で2日間(8単位時間)を実施します。  実際の時間構成については、ガイダンスで説明します。公認資格取得を目指す者は、テキスト代(¥11,880)、JFA受講料(¥2,200)が必要となります。</p>										
学修到達目標										
<p>サッカー指導者として、ゲーム中に的確に指導できるようになるために、ゲームやプレーを分析し、実際のトレーニングの計画を立てられるようになり、それをコーチングできるようになることを目標とします。あわせて、指導者としてのあり方について理解し、アマチュアレベルの指導者としての基礎を理解します。</p>										
授業の進め方										
<p>サッカーを指導する上で必要な知識について講義とディスカッションで深め、サッカー指導技術についてゲームとレクチャー形式の実技により学び、最終的には実際に指導実践を行って指導者として必要な知識・技能を身につけます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	講義0(授業ガイダンス)	本科目を受講する上で必要な事項に加え、コースの全体的な予定と準備事項について確認します。					シラバスを熟読すること(1時間)			
2	講義(コースガイダンス)	コースの全体像を確認するとともに、サッカーにおける指導者養成事業の目的や内容について説明します。					該当部分のテキストを読みまとめる(1時間)			
3	実技(ゲーム)	受講者を3または4グループにわけ、ゲームを行い、お互いにゲームを観察して気づいたことをまとめ次時の「分析」につなげます。					ゲームを観察してよかった点、さらに良くしたい点をできるだけ多く箇条書きにする(1時間)			
4	講義(分析)	ゲームを観察した「気づき」をもとに、分析の目的と分析の観点、分析の種類を確認し、プレーの原則に従って「気づき」として出た内容を整理します。					ディスカッションで分類されたものをまとめておく。			
5	実技(技術)	キック・ヘディング、コントロール、について、レクチャー形式で確認します。ゲームの観察をする中で、基本技術について分析します。					基本技術習得のために指導者がサポートできるものは何かについてまとめる。(1時間)			
6	講義(分析)	サッカーの本質とは何かを確認し、前回講義で分析を分類した内容を、あらためてサッカーの本質プレーの原則から分類・整理し直します。					基本技術による分析についてテキストを読む(1時間)			
7	実技(技術)	ドリブル・守備について、ゲームの中でテーマに即したコーチングと、構成要素を確認します。ゲームの観察をする中で、基本技術について分析します。					守備の基本技術についてサッカーの原則からまとめる(1時間)			
8	講義(戦術)	サッカーの攻守における基本戦術について整理して確認します。最初のゲームでの「気づき」を基本戦術に基づいて分析します。					攻撃と守備における基本戦術についてまとめておく(1時間)			
9	実技(戦術)	サッカーの個人戦術(攻守)について、レクチャー形式で2対2を実際にプレーする中で確認します。					攻守の個人戦術について実際にプレーした際の気づきをまとめる(1時間)			
10	講義(戦術)	サッカーの基本戦術による分析を行い、攻撃、守備におけるオン、オフ、エリアによってのプレーについて整理します。					数的状況についてまとめる(1時間)			
11	実技(戦術)	サッカーの個人戦術について、2対2、3対2、2対3を実際にプレーし、数的状況におけるプレーについてレクチャー形式で整理します。					数的優位、数的劣位のプレーについて実際のプレーをみた気づきをまとめる。(1時間)			
12	講義 ゴールキーパー	ここまでの講義、実技の振り返りを行うとともに、ゴールキーパーとそのトレーニングの考え方について説明します。					現代のゴールキーパーが求められていることについてまとめておく(1時間)			
13	実技 ゴールキーパー	ゴールキーパーの指導について、レクチャー形式で実技を行う中で整理します。					実際のオーガナイズと留意点をまとめ、整理する。(1時間)			
14	講義 ブランニング	オーガナイズにより何がどう変わるのかについて、映像や説明を聞いて整理し、指導計画作成につなげられるようにします。					ブランニングに必要な要素についてまとめる。(1時間)			
15	実技 ブランニング	実際のトレーニングを行う中で、獲得させたいことによってオーガナイズを変化させるとどうなるかについて学びます。					オーガナイズの変化によって起きたことのまとめ(1時間)			
16	講義 コーチング	コーチングについて目的、方法、手順について説明します。					実践計画の中で、何をを使うかを考え記入する(1時間)			
17	グループワーク	実践についてガイダンスを行ったあと、テーマに沿って各自作成した指導計画を持ち寄り、4人一組で1つの指導案を作成する。担当を決め、リレーションについても確認して、次時の指導実践に備えます。					各自テーマに添った指導計画の作成持参(1時間)			
18	実技 コーチング	インストラクターが設定したテーマに従い、コーチングデモンストレーションを行います。					コーチングデモの内容についてまとめる(1時間)			

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	実技 指導実践	グループごととに作成した指導計画に従い、グループとして指導実践を行います。	実践のふりかえり1時間)
20	実技 指導実践	前時と同様、グループとして作成した計画に従い、指導実践を行います。	実践の振り返りをまとめておく(1時間)
21	講義 発育発達と一貫指導	実践の振り返りを行うとともに、発育発達と一貫指導について説明します。	実践の振り返りをまとめておく(1時間)
22	講義 チームマネジメント	サッカー指導者としての役割・知識として、マネジメントについて整理、理解します。	講義資料の確認と、該当部分のテキストを読む(1時間)
23	グループワーク	前回実践とは異なるテーマ、異なるグループで実践計画を立案作成します。	各自で指導計画を作成する。(1時間)
24	講義 メディカル	サッカー指導におけるリスク管理の一つとしてメディカルの知識について突然死を防ぐ、熱中症を防ぐ、RICE処置の方法について整理し、説明します。	講義資料の確認と該当部分のテキストを読む(1時間)
25	実技 指導実践	グループで作成した計画に基づき実践を行います。(1グループ)	実践のまとめをする。(1時間)
26	実技 指導実践	グループで作成した計画に基づき実践を行います。(1グループ)	実践のまとめ
27	講義 サッカーの競技精神	実践の振り返りとサッカーの歴史、競技精神について説明します	実践の振り返りとルールについてまとめる(1時間)
28	実技 指導実践	グループで作成した計画に従い、指導実践を行います。	実践の振り返りをまとめる(1時間)
29	講義 指導実践の振り返り	ディスカッション形式で、グループの実践について振り返り、トレーニングのチェックリストを元に評価して発表します。	今までの講義のおさらい(1時間)
30	講義 今後に向けて	今後、サッカーの指導者およびプレーヤーとして活動していくことについて考えを深めます。公認指導者としての権利と義務について確認します。	講義資料の確認と該当部分のテキストを読む(1時間)
テキスト		成績評価の方法・基準	
日本サッカー協会の指導者テキスト(¥11,880)を使用します。受講決定後、発注します		受講態度:30% 定期試験:20% 実技:50% 受講態度30%にはレポート提出、実技を含みます。定期試験(筆記試験)20%、実技50%の実技とは「指導の実践」(実際の指導)の事です。授業におけるサッカー実技の技能は受講態度に含まれます。 全ての講義・実技を受講し、合格しないと資格付与はありません。	
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)	
「しつけと体罰」森田ゆり著(童話館出版) ISBN:978-4-88750-044-C0036 指導者の役割 暴力根絶にかかわる参考図書です。 「言語技術」が日本のサッカーを変える」田嶋 幸三著(光文社新書)		公認指導者の資格を取得するためのコースですが、スポーツ指導に興味がある学生は男女、専門種目を問わず受講できます。	

科目名	体育実技 C(ハンドボール)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	SL16062	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ-	木曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
ハンドボールの基礎知識としてルールの認識 特に他競技との違い(ダブルドリブル、オーバーステップ等)、多様なパスおよびシュートの種類を把握したのちに競技の特殊性を実感して頂くため 実戦形式による実技を重点的に進めていきます。										
学修到達目標										
ハンドボールのルールを把握し、多様なパスやシュートの習得を経て、各ポジションごとのシュートが打てるようにする。様々な攻防をゲーム形式で体験でき、反則行為に対する的確な判断ができる。										
授業の進め方										
基本的にはハンドボールの基本的知識(歴史や正しいルールなど)の理解を深め、実習を通して技術を身に付けていきます。攻防における考え方をディスカッションをとおして学んでいきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ルール解説 他競技(特にバスケットボール)とのルールの違いについて	ウォームアップ、ルール解説、ハンドボールの特殊性について解説し理解を深めます。				ハンドボールの歴史について調べておく。(1時間)				
2	ボールの扱い馴れ	パス、キャッチボールの基本動作について解説し、実習を行います。				ハンドボールの基本動作やルールについて調べておく。(1時間)				
3	多様なパス方法の習得	パスの使い分け(ラテラルパス、プッシュパス、ショルダーパス)について解説し、実技をします。				ハンドボールのパスの使い分け方とその習得方法について調べておく。(1時間)				
4	走りながらのパスを習得するために実技を行います。	ランニングパス、三角パス、四角パスについて解説し、実技をします。				ハンドボールの具体的なパスと場面における有効性について調べておく。(1時間)				
5	スタンダードなシュートを習得するために実技を行います。	各種シュート(ランニング、スタンディング、ジャンプ)について解説し、実技をします。				ハンドボールの各種シュートについて調べておく。(1時間)				
6	フェイントシュートの習得	各種シュート(逆足、両足、ポスト)について解説し、実技を実践します。				ハンドボールのポジション別のシュートの有効性について調べておく。(1時間)				
7	フェイントの考え方・使い方の習得	シュートに有効なステップワークについて解説し、実技を実践します。				ハンドボールの各種ステップワークについて調べ、攻守の切り替えのタイミングを予習(1時間)				
8	ゴールキーパーの役割	ゴールキーパーの役割、考え方、位置取りについて解説し、実技を実践します。				ハンドボールのゴールキーパーについてルールを含めて予習しておく。(1時間)				
9	ウィング、ピボットのシュートの習得	ポジション別シュートの特殊性(バック、ウィング、ピボットプレーヤー)について解説し、今までのシュートなどを踏まえ応用を実践します。				ハンドボールのポジション別の各種シュートを調べ、場面による選択肢について予習(1時間)				
10	走りながらのシュートを習得するために実技を行います。	速攻によるゲーム支配の優位性について解説し、班員でディスカッションを行いながら理解を深めていきます。				ハンドボールの速攻とその有効性について調べておく。(1時間)				
11	実戦形式による攻防の習得	2対1、3対2等人数の優位性について解説し、実技を実践します。				ハンドボールの各場面における優位性について調べておく。(1時間)				
12	実戦形式による攻防の習得	2対1等の数的優位性を作り出すシステムについて解説し、実技を実践します。				ハンドボールの具体的な場面のシステムや動き方について調べておく。(1時間)				
13	実戦形式による攻防の習得	2対2、3対3等同数の実践について解説し、実技を実践します。				ハンドボールの攻防についてイメージを復習し、ルールの再確認を行っておく。(1時間)				
14	実戦形式による攻防の習得	ゲーム形式による攻防について解説し、実技を実践します。				ハンドボールの試合での攻防の流れについて確認をしておく。(1時間)				
15	習得したシュート技術の確認	講義全体のまとめをします。				ランニング、スタンディング、ジャンプ、両足ワンクロス、アウトインの5種類のシュート(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
なし				受講態度:70% 実技:30% 受講態度は取り組み姿勢、出席回数などを評価します。実技試験では授業のプロセスの中で身につけたスキルを評価します。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「2010年度 ハンドボール競技規則」(日本ハンドボール協会) 「イベント ハンドボール」(株)イベントスポーツ				この競技は走、跳、投、守が含まれた総合スポーツの必要要素が多分に含まれています。是非ハンドボールの魅力を味わってみてください。但し、真摯に取り組んで頂ける方限定でお願いします。						

科目名	体育実技 (ソフトボール)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	SL26063	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加		必修選択	選択	科目種別	実技	ウイスキー	月曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)				履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本授業では、中学・高等学校の生徒を対象にソフトボールの指導ができるようになることを目的とします。そのためにソフトボール指導者に必要な基本的および専門的な技術と指導法を習得します。										
学修到達目標										
(1)ソフトボールの基本的な知識や技術を習得し、指導に活かすことができる (2)習得した知識や技術、指導法を仲間と共有し、さらなる改善につなげることができる (3)ソフトボールの簡易大会を運営することができる										
授業の進め方										
授業は、一斉指導、グループワーク、個別ワークを併用して実施します。また、授業はグラウンドで実施します。ただし、天候により、体育館或は教室に変更することがあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします				事前：シラバスを読む/事後：本授業のルールとソフトボールのルールを確認する(1時間)				
2	基本的技術の習得1	守備1：実技を通じてピッチング(ウインドミル投法)の技術及び指導法を習得します				事前：ウインドミル投法について調べる/事後：ウインドミル投法の注意点を復習する(1時間)				
3	基本的技術の習得2	守備2：実技を通じてピッチング(ウインドミル投法)の技術及び指導法を習得します				事前：ウインドミル投法をイメージする/事後：ウインドミル投法の注意点を復習する(1時間)				
4	基本的技術の習得3	守備3：実技を通じてキャッチボールの技術及び指導法を習得します				事前：キャッチボールについて調べる/事後：キャッチボールをする際の注意点を復習する(1時間)				
5	基本的技術の習得4	守備4：実技を通じてゴロ取りの技術及び指導法を習得します				事前：ゴロ取りについて調べる/事後：ゴロ取りをする際の注意点を復習する(1時間)				
6	基本的技術の習得5	攻撃1：実技を通じてバッティング(ヒッティング)の技術及び指導法を習得します				事前：バッティングについて調べる/事後：バッティングをする際の注意点を復習する(1時間)				
7	基本的技術の習得6	攻撃2：実技を通じてバッティング(ヒッティング)の技術及び指導法を習得します				事前：スイングをイメージする/事後：スイングの際の注意点を復習する(1時間)				
8	基本的技術の習得7	攻撃3：実技を通じてバッティング(バント)の技術及び指導法を習得します				事前：バントについて調べる/事後：バントをする際の注意点を復習する(1時間)				
9	基本的技術の習得8	攻撃4：実技を通じて走塁の技術及び指導法を習得します				事前：走塁について調べる/事後：走塁の際の注意点を復習する(1時間)				
10	戦術	チームで戦術を立て、試合で実践します				事前：攻守の戦術について調べる/事後：チームごとに試合分析をする(1時間)				
11	審判、運営および記録	討議及び実践を通じて試合運営に関する基本的な知識と技術を習得します				事前：審判・運営等について調べる/事後：審判・運営等をする際の注意点を復習する(1時間)				
12	試合1	これまでの授業で習得した基本的な技術・戦術及び審判・運営等の技術を発揮する場として試合を実施します				事前：チームごとにゲーム展開をイメージする/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)				
13	試合2	これまでの授業で習得した基本的な技術・戦術及び審判・運営等の技術を発揮する場として試合を実施します				事前：チームごとにゲーム展開をイメージする/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)				
14	試合3	これまでの授業で習得した基本的な技術・戦術及び審判・運営等の技術を発揮する場として試合を実施します				事前：チームごとにゲーム展開をイメージする/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)				
15	試合4	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します				事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える/事後：本授業のレポートを作成する(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
特に指定せず、必要に応じて授業で資料を配布します				出席レポート：60% 実技：20% レポート：20% 評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いてチームメイトと楽しくゲームを展開し、指導することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いてチームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
特に指定しません。				履修者数を抽選により調整する場合があります、40人程の予定です。						

科目名	体育実技 1 (柔道)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	SL26064	研究室	S-13
担当者	岩間 英明・北村 洋章		必修選択	選択	科目種別	実技	ワイスアワ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)				履修条件	集中講義。講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
本授業は我が国固有の運動文化である柔道を指導的立場に立って理解することを目的としています。そのため、基本動作や基本の技を用いて相手の変化に応じた攻防や、習熟の度合いに応じて得意技による攻防ができることを目標とします。また、武道の伝統的な考え方や行動の仕方、所作を理解するとともに、柔道の本質的な楽しさや安全な学習活動の指導方法の工夫についても学んでいきます。										
学修到達目標										
柔道指導に必要な基礎的な実技能力や、柔道に関する基礎的な知識を獲得しようとする。具体的には技能では「受け身」「投げ技の基本動作」「固め技の基本動作」を身に付け、基礎的な知識では「理合い」「礼法」「所作」などを理解することができる。また、併せて簡易試合を指導できる「指導方法」も習得する。										
授業の進め方										
本講義は基本の動作や技について実技を通して学び、併せて指導者として必要な知識・スキルを身につけられるようにします。本講義は集中講義のため、実技テストならびにレポートの提出を単位修得の条件とします。また、柔道着は各自で用意をしてください。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンスと基礎知識(1)	本授業の内容と学習の流れを照らし合わせながら、「柔道」の概観について考察していきます。				事前にシラバスをよく読む。2つの内容についてレポートをまとめる。(1時間)				
2	ガイダンスと基礎知識(2)	本授業の内容と学習の流れと照らし合わせながら、柔道の基礎知識として「柔道の歴史と特性」について考察していきます。				事前にシラバスをよく読む。内容についてレポートをまとめる。(1時間)				
3	ガイダンスと基礎知識(3)	本授業の内容と学習の流れと照らし合わせながら、柔道の基礎知識として「柔道を通して育む“生きる力”」について考察していきます。				事前にシラバスをよく読む。内容についてレポートをまとめる。(1時間)				
4	柔道の基本となる動きづくり	基礎知識として(ア)精力善用・自他共栄 (イ)礼法 (ウ)柔道着の扱い方を学びます。また、柔道のための体ほぐし運動についても考えていきます。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。(1時間)				
5	投げ技の基本動作(1)	投げ技の基本動作である(ア)姿勢と組み方 (イ)進退動作 (ウ)崩しと体さばきについて学習します。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
6	投げ技の基本動作(2)	投げ技の基本動作の習得と併せて受け身を学習します。受け身は(ア)後ろ受け身 (イ)横受け身 (ウ)横転受け身 (エ)前受け身 (オ)前回り受け身を行います。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
7	固め技の基本動作	固め技の基本動作を学習します。(ア)攻撃に必要な基本動作 (イ)防御に必要な基本動作 (ウ)簡単な攻め方と返し方を行います。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
8	固め技	試合形式の練習ができるよう固め技の応用を行います。(ア)抑え技(袈裟固め、横四方固め、上四方固め、縦四方固め、肩固め) (イ)固め技の連絡変化 (ウ)固め技の自由練習及び簡易な試合				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
9	基本動作と投げ技の関連	ゆっくりとした動作で崩し、体さばき、受け身の感覚を身につけていきます。投げ技は(体落とし、大腰、支え釣り込み足、小内刈り、大内刈り)ですが、投げる動作に重点を置かずに学習します。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
10	投げ技(1)	投げ技のうち手技である「体落とし」と、腰技である「大腰」に取り組みます。頭を打たないように受け身の指導に重点を置きます。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
11	投げ技(2)	投げ技のうち足技である「膝車、支え釣り込み足、小内刈り、大内刈り、出足払い、送り足払い、大外刈り」に取り組みます。前時同様に受け身の指導に重点を置きます。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
12	柔道の動きづくり	足技を中心に柔道の動きづくりを行います。特に技の連絡変化(投げ技、投げ技、返し技)など、実際の試合で多く見られる動きを中心に学習していきます。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
13	柔道の理合い	柔道形の練習を行いながら理合いについての理解を深めます。投げの形の手技:(背負い投げ、浮き落とし、肩車)腰技:(釣り込み腰、払い腰)、足技:(送り足払い、支え釣り込み足)を学習します。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)				
14	まとめ(1) 試合	試合の仕方と審判の仕方について学習し、簡易な試合ならびに試合を実施する際の指導上の留意点について学習します。				事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。特に指導方法は十分復習しておく。(1時間)				
15	まとめ(2) 実技評価	授業の総まとめとして、受け身、投げ技、固め技、試合などを通して、実技能力の評価をします。				実技の復習を十分しておく。事故防止についてレポートをまとめる。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「柔道 授業づくり教本」公益財団法人 全日本柔道連盟編(講義にて配布します。) 一般書店では購入できません				実技:70% レポート:30% 受け身、固め技、投げ技の実技試験と講義期間中提出する課題レポートを総合的に評価します。実技は正しい受け身ができ、固め技、投げ技の動きが安全にできることが単位認定の条件でありC評価です。さらにSは受け身を含めた全ての技に切れがあり、正しく、的確に行うことができること。Aは全ての技が正しくできること。Bは全ての技が概ね正しくできることが基準となります。レポートはその内容により得点化し、実技と併せて最終的な評価とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新しい柔道の授業づくり」本村清人 他著(大修館書店) ISBN:9784469265231				体育科教員を想定し、「中学校・高等学校における初心者への柔道指導の実務経験」を生かした講義展開をしますので、積極的な態度で授業に臨んでください。なお、実技を伴いますので、安全には十分留意してください。						

科目名	体育実技 2 (剣道)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	SL26065	研究室	非常勤
担当者	池川 茂樹		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
我が国固有の武道の一つである剣道を理解しその技を体得することを目的としています。そのため、剣道の基本動作や気剣体一致の打突、基本の技を学び、相手の変化に応じた攻防や、間合いのとり方、得意技による攻防ができることを目標とします。また、武道の伝統的な考え方や礼、所作、稽古方法を理解するとともに、剣道の本質的な楽しさや安全な学習活動の指導方法の工夫についても学んでいきます。										
学修到達目標										
正しく、礼と蹲踞ができる。防具を正しくつけることができる。面、小手、胴を正確に打つことができる。正しく切り返しができる。2つ以上の技を打つことができる。技の攻防を楽しむことができる。										
授業の進め方										
本講義は基本動作や基本の技について実技を通して学び、併せて指導者として必要な知識・スキルを身につけられるようにします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	剣道とは何か、基本動作、所作、着装(剣道着の着方)を学びます。				基本動作、所作、着装を復習する。(1時間)				
2	体捌き・構え・素振り	足運び、中段の構え、素振りを学び実習します。				足運び、中段の構え、素振りを復習する。(1時間)				
3	防具のつけ方	防具のつけ方を学び実習します				防具のつけ方の復習をします。(1時間)				
4	基本打突(1本打ちの技)	1本打ちの技(メン、コテ、ドウ、ツキ)を練習します。				1本打ちの技の復習(1時間)				
5	基本打突(連続技)	連続技(コテ・メン)を練習します。				連続技の復習(1時間)				
6	切り返し	切り返しを練習します。				切り返しの復習(1時間)				
7	払い技・打ち落とし技	払い技・打ち落とし技を練習します。				払い技・打ち落とし技の復習(1時間)				
8	抜き技・返し技	抜き技・返し技を練習します。				抜き技・返し技の復習(1時間)				
9	出ばな技・引き技	出ばな技・引き技を練習します。				出ばな技・引き技の復習(1時間)				
10	様々な技の復習	学んできた技を復習し、2つ以上の得意な技を身につけます。				得意な技を復習する。(1時間)				
11	攻防について学ぶ	学んできた技を使う場面を工夫し、実践します。				技を使う場面について工夫する。(1時間)				
12	地稽古(攻防を楽しむ)	地稽古の中でお互い技を出し合い、攻防を楽しみます。				地稽古の内容を振り返り、技を使う場面について工夫する。(1時間)				
13	試合稽古	試合の方法と一本の基準について学びます。				試合の方法と一本の基準を復習する。(1時間)				
14	指導のポイント	指導のポイントについて学びます。				指導案を作成する。(1時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめを行います。				講義全体を振り返り、自身の指導案を見直す。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「中学校学習指導要領解説 - 保健体育編 -」文部科学省編(東山書房) ISBN:9784827814637(生協で購入してください。) 「高等学校学習指導要領解説 - 保健体育編 -」文部科学省編(東山書房) ISBN:9784827814811(生協で購入してください。)				実技:90% 受講態度:10% 実技は技の習得度に応じて評価します。 受講態度は、実技への取り組み姿勢、態度で評価します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新しい剣道の授業づくり」巽申直 他著(大修館書店) ISBN:9784469265552				武道ですので、相互に安全に配慮すると共に、体調には十分留意し集中して授業にのぞんでください。また、将来、指導者になることを想定して授業を進めていきますので、姿勢や態度にも留意して授業に臨んでください。						

科目名	体育実技 (水泳)		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SC16066	研究室	S-05
担当者	長谷川 尋之		必修選択	選択	科目種別	実技	水汽アワ	水曜日1限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)				履修条件	集中講義。講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある。				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
本実技は「クロール」「平泳ぎ」「背泳ぎ」「バタフライ」の各泳法の習得し、陸上とは異なる水の特性や水中運動の生理学を理解し、より効果的な指導方法の学びや水泳指導力の向上を目指します。また、重大事故に繋がりにくい水泳指導の安全管理について知識と対応を学びます。										
学修到達目標										
技能面では「クロール」「平泳ぎ」「背泳ぎ」「バタフライ」の各泳法で25m以上泳げる泳力を有する。また併せて、複数の泳法を組み合わせて泳いだり、長い距離を泳いだりできる泳力の獲得を目指す。さらに、具体的な水泳指導の方法や安全管理ができる。										
授業の進め方										
実技や指導実践を通して泳法や水の特性、安全管理について学び、指導者として必要な知識とスキルを身につけられるようにします。また、各泳法の技術ポイントや指導方法、安全管理についてレポートをまとめ、知識を確実なものとしします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業計画・展開及び評価方法、留意点等の確認をします。また、VTRを使って泳法の確認、技術用語の確認、ルールなど、学習に必要な知識を理解します。				事前にシラバスを読み、技術を予習し、さらに安全管理について復習します。(1時間)				
2	安全指導、浮き沈み、ストリームライン姿勢	水泳学習における安全指導についてプールサイドで実際に行っていきます。また、水泳初心者や基礎技術として浮き沈みやストリームラインについて学習します。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)				
3	クロール(1)	ストリームラインの姿勢から、キック(パタ足)・ストローク(腕のかき)について、技術ポイントを理解した上で、クロールの基礎技術を習得します。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)				
4	クロール(2)	バランスの取れた面かぶりクロールに、プレス(息つぎ)の技術を加えていきます。さらに、ターン(普通のターン、フリップターン)の技術ポイントを理解した上で、クロールを完成させます。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)				
5	平泳ぎ(1)	ストリームラインの姿勢から、平泳ぎのキック(かえる足)について、技術ポイントを理解した上で、正確なキックを学習します。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)				
6	平泳ぎ(2)	平泳ぎのストロークの技術ポイントを理解した上で、ストロークを完成させます。さらに、キックとのコンビネーションがとれたストロークを学習し、タイミングの良い動きを習得します。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)				
7	平泳ぎ(3)	プレスのタイミングと水の抵抗を考えた動き方を学習し、より良いコンビネーションの平泳ぎとするとともに、スタートやターン直後の動作の練習し、平泳ぎを完成させます。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)				
8	背泳ぎ(1)	仰向けのストリームラインの姿勢から、キック(パタ足)・ストローク(腕のかき)について、技術ポイントを理解した上で、背泳ぎの基礎技術を習得します。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)				
9	背泳ぎ(2)	背泳ぎのスタートやターン(普通のターン、フリップターン)、さらにバサ口の技術ポイントを理解した上で、背泳ぎを完成させます。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)				
10	バタフライ(1)	ストリームラインの姿勢から、平泳ぎのキック(ドルフィンキック)について、技術ポイントを理解した上で、正確なキックを学習します。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)				
11	バタフライ(2)	バタフライのストロークの技術ポイントを理解した上で、ストロークを学習します。さらに、キックとのコンビネーションを考えながら、プレス(息つぎ)を学習し、タイミングの良い動きを習得します。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)				
12	バタフライ(3)	キック、ストローク、プレスのタイミングが合ったコンビネーションの取れたバタフライを練習するとともに、スタート、ターン直後の動作を学習し、バタフライを完成させます。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)				
13	個人メドレー(1)	4泳法を使った100m個人メドレーに取り組みます。また同時に、逆とびこみについての段階的指導を実際に体験しながら、飛び込みによるスタートができるようにします。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)				
14	個人メドレー(2)	正式なルールに基づいたスタート、ターンを加えた個人メドレーを完成させます。その際、タイムや泳法などを確認する実技テストも実施します。				事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)				
15	講義全体のまとめ	これまでの学習を振り返り、水泳を苦手とする学習者にどのように指導したらよいかを考察します。				これまでの学習に基づき、4泳法の中から1泳法を選び、指導方法をレポートにまとめます。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
適宜資料を配付します。			実技：70% レポート：30% 4泳法それぞれの実技試験と講義期間中提出する課題レポートを総合的に評価します。実技は4泳法が25m以上泳げることが単位認定の必須条件でC評価です。実技(泳力)とレポート(指導方法)を得点化し、70点以上でB評価、80点以上をA評価とします。S評価は4泳法の正しい泳法、技術を習得し、指導できるものとします。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「水泳指導教本 第2版」日本水泳連盟編(大修館書店) ISBN: 9784469267082			集中講義での授業になるため、体調には十分留意してください。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容: スポーツクラブに勤務し、スイムインストラクターとして指導にあたった経験を有します。							

科目名	スポーツ実技（ニュースポーツ）（中島弘クラス）			学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SL16067	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅			必修選択	選択	科目種別	実技	アイスアー	火曜日2限		
関連資格	レク・インスト、レク・コーディネイ(通常)、レク・コーディネイ(教育)、ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸ指					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
誰もが参加し親しむことのできる運動やスポーツ環境について学びます。各スポーツ種目の特性を知り、競技というよりゲーム性や「場」を共有する人々の交流をねらい、行う人（対象者）の状態に合うスポーツの展開法や実践について学びます。ニュースポーツと称して紹介されている様々な種目を始め、既存スポーツのルールや用具をアレンジし学生自ら創り上げるスポーツの実践を目指します。											
学修到達目標											
スポーツ基本法にうたわれた「多様なスポーツの機会」に照らし合わせ、ニュースポーツのコンセプトを理解すること。ゲームそのものに含まれる楽しさと同時に、活動する参加者の感情に楽しさをもたらす指導・関わりの姿勢を身につけることが目標です。											
授業の進め方											
仲間と創り上げる毎回の活動を「記録ノート」に残してください。競技者間に生じる相互作用に気づきレクリエーション支援の技法として、ゲームのアレンジや実施まで、スポーツの楽しさを伝える方法や態度を学びます。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	「運動は苦手」という人にも楽しく活動できるスポーツとは何かを考えます。人々が生涯を通じて運動やスポーツに親しむことを可能にする資源としてニュースポーツを学び、提供できる指導者として学びます。					これまでのスポーツ体験を振り返っておくこと。(0.5時間)				
2	アイスブレイクのゲーム	運動能力や技術に左右されず、交流を主目的としたコミュニケーションゲームを実施し、偶然性が生むグループでできるチーム編成の手法を学びます。					カブグループが集団に及ぼす影響について、関わり方を考えておく。(1時間)				
3	キンボールとリードアップゲーム	目に楽しい「キンボール」という素材を活用し、活動への動機付けの効果を知ります。様々なリードアップゲームで、競技の特性と危険回避の方法を学びます。					ルールを確認をして、ゲームの進め方を復習しておく。(1時間)				
4	キンボール審判とゲームの進行	キンボールの特徴「エースの居ないスポーツ」は、メンバー全員の参加がなければゲームが成立しません。ニュースポーツとしてのキンボールのねらいについて確認します。					毎時間、自らがリーダーとしてゲームを進めるゲームの方法をイメージする。(1時間)				
5	キンボール ゲーム	3チームで対戦するゲームの特徴を生かし、試合の組み合わせを考えます。ルールを理解し、審判、進行への協力など主体的にゲームを進行する態度を学びます。					活動運営者として自分の態度を考えること。(1時間)				
6	インディアカ	インディアカの特徴とルールを確認します。グルーピングからゲームの進行まで学生のリードで進めます。インディアカボールに慣れる運動を考えて指導体験をします。					取り扱い器具の多様さを知り、会場準備を含め、対応を考える。(1時間)				
7	インディアカ ゲーム	ゲームを進める当事者として、インリーダーとしての態度や姿勢を学びます。自分のチーム以外の人の動きも意識において、全体に気配りする目と態度を身につけます。					ニュースポーツのねらいに沿った効果的な交流について自身の目標を定めること。(1.5時間)				
8	インディアカ ゲーム	自分の力と技術を発揮して、対戦チームと競技としてのインディアカを楽しみます。ニュースポーツは、実施する人の力量に合わせて楽しむことができるスポーツであることを体験的に学びます。					競技としてのインディアカの魅力についてまとめる。(1時間)				
9	ターゲットバードゴルフ1	手軽に楽しめるゴルフ型のニュースポーツです。ゴルフに非常に近く老若男女を問わず楽しめる素材です。難易度は若干高いですが、ゴルフにつながる面白さを持っています。					ゴルフの種目特性をしる。(1時間)				
10	ターゲットバードゴルフ2	飛ばすことの楽しさを学びます。本時では、学生の運動能力を十分に発揮しながら、飛ばすこととともにターゲットに入れることの面白さも学びます。					ゴルフ型ゲームの楽しさと奥深さを知る。(1時間)				
11	ターゲットバードゴルフ3	メンバー間の交流を図りながらラウンドをし、ゲームを楽しみます。					ニュースポーツ体験は、日常の人間交流に影響するかについてまとめる。(1時間)				
12	ターゲットバードゴルフ4	ベストボールによるゲームを通じて、メンバーの特性、能力を生かしながら、コミュニケーションをとって、チームとして協力しあう楽しさを					競技方法を変えることによって、スポーツの楽しさ、質的变化が生まれることを知る。(1時間)				
13	ふらばーるバレー	ふらばーるバレーボールの予測が難しい動きに対応するには、仲間同士が声を掛け合うことが欠かせません。プラスのストロークがゲームの楽しさを醸し出していることに気がつきます。					スポーツの特徴を意識すること、チームとして協力できることに何があったかを考える。(1時間)				
14	バブルサッカー リードアップゲーム	バブルに入り、体当たりや自由な回転を楽しむことで、バブルサッカー用具の特性を学びます。					バブルサッカーのルールを確認する。用具の特性と活用方法を考える。(1時間)				
15	スポーツを楽しむとは	ニュースポーツについて自分の捉え方を確認します。単に軽いスポーツ、新しいスポーツという捉え方ではないことを再確認します。生涯スポーツ指導者としての姿勢、役割についてレポートにまとめます。					指導者・リーダーとしての姿勢で臨めたかを振り返る。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
「後  lek財100連発カード」犬飼己紀子 監修著長野県レクリエーション協会編（龍共印刷株式会社）（講義にて配布します。）		受講態度：50% レポート：50% S:スポーツ基本計画を理解し、指導者としてニュースポーツの活用方法を習得しようとしている。A:ニュースポーツのコンセプトを理解し、スポーツを対人関係構築に向けたツールとして活用する力を身につけている。B:スポーツへの解釈の幅を広げ、これまでスポーツで培ってきた能力を発揮し指導者として参加者にかかわる姿勢を身につけている。C:スポーツへの解釈の幅を広げ、初めて体験するスポーツへの興味を持ち活動に参加している。									
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）									
「ニュースポーツ事典」日本レクリエーション協会編		スポーツに親しもうとする全ての人にとって、運動することの楽しさを引き出すことのできる指導者の姿勢を学んでください。指導者として相応しい姿勢・服装を求めます。									



科目名	スポーツ実技（ニュースポーツ）（山本クラス）	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	SL16067	研究室	S-15
担当者	山本 薫	必修選択	選択	科目種別	実技	オイスアワ	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	レク・インスト、レク・コディ(通常)、レク・コディ(教育)、ホク・レク指	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
		A	B	C					
授業概要									
誰もが参加し親しむことのできる運動やスポーツ環境について学びます。各スポーツ種目の特性を知り、競技というよりゲーム性や「場」を共有する人々の交流をねらい、行う人（対象者）の状態に合うスポーツの展開法や実践について学びます。ニュースポーツと称して紹介されている様々な種目を始め、既存スポーツのルールや用具をアレンジし学生自ら創り上げるスポーツの実践を目指します。									
学修到達目標									
ゲームそのものに含まれる楽しさと同時に、活動する参加者の感情に楽しさをもたらす指導・関わりの姿勢を身につけることを目的とします。									
授業の進め方									
競技者間に生じる相互作用に気づきレクリエーション支援の技法として、ゲームのアレンジや実施まで、スポーツの楽しさを伝える方法や態度を学びます。種目の内容と順番は変更することがあります									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	「運動は苦手」という人にも楽しく活動できるスポーツとは何かを考えます。人々が生涯を通じて運動やスポーツに親しむことを可能にする資源としてニュースポーツを学び、提供できる指導者像を学びます。				これまでのニュースポーツ体験を振り返っておくこと(1時間)			
2	ウォーミングアップゲーム(ガッツフリスビー)	ディスクスポーツの特徴とルールを確認します、スローとキャッチの基本技術について学び、ウォーミングアップに活用します。				フライングディスクの歴史や発展、現状について調べる(1時間)			
3	アルティメット(1)	アルティメットにおける基礎技術・ルールの理解とゲームの進め方について学びます。				アルティメットの歴史やルールについて調べる(1時間)			
4	アルティメット(2)	アルティメットにおける基礎技術・ルールの理解。フォーメーション・ルールとゲームの進め方について学びます。				ルールを確認をして、ゲームの進め方を予習しておく(1時間)			
5	アルティメット(3)	アルティメットにおける基礎技術・ルールの理解。フォーメーション・ルールとゲームの進め方について学びます。				指導者として自分の態度を考えること(1時間)			
6	キックベースボール(1)	キックベースの特徴とルールを確認します。蹴る、捕る、投げる、走塁する技能を身に付け、簡単なルールのゲームを学びます。				キックベースボールに関連するスポーツやその歴史やルールについて調べる(1時間)			
7	キックベースボール(2)	チームの特徴が生かせるように、ルールや作戦を工夫してゲームを行うことを学びます。				キックベースボールに関連するスポーツやその歴史やルールについて調べる(1時間)			
8	キックベースボール(3)	チームの特徴が生かせるように、ルールや作戦を工夫してゲームを行うことを学びます。				キックベースボールに関連するスポーツやその歴史やルールについて調べる(1時間)			
9	インディアカ(1)	インディアカの特徴とルールを確認します。グルーピングからゲームの進行まで学生のリードで進めます。				インディアカの歴史やルールについて調べる(1時間)			
10	インディアカ(2)	インディアカの特徴とルールを確認します。グルーピングからゲームの進行まで学生のリードで進めます。				インディアカの種目特性についての自身の考えをまとめる(1時間)			
11	インディアカ(3)	インディアカの特徴とルールを確認します。グルーピングからゲームの進行まで学生のリードで進めます。インディアカボールに慣れる運動を考えて指導体験をします。				ニュースポーツのねらいに沿った効果的な交流について自身の目標を定めること(1時間)			
12	指導案作成&指導実習	ニュースポーツについて指導案を作成します。単に軽いスポーツ、新しいスポーツという捉え方ではないことを再確認します。生涯スポーツ指導者としての姿勢、役割を押さえてまとめます。				指導者・リーダーとしての姿勢で再確認する(1時間)			
13	指導案作成&指導実習	ニュースポーツについて指導案を作成します。単に軽いスポーツ、新しいスポーツという捉え方ではないことを再確認します。生涯スポーツ指導者としての姿勢、役割を押さえてまとめます。				指導者・リーダーとしての姿勢で再確認する(1時間)			
14	指導案作成&指導実習	ニュースポーツについて指導案を実施します。単に軽いスポーツ、新しいスポーツという捉え方ではないことを再確認し、生涯スポーツ指導者としての姿勢、役割を押さえて実施します。				指導者・リーダーとしての姿勢で臨めたかを振り返る(1時間)			
15	指導案作成&指導実習	ニュースポーツについて指導案を実施します。単に軽いスポーツ、新しいスポーツという捉え方ではないことを再確認し、生涯スポーツ指導者としての姿勢、役割を押さえて実施します。				指導者・リーダーとしての姿勢で臨めたかを振り返る(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
必要に応じて資料を配布します。プリントを配布して進めます。		受講態度：70% 課題：30% 指導者として様々な対象に向き合う場面を想定し、ニュースポーツ展開の目的を理解し、場に合ったルールの工夫や応用のしかたなど柔軟な姿勢と参加者との相互交流の姿勢を評価します。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「ニュースポーツ事典」日本レクリエーション協会編		スポーツに親しもうとする全ての人にとって、運動することの楽しさを引き出すことのできる指導者の姿勢を学んでください。指導者として相応しい姿勢・振る舞い及び服装を求めます。							

科目名	スノーボード			学年学期	1・2・3・4年後期	単位数	1	ナバリング	SL16068	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂・川島 均			必修選択	選択	科目種別	実習	アイスワ-	水曜日2限		
関連資格						履修条件	集中講義。履修者が多数の場合は、抽選となります。				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
スノーボードの楽しさと醍醐味を体感し、冬の自然に親しむことを本講義の目的とします。技術レベルごとに少人数のグループに分け、基礎的な技術指導から高度な技術習得を目指します。また、講習時にビデオ撮影を行い、講習後の時間を利用したフォームの修正も必要に応じて行います。											
学修到達目標											
初心者はスノーボードを安全に楽しむことを目標に、リフトを使って滑る楽しさを十分味わえるレベルを目指します。また、上級者はリフトやゴンドラを活用し、滑る技術と理論を学び、バランスのとれたフォームで安定した滑走を目指します。											
授業の進め方											
実習は2泊3日の予定で行います。また、ガイダンス、及び事前講習(DVD学習)には必ず参加をしてください。なお、実習費20,000円程度が必要となります。実習費は実習場所により変わります(事前に徴収します)。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス(出席必須)	実習の概要について、配布資料を用いて説明を行います。					受講を希望する学生はシラバスを熟読した上で、必ず出席をしてください。(2時間)				
2	事前講習(DVD学習)	基本的な技術について、DVD学習(JSBSスノーボード教本)を行います。					DVD映像を参考に、各自がイメージトレーニングを行ってください。(2時間)				
3	実習1日目	実習1日目は基礎練習を行います。初心者はブーツのはき方、板の脱着、および転び方から学びます。中・上級者は技術レベルによる班分けを行い、各自の技術レベルに応じた講習を行います。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
4	実習1日目	引き続き、基礎練習を行います。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(中・上級者が中心となります)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
5	実習1日目	引き続き、基礎練習を行います。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(中・上級者が中心となります)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
6	実習1日目	引き続き、基礎練習を行います。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(中・上級者が中心となります)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(2時間)				
7	実習2日目	実習2日目は応用練習を行います。初級者もリフトを使い、スムーズなターンを目指します。中・上級者はよりきれいなカービングターンを目指して練習します。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
8	実習2日目	引き続き、応用練習を行います。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(全ての受講生が対象となります)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
9	実習2日目	引き続き、応用練習を行います。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(全ての受講生が対象となります)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
10	実習2日目	引き続き、応用練習を行います。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(全ての受講生が対象となります)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(2時間)				
11	実習3日目	実習3日目は総合滑走となります。すべての受講生は各々の技術レベルに応じ、各自がバランスのとれたフォームで安定した滑走を目指します。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
12	実習3日目	引き続き、総合滑走となります。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(全ての受講生が対象、即時、ゲレンデ上で映像によるフィードバックも行います)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
13	実習3日目	引き続き、総合滑走となります。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(全ての受講生が対象、即時、ゲレンデ上で映像によるフィードバックも行います)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(1時間)				
14	実習3日目	引き続き、総合滑走となります。適宜、ビデオ撮影を行い、フォームのチェックを行います(全ての受講生が対象、即時、ゲレンデ上で映像によるフィードバックも行います)。					ビデオや講師からのフィードバックによって、各自フォームチェックを行ってください。(2時間)				
15	まとめ	実習を通して身につけた技術や感覚、実習を通しての感想等についてレポートにまとめます。					レポートの作成を行い、指定された期日までに提出をしてください。(2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
特に指定はしません。必要に応じて紹介します。				実技：80% レポート：20% S：強い向上心をもって積極的に全日程に参加をし、技術面においても大きな成果があった。A：強い向上心をもって積極的に全日程に参加をした。B：積極的に全日程に参加をした。C：全日程の3分の2以上に参加をした。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて適宜配布します。				・集中型の履修形態となります(例年は2月に実施します)。 ・天候等の理由により、予定が変更されることがあります。 ・技能レベルについては問いません(初心者でも構いません)。							

科目名	野外活動		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ`リ`ング	SL26069	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅・各教員		必修選択	選択	科目種別	実習	オ`ィ`スア`ー	火曜日2限		
関連資格	レ`ク`・`ィ`スト、レ`ク`・`ィ`スア`ー(通常)、レ`ク`・`ィ`スア`ー(教育)				履修条件	集中講義				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
野外活動とは、キャンプ、ハイキング、スキー、カヌーといった文字通りの野外活動、動植物や星の観察といった自然・環境学習活動、そして、自然物を使った工作や自然の中での音楽会といった文化・芸術活動などを包括する総合的な活動を指します。本授業では、体験学習としての「野外活動」を行います。自然の中で集団生活や環境を生かした様々なプログラムを体験し、「体験学習」の意味と効果を学びます。										
学修到達目標										
野外活動を通して、野外活動に必要で欠かせない知識、身支度、火の取り扱い、仲間との協力など基本的な知識・技能・態度を身に付け、自然に親しむ資質や力を磨くことを目的とします。										
授業の進め方										
学内での事前ガイダンスを踏まえ、2年生全員で2泊3日の宿泊型キャンプに参画します。グループで生活を共にするとともに、期間中は選択プログラムとして個別の活動体験に参加します。(参加費用として10,000円程度が必要となります。)										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	宿泊型集中授業としての本講義の進め方について、目的、ねらい、参加費用等基本的な内容を説明します。				野外・集団生活に必要な個人情報・健康状態等の申請をする(既往症・アレルギーなど)(1時間)				
2	野外での生活	キャンプの概要をおさえ、共に過ごすグループのメンバーと役割分担をして仕事内容を把握します。選択プログラムの参加希望種目を申し出ます。				活動拠点のキャンプ地の自然の情報を調べる。役割に必要な準備をする。(準備品・食材購入)(1時間)				
3	野外活動	キャンプ生活開始時に、自己解放と人間関係づくりを目的としてアイスブレイク(ゲーム)に参加します。共に活動する仲間の表情や変容する姿をリーダーの視点で見出し、仲間との交流を意識して進めます。				活動を振り返り、自分の感情に気づいておく。個別の感想や気づきをメモ・つづきあう。(1時間)				
4	野外活動	ローエレメント、アドベンチャープログラムなど、キャンプ地の環境を活用した自然体験プログラムに参加します。挑戦や葛藤、協力や支え合いなどの体験を通しチームとしてつながっていくプロセスを学びます。				外部インストラクターによるプログラム活動開始に際し、進行・紹介など準備を整える。(1時間)				
5	野外活動と生活(食)	野外炊飯の方法を体験を通して学びます。日常離れのキャンプ生活で摂る食事の楽しさを体感します。環境保全の配慮をした野外での食のありがたさを学びます。(火のおこし方、食材の準備、片づけ)				野外炊飯の方法について事前に調べる。体験を次回(翌日)に生かす。(1時間)				
6	野外活動と生活(夜)	暗闇体験、天体観測、たき火を囲むなど選択プログラムに参加します。ゆっくりと流れる時間の中で自分との対話、また仲間との交流を深める時間を過ごします。				キャンプ地で可能な夜の活動を考える。安全確保・危機管理について感じたことを記録する。(1時間)				
7	野外活動と生活(休息)	野外生活における自らの体力保持・健康管理は集団生活に欠かせない努力義務という認識を持って自己管理をします。				一日の活動を振り返る。翌日のプログラムの準備(健康管理)をする。(1時間)				
8	活動プログラム	キャンプファイヤーの檣の組み方、点火の方法、自然への配慮など実施の基本を学び、ねらいに即してプログラムを組み立て実施します。				キャンプのねらいを再確認し、役割分担と進行ができたか、参加者の声を集約しまとめる。(1時間)				
9	活動プログラム	マウンテンバイク(インストラクター)による指導を受けます。スポーツとしてのマウンテンバイクの技術を習得し、持てる力を最大限発揮し、活動の醍醐味を体感します。				スポーツとしてバイクを体験した前後の感覚の違い、チームメンバー間の意識の違いをまとめる。(1時間)				
10	活動プログラム	カヌー(インストラクター)による指導を受けます。水プログラムとしてのカヌーの技術を習得し、持てる力を最大限発揮し、活動の醍醐味を体感します。				カヌーを体験した前と後の感覚の違い、チームメンバー間の意識の違いをまとめる。(1時間)				
11	活動プログラム	登山案内人指導のもとで登山の知識・技術を学習し、持てる力を最大限発揮して、活動の醍醐味を体感します。				登山を体験した前と後の感覚の違い、チームメンバー間の意識の違いをまとめる。(1時間)				
12	活動プログラム	ハイエレメント・ツリークライミング(インストラクター)による指導を受けます。プログラムのねらいである「自己決定、挑戦、自分と向き合う」が主軸の活動体験をし自己と向き合います。				挑戦する自分・支える自分の言動に気づき、日常に生かすことを考え、まとめる。(1時間)				
13	活動プログラム	川に親しむ、地域の文化に親しむなどキャンプ地の特徴を生かしたプログラムや、自然物を活用したクラフトなど様々な自然体験プログラムを知り、野外活動の豊かさ創造的なプログラムの数々を学びます。				作品を完成する、報告会に向け、活動グループ毎まとめをする。(1時間)				
14	振り返り	キャンプ日程全体を振り返り、各自が感じたことを共有します。グループワークの総まとめとして話し合い、その内容を発表します。				選択プログラムの体験報告をし合い仲間の報告から多様なプログラムの魅力をまとめる。(1時間)				
15	報告会	野外活動で体験したことや発生したこと、発見したことを学内報告会の発表用にグループでまとめます。				聞く人に伝わる発表の仕方に努める。グループで意見交換し、情報を寄せまとめる。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義内でプリントを配布して進めます。				受講態度：60% レポート：40% 受講態度は、役割分担、協力的態度、活動への積極的参加、発言、発表等について評価します。S:95点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「アイスブレイク」石田 易司著(有)エルビス社 ISBN:4-900581-18-6 活動別参考図書を講義内で紹介します。				自分の持つ力を、グループ内でどのように発揮する(機能させる)かに挑戦しよう。体験学習をする中で、互いの価値観を受け止め、相互の気づきを次の活動に生かす姿勢で臨んでください。						

科目名	野外教育	学年学期	3・4年前期	単位数	1	ナパリング	SL36070	研究室	非常勤
担当者	月橋 春美	必修選択	選択	科目種別	実習	アイスワー			
関連資格	レク・インスト、レク・コーディネ(通常)、レク・コーディネ(教育)			履修条件	「野外教育」を同時に履修すること。				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
スポーツ健康学科2年次生履修の「野外活動」のキャンプリダーとして必要な技術・指導法を学ぶための授業です。野外での集団生活を進めるうえで必要になるコミュニケーションワーク(ゲーム)や、野外炊事の薪割り・火つけを実際に体験して、参加者に指導できるような練習します。このほか、教育キャンプでの生活に必要な係について具体的な役割分担を通じてリーダーとしての姿勢を学びます。									
学修到達目標									
「野外活動」参加者の集団生活と体験学習をサポートするための知識と技術とチームワークを身につけます。具体的には、自然を生かした活動の企画・立案・準備・運営に携わる中で、履修者同士が自分達で声を掛け合い、コミュニケーションワークを効果的に実施しながら協同作業を行うことです。									
授業の進め方									
ガイダンス、コミュニケーションワーク実習、訓練と下見のためのキャンプ(ラボランド黒姫、1泊2日、6月中の土日)、2年生のガイダンス指導(7月)、係の仕事・自主企画の準備(分担後随時開始)。5,000円程度の費用(宿泊・食材)がかかります。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	ガイダンス	この授業のねらいと具体的な作業を確認します。履修の意思決定をして下さい。					初回授業日を教務課に確認する。履修を迷っている場合も出席する。(0.5時間)		
2	仲間作り	コミュニケーションワーク(ゲーム)をお互いに提供し合います。指導者と学習者の両方の視点から検討を加えることで、実践的に指導力を向上させます。					体験したことのあるゲームのルール等を確認する。(1時間)		
3	役割分担	集団生活を運営するために、プログラム、炊事、会計、連絡、記録、安全・保健、といった係活動の担当者を決め、6月のキャンプで予定演習します。仕事内容を理解し、係同士で連携できるようにします。					仕事の内容を具体的に把握し、7月のガイダンスで2年生に説明できるようにしておく。(1時間)		
4	役割分担	ゼミグループのアドバイザー、もしくは、本部の物品管理スタッフとして集団生活を運営します。自分達で話し合いながら責任を持って準備して下さい。					担当別の作業を確認し必要な物品を揃える。役割分担表を作成する。(1時間)		
5	プログラムの企画・立案	9月のキャンプのテーマを決め、全体像を共有できるようにしておきます。自分たちの主導する活動を確認し、担当を分担する雨天プログラムも考えます。					9月のキャンプ全体の流れを把握しておく。担当者同士で準備を進める。(1.5時間)		
6	実地踏査	集団生活を営みながら、現地の下見をします。プログラムをどのように提供するか考え、自分たちの動きを具体的にシミュレーションします。用具・参加者への連絡事項・今後の課題、等をリストアップします。					学内や現地での各プログラムのねらい、役割分担、指示の出し方を明確にしておく。(1時間)		
7	指導実習	コミュニケーションワーク(ゲーム)をお互いに提供し合います。100人以上の規模を想定し、スムーズな進行の実施と、ねらいに即した効果を得るための技術を習得します。					アイスブレイク、グループワークを調べて指示の練習をする。(1時間)		
8	チームビルディング	アドベンチャープログラム(ローエレメント、ハイロースコース)における、グループの変容を体験します。挑戦や葛藤、協力や支え合いなどを意識的にとらえ、チームとして活動する過程を体験的に学びます。					アイスブレイク、グループワークを実施し、感想や気づきを他者と分かち合う。(1時間)		
9	ナイトプログラム	夜の活動プログラムを企画立案します。参加者に、夜の自然を感じながらどのような体験をしてもらいたいのか考え、複数の選択制プログラムを開発準備します。					担当するプログラムを決定し、実地踏査や必要な準備を進める。(1時間)		
10	キャンプファイヤー	井桁の組み方、点火の方法、自然への配慮など、キャンプファイヤーを実施するための知識や技術を習得します。ファイヤーマスター(司会者)、ファイヤーキーパー(火の管理者)も配置した実習です。					施設への連絡、役割分担、9月のキャンプでの企画を考えて準備をする。(1時間)		
11	野外炊事	薪割り、火起こしの技術を習得します。火や刃物の安全な扱いを確認し指導できるようにします。グループ内の作業が特定の人に偏らないように配慮し、十分なコミュニケーション・時間管理のもとで調理します。					メニューに必要な食材を考え、一人で指導できるようになるまで練習する。(2時間)		
12	ファシリテーション	振り返りの進行や、グループの協力・コミュニケーションを引き出すために、参加者に対する、支援的指導方法を学びます。					活動時に起こる色々なことに気づいて自分の行動を変えていけるようにする。(1時間)		
13	危機管理	自分の健康管理、参加者達の健康観察、活動場所の安全対策、スタッフ間のコミュニケーション、教員との連携、外部インストラクターとの連絡、天候の予測、装備の支度、などを実習します。					気づきのメモをまとめ、次の活動や話し合いに生かす。(1時間)		
14	参加者説明会の準備	説明会の役割分担と、作業確認をします。説明資料作りなどの作業を担当別、もしくは個人で進めていきます。会場の予約、備品の借用など、大学とのやり取りをする。教員への依頼事項も明確にします。					しおり作り(記録係)、健康チェック表作成する。(1時間)		
15	参加者説明会の実施	2年生への事前説明会において、司会進行をします。全体的に目を配り、自分たちから声をかけて雰囲気作りに努めます。					しおりの内容を理解し、ガイダンス時の説明、疑問に答えられるようにする。(1時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
初回ガイダンスで提示します。		受講態度：60% レポート：40% S:自らの体験をもとに野外活動で起こりうる状況をイメージし、仲間に提案し討議し対応を具体化することができる。A:野外活動における多様な役割を知り、リーダーシップを発揮している。B:活動場面をイメージしサポーターとして自ら行動する姿勢がある。C:活動プログラムを理解し、技術を習得する。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「キャンプ指導者入門」(公益社団法人)日本キャンプ協会著		この授業は、話し合いや協同作業が中心です。仕事に責任を持ち、自ら苦勞をかけて下さい。雨具、靴などは、活動に適したものを各自で用意して下さい。【実務経験のある教員が担当】							

科目名	野外教育	学年学期	3・4年前期	単位数	1	ナバリング	SL36071	研究室	非常勤
担当者	月橋 春美	必修選択	選択	科目種別	実習	ワイズア-			
関連資格	レク・インスト、レク・コーディネ(通常)、レク・コーディネ(教育)	履修条件			集中講義。「野外教育」を同時に履修すること。				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
スポーツ健康学科2年生履修「野外活動」に、ゼミグループのアドバイザーもしくは本部の物品管理スタッフとして参加します。事前ガイダンスから2泊3日のキャンプ期間中を通して、係別の仕事を指南したり、自分たちで企画した活動プログラムを実施したり、と、主体的に動くことが求められます。専門のインストラクターや教員が指導する活動プログラムには、助手として参加します。									
学修到達目標									
教育キャンプに参加する集団に向け、自然を生かした活動を安全で効果的に運営し、仲間との協力を促進するための援助技術を身に着けます。具体的にはリーダーとして、係の仕事を的確に説明し参加者の主体的な取り組みを促すこと、担当グループをサポートしファシリテーションできるようになることです。									
授業の進め方									
2年生へのガイダンス(学内)と、キャンプ(ラポランド黒姫、2泊3日、9月上旬)の、全日程に帯同し、実際の運営・指導を体験的に学習してもらいます。宿泊・食事は個人負担となるので、参加費用=10,000円程度がかかります。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	ガイダンス	宿泊型集中授業としての本講義の進め方について、目的、ねらい、参加費用等基本的な内容を確認します。ゼミアドバイザー、本部スタッフの役割を明確に2年生へ伝え、支援にあたります。					質問に答えられるよう、プログラム全体について理解しておく。(1時間)		
2	野外での生活	プログラム、炊事、会計、連絡、記録、安全・保健、といった係活動を分担して、集団生活を運営します。事前ガイダンス以降キャンプ期間中も通して、報告、連絡、相談をしながら係の2年生に指南します。					担当教員からの指示を受け、本部機能を整える。記録係は、しおりを作る。(1時間)		
3	物品管理	プログラムに必要な物品を事前に把握します。大学から持参した物品は、「本部」を設営して収納し、本部スタッフが貸し出しの管理をします。宿泊施設から拝借する物品は、事前に問い合わせます。					必要な物品は、本部スタッフに随時伝える。次年度へ引き継ぐことをリストアップする。(1時間)		
4	コミュニケーションワーク	仲間作りゲームを実施し、参加者達の緊張を和らげます。人間関係が円滑になるような基盤作りを努めます。					担当者を決め、実施方法を話し合っ練習しておく。効果についての振り返りをする。(1時間)		
5	目的/対象に合わせたレクリエーションワーク	ローエッセメント、アドベンチャープログラムにおける、グループの変容を観察します。挑戦や葛藤、協力や支え合いなどの体験を通し、参加者たちがチームとしてつながっていくプロセスを学びます。					グループワーク、チームの基本的な知識を持っておく。感想や気づきを他者と分かち合う。(1時間)		
6	野外炊事	自分たちの食事作りと、2年生の指導をします。メニューや火着けの指導のほか、各グループ内の作業が特定の人に偏っていないか、コミュニケーションがとれているか、火や刃物の扱いなどに目を配ります。					炊事係の指示を促し調理道具・食材の衛生的な管理。会計係の管理での食材の購入。(1時間)		
7	ナイトプログラム	自然を生かした夜の活動プログラムを企画して実施します。環境に合った服装や必要な持ち物を指導し、参加者の安全を確保します。					必要物品を本部に申請しておく。参加者にどのような効果が与えられたのが振り返りを行う。(1時間)		
8	健康管理	参加者が、自身の体力・健康を保持できるよう、休憩時間を確保します。ケガや事故の起こらぬよう参加者達の様子に目を配り、変化があれば直ちに対処します。					安全・保健係は事前にチェックシートを作成しておく。期間中の参加者に健康管理を促す。(1時間)		
9	活動プログラム	マウンテンバイクによる指導を受けます。インストラクターのサポートをしながら、参加者の変容を観察する。負傷者、はぐれてしまう者が出ぬよう注意しながら活動します。					持ち物、服装などをインストラクターに確認して参加者に伝える。活動の効果を振り返る。(1時間)		
10	活動プログラム	カヌーによる指導を受けます。インストラクターのサポートをしながら、参加者の変容を観察します。水難事故の防止にも努めます。					持ち物、服装などをインストラクターに確認して参加者に伝える。活動の効果を振り返る。(1時間)		
11	活動プログラム	登山による指導を受けます。ルート確認、歩行のペース配慮など、インストラクターのサポートをしながら、参加者の変容を観察します。					持ち物、服装などをインストラクターに確認し参加者に伝える。活動の効果を振り返る。(1時間)		
12	活動プログラム	ハイエッセメント・ツリークライミングによる指導を受けます。高所の苦手な参加者のフォロー、インストラクターのサポートをしながら、参加者の変容を観察します。					持ち物、服装などをインストラクターに確認し、参加者に伝える。活動の効果を振り返る。(1時間)		
13	活動プログラム	川あそびなど、自然に親しむ活動の指導を受けます。指導にあたる教員の助手をしながら、参加者の変容を観察します。					持ち物、服装などを指導者に確認し、参加者に伝える。活動の効果を振り返る。(1時間)		
14	活動プログラム	キャンプファイヤーを実施します。2年生が主体的に動き、楽しめるようなサポートをします。					テーマを話し合い、プログラムを立案する。2年生、教員の関わり方を明確に伝える。(1時間)		
15	振り返り	夜のミーティングにて、その日の出来事を語り、総括します。2年生のゼミグループでは、語らいの進行役をし、スタッフミーティングでは、各担当からの情報交換や翌日の活動確認を行います。					フィードバックの基本を知っておく。ここでの気づきをレポート課題に取り入れ、学び深める。(1時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
初回授業で提示します。		受講態度：60% レポート：40% S:教育キャンプの目的を理解し、全日程を掌握しリーダー集団と協働して活動中に起こる様々な課題に対応することができる。A:キャンプの目的を理解し、参加者の主体的活動を促す態度でリーダーの役割を担うことができる。B:リーダーの一員として活動中に生じる課題に気づき、解決に向け自ら努力することができる。C:リーダーとしての自分の役割を自覚し、全日程に関わることができる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「グループの力を生かす」プロジェクトアベンチャー・ジャパン著 「対立がちからに」ウィリアム・J.クレイドラー他(プロジェクトアベンチャー・ジャパン:訳)著		全日程参加が必須。大学を出発して帰るまで、引率者としての自覚を持って主体的に取り組むこと。「野外教育」を履修しない人は「野外教育」の履修は不可。【実務経験のある教員が担当】。(1時間)							

科目名	スポーツ指導法		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパ'リング	SC26072	研究室	S-13
担当者	岩間 英明		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスア-	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義は実技により授業展開しますが自分が「する」というより、スポーツ指導者の立場から、学習者が目指す「運動スキルの獲得」「運動課題の発見・解決方法を見つけ出す」ための指導方法について学修します。特に指導のポイントとなる「スポーツの特性」「運動構造」といった視点からのアプローチや、「学習者の課題に適した指導法」「指導の際の言葉かけ」「運動の場づくり」といった実践的な指導内容についても分析・研究し、スポーツの指導実践能力を高めていきます。										
学修到達目標										
各種スポーツの「特性」「構造分析」を理解した上で、スポーツ指導に必要な「スキルの獲得方法」「課題の発見・解決方法」といった具体的な指導方法が身についている。さらに、「個に応じた指導」「指導の言葉かけ」「運動の場づくり」など、指導方法について自ら工夫することができる。										
授業の進め方										
各種スポーツの特性の理解、運動技能・技術の指導、学習集団の指導などについて、実技によって学修展開をしていきます。受講者が指導者と学習者の役割を交互に担い、指導方法についてディスカッションしながら実践的指導力の向上を図ります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション 体づくり運動(即興制作)	体づくり運動の特性、指導上の留意点などを踏まえ、体づくり運動を即興的に作った上で、それぞれの指導内容や指導方法について討議をします。				学習指導要領を予習し、次時にむけた体づくり運動の指導案を作成する。(1時間)				
2	体づくり運動(研究・討議)	体づくり運動の指導案により実際に指導展開し、その結果についてグループや全体での討議に基づき、さらなる洗練に向けた準備を行います。				実施した指導案に研究・討議した内容を加味し、加筆・修正をする。(1時間)				
3	体づくり運動(完成)	修正指導案による指導を行い、その内容についてグループや全体で検討し、検討事項を全員で共有しながら改善方法などを研究し、体づくり運動の指導についての理解を深めます。				修正指導案にさらに加筆・修正を加え提出する。(1時間)				
4	テニス(基礎知識)	テニスの特性、基本的なルール、基本技術、指導上の留意点など、テニスを指導する上で必要な知識を実技を交えながら理解します。				学習指導要領、体育資料などを使いテニスについて予習・復習をする。(1時間)				
5	テニス(グラウンドストローク)	各種グラウンドストロークによる確実な返球に必要な技術及び、指導のポイントについて実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを使いグラウンドストロークについて予習・復習をする。(1時間)				
6	テニス(サービス、ボレー)	サービスとそれに伴うサービスダッシュ、ボレーに必要な技術及び、指導のポイントについて実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを使いサービス、ボレーについて予習・復習をする。(1時間)				
7	テニス(ボールの回転)	トップスピン系、スライス系など、グラウンドストロークやサーブにおけるボールの回転に関わる技術及び、指導のポイントについて実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを使いトップスピン、スライスについて予習・復習をする。(1時間)				
8	テニス(戦術の基礎)	戦術的局面のうち基本的な「つなぎの局面」であるクロス、ストレートを使ったラリーの攻防について、実技を交えながら必要な技術の獲得、戦術的理解を目指します。				体育資料などを使いクロス、ストレートについて予習・復習をする。(1時間)				
9	テニス(戦術)	戦術局面のうち相手を追い込む「崩しの局面」であるショートクロス、ロブ、パッシング、スマッシュなど様々な技術を使った攻防について、実技を交えながら必要な技術の獲得、戦術的理解を目指します。				これまでの学修に基づき、テニスの指導案を作成し、提出する。(1時間)				
10	マット運動(伸膝前転)	伸膝前転の技術のコツ及び、指導のポイント、練習方法について、実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				学習指導要領、体育資料などを使い伸膝前転について予習・復習をする。(1時間)				
11	マット運動(前方倒立回転跳び)	前方倒立回転跳びの技術のコツ及び、指導のポイント、練習方法について、実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				学習指導要領、体育資料などを使い前方倒立回転跳びについて予習・復習をする。(1時間)				
12	とび箱運動(かかえこみ跳び)	かかえこみ跳びの技術のコツ及び、指導のポイント、練習方法について、実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				学習指導要領、体育資料などを使いかかえこみ跳びについて予習・復習をする。(1時間)				
13	とび箱運動(前方倒立回転跳び)	前方倒立回転跳びの技術のコツ及び、指導のポイント、練習方法について、実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				学習指導要領、体育資料などを使い前方倒立回転跳びについて予習・復習をする。(1時間)				
14	鉄棒運動(腕立て前方・後方回転)	腕立て前方回転、腕立て後方回転の技術のコツ及び、指導のポイント、練習方法について、実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				学習指導要領、体育資料などを使い腕立て前方・後方回転について予習・復習をする。(1時間)				
15	鉄棒運動(上がり技、下り技)	各種上がり技、下り技の技術のコツ及び、指導のポイント、練習方法について、実技を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				これまでの学修に基づき、器械運動の指導案を作成し、提出する。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「ステップアップ 高校スポーツ」(大修館書店)(別途、指示します。) 「中学体育実技」(学研)(別途、指示します。) 中学校・高等学校の保健体育の授業で使用している準教科書ですが、必ず両方もしくはどちらを準備してください。一般書店では購入できませんので、教職センターで希望購入します。		実技:50% 受講態度:20% 課題:30% 成績評価の方法・基準は実技:50% 受講態度:20% 課題(指導案)30% 毎時間の授業における実技と受講態度を評価します。受講態度は、技能の高さと指導方法についての知識度・理解度、討議に対する意欲度、安全に対する配慮などを評価します。課題は指導案の完成度(指導現場でどの程度通用するか)により評価します。 評価基準は合計点数で、90%以上をS、80~89%をA、70~79%をB、50~59%をCとします。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「中学校 高等学校 学習指導要領」(東山書房)		原則、教職課程履修者を対象とします。体育科教員に必要な実技能力及び指導のポイント、指導方法などを学修します。教員を目指す人はできるだけ受講することを勧めます。学校現場の経験を生かした講義展開をします。								

科目名	スポーツ指導法		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	SC26073	研究室	S-13
担当者	岩間 英明		必修選択	選択	科目種別	実技	オイスア-	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義は実技により授業展開しますが自分が「する」というより、スポーツ指導者の立場から、学習者が目指す「運動スキルの獲得」「運動課題の発見・解決方法を見つけ出す」ための指導方法について学修します。特に指導のポイントとなる「スポーツの特性」「運動構造」といった視点からのアプローチや、「学習者の課題に適した指導法」「指導の際の言葉かけ」「運動の場づくり」といった実践的な指導内容についても分析・研究し、スポーツの指導実践能力を高めていきます。										
学修到達目標										
各種スポーツの「特性」「構造分析」を理解した上で、スポーツ指導に必要な「スキルの獲得方法」「課題の発見・解決方法」といった具体的な指導方法が身についている。さらに、「個に応じた指導」「指導の言葉かけ」「運動の場づくり」など、指導方法について自ら工夫することができる。										
授業の進め方										
各種スポーツの特性の理解、運動技能・技術の指導、学習集団の指導などについて、実技によって学修展開をしていきます。受講者が指導者と学習者の役割を交互に担い、指導方法についてディスカッションしながら実践的指導力の向上を図ります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション 創作ダンス(即興制作)	創作ダンスの特性、指導上の留意点などを踏まえ、創作ダンスを即興的に作った上で、それぞれの指導内容や指導方法について討議をします。				学習指導要領を予習し、次時にむけた創作ダンスの指導案を作成する。(1時間)				
2	創作ダンス(研究・討議)	創作ダンスの指導案により実際に指導展開し、その結果についてグループや全体での討議に基づき、さらなる洗練に向けた準備を行います。				実施した指導案に研究・討議した内容を加味し、加筆・修正をする。(1時間)				
3	創作ダンス(完成)	修正指導案による指導を行い、その内容についてグループや全体で検討し、検討事項を全員で共有しながら改善方法などを研究し、創作ダンスの指導についての理解を深めます。				修正指導案にさらに加筆・修正を加え提出する。(1時間)				
4	ソフトボール(基礎知識)	ソフトボールの特性、基本的なルール、基本技術、指導上の留意点など、ソフトボールを指導する上で必要な知識を実技や討議を交えながら理解します。				学習指導要領、体育資料などを使いソフトボールについて予習・復習をする。(1時間)				
5	ソフトボール(フィールドイング)	フィールドイングに必要なキャッチボール、捕球などの技術及び、指導のポイント、練習方法について、実技や討議を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを使いフィールドイングについて予習・復習をする。(1時間)				
6	ソフトボール(バッティング)	バッティングに必要な技術及び、指導のポイント、練習方法について、実技や討議を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを使いバッティングについて予習・復習をする。(1時間)				
7	ソフトボール(守備vs打者)	初心者を対象とした主に「守備vs打者」の局面におけるゲーム構成の仕方について、実技や討議を交えながら技術のポイント、指導方法や練習方法の理解を目指します。				体育資料などを使い簡易ゲームについて予習・復習をする。(1時間)				
8	ソフトボール(守備vs打者+走者)	初心者を対象とした主に「守備vs打者+走者」の局面におけるゲーム構成の仕方について、実技や討議を交えながら技術のポイント、指導方法や練習方法の理解を目指します。				体育資料などを使い簡易ゲームについて予習・復習をする。(1時間)				
9	ソフトボール(個人差)	男女合同などの個人差が大きいチーム編成を対象としたゲーム構成の仕方について、実技や討議を交えながら技術のポイント、指導方法や練習方法の理解を目指します。				これまでの学修に基づき、ソフトボールの指導案を作成し、提出する。(1時間)				
10	ハンドボール(基礎知識)	ハンドボールの特性、基本的なルール、基本技術、指導上の留意点など、ハンドボールを指導する上で必要な知識を実技や討議を交えながら理解します。				学習指導要領、体育資料などを使いハンドボールについて予習・復習をする。(1時間)				
11	ハンドボール(基本技術)	各種パス、シュートなどの個人技術及び、指導のポイント、練習方法について、実技や討議を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを基本技術について予習・復習をする。(1時間)				
12	ハンドボール(攻撃のチーム戦術)	攻撃のチーム戦術に必要な技術及び、指導のポイント、練習方法について、実技や討議を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを使い攻撃方法について予習・復習をする。(1時間)				
13	ハンドボール(守備のチーム戦術)	守備のチーム戦術に必要な技術及び、指導のポイント、練習方法について、実技や討議を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを使い前方倒立回転跳びについて予習・復習をする。(1時間)				
14	ハンドボール(タスクゲーム)	人数を変えるなど戦術を意識したタスクゲームを行い、ゲームに必要な技術及び、指導のポイント、練習方法について、実技や討議を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				体育資料などを使い戦術を使った攻防について予習・復習をする。(1時間)				
15	ハンドボール(メインゲーム)	総合的なゲームを行い、ゲームに必要な技術及び、指導のポイント、練習方法について、実技や討議を交えながら技術の獲得、理解を目指します。				これまでの学修に基づき、ハンドボールの指導案を作成し、提出する。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「ステップアップ 高校スポーツ」(大修館書店)(別途、指示します。) 「中学体育実技」(学研)(別途、指示します。) 中学校・高等学校の保健体育の授業で使用している準教科書ですが、必ず両方もしくはどちらを準備してください。一般書店では購入できませんので、教職センターで希望購入します。		実技:50% 受講態度:20% 課題:30% 成績評価の方法・基準は実技:50% 受講態度:20% 課題(指導案)30% 毎時間の授業における実技と受講態度を評価します。受講態度は、技能の高さと指導方法についての知識度・理解度、討議に対する意欲度、安全に対する配慮などを評価します。課題は指導案の完成度(指導現場でどの程度通用するか)により評価します。 評価基準は合計点数で、90%以上をS、80~89%をA、70~79%をB、50~59%をCとします。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「中学校 高等学校 学習指導要領」(東山書房)		原則、教職課程履修者を対象とします。体育科教員に必要な実技能力及び指導のポイント、指導方法などを学修します。教員を目指す人はできるだけ受講することを勧めます。学校現場の経験を生かした講義展開をします。								

科目名	スポーツ科学入門		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	SL26074	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加・各教員		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
本講義では3年次のゼミナール選択および4年次の卒業研究を視野に入れ、スポーツ領域における様々な研究に触れながら、研究を進めていくための基礎的知識を学びます。最終的には、学生が自ら興味のある研究テーマを見つけ、研究への向学心を身につけることを目的とします。										
学修到達目標										
多方面からスポーツを捉える視点を養い、大学で学ぶことの意味をより明確にすることを到達目標とします。また、レポートのまとめ方やプレゼンテーションの仕方など、専門分野に必要な能力を向上させることも目標とします。										
授業の進め方										
ゼミ単位での活動の場合は、教員やゼミ生との相互的なコミュニケーションを行いながら課題を達成していきます。学年全体での講話実施、合同企画や基礎学習などの演習も行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	2年次履修状況・学生生活について全体指導(個別把握)をします。				自分の履修状況を把握しておく(1時間)				
2	スポーツ大会の企画	2年生で実施するスポーツ大会の企画立案を行います。単にプレーヤーとして楽しむだけのスポーツではなく、大会の運営や企画など、スポーツマネジメントの実際を学びます。				実施するスポーツのルールや運営方法について学修しておき、企画案を作成する。(1時間)				
3	スポーツ大会	屋外でサッカーを行います。実際の競技のスキルだけではなく、大会の運営や企画なども学べます。				事前にチーム分けや対戦スケジュールを作成しておく。(1時間)				
4	スポーツ大会	体育館で行えるバレーボールとバスケットボールを行います。実際の競技のスキルだけではなく、大会の運営や企画なども学べます。				事前にバレーボールとバスケットボールのルールを学修しておく。(1時間)				
5	クラスの時間(キャリア談話)	卒業後の進路や資格取得、各種職業などについてゼミ内で発表・討論を行います。				現在目指している職業や資格について、職種の特徴やどんな学修が必要なのか調べる。(1時間)				
6	基礎教養	各科目に分かれ、小テストを教材にした基礎教養の解説を行います。				一般教養について自分の得手不得手を考え、講義後に教養分野の学習方法をまとめる。(1時間)				
7	基礎教養	各科目に分かれ、小テストを教材にした基礎教養の解説を行います。				一般教養について自分の得手不得手を考え、講義後に教養分野の学習方法をまとめる。(1時間)				
8	春期課題確認テスト	春期課題の確認テストを行います。				春期課題の不正解問題などを解決し、全科目の復習をしておく。(1時間)				
9	先輩講話	4年生の就職活動の状況や大学生活における学びについて話を聞き、自身の進路についての考えを深めます。				現在目指している職業や資格について、職種の特徴やどんな学修が必要なのか調べる。(1時間)				
10	研究テーマを考える	卒業研究を想定して研究テーマを考え、ゼミ内で発表します。				発表用のスライドを作成し、発表練習をしておく。(1時間)				
11	研究テーマを考える	卒業研究を想定して研究テーマを考え、ゼミ内で発表します。				発表用のスライドを作成し、発表練習をしておく。(1時間)				
12	確認テスト解説	確認テストの成績返却と解説を実施します。				事後学習として不正解問題の見直しと再解答を行う。(1時間)				
13	野外活動準備	野外活動の履修を決定して各グループごとの目標を設定します。				事前に各自の野外活動の目標を考えておく。(1時間)				
14	レポートの書き方	目的に合ったレポートの書き方を学び、レポートを作成します。				設定した課題について情報収集し、レポートを作成する。(1時間)				
15	野外活動準備	野外活動での活動内容を確認して係別行動のシュミレーションを行います。				事前に各自の係の内容を確認しておく。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各教員が内容に応じた必要資料を配布します。なお、資料は必ず保管しておいてください。				課題：70% レポート：30% 講義内外を通して科せられる課題やレポートの内容及びその提出状況と、各種の活動を通してどのような受講態度であったか、積極性や組織内での協調性を総合的に評価します。Sはそのいずれもが極めて良好な状況であった場合とします。Aはそれらが良好な状況である場合。Bはそれらが概ね良好である場合。Cは科せられた内容が実施できた場合とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				1年次の「基礎ゼミⅠ、Ⅱ」の単位を修得していることが履修の条件となります。また、演習形式の授業が多くなりますので、授業の中で行なう共同作業、および討論への積極的な参加が望まれます。						



科目名	スポーツ科学入門		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	SL26075	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加・各教員		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
本講義では3年次のゼミナール選択および4年次の卒業研究を視野に入れ、スポーツ領域における様々な研究に触れながら、研究を進めていくための基礎的知識を学びます。最終的には、学生が自ら興味のある研究テーマを見つけ、研究への向学心を身につけることを目的とします。										
学修到達目標										
多方面からスポーツを捉える視点を養い、大学で学ぶことの意味をより明確にすることを到達目標とします。また、レポートのまとめ方やプレゼンテーションの仕方など、専門分野に必要な能力を向上させることも目標とします。										
授業の進め方										
ゼミ単位での活動の場合は、教員やゼミ学生との相互的なコミュニケーションを行いながら課題を達成していきます。学年全体での講話実施、合同企画や基礎学習などの演習も行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	後期ガイダンス	後期授業の履修状況確認、野外活動のまとめを行います。				自分の履修状況を把握しておく(1時間)				
2	野外活動の検討・スポフェスの企画検討	野外活動での活動内容のまとめや、スポフェスの企画を2グループ同時進行の形で進めます。				事前に野外活動・スポフェスでの活動内容などのデータ・資料などを準備しておく。(1時間)				
3	野外活動・スポフェス企画の発表	野外活動及びスポフェス企画について、全体での活動内容や企画内容について共通理解を図ります。				それぞれの活動毎、プレゼンのデータを準備しておく。(1時間)				
4	基礎教養	各科目に分かれ、小テストを教材にした基礎教養の解説を行います。				一般教養について自分の得手不得手を考え、講義後に教養分野の学習方法をまとめる。(1時間)				
5	夏期課題確認テスト	夏期課題の確認テストを行います。				春期課題の不正解問題などを解決し、全科目の復習をしておく。(1時間)				
6	クラスの時間(キャリア談話)	各分野での就職やキャリア形成、将来像などについて講話します。				現在目指している職業や資格について、職種の特徴やどんな学修が必要なのか調べる。(1時間)				
7	クラスの時間(キャリア談話)	各分野での就職やキャリア形成、将来像などについて講話します。				現在目指している職業や資格について、職種の特徴やどんな学修が必要なのか調べる。(1時間)				
8	確認テスト解説	確認テストの成績返却と解説を実施します。				事後学習として不正解問題の見直しと再解答を行う。(1時間)				
9	ゼミ選びオリエンテーション	来年度のゼミの選択の仕方や各ゼミの研究内容などを紹介します。				事前に来年度選びたいゼミや卒業研究のテーマとして興味のあることを考えておく。(1時間)				
10	ゼミ選びオリエンテーション	来年度のゼミの選択の仕方や各ゼミの研究内容などを紹介します。				事前に来年度選びたいゼミや卒業研究のテーマとして興味のあることを考えておく。(1時間)				
11	ゼミ選びオリエンテーション	来年度のゼミの選択の仕方や各ゼミの研究内容などを紹介します。				事前に来年度選びたいゼミや卒業研究のテーマとして興味のあることを考えておく。(1時間)				
12	クラスの時間(キャリア談話)	卒業後の進路や資格取得、各種職業などについてゼミ内で発表・討論を行います。				現在目指している職業や資格について、職種の特徴やどんな学修が必要なのか調べる。(1時間)				
13	クラスの時間(専門ゼミについて)	専門ゼミ選びについて疑問・質問などを挙げ、解決していきます。				事前に来年度選びたいゼミを考えておく。(1時間)				
14	ゼミ選択相談	来年度の入りたいゼミの担当教員と相談をします。				事前に来年度選びたいゼミを考えておく。(1時間)				
15	まとめ	1年間の振り返りを各ゼミで行います。				資料やスライドを事前に作成しておく。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各教員が内容に応じた必要資料を配布します。なお、資料は必ず保管しておいてください。				課題：70% レポート：30% 講義内外を通して科せられる課題やレポートの内容及びその提出状況と、各種の活動を通してどのような受講態度であったか、積極性や組織内での協調性を総合的に評価します。Sはそのいずれもが極めて良好な状況であった場合とします。Aはそれらが良好な状況である場合。Bはそれらが概ね良好である場合。Cは科せられた内容が実施できた場合とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				1年次の「基礎ゼミⅠ、Ⅱ」の単位を修得していることが履修の条件となります。また、演習形式の授業が多くなりますので、授業の中で行なう共同作業、および討論への積極的な参加が望まれます。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-14
担当者	等々力 賢治		必修選択	必修	科目種別	演習	ワイズア-	木曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
本演習では、1・2年次に学んだ基礎的な知識・教養をベースに、スポーツを巡って生起している諸問題について分析・検討し、相互に意見交換し、議論すると共に、具体的な取組として、グループ単位でテーマを設定し、文献や資料を購読して参考にしたり、各種スポーツ産業を実際に訪問・調査するなどしてレポートにまとめ、現状に対する理解を深めます。なお、レポート作成の過程では適宜アドバイス、添削を行い、よりよいものになるよう努めます。										
学習到達目標										
まず、グループ単位でテーマを設定し、文献や資料を購読し参考にしたり各種スポーツ産業を実際に訪問・調査するなどしてレポートにまとめ、報告し論議に付す。そして、そうしたことを通じてスポーツに関連する諸知識のいっそうの深化及び体系化を図る。併せて、レポート作成に必要なテーマ設定や章立ての方法などについて理解し、修得する。										
授業の進め方										
本演習では、まず新聞記事などを材料に報告、議論し、その後、スポーツ産業を訪問・調査するなどしてレポートにまとめ発表すると共に、それを巡って論議を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	演習の年間計画、内容などを確認した上で、ゼミ長・副ゼミ長などを決め、次時以降の自主的運営について共通理解を図ります。また、次時からの新聞記事を題材にした報告に備え担当者(順番)を決めます。				事前:シラバスをよく読んでおく。事後:次時からの報告に備え複数の新聞記事を探す。(1時間)				
2	レポート・報告方法の確認	一時間当たり4人～5人を目安に3週にわたって報告、議論を行うことを前提に、レポート対象及び方法などについて、記事の選択理由や焦点、さらに議論したい事柄、論点等を明記することなどを確認します。				事前:レポートしたい記事を探しておく。事後:記事を読んでレポートを作成する。(1時間)				
3	新聞記事レポート報告(1)	まず、レポート報告の方法(時間、司会者など)について確認した上で、順番を決め、手順に従って4人程度を目安に発表し、一つずつ議論に付します。その際、議論したい事柄(論点)を明示するよう求めます。				事前:レポートを執筆し報告準備をしておく。事後:議論を参考にレポートを書き直す。(1時間)				
4	新聞記事レポート報告(2)	前時と同じように、4人程度を目安にレポート報告を行い、議論に付します。その際、レポートの作成方法について要件を満たしているか確認し、話し方等についても必要であれば注意します。				事前:レポートを執筆し報告準備をしておく。事後:議論を参考にレポートを書き直す。(1時間)				
5	新聞記事レポート報告(3)	前時に引き続き、残りのレポート報告を行い、議論に付します。それを題材に、必要に応じて、質問の仕方や答え方、あるいは論点の提示など、議論の仕方についても学びます。				事前:レポートを執筆し報告準備をしておく。事後:議論を参考に書き直し提出する。(1時間)				
6	グループレポート作成準備	前時の個人レポートの作成・報告を踏まえ、今次からのグループレポート作成のために、今後の予定、グループメンバー(3人～5人程度)の決定などを行います。その際、グループ責任者も決めておきます。				事前:個人レポートを書き直し提出する。事後:グループメンバーやテーマなどを決める。(1時間)				
7	テーマの選択と決定	決まったメンバーで、調べてみたいことなどについて相談しておおよそを決定し、調査・訪問対象を確定すると共に、今後の日程などについても相談し、決定します。質問については、シート化し提出します。				事前:調査したいことを考えておく。事後:調査・訪問対象等を考えて記載し提出する。(1時間)				
8	調査・訪問の実施(1)	前時の相談、確認にしがって、実際に図書館や企業などに行き、資料を調べたり、聞き取り調査などを行います。その後、その内容についてメンバー間で意見交換し、レポート作成に備えます。				調査・訪問日時、聞き取り内容を確認しておく。事後:聞き取った内容を整理しておく。(1時間)				
9	調査・訪問の実施(2)	前時の相談、確認にしがって、実際に図書館や企業などに行き、資料を調べたり、聞き取り調査などを行います。その後、その内容についてメンバー間で意見交換し、レポート作成に備えます。				事前:調査・訪問の予定を確認しておく。事後:調べたり聞き取った内容を整理しておく。(1時間)				
10	レポート執筆要領の確認	レポートを作成するために必要な事柄を記載した「グループレポート執筆要領」を基に、字数(枚数)等の体裁、内容構成などを確認します。その上で、メンバー各人の執筆担当部分(章)を相談して決めます。				事前:調べたり聞き取った内容を整理しておく。事後:各自の担当部分を確認し執筆する。(1時間)				
11	各自の分担執筆(1)	前時に確認した担当部分に基づいて、各自でレポート執筆を進めます。その際、字数・行数、ポイント、余白等について確認し、共通化を図っていきましょう求めます。				事前:担当部分(章)の執筆を進める。事後:他メンバーと執筆内容について意見交換する。(1時間)				
12	各自の分担執筆(2)	執筆については、字数・枚数に制限が課されていることを踏まえ、書き込むべき内容と省くべき内容それぞれについて、他のメンバーとよく相談しながら進める必要があり、それを求めます。				事前:担当部分(章)の執筆を進める。事後:他のメンバーと執筆内容等に関して討議する。(1時間)				
13	各自執筆分の突き合わせ	各自が執筆したものを持ち寄って読み合わせを行い、内容に一貫性を持たせるべく努めます。それを受けて、最終章あるいは「まとめ」について意見交換・集約し、その内容と執筆担当者を決めます。				事前:レポート執筆の体裁を確認しておく。事後:修正箇所を確認の上、執筆を進める。(1時間)				
14	レポートの仕上げと提出	各自の分担分と「まとめ」を相互に読み合い、意見交換するなどして確認します。その上で、400字詰め原稿用紙一枚に、レポート作成に取り組んでの意見や感想などを書き、レポートの最末尾に添付します。				事前:添付する意見や感想などを考えておく。事後:意見等を添付しレポートを提出する。(1時間)				
15	レジュメ作成要領の確認	後期のスポーツ健康演習ではレポート報告会の予定なので、それに備えて、提出したレポートを基に報告用レジュメの作成準備に入ります。そのために、必要な事柄を記載した「作成要領」を確認します。				事前:レジュメについて調べておく。事後:意見交換をしながらレジュメの作成を進める。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
特に指定しません。		レポート:50% 課題:20% 出席レポート:30% 成績評価は、レポートの執筆・提出状況を中心に、前半期に課す課題及び出席レポート等を含めて行います。評価基準は次のとおりです。S:探求的思考力をもって取り組み、レポート内容が独創的であり、講義外の課題をも包含している。A:探求的・意欲的に取り組み、レポート内容と課題が明確にされている。B:意欲的に取り組み、レポート内容が明確にされている。C:意欲的に取り組んでいるものの、レポート内容の独創性が必ずしも十分ではない。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「現代スポーツのバースペクティブ」菊 幸一編(大修館書店) ISBN:4-469-26613-2 スポーツ関連書籍が沢山出版されています。ドンドン読み漁ってください。		ゼミ活動として、何回かJリーグ松本山雅のホームゲームにボランティア参加することを予定しています。ゲーム運営など、プロスポーツの実際を知る絶好の機会を予め積極的に取り組んでください。								

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
社会の変化に伴い、スポーツに関係する事象から様々な問題を見ることができます。本ゼミでは、その事象が現代社会とどの様につながっているのかを歴史的視点を含めながら考えて行きます。4年次に卒論を執筆することを念頭に論文を読むことによってその構成について学びます。また、研究目的を明らかにするための研究方法及び分析方法、結果の表し方、考察の仕方について学びます。										
学修到達目標										
「スポーツと社会がどの様に関わっているのか」「何のために、誰のためにスポーツは存在するのか」「どうしてその様な現象が起きているのか」など、スポーツを通して社会を読み解く視点を養い、説明できるようにします。										
授業の進め方										
主としてテキスト・論文を読みすすめながら授業を展開します。本年度は共通テーマとして、環境が児童および園児に及ぼす影響について考えて行きます。担当者はレジュメを作成し発表を行います。保育園等における運動能力調査なども行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	ゼミ活動の概要とゼミの進め方(抄読と共通テーマ)について説明します。ゼミ内の役割分担について話し合います。				自分の関心事項についてまとめる。(1時間)				
2	運動遊び支援のポイントについて	ゼミ活動で行われる運動遊び支援のポイントについて理解を深めます。自分の18番を見つけてみましょう。毎時間順番で簡単なゲームをします。				運動遊び支援のポイントについてまとめる。(1時間)				
3	子どもの体力の現状と原因について	子どもも体力の現状及び子どもを取り巻く環境の問題等から体力低下の原因について理解します。また、幼児の運動能力測定の仕方について学びます。				「子どもの体力向上のための総合的な方策について」を読んでくる。(1時間)				
4	子どもの育成とその環境の諸問題	我が国の子どもの育成とその環境の諸問題について理解します。				「我が国の子どもを元気にする環境づくりのための国家的戦略の確立」を読んでくる。(1時間)				
5	子どもの育成環境に関わる政策について	我が国の子どもの育成環境に関わる政策の諸問題について理解を深めます。				「我が国の子どもを元気にする環境づくりのための国家的戦略の確立」を読んでくる。(1時間)				
6	子どもを元気にする環境づくりの戦略について	我が国の子どもを元気にする環境づくりの戦略について理解を深めます。				「我が国の子どもを元気にする環境づくりのための国家的戦略の確立」を読んでくる。(1時間)				
7	子どもの育成空間の課題と提言	「我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 育成空間の課題と提言 - 」の背景、現状、問題点について理解します。				「我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 育成空間の課題と提言 - 」を読んでくる。(1時間)				
8	子どもの育成空間の課題と提言(2)	「我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 育成空間の課題と提言 - 」の提言について理解します。				「我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 育成空間の課題と提言 - 」を読んでくる。(1時間)				
9	生育空間の課題と提言の検証	「我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 生育空間の課題と提言 - の事後調査結果より、子どもの力の回復に向けた環境整備について理解します。				「我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 生育空間の課題と提言 - の検証」を読む。(1時間)				
10	生育空間の課題と提言の検証(2)	安全・安心と遊びが両立するコミュニティ形成及び子どもに関連する横断的施策及び総合的調整権限を有する組織について理解します。				「我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 生育空間の課題と提言 - の検証」を読む。(1時間)				
11	子どもの育成方法の課題と提言	我が国の子どもの育成環境の改善にむけて育成方法(生活方法・メディア・大人のかかわり等の面)から現状の問題と改善の方向について理解します。				我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 育成方法の課題と提言 - を読んでくる。(1時間)				
12	子どもの育成方法の課題と提言(2)	我が国の子どもの育成環境の改善にむけて育成方法の改善への提言について理解します。				我が国の子どもの育成環境の改善にむけて - 育成方法の課題と提言 - を読んでくる。(1時間)				
13	論文の構成と読み方	研究論文を読みながら、論文がどのような構成になっているのかについて理解を深めます。また、どの様に論文を探すのかについて学びます。論文の探し方としてCiNiiの使い方等を学びます。				自分で論文を検索し、読んでくる。(1時間)				
14	論文の発表	自分で探してきた論文を第1グループが発表します。				卒論のテーマを絞り込む。(1時間)				
15	論文の発表(2)	自分で探してきた論文を第2グループが発表します。				仮の卒論のテーマを決める。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「「アクセプトされる英語医学論文を書こう」ネル・L・ケネディ著(メジカルビュー社) ISBN:4-89553-969-5 資料を講義内容に応じて、適宜配布します。				受講態度:70% レポート:30% 受講態度は、授業及びゼミ活動への積極的参加、協力的態度、役割分担、発言、発表等について評価します。総合評価で95点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「「戦後日本のスポーツ政策その構造と展開」関春南著(大修館書店) ISBN:4-469-26362-1 適宜、必要な資料を配布します。				問題意識を持ち、積極的に議論をして行きましょう。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
<p>本授業では、健康づくりの意義を考えるとともに、自治体や企業内で取り組まれている健康づくりのプログラムやその指導法について考察します。また、運動プログラム作成の際に必要な、持久性体力や筋力などの体力要素に加え、歩行分析機、筋電計を使用した計測と評価手法を学びます。さらに、こうした学習を通して、各自の身体活動に対する認識を深めたり、健康づくりに関する課題を掘り起こしたりしながら、健康づくりの方策も探っていきます。</p>										
学修到達目標										
<p>個人、集団を問わず健康づくりに有効なプログラム作成とその指導ができる能力を身につけることを目指します。また、ゼミナールの中のディスカッションを通して議論の仕方を学習すると共に、論理的思考力や批判的思考力、情報リテラシーあるいはプレゼンテーション能力などを向上させる目標となります。</p>										
授業の進め方										
<p>教員からの一方的な講義ではなく、皆さんからの発言や調査内容を一人ひとり発表しながら進めていきます。また、学外での活動は、実際に地域や企業に出向き、そこで展開されているプログラムや指導内容について学んでいきます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のねらいと2年間を見通したゼミナール活動について考えていきます。				事前にシラバスを読む。本ゼミ卒業生の発表会の内容を読み、ゼミ活動の構想を立てる(1時間)。				
2	高齢化の到来(1)	健康寿命の延伸がなぜ必要なのかについて考察・討議します。				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく(1時間)。				
3	高齢化の到来(2)	加齢に伴い生理的・機能的変化がどのように起き、またそれに伴う様々な問題について考察・討議します。				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく(1時間)。				
4	高齢化の到来(3)	運動・身体活動支援を展開する上での課題について考察・討議します。				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は課題の視点を整理しておく(1時間)。				
5	高齢化の到来(4)	グループ1が考える運動・身体活動支援プログラムについて考察・討議します(1)。				健康づくりに有効な支援プログラムについて調べておく(1時間)。				
6	高齢化の到来(5)	グループ2が考える運動・身体活動支援プログラムについて考察・討議します(2)。				健康づくりに有効な支援プログラムについて調べておく(1時間)。				
7	運動・身体活動支援の実際(1)	自治体(松本市)での展開されている健康づくり教室を見学し、教室の内容と指導法について考察します。(1)				実際に行われていた指導について、各場面毎に分析しておく(1時間)。				
8	運動・身体活動支援の実際(2)	自治体(安曇野市)での展開されている健康づくり教室を見学し、教室の内容と指導法について考察します。(2)				実際に行われていた指導について、各場面毎に分析しておく(1時間)。				
9	運動・身体活動支援の実際(3)	自治体での取組を見学した上で見えてきた課題や評価できる内容について考察・討議します。				課題及び評価出来る事項についてそれぞれ整理し、発表出来るように準備しておく(1時間)。				
10	運動・身体活動支援の実際(4)	企業内(池の平ホテル)で展開されている健康づくり教室を見学し、教室の内容と指導法について考察します。(1)				実際に行われていた指導について、各場面毎に分析しておく(1時間)。				
11	運動・身体活動支援の実際(5)	企業内(aw)で展開されている健康づくり教室を見学し、教室の内容と指導法について考察します。(2)				実際に行われていた指導について、各場面毎に分析しておく(1時間)。				
12	運動・身体活動支援の実際(6)	企業での取組を見学した上で見えてきた課題や評価できる内容について考察・討議します。				課題及び評価出来る事項についてそれぞれ整理し、発表出来るように準備しておく(1時間)。				
13	運動・身体活動量の測定と評価(1)	身体活動量の様々な測定法について学び、実習を通して運動指導の場面を想定した指導演習を行います。				授業後には指導時に留意することを整理しておく(1時間)。				
14	運動・身体活動量の測定と評価(2)	エネルギー消費量の推定法について学び、実習を通して運動指導の場面を想定した指導演習を行います。				授業後には指導時に留意することを整理しておく(1時間)。				
15	講義全体のまとめ	第1回～14回までの講義の復習を行います。				これまでに配布した資料及び自分が作成したレポートをよく読み復習しておくこと(1時間)。				
テキスト		成績評価の方法・基準								
各回こちらでポイントを記したプリントを用意します。		<p>課題：50% レポート：50%</p> <p>S: 高度な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に極めて積極的に取り組み、高度な成果を示している。A: 高度な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、良好な成果を示している。B: 基本的な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、2/3程度の成果を示している。C: 基本的な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に取り組み、1/2程度の成果を示している。</p>								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「身体活動科学における研究方法」(NAP) ISBN: 4-931411-39-8		学外での健康づくり現場に出かけることも多いため、本講義以外の時間も活動として入ってきます。								

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-13
担当者	岩間 英明		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
本演習では体育授業や運動部活動などの学校体育、スポーツクラブやスポーツ少年団などの地域スポーツといった主に子どもたちを取り巻くスポーツ環境についての諸問題を中心に考察します。また、それらに付帯するスポーツの指導方法に関する課題についても、運動構造分析を手がかりに探究していきます。さらに、こうした学習を通して、各自のスポーツ活動に対する認識を深めたり、問題意識を掘り起こしたりしながら、スポーツ指導に関する論理形成を図ることを目的としています。										
学修到達目標										
スポーツ指導に関する知見に基づいた課題発見能力を身につけ、様々な観察法や分析法を理解し、課題解決能力の向上を図ることができる。また、ゼミナールの中のディスカッションを通して議論の仕方を学習すると共に、論理的思考力や批判的思考力、情報リテラシーあるいはプレゼンテーション能力などを向上させることができる。										
授業の進め方										
様々なスポーツ活動の実践事例や先行研究などの資料を利用して授業を進めていきます。また、ディスカッションや共同研究などの時間も多く、主体的な学習姿勢を望みます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のねらいと2年間を見通したゼミナール活動について考えていきます。				事前にシラバスを読んでくる。本ゼミ卒業論文を読み、ゼミ活動の構想を立てる。(4時間)				
2	体育授業を取り巻く諸問題(1)	現在、学校における体育授業においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として体育教師に関わる問題)				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
3	体育授業を取り巻く諸問題(2)	現在、学校における体育授業においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として授業構想に関わる問題)				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
4	体育授業を取り巻く諸問題(3)	現在、学校における体育授業においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として評価に関わる問題)				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
5	体育授業を取り巻く諸問題(4)	現在、学校における体育授業においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として指導方法に関わる問題)				テーマについて事前学習を進める。体育授業に関する課題をレポートにまとめる。(4時間)				
6	運動部活動を取り巻く諸問題(1)	現在、運動部活動においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として顧問・指導者に関わる問題)				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
7	運動部活動を取り巻く諸問題(2)	現在、運動部活動においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として練習の内容や方法、大会運営に関わる問題)				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
8	運動部活動を取り巻く諸問題(3)	現在、運動部活動においてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として練習環境や社会との関連に関わる問題)				テーマについて事前学習を進める。運動部活動に関する課題をレポートにまとめる。(4時間)				
9	地域スポーツを取り巻く諸問題(1)	現在、スポーツクラブ・スポーツ少年団などの地域スポーツにおいてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として指導者に関わる問題)				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
10	地域スポーツを取り巻く諸問題(2)	現在、スポーツクラブ・スポーツ少年団などの地域スポーツにおいてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として指導方法や練習内容、大会運営に関わる問題)				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
11	地域スポーツを取り巻く諸問題(3)	現在、スポーツクラブ・スポーツ少年団などの地域スポーツにおいてどのようなことが問題になっているか考察・討議します。(主として練習環境や社会との関連に関わる問題)				テーマについて事前学習を進める。地域スポーツに関する課題をレポートにまとめる。(4時間)				
12	スポーツをめぐる様々な問題	企業スポーツやプロスポーツなどを含めたスポーツ全般に関する問題点を考察・討議します。				テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(4時間)				
13	先行研究や文献の利用(1)	自己の課題に関する先行研究や文献の探し方を理解して、実際に読み、まとめていきます。				事前に自分が興味を持った課題を決める。先行研究や文献をよく読み、まとめてみる。(4時間)				
14	先行研究や文献の利用(2)	自己の課題に関する先行研究や文献について、まとめてみます。				先行研究や文献をよく読み、まとめておく。まとめた内容を課題発表に生かす。(4時間)				
15	課題発表会に向けての準備	自己の課題について、先行研究や文献で補強しながら、パワーポイントを使った発表ができるように準備を始めます。また、夏休み中の活動計画も併せて考えていきます。				先行研究や文献を自己の課題に利用できるようにしておく。発表会の準備をする。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義内容に応じて資料をその都度配布します。				課題:50% 受講態度:50% 受講態度はディスカッションなどの学習状況で、それらを総合的に評価します。課題の内容にはその過程も含み、受講態度には学内での活動はもちろん、学外での実習等の活動状況も含み評価対象とします。Sは上記の全ての内容が優れているもの。Aは良好だったもの。Bは概ね良好だったもの。Cは全ての内容に取り組みしたものとしします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
テーマに応じた参考図書や資料を指示します。				一人一人が自分の意見を述べ合ったり、実習をしたりしながら、授業を展開していきますので、積極的に授業に参加する姿勢が重要です。また、自ら問題意識を持ち、新聞・雑誌等にも目を向け、主体的に学習を進めることが大切です						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-15
担当者	山本 薫		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスアワ	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
<p>最大酸素摂取量の測定等、実験の手法を学びます。コンピュータの活用能力を身につけます(卒論作成や就職のために必要です)。文献、参考資料(書籍、新聞、雑誌)を探して読み込み、その内容を簡潔にまとめ、ゼミ内にて報告します。資料は参考文献として記録を残します(書籍・論文名、著者、雑誌発行号、引用(参考)ページ等)。学外活動にて健康運動指導の実際を学びます。これらの活動を通して卒論作成、健康運動の指導者を目指すための準備を進めていきます。</p>										
学修到達目標										
<p>スポーツ健康学科で学ぶ学生として運動生理学を中心に専門知識と教養を身につけ、各方面での健康づくり支援・指導者人材として成長することです。具体的には卒業研究に活用する実験技術を身につけ、また健康づくりでの社会貢献を通じて、社会の一員としての自覚を養います。</p>										
授業の進め方										
<p>毎回担当を決めて順番に1分間スピーチ、まとめレポート報告、および各種実験実習を重ねていきます。予定が決まれば学外健康運動指導に出かけます(要事前準備)。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	ゼミでの活動内容、スケジュール、卒業論文作成に向けての心構え、実験室活用、健康運動指導活動等について説明します。				ゼミ活動における抱負を考えておく(1時間)				
2	実験・測定・運動指導演習	身体組成・血圧・心拍数の測定、運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチ、3、4年合同ミーティングを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
3	実験・測定・運動指導演習	酸素摂取量・心拍数・血圧の測定、運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
4	実験・測定・運動指導演習	最大酸素摂取量・心拍数・血圧の測定、運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
5	実験・測定・運動指導演習	最大酸素摂取量・心拍数・血圧の測定、運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
6	実験・測定・運動指導演習	最大酸素摂取量・心拍数・血圧の測定、乳酸濃度の測定と解析、運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
7	実験・測定・運動指導演習	VT時酸素摂取量(その他数値)の測定・解析、運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
8	実験・測定・運動指導演習	VT時酸素摂取量(その他数値)の測定・解析、運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
9	実験・測定・運動指導演習	等張性筋力(マシン使用)の測定と運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				実施内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
10	実験・測定・運動指導演習	等張性筋力(マシン使用)の測定と運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				実施内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
11	実験・測定・運動指導演習	等張性筋力(マシン使用)の測定と運動指導実習、参考文献まとめ報告、1分間スピーチを行います。				実施内容をレポートにまとめて提出する(1時間)				
12	課題文献学習	課題文献の要約と発表およびディスカッションを行います。				事前:担当分野の要約(1時間)				
13	課題文献学習	課題文献の要約と発表およびディスカッションを行います。				事前:担当分野の要約(1時間)				
14	課題文献学習	課題文献の要約と発表およびディスカッションを行います。				事前:担当分野の要約(1時間)				
15	前期活動のまとめと反省	前期演習活動を振り返り、興味が湧いた内容を深く掘り下げて調べます。				前期を振り返り参考文献を読んで紹介の準備をする(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「健康運動指導士養成講座テキスト」(別途、指示します。)				<p>受講態度:70% レポート:30%</p> <p>総合評価(S:全ての実験実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定された課題について適切で十分な考察が出来ている。A:14回以上出席し、実験実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定課題について適切な考察が出来ている。B:13回以上出席し、実験実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定課題について考察が出来ている。C:11回以上出席し、実験実習に積極的に参加して課題レポートは指定課題に回答している。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「改訂版スポーツ測定評価学-からだの形と働きを測る」角田直也、須藤明治著(文化書房博文社) ISBN:978-4830112201				実験実習をする機会が多々あるので、いつも運動のできる準備(服装・室内靴)をしておいてください。常に体調を整えておいてください。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-18	
担当者	新井 喜代加		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日5限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2018年度～					
授業概要											
究極的には体育およびスポーツの普及・振興を目指しつつ、具体的には体育およびスポーツの普及・振興を阻害する問題・課題を理解し、その解決策を探るための基礎理論や分析・研究方法を学びます。											
学修到達目標											
スポーツに関わる法、政策、マネジメント等に関する諸問題について理解を深め、具体的な研究テーマと分析・研究方法の設定につなげることができる。											
授業の進め方											
ゼミ形式で実施します。新聞をテキストにしてスポーツ問題を理解してから、スポーツと法、行政、政策、マネジメント或いはジェンダー等に関する文献の講読を通して基礎理論を学び、さらに学術論文の講読を通して分析・研究方法を理解します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業目標、授業計画、授業の進め方、評価方法、詳細な留意事項等について解説します					シラバスを読む/事後:授業のルールや内容を確認する(1時間)				
2	スポーツに関する諸問題の報告1	討議を通じて、スポーツに関する諸問題について検討します					スポーツ問題を扱った新聞記事を探す/事後:記事のスポーツ問題を理解する(1時間)				
3	スポーツに関する諸問題の報告2	討議を通じて、スポーツに関する諸問題について検討します					スポーツ問題を扱った新聞記事を探す/事後:記事のスポーツ問題を理解する(1時間)				
4	スポーツに関する諸問題の報告3	討議を通じて、スポーツに関する諸問題について検討します					スポーツ問題を扱った新聞記事を探す/事後:記事のスポーツ問題を理解する(1時間)				
5	スポーツに関する諸問題の報告4	討議を通じて、スポーツに関する諸問題について検討します					スポーツ問題を扱った新聞記事を探す/事後:記事のスポーツ問題を理解する(1時間)				
6	スポーツに関する諸問題の報告5	討議を通じて、スポーツに関する諸問題について検討します					スポーツ問題を扱った新聞記事を探す/事後:記事のスポーツ問題を理解する(1時間)				
7	スポーツに関する文献の講読1	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
8	スポーツに関する文献の講読2	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
9	スポーツに関する文献の講読3	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
10	スポーツに関する文献の講読4	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
11	スポーツに関する文献の講読5	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
12	スポーツに関する文献の講読6	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
13	スポーツに関する文献の講読7	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
14	スポーツに関する文献の講読8	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
15	スポーツに関する文献の講読9	スポーツと法、行政、政策或はマネジメント等に関する文献の講読を通じて、基礎理論を学びます					指定された文献を読み込む/事後:文献の内容を復習する(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
それぞれの研究に適した文献や資料を適宜紹介します。					レポート:50% 課題:50% 評価基準は次の通りです。S:授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、独創性の高い考えを文章で表現できる/A:授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、自分の考えを文章で表現できる/B:授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、自分の考えを他者に伝えることができる/C:授業内容を大体理解し、与えられた課題に取り組み、自分の考えを他者に伝えることができる						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
それぞれの研究に適した文献や資料を適宜紹介しますが、「スポーツと法」、「スポーツ行政・政策論」、「スポーツマネジメント論」、「地域社会とスポーツ」等の授業で使用したテキスト及び参考書も活用して下さい。					お互いの研究に興味・関心をもって(面白い点を見つけて)、活発な議論が展開されるよう学生同士で工夫してください。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパ'リング	SL36076	研究室	C-2
担当者	河野 史倫		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度~				
授業概要										
地球上で生活する我々は、重力に逆らって姿勢を保持しなければいけません。そのため「抗重力筋」と呼ばれる種類の骨格筋は、体重を支えるために持続的に活動することを強いられます。その結果「抗重力筋」はエネルギー代謝や筋持久力に優れた特性を獲得しますが、重力のない宇宙空間へ行くと「抗重力筋」の機能が著しく低下します。『筋肉を抗重力筋仕様にするメカニズム』の解明を目指すことを柱として、各学生の卒業研究テーマを決定するための演習を行います。										
学修到達目標										
実験動物の飼育方法やサンプルの取り扱い、組織染色、タンパク質および遺伝子発現解析の方法を習得することが基本的な目標です。それらの解析データから、実験結果の妥当性や結果が示す事象を考察できるようになることが最終的な目標です。										
授業の進め方										
実際に実験を行い、その中で知識や実験方法、考え方を学んでもらいます。基本的には、個別に研究指導して進めていきますが、定期的に研究計画や進捗を発表・討論する機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	研究全体の流れと進め方について説明します。				研究の背景について復習し、与えられた文献を次回までに読んでおくこと。(1時間)				
2	研究概要の紹介	文献を教材にして研究の経緯や背景を学習します。				与えられた文献を次回までに読んでおくこと。(1時間)				
3	研究概要の紹介	文献を教材にして研究の経緯や背景を学習します。				与えられた文献を次回までに読んでおくこと。(1時間)				
4	研究概要の紹介	文献を教材にして研究の経緯や背景を学習します。				与えられた文献を次回までに読んでおくこと。(1時間)				
5	動物実験手法の習得	ラット、マウスの飼育方法や実験モデルについて練習します。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
6	動物実験手法の習得	ラット、マウスの飼育方法や実験モデルについて練習します。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
7	動物実験手法の習得	ラット、マウスの飼育方法や実験モデルについて練習します。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
8	各種解析方法の習得	組織化学解析方法の練習を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
9	各種解析方法の習得	組織化学解析方法の練習を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
10	各種解析方法の習得	組織化学解析方法の練習を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
11	各種解析方法の習得	遺伝子解析方法の練習を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
12	各種解析方法の習得	遺伝子解析方法の練習を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
13	各種解析方法の習得	遺伝子解析方法の練習を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
14	各種解析方法の習得	タンパク質解析方法の練習を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
15	各種解析方法の習得	タンパク質解析方法の練習を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要な資料はプリントなどで配布します。				課題:100% S:Aの条件に加え、データの取得が既に開始できている。 A:Bの条件に加え、実験技術を習得している。 B:Cの条件に加え、国際誌の論文を読むことができる。 C:割り当てられた実験に全て参加し、研究の趣旨を理解できている。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要な資料はプリントなどで配布します。				エビジェネティクスという考え方をキーワードに、骨格筋の性質を決めるメカニズム、抗重力筋の特性を獲得するメカニズムに迫っていきます。						



科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナバリング	SL36076	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
心理学に関する文献購読や心理テストを通して、人の心について様々な視点・レベル(深さ)から理解することを目指します。また、次年度行う卒業研究を視野に入れ、執筆に向けた研究テーマの設定方法について解説をします。										
学修到達目標										
人の心について様々な視点・レベルから理解することを目指します。また、次年度行う卒業研究に向けて、適切な研究テーマを設定できることを目指します。										
授業の進め方										
前半の講義(2回から8回)では、心理学に関する課題文献についてディスカッションを行います。また、後半の講義(9回から12回)では、様々な心理テストの体験・解説、13回から15回の講義では、研究テーマの設定方法について学びます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	講義の進め方や課題文献の紹介等を行います。				事前にシラバスを読み、本講義の目的について理解しておく。(4時間)				
2	人の心とは	課題文献 に関して担当者A、及びBの取り上げたテーマについて、ディスカッションを行います。				課題文献 の指定箇所を熟読し、ディスカッションに参加できるように準備を行う。(4時間)				
3	人の心とは	課題文献 に関して担当者C、及びDの取り上げたテーマについて、ディスカッションを行います。				課題文献 の指定箇所を熟読し、ディスカッションに参加できるように準備を行う。(4時間)				
4	人の心とは	課題文献 に関して担当者E、及びFの取り上げたテーマについて、ディスカッションを行います。				課題文献 の指定箇所を熟読し、ディスカッションに参加できるように準備を行う。(4時間)				
5	人の心とは	課題文献 に関して担当者G、及びHの取り上げたテーマについて、ディスカッションを行います。				課題文献 の指定箇所を熟読し、ディスカッションに参加できるように準備を行う。(4時間)				
6	人の心とは	課題文献 に関してフリーディスカッションを行います。				課題文献 の指定箇所を熟読し、ディスカッションに参加できるように準備を行う。(4時間)				
7	人の心とは	引き続き、課題文献 に関してフリーディスカッションを行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、ディスカッションに参加できるように準備を行う。(4時間)				
8	人の心とは	引き続き、課題文献に関してフリーディスカッションを行い、人の心をどうとらえれば良いのか、概念的なまとめを行います。				課題文献 の指定箇所を熟読し、ディスカッションに参加できるように準備を行う。(4時間)				
9	心理テスト	心理テスト(主要5因子性格検査、YG性格検査、およびPOMS等)について、体験を通して学びます。				心理テストの自己分析レポートを作成する。(4時間)				
10	心理テスト	作業検査法(内田クレペリン精神作業検査)について、体験を通して学びます。				心理テストの自己分析レポートを作成する。(4時間)				
11	心理テスト	投映法(ロールシャッハテスト等)について、体験を通して学びます。				心理テストの自己分析レポートを作成する。(4時間)				
12	心理テスト	描画法(パウムテストもしくは風景構成法)について、体験を通して学びます。				心理テストの自己分析レポートを作成する。(4時間)				
13	卒業論文に向けて	卒業論文の執筆に向け、テーマ設定の方法について説明をします。また、各自が集めてきた疑問について共有し、研究になり得るかについて議論を行います。				日常生活の中で感じた素朴な疑問を10個以上集めてくる。(4時間)				
14	卒業論文に向けて	引き続き、各自が集めてきた疑問について共有し、研究になり得るかについて議論を行います。				日常生活の中で感じた素朴な疑問を10個以上集めてくる。(4時間)				
15	まとめ	卒業研究執筆を念頭に置き、夏季休業中の課題、及び後期のゼミの進め方について解説をし、意見交換を行います。				卒業研究のテーマにつなげるため、問題意識を明確にしていく。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
受講者の希望に合わせて課題文献を指定します。また、プリント資料を適宜配布します。			受講態度:60% 課題:40% S:講義内のディスカッションを常にリードし、なおかつ与えられた課題にも探究的に取り組んでいる。A:講義内のディスカッションにおいて重要な役割を果たし、なおかつ与えられた課題にも積極的に取り組んでいる。B:講義内のディスカッションに対して積極的に参加し、与えられた課題すべてに誠実に取り組んでいる。C:講義内のディスカッションに対して参加しようとし、与えられた課題に取り組んでいる。なお、受講態度はディスカッションや課題等に取組む姿勢により評価します。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
プリント資料を適宜配布します。			・発表責任者は、割り当てられた発表に責任を持ってください。 ・進捗状況によっては、長期休暇中にも個人指導を行うことがあります。							

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-17	
担当者	田邊 愛子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	木曜日5限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2018年度~					
授業概要											
本演習では、1・2年次に学んだ健康づくりを科学的根拠に基づき、知識を広げていくことを目的とします。健康づくりへの理解を深め、4年時に取り組む卒業論文へのテーマや、研究目的が定まることを到達目標とします。実際に健康教室の企画・運営と学び、総合理解を深めることを目的としています。											
学修到達目標											
健康づくりを幅広く捉え、健康づくりの施策や健康教室の実際を理解し、様々なライフステージにおける運動処方を実習を通して学び、実際に運動処方できるようになること。											
授業の進め方											
有酸素運動および筋力トレーニングの知識を再確認し、健康教室などの現場での実習も行います。医学、体力科学、栄養学、ジェンダー問題を含む社会的側面などすべての面から、健全・快適に競技を続けるために必要な事を学んでいきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の狙いと2年間を見通したゼミナール活動について説明します					シラバスを熟読すること(1時間)				
2	スポーツにおける性差を考える	アライメントの違いを性差から考え、機能解剖学からそれぞれの特徴を理解できるようにします					テーマについて自分なりに事前学習を進める(1時間)				
3	スポーツにおける性差を考える	体力とスポーツ障害および性差が起因する生活習慣病について考えます					テーマについて自分なりに事前学習を進める(1時間)				
4	スポーツにおける性差を考える	循環器応答について性差から考えます					テーマについて自分なりに事前学習を進める(1時間)				
5	健康教室を取り巻く環境	中高齢者を対象とした様々な運動教室の取り組みの実態を調査し、問題点を考察・討議します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
6	健康教室を取り巻く環境	中高齢者を対象とした様々な運動教室の取り組みの実態を調査し、問題点を考察・討議します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
7	健康教室を取り巻く環境	後期高齢者を対象とした様々な運動教室の取り組みの実態を調査し、問題点を考察・討議します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
8	健康教室を取り巻く環境	成長期の児童を対象とした様々な運動教室の取り組みの実態を調査し、問題点を考察・討議します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
9	アスリートと競技生活	アスリートと競技生活についてトレーニング方法論についての実際を学びます					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
10	アスリートと競技生活	アスリートと競技生活について栄養面からその実態と効果的な摂取理論を理解できるようにします					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
11	データ解析と評価	最大酸素摂取量からAT値を算出し、LT値を求める手技と得られた値から比較検討しディスカッションを通して評価方法を学びます					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
12	データ解析と評価	最大酸素摂取量からAT値を算出し、運動プログラムを作成し発表します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
13	データ解析と評価	等尺性筋力および等速性筋力を測定する技能を取得し、相互に測定しあい評価できるように体験学習します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
14	データ解析と評価	等尺性筋力および等速性筋力を測定する技能を取得し、相互に測定しあい評価できるようにします					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
15	データ解析と評価	測定結果をもとに、データのフィードバックを考察し相互に検討し、得られた値から目的別に運動プログラムを作成します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
講義内容に応じて資料をその都度配布します。			受講態度：50% 課題：50% 実習に向けた指導案作成および実習での取り組み姿勢を受講態度として評価します。各課題については授業の中で説明します。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
テキストに準ずる			加齢による体力の変化、男性・女性が有する特有の悩みなどを具体的に学びます。興味を持って学ぶことを目的とします。無断欠席や遅刻を厳禁とします。								

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-19	
担当者	中島 節子		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-	火曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2018年度～					
授業概要											
地域や学校などで健康増進が取り組まれています。その現状を知り、課題解決に向けてどのような方策が行われているのか理解を深めます。また、実際に保健・医療・福祉が人々にどのようにかかわっているのか、どのような職種の人がいるのかを知ることで、将来の健康づくりのための地域や学校現場、施設などで連携するのに役立ちます。健康に関する現状を知り、実際に人々とかかわりながら実践につなげていきます。											
学修到達目標											
健康づくりのための課題発見能力を身につけ、様々な観察方法や分析方法を理解することができる。 ゼミナールの中でのディスカッションを通して議論の仕方や論理的思考力や批判的思考力を身につけることができる。 プレゼンテーション能力を身につけることができる。											
授業の進め方											
健康に関する現代的な課題を理解し、実際に医療・福祉施設や学校等の現場を訪問することで見聞を広め、指導方法などを学びます。またディスカッションやプレゼンテーションを取り入れながら個々の能力を高めていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。今後の活動について検討します。自己紹介を行います。					自己紹介ができるように考えてくる。(1時間)				
2	現代の健康課題	「自分の考える健康」について発表し、健康の保持増進に向けて必要なことを討議します。					健康課題について様々な資料を集め考える。(1時間)				
3	健康の保持増進	「自分の考える健康」について健康の保持増進に向けて必要なことを指導案を作成して実践する。					指導案を作成し、必要な資料を作成する。(1時間)				
4	健康の保持増進	「自分の考える健康」について健康の保持増進に向けて必要なことを指導案を作成して実践する。					指導案を作成し、必要な資料を作成する。(1時間)				
5	健康の保持増進	「自分の考える健康」について健康の保持増進に向けて必要なことを指導案を作成して実践する。					指導案を作成し、必要な資料を作成する。(1時間)				
6	健康の保持増進	「自分の考える健康」について健康の保持増進に向けて必要なことを指導案を作成して実践する。					指導案を作成し、必要な資料を作成する。(1時間)				
7	研究とは 量的研究	量的データの収集方法を学びます。量的データの収集方法として、体力測定の方法、健康チェックの方法などを実際に行い、データの整理の方法を学びます。					体力測定の方法、健康チェックの方法について学習してくる。(1時間)				
8	量的研究 質問紙法	質問紙の作成方法と分析方法について学びます。					収集したデータを整理し、分析する。(1時間)				
9	質的研究	質的研究とはについて概説します。質的研究のデータ収集方法について学び、実際にインタビューなどを行います。					収集したデータを整理し、分析する。(1時間)				
10	質的研究データの分析	インタビューで収集したデータを整理し分析方法を学びます。					分析結果を整理する。(1時間)				
11	文献検索	文献検索の方法を学び、共通の文献を読み意見交換しながら文献の読み方を学びます。					関心ある文献を探し、抄読会の準備をする。(1時間)				
12	文献の抄読会	各自が抽出した論文を発表し、意見交換をします。研究方法と論文のまとめ方を学習します。					抄読会の準備をする。他の人の論文を読み考察する。(1時間)				
13	文献の抄読会	各自が抽出した論文を発表し、意見交換をします。研究方法と論文のまとめ方を学習します。					抄読会の準備をする。他の人の論文を読み考察する。(1時間)				
14	自己の課題を検討	各自が先行研究などを調べた結果、自分は何を明確にしたいのかを発表し、お互いに意見交換を行います。					自己の課題について発表できるように資料を作成する。(1時間)				
15	課題解決の方法とまとめ	課題を解決するためにどのような方法が良いのかを検討、修正し、その方法を学びます。全体のまとめをします。					方法についての資料を集め学習する。(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
必要に応じて資料等を配布します。					課題：50% レポート：50% レポートは、作成と発表を含めて評価します。S：授業内容を高度に理解し、探究心をもち自発的に行動できる。A：授業内容を理解し、自発的に行動できる。B：授業内容のおおよそを理解し、行動できる。C：授業内容の60%は理解でき、人に促されて行動する。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて紹介します。					新聞やニュースなどで取り上げられている健康問題や保健・医療・福祉の現状に関心を持ってください。実習では、事前準備を行い、積極的にかかわり、失礼のないように接遇を身につけて臨んでください。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-23
担当者	小松 茂美		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
本演習では、スポーツを取り巻く状況について考察しながら、スポーツの指導に関する方法や課題についても、探究します。そして、こうした学習を通して、スポーツ活動に対する課題や問題意識を掘り起こし、認識を深めながら、スポーツの指導に関する知識や技能を高め、スポーツに関わることの意識向上を図ります。										
学修到達目標										
スポーツ活動の現場に関する課題を見出し、その課題解決に向けた対応力の向上を目指します。また、課題の洗い出しや課題解決に向けたディスカッションをとおして、建設的な議論の在り方を学ぶとともに、プレゼンテーション能力などを向上させることを目標とします。										
授業の進め方										
様々なスポーツ活動の実践事例や先行研究などの資料を利用して授業を進めます。また、ディスカッションや共同で取り組む時間も多く、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業のねらいと2年間を見通した活動について考えます。					事前にシラバスを読み、ゼミ活動の構想を立てる。(1時間)			
2	スポーツを取りまく諸課題	スポーツ全般に関する問題点を考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)			
3	地域スポーツを取りまく諸課題	地域におけるスポーツ活動の指導者に関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
4	地域スポーツを取りまく諸課題	地域におけるスポーツクラブ等の練習内容や指導方法に関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
5	地域スポーツを取りまく諸課題	地域におけるスポーツクラブ等の活動環境や大会の在り方に関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
6	体育の授業に関する諸課題	体育の授業を担っている体育科教員に関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
7	体育の授業に関する諸課題	体育の授業内容やその全体構成に関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
8	体育の授業に関する諸課題	体育の授業がその後のスポーツライフに与える影響について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
9	運動部活動を取りまく諸課題	運動部活動における顧問や指導者に関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
10	運動部活動を取りまく諸課題	運動部活動の練習内容やその年間の内容構成に関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
11	運動部活動を取りまく諸課題	運動部活動の練習環境や大会の在り方に関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
12	運動部活動を取りまく諸課題	運動部活動と競技スポーツのつながりに関する課題について、考察・討議します。					テーマについて事前学習をしておく。授業後は課題を整理しておく。(1時間)			
13	課題学習	自己課題に関する先行研究や文献の探し、実際に読み、考察を進めます。					事前に自分が興味を持った課題を決める。先行研究や文献をよく読み、まとめてみる。(1時間)			
14	課題学習	先行研究や文献を参考に進めた考察をまとめます。					先行研究や文献をよく読み、まとめておく。(1時間)			
15	課題学習	自己の課題について、パワーポイントを使用した発表ができるよう準備を始めます。また、今後の活動計画も併せて考えていきます。					先行研究や文献を自己の課題に利用できるようにしておく。発表会の準備をする。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「講義内容に応じて、資料を配布します。」		課題：50% 受講態度：50% 課題の内容は、課題の洗い出しやまとめに至る過程も含み、受講態度は、ディスカッションなどの学習状況及び学内外の実習等の活動状況も含み評価します。Sは上記の全ての内容が優れている者。Aは良好だった者。Bは概ね良好だった者。Cは全ての内容に取り組めた者となります。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「課題に応じた参考書や資料に関するアドバイスをします。」		自分の意見を述べ合ったり、実習をしたりしながら、授業を展開していきますので、自ら問題意識を持ち、主体的・積極的に授業に参加し、学習を進める姿勢が重要です。								

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナバリング	SL36076	研究室	S-24
担当者	丸山 文男		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスター	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
1,2年次に学んだ基礎的な知識をベースに,スポーツと力学,スポーツと気象について,教科書を輪読することで理解を深めます。関心を持ったテーマをまとめ,4年次の「卒業論文」作成に向けての準備を進めます。										
学修到達目標										
スポーツと力学,スポーツと気象についての理解を深め,関心のあるテーマを見つけることです。										
授業の進め方										
本演習では,スポーツと力学,スポーツと気象についての教科書の輪読を行い理解を深めます。その中から関心のあるテーマを見つけます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	本演習の年間計画,内容を理解します。				授業プリントを復習し,課題を行います。(1時間)				
2	研究方法	研究の方法を学びます。				授業プリントを復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
3	スポーツと力学(1)	教科書「スポーツ バイオメカニクス入門」を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
4	スポーツと物理(2)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
5	スポーツと物理(3)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
6	スポーツと物理(4)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
7	スポーツと物理(5)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
8	スポーツと気象(1)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
9	スポーツと気象(2)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
10	スポーツと気象(3)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
11	スポーツと気象(4)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,発表の準備を行います。(1時間)				
12	スポーツと気象(5)	教科書を輪読し,内容を説明します。				教科書を復習し,レポートの準備を行います。(1時間)				
13	レポート作成(1)	自分が関心を持ったテーマをまとめます。				教科書を復習し,レポートの準備を行います。(1時間)				
14	レポート作成(2)	自分が関心を持ったテーマをまとめます。				レポート発表会の準備を行います。(1時間)				
15	レポート報告会(1)	レポートを発表します。				出された意見をもとにレポートの見直しを行います。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「絵でわかる地球温暖化」渡部雅浩著(講談社) ISBN:9784065119464(生協で購入してください。) 「スポーツ バイオメカニクス入門」金子公宥著(杏林書院)(生協で購入してください。) (別途、指示します。)				レポート:50% 課題:50% 成績評価は,レポートの内容と,毎時の発表内容で評価します。 S:探究的的思考力を持って取り組み内容が独創的で明確である。 A:探究的意欲的に取り組み内容と課題が明確にされている。 B:意欲的に取り組み内容が明確にされている。 C:意欲的に取り組んでいるが内容の明確性が弱い。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「理系のためのレポート論文完全ナビ」見延庄士郎著(講談社) 適宜紹介します。				教科書をよく理解し,調べてみたいテーマを積極的に探します。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	SL36076	研究室	S-16	
担当者	伊藤 真之助		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2018年度～					
授業概要											
<p>本授業では、スポーツにおける外傷・傷害についての理解を深めるとともに、予防医学の重要性を考察します。また、地域における高齢者や子どもに対する身体への評価や指導法について考察し、運動プログラムに必要な関節可動域、筋力検査、アライメント評価などを学びます。さらにそれらの学習を通じて、ヒトの身体活動に対する認識を深める事や他者への指導法に関する課題を探究していきます。</p>											
学修到達目標											
<p>ヒトの身体に対する予防的観点を持つ能力を身につけることを目指します。また、授業内でのディスカッションを通して、情報を精査できる能力を高めること、他者へ伝える能力を向上させることを目標とします。</p>											
授業の進め方											
<p>スポーツ外傷・傷害についての先行研究や予防医学に関する実践事例などを利用して授業を進めていきます。様々な意見交換を行うなどの主体的な学習姿勢を望みます。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の目標、計画、進め方などについて説明します。					シラバスを読む。授業後はゼミ活動の構想を立てる(1時間)。				
2	スポーツにおける外傷と傷害について(1)	スポーツにおける代表的な外傷について考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
3	スポーツにおける外傷と傷害について(2)	スポーツにおける代表的な外傷について考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
4	スポーツにおける外傷と傷害について(3)	スポーツにおける代表的な傷害について考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
5	スポーツにおける外傷と傷害について(4)	スポーツにおける代表的な傷害について考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
6	スポーツにおける外傷と傷害(5)	スポーツにおける外傷と傷害の差異について考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
7	子どもに多い整形疾患(1)	主に成長期の学童に多い整形疾患について考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
8	子どもに多い整形疾患(2)	主に成長期の学童に多い整形疾患について考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
9	子どもに多い整形疾患(3)	主に成長期の学童に多い整形疾患について考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
10	高齢者に多い整形疾患(1)	変形性膝関節症に代表される膝の痛みについて考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
11	高齢者に多い整形疾患(2)	腰痛症に代表される腰の痛みについて考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
12	高齢者に多い整形疾患(3)	肩関節周囲炎に代表される肩の痛みについて考察・討議します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
13	障がい者スポーツ(1)	障がい者スポーツの歴史・種目・クラス分けなどを学習します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
14	障がい者スポーツ(2)	障がい者スポーツに関する諸問題について検討します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
15	障がい者スポーツ(3)	障がい者スポーツに関する諸問題について検討します。					テーマについて自分なりに事前準備を進める。授業後はテーマ内容を整理しておく(1時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義内容に応じて資料をその都度配布します。					<p>受講態度：50% 課題：50%</p> <p>S：授業内容を高度に理解し、探求心を持ち自発的に行動できる。A：授業内容を理解し、自発的に行動できる。B：授業内容のおおよそを理解し、行動できる。C：授業内容の60%は理解でき、人に促されて行動する。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
テキストに準ずる					ヒトの身体について興味・関心を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持って臨んでください。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SL36077	研究室	S-14
担当者	等々力 賢治		必修選択	必修	科目種別	演習	ウイスキー	水曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
本演習では、1・2年次に学んだ基礎的な知識・教養をベースに、スポーツを巡って生起している諸問題について分析・検討し、相互に意見交換し、議論すると共に、4年次の「卒業論文」作成に向けてテーマ設定し、文献や資料の検索、章立ての具体的方法などについて学び、準備を進めます。なお、レポート作成の過程では適宜アドバイス、添削を行い、よりよいものになるよう努めます。										
学修到達目標										
前期の「スポーツ健康演習」のグループレポートの作成を踏まえ、スポーツに関連する諸知識のいっそうの深化及び体系化を図る。その上で、「卒業論文」作成の準備を進め、その中で、論文の作成方法や文献・資料の検索方法等について具体的に学び修得する。										
授業の進め方										
本演習では、まず、前期の「スポーツ健康演習」で取り組んだグループレポートの報告会を行い、その後、4年次の「卒業論文」作成を前提にテーマや章立て、そして関連文献・資料の検索などに取り組み、それらについても報告し討議に付します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	レジュメの作成・提出	レジュメの執筆を進め、その内容についてメンバーで意見交換して必要な修正を随時行います。いずれにしても、レポート内容を可能な限り共有すべく努め、それを反映させたものを提出します。				事前:レジュメの構成について確認しておく。事後:作成、確認したレジュメを提出する。(1時間)				
2	レポート報告会(1)	本時から2週にわたって、作成したグループレポートの報告会を行い議論に付します。報告10分、質疑8分、3グループとし、前時に作成したレジュメやパワーポイントなどを使用して行います。				事前:報告者など必要な人員配置を決めておく。事後:議論を受けて必要な修正をする。(1時間)				
3	レポート報告会(2)	残りのグループレポートの報告会を行い議論に付します。作成したレジュメやパワーポイントなどを使用し、前時の報告会なども参考に、他のゼミ生により分かりやすいものとなるよう努めます。				事前:報告会に向けて準備しておく。事後:レポート評価用紙に詳細に記入する。(1時間)				
4	「卒論」作成予定の確認	「卒業論文」の執筆にあたって、「卒論」とはなにか、どのような手順で作成していくのかなどといった点について説明し、確認します。12000字執筆するには、それなりの準備が必要になります。				事前:配布資料「卒論作成予定について」を読んでおく。事後:各自執筆希望を考へてみる。(1時間)				
5	「卒論」のテーマ探し(1)	「卒業論文」の執筆にあたって、まずどのようなテーマにするのか、各自の興味や関心、あるいは過去の卒論テーマなどを参考に考へてみます。その際、領域や分野なども考へることを求めます。				事前:各自テーマについて考へておく。事後:考へたテーマを実際に文字にし確認する。(1時間)				
6	「卒論」のテーマ探し(2)	卒業論文の執筆にあたって、まずどのようなテーマにするのか、各自の興味や関心、あるいは過去の卒論テーマなどを参考に考へてみます。その際、領域や分野なども考へることを求めます。				事前:過去の「卒論」を参考に考へてみる。事後:考へた複数のテーマを文字にしてみる。(1時間)				
7	「卒論」テーマの作成方法	「卒業論文」のテーマを作成する際に必要な事柄について確認し、執筆の一助とします。テーマが一番表現したいものを表すことや、メインテーマとサブテーマの関係等を大切にすることを理解します。				事前:テーマをいくつか書いておく。事後:メインテーマとサブテーマを考へてみる。(1時間)				
8	各自でのテーマ作成	前時の講義を参考に、メインテーマとサブテーマを考へてみます。より抽象的かつ大きな範囲を表すメインテーマに対し、サブテーマはより具体的かつ限られた範囲を示しますが、その逆もあります。				事前:メインとサブの関係について調べておく。事後:メインとサブを意識し考へてみる。(1時間)				
9	テーマの報告と議論(1)	作成したテーマを、5・6人ずつ報告して議論に付し、出された意見等をテーマのシェイプアップの一助とします。その際、出された意見で共通するものについては、報告者以外にも普遍化するよう努めます。				事前:報告するテーマを決定しておく。事後:議論での意見を参考に必要な修正を加える。(1時間)				
10	テーマの報告と議論(2)	各自が作成したテーマを、5・6人ずつ報告して議論に付し、出された意見等をテーマのシェイプアップの一助とします。その際、共通する意見については、報告者以外にも普遍化するよう努めます。				事前:報告するテーマを再考へておく。事後:必要な修正を加え確定したものを提出する。(1時間)				
11	「卒論」章立ての作成方法	章立ての方法について共通に理解します。当ゼミの「卒論」は12000字を最低字数としますので、5章程度が妥当であること及び、それぞれの章の位置づけと関係などについて確認し、理解を深めます。				事前:配付資料をよく読んでおく。事後:章立ての方法についてよく復習しておく。(1時間)				
12	各自での章立ての作成	前時で扱った章立てに必要な事項を再度確認し、それに基づいて、各自実際に章立てを行ってみます。その際、研究対象に関する時間認識や現状認識、さらに今後の改革事項や報告性等を考へるよう求めます。				事前:複数の章立て案を作成しておく。事後:今時の章立てを再考しシェイプアップする。(1時間)				
13	章立ての報告と議論(1)	各自が行った章立てを、テーマと合わせて報告し議論に付します。その際、章立ての一貫性や各章の関係が分かりやすくなっているかどうか等について意見交換し、また問題点を共有するようにします。				事前:報告に備えシェイプアップしておく。事後:議論を参考に必要であれば修正する。(1時間)				
14	「卒論」発表会への参加	12月下旬に予定されている4年生の「卒業論文発表会」に出席し、その運営を担う他、発表を聴講して議論に参加し、現在行っているテーマと章立てに活かすようにします。				事前:4年生の発表要旨を読んでおく。事後:聴講内容等についてレポートにし提出する。(1時間)				
15	章立ての報告と議論(2)	各自が行った章立てを、5・6人ずつテーマと合わせて報告し議論に付します。その際、章立ての一貫性や各章の関係が分かりやすくなっているかどうか等について意見交換し、問題点を共有するようにします。				事前:報告に備えシェイプアップしておく。事後:議論を踏まえ、必要であれば修正する。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
特に指定しません。		レポート:50% 課題:30% 出席レポート:20% 成績評価は、レポートの執筆・提出状況を中心に、前半期に課す課題及び出席レポート等を合わせて行います。評価基準は次のとおりです。S:探求的思考力をもって取り組み、レポート内容が独創的であり、講義外の課題をも包含している。A:探求的・意欲的に取り組み、レポート内容と課題が明確にされている。B:意欲的に取り組み、レポート内容が明確にされている。C:意欲的に取り組んでいるものの、レポート内容の独創性が必ずしも十分ではない。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
各自、自らの「卒論」作成に適した文献や資料を探してください。		ゼミ活動として、何回かJリーグ松本山雅のホームゲームにボランティア参加することを予定しています。ゲーム運営など、プロスポーツの実際を知る絶好の機会ですので積極的に取り組んでください。								

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	SL36077	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
<p>社会の変化に伴い、スポーツに関係する事象から様々な問題を見ることができます。本ゼミでは、その事象が現代社会とどの様につながっているのかを歴史的視点を含めながら考えて行きます。4年次に卒論を執筆することを念頭に論文を読むことによってその構成について学びます。また、研究目的を明らかにするための研究方法及び分析方法、結果の表し方、考察の仕方について学びます。</p>										
学修到達目標										
<p>「スポーツと社会がどの様に関わっているのか」「何のために、誰のためにスポーツは存在するのか」「どうしてその様な現象が起きているのか」など、スポーツを通して社会を読み解く視点を養い、説明できるようにします。</p>										
授業の進め方										
<p>主としてテキスト・論文を読みすすめながら授業を展開します。本年度は共通テーマとして、環境が児童および園児に及ぼす影響について考えて行きます。担当者はレジュメを作成し発表を行います。保育園等における運動能力調査なども行います。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	仮テーマの決定の発表と今後の研究予定について	仮テーマの決定の発表と今後の研究計画について考えます。学園祭にむけての活動について議論します。				今後の研究計画について考えてきます。(1時間)				
2	仮テーマの決定の発表と今後の研究予定について(2)	仮テーマの決定をし、今後の研究計画について発表し、検討、修正します。学園祭にむけての活動について議論し、準備します。				今後の研究計画について修正し、清書します。(1時間)				
3	論文の構成について	論文の全体像を思い描き、論文の枠組みについて考えます。				自分のテーマの全体像を思い描きましょう。(1時間)				
4	IMRAD以外について	仮テーマに基づいてIMRAD以外の部分について書いてみましょう。				IMRAD以外を書きます。(1時間)				
5	序論について	序論の果たす役割、序論で書く内容について理解します。				序論を書いてみます。(1時間)				
6	研究方法について	研究方法の果たす役割と研究方法で書く内容について理解します。				テーマに合った研究方法を考えます。(1時間)				
7	結果について	結果の果たす役割と結果で書く内容、関連性と信頼性、結果の構造について理解します。				結果で書く内容についてまとめます。(1時間)				
8	表について	結果の果たす役割と表の構成について学びます。				表を書いて見ましょう。(1時間)				
9	図について	図の効果的な使い方、書き方について				図を書いて見ましょう。(1時間)				
10	考察について	考察のねらい、考察の書き方について学びます。				考察の書き方についてまとめます。(1時間)				
11	タイトルについて	仮タイトルとタイトルとの違い、タイトルのねらいと良いタイトルの特徴について学びます。				タイトルを書いてみましょう。(1時間)				
12	抄録について	プレゼンテーション				抄録のねらいと抄録の書き方について学びます。(1時間)				
13	論文発表	自らのテーマに沿った論文を調べてきて発表します。				論文を調べてきます。(1時間)				
14	論文発表(2)	自らのテーマに沿った論文を調べてきて発表します。				論文を調べてきます。(1時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめをします。また、今後の予定を立てます。				今後の予定をまとめます。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「アクセプトされる英語医学論文を書こう」ネル・L・ケネディ著メジカルビュー社編 ISBN:4-89553-969-5</p>				<p>受講態度：70% レポート：30%          受講態度は、授業及びゼミ活動への積極的参加、協力的態度、役割分担、発言、発表等について評価します。評価は、95点以上でS、80点以上でA、70点以上でB、60点以上でCとします。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「戦後日本のスポーツ政策その構造と展開」関春南著(大修館書店) ISBN:4-469-26362-1          適宜、必要な資料を配布します。</p>				<p>問題意識を持ち、積極的に議論をして行きましょう。</p>						



科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SL36077	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
<p>本授業では、健康づくりの意義を考えるとともに、自治体や企業内で取り組まれている健康づくりのプログラムやその指導法について考察します。また、運動プログラム作成の際に必要な、持久性体力や筋力などの体力要素に加え、歩行分析機、筋電計を使用した計測と評価手法を学びます。さらに、こうした学習を通して、各自の身体活動に対する認識を深めたり、健康づくりに関する課題を掘り起こしたりしながら、健康づくりの方策も探っていきます。</p>										
学修到達目標										
<p>個人、集団を問わず健康づくりに有効なプログラム作成とその指導ができる能力を身につけることを目指します。また、ゼミナールの中のディスカッションを通して議論の仕方を学習すると共に、論理的思考力や批判的思考力、情報リテラシーあるいはプレゼンテーション能力などを向上させる目標となります。</p>										
授業の進め方										
<p>教員からの一方的な講義ではなく、皆さんからの発言や調査内容を一人ひとり発表しながら進めていきます。また、学外での活動は、実際に地域や企業に出向き、そこで展開されているプログラムや指導内容について学んでいきます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	体力測定法と評価(1)	運動指導の実際の現場(いきいき診断ルーム)で、体力測定(持久性体力、筋力等)を実際にどのように測定し、そのデータどう活用しているのを見学します。(1)				体力測定がなぜ運動指導現場で必要なのかについて調べておく(1時間)。				
2	体力測定法と評価(2)	運動指導の実際の現場(梓水苑)で、体力測定(持久性体力、筋力等)を実際にどのように測定し、そのデータどう活用しているのを見学します。(2)				体力測定後のデータの活用はどのようにされているのかについてレポートにまとめる(1時間)。				
3	体力測定法と評価(3)	呼気ガス分析装置を用いた持久性体力の測定法についてを学びます。				呼気ガス分析装置の使用法について整理しておく(1時間)。				
4	体力測定法と評価(4)	呼気ガス分析装置を用いて、ゼミ生相互に測定及び評価をし合います。				呼気ガス分析装置を使用したゼミ生の関係論文を読んでおく(1時間)。				
5	体力測定法と評価(5)	歩行分析装置を用いた歩行姿勢の計測法を学びます。				歩行時の姿勢指導はなぜ必要なのかについて調べておく(1時間)。				
6	体力測定法と評価(6)	歩行分析装置を用いて、ゼミ生相互に測定及び評価をし合います。				歩行分析装置を使用したゼミ生の関係論文を読んでおく(1時間)。				
7	体力測定法と評価(7)	筋力測定装置を用いた最大筋力の測定法を学びます。				授業で使用した筋力測定についての手順、機器の操作法について整理しておく(1時間)。				
8	体力測定法と評価(8)	筋力測定装置を用いて、ゼミ生相互に測定及び評価をし合います。				筋力測定装置を使用したゼミ生の関係論文を読んでおく(1時間)。				
9	表面筋電計を利用する(1)	筋電図で何が分かるのかということについて理解します。				筋電計を使用したゼミ生の関係論文を読んでおく(1時間)。				
10	表面筋電計を利用する(2)	筋電計を使用して、その計測を実際に体験します。				筋電計の使用法について配布したプリントとあわせ整理しておく(1時間)。				
11	表面筋電計を利用する(3)	筋電計で計測したデータの整理と解析法について理解します。				データ解析について復習しておく(1時間)。				
12	卒業研究のテーマを探す(1)	これまでの学習や討議を基に、卒業研究のテーマを決めていきます。				卒業研究のテーマを考え、それに関する資料を収集し始めてみる(1時間)。				
13	卒業研究のテーマを探す(2)	これまでの学習や討議を基に、卒業研究のテーマを決めていきます。				卒業研究のテーマを考え、それに関する資料を収集し始めてみる(1時間)。				
14	テーマ発表(1)	一人ひとりが卒業研究のテーマについて、発表してディスカッションを行います。				発表資料を用意する。テーマについてレポートにまとめる(1時間)。				
15	テーマ発表(2)	一人ひとりが卒業研究のテーマについて、発表してディスカッションを行います。				発表資料を用意する。テーマについてレポートにまとめる(1時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各回こちらでポイントを記したプリントを用意します。				<p>課題：50% レポート：50%</p> <p>S: 高度な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に極めて積極的に取り組み、高度な成果を示している。A: 高度な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、良好な成果を示している。B: 基本的な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、2/3程度の成果を示している。C: 基本的な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に取り組み、1/2程度の成果を示している。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「身体活動科学における研究方法」(NAP) ISBN: 4-931411-39-8				学外での健康づくり現場に出かけることも多いため、本講義以外の時間も活動として入ってきます。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ・リング	SL36077	研究室	S-13
担当者	岩間 英明		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
本演習では体育授業や運動部活動などの学校体育、スポーツクラブやスポーツ少年団などの地域スポーツといった主に子どもたちを取り巻くスポーツ環境についての諸問題を中心に考察します。また、それらに付帯するスポーツの指導方法に関する課題についても、運動構造分析を手がかりに探究していきます。さらに、こうした学習を通して、各自のスポーツ活動に対する認識を深めたり、問題意識を掘り起こしたりしながら、スポーツ指導に関する論理形成を図ることを目的としています。										
学修到達目標										
スポーツ指導に関する知見に基づいた課題発見能力を身につけ、様々な観察法や分析法を理解し、課題解決能力の向上を図ることができる。また、ゼミナールの中のディスカッションを通して議論の仕方を学習すると共に、論理的思考力や批判的思考力、情報リテラシーあるいはプレゼンテーション能力などを向上させることができる。										
授業の進め方										
様々なスポーツ活動の実践事例や先行研究などの資料を利用して授業を進めていきます。また、ディスカッションや共同研究などの時間も多く、主体的な学習姿勢を望みます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	課題発表会(1)	主としてスポーツの指導方法に関する研究をテーマとして、各自が取り組んだ課題について、発表・討議します。				発表資料を完成させてくる。授業後は討議内容を整理する。(1時間)				
2	課題発表会(2)	主として学校体育に関する研究をテーマとして、各自が取り組んだ課題について、発表・討議します。				発表資料を完成させてくる。授業後は討議内容を整理する。(1時間)				
3	課題発表会(3)	主として一般的なスポーツ・体育に関する研究をテーマとして、各自が取り組んだ課題を発表・討議します。				発表資料を完成させてくる。授業後は討議内容を整理する。(1時間)				
4	運動構造の分析(1)	スポーツ指導に必要な運動構造の分析の仕方について学び、実習を通して相互に指導し合ってみます。(主として基礎的運動動作を扱います)				事前に運動学の復習をしておく。授業後は指導の要点をまとめる。(1時間)				
5	運動構造の分析(2)	スポーツ指導に必要な運動構造の分析の仕方について学び、実習を通して相互に指導し合ってみます。(主としてクローズドスキルを扱います)				事前に運動学の復習をしておく。授業後は指導の要点をまとめる。(1時間)				
6	運動構造の分析(3)	スポーツ指導に必要な運動構造の分析の仕方について学び、実習を通して相互に指導し合ってみます。(主としてオープンスキルを扱います)				事前に運動学の復習をしておく。授業後は指導の要点をまとめる。(1時間)				
7	運動構造の分析(4)	運動構造に基づいた指導方法について、実習を通して学びます。(器械運動 マット)				事前に運動学の復習をしておく。授業後は指導の要点をまとめる。(1時間)				
8	運動構造の分析(5)	運動構造に基づいた指導方法について、実習を通して学びます。(器械運動 跳び箱)				事前に運動学の復習をしておく。授業後は指導の要点をまとめる。(1時間)				
9	運動構造の分析(6)	運動構造に基づいた指導方法について、実習を通して学びます。(球技 ゴール型)				事前に運動学の復習をしておく。授業後は指導の要点をまとめる。(1時間)				
10	運動構造の分析(7)	運動構造に基づいた指導方法について、実習を通して学びます。(球技 ネット型)				事前に運動学の復習をしておく。授業後は指導の要点をまとめる。(1時間)				
11	運動構造の分析の活用	運動構造の分析で得られた知見を指導にどのように活用するか考えます。				事前に運動構造の分析の立場から指導例を考えておく。(1時間)				
12	体育・スポーツの存在論	「人間にとって体育・スポーツはなぜ必要なのか」という根源的な問いについて考えていきます。				テーマについて事前学習を進める。体育・スポーツの存在をレポートにまとめる。(1時間)				
13	卒業研究のテーマを探す(1)	これまでの学習や討議を元に、卒業研究のテーマを決めるための資料について検討していきます。				卒業研究のテーマを考え、それに関する資料を収集し始めてみる。(1時間)				
14	卒業研究のテーマを探す(2)	これまでの学習や討議あるいは、前時に検討した資料を元に、卒業研究のテーマを決めていきます。				卒業研究のテーマを考え、それに関する資料を収集し始めてみる。(1時間)				
15	テーマ発表	自分の卒業研究のテーマについて発表し、全員で一人一人のテーマについて検討し合います。				発表資料を用意する。テーマについてレポートにまとめる。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義内容に応じて資料をその都度配布します。				課題：50% 受講態度：50% 受講態度はディスカッションなどの学習状況で、それらを総合的に評価します。課題の内容にはその過程も含み、受講態度には学内での活動はもちろん、学外での実習等の活動状況も含み評価対象とします。Sは上記の全ての内容が優れているもの。Aは良好だったもの。Bは概ね良好だったもの。Cは全ての内容に取り組めたものとします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
テーマに応じた参考図書や資料を指示します。				一人一人が自分の意見を述べ合ったり、実習をしたりしながら、授業を展開していきますので、積極的に授業に参加する姿勢が重要です。また、自ら問題意識を持ち、新聞・雑誌等にも目を向け、主体的に学習を進めることが大切です。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SL36077	研究室	S-15
担当者	山本 薫		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度～					
授業概要										
<p>最大酸素摂取量の測定等、実験の手法を学びます。コンピュータの活用能力を身につけます(卒論作成や就職のために必要です)。文献、参考資料(書籍、新聞、雑誌)を探して読み込み、その内容を簡潔にまとめ、ゼミ内にて報告します。資料は参考文献として記録を残します(書籍・論文名、著者、雑誌発行号、引用(参考)ページ等)。学外活動にて健康運動指導の実際を学びます。これらの活動を通して卒論作成、健康運動の指導者を目指すための準備を進めていきます。</p>										
学修到達目標										
<p>スポーツ健康学科で学ぶ学生として運動生理学を中心に専門知識と教養を身につけ、各方面での健康づくり支援・指導者人材として成長することです。具体的には卒業研究に活用する実験技術を身につけ、また健康づくりでの社会貢献を通じて、社会の一員としての自覚を養います。</p>										
授業の進め方										
<p>毎回担当を決めて順番に1分間スピーチ、まとめレポート報告、および各種実験実習を重ねていきます。予定が決まれば学外健康運動指導に出かけます(要事前準備)。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	後期のゼミ活動について活動内容やスケジュールの説明、面談を実施します。				卒後進路について調べて説明できるようにしておく(1時間)				
2	実験・測定・健康運動指導演習	最大無酸素パワー測定、乳酸濃度の測定と結果解析、ディスカッションを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
3	実験・測定・健康運動指導演習	最大無酸素パワー測定、乳酸濃度の測定と結果解析、ディスカッションを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
4	実験・測定・健康運動指導演習	最大無酸素パワー測定、乳酸濃度の測定と結果解析、ディスカッションを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
5	ゼミ内卒論中間発表会参加	ゼミ4年生の卒論中間発表会参加およびディスカッション				感想をレポートにまとめて提出(1時間)				
6	実験・測定・健康運動指導演習	最大無酸素パワートレーニング、乳酸濃度の測定と結果解析、ディスカッションを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
7	実験・測定・健康運動指導演習	等速性・等尺性筋力の測定と結果解析(Biodex活用)ディスカッションを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
8	実験・測定・健康運動指導演習	等速性・等尺性筋力の測定と結果解析(Biodex活用)、ディスカッションを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
9	実験・測定・健康運動指導演習	等速性・等尺性筋力の測定と結果解析(Biodex活用)、ディスカッションを行います。				測定内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
10	健康運動処方学習	疾患別運動指導方法について割り当てられた課題を報告しディスカッションします。				内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
11	健康運動処方学習	疾患別運動指導方法について割り当てられた課題を報告しディスカッションします。				内容をレポートにまとめて提出(1時間)				
12	ゼミ内卒論発表予演会参加	ゼミ内卒論発表予演会に参加、ディスカッションを行います。				事前に卒論抄録の読込(1時間)				
13	卒論発表会参加運営	卒業研究発表会の内容をしっかり聞いて質問、意見、感想等を必ず述べます。感想メモ提出します。				事前に卒論抄録の読込(1時間)				
14	卒論用文献報告	卒論テーマに関係する参考文献について報告する				事前に自己文献の要約作成(1時間)				
15	演習まとめと卒業研究テーマの決定	演習全体のまとめを振り返る。卒論テーマの決定および研究計画の作成。				卒論テーマを決める(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「健康運動指導士養成講座テキスト」(別途、指示します。) 「健康運動実践指導者養成講座テキスト」(別途、指示します。)</p>				<p>受講態度：70% レポート：30% 総合評価(S:全ての実験実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定された課題について適切で十分な考察が出来ている。A:14回以上出席し、実験実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定課題について適切な考察が出来ている。B:13回以上出席し、実験実習に積極的に参加して質問をし、課題レポートは指定課題について考察が出来ている。C:11回以上出席し、実験実習に積極的に参加して課題レポートは指定課題に回答している。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「運動処方の指針」アメリカスポーツ医学会著日本体力医学会体力科学編集委員会編(南江堂) ISBN:978-4-524-26216-8</p>				<p>実験実習をする機会が多々あるので、いつも運動のできる準備(服装・室内靴)をしておいてください。常に体調を整えておいてください。</p>						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SL36077	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
究極的には体育およびスポーツの普及・振興を目指しつつ、具体的には体育およびスポーツの普及・振興を阻害する問題・課題を理解し、その解決策を探るための基礎理論や分析・研究方法を学びます。										
学修到達目標										
スポーツに関わる法、政策、マネジメントおよびジェンダー等に関する諸問題について理解を深め、具体的な研究テーマと分析・研究方法の設定につなげることができる。										
授業の進め方										
ゼミ形式で実施します。新聞をテキストにしてスポーツ問題を理解してから、スポーツと法、行政、政策、マネジメント或いはジェンダー等に関する文献の講読を通して基礎理論を学び、さらに学術論文の講読を通して分析・研究方法を理解します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学術論文の報告1	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
2	学術論文の報告2	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
3	学術論文の報告3	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
4	学術論文の報告4	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
5	学術論文の報告5	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
6	学術論文の報告6	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
7	学術論文の報告7	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
8	学術論文の報告8	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
9	学術論文の報告9	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
10	学術論文の報告10	討議を通じて、学術論文の研究目的、分析・研究方法、課題等について検討します				事前：関心のある学術論文の概要をまとめる/事後：学術論文の内容を復習する(1時間)				
11	卒業研究のテーマ設定1	先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(4時間)				先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(1時間)				
12	卒業研究のテーマ設定2	先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(4時間)				先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(1時間)				
13	卒業研究のテーマ設定3	先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(4時間)				先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(1時間)				
14	卒業研究のテーマ設定4	先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(4時間)				先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(1時間)				
15	卒業研究のテーマ設定5	先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(4時間)				先行研究を検討し、まとめる/事後：先行研究の内容を復習する(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
それぞれの研究に適した文献や資料を適宜紹介します。		レポート：50% 課題：50% 評価基準は次の通りです。S：授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、独創性の高い考えを文章で表現できる/A：授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、自分の考えを文章で表現できる/B：授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、自分の考えを他者に伝えることができる/C：授業内容を大体理解し、与えられた課題に取り組み、自分の考えを他者に伝えることができる								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
それぞれの研究に適した文献や資料を適宜紹介しますが、「スポーツと法」、「スポーツ行政・政策論」、「スポーツマネジメント論」、「地域社会とスポーツ」等の授業で使用したテキスト及び参考書も活用して下さい。		お互いの研究に興味・関心をもって(面白い点を見つけて)、活発な議論が展開されるよう学生同士で工夫してください。								

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	SL36077	研究室	C-2
担当者	河野 史倫		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2018年度~					
授業概要										
地球上で生活する我々は、重力に逆らって姿勢を保持しなければいけません。そのため「抗重力筋」と呼ばれる種類の骨格筋は、体重を支えるために持続的に活動することを強いられます。その結果「抗重力筋」はエネルギー代謝や筋持久力に優れた特性を獲得しますが、重力のない宇宙空間へ行くと「抗重力筋」の機能が著しく低下します。『筋肉を抗重力筋仕様にするメカニズム』の解明を目指すことを柱として、各学生の卒業研究テーマを決定するための演習を行います。										
学修到達目標										
実験動物の飼育方法やサンプルの取り扱い、組織染色、タンパク質および遺伝子発現解析の方法を習得することが基本的な目標です。それらの解析データから、実験結果の妥当性や結果が示す事象を考察できるようになることが最終的な目標です。										
授業の進め方										
実際に実験を行い、その中で知識や実験方法、考え方を学んでもらいます。基本的には、個別に研究指導して進めていきますが、定期的に研究計画や進捗を発表・討論する機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	実験計画	プレ実験のための情報収集と実験の計画について意見交換をします。				与えられた作業ならびに文献の検索、読解を行っておくこと。(1時間)				
2	実験計画	プレ実験のための情報収集と実験の計画について意見交換をします。				与えられた作業ならびに文献の検索、読解を行っておくこと。(1時間)				
3	プレ実験	卒業研究のためのプレ実験を実施します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。(1時間)				
4	プレ実験	卒業研究のためのプレ実験を実施します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。(1時間)				
5	プレ実験	卒業研究のためのプレ実験を実施します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。(1時間)				
6	プレ実験	卒業研究のためのプレ実験を実施します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。(1時間)				
7	プレ実験	卒業研究のためのプレ実験を実施します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。(1時間)				
8	プレ実験	卒業研究のためのプレ実験を実施します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。(1時間)				
9	プレ実験	卒業研究のためのプレ実験を実施します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。(1時間)				
10	プレ実験	卒業研究のためのプレ実験を実施します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。(1時間)				
11	プレ実験	プレ実験の結果をまとめ、スライドを使って発表します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。発表用のスライドを作成する。(1時間)				
12	プレ実験	プレ実験の結果をまとめ、スライドを使って発表します。				与えられた実験を行い、結果をまとめておくこと。発表用のスライドを作成する。(1時間)				
13	本実験デザイン	卒業研究のテーマを検討し、実験計画および準備を行います。				文献の収集、追加実験実施など、与えられた作業を行っておくこと。(1時間)				
14	本実験デザイン	卒業研究のテーマを検討し、実験計画および準備を行います。				文献の収集、追加実験実施など、与えられた作業を行っておくこと。(1時間)				
15	本実験デザイン	卒業研究のテーマを検討し、実験計画および準備を行います。				文献の収集、追加実験実施など、与えられた作業を行っておくこと。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要な資料はプリントなどで配布します。				課題:100% S:年度内に論文または学会等で研究発表ができる A:自立して実験を進めており、十分なデータを取得している B:実験および解析の手法を習得し、自立して実験が進められる C:割り当てられた実験に全て参加し、サンプル解析を行っている						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要な資料はプリントなどで配布します。				エビジェネティクスという考え方をキーワードに、骨格筋の性質を決めるメカニズム、抗重力筋の特性を獲得するメカニズムに迫っていきます。						

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SL36077	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
次年度行う「卒業研究」を視野に入れ、定性的研究法、及び定量的研究法といった研究の方法論に関する文献講読や実習を通して理解を深め、その技法の習得を目指します。また、各自の卒業研究のデザインについて、ゼミ内でディスカッションを行います。										
学修到達目標										
心理学領域において科学的に研究を進める手法を理解し、実際の研究に活用できるスキルを身につけることを到達目標とします。また、卒業研究のテーマを決定します。										
授業の進め方										
定性的研究法、及び定量的研究法に関する文献を講読し、必要に応じて解説をします。また、次年度本格的に取り組む卒業研究のテーマを決定するために、研究デザインについてのディスカッションを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	定量的研究法	定量的研究法の基本的な事項(平均、分散、及び標準偏差等)について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
2	定量的研究法	定量的研究法(カイ二乗検定、t検定、及び分散分析)について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
3	定量的研究法	定量的研究法(相関分析、及び重回帰分析)について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
4	定量的研究法	定量的研究法(因子分析ほか)について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
5	定量的研究法	定量的研究法(方法、及び結果の執筆方法)について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
6	定性的研究法	定性的研究法の基本的な事項について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
7	定性的研究法	定性的研究法(データ収集の方法)について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
8	定性的研究法	定性的研究法(データ分析の方法)について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
9	定性的研究法	定性的研究法(データ分析の方法)を実際に体験します。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
10	定性的研究法	定性的研究法(方法、及び結果の執筆方法)について理解を深めるために、理論的な解説を行います。				課題文献の指定箇所を熟読し、研究方法について理解を深めておく。(1時間)				
11	研究デザイン	担当者A、及びBの卒業研究のテーマについて、ゼミ内でディスカッションを行います。				各自の研究テーマに関連する先行研究を見つけてくる。(1時間)				
12	研究デザイン	担当者C、及びDの卒業研究のテーマについて、ゼミ内でディスカッションを行います。				各自の研究テーマに関連する先行研究を見つけてくる。(1時間)				
13	研究デザイン	担当者E、及びFの卒業研究のテーマについて、ゼミ内でディスカッションを行います。				各自の研究テーマに関連する先行研究を見つけてくる。(1時間)				
14	研究デザイン	担当者G、及びHの卒業研究のテーマについて、ゼミ内でディスカッションを行います。				各自の研究テーマに関連する先行研究を見つけてくる。(1時間)				
15	研究デザイン	各自が卒業研究のテーマを決定し、春季休業中の課題、及び次年度のゼミの進め方について解説をし、意見交換を行います。				各自の研究テーマに関連する先行研究を見つけてくる。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
受講者の希望に合わせて指定します。また、プリント資料を適宜配布します。			受講態度：60% 課題：40% S：講義内のディスカッションを常にリードし、なおかつ与えられた課題にも探究的に取り組んでいる。A：講義内のディスカッションにおいて重要な役割を果たし、なおかつ与えられた課題にも積極的に取り組んでいる。B：講義内のディスカッションに対して積極的に参加し、与えられた課題すべてに誠実に取り組んでいる。C：講義内のディスカッションに対して参加しようとし、与えられた課題に取り組んでいる。なお、受講態度はディスカッションや課題等に取組む姿勢により評価します。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「調査的面接の技法」鈴木淳子著(ナカニシヤ出版)プリント資料を適宜配布します。			・研究テーマについて、日常生活から関心をもって過ごしてください。 ・卒業研究は次年度を通じて取り組むため、自らが楽しめる研究テーマを設定してください。							

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SL36077	研究室	S-17	
担当者	田邊 愛子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	木曜日5限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2018年度~					
授業概要											
本演習では、1・2年次に学んだ健康づくりを科学的根拠に基づき、知識を広げていくことを目的とします。健康づくりへの理解を深め、4年時に取り組む卒業論文へのテーマや、研究目的が定まることを到達目標とします。実際に健康教室の企画・運営と学び、総合理解を深めることを目的としています。											
学修到達目標											
健康づくりを幅広く捉え、健康づくりの施策や健康教室の実際を理解し、様々なライフステージにおける運動処方を実習を通して学び、実際に運動処方できるようになること。											
授業の進め方											
有酸素運動および筋力トレーニングの知識を再確認し、健康教室などの現場での実習も行います。医学、体力科学、栄養学、ジェンダー問題を含む社会的側面などすべての面から、健全・快適に競技を続けるために必要な事を学んでいきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	統計	卒業論文作成に向け、データの解析方法の基礎を復習します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
2	統計	論文で使われているデータの読み方、統計方法について、文献を使用し指導します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
3	統計	文献を用いて、表やグラフの見方から検定方法を読み時を習得します					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
4	先行研究と文献の利用	文献収集方法を理解し、テーマに沿ってレポート作成を進めながら理解を深めます					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
5	先行研究と文献の利用	文献収集方法を理解し、テーマに沿って先行研究を進めます					テーマについて自分なりに事前学習を進める。授業後は問題の視点を整理しておく。(1時間)				
6	健康教室での現場実習(1)	中高齢女性を対象とした健康教室の企画・運動プログラムの作成と教室を開催します					運動プログラムを作成する。準備物などの確認をしておく。(1時間)				
7	健康教室での現場実習(2)	前回の反省を生かし、中高齢女性を対象とした健康教室の企画・運動プログラムの作成と教室を開催します					運動プログラムを作成する。準備物などの確認をしておく。(1時間)				
8	健康教室での現場実習(3)	運動習慣のない中高齢者を対象とした健康教室の企画・運動プログラムの作成と教室を開催し体験学習を行います					運動プログラムを作成する。準備物などの確認をしておく。(1時間)				
9	健康教室での現場実習(4)	前回の反省を生かし、運動習慣のない中高齢者を対象とした健康教室の企画・運動プログラムの作成と教室を開催します					運動プログラムを作成する。準備物などの確認をしておく。(1時間)				
10	健康教室での現場実習(5)	中高齢男性を対象とした健康教室の企画・運動プログラムの作成と教室を開催します					運動プログラムを作成する。準備物などの確認をしておく。(1時間)				
11	健康教室での現場実習(6)	後期高齢者を対象とした施設内での運動プログラム作成のための体力測定を実施し、評価方法を学びます					運動プログラムを作成する。準備物などの確認をしておく。(1時間)				
12	健康教室での現場実習(7)	後期高齢者を対象とした施設内での運動プログラムの作成と教室開催を実施します					運動プログラムを作成する。準備物などの確認をしておく。(1時間)				
13	健康教室での現場実習(8)	前回の反省をもとに、後期高齢者を対象とした施設内での運動プログラムの作成と教室を実施します					運動プログラムを作成する。準備物などの確認をしておく。(1時間)				
14	フィードバックと評価	健康教室開催後のまとめを発表し、相互検討します					全体評価と自己評価にわけ、発表内容を考えスライドを作成する。(1時間)				
15	卒業論文のテーマを探す	これまでの学習や討議を元に、卒業論文作成に向け自分のテーマについて発表し検討しあいます					発表資料を用意する。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
講義内容に応じて資料をその都度配布します。			受講態度：50% 課題：50% 実習に向けた指導案作成および実習での取り組み姿勢を受講態度として評価します。各課題については授業の中で説明します。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
テキストに準ずる			加齢による体力の変化、男性・女性が有する特有の悩みなどを具体的に学びます。興味を持って学ぶことを目的とします。無断欠席や遅刻を厳禁とします。								

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SL36077	研究室	S-19	
担当者	中島 節子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C	2018年度～					
授業概要											
地域や学校などで健康増進が取り組まれています。その現状を知り、課題解決に向けてどのような方策が行われているのか理解を深めます。また、実際に保健・医療・福祉が人々にどのようにかかわっているのか、どのような職種の人がいるのかを知ることで、将来の健康づくりのための地域や学校現場、施設などで連携するのに役立ちます。健康に関する現状を知り、実際に人々とかかわりながら実践につなげていきます。											
学修到達目標											
健康づくりのための課題発見能力を身につけ、様々な観察方法や分析方法を理解することができる。 ゼミナールの中でのディスカッションを通して議論の仕方や論理的思考力や批判的思考力を身につけることができる。 プレゼンテーション能力を身につけることができる。											
授業の進め方											
健康に関する現代的な課題を理解し、実際に医療・福祉施設や学校等の現場を訪問することで見聞を広め、卒業研究のテーマを絞っていきます。またディスカッションやプレゼンテーションを取り入れながら個々の能力を高めていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	課題解決のテーマ	各自が先行研究などを調べた結果、自分は何を明確にしたいのかを発表し、お互いに意見交換を行います。					自己の課題について、発表準備をする。(1時間)				
2	課題解決の方法	課題を解決するためにどのような方法が良いのか検討、修正し、その方法を学びます。					方法についての資料を集め学習する。(1時間)				
3	プレゼンテーションの作成方法	プレゼンテーションの作成方法を学びます。					決められたテーマでプレゼンテーションを作成する。(1時間)				
4	論文の書き方	基礎教養の学習と小論文の書き方を学びます。					問題の復習予習を行います。(1時間)				
5	論文の添削	基礎教養の学習と小論文を書いたものをお互いに添削します。					問題の復習予習を行います。(1時間)				
6	集団討議	事例についての集団討議を行います。					課題について学習してきます。(1時間)				
7	模擬授業、事例	ロールプレイングなどでミニ授業を展開し、お互いに検討します。					課題について学習してきます。(1時間)				
8	文献の検討	健康教室のテーマについての資料を探し、分析し健康教室の目的を明確にします。					資料を読み込みそれぞれに指導案を考えること。(1時間)				
9	体験計画を立てる	体験したい内容、場所を決め、資料収集、行動計画を立案する。					資料収集、行動計画の立案をする。(1時間)				
10	体験しよう	地域、学校、病院、施設などで自分の興味のある場所で現場実習した内容をまとめ報告し、共有します。					実習先の概要を調べていきます。実習での学びをまとめます。(1時間)				
11	体験しよう	地域、学校、病院、施設などで自分の興味のある場所で現場実習した内容をまとめ報告し、共有します。					実習先の概要を調べていきます。実習での学びをまとめます。(1時間)				
12	体験しよう	地域、学校、病院、施設などで自分の興味のある場所で現場実習した内容をまとめ報告し、共有します。					実習先の概要を調べていきます。実習での学びをまとめます。(1時間)				
13	研究テーマの検討	これまでの学習や討議をもとに、卒業研究のテーマを決めていきます。個別指導を行います。					研究テーマに関する資料を探す。(1時間)				
14	研究テーマの検討	これまでの学習や討議をもとに、卒業研究のテーマを決めていき、関連する資料収集を行います。個別指導を行います。					研究テーマに関する資料を探す。(1時間)				
15	卒業研究のテーマ発表	各自が考えた卒業研究のテーマと研究方法を発表し、意見交換しながら検討します。					発表資料を作成する。(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
必要に応じて資料等を配布します。			レポート:50% 課題:50% 受講態度は、意見交換時の積極性や外部での見学時の態度も含めます。レポートは、作成と発表を含めて評価します。S:授業内容を高度に理解し、探究心をもち自発的に行動できる。A:授業内容を理解し、自発的に行動できる。B:授業内容のおおよそを理解し、行動できる。C:授業内容の60%は理解でき、人に促されて行動する。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
必要に応じて紹介します。			新聞やニュースなどで取り上げられている健康問題や保健・医療・福祉の現状に関心を持ってください。実習では、事前準備を行い、積極的にかかわり、失礼のないように接遇を身につけて臨んでください。								



科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパリング	SL36077	研究室	S-23
担当者	小松 茂美		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	木曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
本演習では、スポーツ健康演習の学習を踏まえ、スポーツを取り巻く状況について考察しながら、スポーツの指導に関する方法や課題についても、探究します。そして、こうした学習を通して、スポーツ活動に対する課題や問題意識を掘り起こし、認識を深めながら、スポーツの指導に関する知識や技能を高め、スポーツに関わることの意識向上を図ります。										
学修到達目標										
スポーツ活動の現場に関する課題を見出し、その課題解決に向けた対応力の向上を目指します。また、課題の洗い出しや課題解決に向けたディスカッションをとおして、建設的な議論の在り方を学ぶとともに、プレゼンテーション能力などを向上させることを目標とします。										
授業の進め方										
様々なスポーツ活動の実践事例や先行研究などの資料を利用して授業を進めます。また、ディスカッションや共同で取り組む時間も多く、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス及び課題発表会	主として学校現場に関する研究をテーマとして、各自が取り組んだ課題について、発表・討議します。				学習の見通しをまとめてくる。発表資料を完成させてくる。授業後は討議内容を整理する。(1時間)				
2	課題発表会	主としてスポーツの指導方法に関する研究をテーマとして、各自が取り組んだ課題について、発表・討議します。				発表資料を完成させてくる。授業後は討議内容を整理する(1時間)				
3	課題発表会	主としてスポーツ全般に関する研究をテーマとして、各自が取り組んだ課題を発表・討議します。				発表資料を完成させてくる。授業後は討議内容を整理する(1時間)				
4	スポーツ指導に必要な運動構造の分析	歩く、走る等の基礎的な運動構造の分析の仕方について学び、相互に指導し合う実習を通し理解を深めます。				事前に運動学の復習をしておく。授業後は要点をまとめる。(1時間)				
5	スポーツ指導に必要な運動構造の分析	主としてクロズスキルに関する運動構造の分析の仕方について学び、相互に指導し合う実習を通し理解を深めます。				事前に運動学の復習をしておく。授業後は要点をまとめる。(1時間)				
6	スポーツ指導に必要な運動構造の分析	主としてオープンスキルに関する運動構造の分析の仕方について学び、相互に指導し合う実習を通し理解を深めます。				事前に運動学の復習をしておく。授業後は要点をまとめる。(1時間)				
7	スポーツ指導に必要な運動構造の分析	基礎体力向上に繋がる運動(トレーニング内容)について、考察・討議します。				各自が持っている知識や情報を整理しておく。授業後は分野別にまとめる。(1時間)				
8	スポーツとは何か	学校体育が、私達の生活にどのような影響を与えているのか、どのような影響を及ぼす可能性があるのかについて、考察・討議します。				テーマについて事前学習をする。討議された内容をまとめる。(1時間)				
9	スポーツとは何か	地域のスポーツ活動が、私達の生活にどのような影響を与えているのか、どのような影響を及ぼす可能性があるのかについて、考察・討議します。				テーマについて事前学習をする。討議された内容をまとめる。(1時間)				
10	スポーツとは何か	「私達の生活にスポーツはなぜ必要なのか」というテーマについて考察・討議します。				テーマについて事前学習をする。スポーツの果たす役割をまとめる。(1時間)				
11	卒業研究テーマの模索	これまでの学習や討議を元に、卒業研究のテーマを模索し、参考になると思われる資料について検討します。				卒業研究のテーマを考え、それに関する資料収集を始める。(1時間)				
12	卒業研究テーマの模索	これまでの学習や討議あるいは、前時に検討した内容を元に、卒業研究のテーマを決めます。				卒業研究のテーマを考え、それに関する資料収集を始める。(1時間)				
13	テーマ発表	学校現場に関する卒業研究テーマを設定した人のテーマ発表を聞き、全員で検討します。				発表資料を用意する。テーマについてレポートにまとめる(1時間)				
14	テーマ発表	スポーツの指導方法に関する卒業研究テーマを設定した人のテーマ発表を聞き、全員で検討します。				発表資料を用意する。テーマについてレポートにまとめる(1時間)				
15	テーマ発表 及びまとめ	スポーツ全般に関する卒業研究テーマを設定した人のテーマ発表を聞き、全員で検討します。各自のテーマを確認します。				発表資料を用意する。テーマについてレポートにまとめる(1時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「講義内容に応じて、資料を配布します。」			課題：50% 受講態度：50% 課題の内容は、課題の洗い出しやまとめに至る過程も含み、受講態度は、ディスカッションなどの学習状況及び学内外の実習等の活動状況も含み評価します。Sは上記の全ての内容が優れている者。Aは良好だった者。Bは概ね良好だった者。Cは全ての内容に取り組めた者となります。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「課題に応じた参考書や資料に関するアドバイスをします。」			自分の意見を述べ合ったり、実習をしたりしながら、授業を展開していきますので、自ら問題意識を持ち、主体的・積極的に授業に参加し、学習を進める姿勢が重要です。							

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	SL36077	研究室	S-24
担当者	丸山 文男		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスアワ	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
<b>授業概要</b>										
1,2年次に学んだ基礎的な知識をもとに, スポーツと力学, スポーツと気象の教科書の輪読を行い, 関心のあるテーマを見つけ, 卒論のテーマを決めます.										
<b>学修到達目標</b>										
スポーツと力学, スポーツと気象についての理解を深め, 関心のあるテーマを見つけ, 研究計画を立てることです.										
<b>授業の進め方</b>										
前期に続いて, スポーツと力学, スポーツと気象の教科書の輪読を続け, 4年時の「卒業論文」のテーマを探します.										
<b>授業計画(各回のテーマ等)</b> 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	レポート報告会(2)	前回の報告会の結果を受け, 夏休み中に深めたレポートを発表します。				レポート発表の準備を行います。(1時間)				
2	スポーツと物理(6)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
3	スポーツと物理(7)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
4	スポーツと物理(8)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
5	スポーツと物理(9)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
6	スポーツと物理(10)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
7	スポーツと気象(6)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
8	スポーツと気象(7)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
9	スポーツと気象(8)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
10	スポーツと物理(11)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 発表の準備を行います。(1時間)				
11	スポーツと物理(12)	教科書を輪読し, 内容を説明します。				教科書を復習し, 卒論のテーマを考えます。(1時間)				
12	卒論テーマ探し(1)	卒論のテーマを考えます。				教科書を復習し, 研究計画を考えます。(1時間)				
13	卒論テーマ探し(2)	卒論のテーマを考えます。				教科書を復習し, 研究計画を考えます。(1時間)				
14	卒論発表会への参加	4年生の発表を聞き参考にします。				卒論テーマ発表会の準備を行います。(1時間)				
15	卒論テーマ発表会	卒論テーマ及び研究計画を発表します。				出された意見をもとに研究計画を練り直します。(1時間)				
<b>テキスト</b>		<b>成績評価の方法・基準</b>								
適宜紹介します。		レポート:50% 課題:50% 成績評価は, レポートの内容と, 毎時の発表内容で評価します。 S:探究的思考力で取り組み内容が独創的で明確である。 A:探究的意欲的に取り組み内容が明確にされている。 B:意欲的に取り組み内容が明確にされている。 C:意欲的に取り組んでいるが内容の明確性が弱い。								
<b>参考書</b>		<b>履修上の注意(学生へのメッセージ)</b>								
適宜紹介します。		教科書をよく理解し, 調べてみたいテーマを積極的に探します。								

科目名	スポーツ健康演習		学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ`リッヅ	SL36077	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度~				
授業概要										
<p>本授業では、スポーツにおける外傷・傷害についての理解を深めるとともに、予防医学の重要性を考察します。また、地域における高齢者や子ども、障がい者に対する身体への評価や指導法について考察し、運動プログラムについて必要な関節可動域、筋力検査、アライメント評価などを学びます。さらにそれらの学習を通じて、ヒトの身体活動に対する認識を深める事や他者への指導法に関する課題を探究していきます。</p>										
学修到達目標										
<p>ヒトの身体に対する予防的観点を持つ能力を身につけることを目指します。また、授業内でのディスカッションを通じて、情報を精査できる能力を高めること、他者へ伝える能力を向上させることを目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>スポーツ外傷・傷害についての先行研究や予防医学に関する実践事例などを利用して授業を進めます。様々な意見交換を行うなどの主体的な学習姿勢を望みます。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	評価と測定(1)	関節可動域を実際に測定し、各々の差異について比較・検討します。					関節可動域の正常値からの逸脱について調べておく(1時間)。			
2	評価と測定(2)	関節可動域を実際に測定し、各々の差異について比較・検討します。					関節可動域の正常値からの逸脱について調べていく(1時間)。			
3	評価と測定(3)	関節可動域を実際に測定し、各々の差異について比較・検討します。					関節可動域の正常値からの逸脱について調べておく(1時間)			
4	評価と測定(4)	徒手筋力検査法を実際に実施し、各々の筋力の差異について比較・検討します。					各関節運動における主動作筋を調べておく(1時間)。			
5	評価と測定(5)	徒手筋力検査法を実際に実施し、各々の筋力の差異について比較・検討します。					各関節運動における主動作筋を調べておく(1時間)。			
6	評価と測定(6)	徒手筋力検査法を実際に実施し、各々の筋力の差異について比較・検討します。					各関節運動における主動作筋を調べておく(1時間)。			
7	評価と測定(7)	静止立位での姿勢評価を実施し、各々のアライメントの特徴を比較・検討します。					不良姿勢について調べておく(1時間)。			
8	評価と測定(8)	静止立位での姿勢評価を実施し、各々のアライメントの特徴を比較・検討します。					不良姿勢について調べておく(1時間)。			
9	評価と測定(9)	動的アライメント評価を実施し、外傷・傷害の可能性について検討します。					動的アライメント検査について調べておく(1時間)。			
10	評価と測定(10)	動的アライメント評価を実施し、外傷・傷害の可能性について検討します。					動的アライメント検査と疾患との関連性について調べておく(1時間)。			
11	卒業研究テーマを探す(1)	これまでの学習や討議を基に、卒業研究のテーマを決めていきます。					卒業研究のテーマを考え、それに関する資料収集を開始する(1時間)。			
12	卒業研究テーマを探す(2)	これまでの学習や討議を基に、卒業研究テーマを決めていきます。					卒業研究のテーマを考え、それに関する資料収集を開始する(1時間)。			
13	卒業研究テーマを探す(3)	これまでの学習や討議を基に、卒業研究テーマを決めていきます。					卒業研究のテーマを考え、それに関する資料収集を開始する(1時間)。			
14	研究テーマ発表(1)	各々が卒業研究テーマについて、発表してディスカッションを行います。					発表資料を用意する。テーマについてレポートにまとめる(1時間)。			
15	研究テーマ発表(2)	各々が卒業研究テーマについて、発表してディスカッションを行います。					発表資料を準備する。テーマについてレポートをまとめる(1時間)。			
テキスト					成績評価の方法・基準					
講義内容に応じて資料をその都度配布します。					<p>受講態度：50% レポート：50%</p> <p>S：高度な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等にきわめて積極的に取り組み、高度な成果を示している。A：高度な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、良好な成果を示している。B：基本的な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、2/3程度の成果を示している。C：基本的な測定技術及び指導のための理論を習得するための課題等に取り組み、1/2程度の成果を示している。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
テキストに準ずる					他者への身体評価を多く実施するため、多くの練習時間を要します。積極的興味を持って臨んでください。					

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36078	研究室	S-14
担当者	等々力 賢治		必修選択	必修	科目種別	演習	ワイズア-	木曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
現代スポーツの変化・変貌には著しいものがあります。にもかかわらず、それを対象とする諸研究が、スポーツの独自性や価値などを十分に踏まえたものであるとは必ずしも言えません。本演習では、その不十分さを押さえつつ、現代スポーツやスポーツビジネスが抱える諸問題を追究し、解決方策を探ったものを「卒業論文」としてまとめるべく取り組みます。そのために、テーマや章立てを考え工夫していくことにくわえ、課した執筆内容を適宜提出してもらい添削した上で返却することを繰り返します。										
学修到達目標										
まず、各自の興味・関心を大切にしつつ、テーマ設定や章立ての方法などについて理解し、参考資料の収集・引用方法などを修得して、「論文」と呼ぶに相応しい文章を作成する。さらに、それを基にゼミメンバー間での能動的な討議を通じて文章作成に取り組み、より充実した「卒業論文」を作成するために必要な能力を高め修得します。										
授業の進め方										
本演習では、「卒論」執筆に必要な事柄を学んだ上で実際に書き始め、節目節目で報告、討議し、それを参考に修正を加えていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	本演習の学習計画・内容などを把握した上で、ゼミ長・副ゼミ長などを決め、次時以降の自主的運営について共通理解を図ります。また、3年次に取り組んだ「卒論」のテーマ・章立てについて確認します。				事前:シラバスをよく読んでおく。事後:「卒論」のテーマ・章立てを確認しておく。(4時間)				
2	テーマ・章立ての確認	3年次の「スポーツ健康演習」で取り組んだ「卒論」のテーマ・章立てについて、各自修正し、あらためて提出してもらいます。その際、まったく構想を変える学生については、別途指導、確認します。				事前:テーマ・章立てを見直しておく。事後:演習終了時に指示する。(4時間)				
3	参考文献・資料について	参考文献・資料の必要性を確認し、探し方等について共通理解を深めます。関連すると思われる書籍や雑誌、過去の「卒論」や新聞記事等を図書館、研究室などで探し、必要ならコピーすることを確認します。				事前:前年度の「卒論」に目を通しておく。事後:実際に参考文献・資料を探してみる。(4時間)				
4	参考文献・資料の収集(1)	各自、実際に図書館や研究室などに行って参考になりそうな文献・資料を探してみます。その際、掲載文章の末尾に記載されている参考文献・資料に目を通し、役に立ちそうなものを記録しておきます。				事前:実際に参考文献・資料を探してみる。事後:探した文献・資料を整理しコピーしておく。(4時間)				
5	参考文献・資料の収集(2)	各自、実際に図書館や研究室などに行って参考になりそうな文献・資料を探してみます。その際、掲載文章の末尾に記載されている参考文献・資料に目を通し、役に立ちそうなものを記録しておきます。				事前:実際に参考文献・資料を探してみる。事後:文献・資料を整理し報告文章を作成する。(4時間)				
6	文献・資料の報告準備	各自が探した文献・資料の中から代表的なものを選び、その内容について報告し討議に付して意見交換します。そのために、よく読み込んだ上で、要領よくまとめ報告用レジュメを準備します。				事前:文献・資料に目を通し内容を把握する。事後:代表的なものを読み込みまとめる。(4時間)				
7	文献・資料の報告(1)	前時に準備した報告用文献・資料について、報告10分、質疑8分程度を目処に、毎時間4名程度、3週にわたって報告し討議します。その際、個別報告の中でも、他に関連する事柄や事項は普遍化を図ります。				事前:全員が報告用のレジュメを作成しておく。事後:討議での指摘を受け修正する。(4時間)				
8	文献・資料の報告(2)	準備した報告用文献・資料について、報告10分、質疑8分程度を目処に、毎時間4名程度、3週にわたって報告し討議します。その際、個別報告の中でも、他に関連する事柄や事項は普遍化を図ります。				事前:前時の討議を受け必要な修正を行う。事後:討議での指摘を受け修正を加える。(4時間)				
9	文献・資料の報告(3)	準備した報告用文献・資料について、報告10分、質疑8分程度を目処に、毎時間4名程度、3週にわたって報告し討議します。その際、個別報告の中でも、他に関連する事柄や事項は普遍化を図ります。				事前:前時の討議を受け修正を行う。事後:全員修正したレジュメを作成し提出する。(4時間)				
10	下書き3000字執筆(1)	前時までのテーマ・章立て、参考文献・資料の収集などを踏まえ、実際に「卒論」の執筆に入ります。まずは、各自、夏休みまでに3000字を目標に下書きに取り組み、提出します。				事前:テーマ・章立てなどを再吟味しておく。事後:各自執筆を進める。(4時間)				
11	下書き3000字執筆(2)	各自、これまでのテーマ・章立て、参考文献・資料収集などを踏まえ、実際に「卒論」の執筆に入ります。まずは、夏休みまでに3000字を目標に下書きに取り組み、提出します。				事前:論文執筆を進める。事後:執筆を進める。質問等は、適宜、研究室で意見交換する。(4時間)				
12	下書き3000字執筆(3)	各自、これまでのテーマ・章立て、参考文献・資料収集などを踏まえ、実際に「卒論」の執筆に入ります。まずは、夏休みまでに3000字を目標に下書きに取り組み、提出します。				事前:論文執筆を進める。事後:執筆を進める。質問等は、適宜、研究室で意見交換する。(4時間)				
13	脚注、図表の扱いについて	各自執筆を進める中で引用や用語説明などがあることを想定し、脚注の付け方について指導、確認します。また、図表の利用と挿入方法、タイトルと出所の付け方などについても指導し、確認します。				事前:論文執筆を進める。事後:脚注、図表等を確認し、適確に整理、記載していく。(4時間)				
14	アンケート調査について	「卒論」執筆を進める中でアンケート調査が必要になった場合を仮定し、その内容や方法などについて指導し、確認します。その際、プライバシーに配慮すること及び、有効性等についてアドバイスします。				事前:論文執筆を進める。事後:アンケート調査実施者は、素案を作成し指導を受ける。(4時間)				
15	夏休み中の取組の確認	執筆した下書き3000字分を提出します。アンケートを行いたい学生は、それを持参し、内容や体裁などについて確認し修正します。また、夏休み中執筆を進め、9月末の後期開始時に6000字分を提出します。				事前:アンケート実施者は完成させておく。事後:下書き6000字を目指して執筆を進める。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
特に指定せず、適宜紹介します。		レポート:70% 課題:30% 成績評価は、「卒業論文」の内容・体裁にくわえ、資料集など取組姿勢も重視します。評価基準は次のとおりです。S:研究目的が明確で独創的であり、研究の成果と課題が高度でオリジナルである。A:研究目的が明確であり、関連する先行研究を把握し、研究の成果と課題が明示されている。B:研究目的が明確であり、研究の成果と課題が明示されている。C:研究目的が示されており、最低限の執筆字数を満たし、研究の成果と課題が示されている。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
各自の研究内容に則した書籍・資料等を適宜紹介しますが、自分の研究に関するものを常日頃から意識的に探し、読み漁ってください。		「卒業論文」執筆は学生生活の仕上げですので、積極的に取り組むよう強く求めます。また、松本山雅や信州ブレイブオリアース、長野トライデンツのボランティアを予定していますので、その際は積極的に参加してください。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36078	研究室	S-22	
担当者	中島 弘毅		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>今までの学習をベースに設定した研究テーマに沿って、どのように解決して行くかを学びます。具体的には、テーマに関する資料を収集し、読み込みます。その資料の分析を通して、自らの主張を論理的に展開し、卒論を仕上げます。今までの学習をベースに各自がテーマを設定します。テーマに関する資料を収集し、読み込みます。その資料の分析を通して、自らの主張を論理的に展開し、まとめて行きます。</p>											
学修到達目標											
設定した課題に対して、適切な方法を用いて課題を解決してゆく力、論理的に文を組み立て、表現する力を身につけます。											
授業の進め方											
前半は、研究計画を策定します。同時に関係する資料を収集し、読み込でいきます。後半においては、収集した資料を用いて論文を完成させます。各授業時に、それぞれの進捗状況を報告し、全員で議論をしていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	研究計画の策定	各自の研究テーマの確認とこれからの研究計画を立てます。					研究計画を考え、まとめます。(4時間)				
2	先行研究について	テーマに関係する論文を集め、主要参考文献をリストアップします。					論文検索をします。(4時間)				
3	研究方法の検討	参考文献を基にしながら、研究目的に最適な研究方法を策定します。					研究方法を策定します。(4時間)				
4	研究方法の検討(2)	参考文献を基にしながら、研究目的に最適な研究方法を策定します。					研究方法を策定します。(4時間)				
5	章立てについて	全体の構成を考え、章立てをします。					章立てを考えます。(4時間)				
6	章立てについて(2)	全体の構成を考え、章立てをしたものを検討します。					章立てを考えます。(4時間)				
7	アンケート調査について	調査票作成の仕方について学習します。					調査票を作成します。(4時間)				
8	調査票の作成	調査票を作成し、完成させます。					調査票を完成させます。(4時間)				
9	データの入力方法について	パソコンを使用してのエクセルへのデータ入力方法について学びます。					統計的分析方法を学習します。(4時間)				
10	統計処理の仕方について	有意差検定の種類と概要について学びます。自分の研究にあった統計処理方法を理解します。					有意差検定の種類と概要について復習します。(4時間)				
11	有意差検定について	自分の研究でどのような方法で有意差検定を行うのかを学び、その方法について学びます。PCによるSPSSを利用した統計処理方法を学びます。					統計的分析方法を学習します。(4時間)				
12	中間発表用のスライド作り	中間発表に向けてスライド作りを行います。					中間発表用のスライドを作成します。(4時間)				
13	中間発表用のスライド作り(2)	中間発表に向けて作ったスライドをゼミ内で発表し、プレゼンテーションの練習をすると共に卒論をより良いものに仕上げゆきます。					中間発表用のスライドの修正をします。(4時間)				
14	議論&執筆(1)	各自が書き上げてきたところ、進行状況をゼミ内で発表し、全員で議論します。議論の結果を受けて内容を修正してゆきます。					各自論文の執筆・修正をします。(4時間)				
15	議論&執筆(2)	各自がデータの分析状況、論文の執筆状況を提出し、ゼミ内で発表します。全員で議論し、議論の結果を受けて内容を修正します。また、今後の予定を練り直します。					各自論文の執筆・修正をします。今後の予定を練り直します。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
「「レポートの組み立て方」」木下是雄著(ちくまライブラリー)(別途指示します。)			<p>課題:30% レポート:50% 受講態度:20%</p> <p>卒業論文を主とし、ゼミ及びゼミ活動への参加状況及び取り組み(意欲)を総合して評価します。S:95点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上</p>								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「「アクセプトされる英語医学論文を書こう」」ネル・L・ケネディ著(メジカルビュー社)			問題意識を明確にし、積極的に議論をし、卒業論文を完成させましょう。入力・分析・執筆作業は授業時間外に行うことが求められます。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36078	研究室	S-13
担当者	岩間 英明		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本演習は3年次の健康演習をはじめ、これまでの学習を基礎として研究を深めながら、卒業論文のデータや資料をまとめます。卒業研究の方向性は、保健体育授業、体育的行事、運動部活動など、学校におけるスポーツ活動や健康教育全般に関する内容。実技指導などの運動方法に関する内容。の大ききは2つの分野が中心となりますが、体育・スポーツだけでなく、学校が抱える今日的課題や、生徒指導に関わる問題も含め、学校教育全体・スポーツ界全体にも目を向け、広い視野から考察をすすめていきます。										
学修到達目標										
これまでの学習を生かして研究を進め、それを卒業論文としてまとめていくことが最大の目標となります。また同時に、研究を進めていく上で必要となる論理的思考力や情報リテラシーなどの能力や、文章表現力やプレゼンテーション能力といった論文作成や発表に必要な能力の獲得や向上も広い意味の学修目標です。										
授業の進め方										
各自の研究テーマに応じてそれぞれ個別に指導することが多くなりますが、各自の研究を受講者全体で相互に議論する機会も設定し、問題の共有化を図りながら、多角的な視点から研究を深めたり、視座を広げたりして論文完成を目指していきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業論文作成スケジュールの確認	卒業論文発表会までのスケジュールを確認して、研究計画書の作成に取りかかります。				事前に研究テーマを明確にしておく。次時までに研究計画書を完成する。(4時間)				
2	研究テーマの再確認	研究テーマについて「何を」「どこまで明らかにするのか」について再確認し、自分の置かれている状況に照らし合わせて、現実的に可能かどうか再確認します。				事前に研究テーマの内容について概観しておく。授業後、研究計画を見直す。(4時間)				
3	研究テーマの検討(1)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表する。また、その発表内容について相互に検討する。(担当は1班)				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる。(4時間)				
4	研究テーマの検討(2)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表する。また、その発表内容について相互に検討する。(担当は2班)				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる。(4時間)				
5	研究テーマの検討(3)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表する。また、その発表内容について相互に検討する。(担当は3班)				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる。(4時間)				
6	研究テーマの最終検討と資料・データの収集(1)	研究テーマおよび研究計画の最終検討を行う。また、先行研究、文献、アンケート作成など各自のテーマに合わせて、資料・データ収集(準備を含む)を開始する。				検討結果を受けて最終的なテーマ設定をする。資料・データ収集の準備に取りかかる。(4時間)				
7	資料・データの収集(2)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる。(4時間)				
8	資料・データの収集(3)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる。(4時間)				
9	論文構成を考える。資料・データの収集(4)	論文の構成の仕方について全体指導をした後、各自で章立てを考えてみます。また、引き続き資料・データ収集に関して個別指導をします。				事前に論文構成を考えてくる。各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる。(4時間)				
10	章立てを検討する。資料・データの収集(5)	章立てを相互に検討したり、個別に指導したりします。また、引き続き資料・データ収集に関して個別指導をします。				章立ての発表準備をする。各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる。(4時間)				
11	章立ての最終検討と決定。論文の書き方(1)	章立てを決定します。また、論文の書き方について全体指導をします。				章立てを検討してくる。論文の書き方について復習する。(4時間)				
12	論文の書き方(2)および、論文の初稿を作成する(1)	論文の書き方について指導した上で、第1章「はじめに(研究の動機・目的)」の作成に取りかかります。				論文の書き方を理解し、第1章を執筆する。(4時間)				
13	論文の初稿を作成する(2)	第1章について相互に読み合い、内容および書き方や言い回しについて検討します。				事前に第1章をまとめておき、検討した結果に基づき修正する。(4時間)				
14	論文の初稿を作成する(3)	第2章「研究の方法」について相互に読み合い、内容および書き方や言い回しについて検討します。				事前に第2章をまとめておき、検討した結果に基づき修正する。(4時間)				
15	夏休みの研究・執筆計画を立てる。	研究の進捗状況を確認し、夏休み中に行う研究や、執筆について計画を練り直し、夏休み明けに初稿が完成できるようにします。				夏休みにやるべき内容についてまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各自のテーマに応じて、必要な資料を個別に提示します。				課題: 20% 卒業研究進捗状況: 80%で評価します。卒業研究進捗状況はその内容(テーマ、研究方法の適切さ、考察の妥当性、研究の進捗状況)ならびに、その過程を評価対象とします。Sは上記の全ての内容及び過程が優れているもの。Aは内容及び過程が良好だったもの。Bは内容及び過程が概ね良好だったもの。Cは内容がまとまっており、指示された期日までに経過提出できたものとしします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
各自のテーマに応じた参考図書を指示します。				課題を自ら探究していく姿勢が大切です。特に全体で討議する際は、自らの研究内容を提示するのはもちろん、仲間の研究にも関心を持つことが、研究を深めます。また、できるだけ多くの関連図書を読むことも重要です。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36078	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
卒業研究論文を完成させることを通して、課題解決のための研究の計画、研究の方法、データ処理・解析方法と技術、結果の考察、論文のまとめ方、発表技術などを総合的に学習することを目標とします。これまでに展開されてきた関連科目や「スポーツ健康演習」で学んだ内容を基に、各自が研究テーマとして選択した内容をさらに追求していきます。まず問題が提起され、どのような資料から、どんな結果が得られ、どのような結論が導きだされたかを客観的・論理的にまとめていきます。										
学修到達目標										
これまでの学習を生かして研究を進め、それを卒業論文としてまとめていくことが最大の目標となります。また同時に、研究を進めていく上で必要となる論理的思考力や情報リテラシーなどの能力や、文章表現力やプレゼンテーション能力といった論文作成や発表に必要な能力の獲得や向上も広い意味の学修目標です。										
授業の進め方										
研究計画の立案と実施をし、毎週の授業時にはその経過を一人ひとりが発表しディスカッションをしていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業論文作成スケジュールの確認	卒業論文発表会までのスケジュールを確認して、研究計画書の作成に取りかかります。				事前に研究テーマを明確にしておく。次時までに研究計画書を完成する(4時間)。				
2	研究テーマの再確認	研究テーマについて「何を」「どこまで明らかにするのか」について再確認し、自分の置かれている状況に照らし合わせて、現実的に可能かどうか再確認します。				事前に研究テーマの内容について概観しておく。授業後、研究計画を見直す(4時間)。				
3	研究テーマの検討(1)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表して、その発表内容について相互に検討します。				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる(4時間)。				
4	研究テーマの検討(2)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表して、その発表内容について相互に検討します。				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる(4時間)。				
5	研究テーマの検討(3)	各自の研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表して、その発表内容について相互に検討します。				発表者は発表準備をしておく。発表された内容について、自分なりに調べてみる(4時間)。				
6	研究テーマの最終検討と資料・データの収集(1)	研究テーマおよび研究計画の最終検討を行います。また、先行研究、文献、アンケート作成など各自のテーマに合わせて、資料・データ収集(準備を含む)を開始します。				検討結果を受けて最終的なテーマ設定をする。資料・データ収集の準備に取りかかる(4時間)。				
7	資料・データの収集(2)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる(4時間)。				
8	資料・データの収集(3)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる(4時間)。				
9	論文構成を考える。資料・データの収集(4)	論文の構成の仕方について全体指導をした後、各自で章立てを考えてみます。また、引き続き資料・データ収集に関して個別指導をします。				事前に論文構成を考える。各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる(4時間)。				
10	章立てを検討する。資料・データの収集(5)	章立てを相互に検討したり、個別に指導したりします。また、引き続き資料・データ収集に関して個別指導をします。				章立ての発表準備をする。各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる(4時間)。				
11	章立ての最終検討と決定。論文の書き方(1)	章立てを決定します。また、論文の書き方について全体指導をします。				章立てを検討してくる。論文の書き方について復習する(4時間)。				
12	論文の書き方(2)および、論文の初稿を作成する(1)	論文の書き方について指導した上で、第1章「はじめに(研究の動機・目的)」の作成に取りかかります。				論文の書き方を理解し、第1章を執筆する(4時間)。				
13	論文の初稿を作成する(2)	第1章について相互に読み合い、内容および書き方や言い回しについて検討します。				事前に第1章をまとめておき、検討した結果に基づき修正する(4時間)。				
14	論文の初稿を作成する(3)	第2章「研究の方法」について相互に読み合い、内容および書き方や言い回しについて検討します。				事前に第2章をまとめておき、検討した結果に基づき修正する(4時間)。				
15	夏休みの研究・執筆計画を立てる。	研究の進捗状況を確認し、夏休み中に行う研究や、執筆について計画を練り直し、夏休み明けに初稿が完成できるようにします。				夏休みにやるべき内容についてまとめる(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各回こちらでポイントを記したプリントを用意します。				課題:100% 課題について:S:きわめて高度に課題を仕上げている。A:高度に課題を仕上げている。B:良好に課題を仕上げている。C:課題を仕上げている。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康・スポーツ科学のための卒業論文/修士論文の書き方」出村慎一・山次俊介著(杏林書院) ISBN:978-4-7644-1162-3				卒業研究はやらされるものではなく、自ら積極的に取り組むものです。4年間の集大成という気持ちで全力で取り組んでください。毎回の講義終了前に、次回講義の概要や予習等について説明をします。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36078	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本実習では3年次の健康演習をはじめ、これまでの学習を基礎として研究を深め卒業論文にまとめます。卒業研究の方向性を決定するために、課題を見つけ先行研究、また文献検索の方法を習得します。卒業論文をまとめることで研究計画、研究の方法、データの処理と解析の技術を身につけ、広い視野から考察を深めていきます。										
学修到達目標										
これまでの学習の復習を行いながら研究を進め、データに基づく卒業論文をまとめるということの総理解と、その手順を説明できるようにする。										
授業の進め方										
前期は「健康づくり」における現場の実態とその問題点を検討し、文献を使いながら個別テーマをディスカッションしながら探していきます。後期は研究の目的に沿ったデータを蓄積し、プレゼンテーション実施の機械を設けながら論文を完成させていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業論文とは	卒業論文発表会までのスケジュールを確認して、研究計画を立て一人ひとり発表します				事前に研究テーマを明確にしておく。(4時間)				
2	先行研究のリサーチ	文献検索の方法を習得し、データ収集について説明します				卒業研究に関して興味のある分野について論文調査をしておく。(4時間)				
3	論文とデータについて	論文の読み方とデータ解析について説明します				検定の方法を理論を調べておくこと。(4時間)				
4	データ解析と解析方法について	先行研究の紹介と方向性を探り、授業内でグループディスカッションを行います				興味のある分野について文献収集、データ収集を準備しておくこと。(4時間)				
5	健康づくりの分野における現況と問題点	形態および体力測定における性別、年代別における平均値を理解し、評価できるように説明します				日本における身体計測、体力測定の評価基準を調査しておくこと。(4時間)				
6	研究テーマの検討(1)	研究課題の取り組み計画について研究計画書を作成し、授業内でグループディスカッションを行います				各自のテーマについて研究計画書を作成しておくこと。(4時間)				
7	研究テーマの検討(2)	研究課題の取り組み計画について、研究計画書を作成し方法論を議論します				研究テーマについての方法論について、先行研究と照らし合わせ調査しておくこと。(4時間)				
8	研究テーマの検討(3)	研究課題の取り組み計画について、研究計画書を作成し仮説を立てます				研究テーマについての方法論と理論に基づく仮説を立てて資料を作成しておくこと。(4時間)				
9	論文の構成を考える(1)	研究テーマについての概要や先行研究について調べた内容を計画書にまとめ発表し、個別指導をします				発表者は資料作成し、発表準備をしておく。(4時間)				
10	論文の構成を考える(2)	研究テーマについての概要や先行研究について調べた内容を計画書にまとめ発表し、個別指導をします				発表者は資料作成し、発表準備をしておく。(4時間)				
11	論文の構想を考える(3)	論文の構成の方法について全体指導をした後に、各自で章立てを考えて資料を作成し、授業内でグループディスカッションを行います				章立ての資料を作成しデータ収集をすすめる。(4時間)				
12	章立てを検討する(1)	章立てを全体指導した後に、相互に検討します				章立ての発表準備をしておく。(4時間)				
13	章立てを検討する(2)	章立てを相互に検討したり、個別に指導したりします				章立ての発表準備をしておく。(4時間)				
14	論文の初稿を作成する(1)	背景、目的の作成に取り掛かります				論文の書き方を理解し執筆する。(4時間)				
15	論文の初稿を作成する(2)	背景、目的、仮説までの流れと理解を深めます				論文の書き方を理解し仮説まで執筆する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
適宜プリントを配布します			受講態度：30% 課題：70% 健康教室などの実習や卒業研究への取り組み姿勢を受講態度とし評価します。「実技」は、授業内で行う実技発表です。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「やさしい生理学」森本武利著			4年間の集大成として、論文を一つまとめるということは根気と集中力が必要です。興味を持って自ら知識を高めていく努力を必要とします。測定が正しくできること、解析の基礎知識を身につけておくことが望ましい。							



科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパリング	SL36078	研究室	S-19	
担当者	中島 節子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
現代社会の多様化した健康問題や健康増進について追及したい課題を発掘し、調査・研究を遂行し、結論に到達する過程を学びながら卒業研究を行います。研究は、履修者が興味関心のある中で、疑問に思っていることを明確にするために取り組みます。											
学修到達目標											
運動や健康についての課題を論理的に分析し、課題解決に向けての研究方法を決定することができる。											
授業の進め方											
研究テーマを決め、先行研究の検討を行いながら各自の研究方法を決定していきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	論文検討	各自の興味のあるテーマで選択した論文をクリティークします。					研究計画書を作成する。論文を選びクリティークする。(6時間)				
2	研究テーマの検討	各自の研究テーマについて発表し、テーマ選定の妥当性についてお互いに討議し、研究テーマの絞り込みをします。					研究計画書を作成する。論文を選びクリティークする。(4時間)				
3	研究計画の作成	論文検討を行いながら研究テーマを決め、研究方法を検討していきます。					論文検討をする。(4時間)				
4	研究方法の検討	自己のテーマと目的と照らしあわせ、研究方法を決めていきます。					研究方法を考える。(4時間)				
5	研究データの収集・調査票の作成を行います。	各自の方法に基づきデータ収集を始めます。協力者への依頼文章の作成を行います。予備調査を行い、質問項目や測定データの妥当性を検討していきます。					調査票の作成、依頼文の作成を行う。(4時間)				
6	研究データの収集・調査票の検討をします。	各自の方法に基づきデータ収集をします。予備調査を行い、質問項目や測定データの妥当性を検討していきます。					研究方法の見直しをする。(4時間)				
7	研究データの収集・調査票の修正をします。	各自の方法に基づきデータ収集を始めます。測定方法や質問項目などの修正を行っていきます。					予備調査の結果を集計、分析する。(4時間)				
8	研究データの収集・調査票の修正をします。	予備調査、予備実験の結果の分析をし、調査票などの修正を行います。					予備調査の結果を集計、分析する。(4時間)				
9	中間報告の準備	各自の研究の進行状況を報告し、結果が得られたところまで整理し中間報告をする準備をします。					中間報告の資料作成をする。(4時間)				
10	中間報告会	各自の研究の進行状況を報告し、結果が得られたところまで整理し中間報告をし、意見交換を行います。					研究計画の検討、修正をする。(4時間)				
11	中間報告会	各自の研究の進行状況を報告し、結果が得られたところまで整理し中間報告をし、意見交換を行います。					研究計画の検討、修正をする。(4時間)				
12	論文の書き方	論文の書き方の基本を概説します。各自の論文の構成を行い、論文に仕上げていきます。文献の活用の仕方を学びます。					論文のはじめにを書き上げていく。(4時間)				
13	論文の書き方	論文に書き上げていきます。はじめに、研究方法を記述します。個別指導を行います。					論文のはじめにを書き上げていく。(4時間)				
14	研究方法の検討	各自の卒業研究の研究方法の検討を行いながらデータ収集を行います。					各自の研究計画に沿って進めます。(4時間)				
15	研究方法の検討	各自の卒業研究の研究方法の検討を行いながらデータ収集を行います。					各自の研究計画に沿って進めます。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
研究テーマに応じて紹介します。			レポート:50% 出席レポート:50% レポート評価は、最終的に卒業論文が完成していること。S:研究に積極的に取り組み考察を深め、形式を整え期限までに主体的に完成できる。効果的な発表ができる。A:研究の考察を深め、形式を整え期限までに完成でき、効果的な発表ができる。B:卒業論文の形式を整え期限までに提出できる。発表ができる。C:卒業論文の形式は整えられているが考察などの深まりが少ない。発表はできるが工夫点が少ない。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
必要に応じて紹介します。			日常の中での疑問の中からテーマを決め、追求していきます。研究は一人1テーマで行いますが、お互いに切磋琢磨し、考える力や発言する力をつけていきます。時間と手間を惜しまず取り組んでください。								

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナバ <sup>1</sup> リング	SL36078	研究室	S-24	
担当者	丸山 文男		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア <sup>2</sup> -	火曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
3年次の演習をもとにして、研究計画をしっかりと立て、実験解析を行います。結果をもとに考察して結論を導きます。実験解析方法、図の作成、文献の利用方法を学びます。章立てを行い卒業論文として仕上げます。											
学修到達目標											
興味関心を大切にしながら積極的に実験解析を行い、「卒業論文」を完成させることです。											
授業の進め方											
研究計画をしっかりと立てた上で、実験解析を重ね、考察を行い結論を導きます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	本演習の年間計画、内容などを理解します。					研究計画を立て始めます。(4時間)				
2	研究計画の作成(1)	実験方法、解析方法をきめます。					研究計画を立てます。(4時間)				
3	研究計画の作成(2)	実験方法、解析方法をきめます。					研究計画を立てます。(4時間)				
4	実験・解析(1)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果を整理します。(4時間)				
5	実験・解析(2)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果を整理します。(4時間)				
6	実験・解析(3)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果を整理します。(4時間)				
7	実験・解析(4)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果を整理します。(4時間)				
8	実験・解析(5)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果を整理します。(4時間)				
9	実験・解析(6)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験考察結果をもとに考察します。(4時間)				
10	実験・解析(7)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果をもとに考察します。(4時間)				
11	実験・解析(8)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果をもとに考察します。(4時間)				
12	中間報告執筆(1)	実験解析結果をまとめます。					考察をまとめます。(4時間)				
13	中間報告執筆(2)	実験解析結果をまとめます。					考察をまとめます。(4時間)				
14	中間発表会(1)	中間発表を行います。					出された意見をもとに考察を深めます。(4時間)				
15	中間発表会(2)	執筆した中間報告を提出します。					夏休み中に考察を深めます。				
テキスト			成績評価の方法・基準								
適宜紹介します。			レポート:70% 課題:30% 成績評価は卒業論文の内容に加え、研究への取り組み方で評価します。 S:探究的思考力で取り組み内容が独創的で明確である。 A:探究的意欲的に取り組み内容が課題に明確にされている。 B:意欲的に取り組み内容が明確にされている。 C:意欲的に取り組んでいるが内容の明確性が弱い。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
適宜紹介します。			卒業論文は学生生活の総仕上げでもあるので積極的に取り組んでください。								

科目名	卒業研究			学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36078	研究室	S-15
担当者	山本 薫			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
卒業研究は、卒業研究スポーツ健康科学演習で学んだ基礎知識を踏まえて運動生理学や実際の運動指導に役立つ専門的知識を活用して自身の興味あるテーマについて自ら調べ、学び、卒業研究(論文)を完成させます。さらにプレゼンテーションの仕方についても学びます。また、ゼミの活動や社会の情報を収集を収集することを通して社会性を身につけ、社会人として身につけるべき知識を学びます。											
学修到達目標											
自分の研究テーマについて仮説を立て、その仮説を検証し、筋道を立てて結論を導くことおよび研究結果を踏まえ、決められた書式に従って文書に記し、他者に対して説明できるようになることを目標とします。											
授業の進め方											
毎回、各自の卒業研究に関する文献報告や実験測定することを基本に進めます。学外運動指導の依頼を受けて実習も不定期に行います。内容は進行状況や必要性に応じて変更があります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	卒業研究活動ガイダンス	ゼミでの卒業研究活動についてガイダンス。卒業研究の進め方、文献検索およびまとめレポートについて説明します。(卒論参考文献の提出)					自身の卒論テーマに関する文献を見つけ読み込む(4時間)				
2	研究計画の作成(1)	研究計画の作成手順を説明します。3年4年合同ミーティング(予定)。					研究計画の資料学習(4時間)				
3	研究計画の作成(2)or実験測定	研究計画作成、添削修正します。参考文献のまとめレポートを発表し全員で討論します。状況に応じて実験・測定を行います。					自身の卒論参考文献を抄読する(4時間)				
4	研究計画の作成(3)or実験測定	研究計画作成、添削修正します。参考文献のまとめレポートを発表し全員で討論します。状況に応じて実験・測定を行います。					自身の卒論参考文献を抄読する(4時間)				
5	卒論研究計画発表会	ゼミ内にて卒論研究計画についてディスカッションします。倫理チェックについて学びます。					卒論研究計画発表準備(4時間)				
6	文献報告or実験測定(1)	卒論研究計画にそって各自の実験測定を進めます。					卒論研究計画を完成させる(4時間)				
7	文献報告or実験測定(2)	卒論実験測定の実施や参考文献まとめレポートの発表およびディスカッションを通じて知識を深めます。					卒論進捗報告と参考文献まとめ作成(4時間)				
8	文献報告or実験測定(3)	卒論実験測定の実施や参考文献まとめレポートの発表およびディスカッションを通じて知識を深めます。					卒論進捗報告と参考文献まとめ作成(4時間)				
9	文献報告or実験測定(4)	卒論実験測定の実施や参考文献まとめレポートの発表およびディスカッションを通じて知識を深めます。					卒論進捗報告と参考文献まとめ作成(4時間)				
10	文献報告or実験測定(5)	卒論実験測定の実施や参考文献まとめレポートの発表およびディスカッションを通じて知識を深めます。					卒論進捗報告と参考文献まとめ作成(4時間)				
11	文献報告or実験測定(6)	卒論実験測定の実施や参考文献まとめレポートの発表およびディスカッションを通じて知識を深めます。					卒論進捗報告と参考文献まとめ作成(4時間)				
12	文献報告or実験測定(7)	卒論実験測定の実施や参考文献まとめレポートの発表およびディスカッションを通じて知識を深めます。					卒論進捗報告と参考文献まとめ作成(4時間)				
13	文献報告or実験測定(8)	卒論実験測定の実施や参考文献まとめレポートの発表およびディスカッションを通じて知識を深めます。					卒論進捗報告と参考文献まとめ作成(4時間)				
14	卒論進捗報告	3,4年ゼミ生合同で卒論の進捗状況を報告します。					卒論の進捗状況報告書を作成します(4時間)				
15	文献報告or実験測定(9)	卒論実験測定の実施や参考文献まとめレポートの発表およびディスカッションを通じて知識を深めます。					卒論進捗報告と参考文献まとめ作成(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「『各自の先行研究・参考文献』」「『卒業論文/修士論文の書き方』」出村慎一・山次俊介著(杏林書院) ISBN:978-4-7644-1162-3					受講態度:60% レポート:40% 卒業研究への取り組み(文献まとめ、実験)60% 卒業研究の内容 40% 総合評価(S:実験結果・文章ともによくまとめて書けている。A:実験結果・文章ともによくまとめて書けている。B:実験結果はよくまとめている、文章は不十分。C:実験結果・文章ともに不十分。D:実験結果・文章ともに評価するに値せず)						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「各自の参考文献」					レポートや結果報告はワードを使用し、データにて期限内に提出すること。プレゼンテーションはパワーポイントを使用する。連絡や卒論文章やデータのやり取りは大学のメールアドレスを活用する。確認すること						

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナバ'リング	SL36078	研究室	S-23
担当者	小松 茂美		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本演習は3年次のスポーツ健康健康演習をはじめ、これまでの学習を基礎として研究を深め、卒業論文にまとめます。卒業研究の方向性は、保健体育授業、運動部活動など学校におけるスポーツ活動や健康教育全般に関する内容、実技指導などの分野に関する内容を中心としますが、学校現場が抱える課題や、スポーツ界全体が抱える課題等、広い視点から考察を進めます。										
学修到達目標										
これまでの学習を生かして研究を進め、それを卒業論文としてまとめていくことが目標です。同時に、研究を進めていく上で必要となる論理的思考力や情報リテラシーなどの能力、文章表現力やプレゼンテーション能力等の論文作成や発表に必要な能力の獲得や向上も目標です。										
授業の進め方										
各自の研究テーマに応じて個別学習が中心となりますが、各自の研究を受講者全体で相互に議論する機会を設定し、問題の共有化を図りながら、多角的な視点から研究を深め、論文完成を目指します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	卒業論文発表会までのスケジュールを確認し、研究計画書の作成に取りかかります。				事前に研究テーマを明確にしておく。次時までに研究計画書を作成する。(4時間)				
2	研究テーマの確認	研究テーマについて「何を」「どのようにして」「どこまで明らかにするのか」について確認します。				事前に本時のテーマについて概略をまとめておく。授業後、内容を見直す。(4時間)				
3	研究テーマの確認	見直しをした研究内容について、現実的に可能かどうか検討・確認します。				研究内容について具体的に検討しておく。授業後、内容を見直す。(4時間)				
4	研究テーマの検討	研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表し、その内容について相互に検討します。(主に学校現場や地域のスポーツ活動に関するテーマを設定した者)				発表の準備をしておく。発表された内容について調べてみる。(4時間)				
5	研究テーマの検討	研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表し、その内容について相互に検討します。(主に競技スポーツに関するテーマを設定した者)				発表の準備をしておく。発表された内容について調べてみる。(4時間)				
6	研究テーマの検討	研究テーマについての概要や先行文献について調べた内容、研究計画を発表し、その内容について相互に検討します。(主にスポーツ活動全般に関するテーマを設定した者)				発表の準備をしておく。発表された内容について調べてみる。(4時間)				
7	研究テーマに関する最終検討と資料・データの収集	研究テーマについて内容および計画の最終検討をし、先行研究、文献、アンケート作成等、必要な資料・データ収集(準備を含む)を開始します。				検討結果を受け、研究テーマを確定する。資料・データ収集等の準備に取りかかる。(4時間)				
8	研究テーマに関する資料・データの収集	資料・データ収集、アンケート作成等に関して、個別指導をします。				各自の研究テーマの内容に応じた資料・データの収集等を進める。(4時間)				
9	研究テーマに関する資料・データの収集	資料・データ収集、アンケート作成等に関して、個別指導をします。				各自の研究テーマの内容に応じた資料・データの収集等を進める。(4時間)				
10	論文構成を考える。資料・データの収集等	論文の構成について理解を深め、各自で章立てを大まかに考えてみます。引き続き資料・データ収集等に関する個別指導をします。				事前に論文構成を考えてくる。各自の研究テーマ内容に応じた資料・データ収集等を進める(4時間)				
11	論文の章立てを検討する。資料・データの収集等	章立てを相互に検討し合います。また、個別に指導もします。引き続き資料・データ収集等に関する個別指導をします。				章立ての発表準備をする。各自の研究テーマ内容に応じた資料・データ収集等を進める(4時間)				
12	章立ての最終検討と決定と論文の書き方	章立てを決定し、論文の書き方について再確認をします。				章立てを検討してくる。論文の書き方について復習する。(4時間)				
13	論文の初稿を作成する	第1章「研究の動機・目的」の作成に取りかかります。				第1章を執筆する。(4時間)				
14	論文の初稿を作成する	各自準備した第2章「研究の方法」について相互に読み合い、内容および書き方や言い回しについて検討します。				事前に第2章をまとめておき、検討した結果に基づき修正する。(4時間)				
15	今後の研究・執筆計画を立てる。	夏休み明けに初稿が完成できるように、研究の進捗状況を確認し、夏休み中に行う研究や執筆について計画を練ります。				これまでの進捗状況を踏まえ、夏休みに実施べき内容についてまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「各自の研究テーマに応じて、必要な資料を個別に提示します。」				受講態度：30%、レポート：20%、課題：50% 受講態度(資料収集の姿勢)30%、レポート：20%、課題(初稿の準備状況)：50%として評価します。課題は、進捗状況、研究方法、研究目的と予想される結論の妥当性等を評価します。Sは上記の全てが大変良好な状況であり、課題が期待以上の状況である者。Aは上記の全てが良好な状況で、課題が期待通りの状況である者。Bは上記の全てが概ね良好な状況で、課題が十分な状況である者。Cは上記の全てが概ね良好な状況であり、課題も概ねな状況である者。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「各自のテーマに応じて、参考となる図書を提示します。」				課題を自ら探究する姿勢が重要です。全体で討議する際は、自らの研究内容を提示するのももちろん、仲間の研究にも関心を持つことが、研究を深めます。また、できるだけ多くの関連図書を読むことも重要です。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ`リング	SL36078	研究室	C-2
担当者	河野 史倫		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスアワ-	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
重力に抗して姿勢を支えるために持続的に活動する骨格筋(抗重力筋)がどのようにその性質を獲得するのか?という大きな研究目的の中で、その一部を明らかにするための研究を行います。実験の動機づけ、デザイン、実施、結果の評価・考察、そして他者へ向けて発表(論文やプレゼン)するところまでが「研究」です。動物実験からサンプル解析、データのまとめまで、一連の作業を担い、卒業研究としてまとめることで、研究のやり方を学び、その重要性や指導現場につなげるための応用法などを考えます。										
学修到達目標										
実験・解析の完遂、卒業論文を作成し修正の過程を経て完成版にすること、発表用のスライドを作成しプレゼンテーションの練習を十分に行うことを到達目標とします。										
授業の進め方										
個人個人に与えられた研究テーマに沿った動物実験やサンプルの解析を行います。基本的には、個別に研究指導して進めてきますが、定期的に研究計画や進捗を発表・討論する機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	研究全体の流れと進め方について説明します。				研究の背景について復習し、与えられた文献を次回までに読んでおくこと。(4時間)				
2	研究計画	卒業研究の概要と計画を発表し全体でディスカッションを行います。				発表スライドをまとめ、関連する文献を読解しておくこと。(4時間)				
3	研究計画	卒業研究の概要と計画を発表し全体でディスカッションを行います。				発表スライドをまとめ、関連する文献を読解しておくこと。(4時間)				
4	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(4時間)				
5	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(4時間)				
6	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(4時間)				
7	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(4時間)				
8	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(4時間)				
9	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(4時間)				
10	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				与えられた作業を行い、随時結果を報告すること。(4時間)				
11	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
12	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
13	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
14	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
15	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
必要な資料はプリントなどで配布します。			課題:100% S:Aの条件に加え、卒業論文が完成に近い。 A:Bの条件に加え、論文作成に必要な文献を十分に読んでいる。 B:卒業論文に必要なデータ取得が完了している。 C:実験を進め、サンプル解析やデータ取得が滞りなくできている。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要な資料はプリントなどで配布します。			自分の研究テーマのみにとどまらず、他の学生の研究にも関わることでより深く骨格筋の仕組みを理解できます。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナバリング	SL36078	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
受講生個々人が興味・関心をもつ体育およびスポーツにおける法、行政、政策、マネジメントおよびジェンダー等に関する問題に焦点をあて、「スポーツ健康演習」で学んだ基礎理論や分析・研究方法を生かして、研究課題を設定して、それに取り組み、その成果を卒業論文として纏めます。										
学修到達目標										
関心を寄せる体育およびスポーツに関する問題と向き合い、体育およびスポーツに関する法、行政、政策、マネジメントおよび/或はジェンダー等の専門的知識を活かして、その解決策を卒業論文として示すことができる。										
授業の進め方										
受講生個々人が設定した研究テーマについて調査・発表し、討議を通じて問題の所在とその解決策の明確化を図ります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業目標、授業計画、授業の進め方、評価方法、詳細な留意事項等について解説します					シラバスを読む/事後:授業のルールを確認し、関心のあるテーマについて調べる(8時間)			
2	卒業研究テーマの設定1	討議を通じて研究のテーマ、方法および課題を絞り込みます					関心のある研究テーマについて調べる/事後:関心のある先行研究を収集する(8時間)			
3	卒業研究テーマの設定2	討議を通じて研究のテーマ、方法および課題を絞り込みます					関心のある研究テーマについて調べる/事後:関心のある先行研究を収集する(8時間)			
4	卒業研究テーマの設定3	討議を通じて研究のテーマ、方法および課題を絞り込みます					関心のある研究テーマについて調べる/事後:関心のある先行研究を収集する(8時間)			
5	卒業研究テーマの設定4	討議を通じて研究のテーマ、方法および課題を絞り込みます					関心のある研究テーマについて調べる/事後:関心のある先行研究を収集する(8時間)			
6	卒業研究のアウトラインの設定1	討議を通じて論文の章立てを洗練させます					論文の章立てを考える/事後:先行研究の検討をしながら章立ても検討する(8時間)			
7	卒業研究のアウトラインの設定2	討議を通じて論文の章立てを洗練させます					論文の章立てを考える/事後:先行研究の検討をしながら章立ても検討する(8時間)			
8	卒業研究のアウトラインの設定3	討議を通じて論文の章立てを洗練させます					論文の章立てを考える/事後:先行研究の検討をしながら章立ても検討する(8時間)			
9	卒業研究のアウトラインの設定4	討議を通じて論文の章立てを洗練させます					論文の章立てを考える/事後:先行研究の検討をしながら章立ても検討する(8時間)			
10	卒業研究のアウトラインの設定5	討議を通じて論文の章立てを洗練させます					論文の章立てを考える/事後:先行研究の検討をしながら章立ても検討する(8時間)			
11	論文の作成1-1	討議を通じて考察を深めます					ゼミで発表する準備をする/事後:発表で頂いた意見等を参考に考察を深める(8時間)			
12	論文の作成1-2	討議を通じて考察を深めます					ゼミで発表する準備をする/事後:発表で頂いた意見等を参考に考察を深める(8時間)			
13	論文の作成1-3	討議を通じて考察を深めます					ゼミで発表する準備をする/事後:発表で頂いた意見等を参考に考察を深める(8時間)			
14	論文の作成1-4	討議を通じて考察を深めます					ゼミで発表する準備をする/事後:発表で頂いた意見等を参考に考察を深める(8時間)			
15	卒業研究の中間報告	中間報告会を実施し、討議を通じてさらに研究を深めます					報告会で発表する準備をする/事後:報告会で頂いた意見等を整理する(8時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
それぞれの研究に適した文献や資料を適宜紹介します。		レポート:100% レポートは卒業論文です。評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に研究課題に取り組み、独創性のある論文にまとめて発表できる/A:探求姿勢をもって積極的に研究課題に取り組み、自身が面白いと思える論文にまとめて発表できる/B:積極的に研究課題に取り組み、自身が面白いと思える論文にまとめて発表できる/C:研究課題に取り組み、それを論文にまとめて発表できる								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
それぞれの研究に適した文献や資料を適宜紹介します。		本演習を履修するにあたって、「スポーツと法」、「スポーツ行政・政策論」、「スポーツマネジメント論」および「地域社会とスポーツ」を受講して下さい。ご自身が面白いと思える研究テーマを選んでください。								

科目名	卒業研究			学年学期	4年前期	単位数	2	ナパリング	SL36078	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義では、学生が自主的に興味のある研究テーマを設定し、教員からの助言や個人指導を通じて学習、および研究を深めることを目的とします。自分の取り組みとうとする研究領域について詳しく調べる中で、これまでの研究をさらに発展させるべき分野を見極め、これまで十分な研究がなされていない題材を見つけることにより具体的な研究テーマを決定したうえで、論文の執筆を開始します。</p>											
学修到達目標											
<p>自ら研究テーマを設定し研究を深めるという卒業研究執筆の過程を通して、論理的に考える力や自ら課題に取り組む姿勢を身につけることを到達目標とします。</p>											
授業の進め方											
<p>各自が自ら設定した研究テーマについて、それぞれが実際のフィールドに出てデータ収集、及びデータ分析を行います。また、先行研究をもとに、序論部分の論文執筆を行います。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	卒業論文執筆スケジュール等の確認します。					事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する。(4時間)				
2	研究テーマについて	各自が設定した研究テーマについて、プレゼンテーションを行います(担当者A、及びB)。					事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する。(4時間)				
3	研究テーマについて	各自が設定した研究テーマについて、プレゼンテーションを行います(担当者C、及びD)。					事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する。(4時間)				
4	研究テーマについて	各自が設定した研究テーマについて、プレゼンテーションを行います(担当者E、及びF)。					事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する。(4時間)				
5	研究テーマについて	各自が設定した研究テーマについて、プレゼンテーションを行います(担当者G、及びH)。					事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する。(4時間)				
6	データ収集	データ収集について解説を行います。					各自でデータ収集を進める。(4時間)				
7	データ収集	データ収集について必要に応じて個別指導を行います。					各自でデータ収集を進める。(4時間)				
8	データ収集	引き続き、データ収集について必要に応じて個別指導を行います。					各自でデータ収集を進める。(4時間)				
9	論文執筆の方法	論文執筆の方法について指導を行います。					配布する資料を熟読する。(4時間)				
10	論文執筆の方法	引き続き、論文執筆の方法について指導を行います。					配布する資料を熟読する。(4時間)				
11	卒業論文執筆(序論)	先行研究を調べ、問題の所在を明らかとし、序論の執筆を行います。					先行研究を調べる。(4時間)				
12	卒業論文執筆(序論)	引き続き、先行研究を調べ、問題の所在を明らかとし、序論の執筆を行います。					先行研究を調べる。(4時間)				
13	卒業論文執筆(序論)	先行研究を調べ、問題の所在を明らかとし、序論の執筆を行います(各自のペースに合わせて行う)。					先行研究を調べる。(4時間)				
14	卒業論文執筆(序論)	引き続き、先行研究を調べ、問題の所在を明らかとし、序論の執筆を行います(各自のペースに合わせて行う)。					先行研究を調べる。(4時間)				
15	前期の進捗状況の報告会	各自の進捗状況の報告会(パワーポイントによるプレゼンテーション)を行います。					進捗状況の報告資料(パワーポイント)を作成する。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
プリント資料を適宜配布します。					<p>課題：50% 受講態度：50%</p> <p>S：卒業論文のテーマ設定や序論部分の執筆過程において積極的かつ探究的に取り組んだ。A：卒業論文のテーマ設定や序論部分の執筆過程において積極的に取り組んだ。B：卒業論文のテーマ設定や序論部分の執筆過程において誠実に取り組んだ。C：卒業論文のテーマ設定や序論部分の執筆に取り組んだ。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
プリント資料を適宜配布します。					<p>・研究テーマに関わる問題について、先行文献等を積極的に検索するなど日常生活から関心をもって過ごしてください。</p>						

科目名	卒業研究			学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36078	研究室	S-12
担当者	上野 隆幸			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	木曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
働く人と健康をメインテーマに、これに関連する卒業研究テーマを決定し、卒業論文を作成してもらいます。											
学修到達目標											
働く人と健康テーマに、各自が興味・関心を抱く内容が反映されたテーマ設定や章立ての方法などについて理解し、参考資料の収集・引用方法などを修得した上で、「論文」と呼ぶに相応しい文章を作成できることを目標とします。加えてゼミメンバー間での能動的な討議を通じて文章作成に取り組み、より充実した「卒業論文」を作成するために必要な能力を修得していることを目標とします。											
授業の進め方											
本演習では、卒業論文の執筆に必要な事項を学びます。そして実際に論文を執筆し、途中で報告、討議し、それを参考に加筆・修正を行ってもらいます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	卒論テーマの決定	卒業論文の最終テーマを決定します。必要に応じてゼミメンバー内でディスカッションします。					自らの卒業論文テーマの報告資料を作成する。(4時間)				
2	卒論テーマの決定	卒業論文の最終テーマを決定します。必要に応じてゼミメンバー内でディスカッションします。					自らの卒業論文テーマの報告資料を作成する。(4時間)				
3	アンケート調査票の作成	卒業論文作成に必要なデータをアンケートで収集します。その調査票を作成します。					アンケート調査票案を作成する。(4時間)				
4	アンケート調査票の作成	卒業論文作成に必要なデータをアンケートで収集します。その調査票を作成します。					アンケート調査票案を作成・修正する。(4時間)				
5	アンケート調査票の作成	卒業論文作成に必要なデータをアンケートで収集します。その調査票を作成します。					アンケート調査票案を作成・修正する。(4時間)				
6	アンケート調査の実査	アンケートの配布・回収を行います。					アンケートの配布計画と進捗資料を作成する。(4時間)				
7	アンケート調査の実査	アンケートの配布・回収を行います。					アンケートの配布計画と進捗資料を作成する。(4時間)				
8	アンケート調査の実査	アンケートの配布・回収を行います。					アンケートの配布計画と進捗資料を作成する。(4時間)				
9	アンケート分析	回収した調査票のデータ入力とデータ分析を行います。					基礎的統計手法について復習する。(4時間)				
10	アンケート分析	回収した調査票のデータ入力とデータ分析を行います。					基礎的統計手法について復習する。(4時間)				
11	アンケート分析	回収した調査票のデータ入力とデータ分析を行います。					基礎的統計手法について復習する。(4時間)				
12	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
13	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
14	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
15	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
必要に応じてプリントを配布します。				レポート:50% 課題:50% 成績評価は、「卒業論文」の内容・体裁にくわえ、資料集など取組姿勢も重視します。評価基準は次のとおりです。S:研究目的が明確で独創的であり、研究の成果と課題が高度でオリジナルである。A:研究目的が明確であり、関連する先行研究を把握し、研究の成果と課題が明示されている。B:研究目的が明確であり、研究の成果と課題が明示されている。C:研究目的が示されており、最低限の執筆字数を満たし、研究の成果と課題が示されている。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じてプリントを配布します。				毎回課題が出されますので、主体的に取り組んでください。また他者の発表から学ぶことも多いため、関心を持って臨んでください。							



科目名	卒業研究		学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	SL36078	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、学生が今まで学んだスポーツ科学的基礎知識を踏まえ、興味のある研究テーマを設定し、課題解決のための研究計画、研究方法、データ処理や結果の統合と解釈、考察のまとめという流れで卒業研究論文を作成します。自分の興味を持った研究領域を調べていく中で、疑問を持ち問題が提起され、どのような結論が導かれたのかを客観的な視点を取り入れながら、まとめていきます。										
学修到達目標										
卒業研究論文を完成させることを通して、論理的並びに客観的に考える能力を身につけることや、自ら興味を持って取り組む姿勢を身につけることを目標とします。										
授業の進め方										
各々が研究計画の立案をし、データ収集・解析を行います。毎週の授業時に個々の進捗状況を発表し、ディスカッションしていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	卒業論文完成までのスケジュールの確認等を行います。				事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する(4時間)。				
2	研究テーマの確認(1)	各々が設定した研究テーマについて発表し、ディスカッションを行います。				事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する(4時間)。				
3	研究テーマの確認(2)	各々が設定した研究テーマについて発表し、ディスカッションを行います。				事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する(4時間)。				
4	研究テーマの確認(3)	各々が設定した研究テーマについて発表し、ディスカッションを行います。				事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する(4時間)。				
5	研究テーマの確認(4)	各々が設定した研究テーマについて発表し、ディスカッションを行います。				事前に研究テーマを明確にし、先行研究を調べ、研究計画書を作成する(4時間)。				
6	資料・データの収集(1)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集をすすめる(4時間)。				
7	資料・データの収集(2)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集を進める(4時間)。				
8	資料・データの収集(3)	資料・データ収集に関して個別指導をします。				各自のテーマ内容に応じた資料・データの収集を進める(4時間)。				
9	論文執筆方法(1)	論文の構成方法を全体指導した後、各々で章に分けて考えてみます。				事前に論文の構成を考える(4時間)。				
10	論文執筆方法(2)	章立てを相互に検討したり、個別指導します。				論文の構成を考える(4時間)。				
11	論文執筆(序論1)	先行研究を調べ、自身の問題提起を明確にし、序論の執筆を開始します。				先行研究の調査(4時間)。				
12	論文執筆(序論2)	先行研究を調べ、自身の問題提起を明確にし、序論の執筆を行います。				先行研究の調査(4時間)。				
13	論文執筆(序論3)	先行研究を調べ、自身の問題提起を明確にし、序論の執筆を行います(個々の進捗状況により、個別指導します)。				先行研究の調査(4時間)。				
14	論文執筆(序論4)	先行研究を調べ、自身の問題提起を明確にし、序論の執筆を行います(個々の進捗状況により、個別指導します)。				先行研究の調査(4時間)。				
15	前期の論文執筆進捗報告会	各々の研究の進捗状況の報告会を行います(power point使用)。				報告会資料を作成する(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じてプリントを配布する				課題:100% S:きわめて高度に課題を仕上げている A:高度に課題を仕上げている。 B:良好に課題を仕上げている。 C:課題を仕上げている。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じてプリントを配布する。				卒業研究を通して、身体にヒトの身体に興味を持ち、文献を探索するなどの日常的な積極性を持って、全力で取り組んでください。						

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	SL46079	研究室	S-14
担当者	等々力 賢治			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
現代スポーツの変化・変貌には著しいものがあります。にもかかわらず、それを対象とする諸研究が、スポーツの独自性や価値などを十分に踏まえたものであるとは必ずしも言えません。本演習では、その不十分さを押さえつつ、現代スポーツやスポーツビジネスが抱える諸問題を追究し、解決方途を探ったものを「卒業論文」としてまとめます。したがって、前期の「卒業研究」で検討したテーマや章立てを踏まえて執筆を進め、それを適宜提出し、添削し返却することを繰り返して「卒業論文」として完成させます。											
学修到達目標											
前期の「卒業研究」で修得したテーマ設定や章立ての方法、参考資料の収集・引用方法などを実践し「論文」らしい文章を作成する。くわえて、それを基に、ゼミメンバー間の能動的な討議を通じて文章をブラッシュアップして最終的に高度でオリジナルな「卒業論文」として結実させる。また、予定されている「卒業研究発表会」で報告し討議に参加する。											
授業の進め方											
本演習では、前期の「卒業研究」で学んだ事柄を活かして論文執筆を進め、節目節目で報告して討議し修正を加えていきます。11月末を目処に書き上げることを目標に取り組み、さらに12月下旬の「卒業研究発表会」に参加し発表します											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	下書き6000字分の提出	夏休み中に進めた6000字分の下書きを提出するとともに、夏休み中に加筆訂正を受けた3000字分を受け取り、修正箇所について確認します。さらに、10月末までに下書き9000字を目指します。					事前:下書き6000字分をチェックしておく。事後:指摘の修正を確認し反映させていく。(4時間)				
2	下書き9000字執筆(1)	10月末に下書きを9000字にすることを目標に、各自執筆に取り組みます。その際、これまで取り上げてきた脚注の付け方などについてあらかじめ確認し、“論文らしく”するよう努めます。					事前:9000字を目指して執筆を進める。事後:脚注を確認し、必要な修正を施す。(4時間)				
3	下書き9000字執筆(2)	10月末に下書きを9000字にすることを目標に、執筆に取り組みます。その際、これまで取り上げ修得してきた、脚注の付け方や文章の繋がりなどを常に見直しなが執筆を進めます。					事前:下書き9000字を目指して執筆する。事後:文章の繋がりに注意し執筆を進める。(4時間)				
4	テーマ、中見出し等の確認	10月末に下書きを9000字にすることを目標して、各自執筆に取り組みます。関連して、これまでの執筆の中でテーマや各章の見出しの妥当性などについて確認し、必要であれば修正あるいは訂正します。					事前:下書き9000字を目指して執筆を進める。事後:テーマや中見出しを修正しておく。(4時間)				
5	下書き9000字分の提出	執筆した下書き9000字分を提出します。また、提出済みの6000字の下書きを受け取り、加筆・訂正などについて確認し修正します。また、11月末に下書きを12000字以上とすることを確認します。					事前:事前:下書きを読み直す。事後:6000字の下書きの修正部分を確認しておく。(4時間)				
6	下書き12000字以上執筆(1)	11月末に下書きを12000字以上にすることを目標に、各自執筆に取り組みます。その中で、これまでの指導を参考に、必要な修正や訂正、加筆を施します。また、下書きをよく読み直し、文章、内容を確認します。					事前:6000字の修正部分を反映させておく。事後:12000字を目指し下書きを進める。(4時間)				
7	下書き12000字以上執筆(2)	11月末に、下書きを12000字以上にすることを目標に執筆に取り組みます。その中で、「テーマ設定の理由」「明らかにしたいこと」などが明確である注意し、それが不十分であれば明確にすべく取り組みます。					事前:下書きの執筆を進める。事後:下書きを家族や友人に読んでもらう。(4時間)				
8	参考文献の記載方法の確認	下書きを12000字以上にすることを目標に、各自執筆に取り組みます。その中で、注の付け方とともに、「参考文献・資料」の書き方について、著書、雑誌類、新聞、ホームページなどの記載順を確認し執筆します。					事前:下書きの執筆を進める。事後:参考文献・資料の記載方法を確認し修正する。(4時間)				
9	下書き12000字以上執筆(3)	11月末に下書きを12000字以上にすることを目標し、執筆に取り組みます。その中で、執筆の動機や明らかにしたいことなどが明確であるか否か、また、それが論文全体に反映されているか否か十分に確認します。					事前:下書きの執筆を進める。事後:家族や友人に下書きを読んでもらい修正する。(4時間)				
10	「卒論」表紙・目次等の確認	下書きを提出し、それを相互に交換して読み、不明な点などについて指摘し合い、必要と判断すれば修正を施します。また、表紙と目次の書き方、作成方法などについて確認します。					事前:12000字以上を目指して執筆を進める。事後:各自、表紙、目次などを作成する。(4時間)				
11	「卒論」提出前の最終確認	提出した12000字以上の下書きを読み直して必要な修正を施し、より“論文らしく”します。とりわけ、「テーマ設定の理由」「明らかにしたいこと」などが明確であるか否か、再度確認します。					事前:12000字以上を目指して執筆を進める。事後:修正を施しブラッシュアップする。(4時間)				
12	口頭発表者の選出	完成版の「卒業論文」を提出します。また、口頭発表者を選出します。その際、執筆の動機や明らかにしたいことが明確か否か、また、それが論文全体に反映されているか否かといった点に注意します。					事前:下書きをよく読み直す。事後:文章表現などに修正を施しブラッシュアップする。(4時間)				
13	「卒業論文発表会」の準備	「卒業論文発表会」に向けて、発表用資料・レジュメ、パワーポイントなどを作成します。また、口頭発表者については、諸資料作成の上、実際にパワーポイントなどを使用して発表し選出します。					事前:各自発表用資料を作成しておく。事後:発表会に向けてパワーポイントを作成する。(4時間)				
14	「卒業論文発表会」	口頭発表者、ポスター発表者共に所定の時間帯に発表します。また、発表を受けて出される質問などに適確に答えられるよう、あらかじめ想定し練習して臨みます。					事前:発表会に向けて準備をしつかりする。事後:質問などを控えておく。(4時間)				
15	「卒論」の最終仕上げ	発表会を受けて、あるいは指導を受けて、必要と判断すればあらためて修正を施し最終仕上げとします。					事前:発表会での指摘を確認しておく。事後:「卒業論文」を再確認し提出する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
特に指定せず、適宜紹介します。				レポート:70% 課題:30% 成績評価は、「卒業論文」の内容・体裁にくわえ、資料集など取組姿勢も重視します。評価基準は次のとおりです。S:研究目的が明確で独創的であり、研究の成果と課題が高度でオリジナルである。A:研究目的が明確であり、関連する先行研究を把握し、研究の成果と課題が明示されている。B:研究目的が明確であり、研究の成果と課題が明示されている。C:研究目的が示されており、最低限の執筆字数を満たし、研究の成果と課題が示されている。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
各自の研究内容に則した書籍・資料等を適宜紹介しますが、自分の研究に関するものを常日頃から意識的に探し、読み漁ってください。				「卒業論文」執筆は学生生活の仕上げですので、積極的に取り組むよう強く求めます。また、松本山雅や信州ブレイブウォリアーズ、長野トライデンツのボランティアを予定していますので、その際は積極的に参加してください。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	SL46079	研究室	S-22
担当者	中島 弘毅		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
今までの学習をベースに設定した研究テーマに沿って、どのように解決して行くかを学びます。具体的には、テーマに関する資料を収集し、読み込みます。その資料の分析を通して、自らの主張を論理的に展開し、卒論を仕上げます。										
学修到達目標										
設定した課題に対して、適切な方法を用いて課題を解決してゆく力、論理的に文を組み立て、表現する力を身につけます。										
授業の進め方										
前期に策定した研究計画に基づき、収集した資料を読み込み、分析し、論文を完成させます。各授業時に、それぞれの進捗状況を報告し、全員で議論をしていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ゼミ内発表と討議、執筆(1)	各自がデータの分析状況、論文の執筆状況を提出し、ゼミ内で発表します。全員で議論します。議論の結果を受けて内容を修正してゆきます。				各自論文の執筆・修正をします。(4時間)				
2	ゼミ内発表と討議、執筆(2)	各自が書き上げてきた結果を図表にまとめてゼミ内で発表し、全員で議論します。議論の結果を受けて内容を修正してゆきます(第1グループ)。				各自論文の執筆・修正をします。今後の予定を練り直します。(4時間)				
3	ゼミ内発表と討議、執筆(3)	各自が書き上げてきた結果を図表にまとめてゼミ内で発表し、全員で議論します。議論の結果を受けて内容を修正してゆきます(第2グループ)。				結果及び図表の作成、修正を行います。(4時間)				
4	ゼミ内発表と討議、執筆(4)	各自が書き上げてきた結果を中心にゼミ内で発表し、全員で議論します。議論の結果を受けて内容を修正してゆきます(第1グループ)。				執筆および修正を行います。(4時間)				
5	ゼミ内発表と討議、執筆(5)	各自が書き上げてきた結果を中心にゼミ内で発表し、全員で議論します。議論の結果を受けて内容を修正してゆきます(第2グループ)。				執筆および修正を行います。(4時間)				
6	ゼミ内発表と討議、執筆(6)	各自が書き上げた卒論、特に考察・まとめを中心にゼミ内で発表し、全員で議論します。議論の結果を受けて内容を修正してゆきます。				執筆および修正を行います。(4時間)				
7	ゼミ内発表と討議、執筆(7)	各自が書き上げた卒論、特に考察・まとめを中心にゼミ内で発表し、全員で議論します。議論の結果を受けて内容を修正してゆきます。				執筆および修正を行います。(4時間)				
8	卒論の内容確認	抄録以外の完成を確認します。図表、参考文献等の詳細について最終確認します。				図表の修正をします。(4時間)				
9	抄録の作成	抄録の作成方法について説明します。				抄録を作成します。(4時間)				
10	抄録の発表と議論、修正	抄録を完成させて、ゼミ内発表を行います。提出書類一式の内容確認をします。				卒論提出にあたっての必要な資料一式を準備します。(4時間)				
11	卒論の完成	卒論提出にあたっての必要な資料一式をそろえます。提出できる状態になっていることを確認します。発表資料の作成を行います。				発表資料の作成を行います。(4時間)				
12	卒論発表の予行演習(1)	ゼミ内でプレゼンテーションをして仕上げ状況を確認、修正します。発表資料の確認を行います。				発表資料の作成、修正を行います。(4時間)				
13	卒論発表の予行演習(2)	ゼミ内でプレゼンテーションをして仕上げ状況を確認、修正します。発表資料の確認を行います。				発表資料の作成、修正を行います。(4時間)				
14	卒論発表	完成させた卒論を全体場で発表します。				プレゼンテーションの練習をします。(4時間)				
15	まとめ	1年間の振り返りをし、今後を展望します。				卒論文集の原稿を提出します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「「レポートの組み立て方」」木下是雄著(ちくまライブラリー)(別途、指示します。)				課題:30% レポート:50% 受講態度:20% 課題、レポート、受講態度(授業およびゼミ活動への積極的参加、発言等)の総合評価から95点以上をS評価、80点以上をB評価、70点以上をC評価、60点以上をC評価とする。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「「アクセプトされる英語医学論文を書こう」」ネル・L・ケネディ著(メジカルビュー社)				問題意識を明確にし、積極的に議論をし、卒業論文を完成させましょう。入力・分析・執筆作業は授業時間外に行うことが求められます。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナバリング	SL46079	研究室	S-13
担当者	岩間 英明		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本演習は前期の研究をさらに深め、卒業論文にまとめます。卒業研究の方向性は 保健体育授業、体育的行事、運動部活動など、学校におけるスポーツ活動や健康教育全般に関する内容。実技指導などの運動方法に関する内容。の大ききは2つの分野が中心となりますが、体育・スポーツだけでなく、学校が抱える今日的課題や、生徒指導に関わる問題も含め、学校教育全体・スポーツ界全体にも目を向け、広い視野から考察をすすめていきます。										
学修到達目標										
これまでの学習を生かして研究を進め、それを卒業論文としてまとめていくことが最大の目標です。また同時に、研究を進めていく上で必要となる論理的思考力や情報リテラシーなどの能力や、文章表現力やプレゼンテーション能力といった論文作成や発表に必要な能力の獲得や向上も広い意味の学修目標です。										
授業の進め方										
各自の研究テーマに応じてそれぞれ個別に指導することが多くなりますが、各自の研究を受講者全体で相互に議論する機会も設定し、問題の共有化を図りながら、多角的な視点から研究を深めたり、視座を広げたりして論文完成を目指していきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	論文初稿の発表(1)	論文の初稿を相互に読み合い討議します。また、併せて個別指導を行います。				論文の初稿を完成してくる。討議・指導された内容について、加筆修正を行う。(4時間)				
2	論文初稿の発表(2)	論文の初稿を相互に読み合い討議します。また、併せて個別指導を行います。				論文の初稿を修正してくる。討議・指導された内容について、さらに加筆修正を行う。(4時間)				
3	中間発表プレゼンテーション資料作成	中間発表会に向けてプレゼンテーション資料を作成します。全体的な指導と個別指導をします。				初稿に基づきプレゼンの構想を練り、指導に基づきプレゼン資料を作成する。(4時間)				
4	中間発表会	中間発表を行い、ゼミナールの3年生も含めた形で、発表内容について検討します。				プレゼン資料を完成する。(4時間)				
5	論文の第2稿を作成する(1)	論文の第2稿を個別指導します。				論文の第2稿を作成する。(4時間)				
6	論文の第2稿を作成する(2)	論文の第2稿を個別指導します。				論文の第2稿を作成する。(4時間)				
7	論文の第2稿を作成する(3)	論文の第2稿を個別指導します。				論文の第2稿を作成する。(4時間)				
8	論文第2稿の発表・検討	論文の第2稿を発表し、相互に検討します。				論文の第2稿を完成させ、発表準備をしてくる。検討結果に基づき修正する。(4時間)				
9	論文の最終稿を作成する(1)	論文の最終稿を個別指導します。				論文の最終稿を作成する。(4時間)				
10	論文の最終稿を作成する(2)	論文の最終稿を個別指導します。				論文の最終稿を作成する。(4時間)				
11	論文の最終稿を完成し、提出準備を完了する	論文の最終稿を最終指導をします。また、提出用の卒業論文を相互点検します。				論文の最終稿を完成してくる。最終点検に応じた修正をする。(4時間)				
12	ゼミ発表会のプレゼンテーション資料作成	3・4年生合同ゼミにおける発表会に向けて、プレゼンテーション資料を作成します。				プレゼン資料を作成する。(4時間)				
13	ゼミ発表会	3・4年生合同のゼミ発表会を行い、最終チェックならびに検討をします。				ゼミ発表用プレゼン資料を完成してくる。検討内容を修正する。(4時間)				
14	卒業論文発表会のプレゼンテーション資料作成	各自の発表方式に応じたプレゼンテーション資料を検討します。				卒論発表会用プレゼンテーション資料を完成してくる。検討内容を修正する。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ	卒業論文の印刷、礼状の作成など、卒業研究の総まとめを行います。				印刷原稿を完成させてくる。礼状などの処理を行う。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各自のテーマに応じて、必要な資料を個別に提示します。				課題：20% 卒業研究論文：80%で評価します。卒業論文はその内容(テーマ、研究方法の適切さ、考察の妥当性、研究目的と結論の整合性)ならびに、その過程を評価対象とします。Sは上記の全ての内容及び過程が優れているもの。Aは内容及び過程が良好だったもの。Bは内容及び過程が概ね良好だったもの。Cは内容がまとまっており、指示された期日に提出できたものとしします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
各自のテーマに応じた参考図書を示します。				課題を自ら探究していく姿勢が大切です。特に全体で討議する際は、自らの研究内容を提示するのはもちろん、仲間の研究にも関心を持つことが、研究を深めます。また、できるだけ多くの関連図書を読むことも重要です。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	SL46079	研究室	S-21
担当者	根本 賢一		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
卒業研究論文を完成させることを通して、課題解決のための研究の計画、研究の方法、データ処理・解析方法と技術、結果の考察、論文のまとめ方、発表技術などを総合的に学習することを目標とします。これまでに展開されてきた関連科目や「スポーツ健康演習」で学んだ内容を基に、各自が研究テーマとして選択した内容をさらに追求していきます。まず問題が提起され、どのような資料から、どんな結果が得られ、どのような結論が導きだされたかを客観的・論理的にまとめていきます。										
学修到達目標										
これまでの学習を生かして研究を進め、それを卒業論文としてまとめていくことが最大の目標となります。また同時に、研究を進めていく上で必要となる論理的思考力や情報リテラシーなどの能力や、文章表現力やプレゼンテーション能力といった論文作成や発表に必要な能力の獲得や向上も広い意味の学修目標です。										
授業の進め方										
各自の論文完成にむけて作業を進めると同時に、プレゼンテーション能力を高めるための口頭発表の機会を設けていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	論文初稿の発表(1)	論文の初稿を相互に読み合い討議します。また、併せて個別指導を行います。				論文の初稿を完成してくる。討議・指導された内容について、加筆修正を行う(4時間)。				
2	論文初稿の発表(2)	論文の初稿を相互に読み合い討議します。また、併せて個別指導を行います。				論文の初稿を修正してくる。討議・指導された内容について、さらに加筆修正を行う(4時間)。				
3	中間発表プレゼンテーション資料作成	中間発表会に向けてプレゼンテーション資料を作成します。全体的な指導と個別指導をします。				初稿に基づきプレゼンテーションの構想を練る。指導内容を受け資料を作成する(4時間)。				
4	中間発表会	中間発表を行い、ゼミナールの3年生も含めた形で、発表内容について検討します。				プレゼン資料を完成する(4時間)。				
5	論文の第2稿を作成する(1)	論文の第2稿を個別指導します。				論文の第2稿を作成する(4時間)。				
6	論文の第2稿を作成する(2)	論文の第2稿を個別指導します。				論文の第2稿を作成する(4時間)。				
7	論文の第2稿を作成する(3)	論文の第2稿を個別指導します。				論文の第2稿を作成する(4時間)。				
8	論文第2稿の発表・検討	論文の第2稿を発表し、相互に検討します。				論文の第2稿を完成させ、発表準備をしてくる。検討結果に基づき修正する(4時間)。				
9	論文の最終稿を完成し、提出準備を完了する(1)	論文の最終稿を個別指導します。				論文の最終稿を作成する(4時間)。				
10	論文の最終稿を完成し、提出準備を完了する(2)	論文の最終稿を個別指導します。				論文の最終稿を作成する(4時間)。				
11	論文の最終稿を完成し、提出準備を完了する(3)	論文の最終稿を最終指導をします。また、提出用の卒業論文を相互点検します。				論文の最終稿を完成してくる。最終点検に応じた修正をする(4時間)。				
12	ゼミ発表会のプレゼンテーション資料作成	3・4年生合同ゼミにおける発表会に向けて、プレゼンテーション資料を作成します。				プレゼン資料を作成する(4時間)。				
13	ゼミ発表会	3・4年生合同のゼミ発表会を行い、最終チェックならびに検討をします。				ゼミ発表用プレゼン資料を完成してくる。検討内容を修正する(4時間)。				
14	卒業論文発表会のプレゼンテーション資料作成	各自の発表方式に応じたプレゼンテーション資料を検討します。				卒論発表会用プレゼンテーション資料を完成してくる。検討内容を修正する(4時間)。				
15	卒業研究のまとめ	卒業論文の印刷、卒業研究の総まとめを行います。				印刷原稿を完成させてくる(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
各回こちらでポイントを記したプリントを用意します。				課題:100% 課題について:100% S:きわめて高度な論文を仕上げている。A:高度な論文を仕上げている。B:良好な論文を仕上げている。C:論文を仕上げている。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康・スポーツ科学のための卒業論文/修士論文の書き方」出村慎一・山次俊介著(杏林書院) ISBN:978-4-7644-1162-3				卒業研究はやらされるものではなく、自ら積極的に取り組むものです。4年間の集大成という気持ちで全力で取り組んでください。毎回の講義終了前に、次回講義の概要や予習等について説明をします。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	SL46079	研究室	S-17
担当者	田邊 愛子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本実習では3年次の健康演習をはじめ、これまでの学習を基礎として研究を深め卒業論文にまとめます。卒業研究の方向性を決定するために、課題を見つけ先行研究、また文献検索の方法を習得します。卒業論文をまとめることで研究計画、研究の方法、データの処理と解析の技術を身につけ、広い視野から考察を深めていきます。										
学修到達目標										
これまでの学習の復習を行いながら研究を進め、データに基づく卒業論文をまとめるということの総理解と、その手順を説明できるようにする。										
授業の進め方										
前期は「健康づくり」における現場の実態とその問題点を検討し、文献を使いながら個別テーマをディスカッションしながら探していきます。後期は研究の目的に沿ったデータを蓄積し、プレゼンテーション実施の機械を設けながら論文を完成させていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	卒業論文とは	卒業論文発表会までのスケジュールを確認して、研究計画を立て一人ひとり発表します				事前に研究テーマを明確にしておく。(4時間)				
2	先行研究のリサーチ	文献検索の方法を習得し、データ収集について説明します				卒業研究に関して興味のある分野について論文調査をしておく。(4時間)				
3	論文とデータについて	論文の読み方とデータ解析について説明します				検定の方法を理論を調べておくこと。(4時間)				
4	データ解析と解析方法について	先行研究の紹介と方向性を探り、授業内でグループディスカッションを行います				興味のある分野について文献収集、データ収集を準備しておくこと。(4時間)				
5	健康づくりの分野における現況と問題点	形態および体力測定における性別、年代別における平均値を理解し、評価できるように説明します				日本における身体計測、体力測定の評価基準を調査しておくこと。(4時間)				
6	研究テーマの検討(1)	研究課題の取り組み計画について研究計画書を作成し、授業内でグループディスカッションを行います				各自のテーマについて研究計画書を作成しておくこと。(4時間)				
7	研究テーマの検討(2)	研究課題の取り組み計画について、研究計画書を作成し方法論を議論します				研究テーマについての方法論について、先行研究と照らし合わせ調査しておくこと。(4時間)				
8	研究テーマの検討(3)	研究課題の取り組み計画について、研究計画書を作成し仮説を立てます				研究テーマについての研究計画書と理論に基づく仮説を立てて資料を作成しておくこと。(4時間)				
9	論文の構成を考える(1)	研究テーマについての概要や先行研究について調べた内容を計画書にまとめ発表し、個別指導をします				発表者は資料作成し、発表準備をしておく。(4時間)				
10	論文の構成を考える(2)	研究テーマについての概要や先行研究について調べた内容を計画書にまとめ発表し、個別指導をします				発表者は資料作成し、発表準備をしておく。(4時間)				
11	論文の構想を考える(3)	論文の構成の方法について全体指導をした後に、各自で章立てを考えて資料を作成し、授業内でグループディスカッションを行います				章立ての資料を作成しデータ収集をすすめる。(4時間)				
12	章立てを検討する(1)	章立てを全体指導した後に、相互に検討します				章立ての発表準備をしておく。(4時間)				
13	章立てを検討する(2)	章立てを相互に検討したり、個別に指導したりします				章立ての発表準備をしておく。(4時間)				
14	論文の初稿を作成する(1)	背景、目的の作成に取り掛かります				論文の書き方を理解し執筆する。(4時間)				
15	論文の初稿を作成する(2)	背景、目的、仮説までの流れと理解を深めます				論文の書き方を理解し仮説まで執筆する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
適宜プリントを配布します			受講態度：30% 課題：70% 健康教室などの実習や卒業研究への取り組み姿勢を受講態度とし評価します。「実技」は、授業内で行う実技発表です。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「やさしい生理学」森本武利著			4年間の集大成として、論文を一つまとめるということは根気と集中力が必要です。興味を持って自ら知識を高めていく努力を必要とします。測定が正しくできること、解析の基礎知識を身につけておくことが望ましい。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	SL46079	研究室	S-19
担当者	中島 節子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>大学での学びの総仕上げとして、現代社会の多様化した健康問題や健康増進について追及したい課題を発掘し、調査・研究を遂行し、結論に到達する過程を学びながら卒業論文にまとめます。研究は、履修者が興味関心のある中で、疑問に思っていることを明確にするために取り組みます。テーマは、健康づくり、地域保健、学校保健、養護教諭に関連したものなど自分の将来につなげていけるテーマとします。</p>										
学修到達目標										
<p>運動や健康についての課題を論理的に分析し、卒業論文として結実することができる。 自己の研究の成果を他者に伝えるようにプレゼンテーションができる。</p>										
授業の進め方										
<p>各自のテーマを決め、研究計画書を作成します。その後は各自で調査研究を進めていきますが、計画書の発表会、中間報告会を行い、プレゼンテーションの技術を磨きます。また、お互いの研究について討議しながら研究手法を学びます。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	研究の中間発表をし、お互いの学びを深めます。	各自の研究の進行状況を報告し、結果が得られたところまで整理し発表して、意見交換を行います。				研究計画書を作成する。研究方法を記載し、プレゼンテーションを作成する。(6時間)				
2	研究データの収集・調査票の作成を行います。	各自の方法に基づきデータ収集を始めます。協力者への依頼文章の作成を行います。データ収集を行います。				調査票の作成、依頼文の作成を行う。(4時間)				
3	研究データの収集(1)	各自の方法に基づき倫理的配慮を意識しながら、データの収集を行います。個別指導をします。				データの収集とデータの整理をしていく。(4時間)				
4	データの分析の方法	自己のテーマと目的と照らしあわせ、集めたデータの分析方法を検討し、分析していきます。				データを整理し、統計分析する。(4時間)				
5	データの分析	収集したデータを分析し、結果を検討していきます。個別指導を行います。				データを整理し、統計分析する。(4時間)				
6	データの分析から結果を作成	データ分析の結果を検討します。先行研究などと照らし合わせて考察していきます。個別指導をします。				統計分析した結果を整理し、プレゼンテーションの準備を行う。(4時間)				
7	論文の作成	論文に書き上げていきます。参考、引用文献の活用の見直しをします。個別指導を行います。				論文作成を進め、中間発表の準備を行う。(4時間)				
8	研究の中間発表	研究の中間発表を行い、お互いに意見交換を行い修正をします。				論文の修正をする。(4時間)				
9	論文の作成	論文に修正を加え、書き上げていきます。個別指導を行います。				論文の修正を加え、書き上げていく。(4時間)				
10	論文の作成	論文に修正を加え、書き上げていきます。個別指導を行います。				論文の修正を加え、書き上げていく。(4時間)				
11	プレゼンテーションの作成	効果的なプレゼンテーションとはどのようなものか概説します。プレゼンテーション資料を作成します。個別指導を行います。				プレゼン資料を作成する。(4時間)				
12	プレゼンテーション	自己の研究を他者に伝えられるようにプレゼンテーションを行います。				プレゼンテーションの資料の作成と修正(4時間)				
13	論文の作成	論文に修正を加え、書き上げていきます。個別指導を行います。				論文の修正を加え、書き上げていく。(4時間)				
14	抄録の作成	抄録を作成します。個別指導を行います。				抄録を作成する。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ	卒業研究の発表を振り返り、論文の修正を行い、印刷を行います。				卒業論文の必要な個所の修正を行い、印刷する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
研究テーマに応じて紹介します。			<p>レポート:50% 課題:50%</p> <p>レポート評価は、最終的に卒業論文が完成していること。S:研究に積極的に取り組み考察を深め、形式を整え期限までに主体的に完成できる。効果的な発表ができる。A:研究の考察を深め、形式を整え期限までに完成でき、効果的な発表ができる。B:卒業論文の形式を整え期限までに提出できる。発表ができる。C:卒業論文の形式は整えられているが考察などの深まりが少ない。発表はできるが工夫点が少ない。</p>							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて紹介します。			<p>日常の中での疑問の中からテーマを決め、追求していきます。研究は一人一テーマで行いますが、お互いに切磋琢磨し、考える力や発言する力をつけていきます。時間と手間を惜しまず取り組んでください。</p>							

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	SL46079	研究室	S-24
担当者	丸山 文男			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
研究計画をもとに実験解析を行います。考察を行い結論を導きます。実験解析の方法、図の作成方法、文献の利用方法についても学び「卒業論文」としてまとめます。											
学修到達目標											
研究計画をもとにして、実験解析を重ね、考察し結論を出すことです。さらに、それらを卒業論文として完成させることです。											
授業の進め方											
研究計画に従って、実験解析を行い、考察を行い結論を出します。それらを卒業論文にまとめます。さらに「卒業論文発表会」に参加して発表します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	実験・解析(1)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果の整理を行います。(4時間)				
2	実験・解析(2)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果の整理を行います。(4時間)				
3	実験・解析(3)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果の整理を行います。(4時間)				
4	実験・解析(4)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果の整理を行います。(4時間)				
5	実験・解析(5)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果の整理を行います。(4時間)				
6	実験・解析(6)	研究計画に従って実験解析を行います。					実験解析結果の整理を行います。(4時間)				
7	実験解析データのまとめ(1)	考察を行い結論を導きます。					考察を深めます。(4時間)				
8	実験解析データのまとめ(2)	考察を行い結論を導きます。					考察を深めます。(4時間)				
9	論文の書き方	論文の書き方を学びます。					章立てを考えます。(4時間)				
10	論文作成(1)	論文を作成します。図と表を準備して書きやすい所から書いていきます。					続きを書いていきます。(4時間)				
11	論文作成(2)	論文を作成します。					続きを書いていきます。(4時間)				
12	論文作成(3)	論文を作成します。並行して発表用のスライドを作成します。					スライドを作り発表の練習を行います。(4時間)				
13	卒業論文発表会の準備	発表の練習を行います。					練習で気がついた問題点を修正します。(4時間)				
14	卒業論文発表会	自分の研究内容を発表します。					出されたコメントをもとに論文を修正します。(4時間)				
15	卒論の最終仕上げ	提出用論文を仕上げます。					修正を重ねて卒業論文を完成させます。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
適宜紹介します。					レポート：70% 課題：30% 成績評価は卒業論文の内容に加え、研究への取り組み方で評価します。 S:探究的思考力で取り組み内容が独創的で明確である。 A:探究的意欲的に取り組み内容と課題が明確にされている。 B:意欲的に取り組み内容が明確にされている。 C:意欲的に取り組んでいるが内容の明確性が弱い。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
適宜紹介します。					卒業論文は学生生活の総仕上げでもあるので積極的に取り組んで下さい。						



科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ`リソグ`	SL46079	研究室	S-15
担当者	山本 薫			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
卒業研究は、卒業研究スポーツ健康科学演習で学んだ基礎知識を踏まえて運動生理学や実際の運動指導に役立つ専門的知識を活用して自身の興味あるテーマについて自ら調べ、学び、卒業研究(論文)を完成させます。さらにプレゼンテーションの仕方についても学びます。また、ゼミの活動や社会の情報を収集を収集することを通して社会性を身につけ、社会人として身につけるべき知識を学びます。											
学修到達目標											
自分の研究テーマについて仮説を立て、その仮説を検証し、筋道を立てて結論を導くことおよび研究結果を踏まえ、決められた書式に従って文書に記し、他者に対して説明できるようになることを目標とします。											
授業の進め方											
前半はゼミ内卒業研究中間発表に向けて準備を進め、後半は卒論本文の「方法」「結果」「緒言」「考察」と執筆を進め卒論本文と発表用スライド原稿を完成させます。不定期に学外運動指導実習も行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	後期ゼミでの活動について	卒業研究活動や学外活動について報告します。夏休み中の実験測定結果を報告します。進路や今後のことについて面談します。					夏休み中の卒論実施状況の報告資料を作成する(4時間)				
2	後期のゼミ活動について	3年4年合同ミーティングを行い今後の予定を確認します。					卒論実験測定の準備(4時間)				
3	卒業研究実験測定	各自の卒業研究テーマにそって実験・測定を進めます。					卒論実験測定の準備(4時間)				
4	卒業研究実験測定	各自の卒業研究テーマにそって実験・測定を進めます。					卒論実験測定の準備(4時間)				
5	卒業研究実験測定	各自の卒業研究テーマにそって実験・測定を進めます。					卒論実験測定の準備(4時間)				
6	卒業研究ゼミ内中間報告会	卒業研究中間報告用抄録案を作成し発表します。発表用スライド案を作成します。					卒論中間報告資料作成(4時間)				
7	卒業研究文章等の作成活動(個別討論)	卒業研究「方法」案を作成し、添削後修正作業を進めます。					卒業研究「方法」案作成(4時間)				
8	卒業研究文章等の作成活動(個別討論)	卒業研究「結果・参考文献」案を提出し、添削後修正します。					卒業研究「結果・参考文献」案作成(4時間)				
9	卒業研究文章等の作成活動(個別討論)	卒論研究「結果」全体についてディスカッションし、考察を深めます。					卒業研究「結果」案完成(4時間)				
10	卒業研究文章等の作成活動(個別討論)	卒業研究「緒言、考察」案を作成し、添削を行います。					卒業研究「緒言、考察」案完成(4時間)				
11	卒業研究文章等の作成活動(個別討論)	卒業研究「本編・抄録」案を作成し提出まとめをおこないます。発表会スライド・ポスター作成について説明します。					発表用スライド・ポスター作成(4時間)				
12	ゼミ内卒論発表予演会	ゼミ内で卒論発表予演会を行います。発表原稿を練り直します。					発表スライド・ポスター原稿作成、提出(4時間)				
13	卒業研究発表会	学科全体発表会。口頭発表やポスター発表を行います。					卒業研究発表準備(4時間)				
14	卒業論文製本版作成	卒業論文製本用最終版を完成させる					卒業論文最終版仕上げ(4時間)				
15	卒業研究最終口頭発表	卒業研究最終版のゼミ内プレゼンテーション					卒業研究口頭発表準備(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「「各自の先行研究・参考文献」」					受講態度：60% レポート：40% 卒業研究への取り組み(文献まとめ、実験)60% 卒業研究の内容 40% 総合評価(S:実験結果・文章ともによくまとめて書けている。A:実験結果・文章ともまとめて書けている。B:実験結果はよくまとめている、文章は不十分。C:実験結果・文章ともに不十分。D:実験結果・文章ともに評価するに値せず)						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「各自の参考文献」					レポートや結果報告はワードを使用し、データにて期限内に提出すること。プレゼンテーションはパワーポイントを使用する。連絡や卒論文章やデータのやり取りは大学のメールアドレスを活用する。確認すること						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナバリング	SL46079	研究室	S-23
担当者	小松 茂美		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	木曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本演習は3年次のスポーツ健康演習や卒業研究をはじめ、これまでの学習を基礎として研究を深め、卒業論文にまとめます。卒業研究の方向性は、保健体育授業、運動部活動など学校におけるスポーツ活動や健康教育全般に関する内容、実技指導などの分野に関する内容を中心としますが、学校現場が抱える課題や、スポーツ界全体が抱える課題等、広い視点から考察を進めます。										
学修到達目標										
これまでの学習を生かして研究を進め、それを卒業論文としてまとめることが目標です。同時に、研究を進めていく上で必要となる論理的思考力や情報リテラシーなどの能力、文章表現力やプレゼンテーション能力等の論文作成や発表に必要な能力の獲得や向上も目標です。										
授業の進め方										
各自の研究テーマに応じて個別学習が中心となりますが、各自の研究を受講者全体で相互に議論する機会を設定し、問題の共有化を図りながら、多角的な視点から研究を深め、論文の完成を目指します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンスと初稿の発表	進捗状況と今後の進め方について確認します。論文の初稿を相互に読み合い討議します。併せて個別指導を行います。				論文の初稿を完成してくる。討議・指導された内容について、加筆修正を行う。(4時間)				
2	初稿の発表	論文の初稿を相互に読み合い討議します。併せて個別指導を行います。				論文の初稿を完成してくる。討議・指導された内容について、加筆修正を行う。(4時間)				
3	中間発表の資料作成	中間発表会に向けてプレゼンテーション資料を作成します。全体的な指導と併せて個別指導も行います。				初稿に基づきプレゼンの構想を練っておく。指導に基づきプレゼン資料を作成する。(4時間)				
4	中間発表	中間発表を行い、ゼミナールの3年生も含めて、発表内容について検討します。				プレゼン資料を作成する。(4時間)				
5	中間発表	中間発表を行い、ゼミナールの3年生も含めて、発表内容について検討します。				プレゼン資料を作成する。(4時間)				
6	論文の第2稿を作成する	論文の第2稿の個別指導を参考に、第2稿を作成します。				論文の第2稿を作成する。(4時間)				
7	論文の第2稿を作成する	論文の第2稿の個別指導を参考に、第2稿を作成します。				論文の第2稿を作成する。(4時間)				
8	論文第2稿の発表・検討	論文の第2稿を発表し、相互に検討します。個別指導も行います。				論文の第2稿を完成させ、発表準備をしてくる。検討結果に基づき修正する。(4時間)				
9	論文第2稿の発表・検討	論文の第2稿を発表し、相互に検討します。個別指導も行います。				論文の第2稿を完成させ、発表準備をしてくる。検討結果に基づき修正する。(4時間)				
10	論文の最終稿を作成する	論文の最終稿の個別指導を参考に、論文の最終稿を作成します。				論文の最終稿を作成する。(4時間)				
11	論文の最終稿を作成する	論文の最終稿の個別指導を参考に、論文の最終稿を作成します。				論文の最終稿を作成する。(4時間)				
12	論文の最終稿を完成し、提出準備を完了する。	論文の最終稿の最終指導をします。提出用の論文を相互点検します。				論文の最終稿を完成してくる。最終点検に応じた修正をする。(4時間)				
13	ゼミ発表会のプレゼンテーション資料の作成	3・4年生合同ゼミにおける発表会に向けて、プレゼンテーション資料を作成します。				プレゼン資料を作成する。(4時間)				
14	ゼミ発表会	3・4年生合同のゼミ発表会を行い、最終チェックならびに検討をします。				卒論発表会用プレゼン資料を作成してくる。検討内容を修正する。(4時間)				
15	卒業論文発表会のプレゼンテーション資料の完成とまとめ	各自の発表方式に応じたプレゼンテーション資料を完成し、論文の印刷、礼状の作成など、研究の総まとめを行います。				卒論発表会用プレゼン資料の完成と印刷原稿を完成させてくる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「各自の研究テーマに応じて、必要な資料を個別に提示します。」				受講態度：20% 受講態度(資料収集等の姿勢)20%、卒業研究論文：80%として評価します。 卒業論文は内容(研究方法の適切さ、考察の妥当性、研究目的と結論の整合性)ならびに、その過程を評価対象とします。Sは上記の全てが優秀な状況で、期待以上の成果を上げている者。Aは上記の全てが良好な状況で、期待通りの成果を上げている者。Bは上記の全てが概ね良好な状況で、概ね期待通りの成果を上げている者。Cは指示された期日に卒業論文が提出でき、自己の目指した成果を上げることができている者。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「各自のテーマに応じて、参考となる図書を提示します。」				課題を自ら探究する姿勢が重要です。全体で討議する際は、自らの研究内容を提示するのはもちろん、仲間の研究にも関心を持つことが、研究を深めます。また、できるだけ多くの関連図書を読むことも重要です。						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	SL46079	研究室	C-2
担当者	河野 史倫		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>重力に抗して姿勢を支えるために持続的に活動する骨格筋(抗重力筋)がどのようにその性質を獲得するのか?という大きな研究目的の中で、その一部を明らかにするための研究を行います。実験の動機づけ、デザイン、実施、結果の評価・考察、そして他者へ向けて発表(論文やプレゼン)するところまでが「研究」です。動物実験からサンプル解析、データのまとめまで、一連の作業を担い、卒業研究としてまとめることで、研究のやり方を学び、その重要性や指導現場につなげるための応用法などを考えます。</p>										
学修到達目標										
<p>実験・解析の完遂、卒業論文を作成し修正の過程を経て完成版にすること、発表用のスライドを作成しプレゼンテーションの練習を十分に行うことを到達目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>個人個人に与えられた研究テーマに沿った動物実験やサンプルの解析を行います。基本的には、個別に研究指導して進めてきますが、定期的に研究計画や進捗を発表・討論する機会を設けます。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
2	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
3	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
4	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
5	本実験	動物実験を実施し、サンプルの解析を行います。				データ解析に加え、文献の収集や論文作成を行う。(4時間以上)				
6	実験結果のまとめ	解析データから結果について考察し、論文の内容を検討します。				解析結果を図にまとめておくこと。(4時間)				
7	実験結果のまとめ	解析データから結果について考察し、論文の内容を検討します。				解析結果を図にまとめておくこと。(4時間)				
8	卒業論文の作成と修正	実験結果を論文にまとめる作業を行います。				論文作成に必要な文献を収集し読解しておくこと。論文作成を進めておくこと。(4時間以上)				
9	卒業論文の作成と修正	実験結果を論文にまとめる作業を行います。				論文作成に必要な文献を収集し読解しておくこと。論文作成を進めておくこと。(4時間以上)				
10	卒業論文の作成と修正	実験結果を論文にまとめる作業を行います。				論文作成に必要な文献を収集し読解しておくこと。論文作成を進めておくこと。(4時間以上)				
11	卒業論文の作成と修正	実験結果を論文にまとめる作業を行います。				論文作成に必要な文献を収集し読解しておくこと。論文作成を進めておくこと。(4時間以上)				
12	卒業論文の作成と修正	実験結果を論文にまとめる作業を行います。				論文作成に必要な文献を収集し読解しておくこと。論文作成を進めておくこと。(4時間以上)				
13	卒業論文の作成と修正	実験結果を論文にまとめる作業を行います。				論文作成に必要な文献を収集し読解しておくこと。論文作成を進めておくこと。(4時間以上)				
14	発表資料作成	卒業研究発表のためのスライド作成と発表練習を行います。				発表用のスライドを作成し、事前に発表練習をしておくこと。(4時間)				
15	発表資料作成	卒業研究発表のためのスライド作成と発表練習を行います。				発表用のスライドを作成し、事前に発表練習をしておくこと。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要な資料はプリントなどで配布します。				<p>課題：100%  S：卒業条件に加え、論文投稿または学会発表ができる、または同等の状態になっている  A：卒業条件に加え、研究結果がパブリッシュできるクオリティに仕上がっている  B：卒業条件に加え、研究結果に関する理解度が高い  C：卒業論文を完成させ、卒業研究発表を行う(卒業条件)</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要な資料はプリントなどで配布します。				<p>自分の研究テーマのみにとどまらず、他の学生の研究にも関わることでより深く骨格筋の仕組みを理解できます。</p>						

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	SL46079	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	火曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
受講生個々人が興味・関心をもつ体育およびスポーツにおける法、行政、政策、マネジメントおよびジェンダー等に関する問題に焦点をあて、「スポーツ健康演習」で学んだ基礎理論や分析・研究方法を活かして、研究課題を設定して、それに取り組み、その成果を卒業論文として纏めます。										
学修到達目標										
関心を寄せる体育およびスポーツに関する問題と向き合い、体育およびスポーツに関する法、行政、政策、マネジメントおよび/或はジェンダー等の専門的知識を活かして、その解決策を卒業論文として示すことができる。										
授業の進め方										
受講生個々人が設定した研究テーマについて調査・発表し、討議を通じて問題の所在とその解決策の明確化を図ります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
16	論文の作成2-1	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
17	論文の作成2-2	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
18	論文の作成2-3	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
19	論文の作成2-4	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
20	論文の作成2-5	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
21	論文の作成2-6	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
22	論文の作成2-7	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
23	論文の作成2-8	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
24	論文の作成2-9	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
25	論文の作成2-10	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
26	論文の作成2-11	討議を通じてさらに研究を深めます				ゼミ発表の準備をする/事後:ゼミ発表で頂いた意見等を整理する(8時間)				
27	論文概要の作成1	討議を通じて、論文の概要を洗練させます				事前:論文概要の発表準備をする/事後:発表で頂いた意見等を踏まえ概要を修正する(8時間)				
28	論文概要の作成2	討議を通じて、論文の概要を洗練させます				事前:論文概要の発表準備をする/事後:発表で頂いた意見等を踏まえ概要を修正する(8時間)				
29	卒業研究の発表1	卒業研究発表会に向けて予行練習を実施します				事前:研究発表会の準備をする/事後:予行練習で頂いた意見等を参考に原稿を修正する(8時間)				
30	卒業研究の発表2	卒業研究発表会に向けて予行練習を実施します				事前:研究発表会の準備をする/事後:予行練習で頂いた意見等を参考に原稿を修正する(8時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
それぞれの研究に適した文献や資料を適宜紹介します。			レポート:100% レポートは卒業論文です。評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に研究課題に取り組み、独創性のある論文にまとめて発表できる/A:探求姿勢をもって積極的に研究課題に取り組み、自身が面白いと思える論文にまとめて発表できる/B:積極的に研究課題に取り組み、自身が面白いと思える論文にまとめて発表できる/C:研究課題に取り組み、それを論文にまとめて発表できる							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
それぞれの研究に適した文献や資料を適宜紹介します。			本演習を履修するにあたって、「スポーツと法」、「スポーツ行政・政策論」、「スポーツマネジメント論」および「地域社会とスポーツ」を受講して下さい。ご自身が面白いと思える研究テーマを選んでください。							

科目名	卒業研究		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	SL46079	研究室	S-20
担当者	齊藤 茂		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	水曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
前期の卒業研究 において学生が自ら興味を持って設定した研究テーマに沿って、方法論、結果、考察、及び結語部分を実際に執筆していきます。また、文献や目次等の体裁も整え、最終稿を提出します。さらに、まずはゼミ内において複数回の発表練習を行い、最終的には卒業研究発表会でプレゼンテーションを行います。										
学修到達目標										
前期の卒業研究 に引き続き、卒業研究執筆の過程を通して論理的に考える力や自ら課題に取り組む姿勢を身につけることに加え、効果的なプレゼンテーションを行うための技術を高めることを到達目標とします。										
授業の進め方										
前期の卒業研究 において各自が設定した研究テーマについて、実際に論文の執筆を行います。また、卒業論文発表会に向けてプレゼンテーションの技術を高めるための発表練習を、発表形態(口頭もしくはポスター)に限らず全員が複数回行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	進捗状況の報告会	各自の進捗状況の報告会(パワーポイントによるプレゼンテーション)を行います。					進捗状況の報告資料(パワーポイント)を作成する。(4時間)			
2	進捗状況の報告会	各自の進捗状況の報告会(パワーポイントによるプレゼンテーション)を行います。					進捗状況の報告資料(パワーポイント)を作成する。(4時間)			
3	卒業論文執筆(方法論)	方法論の執筆方法について確認を行います。					各自で執筆を行う。(4時間)			
4	卒業論文執筆(方法論)	必要に応じて個別指導を行います。					各自で執筆を行う。(4時間)			
5	卒業論文執筆(結果・考察)	結果、及び考察の執筆方法について解説します。					各自で執筆を行う。(4時間)			
6	卒業論文執筆(結果・考察)	結果、及び考察の執筆方法について、必要に応じて個別指導を行います。					各自で執筆を行う。(4時間)			
7	卒業論文執筆(結果・考察)	引き続き、結果、及び考察の執筆方法について、必要に応じて個別指導を各自のペースに合わせて行います。					各自でデータ収集を進める。(4時間)			
8	卒業論文執筆(結果・考察)	結語、及び文献などの執筆方法について確認を行います。					各自でデータ収集を進める。(4時間)			
9	卒業論文執筆(結語・文献など)	結語、及び文献などの執筆方法について確認を行います。					各自で執筆、修正を行う。(4時間)			
10	卒業論文執筆(目次や論文の体裁を整える)	目次や論文の体裁について確認を行います。					配布する資料を熟読する。(4時間)			
11	最終稿提出	必要に応じて論文の最終稿の個別指導を行います。					最終確認、修正を行う。(4時間)			
12	ゼミ内卒業研究発表会	ゼミ内の卒業研究発表会を行います。時間割上可能であれば、3年ゼミ生と合同で行います。					プレゼンテーション資料を作成し、練習を行う。(4時間)			
13	卒業論文発表会に向けて	ゼミ内発表会を受け、より効果的なプレゼンテーションにするために、資料の改良を行います。					卒業論文発表会のためにプレゼンテーション資料を改良し、発表の練習を行う。(4時間)			
14	発表練習	口頭発表者、及びポスター発表者を決定したうえで、ゼミ内で発表の練習を行います。また、時間割上可能であれば、3年ゼミ生と合同で行います。					卒業論文発表会のプレゼンテーション資料を作成し、練習を行う。(4時間)			
15	卒業研究のまとめ	卒業研究の総括を行います。					各自で論文を見直し、印刷稿を完成させ必要部数を持参する。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
プリント資料を適宜配布します。					課題:50% 受講態度:50% S:卒業論文の執筆過程において積極的かつ探究的に取り組み、優秀な卒業論文を書き上げた。A:卒業論文の執筆過程において積極的に取り組み、内容の濃い卒業論文を書き上げた。B:卒業論文の執筆過程において誠実に取り組み、体裁の整った卒業論文を書き上げた。C:卒業論文を書き上げた。 なお、受講態度は以上の基準のような卒業論文に取組む姿勢により評価します。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
プリント資料を適宜配布します。					・必要に応じて、適宜個人指導を行いながら執筆を進めます。					

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	SL46079	研究室	S-12
担当者	上野 隆幸			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	木曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
働く人と健康をメインテーマに、これに関連する卒業研究テーマを決定し、卒業論文を作成してもらいます。											
学修到達目標											
働く人と健康テーマに、各自が興味・関心を抱く内容が反映されたテーマ設定や章立ての方法などについて理解し、参考資料の収集・引用方法などを修得した上で、「論文」と呼ぶに相応しい文章を作成できることを目標とします。加えてゼミメンバー間での能動的な討議を通じて文章作成に取り組み、より充実した「卒業論文」を作成するために必要な能力を修得していることを目標とします。											
授業の進め方											
本演習では、卒業論文の執筆に必要な事項を学びます。そして実際に論文を執筆し、途中で報告、討議し、それを参考に加筆・修正を行ってもらいます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	卒論中間発表	これまでに完成している部分について中間発表を行います。					中間発表用の資料を作成する。(4時間)				
2	卒論中間発表	これまでに完成している部分について中間発表を行います。					中間発表用の資料を作成する。(4時間)				
3	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
4	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
5	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
6	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
7	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
8	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
9	卒論執筆・指導	実際に卒業論文を執筆し、講義内で指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
10	表紙・目次・参考文献の確認	表紙・目次・参考文献に関し、これらを作成し、指導を受けます。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
11	最終発表	完成した卒論をそれぞれ10分で発表してもらいます。					発表資料を作る。(4時間)				
12	口頭発表者の選出	ゼミ内で口頭発表者を選出するためのディスカッションを行います。					口頭発表者として誰がふさわしいか、事前に考えておく。(4時間)				
13	卒論発表会の準備	卒論発表会に向けて、資料の作成と確認を行います。					卒論発表会向けの資料を作成する。(4時間)				
14	卒論発表会	卒論発表会に参加し、口頭発表またはポスター発表を行います。					卒論発表会向けの資料を作成する。(4時間)				
15	卒論発表会を踏まえた卒論の修正	卒論発表会において指摘された、または修正が必要と気づいた点について、加筆・修正等を行います。					指摘された点の加筆・修正等を行う。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
必要に応じてプリントを配布します。					レポート:50% 課題:50% 成績評価は、「卒業論文」の内容・体裁にくわえ、資料集など取組姿勢も重視します。評価基準は次のとおりです。S:研究目的が明確で独創的であり、研究の成果と課題が高度でオリジナルである。A:研究目的が明確であり、関連する先行研究を把握し、研究の成果と課題が明示されている。B:研究目的が明確であり、研究の成果と課題が明示されている。C:研究目的が示されており、最低限の執筆字数を満たし、研究の成果と課題が示されている。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じてプリントを配布します。					毎回課題が出されますので、主体的に取り組んでください。また他者の発表から学ぶことも多いため、関心を持って臨んでください。						

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	SL46079	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、学生が今まで学んだスポーツ科学的基礎知識を踏まえ、興味のある研究テーマを自ら設定し、「目次」「序論」「方法」「結果」「考察」「結語」の流れに沿って実際に論文として執筆していきます。その過程で必要な参考・引用文献をしっかりと記載し、卒業論文を完成させて提出します。ゼミナル内での発表準備・練習を重ね、卒業研究発表会にてプレゼンテーションを行います。											
学修到達目標											
卒業研究論文を完成させることを通して、論理的並びに客観的に考える能力を見つけることや、自ら興味を持って取り組む姿勢を身につける事、更にはプレゼンテーション能力を向上させることを目標とします。											
授業の進め方											
卒業研究 において設定した研究テーマに沿って、各自が卒業論文を執筆していきます。また、卒業論文発表会に向けプレゼンテーション能力向上のやめの発表準備・練習を複数回行っていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	論文執筆状況確認会(1)	各自の論文執筆進捗状況を報告します(パワーポイントによるプレゼンテーション)。					報告資料(パワーポイント)を作成する(4時間)。				
2	論文執筆状況確認会(2)	各自の論文執筆進捗状況を報告します(パワーポイントによるプレゼンテーション)。					報告資料(パワーポイント)を作成する(4時間)。				
3	論文執筆(1)方法	論文の「方法」の部分を執筆していきます。					各々が執筆を行う(4時間)。				
4	論文執筆(2)方法	論文の「方法」の部分を執筆していきます。必要に応じて個別指導を行います。					各々が執筆を行う(4時間)。				
5	論文執筆(3)結果	論文の「結果」の部分を執筆していきます。					各々が執筆を行う(4時間)。				
6	論文執筆(4)結果	論文の「結果」の部分を執筆していきます。必要に応じて個別指導を行います。					各々が執筆を行う(4時間)。				
7	論文執筆(5)結果と考察	論文の「結果」から「考察」するための統合と解釈を行います。					各々が統合と解釈を行う(4時間)。				
8	論文執筆(6)考察	論文の「考察」の部分を執筆していきます。					各々が執筆を行う(4時間)。				
9	論文執筆(7)考察	論文の「考察」の部分を執筆していきます。					各々が執筆を行う(4時間)。				
10	論文執筆(8)結語・文献・目次	結語・参考引用文献・目次などの論文としての体裁について確認します。					各々が論文体裁を整える(4時間)。				
11	論文最終稿提出	卒業論文の最終稿を提出します。必要に応じて個別指導を行います。					最終確認・修正を行う(4時間)。				
12	ゼミ発表会	3年生・4年生合同ゼミにて発表会を行い、最終チェックを行います。					発表用資料を作成してくる。チェック内容を修正する(4時間)。				
13	卒業論文発表会に向けた準備	各自の発表方式(口頭・ポスター)に応じた資料の作成・修正を行います。					発表資料を完成させる。必要に応じて修正を加える(4時間)。				
14	卒業論文発表会 練習	各自の発表方式を決定後、ゼミ内で発表練習を行います。可能な限り3年生にも参加してもらいます。					発表資料を完成させる。必要に応じて修正を加える(4時間)。				
15	卒業研究まとめ	卒業論文の印刷、卒業研究の総括を行います。					印刷原稿完成させてくる(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準							
必要に応じてプリントを配布する。				課題:50% 受講態度:50% S:卒業論文の執筆過程において積極的かつ探求的に取り組み、優秀な卒業論文を仕上げた。A:卒業論文の執筆過程において積極的に取り組み、内容の濃い卒業論文を仕上げた。B:卒業論文の執筆過程において誠実に取り組み、過不足のない卒業論文を仕上げた。C:卒業論文を仕上げた。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じてプリントを配布する。				卒業研究を通して、ヒトの身体に興味を持ち、文献を検索するなどの日常的な積極性を持って、全力で取り組んでください。							